

**2022年度
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目
200・300番台
講義概要（シラバス）**



法政大学

科目一覧

【発行日：2022/5/2】最新版のシラバスは、法政大学 Web シラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (英語分野) 【E1806】 Intercultural Communication B [石原 紀子] 秋学期授業/Fall	1
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (英語分野) 【E1807】 Intercultural Communication A [佐々木 一恵] 秋学期授業/Fall	2
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (英語分野) 【E1808】 Intercultural Communication C [石原 紀子] 秋学期授業/Fall	4
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (英語分野) 【E1809】 Intercultural Communication D [石原 紀子] 春学期授業/Spring	6
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【E3602】 Intercultural Communication E [コリンズ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	7
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【E3603】 Intercultural Communication F [STEVE CORBEIL] 春学期授業/Spring	8
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5337】 中国語補講 3 I [沈 小南] 春学期授業/Spring	9
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5338】 中国語補講 3 II [沈 小南] 秋学期授業/Fall	10
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5339】 中国語補講 3 I [沈 小南] 春学期授業/Spring	11
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5340】 中国語補講 3 II [沈 小南] 秋学期授業/Fall	12
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5341】 中国語補講 3 I [王 安] 春学期授業/Spring	13
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5342】 中国語補講 3 II [王 安] 秋学期授業/Fall	14
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5343】 中国語補講 3 I [篠田 幸夫] 春学期授業/Spring	16
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5344】 中国語補講 3 II [篠田 幸夫] 秋学期授業/Fall	17
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E6135】 スペイン語補講 3 I [若林 大我] 春学期授業/Spring	18
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E6136】 スペイン語補講 3 II [若林 大我] 秋学期授業/Fall	19
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【E8062】 Intercultural Communication G [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall	20
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【E8063】 Intercultural Communication H [山本 そのこ] 春学期授業/Spring	21
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【P1303】 Humanities A [URBANOVA Jana] 春学期授業/Spring	22
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【P1305】 Humanities B [Richard.J.Burrows] 春学期授業/Spring	23
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【P2304】 Social Science A [SCHIFANO ADRIEN] 秋学期授業/Fall	24
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【P2305】 Social Science B [SCHIFANO ADRIEN] 春学期授業/Spring	25
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【P3605】 Natural Science B [西村 直美] 春学期授業/Spring	26
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【P5801】 Health and Physical Education [秋本 成晴] 春学期授業/Spring	27
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0102】 情報処理演習 II [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	28
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0104】 情報処理演習 II [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	29

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0106】情報処理演習Ⅱ [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	30
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0108】情報処理演習Ⅱ [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	31
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0110】情報処理演習Ⅱ [中村 文隆] 秋学期授業/Fall	32
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0112】情報処理演習Ⅱ [中村 文隆] 秋学期授業/Fall	33
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0114】情報処理演習Ⅱ [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall	34
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0116】情報処理演習Ⅱ [岡嶋 裕史] 秋学期授業/Fall	36
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0118】情報処理演習Ⅱ [岡嶋 裕史] 秋学期授業/Fall	37
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0120】情報処理演習Ⅱ [重定 如彦] 秋学期授業/Fall	38
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0122】情報処理演習Ⅱ [重定 如彦] 秋学期授業/Fall	39
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0124】情報処理演習Ⅱ [松田 裕幸] 秋学期授業/Fall	41
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0126】情報処理演習Ⅱ [松田 裕幸] 秋学期授業/Fall	42
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0128】情報処理演習Ⅱ [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall	43
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0130】情報処理演習Ⅱ [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall	44
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0136】情報処理演習Ⅱ [名兄耶 厚] 秋学期授業/Fall	46
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0138】情報処理演習Ⅱ [名兄耶 厚] 秋学期授業/Fall	47
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0140】情報処理演習Ⅱ [名兄耶 厚] 秋学期授業/Fall	48
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0142】情報処理演習Ⅱ [名兄耶 厚] 秋学期授業/Fall	49
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0144】情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall	50
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0146】情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall	51
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0503】法政学の探究 L B [古俣 達郎] 春学期授業/Spring	52
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0504】法政学の探究 L A [古俣 達郎、高柳 俊男] 秋学期授業/Fall	53
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1301】日本文学と文化 L A [阿部 真弓] 春学期授業/Spring	55
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1302】日本文学と文化 L B [阿部 真弓] 秋学期授業/Fall	56
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1303】日本文学と文化 L C [今泉 隆裕] 春学期授業/Spring	57
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1304】日本文学と文化 L D [今泉 隆裕] 秋学期授業/Fall	58
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1305】日本文学と文化 L E [伊海 孝充] 春学期授業/Spring	60
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1306】日本文学と文化 L F [伊海 孝充] 秋学期授業/Fall	61
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1307】日本文学と文化 L G [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	62

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1308】日本文学と文化 LH [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall	63
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1309】外国文学と文化 L A [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	65
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1310】外国文学と文化 L B [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	66
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1311】外国文学と文化 L C [日原 傳] 春学期授業/Spring	68
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1312】外国文学と文化 L D [日原 傳] 秋学期授業/Fall	69
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1313】外国文学と文化 L E [大崎 さやの] 春学期授業/Spring	70
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1314】外国文学と文化 L F [大崎 さやの] 秋学期授業/Fall	71
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1315】文学と社会 L A [梶裕史] 春学期授業/Spring	72
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1316】文学と社会 L B [梶裕史] 秋学期授業/Fall	73
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1319】文学と社会 L C [白戸満喜子] 春学期授業/Spring	74
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1320】文学と社会 L D [白戸満喜子] 秋学期授業/Fall	75
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1321】文学と社会 L E [中澤忠之] 春学期授業/Spring	77
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1322】文学と社会 L F [中澤忠之] 秋学期授業/Fall	78
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1323】日本文学と文化 LG [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	79
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1324】日本文学と文化 LH [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall	80
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1362】音声学 L [副島 健作] 秋学期授業/Fall	82
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1381】哲学 L I [大西 正人] 春学期授業/Spring	83
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1382】哲学 L II [大西 正人] 秋学期授業/Fall	84
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1383】哲学 L I [白根 裕里枝] 春学期授業/Spring	85
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1384】哲学 L II [白根 裕里枝] 秋学期授業/Fall	86
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1391】倫理学 L I [森村 修] 春学期授業/Spring	87
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1392】倫理学 L II [森村 修] 秋学期授業/Fall	88
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1393】倫理学 L I [佐藤 英明] 春学期授業/Spring	90
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1394】倫理学 L II [佐藤 英明] 秋学期授業/Fall	91
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1395】倫理学 L I [杉本 隆久] 春学期授業/Spring	92
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1396】倫理学 L II [杉本 隆久] 秋学期授業/Fall	93
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1397】倫理学 L I [伊藤 直樹] 春学期授業/Spring	95
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1398】倫理学 L II [伊藤 直樹] 秋学期授業/Fall	96

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1399】 倫理学ⅠⅠ [田島 樹 里奈] 春学期授業/Spring	97
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1400】 倫理学ⅠⅡ [田島 樹 里奈] 秋学期授業/Fall	98
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1401】 倫理学ⅠⅠ [吉永 明 弘] 春学期授業/Spring	100
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1402】 倫理学ⅠⅡ [吉永 明 弘] 秋学期授業/Fall	101
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1411】 論理学ⅠⅠ [佐々木 護] 春学期授業/Spring	102
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1412】 論理学ⅠⅡ [佐々木 護] 秋学期授業/Fall	103
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1421】 東洋史ⅠⅠ [岡安 勇] 春学期授業/Spring	104
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1422】 東洋史ⅠⅡ [岡安 勇] 秋学期授業/Fall	105
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1423】 東洋史ⅠⅠ [長谷部 圭彦] 春学期授業/Spring	107
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1424】 東洋史ⅠⅡ [長谷部 圭彦] 秋学期授業/Fall	108
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1431】 西洋史ⅠⅠ [後藤 篤 子] 春学期授業/Spring	109
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1432】 西洋史ⅠⅡ [高澤 紀 恵] 秋学期授業/Fall	110
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1433】 西洋史ⅠⅠ [新井 隆] 春学期授業/Spring	111
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1434】 西洋史ⅠⅡ [新井 隆] 秋学期授業/Fall	113
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1435】 西洋史ⅠⅠ [渡辺 知] 春学期授業/Spring	115
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1436】 西洋史ⅠⅡ [内川 勇 海] 秋学期授業/Fall	116
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1437】 西洋史ⅠⅠ [渡辺 知] 春学期授業/Spring	117
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1438】 西洋史ⅠⅡ [内川 勇 海] 秋学期授業/Fall	118
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1441】 日本史ⅠⅠ [森 朋久] 春学期授業/Spring	119
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1442】 日本史ⅠⅡ [森 朋久] 秋学期授業/Fall	120
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1443】 日本史ⅠⅠ [仁平 義 孝] 春学期授業/Spring	121
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1444】 日本史ⅠⅡ [仁平 義 孝] 秋学期授業/Fall	122
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1445】 日本史ⅠⅠ [貫井 裕 恵] 春学期授業/Spring	123
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1446】 日本史ⅠⅡ [貫井 裕 恵] 秋学期授業/Fall	124
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1447】 日本史ⅠⅠ [鈴木 多 聞] 春学期授業/Spring	125
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1448】 日本史ⅠⅡ [鈴木 多 聞] 秋学期授業/Fall	126
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1451】 宗教論ⅠⅠ [須藤 孝 也] 春学期授業/Spring	127
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1452】 宗教論ⅠⅡ [須藤 孝 也] 秋学期授業/Fall	128

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2321】 経済学 L A [中平 千彦] 春学期授業/Spring	129
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2322】 経済学 L B [中平 千彦] 秋学期授業/Fall	131
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2323】 経済学 L A [鈴木 誠] 春学期授業/Spring	132
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2324】 経済学 L B [鈴木 誠] 秋学期授業/Fall	133
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2325】 経済学 L A [陳 文挙] 春学期授業/Spring	135
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2326】 経済学 L B [陳 文挙] 秋学期授業/Fall	136
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2327】 経済学 L A [水野 和夫] 春学期授業/Spring	138
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2328】 経済学 L B [水野 和夫] 秋学期授業/Fall	139
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2341】 心理学 L A [宇野 カオリ] 春学期授業/Spring	141
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2342】 心理学 L B [宇野 カオリ] 秋学期授業/Fall	142
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2343】 心理学 L A [宇野 カオリ] 春学期授業/Spring	144
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2344】 心理学 L B [宇野 カオリ] 秋学期授業/Fall	145
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2351】 地理学 L A [長沢 利明、米家 志乃布] 春学期授業/Spring	147
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2352】 地理学 L B [長沢 利明、米家 志乃布] 秋学期授業/Fall	148
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2353】 地理学 L C [片岡 義晴、米家 志乃布] 春学期授業/Spring	149
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2354】 地理学 L D [片岡 義晴、米家 志乃布] 秋学期授業/Fall	150
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2355】 地理学 L C [高木 正、米家 志乃布] 春学期授業/Spring	151
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2356】 地理学 L D [高木 正、米家 志乃布] 秋学期授業/Fall	152
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2357】 地理学 L A [長沢 利明、米家 志乃布] 春学期授業/Spring	153
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2358】 地理学 L B [長沢 利明、米家 志乃布] 秋学期授業/Fall	154
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2359】 地理学 L C [前川 明彦、米家 志乃布] 春学期授業/Spring	155
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2360】 地理学 L D [前川 明彦、米家 志乃布] 秋学期授業/Fall	156
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2361】 社会学 L A [松下 優一] 春学期授業/Spring	157
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2362】 社会学 L B [松下 優一] 秋学期授業/Fall	158
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2363】 社会学 L C [徐 玄九] 春学期授業/Spring	159
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2364】 社会学 L D [徐 玄九] 秋学期授業/Fall	160
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2371】 政治学 L A [木村 正俊] 春学期授業/Spring	161
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2372】 政治学 L B [木村 正俊] 秋学期授業/Fall	162

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2382】 文化人類学 L [ベル裕紀] 秋学期授業/Fall	163
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2384】 文化人類学 L [谷 憲一] 秋学期授業/Fall	164
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2386】 文化人類学 L [北原卓也] 秋学期授業/Fall	165
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2388】 文化人類学 L [長沢利明] 秋学期授業/Fall	166
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2390】 文化人類学 L [ベル裕紀] 秋学期授業/Fall	167
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2392】 文化人類学 L [梅村 絢美] 秋学期授業/Fall	169
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2394】 文化人類学 L [渡辺 浩平] 秋学期授業/Fall	170
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2396】 文化人類学 L [廣田 龍平] 秋学期授業/Fall	171
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2398】 文化人類学 L [梅村 絢美] 秋学期授業/Fall	172
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2400】 文化人類学 L [石森 大知] 秋学期授業/Fall	174
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2401】 社会思想 L A [洪 貴義] 春学期授業/Spring	175
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2402】 社会思想 L B [洪 貴義] 秋学期授業/Fall	176
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2403】 社会思想 L A [洪 貴義] 春学期授業/Spring	177
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2404】 社会思想 L B [洪 貴義] 秋学期授業/Fall	178
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3211】 発展数学 L I [池田 宏一郎] 春学期授業/Spring	179
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3212】 発展数学 L II [池田 宏一郎] 秋学期授業/Fall	180
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3213】 発展数学 L I [倉田 俊彦] 春学期授業/Spring	181
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3214】 発展数学 L II [倉田 俊彦] 秋学期授業/Fall	182
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3221】 教養物理学 L A [石川 壮一] 春学期授業/Spring	183
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3222】 教養物理学 L A [石川 壮一] 秋学期授業/Fall	184
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3223】 教養物理学 L B [吉田 智] 春学期授業/Spring	185
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3224】 教養物理学 L B [吉田 智] 秋学期授業/Fall	186
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3225】 教養物理学 L A [石川 壮一] 秋学期授業/Fall	187
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3226】 教養物理学 L C [井坂 政裕] 春学期授業/Spring	188
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3231】 教養生物学 L A [沼田 治] 春学期授業/Spring	189
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3232】 教養生物学 L B [沼田 治] 秋学期授業/Fall	190
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3233】 教養生物学 L A [沼田 治] 春学期授業/Spring	192
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3234】 教養生物学 L B [沼田 治] 秋学期授業/Fall	193

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3241】 教養生物学 L C [町田 郁子] 春学期授業/Spring	195
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3242】 教養生物学 L D [町田 郁子] 秋学期授業/Fall	196
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3243】 教養生物学 L C [町田 郁子] 春学期授業/Spring	198
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3244】 教養生物学 L D [町田 郁子] 秋学期授業/Fall	199
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3261】 教養化学 L A [向井 知大] 春学期授業/Spring	201
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3262】 教養化学 L A [中島 弘一] 秋学期授業/Fall	202
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3263】 教養化学 L B [中島 弘一] 春学期授業/Spring	203
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3264】 教養化学 L B [西村 直美] 秋学期授業/Fall	204
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3266】 教養化学 L A [中田 和秀] 春学期授業/Spring	205
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3267】 教養化学 L C [中田 和秀] 春学期授業/Spring	206
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3268】 教養化学 L D [中田 和秀] 秋学期授業/Fall	207
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3269】 教養化学 L E [向井 知大] 秋学期授業/Fall	208
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5451】 健康の科学 L A [阿部 巧] 春学期授業/Spring	209
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5452】 健康の科学 L B [藤 平 杏子] 秋学期授業/Fall	210
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5453】 健康の科学 L A [谷 本 都栄] 春学期授業/Spring	211
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5454】 健康の科学 L B [谷 本 都栄] 秋学期授業/Fall	212
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0801】 入門英語 (SSI) I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	213
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0802】 入門英語 (SSI) II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall	214
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0803】 入門英語 (SSI) I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	215
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0804】 入門英語 (SSI) II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	216
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0805】 入門英語 (SSI) I [鈴木 真奈美] 春学期授業/Spring	217
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0806】 入門英語 (SSI) II [深谷 公宣] 秋学期授業/Fall	218
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0831】 入門英語 (SSI) I [鈴木 理枝] 春学期授業/Spring	219
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0832】 入門英語 (SSI) II [鈴木 理枝] 秋学期授業/Fall	220
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2001】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	221
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2002】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	223
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2003】 English 3 I [ジェイソン ポール スミス] 春学期授業/Spring	224
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2004】 English 3 II [ジェイソン ポール スミス] 秋学期授業/Fall	226

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2005】 English 3 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring	227
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2006】 English 3 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall	229
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2007】 English 3 I [宇野 毅] 春学期授業/Spring	230
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2008】 English 3 II [宇野 毅] 秋学期授業/Fall	231
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2009】 English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	232
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2010】 English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	233
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2011】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	235
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2012】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	236
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2013】 English 3 I [ジェイソン ボール スミス] 春学期授業/Spring	238
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2014】 English 3 II [ジェイソン ボール スミス] 秋学期授業/Fall	239
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2015】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	241
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2016】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	242
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2017】 English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	244
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2018】 English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	245
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2019】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	247
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2020】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	248
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2021】 English 3 I [TAMARA P ELDRIDGE] 春学期授業/Spring	250
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2022】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall	251
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2023】 English 3 I [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	252
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2024】 English 3 II [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	254
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2025】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring	255
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2026】 English 3 II [ジョナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall	256
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2027】 English 3 I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	257
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2028】 English 3 II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	259
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2029】 English 3 I [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	260
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2030】 English 3 II [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	262
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2031】 English 3 I [URBANOVA Jana] 春学期授業/Spring	263
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2032】 English 3 II [URBANOVA Jana] 秋学期授業/Fall	265

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2033】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	266
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2034】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	267
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2035】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	268
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2036】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	270
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2037】 English 3 I [吉川 太恵子] 春学期授業/Spring	271
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2038】 English 3 II [吉川 太恵子] 秋学期授業/Fall	273
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2039】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	274
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2040】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	275
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2041】 English 3 I [TAMARA P ELDRIDGE] 春学期授業/Spring	276
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2042】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall	278
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2043】 English 3 I [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	279
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2044】 English 3 II [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	281
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2045】 English 3 I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	282
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2046】 English 3 II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	284
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2047】 English 3 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	285
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2048】 English 3 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	286
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2049】 English 3 I [URBANOVA Jana] 春学期授業/Spring	287
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2050】 English 3 II [URBANOVA Jana] 秋学期授業/Fall	289
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2051】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	290
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2052】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	291
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2053】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	292
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2054】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	294
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2055】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	295
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2056】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	296
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2057】 English 3 I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	297
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2058】 English 3 II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	298
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2059】 English 3 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	299
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2060】 English 3 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	300

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2061】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	301
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2062】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	303
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2063】 English 3 I [吉川 太恵子] 春学期授業/Spring	304
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2064】 English 3 II [吉川 太恵子] 秋学期授業/Fall	306
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2065】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	307
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2066】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	309
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2067】 English 3 I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	310
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2068】 English 3 II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	312
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2069】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring	313
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2070】 English 3 II [石原 紀子] 秋学期授業/Fall	314
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2071】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	316
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2072】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	317
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2073】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	318
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2074】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	319
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2075】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	321
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2076】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	322
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2077】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring	324
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2078】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall	325
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2079】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	326
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2080】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	328
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2081】 English 3 I [MICHAEL F.MURPHY] 春学期授業/Spring	329
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2082】 English 3 II [MICHAEL F.MURPHY] 秋学期授業/Fall	331
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2083】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	332
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2084】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	333
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2085】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	334
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2086】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	335
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2087】 English 3 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	337
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2088】 English 3 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	338

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2089】 English 3 I [佐々木 一恵] 春学期授業/Spring	340
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2090】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall	341
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2091】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	342
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2092】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	344
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2093】 English 3 I [川野 芽生] 春学期授業/Spring	346
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2094】 English 3 II [川野 芽生] 秋学期授業/Fall	347
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2095】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	348
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2096】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	350
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2097】 English 3 I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	351
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2098】 English 3 II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	352
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2099】 English 3 I [萩原 眞一] 春学期授業/Spring	353
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2100】 English 3 II [萩原 眞一] 秋学期授業/Fall	355
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2101】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	356
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2102】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	358
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2103】 English 3 I [MICHAEL F.MURPHY] 春学期授業/Spring	359
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2104】 English 3 II [MICHAEL F.MURPHY] 秋学期授業/Fall	361
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2105】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	362
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2106】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	364
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2107】 English 3 I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring	365
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2108】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall	366
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2109】 English 3 I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring	367
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2110】 English 3 II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	368
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2111】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	369
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2112】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	371
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2113】 English 3 I [磯部 芳恵] 春学期授業/Spring	372
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2114】 English 3 II [磯部 芳恵] 秋学期授業/Fall	373
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2115】 English 3 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	374
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2116】 English 3 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	376

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2117】 English 3 I [宮本 三恵子] 春学期授業/Spring	377
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2118】 English 3 II [宮本 三恵子] 秋学期授業/Fall	379
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2119】 English 3 I [大野 ロベルト] 春学期授業/Spring	380
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2120】 English 3 II [大野 ロベルト] 秋学期授業/Fall	381
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2121】 English 3 I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	382
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2122】 English 3 II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	384
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2123】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	385
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2124】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	386
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2125】 English 3 I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring	387
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2126】 English 3 II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall	389
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2127】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	390
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2128】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	391
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2129】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	393
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2130】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	395
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2131】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	396
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2132】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	397
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2133】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	398
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2134】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	400
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2135】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	402
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2136】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	403
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2137】 English 3 I [ELIKO M KOSAKA] 春学期授業/Spring	405
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2138】 English 3 II [ELIKO M KOSAKA] 秋学期授業/Fall	406
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2139】 English 3 I [岩下 弘史] 春学期授業/Spring	408
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2140】 English 3 II [岩下 弘史] 秋学期授業/Fall	409
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2141】 English 3 I [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring	410
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2142】 English 3 II [ウォルター・カズマー] 秋学期授業/Fall	411
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2143】 English 3 I [CHIA-WEI KANG] 春学期授業/Spring	412
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2144】 English 3 II [CHIA-WEI KANG] 秋学期授業/Fall	413

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2145】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	415
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2146】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	416
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2147】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	418
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2148】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	419
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2149】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring	421
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2150】 English 3 II [ジョナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall	422
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2151】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	423
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2152】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	424
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2153】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	425
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2154】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	427
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2155】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring	428
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2156】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall	429
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2157】 English 3 I [川野 芽生] 春学期授業/Spring	430
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2158】 English 3 II [川野 芽生] 秋学期授業/Fall	431
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2159】 English 3 I [岩下 弘史] 春学期授業/Spring	432
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2160】 English 3 II [岩下 弘史] 秋学期授業/Fall	434
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2161】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	435
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2162】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	436
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2163】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	437
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2164】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	439
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2165】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	441
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2166】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	443
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2167】 English 3 I [DANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring	444
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2168】 English 3 II [DANIEL G DUSZA] 秋学期授業/Fall	446
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2169】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	448
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2170】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	449
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2171】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	450
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2172】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	452

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2173】 English 3 I [田口 清一] 春学期授業/Spring	453
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2174】 English 3 II [田口 清一] 秋学期授業/Fall	454
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2175】 English 3 I [川野 芽生] 春学期授業/Spring	455
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2176】 English 3 II [川野 芽生] 秋学期授業/Fall	456
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2177】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	457
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2178】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	458
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2179】 English 3 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring	459
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2180】 English 3 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	461
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2181】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	462
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2182】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	464
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2183】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	465
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2184】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	467
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2185】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	468
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2186】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	470
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2187】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	471
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2188】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	473
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2201】 英語 7 [竹内 晶子] 春学期授業/Spring	474
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2202】 英語 7 [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	475
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2203】 英語 7 [中和 彩子] 春学期授業/Spring	476
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2204】 英語 7 [鹿子嶋 由佳] 春学期授業/Spring	477
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2205】 英語 7 [衣笠 正晃] 春学期授業/Spring	479
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2206】 英語 7 [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	480
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2207】 英語 7 [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	481
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2208】 英語 8 [DONALD W WHYTE] 春学期授業/Spring	482
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2209】 英語 8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	483
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2210】 英語 8 [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring	485
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2211】 英語 8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	486
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2212】 英語 8 [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring	487

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2213】 英語 8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	488
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2214】 英語 8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	489
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2301】 英語オーラル・コミュニケーション I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	490
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2302】 英語オーラル・コミュニケーション II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	492
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2303】 英語オーラル・コミュニケーション I [ELIKO M KOSAKA] 春学期授業/Spring	493
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2304】 英語オーラル・コミュニケーション II [ELIKO M KOSAKA] 秋学期授業/Fall	494
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2305】 英語オーラル・コミュニケーション I [LASSEGARD JAMES] 春学期授業/Spring	495
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2306】 英語オーラル・コミュニケーション II [LASSEGARD JAMES] 秋学期授業/Fall	496
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2351】 ビジネス・イングリッシュ I [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	497
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2352】 ビジネス・イングリッシュ II [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	498
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2381】 English Reading and Vocabulary I [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring	499
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2382】 English Reading and Vocabulary II [ウォルター・カズマー] 秋学期授業/Fall	500
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2383】 English Reading and Vocabulary I [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	501
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2384】 English Reading and Vocabulary II [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	502
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2391】 English Academic Writing I [DYLAN O SCUDDER] 春学期授業/Spring	503
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2392】 English Academic Writing II [DYLAN O SCUDDER] 秋学期授業/Fall	505
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2393】 English Academic Writing I [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring	507
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2394】 English Academic Writing II [MARK D BURNS] 秋学期授業/Fall	508
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2395】 English Academic Writing I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	509
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2396】 English Academic Writing II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	510
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2401】 英語で学ぶ社会と文化 I [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	511
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2402】 英語で学ぶ社会と文化 II [田中 邦佳] 秋学期授業/Fall	513
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2403】 英語で学ぶ社会と文化 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring	514
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2404】 英語で学ぶ社会と文化 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall	516
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2405】 英語で学ぶ社会と文化 I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	517
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2406】 英語で学ぶ社会と文化 II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall	518
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2407】 英語で学ぶ社会と文化 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	519
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2408】 英語で学ぶ社会と文化 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	521

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2409】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅰ [金谷 優子] 春学期授業/Spring	522
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2410】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅱ [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	524
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2411】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅰ [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	526
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2412】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅱ [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	528
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2441】 English PresentationⅠ [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	529
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2442】 English PresentationⅡ [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	530
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2443】 English PresentationⅠ [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	532
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2444】 English PresentationⅡ [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	533
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2445】 English PresentationⅠ [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	534
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2446】 English PresentationⅡ [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	535
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2447】 English PresentationⅠ [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring	537
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2448】 English PresentationⅡ [MARK D BURNS] 秋学期授業/Fall	538
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2451】 英語アカデ ミック・リーディングⅠ [岩崎 博] 春学期授業/Spring	539
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2452】 英語アカデ ミック・リーディングⅡ [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	541
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2481】 英語検定試 験対策Ⅰ [久慈 美貴] 春学期授業/Spring	543
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2482】 英語検定試 験対策Ⅱ [久慈 美貴] 秋学期授業/Fall	544
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2483】 英語検定試 験対策Ⅰ [青山 恵子] 春学期授業/Spring	546
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2484】 英語検定試 験対策Ⅱ [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	547
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2485】 英語検定試 験対策Ⅰ [宮崎 早季] 春学期授業/Spring	548
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2486】 英語検定試 験対策Ⅱ [宮崎 早季] 秋学期授業/Fall	550
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2487】 英語検定試 験対策Ⅰ [高橋 佳江] 春学期授業/Spring	551
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2488】 英語検定試 験対策Ⅱ [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall	552
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2601】 Oral CommunicationⅠ [板橋 美也] 春学期授業/Spring	553
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2602】 Oral CommunicationⅡ [板橋 美也] 秋学期授業/Fall	554
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2603】 Oral CommunicationⅠ [R. G. ジェイムズ] 春学期授業/Spring	555
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2604】 Oral CommunicationⅡ [R. G. ジェイムズ] 秋学期授業/Fall	556
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2611】 English through Movies and DramaⅠ [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring	557
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2612】 English through Movies and DramaⅡ [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	558

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2613】 English through Movies and Drama I [舟橋 美香] 春学期授業/Spring	559
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2614】 English through Movies and Drama II [舟橋 美香] 秋学期授業/Fall	560
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2621】 TOEIC(R) I [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring	561
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2622】 TOEIC(R) II [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	562
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2623】 TOEIC(R) I [板橋 美也] 春学期授業/Spring	563
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2624】 TOEIC(R) II [板橋 美也] 秋学期授業/Fall	564
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2631】 英語検定試験対策 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	565
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2632】 英語検定試験対策 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	566
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2641】 Business Communication I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	567
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2642】 Business Communication II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	569
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2651】 ニュース英語 I [塩谷 幸子] 春学期授業/Spring	570
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2652】 ニュース英語 II [塩谷 幸子] 秋学期授業/Fall	572
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2701】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) A- I [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring	573
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2702】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) A- II [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall	574
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2711】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) B- I [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring	575
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2712】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) B- II [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall	576
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2721】 English for Study Abroad I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	577
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2723】 English for Study Abroad II [北 文美子] 春学期授業/Spring	579
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2731】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A- I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring	580
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2732】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A- II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	581
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2741】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B- I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring	582
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2742】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B- II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall	583
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2751】 Practical English (英語検定試験対策) A- I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	584
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2752】 Practical English (英語検定試験対策) A- II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	585
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2761】 Practical English (英語検定試験対策) B- I [光野 昭雄] 春学期授業/Spring	586
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2762】 Practical English (英語検定試験対策) B- II [光野 昭雄] 秋学期授業/Fall	587
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3503】 日本語 1 I [尾形 太郎] 春学期授業/Spring	588
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3504】 日本語 1 II [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall	589

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3601】 日本語 3 I [尾形 太郎] 春学期授業/Spring	590
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3602】 日本語 3 II [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall	591
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3603】 日本語 3 I [尾形 太郎] 春学期授業/Spring	592
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3604】 日本語 3 II [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall	593
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3605】 日本語 3 I [尾形 太郎] 春学期授業/Spring	594
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3606】 日本語 3 II [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall	595
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3611】 日本語 4 I [板井 美佐] 春学期授業/Spring	596
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3612】 日本語 4 II [板井 美佐] 秋学期授業/Fall	597
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3613】 日本語 4 I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	598
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3614】 日本語 4 II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	599
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3615】 日本語 4 I [戸村 佳代] 春学期授業/Spring	600
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3616】 日本語 4 II [戸村 佳代] 秋学期授業/Fall	602
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3621】 日本語の世界 L A [尾形 太郎] 春学期授業/Spring	603
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3622】 日本語の世界 L B [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall	604
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3623】 日本の文化と社会 L A [尾形 太郎] 春学期授業/Spring	606
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3624】 日本の文化と社会 L B [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall	607
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4201】 ドイツ語 3 I [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	609
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4202】 ドイツ語 3 II [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	610
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4203】 ドイツ語 3 I [浦田 智] 春学期授業/Spring	611
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4204】 ドイツ語 3 II [浦田 智] 秋学期授業/Fall	612
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4205】 ドイツ語 3 I [上田 知夫] 春学期授業/Spring	613
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4206】 ドイツ語 3 II [上田 知夫] 秋学期授業/Fall	614
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4207】 ドイツ語 3 I [梶谷 雄二] 春学期授業/Spring	615
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4208】 ドイツ語 3 II [梶谷 雄二] 秋学期授業/Fall	616
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4211】 ドイツ語 3 I [小野間 亮 子] 春学期授業/Spring	617
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4212】 ドイツ語 3 II [小野間 亮 子] 秋学期授業/Fall	618
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4215】 ドイツ語 3 I [遠藤 浩介] 春学期授業/Spring	619
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4216】 ドイツ語 3 II [遠藤 浩介] 秋学期授業/Fall	620

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4217】 ドイツ語 3 I [日中 鎮朗]	
春学期授業/Spring	621
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4218】 ドイツ語 3 II [日中 鎮朗]	
秋学期授業/Fall	622
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4221】 ドイツ語 3 I [岡本 雅克]	
春学期授業/Spring	623
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4222】 ドイツ語 3 II [岡本 雅克]	
秋学期授業/Fall	624
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4223】 ドイツ語 3 I [柳橋 大輔]	
春学期授業/Spring	625
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4224】 ドイツ語 3 II [柳橋 大輔]	
秋学期授業/Fall	626
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4225】 ドイツ語 3 I [ADAM D JAMBOR]	
春学期授業/Spring	627
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4226】 ドイツ語 3 II [ADAM D JAMBOR]	
秋学期授業/Fall	628
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4227】 ドイツ語 3 I [児島 由理]	
春学期授業/Spring	629
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4228】 ドイツ語 3 II [児島 由理]	
秋学期授業/Fall	630
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4241】 ドイツ語 4 I [日中 鎮朗]	
春学期授業/Spring	631
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4242】 ドイツ語 4 II [日中 鎮朗]	
秋学期授業/Fall	632
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4243】 ドイツ語 4 I [外山 知子]	
春学期授業/Spring	634
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4244】 ドイツ語 4 II [外山 知子]	
秋学期授業/Fall	635
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4245】 ドイツ語 4 I [丸山 達也]	
春学期授業/Spring	636
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4246】 ドイツ語 4 II [丸山 達也]	
秋学期授業/Fall	637
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4251】 ドイツ語 (3) I [上田 知夫]	
春学期授業/Spring	638
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4252】 ドイツ語 (3) II [上田 知夫]	
秋学期授業/Fall	639
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4261】 ドイツ語 7 [三ツ石 祐子]	
春学期授業/Spring	640
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4262】 ドイツ語 8 [熊田 泰章]	
春学期授業/Spring	641
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4271】 ドイツ語 3-I [平松 英人]	
春学期授業/Spring	642
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4272】 ドイツ語 3-II [平松 英人]	
秋学期授業/Fall	643
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4273】 ドイツ語 3-I [辻 英史]	
春学期授業/Spring	644
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4274】 ドイツ語 3-II [辻 英史]	
秋学期授業/Fall	645
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4281】 ドイツ語 コミュニケーション I [JENS OSTWALD]	
春学期授業/Spring	646
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4282】 ドイツ語 コミュニケーション II [JENS OSTWALD]	
秋学期授業/Fall	647
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4283】 ドイツ語 表現法 I [Schmidt Ute]	
春学期授業/Spring	648
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4284】 ドイツ語 表現法 II [Schmidt Ute]	
秋学期授業/Fall	649

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4285】ドイツ語視 聴覚Ⅰ [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring	650
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4286】ドイツ語視 聴覚Ⅱ [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall	651
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4287】SDGs で学 ぶドイツ語Ⅰ [熊田 泰章] 春学期授業/Spring	652
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4288】SDGs で学 ぶドイツ語Ⅱ [熊田 泰章] 秋学期授業/Fall	654
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4293】入門ドイツ 語 (SSI)Ⅰ [梶谷 雄二] 春学期授業/Spring	655
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4294】入門ドイツ 語 (SSI)Ⅱ [梶谷 雄二] 秋学期授業/Fall	656
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4295】ドイツ語の世界Ⅰ A [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	657
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4296】ドイツ語の世界Ⅰ B [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall	658
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4297】ドイツの文化と社 会ⅠA [上田 知夫] 春学期授業/Spring	660
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4298】ドイツの文化と社 会ⅠB [上田 知夫] 秋学期授業/Fall	661
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5201】フランス語ⅢⅠ [西川 純 子] 春学期授業/Spring	662
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5202】フランス語ⅢⅡ [西川 純 子] 秋学期授業/Fall	663
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5203】フランス語ⅢⅠ [武田 昭 彦] 春学期授業/Spring	664
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5204】フランス語ⅢⅡ [武田 昭 彦] 秋学期授業/Fall	665
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5205】フランス語ⅢⅠ [中村 美 緒] 春学期授業/Spring	666
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5206】フランス語ⅢⅡ [中村 美 緒] 秋学期授業/Fall	667
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5207】フランス語ⅢⅠ [柴崎 秀 穂] 春学期授業/Spring	668
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5208】フランス語ⅢⅡ [柴崎 秀 穂] 秋学期授業/Fall	669
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5209】フランス語ⅢⅠ [柴田 恵 美] 春学期授業/Spring	670
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5210】フランス語ⅢⅡ [柴田 恵 美] 秋学期授業/Fall	671
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5211】フランス語ⅢⅠ [西川 純 子] 春学期授業/Spring	672
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5212】フランス語ⅢⅡ [西川 純 子] 秋学期授業/Fall	673
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5213】フランス語ⅢⅠ [杉村 裕 史] 春学期授業/Spring	674
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5214】フランス語ⅢⅡ [杉村 裕 史] 秋学期授業/Fall	675
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5215】フランス語ⅢⅠ [山口 雅 敏] 春学期授業/Spring	676
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5216】フランス語ⅢⅡ [山口 雅 敏] 秋学期授業/Fall	677
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5219】フランス語ⅢⅠ [JULIEN AGAESSE] 春学期授業/Spring	678
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5220】フランス語ⅢⅡ [JULIEN AGAESSE] 秋学期授業/Fall	679

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5221】 フランス語 3 I [佐藤 正和] 春学期授業/Spring	680
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5222】 フランス語 3 II [佐藤 正和] 秋学期授業/Fall	681
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5223】 フランス語 3 I (インテンシブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	682
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5224】 フランス語 3 II (インテンシブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	683
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5241】 フランス語 4 I [岡村 民夫] 春学期授業/Spring	684
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5242】 フランス語 4 II [岡村 民夫] 秋学期授業/Fall	685
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5243】 フランス語 4 I [廣松 勲] 春学期授業/Spring	686
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5244】 フランス語 4 II [廣松 勲] 秋学期授業/Fall	687
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5245】 フランス語 5 I [村松 マリ=エマニュエル] 春学期授業/Spring	688
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5246】 フランス語 5 II [村松 マリ=エマニュエル] 秋学期授業/Fall	689
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5247】 フランス語 4 I [中村 美緒] 春学期授業/Spring	690
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5248】 フランス語 4 II [中村 美緒] 秋学期授業/Fall	691
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5249】 フランス語 4 I [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	692
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5250】 フランス語 4 II [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	693
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5251】 フランス語 (3) I [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring	694
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5252】 フランス語 (3) II [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	695
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5257】 フランス語 7 [酒井 健] 春学期授業/Spring	696
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5258】 フランス語 8 [PHILIPPE JORDY] 春学期授業/Spring	697
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5261】 フランス語 3-I [柴田 恵美] 春学期授業/Spring	698
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5262】 フランス語 3-II [柴田 恵美] 秋学期授業/Fall	699
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5263】 フランス語 3-I [柴崎 秀穂] 春学期授業/Spring	700
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5264】 フランス語 3-II [柴崎 秀穂] 秋学期授業/Fall	701
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5271】 フランス語の世界 LA [廣松 勲] 春学期授業/Spring	702
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5272】 フランス語の世界 LB [廣松 勲] 秋学期授業/Fall	704
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5273】 フランス語 コミュニケーション (初級) I [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring	705
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5274】 フランス語 コミュニケーション (初級) II [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall	706
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5279】 時事フランス語 I [大中 一彌] 春学期授業/Spring	707
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5280】 時事フランス語 II [大中 一彌] 秋学期授業/Fall	710

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5291】 フランスの文化と社会 L A [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	712
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5292】 フランスの文化と社会 L B [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	714
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5293】 フランス生活文化論 L A [河村 英和] サマーセッション/Summer Session	715
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5294】 フランス生活文化論 L B [河村 英和] 秋学期授業/Fall	717
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5295】 フランス生活文化論 L A [梶谷 彩子] 春学期授業/Spring	718
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5296】 フランス生活文化論 L B [梶谷 彩子] 秋学期授業/Fall	719
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6201】 ロシア語 3 I [木部 敬] 春学期授業/Spring	720
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6202】 ロシア語 3 II [木部 敬] 秋学期授業/Fall	721
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6203】 ロシア語 3 I [上野 理恵] 春学期授業/Spring	722
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6204】 ロシア語 3 II [上野 理恵] 秋学期授業/Fall	723
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6205】 ロシア語 3 I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring	724
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6206】 ロシア語 3 II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall	725
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6211】 ロシア語 4 I [木部 敬] 春学期授業/Spring	726
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6212】 ロシア語 4 II [木部 敬] 秋学期授業/Fall	727
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6213】 ロシア語 4 I [上野 理恵] 春学期授業/Spring	728
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6214】 ロシア語 4 II [上野 理恵] 秋学期授業/Fall	729
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6215】 ロシア語 5 I [エレーナ 三神] 春学期授業/Spring	730
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6216】 ロシア語 5 II [エレーナ 三神] 秋学期授業/Fall	731
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6221】 ロシア語 7 [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	732
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6222】 ロシア語 8 [上野 理恵] 春学期授業/Spring	733
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6231】 ロシア語 3-I [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	734
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6232】 ロシア語 3-II [佐藤 千登勢] 秋学期授業/Fall	735
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R6243】 ロシアの文化と社会 L A [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	736
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R6244】 ロシアの文化と社会 L B [佐藤 千登勢] 秋学期授業/Fall	738
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7301】 中国語 3 I [李 維濤] 春学期授業/Spring	739
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7302】 中国語 3 II [李 維濤] 秋学期授業/Fall	741
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7303】 中国語 3 I [祝 振媛] 春学期授業/Spring	743
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7304】 中国語 3 II [祝 振媛] 秋学期授業/Fall	744

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7305】中国語 3 I [劉 湯水] 春 学期授業/Spring	746
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7306】中国語 3 II [劉 湯水] 秋 学期授業/Fall	747
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7307】中国語 3 I [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	748
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7308】中国語 3 II [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	749
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7309】中国語 3 I [黄 海萍] 春 学期授業/Spring	750
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7310】中国語 3 II [黄 海萍] 秋 学期授業/Fall	751
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7311】中国語 3 I [耿 函] 春学 期授業/Spring	753
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7312】中国語 3 II [耿 函] 秋学 期授業/Fall	754
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7313】中国語 3 I [余 瀾] 春学 期授業/Spring	755
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7314】中国語 3 II [余 瀾] 秋学 期授業/Fall	756
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7315】中国語 3 I [黄 海萍] 春 学期授業/Spring	757
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7316】中国語 3 II [黄 海萍] 秋 学期授業/Fall	758
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7317】中国語 3 I [耿 函] 春学 期授業/Spring	760
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7318】中国語 3 II [耿 函] 秋学 期授業/Fall	761
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7319】中国語 3 I [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	762
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7320】中国語 3 II [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	763
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7321】中国語 3 I [王 安] 春学 期授業/Spring	764
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7322】中国語 3 II [王 安] 秋学 期授業/Fall	765
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7323】中国語 3 I [洪井 君也] 春学期授業/Spring	767
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7324】中国語 3 II [洪井 君也] 秋学期授業/Fall	768
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7325】中国語 3 I [ショウ イク テイ] 春学期授業/Spring	769
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7326】中国語 3 II [ショウ イク テイ] 秋学期授業/Fall	770
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7327】中国語 3 I [葉 進] 春学 期授業/Spring	771
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7328】中国語 3 II [葉 進] 秋学 期授業/Fall	772
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7329】中国語 3 I [周 重雷] 春 学期授業/Spring	773
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7330】中国語 3 II [周 重雷] 秋 学期授業/Fall	774
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7331】中国語 3 I [李 維涛] 春 学期授業/Spring	775
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7332】中国語 3 II [李 維涛] 秋 学期授業/Fall	777

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7333】 中国語 3 I [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	779
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7334】 中国語 3 II [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	780
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7335】 中国語 3 I [余 瀾] 春学 期授業/Spring	781
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7336】 中国語 3 II [余 瀾] 秋学 期授業/Fall	782
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7337】 中国語 3 I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring	783
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7338】 中国語 3 II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall	784
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7339】 中国語 3 I [康 鴻音] 春 学期授業/Spring	786
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7340】 中国語 3 II [康 鴻音] 秋 学期授業/Fall	787
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7341】 中国語 3 I [王 安] 春学 期授業/Spring	788
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7342】 中国語 3 II [王 安] 秋学 期授業/Fall	789
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7343】 中国語 3 I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring	791
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7344】 中国語 3 II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall	792
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7345】 中国語 3 I [李 維涛] 春 学期授業/Spring	794
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7346】 中国語 3 II [李 維涛] 秋 学期授業/Fall	796
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7347】 中国語 3 I [後藤 淳一] 春学期授業/Spring	798
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7348】 中国語 3 II [後藤 淳一] 秋学期授業/Fall	799
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7349】 中国語 3 I [劉 湯水] 春 学期授業/Spring	800
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7350】 中国語 3 II [劉 湯水] 秋 学期授業/Fall	801
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7351】 中国語 3 I [耿 函] 春学 期授業/Spring	802
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7352】 中国語 3 II [耿 函] 秋学 期授業/Fall	803
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7353】 中国語 3 I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring	804
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7354】 中国語 3 II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall	805
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7355】 中国語 3 I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring	807
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7356】 中国語 3 II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall	808
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7371】 中国語 4 I [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	810
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7372】 中国語 4 II [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	811
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7373】 中国語 4 I [葉 会] 春学期授業/Spring	812
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7374】 中国語 4 II [葉 会] 秋学期授業/Fall	813

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7375】中国語 4 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring	814
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7376】中国語 4 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall	815
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7377】中国語 4 I [余 瀾] 春学期授業/Spring	816
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7378】中国語 4 II [余 瀾] 秋学期授業/Fall	817
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7379】中国語 4 I [ショウ イクテイ] 春学期授業/Spring	818
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7380】中国語 4 II [ショウ イクテイ] 秋学期授業/Fall	819
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7381】中国語 4 I [祝 振媛] 春学期授業/Spring	820
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7382】中国語 4 II [祝 振媛] 秋学期授業/Fall	821
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7383】中国語 4 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring	823
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7384】中国語 4 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall	824
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7385】中国語 (3) I [柴崎 公美 子] 春学期授業/Spring	825
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7386】中国語 (3) II [柴崎 公美 子] 秋学期授業/Fall	826
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7387】中国語 (3) I [渡部 れい 子] 春学期授業/Spring	828
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7388】中国語 (3) II [渡部 れい 子] 秋学期授業/Fall	829
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7391】中国語 7 [曾 士才] 春学 期授業/Spring	830
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7392】中国語 8 [鈴木 靖] 春学 期授業/Spring	831
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7401】中国語 3-I [日原 傳] 春 学期授業/Spring	832
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7402】中国語 3-II [日原 傳] 秋 学期授業/Fall	833
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7403】中国語 3-I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring	834
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7404】中国語 3-II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall	835
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7405】中国語 3-I [三田村 圭 子] 春学期授業/Spring	837
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7406】中国語 3-II [三田村 圭 子] 秋学期授業/Fall	838
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7407】中国語 3-I [葉 進] 春学 期授業/Spring	839
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7408】中国語 3-II [葉 進] 秋学 期授業/Fall	840
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7413】中国語コ ミュニケーション初級 I [周 重雷] 春学期授業/Spring	841
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7414】中国語コ ミュニケーション初級 II [周 重雷] 秋学期授業/Fall	842
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7431】中国語作文初 級 I [康 鴻音] 春学期授業/Spring	843
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7432】中国語作文初 級 II [康 鴻音] 秋学期授業/Fall	844

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7433】中国語視聴覚 初級Ⅰ [劉 渴氷] 春学期授業/Spring	845
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7434】中国語視聴覚 初級Ⅱ [劉 渴氷] 秋学期授業/Fall	846
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7437】資格中国語 初級Ⅰ [青木 正子] 春学期授業/Spring	847
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7438】資格中国語 初級Ⅱ [青木 正子] 秋学期授業/Fall	848
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R7445】中国語の世界ⅠA [渡辺 大] 春学期授業/Spring	849
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R7446】中国語の世界ⅠB [渡辺 大] 秋学期授業/Fall	850
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R7447】中国の文化と社会 ⅠA [山本 律] 春学期授業/Spring	851
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R7448】中国の文化と社会 ⅠB [山本 律] 秋学期授業/Fall	852
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8201】スペイン語ⅢⅠ [若林 大 我] 春学期授業/Spring	853
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8202】スペイン語ⅢⅡ [若林 大 我] 秋学期授業/Fall	854
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8203】スペイン語ⅢⅠ [杉下 由 紀子] 春学期授業/Spring	855
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8204】スペイン語ⅢⅡ [杉下 由 紀子] 秋学期授業/Fall	856
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8207】スペイン語ⅢⅠ [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring	857
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8208】スペイン語ⅢⅡ [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	858
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8209】スペイン語ⅢⅠ [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	859
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8210】スペイン語ⅢⅡ [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	860
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8211】スペイン語ⅢⅠ [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	861
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8212】スペイン語ⅢⅡ [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	862
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8213】スペイン語ⅢⅠ [杉下 由 紀子] 春学期授業/Spring	863
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8214】スペイン語ⅢⅡ [杉下 由 紀子] 秋学期授業/Fall	864
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8215】スペイン語ⅢⅠ [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring	865
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8216】スペイン語ⅢⅡ [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	866
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8217】スペイン語ⅢⅠ [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring	867
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8218】スペイン語ⅢⅡ [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	868
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8219】スペイン語ⅢⅠ [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	869
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8220】スペイン語ⅢⅡ [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	870
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8221】スペイン語ⅢⅠ [BARRIENTOS R J DAVID] 春学期授業/Spring	871
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8222】スペイン語ⅢⅡ [BARRIENTOS R J DAVID] 秋学期授業/Fall	872

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8223】 スペイン語 3 I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	873
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8224】 スペイン語 3 II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	874
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8225】 スペイン語 3 I [若林 大我] 春学期授業/Spring	875
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8226】 スペイン語 3 II [若林 大我] 秋学期授業/Fall	876
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8227】 スペイン語 3 I [コルメナ ロメロ ロバート] 春学期授業/Spring	877
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8228】 スペイン語 3 II [コルメナ ロメロ ロバート] 秋学期授業/Fall	878
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8231】 スペイン語 3 I [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring	879
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8232】 スペイン語 3 II [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall	880
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8261】 スペイン語 4 I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	881
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8262】 スペイン語 4 II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	882
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8263】 スペイン語 4 I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	883
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8264】 スペイン語 4 II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	884
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8265】 スペイン語 4 I [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	885
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8266】 スペイン語 4 II [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	886
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8271】 スペイン語 (3) I [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	887
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8272】 スペイン語 (3) II [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	888
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8273】 スペイン語 (3) I [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	889
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8274】 スペイン語 (3) II [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	890
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8281】 スペイン語 7 [大西 亮] 春学期授業/Spring	891
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8282】 スペイン語 8 [佐々木 直美] 春学期授業/Spring	892
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8291】 スペイン語 3-I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	893
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8292】 スペイン語 3-II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	894
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8293】 スペイン語 3-I [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	895
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8294】 スペイン語 3-II [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	896
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R8301】 スペイン語 コミュニケーション I [瓜谷 アウロラ] 春学期授業/Spring	897
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R8302】 スペイン語 コミュニケーション II [瓜谷 アウロラ] 秋学期授業/Fall	898
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8303】 現代のスペイン語 I [保崎 典子] 春学期授業/Spring	900
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8304】 現代のスペイン語 II [久木 正雄] 秋学期授業/Fall	901

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R8305】 スペイン語の世界 L A [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	902
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R8306】 スペイン語の世界 L B [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	903
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9201】 朝鮮語 3 A I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	904
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9202】 朝鮮語 3 A II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	905
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9203】 朝鮮語 3 A I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	906
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9204】 朝鮮語 3 A II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	907
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9205】 朝鮮語 3 A I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	908
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9206】 朝鮮語 3 A II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	909
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9221】 朝鮮語 3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	910
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9222】 朝鮮語 3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	911
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9223】 朝鮮語 3 B I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	912
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9224】 朝鮮語 3 B II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	913
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9225】 朝鮮語 3 B I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	914
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9226】 朝鮮語 3 B II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	915
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9227】 朝鮮語 3 B I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	916
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9228】 朝鮮語 3 B II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	917
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9229】 朝鮮語 3 B I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	918
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9230】 朝鮮語 3 B II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	919
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9231】 朝鮮語 3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	920
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9232】 朝鮮語 3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	921
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9233】 朝鮮語 3 B I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	922
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9234】 朝鮮語 3 B II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	923
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9235】 朝鮮語 3 B I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	924
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9236】 朝鮮語 3 B II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	925
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9241】 朝鮮語 4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	926
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9242】 朝鮮語 4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	927
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9243】 朝鮮語 4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	928
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9244】 朝鮮語 4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	929

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9245】 朝鮮語 4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	930
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9246】 朝鮮語 4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	931
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9251】 朝鮮語 (3) I [李 英美] 春学期授業/Spring	932
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9252】 朝鮮語 (3) II [李 英美] 秋学期授業/Fall	933
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9261】 朝鮮語 7 [内山 政春] 春 学期授業/Spring	934
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9262】 朝鮮語 8 [高柳 俊男] 春 学期授業/Spring	935
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9271】 朝鮮語 3-I [新谷 あゆ り] 春学期授業/Spring	936
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9272】 朝鮮語 3-II [新谷 あゆ り] 秋学期授業/Fall	937
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9281】 朝鮮語 3 C I (コミュニケーション) [富所 明秀] 春学期授業/Spring	938
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9282】 朝鮮語 3 C II (コミュニケーション) [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	939
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9283】 朝鮮語 4 B I (視聴覚) [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	940
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9284】 朝鮮語 4 B II (視聴覚) [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	941
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9285】 朝鮮語 5 A I (講読) [吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring	942
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9286】 朝鮮語 5 A II (講読) [吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall	943
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9287】 朝鮮語 5 B I (表現法) [神谷 丹路] 春学期授業/Spring	944
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9288】 朝鮮語 5 B II (表現法) [神谷 丹路] 秋学期授業/Fall	945
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R9289】 朝鮮の文化と社会 L A [李 英美] 春学期授業/Spring	946
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R9290】 朝鮮の文化と社会 L B [李 英美] 秋学期授業/Fall	947

LIN200LA

Intercultural Communication B 2017 年度以降入学者

サブタイトル: Intercultural understanding and multicultural identities

石原 紀子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 2 単位

リ・英/※定員制

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across linguistic and cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

【到達目標】

In this course, you will 1) cultivate your understanding of the relationships between culture and identity, 2) be able to analyze examples of and reasons for intercultural clashes and relate to others respectfully to come up with constructive solutions to intercultural issues and confusions, 3) be able to use concepts such as stereotypes, generalizations, othering, and marginalization in your analysis, 4) reflect on your intercultural experiences and multicultural mediation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete tasks in small groups, and share your discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written assignments and class presentations within a week.

This course involves highly interactive activities. In order to reduce risks, depending on the COVID-19 pandemic situation class may be delivered face-to-face, online, or through combination. Please check the announcement to be made on Hoppii before the start of the course.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course information, ice-breaking activity
2	What is culture?	Visible/invisible culture, 3Ps in understanding culture
3	3Ps of culture, Characteristics of culture	Perspectives of culture

4	Stereotypes and generalizations	Definitions and examples
5	Essentialization	The language of generalization
6	Othering and marginalization	Case study discussion
7	Cultural diversity in academia and the workplace	Understanding diversity as an asset
8	Similarities and differences in cultural orientations-1	Analysis of cultural orientations (#1-3)
9	Similarities and differences in cultural orientations-2	Analysis of cultural orientations (#4-6)
10	Cultural case studies - 1	Analysis of use of time and group dynamics
11	Cultural case studies - 2	Application of Hofstede's Cultural Dimensions and other frameworks
12	Student-led discussions - 1	Intercultural case studies (group presentations)
13	Student-led discussions - 2	Intercultural case studies (group presentations)
14	Student-led discussions - 3, reflection	Intercultural case studies (group presentations), Wrap-up discussion

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures.

According to the university guidelines, the preparation and review time of approximately two hours a week is recommended for this course.

【テキスト (教科書)】

Weekly readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to download readings and post your assignments. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】

Handouts and resources related to the course content will be made available in Google Classroom or distributed in class.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Participation (20%)
- 2) Reading assignments and quizzes (50%)
- 3) Cultural case study discussion (10%)
- 4) Final paper (20%) (tentative break-down)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL® iBT 61 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in diverse world cultures. Students should view each other's cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend class on campus.

【Outline (in English)】

In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across linguistic and cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions. The preparation and review time of approximately two hours a week is recommended for this course. Your work will be evaluated through your participation (20%), reading assignments and quizzes (50%), cultural case study discussion (10%), and a final paper (20%).

HIS200LA

Intercultural Communication A 2017 年度以降入学者

サブタイトル：The History of Japan-U.S. Relations

佐々木 一恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

リ・英／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The course explores topics in the history of Japan-U.S relations from a global perspective. In recent years, global history has revealed complex interactions between goods, ideas, services, finance, and people across nation states and regions. By incorporating the framework of global history, the course will aim to reexamine the relationship between Japan and the U.S. by paying special attention to the interactions of individuals with different objectives and backgrounds in the Asia-Pacific region.

【到達目標】

By the end of this course, students will be able to:

- Understand the historical development of Japan - U.S. relations from a global perspective.
- Critically read and analyze both secondary scholarship and primary historical documents on Japan-U.S. relations by incorporating the framework of global history.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class consists of lectures, class discussions, and student presentations.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction	An overview of the course.
2	Whaling and the Meiji Restoration	Reading assignment: "Western Whalers in 1860s' Hakodate: How the Nantucket of the North Pacific Connected Restoration Era Japan to Global Flows"
3	The Pacific at the Crossroads 1	Reading assignment: Ch.7 of Guardians of Empire: The U. S. Army and the Pacific, 1902-1940
4	The Pacific at the Crossroads 2	Reading assignment: "Who Closed the Sea? Archipelagoes of Amnesia between the United States and Japan"
5	Japan under the U.S. Occupation	Reading assignment: "Exporting democracy? American Women, 'Feminist Reforms,' and Politics of Imperialism in the U.S. Occupation of Japan, 1945-1952"

6	U.S. Military Bases in Japan	Reading assignment: "The Soundproofed Superpower: American Bases and Japanese Communities, 1945 – 1972"
7	Consuming Japan in the 1980s U.S. 1	Reading assignment: "A Medium but Not a Message: The VCR and Cultural Globalization"
8	Consuming Japan in the 1980s U.S. 2	Reading assignment: "Authenticity in a Hybrid World: Sushi at the Crossroads of Cultural Globalization"
9	The Practice of Analyzing Primary Sources and a Quiz	The Assigned primary documents
10	Presentation(s): Group or Individual 1	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 1 – Immigration
11	Presentation(s): Group or Individual 2	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 2 – Diplomacy and Politics
12	Presentation(s): Group or Individual 3	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 3 – Culture
13	Presentation(s): Group or Individual 4	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 4 – Economics
14	Wrap up	Summary of the course

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to read all the assignments and be ready for class discussions and presentations. University guidelines suggest preparation and review should be around two hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】

Weekly reading assignments are uploaded to the course website (Hoppii – student information management system).

【参考書】

◎ Sebastian Conrad, What is Global History? (Princeton, NJ: Princeton University Press, 2017).

◎ Pedro Iacobelli, Danton Leary, Shinnosuke Takahashi, eds, Transnational Japan as History: Empire, Migration, and Social Movements (New York: Palgrave Macmillan, 2016).

◎ Robert Hellyer and Harald Fuess, The Meiji Restoration: Japan as a Global Nation (Cambridge: Cambridge University Press, 2020).

Brian McAllister Linn, Guardians of Empire: The U.S. Army and the Pacific, 1902 – 1940 (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 1997).

◎ Lon Kurashige ed., Pacific America: Histories of Transoceanic Crossings (University of Hawaii Press, 2017).

◎ Mire Koikari, Cold War Encounters in US-Occupied Okinawa: Women, Militarized Domesticity, and Transnationalism in East Asia (Cambridge: Cambridge University Press, 2015).

◎ Sarah Kovner, Occupying Power: Sex Workers and Servicemen in Postwar Japan (Stanford, CA: Stanford University Press, 2012).

◎ Nick Kapur, Japan at the Crossroads : Conflict and Compromise after Anpo (Cambridge, MA: Harvard University Press, 2018).

◎ Andrew C. McKevitt, Consuming Japan: Popular Culture and the Globalizing of 1980s America (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2017).

【成績評価の方法と基準】

- ・ Class participation 30%
- ・ In-class primary document analysis quiz 10%
- ・ Presentation 30%
- ・ Primary document analysis essay 30%

Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

ITC devices such as laptops and tablets.

【Outline (in English)】

The course explores topics in the history of Japan-U.S relations from a global perspective. In recent years, global history has revealed complex interactions between goods, ideas, services, finance, and people across nation states and regions. By incorporating the framework of global history, the course will aim to reexamine the relationship between Japan and the U.S. by paying special attention to the interactions of individuals with different objectives and backgrounds in the Asia-Pacific region.

By the end of this course, students will be able to:

● Understand the historical development of Japan – U.S. relations from a global perspective.

● Critically read and analyze both secondary scholarship and primary historical documents on Japan-U.S. relations by incorporating the framework of global history.

Students are required to read all the assignments and be ready for class discussions and presentations. University guidelines suggest preparation and review should be around two hours a week for a two-credit course.

- ・ Class participation 30%
- ・ In-class primary document analysis quiz 10%
- ・ Presentation 30%
- ・ Primary document analysis essay 30%

Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

POL200LA

Intercultural Communication C 2017 年度以降入学者

サブタイトル：Language and Culture in Sync: Communication Strategies across Languages

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2 単位

リ・英／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a culturally suitable manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in world languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior. Enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

【到達目標】

In this course, you will become able to 1) cultivate your understanding of the relationship between language form, meaning, and context, 2) become familiar with the notions of face and politeness, 3) collect and analyze authentic language samples, 3) understand cultural values and orientations behind language use in world languages. The course will also provide an opportunity for you to reflect on intercultural misunderstandings and respectful communication strategies with which to relate to others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete tasks in small groups, and share your discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written assignments and class presentation within a week.

This class involves a number of highly interactive activities. Depending on the pandemic situation, class may be delivered face-to-face, online, or through combination. Please check the announcement to be made on Hoppii before the start of the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course information, ice-breaking activity
2	Greetings	Analysis of authentic language data

3	Face and politeness	Positive and negative politeness
4	Giving and responding to compliments - 1	Linguistic aspects of compliments/responses
5	Language data collection	Designing DCTs and role-plays
6	Giving and responding to compliments - 2	Cultural aspects of compliments/responses
7	Refusals - 1	Language of refusals, data collection, signing up for the final project
8	Refusals - 2	Cultural similarities/differences in refusals
9	Language analysis discussion, peace linguistics	Analysis of spoken or written language
10	Data collection methods	Pros and cons of data collection methods
11	Implicature	Relevance and implied meaning
12	Apologies, thanks	Student presentations, language analysis of invitations
13	Requests, invitations	Student presentations, language analysis of requests
14	Complaints, wrap-up	Student presentations, language analysis of complaints, and final reflection

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures.

According to the university guidelines, the preparation and review time of approximately two hours a week is recommended for this course. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to read and complete your assignments before class. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】

Handouts and resources related to the course content will be made available in Google Classroom or distributed in class.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Participation (20%)
- 2) Language analysis quizzes (34%)
- 3) Language analysis assignments (16%)
- 4) Final presentation and materials (30%) (tentative percentages)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL® iBT 61 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in world languages. Students should view each other's languages and cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend class on campus.

【Outline (in English)】

Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a culturally appropriate manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in world languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior in world cultures. This enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

The preparation and review time of approximately two hours a week is recommended for this course. Your work will be evaluated through your participation (20%), language analysis quizzes (34%), language analysis journal entries, (16%), and a final presentation and materials (30%).

LIN200LA

Intercultural Communication D 2016 年度以前入学者

サブタイトル：Art-Based Learning of Culture, Diversity, and Social Activism

石原 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

リ・英／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, we start by discussing how art facilitates learning, especially of current social issues related to equity, diversity, and social justice in the globalized world today. You are invited to become part of this learning community sharing your cultural and social knowledge and experience while learning from others of all majors enrolled in this course. You will experience various forms of art incorporated into social activism calling for social and ecological justice. Through this experience, you will understand social, cultural, political, and historical backgrounds associated with the given activism. Your learning will be facilitated through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We will also collaboratively research, discuss, and learn about non-violent peace activists from various cultures and ethnic groups in the world. This will provide you with an opportunity to consider a method and option of acting and relating to others with respect, empathy, and compassion within and across cultural borders.

【到達目標】

In this course, you will: 1) understand and appreciate artistic expressions of cultural diversity, 2) understand social activism behind artistic expressions, and 3) participate in an art-based approach to social justice issues. You will also reflect on your own reactions to issues of equity, globalization, and diversity, and consider how this learning may influence your values, identities, and worldview in relation to your major field of study.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on some reading assignments. In class we study new material, complete relevant tasks in pairs or small groups, and share your discussion with the class. You are encouraged to actively participate in group work and problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will also be provided for your writing and oral presentations within a week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Learning language from/with art	Learning language from poetry, Marshall Rosenberg
3	Poetry - 1, social activism	Developing identities through poetry, Mother Teresa
4	Poetry - 2, social activism	Participate in poetry writing, Mahatma & Katurabai Gandhi
5	Film, social activism	Film for art and social justice, Nelson Mandela
6	Stories/Story-telling, social activism	Learning language through narratives, Mairead Corrigan McGuire & Betty Williams
7	Artistic creativity in peace linguistics, social activism	Language learning and peace, H. H. The Dalai Lama
8	Music - 1, social activism	Learning language through music, social activist (TBA)
9	Music - 2, social activism	Social activism through music, Peter Benenson
10	Children's literature,	Art and social justice in picture books, Sister Chan Khong

11	Folk tales	Peace education via kamishibai theater, Cesar Chavez
12	Novels	Learning language and social issues through literature, Meena Keshwar Kamal
13	Speeches	Learning language and social issues through a speech, social activist (TBA)
14	Wrap-up	Reflection and your artistic expression

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You should complete assigned reading and/or homework ahead of time and come to class ready for discussion. Review your lesson after class and complete reflective writing when assigned.

For your presentations, develop a peer teaching session on artistic expressions of diversity or equity issues (peer teaching) and creative multi-media talk on a social activist of your choice (mini-research presentation). Prepare a presentation and discussion appealing and engaging for your peers and rehearse it to be effective.

University guidelines suggest the preparation and review time of around two hours a week for a two-credit course like this one. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

【参考書】

Other readings will be distributed through the course website, Google Classroom. Handouts and resources related to the course content are to be provided in class or made available in Google Classroom as well.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal assessment of your work at the end of the term. The grade on a late assignment may be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)
- 2) Micro teaching and mini research presentations (50%)
- 3) Online reactive writing (15%)
- 4) Final reflection (15%)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Message to the course participants:

This is a relatively new course that requires you to share your ideas, knowledge, and experiences. You will meet interesting peers from various cultures and learn from working with them as well as the instructor.

This course is conducted in English. Students must be competent speakers of English (native or proficient with TOEFL ® iBT 61+ or equivalent). If your scores are TOEFL ® iBT 61 - 100, you can take this course but be ready to make a little more thorough preparation each week.

I expect international and Japanese students of all majors to work collaboratively despite their different cultural and linguistic backgrounds. Come with an open mind and learn from each other!

【学生が準備すべき機器他】

Become familiar with the course website to download readings and post your work. You are also expected to check your university email on a daily basis to keep up with course announcements.

ARSa200LA

Intercultural Communication E 2017 年度以降入学者

サブタイトル:

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 1/Fri.1

単位数: 2 単位

リ・諸/※定員制

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは、ファッションと料理にフランス文化を発見しましょう。

In this class you will discover French culture in fashion and gastronomy. Intercultural part is also important and you will improve your knowledge about French culture.

【到達目標】

ファッションと料理の語彙や表現を発見。学生は、ファッションと料理のテーマについての会話を作ることができるようになります。you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef. You will discover and improve your knowledge about French culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

フランスのファッションとグルメの文化についてのテキストとビデオを制作します。

We will study documents about French fashion and French Gastronomy. For example, you will discover famous French city, Chefs and Stylists. Intercultural part is very important in this class and you will have to think about your own habits and compare with your own culture. You'll have some reports (4 or 5) during the semester and a Final report.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	Presentation	program of the semester
第 2 回	French region	Lyon 1 - All about the beginning of French "cinema"
第 3 回	gastronomy	Lyon 2 - the specificity of Lyon cuisine
第 4 回	Culture	Lyon 3 - what about the cultural aspects of Lyon
第 5 回	Fashion	Coco Chanel -
第 6 回	Gastronomy	Do you know "Champagne" ? how to make champagne and the symbol of this famous drink
第 7 回	Gastronomy	Champagne 2 - What is the Champagne gastronomy ? Champagne is not only a drink, it is a famous region of France too.
第 8 回	Culture	What can you visit in Champagne ?
第 9 回	Gastronomy	Joël Robuchon, one of the famous French chef.

第 10 回 Culture

Paris 1 - Paris's secrets - Museum and places you don't know in Paris

第 11 回 Gastronomy

Paris 2 - What do Parisien eat ? Speciality of Paris

第 12 回 Gastronomy and culture

The art of eating from Middle age to XIXe century

第 13 回 Revision

Fashion and gastronomy revisions

第 14 回 Exam

Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

文献を事前に読む、テキスト・演習問題の予習・復習、授業内で示される課題 (レポート、演習問題) 対応など、準備学習・復習・宿題等の内容を具体的に記述します。Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

dictionary - 辞書

【参考書】

辞書- a dictionary will help you to understand some French sentences or expressions

【成績評価の方法と基準】

出席と参加 - HOMEWORK AND PARTICIPATION : 50%.

最終試験 - FINAL EXAM : 50 %

【学生の意見等からの気づき】

無い

【学生が準備すべき機器他】

For online or On demand classes only, it is important to have a computer and internet connexion.

【Outline (in English)】

In this class you will discover French culture in fashion and gastronomy. Intercultural part is also important and you will improve your knowledge about French culture.

GOAL :

you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef. You will improve your knowledge about French culture.

Work to be done outside of class :

Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

GRADING CRITERIA :

HOMEWORK AND PARTICIPATION : 50%.

FINAL EXAM : 50 %

ARSa200LA

Intercultural Communication F 2017 年度以降入学者

サブタイトル：

STEVE CORBEIL

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

リ・諸／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this class is to learn about the history and culture of French speakers living in the Canadian province of Quebec. Students will look at the very diverse cultural production of Quebec writers, intellectuals, and filmmakers from the 1960s to the present day. The class will focus on one important keyword in order to understand Quebec society and culture: the concept of sovereignty.

*** This class will be conducted online.

【到達目標】

Students will learn the basic theories surrounding the political concept of sovereignty. Then, they will apply these theories in order to better understand Quebec literature and films. They will be able to develop a critical approach to literary and film analysis that takes into account the cultural specificity of Quebec as well as its place in wider debates concerning political independence, minority language and intercultural communication.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a lecture class, but students will have to ask questions during class and give their opinion on many aspects of the lecture. After every class they will have to write comment papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Quebec society from the 1960s	This class will be a survey of Quebec history from the Quiet Revolution to the present day.
2	Introduction to the concept of sovereignty	Students will learn about the concept of sovereignty through analysis of canonical texts.
3	Criticism regarding the concept of sovereignty and nationalism	We will look at the main criticism against sovereignty and nationalism as well as their impact on Quebec nationalist movement.
4	The importance of French language as the foundation of Quebec identity	We will try to understand why French is the cornerstone of Quebec identity.
5	Hockey, French language, and religion	We will watch and analyze a short film based on a novella by Roch Carrier: The Hockey Sweater
6	Personal sovereignty and political sovereignty	We will read and analyze excerpts from a novel by Hubert Aquin: Next Episode
7	Referendum and independence	We will look at the cultural production surrounding the first (1980) and second (1995) Quebec Referendum.
8	Post-referendum identity crisis	We will read and analyze songs and poems, as well as essays about the Referendum.
9	Immigration, identity, and interculturalism	We will look at the different steps taken by the Quebec government to create an inclusive society, and how it conflicts to a certain extent with the idea of sovereignty.
10	Current debates surrounding immigration and interculturalism	We will look at essays and opinion pieces written about immigration in Quebec.

11	Feminism in Quebec	Students will learn about the history of the feminist movement in Quebec.
12	Literature and migration	We will read a text by Kim Thuy and look at the situation of refugees in Quebec.
13	Literature and Quebec migration	We will read a text by Marco Micone.
14	Quebec and cinema	We will watch and analyze a film by Pierre Falardeau.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be asked to read a series of texts by French writers and intellectuals in English translation. They will have to write short commentaries about the texts. Also, they will have to watch short films produced in Quebec. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class.

【参考書】

Jacques Derrida, The Beast and the Sovereign, Volume I (The Seminars of Jacques Derrida), University Of Chicago Press, 2011.

Jacques Derrida, The Death Penalty, Volume I (The Seminars of Jacques Derrida), University Of Chicago Press, 2013.

Hubert Aquin, Next Episode, New Canadian Library, 2010.

Roch Carrier, The Hockey Sweater, Tundra Books, 1985.

Gerard Bouchard, Interculturalism: A View from Quebec, University of Toronto Press, 2015.

Gerard Bouchard, National Myths: Constructed Pasts, Contested Presents, Routledge, 2013.

【成績評価の方法と基準】

Final exam (40%)

Short essays (40%)

Class participation (20%)

【学生の意見等からの気づき】

There has not been negative feedback for this class. I intend to put more emphasis on interaction with students this year.

【学生が準備すべき機器他】

None

LANc200LA

中国語補講 3 I

2017 年度以降入学者

沈 小南

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を固めつつ、中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に学ぶ。

【到達目標】

中級中国語の語彙、文法、表現を習得する。読む力、聴く力を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。

「大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	導入	導入
2 回目	招く	動作の進行形
3 回目	婉曲に断る	1、連用修飾語としての期間を表す名詞 2、動態助詞【了】
4 回目	お詫び	1、結果補語としての形容詞【好】 2、副詞【就】、【才】など
5 回目	残念	1、兼語文 2、【是不是】を用いる反復疑問文
6 回目	称賛	1、文型【又～又～】 2、複文【要是～就～】
7 回目	祝賀	1、結果補語としての【開】、【下】 2、可能補語としての【了】
8 回目	忠告	存現文など
9 回目	比較	1、比較文 2、数量補語
10 回目	趣味	時量補語（1）など
11 回目	言葉	時量補語（2）など
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、春学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『中国語会話 301 文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】

『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】

もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Written examination (40%), Oral examination (30%), in-class contribution (30%)

LANc200LA

中国語補講 3 II

2017 年度以降入学者

沈 小南

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を固めつつ、中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に学ぶ。

【到達目標】

中級中国語の語彙、文法、表現を習得する。読む力、聴く力を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。

「大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	復習	復習
2 回目	旅行（1）	1、方向補語（3） 2、反語文
3 回目	旅行（2）	1、動作の持続 2、結果補語としての【見】
4 回目	旅行（3）	1、形容詞の重ね型 2、可能補語（2）
5 回目	診察を受ける	1、【把】文（1） 2、【一～就～】
6 回目	見舞い	受動文
7 回目	お別れの挨拶	1、時量補語（3） 2、【有的～、有的～】
8 回目	送別会	1、複文【雖然～但是～】 2、【把】文（2）
9 回目	託送	1、複文【不但～而且～】 2、可能補語としての【動】
10 回目	送別（1）	1、動作の持続と進行 2、【不如】を用いる比較文
11 回目	送別（2）	1、【把】文（3） 2、慣用句【～了～就～】
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、秋学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『中国語会話 301 文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】

『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】

もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Written examination (40%), Oral examination (30%), in-class contribution (30%)

LANc200LA

中国語補講 3 I

2017 年度以降入学者

沈 小南

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を固めつつ、中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に学ぶ。

【到達目標】

中級中国語の語彙、文法、表現を習得する。読む力、聴く力を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。

「大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	導入	導入
2 回目	招く	動作の進行形
3 回目	婉曲に断る	1、連用修飾語としての期間を表す名詞 2、動態助詞【了】
4 回目	お詫び	1、結果補語としての形容詞【好】 2、副詞【就】、【才】など
5 回目	残念	1、兼語文 2、【是不是】を用いる反復疑問文
6 回目	称賛	1、文型【又～又～】 2、複文【要是～就～】
7 回目	祝賀	1、結果補語としての【開】、【下】 2、可能補語としての【了】
8 回目	忠告	存現文など
9 回目	比較	1、比較文 2、数量補語
10 回目	趣味	時量補語（1）など
11 回目	言葉	時量補語（2）など
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、春学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『中国語会話 301 文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】

『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】

もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Written examination (40%), Oral examination (30%), in-class contribution (30%)

LANc200LA

中国語補講 3 II

2017 年度以降入学者

沈 小南

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を固めつつ、中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に学ぶ。

【到達目標】

中級中国語の語彙、文法、表現を習得する。読む力、聴く力を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。

「大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	復習	復習
2 回目	旅行（1）	1、方向補語（3） 2、反語文
3 回目	旅行（2）	1、動作の持続 2、結果補語としての【見】
4 回目	旅行（3）	1、形容詞の重ね型 2、可能補語（2）
5 回目	診察を受ける	1、【把】文（1） 2、【一～就～】
6 回目	見舞い	受動文
7 回目	お別れの挨拶	1、時量補語（3） 2、【有的～、有的～】
8 回目	送別会	1、複文【雖然～但是～】 2、【把】文（2）
9 回目	託送	1、複文【不但～而且～】 2、可能補語としての【動】
10 回目	送別（1）	1、動作の持続と進行 2、【不如】を用いる比較文
11 回目	送別（2）	1、【把】文（3） 2、慣用句【～了～就～】
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、秋学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『中国語会話 301 文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】

『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】

もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Written examination (40%), Oral examination (30%), in-class contribution (30%)

LANc200LA

中国語補講 3 I

2017 年度以降入学者

王 安

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 5/Thu.5

単位数: 1 単位

※定員制

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。課題などに対するフィードバックは随時授業内で行います。授業形態については、4 月の新学期に Hoppii の「お知らせ」をご確認ください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課 自我紹介	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目: 前置詞“在、跟”などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課 自我紹介	実践練習: 自己紹介の仕方 (自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など)
4 回	第 2 課 李×有很多×好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目: 前置詞“对”“从”の用法、助動詞“打算”の用法。
5 回	第 2 課 李×有很多×好	実践練習: 様々な趣味の中国語の言い方を身につけ、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 ×大×的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目: 連動文、様態補語、時間副詞の用法。

7 回	第 3 課 ×大×的一天	実践練習: 連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 ×芳的××	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目: 助動詞“能”の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 ×芳的××	実践練習: 中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我×是去年×的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目: “是…的”構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我×是去年×的	実践練習: 中国語の“是…的”構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的”構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道“×××”×?	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目: 前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了”の使い方、助動詞“要”の用法
13 回	第 6 課 你知道“×××”×?	実践練習: 中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は各 3 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版
2200 円 + 税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円 (同学社)
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (課題 45 %) + 総合まとめ課題 (55 %/2 回) = 100 点で評価します。
注意点: ①課題の未提出は 8 点減点/一回
②課題提出の遅れは 4 点減点/一回
(提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません)

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

・音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。
・オンライン授業を受講するため通信環境・PC 等の準備をしてください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.
(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 3 hours reviewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%
- middle-test and final test: 55%

LANc200LA

中国語補講 3 II

2017 年度以降入学者

王 安

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。

課題などに対するフィードバックは随時授業内で行います。

なお、授業形態については、4 月の新学期に Hoppii の「お知らせ」をご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 7 課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明 実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
2 回	第 7 課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明 実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
3 回	第 8 課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明 実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
4 回	第 8 課	①日本の“動漫”に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。
5 回	第 9 課	
6 回	第 9 課	
7 回	第 10 課	

8 回	第 1 0 課	実践練習： 日本の“動漫”が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。	- middle-test and final test: 55%
9 回	第 1 1 課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。	
10 回	第 1 1 課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。	
11 回	第 1 2 課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。	
12 回	第 1 2 課 第 1 3 課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する	
13 回	第 1 4 課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ	
14 回	期末試験	筆記試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
- 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
- 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。

本授業の準備学習・復習時間は各 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『標準中国語読解力 UP 編』 王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝ 1 0 0 点で評価します。

注意点：①課題の未提出は 8 点減点/一回

②課題提出の遅れは 4 点減点/一回

（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内

と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

- ・音声教材を聴くことができる機器が必要です。
- ・オンライン授業を受講するため通信環境・PC 等の準備をしてください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.

(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 3 hours reviewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%

LANc200LA

中国語補講 3 I

2017 年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を理解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。具体的にはテキストの本文を何も見ないで聞き取れるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

ペアワークを中心に音読（①すべて見る②ピンインを隠す③何も見ない）、和訳練習（何も見ない）、中訳練習（何も見ない）、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。課題等へのフィードバックは授業時に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション初級の復習
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉渥氷
(朝日出版社)

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著 (同学社)

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度 40 % ・ 小テスト 20 % ・ 期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

対面を基本としますが状況によりオンライン授業を行う場合があります。受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level.

At the end of the course, students should be able to do the followings:

- pronounce words and sentences accurately without “Hanyu Pinyin” (Romanization systems for Mandarin Chinese).
- acquire basic grammar and read the contents of short texts.
- recite a short sentences.
- understand and use simple conversational expressions.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content by practicing with audio materials (CD).

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 40%、Short tests : 20%、in class contribution: 40%.

LANc200LA

中国語補講 3 II

2017 年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を理解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

基礎的な中国語運用能力を高めることを目標とする。特に中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させること、具体的にはテキスト本文を何も見ないで聞き取れるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

ペアワークを中心に音読（①すべて見る②ピンインを隠す③何も見ない）、和訳練習（何も見ない）、中訳練習（何も見ない）、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。課題等へのフィードバックは授業時に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・復習	授業イントロダクション・1 課～6 課の復習
2	第 7 課	文法・本文
3	第 7 課	応用練習
4	第 8 課	文法・本文
5	第 8 課	応用練習
6	第 9 課	文法・本文
7	第 9 課	応用練習
8	第 10 課	文法・本文
9	第 10 課	応用練習
10	第 11 課	文法・本文
11	第 11 課	応用練習
12	第 12 課	文法・本文
13	第 12 課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉渥水
(朝日出版社)

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著 (同学社)

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度 40 % ・小テスト 20 % ・期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

対面を基本としますが状況によりオンライン授業を行う場合があります。受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level.

At the end of the course, students should be able to do the followings:

- pronounce words and sentences accurately without “Hanyu Pinyin” (Romanization systems for Mandarin Chinese).
- acquire basic grammar and read the contents of short texts.
- recite a short sentences.
- understand and use simple conversational expressions.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content by practicing with audio materials (CD).

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 40%, Short tests : 20%, in class contribution: 40%.

LANs200LA

スペイン語補講 3 I

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir の活用と用法復習 (テキスト：第 1 課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト：第 1 課)
3	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír 不定詞表現	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír の活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト：第 2 課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde	現在分詞、及び関係詞 que と donde の復習 (テキスト：第 2 課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト：第 3 課)
6	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar 型動詞の復習 (テキスト：第 3 課)

7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト：第 3 課)
8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト：第 4 課)
9	直説法点過去	直説法点過去（規則活用及び不規則活用）の復習 (テキスト：第 4 課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト：第 4 課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト：第 5 課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト：第 5 課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト：第 5 課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』（朝日出版）、2,500 円＋税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。

<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

スペイン語補講 3 II

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 2/Fri.2

単位数: 1 単位

※定員制

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するように心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
3	接続法現在規則動詞	接続法の概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第 7 課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第 7 課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 7 課、第 8 課)
6	関係節における接続法	関係節 (形容詞節) での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 8 課)

9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第 8 課)
10	2 人称に対する命令形	2 人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第 6 課)
11	2 人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2 人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第 6 課、第 11 課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第 11 課)
13	数 (1 から 1 千万) 秋学期の復習	1 から 1 千万までの数詞 (テキスト: 第 12 課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

ARSe200LA

Intercultural Communication G 2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：2 単位

リ・諸／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of the course is to provide students with opportunities to broaden their knowledge of Japan, especially in the areas of geography, history, education, family, gender, culture and so on.

Through the course, students will deepen their knowledge of Japan, which may support communication with Japanese people inside and outside of the campus.

Materials of each class will be available from Hoppi.

Every class includes quizzes or/and assignments.

Students are required to answer quizzes after the class.

Feedbacks on each task will be given through Hoppi.

【到達目標】

Through the course, students will deepen their knowledge of Japan, which may support communication with Japanese people inside and outside of the campus.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

Materials of each class will be available from Hoppi.

Every class includes quizzes or/and assignments.

Students are required to answer quizzes after the class.

Feedbacks on each task will be given through Hoppi.

There is a possibility that the schedule may be modified.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Class orientation
Week 2	Geography	Introduction to geographical variations in Japan
Week 3	Religion 1	Religions in modern Japan: an overview
Week 4	Religion 2	Shinto and shrine
Week 5	Religion 3 (Fieldwork)	Ethnicity and minorities in modern Japan Visiting a shrine
Week 6	Culture 1	Introduction to Tea ceremony
Week 7	Culture 2	Introduction to Japanese garden
Week 8	Culture 3 (Fieldwork)	Visiting a Japanese garden
Week 9	Social systems	Politics, Education etc.
Week 10	Demography	Demographic crisis
Week 11	Gender issues	Introduction to gender stratification in Japan today

Week 12	Family system	Concept of ie (家), marriage, birth, gender roles.
Week 13	Minority groups 1	Ainus and Okinawans
Week 14	Minority groups 2	Zainichi Korean, Burakumin, and newcomers.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1 hours a week(Quizzes and/or Mini report)

【テキスト（教科書）】

Original handouts

【参考書】

Lyon, V., Bestor, T.C. with Yamagata, A.(ed.), Routledge Handbook of Japanese culture and society, Routledge, 2011.

Sugimoto, Y., An Introduction to Japanese society 4th ed., Cambridge University Press, 2014.

【成績評価の方法と基準】

Quizzes and assignments 50%

Report 50%

【学生の意見等からの気づき】

Nothing special

【その他の重要事項】

There is a possibility that the schedule may be modified.

【Outline (in English)】

The purpose of the course is to provide students with opportunities to broaden their knowledge of Japan, especially in the areas of geography, history, education, family, gender, culture and so on.

Through the course, students will deepen their knowledge of Japan, which may support communication with Japanese people inside and outside of the campus.

Materials of each class will be available from Hoppi.

Every class includes quizzes or/and assignments.

Students are required to answer quizzes after the class.

Feedbacks on each task will be given through Hoppi.

ARSe200LA

Intercultural Communication H 2017 年度以降入学者

サブタイトル: Japanese Culture

山本 そのこ

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 2 単位

リ・諸/※定員制

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The objective of this course is to provide students with a brief survey of Japanese culture, covering both traditional and modern aspects. It also aims to raise students' awareness of the Japanese culture as well as their own, which will promote a better intercultural communication with local people. Classes will consist of lectures and various activities, including discussions, reaction paper writing, and student presentations.

【到達目標】

At the end of this course, the students are expected to have a clearer and deeper understanding of Japanese culture and people, which eventually facilitates intercultural communication with Japanese people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course will consist of primarily lectures, discussions and presentations. Students are expected to actively participate in class-group discussions and oral presentations.

The basic language used in class will be English, however, occasionally Japanese will be also used because of the nature of our topics.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Class Orientation and Self-Introduction	[A selection process may occur.] ・ class-orientation ・ self-introduction
W 2	Stereotypes	・ greetings(as a part of culture) ・ What is a stereotype? ・ Image of Japan: Collectivism, homogeneity and vertically structured society.
W 3	Geography	・ Outline of Japanese geography.
W 4	Seasonal Events ①	・ Seasonal events from April to September.
W 5	Seasonal Events ②	・ Seasonal events from October to March.
W 6	Rituals	・ Common rituals in Japanese life.
W 7	Beliefs	・ Religions. ・ Taboos, superstitions, ghosts and the supernatural.
W 8	Foods	・ Japanese traditional foods and drinks, including home-cooking, bento, Kaiseki and Teas.
W 9	Theater	Noh, Kabuki, Bunraku
W 10	Communication ①	・ Characteristics of verbal communication.
W 11	Communication ②	・ Characteristics of non-verbal communication.
W 12	Architecture and Urban Planning	・ Housing ・ Brief history and characteristics of Edo/Tokyo. ・ Natural disasters and their influence on architecture.
W 13	People	・ History & varieties. ・ 'Minorities' ・ Political correctness issues.
W 14	Final Exam	Review Check of the whole course.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・ Reading of assigned materials
- ・ Preparation for allotted presentation.

・ University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト (教科書)】

Handouts

【参考書】

- ・ 日鉄住金総研『日本 その姿と心』NIPPON JAPAN THE LAND AND ITS PEOPLE 学生社 (2014) < DVD >
- ・ 松本美江『英語で日本紹介ハンドブック』アルク (2014) (MATSUMOTO Mie, An Introductory Handbook to Japan and Its People, ALC)
- ・ E. Meyer "The Culture Map : Breaking Through the Invisible Boundaries of Global Business" Public Affairs, 2014
- ・ Nisbett Ph.D., Richard "The Geography of Thought: How Asians and Westerners Think Differently...and Why" Free Press, 2004
- *Additional relevant literature will be introduced in class as necessary.

【成績評価の方法と基準】

Class participation 30%

Presentation 30 %

Reaction paper writhing 10%

Final examination 30%

【学生の意見等からの気づき】

If the conditions permit, the students will have more discussions with their classmates who have various cultural backgrounds, concerning not only Japanese culture but also the cultures of their own. Also if the situation allows, face-to-face class and some fieldwork activities are to be planned, just as until 2019.

【学生が準備すべき機器他】

Device to access Google Classroom and ZOOM.

【その他の重要事項】

★ The class starts on the 9th April.

★ Be sure to join Google Classroom.

★ Check Hoppii and your Hosei account mail!

・ Do not miss the first class as the detailed syllabus will be handed out and a selection process may occur.

・ The schedule may be subject to change based on class size and other factors.

ART200LA

Humanities A

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Japanese Literature II.

URBANOVA Jana

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：2 単位

リ・人／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

【到達目標】

Goals:

1. to learn about the major literary figures of pre-modern, modern and contemporary Japanese literature
2. to gain an appreciation of the depth and atmosphere of their literary works as well as the beauty of the English translations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to deliver a class presentation on a given topic, to submit a short written summary of the presentation topic and an essay and to complete a short written exam at the end of the semester. The topics for the presentation will be distributed at the beginning of the course. Comments and explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; brief self-introduction; scheduling of presentations
2.	Transience in Japanese poetry	The concept of transience as portrayed in <i>Essays in Idleness</i> (<i>Tsurezuregusa</i> , written by Buddhist priest <i>Kenkō</i>) the <i>waka</i> anthology <i>A Hundred Poems by a Hundred Poets</i> (<i>Hyakunin Isshu</i> , compiled by <i>Fujiwara no Teika</i>)
3.	<i>Haikai</i> poetry	Transition from comic <i>haikai</i> poetry to the mastering of <i>haiku</i> ; <i>Matsuo Bashō</i> ; Hints for appreciating and writing <i>haiku</i>
4.	Poetry of Okinawa	Two women poets of Okinawa: <i>Yoshiya Tsuru</i> and <i>Onna Nabe</i> and their <i>ryūka</i> poems
5.	Literature of the floating world	The rising merchant society during the <i>Edo</i> period; stories of the floating world (<i>ukiyo zōshi</i>); <i>Ihara Saikaku: The Life of an Amorous Man</i> (<i>Kōshoku Ichidai Otoko</i>) and <i>Five Women who Loved Love</i> (<i>Kōshoku Gonin Onna</i>)
6.	Tales of the supernatural in pre-modern literature	<i>Ueda Akinari</i> and his <i>Tales of Moonlight and Rain</i> (<i>Ugetsu Monogatari</i>)
7.	Tales of the supernatural in modern literature	<i>Akutagawa Ryūnosuke</i> and the influence of <i>Japanese Tales from Times Past</i> (<i>Konjaku Monogatari Shū</i>); short stories <i>In a Grove</i> (<i>Yabu no Naka</i>) and <i>Rashōmon</i>

8.	The world of fantasy and reality of <i>Miyazawa Kenji</i>	<i>Miyazawa Kenji</i> : fantasy novel <i>Milky Way Railroad</i> (<i>Ginga Tetsudō no Yoru</i>), poem <i>Be not Defeated by the Rain</i> (<i>Ame ni mo makezu</i>)
9.	Modern novelists, Part 1	<i>Natsume Sōseki</i> : his life and literary works, particularly the novel <i>I Am a Cat</i> (<i>Wagahai wa Neko de aru</i>)
10.	Modern novelists, Part 2	<i>Mishima Yukio</i> (<i>Confessions of a Mask</i> ; <i>Kamen no Kokuhaku</i>)
11.	Modern novelists, Part 3	<i>Tanizaki Junichirō</i> and his works <i>The Key</i> (<i>Kagi</i>) and <i>In Praise of Shadows</i> (<i>Inei Raisan</i>)
12.	Modern novelists, Part 4	Nobel Prize winner <i>Kawabata Yasunari</i> and his masterpiece <i>Snow Country</i> (<i>Yukiguni</i>)
13.	Contemporary literature	<i>Yoshimoto Banana</i> and <i>Haruki Murakami</i> and their representative works
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation and essay; final written exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please prepare a short self-introduction for the first class. In addition, each student will be asked to deliver an oral presentation on a designated topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. Students are also expected to actively engage in class discussions and to revise all of the readings done in class, as they will form the basis for the discussions and questions on the final exam. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

No textbooks will be used. Handouts and reading materials on each lesson's topic together with the specified sources will be distributed by the lecturer at the beginning of each lesson.

【参考書】

Selected references:

Keene, Donald. *Appreciations of Japanese Culture*. Tokyo, New York & London: Kodansha International, Ltd., 1971. First paperback edition, 1981.

Keene, Donald. *World Within Walls - Japanese Literature of the Pre-Modern Era, 1600-1867*. New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976.

Petersen, Gwen Boardman. *The Moon in the Water - Understanding Tanizaki, Kawabata and Mishima*. Honolulu: The University Press of Hawaii, 1979.

Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

【成績評価の方法と基準】

Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (50%); final examination and essay (50%).

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

【学生が準備すべき機器他】

Please check HOPPII for further instructions about the course.

ARSc200LA

Humanities B

2016 年度以前入学者

サブタイトル: America in the 20th Century

Richard.J.Burrows

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 2 単位

リ・人/※定員制

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Despite the rise of powers in Asia such as China & India, the US remains the pre-eminent global power and a key to understanding its prominence lies in an understanding of its rise as a superpower during the 20th century. Therefore, this course will focus on key political, economic & cultural developments during the latter half of that period, how they contributed to the rise of American power and continue to influence nations around the world, especially in Asia. Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century.

【到達目標】

Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the US from the end of World War I to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how those events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter the 21st century. Furthermore, an audio-visual element will allow students to sharpen their listening skills and engage in comprehension activities.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Explanation	Course Introduction
Week 2	Course Assignments	Presentation Skills
Week 3	Innovation	The Wright Brothers
Week 4	The Pacific Conflict	US in World War II
Week 5	Post-War Settlement	Bombing of Hiroshima
Week 6	Technology	Breaking the Sound Barrier
Week 7	The Fight Against Communism	The Vietnam War
Week 8	The Civil Rights Movement	Martin Luther King
Week 9	A Divided Nation	The Anti-War Movement
Week 10	Civil Unrest & Violence	The Assassination of JFK

Week 11	Watergate	The End of Nixon
Week 12	The Space Race	The Apollo Landings
Week 13	A New Conservatism	Reagan & the Religious Right
Week 14	Course Review	The 20th Century Influence on the Present Day

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to make a presentation and submit a report on a relevant theme during the semester. In addition, regular reading assignments will be set with comprehension & vocabulary questions, which will require 4 hours each week. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

None, but students are required to download & prepare the required material before class.

【参考書】

An electronic or smart phone English dictionary, or dictionary app is required at every class

【成績評価の方法と基準】

Classwork & Participation 30%

Homework 30%

Presentation 20%

Report 20%

【学生の意見等からの気づき】

A minimum of 1 weeks notice for all homework assignments, & 1/2 month's notice for the report & presentation, will be given to the students, depending on the presentation/assignment schedule

【学生が準備すべき機器他】

Since all materials will be available online, students need to either download & print the necessary file, or download and have it ready on their laptop or tablet device, before the start of each class. In addition, students need to have access to a pc in order to prepare their presentation & report

【その他の重要事項】

Please join this class if you have an interest in this topic, a desire to improve your English skills, and are willing to attend classes on a regular basis and submit all homework & other assignments on time.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

POL200LA

Social Science A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global and Regional Governance

SCHIFANO ADRIEN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：2 単位

リ・社／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

By what process are policies coordinated and actions concerted with regard to global issues? How and by whom are these processes organized and structured? Treating global governance as a process, this course examines how global governance functions at both international and regional levels through cases of Europe and East Asia. Henceforth, the course considers how these different levels of governance interact with regard to three different global issues and the policies built in response thereto in the two areas studied.

【到達目標】

By the end of the course, students are expected to have acquired:

1. a good understanding of the structures and processes of global governance at both international and regional levels
2. a firm grasp of the diversity of actors involved in the global governance process
3. comprehension of the specific characters of global governance and corresponding issues and challenges

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture. Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an organization of their choice that will result in a presentation during the second half of the semester (starting week 9) and a written report to be submitted at the end of the semester. This will be performed collectively or individually depending on the number of students attending the course. Feedback by peers and the instructor will be given in class.

Course contents will vary depending on number of students presentations to be performed in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Definitions, history, actors and institutions; methodology.
2.	Global governance I	Agenda and policy making.
3.	Global governance II	Decision-making processes.
4.	Global governance III	Follow-up mechanisms.
5.	Global governance IV	Prevention and settlement of conflicts.

6.	Regional governance I	Europe (1): historical background, institutional landscape, and challenges.
7.	Regional governance II	Europe (2): agenda and policies.
8.	Regional governance III	East Asia (1): historical background, institutional landscape, and challenges.
9.	Regional governance IV	East Asia (2): agenda and policies.
10.	Processes of global governance I	Promoting and protecting human rights and fundamental freedoms
11.	Processes of global governance II	Managing marine resources
12.	Processes of global governance III	Liberalizing trades
13.	Issues affecting global governance	Consistency, effectiveness, legitimacy Democratic deficit
14.	Conclusion	Towards a world government?

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None.

【参考書】

Thomas G. WEISS and Rorden WILKINSON (editors), International Organization and Global Governance (2014) Routledge (ISBN 978-0-415-62760-3)

Thomas G. WEISS, Global Governance, Why? What? Whither? (2013) Polity (ISBN 978-0745660462)

Colin I. BRADFORD and Johannes F. LINN (editors), Global Governance Reform, Breaking the Stalemate (2007) Brookings Institution Press (ISBN 978-0-8157-1363-0)

Michael BARNETT and Raymond DUVALL, Power in Global Governance (2005) Cambridge University Press (ISBN 978-0521840248)

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including homework and discussions): 50%; research project: 50% (presentation in class: 30%; written report: 20%).

【学生の意見等からの気づき】

Course material has been reviewed. Visuals have been improved.

【学生が準備すべき機器他】

A pen and some paper are a must.

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: adrien.schifano.58@hosei.ac.jp

In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face. The first class will be held online, following the same guidelines.

【Outline (in English)】

By what process are policies coordinated and actions concerted with regard to global issues? How and by whom are these processes organized and structured? Treating global governance as a process, this course examines how global governance functions at both international and regional levels through cases of Europe and East Asia. Henceforth, the course considers how these different levels of governance interact with regard to three different global issues and the policies built in response thereto in the two areas studied.

POL200LA

Social Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル: International Organizations

SCHIFANO ADRIEN

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 5/Thu.5

単位数: 2 単位

リ・社/※定員制

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course aims at providing students with an overview of the phenomenon, great in both scale and scope, styled 'international organizations' in its diversity and unity.

The course starts by focusing on the concept of international organization proper, and examines how these are inherently political societies wherein power happens and is organized according to certain structures. The course then moves on modalities for international organizations interacting with both each other and States, with a particular attention given to functions organizations perform amid the international society.

【到達目標】

By the end of the course, it is expected that students:

1. acquire a good understanding of the nature of international organizations
2. have a grasp of the common principles according to which international organizations operate
3. have a concrete knowledge of several international organizations
4. acquire a critical understanding of the roles and functions that international organizations perform amid the global society, as well as issues and challenges pertaining thereto

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture.

Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an organization of their choice that will result in a presentation during the second half of the semester (starting week 9) and a written report to be submitted at the end of the semester. This will be performed collectively or individually depending on the number of students attending the course. Feedback by peers and the instructor will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Historical and theoretical background.
2.	Proper operation I	Nature of international organizations: Definition(s), classifications, functions.
3.	Proper operation II	Creation of international organizations: Constitutive elements, creators, modalities, outcome.
4.	Proper operation III	Organizations as social groups (1) - Anatomy: Persons, elites, organs, agents, officials.
5.	Proper operation IV	Organizations as social groups (2) - Autonomy: Self-governance?, solidarity of the members, norms, degree of fiction in autonomy.
6.	Proper operation V	Organizations as social groups (3) - Leadership: Distribution of power, social functions, structural design.
7.	External relations I	Diplomatist function: participation, statuses, rights and obligations, privileges.

8.	External relations II	External Powers: functional aspects, dual role, other functions.
9.	Functions performed by organizations amid the international society I	Legislative function: direct or indirect, policy coordination, decision making
10.	Functions performed by organizations amid the international society II	Executive function: compliance, control/monitoring, inspection, reporting, service providing, enforcement, use of force
11.	Functions performed by organizations amid the international society III	Judicial function: prevention of disputes, settlement of disputes, sorts, modalities
12.	Coordination among organizations I	Cooperation: ad hoc coordination, permanent coordination, institutionalized coordination, modalities and technique
13.	Coordination among organizations II	Hierarchical model: universal and regional, systems of organizations
14.	Conclusion: current issues surrounding international organizations	Proliferation of international organizations, lack in framing their powers, fragmentation, redundancy, competition, forum-shopping, uncertainty, coordination

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト (教科書)】

None.

【参考書】

Volker RITTBERGER, Bernhard ZANGL, and Andreas KRUCK, International Organization (2019, 3rd ed.) Palgrave Macmillan (ISBN 978-1137610041);
Jan KLABBERS, An Introduction to International Organizations Law (2015, 3rd ed.) Cambridge University Press (ISBN 978-1107439719);
Michael BARNETT and Martha FINNEMORE, Rules for the World, International Organizations in Global Politics (2004) Cornell University Press (ISBN 978-0-8014-8823-8);
Jacob KATZ COGAN, Ian HURD, and Ian JOHNSTONE (editors), The Oxford Handbook of International Organizations (2017) Oxford University Press (ISBN 9780199672202);

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including homework and discussions): 40%;
research project: 60% (presentation in class: 30%; written report: 30%).

【学生の意見等からの気づき】

Contents and slides updated.

【学生が準備すべき機器他】

A pen and some paper.

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: adrien.schifano.58@hosei.ac.jp
Students can contact the instructor at: adrien.schifano.58@hosei.ac.jp
In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face. The first class will be held online, following the same guidelines.

BSC200LA

Natural Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Chemistry for environmental issues

西村 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

リ・自／※定員制

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀： 実務教員：

【学生の意見等からの気づき】

none

【学生が準備すべき機器他】

none

【none】

none

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

【到達目標】

The goal of this course is for students to learn environmental problems through chemistry. The objective 1) entirely environmental problems in the world; 2) to learn them you understand basic chemistry; 3) they think about solving the imminent problems by themselves.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be tested on their knowledge of chemistry at the beginning of the course, and the contents for the first three weeks of the course will be decided, based on the test results. After that, many different environmental problems are explained each week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of the course and explanation of some terminology. Test your chemistry level.
2	Basic chemistry 1	Learning the chemical skills to study this course.
3	Basic chemistry 2	Learning the chemical skills to study this course.
4	Mini test-1	Review learning.
5	Environmental problems overview	Small topics of environmental problems.
6	Ozone holes	Stratospheric air chemistry.
7	Air pollution	Tropospheric air chemistry and effect of air pollution on our health.
8	Greenhouse effect	Climates change
9	Greenhouse effect-DVD	Climates change
10	Mini test-2	Review learning
11	Solid, toxic, and hazardous wastes	What do we do with the wastes?
12	Water pollution and water shortage	The basic chemistry of natural water.
13	Energy and fuels	Current energy system and alternative energy sources.
14	Final test	Overall review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Write short essays. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Reaction Paper (30%), Mini tests (30%), Final test (40%)

HSS200LA

Health and Physical Education 2016 年度以前入学者

サブタイトル:

秋本 成晴

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 2 単位

リ・保/※定員制

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Understanding the various physical activities and their effect on daily health and/or fitness level. Learning to develop teamwork and the role of the individual within a group through various exercises that require technique and/or tactical knowledge.

【到達目標】

1. Learning about various ways of exercising.
2. Understanding the basics of a healthy lifestyle.
3. Learning about basic self control and its importance.
4. Exercising simple decision making, leadership, communication in a dependent and co-dependent environment.
5. Creating a demand for future self-education and self-development.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This class is comprised of 5 lectures and 9 practical lessons; however, this may be changed due to the situation of COVID-19 and the university guidelines. Currently this class is planned to be held offline (face to face), therefore, please follow the university guidelines carefully when you participate in classes (e.g. sanitizing your hands prior to participation). If you have any difficulty to participate due to the situation of COVID-19, please inform the teacher as soon as possible in order to participate online.

Furthermore, due to the coronavirus pandemic, if there are too many students registered for this class, we may have to choose students via random selection in order to avoid a large group gathering. Further details of this will be announced through Hoppii before the first lesson starts.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance (Lecture)	Introduction of the course.
2	Walking & Stretching (Lecture & Practical Lesson)	Learning how to stretch and the importance of walking in everyday life.
3	Physical Fitness Test (Lecture & Practical Lesson)	In addition to conducting physical fitness tests, students will evaluate and discuss the results.
4	Table Tennis (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of table tennis.

5	Sound Table Tennis (Lecture & Practical Lesson)	Learning about game based table tennis as well as its adaptation for people with visual impairments.
6	Principles of Training (Lecture & Practical Lesson)	Learning the basic principles of training.
7	Disability Sport (Lecture)	Learning the outline of disability sports.
8	Badminton (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of badminton.
9	Football (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of football.
10	Disability Sport 2 (Lecture)	Learning about adaptation in sports.
11	Boccia (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of boccia.
12	Basketball (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of basketball.
13	Volleyball (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of volleyball.
14	Summarizing the Course (Lecture)	Overview of the course and summarizing what students have learned through group discussions.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Each student is required to prepare themselves to have a good physical and mental condition in order to participate safely in the lesson. Also, each student is required to study for 2 hours before and after each lesson accordingly.

【テキスト (教科書)】

No textbook will be used.

【参考書】

Reference books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on the following:

- ・ Understanding of class content, reports and reaction papers assigned in each class, etc.: 60%.
- ・ Active participation in the class: 20%.
- ・ Final report: 20%.

If you are absent from class or submit assignments after the deadline, your grade will be lowered. Also, arriving late to class will affect your grades, so be sure to arrive to class early. The same applies to those who are late because of delays in public transportation (except for major delays).

Moreover, if attendance is less than 2/3 of the total number of classes, the student will receive a grade of "E" for insufficient time to complete the course for credit.

【学生の意見等からの気づき】

- ・ In the Covid-19 pandemic, there was a lot of feedback about changes in lifestyle and exercise habits. In light of this, this class will flexibly change the course content according to the social situation and students' needs at the time, and provide learning that is more suited to students' situations.
- ・ We have heard that the number of interactions among students in the class has decreased due to the shift to online classes during the Covid-19 pandemic. Therefore, this class aims to provide an opportunity to learn through active interaction among students.

【学生が準備すべき機器他】

- ・ Each student is required to bring their own proper sports wear and indoor shoes for practical lessons.

【その他の重要事項】

- ・ The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants and available facilities as well as the situation of COVID-19 and university guidelines.
- ・ If students do not feel well or have (possible) injuries before or after the class, students must inform their condition to the teacher for safety.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。基本的な操作方は情報処理演習Ⅰで学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 年

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3～4 回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00～6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主に Excel2010 (表計算ソフト) と PowerPoint2010 (プレゼンテーションソフト) の操作方法を学びます。基本的な操作方法は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 年

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3～4 回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will be able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00～6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主に Excel2010 (表計算ソフト) と PowerPoint2010 (プレゼンテーションソフト) の操作方法を学びます。基本的な操作方は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3～4 回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00～6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主に Excel2010 (表計算ソフト) と PowerPoint2010 (プレゼンテーションソフト) の操作方法を学びます。基本的な操作方法は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3～4 回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00～6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に、表計算ソフト、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自小レポートを作成する。

なお、コロナの状況によっては、座学の回をオンラインで行う可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	インターネットとメディアリテラシ	インターネットの歴史と仕組み、電子メールについて学ぶ
第 2 回	エクセルその 1	Excel の概要と用語、基本的な使い方について学ぶ
第 3 回	エクセルその 2	データの移動・コピーと数式の使い方を学ぶ
第 4 回	エクセルその 3	関数の使い方と条件分岐について学ぶ
第 5 回	エクセルその 4	グラフの描画とデータ処理の基本を学ぶ
第 6 回	エクセルその 5	総合課題を通して関数の応用を学ぶ
第 7 回	エクセルその 6	総合課題の続きとして、フィルタとデータの自動生成について学ぶ
第 8 回	World Wide Web	WWW(ホームページ)の仕組みとサーチエンジンについて学ぶ
第 9 回	パワーポイントその 1	PowerPoint の基本的な使い方と発表操作について学ぶ
第 10 回	パワーポイントその 2	アニメーションや表、グラフの扱い方について学ぶ
第 11 回	パワーポイントその 3	総合課題を通じ、実用的なスライドの作成について学ぶ

第 12 回	インターネットとメディアリテラシその 1	インターネットの安全性について、匿名性や情報の保護について学ぶ
第 13 回	インターネットとメディアリテラシその 2	インターネットにおける著作権やウィルス、ネット犯罪について学ぶ
第 14 回	総括	I・II を通して学んだ内容について総括する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を中心として進める予定であり、インターネットにアクセス可能なパーソナルコンピュータを準備してください

【その他の重要事項】

情報処理演習 II は春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習 II を受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00 ~ 6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に、表計算ソフト、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自小レポートを作成する。

なお、コロナの状況によっては、座学の回をオンラインで行う可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	インターネットとメディアリテラシ	インターネットの歴史と仕組み、電子メールについて学ぶ
第 2 回	エクセルその 1	Excel の概要と用語、基本的な使い方について学ぶ
第 3 回	エクセルその 2	データの移動・コピーと数式の使い方を学ぶ
第 4 回	エクセルその 3	関数の使い方と条件分岐について学ぶ
第 5 回	エクセルその 4	グラフの描画とデータ処理の基本を学ぶ
第 6 回	エクセルその 5	総合課題を通して関数の応用を学ぶ
第 7 回	エクセルその 6	総合課題の続きとして、フィルタとデータの自動生成について学ぶ
第 8 回	World Wide Web	WWW(ホームページ)の仕組みとサーチエンジンについて学ぶ
第 9 回	パワーポイントその 1	PowerPoint の基本的な使い方と発表操作について学ぶ
第 10 回	パワーポイントその 2	アニメーションや表、グラフの扱い方について学ぶ
第 11 回	パワーポイントその 3	総合課題を通じ、実用的なスライドの作成について学ぶ

第 12 回	インターネットとメディアリテラシその 1	インターネットの安全性について、匿名性や情報の保護について学ぶ
第 13 回	インターネットとメディアリテラシその 2	インターネットにおける著作権やウィルス、ネット犯罪について学ぶ
第 14 回	総括	I・II を通して学んだ内容について総括する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を中心として進める予定であり、インターネットにアクセス可能なパーソナルコンピュータを準備してください

【その他の重要事項】

情報処理演習 II は春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習 II を受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00 ~ 6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。

初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。

プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I (春学期科目) と同じタイミングで 4 月上旬 (春学期の授業開始前) の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業ですが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。1 回目の授業はオンラインなので必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF 、 SUMIF 、 AVERAGEIF 、 COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、 Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、 Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ【第 3 版】

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム **Hoppii** への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、**Word・Excel・PowerPoint・Zoom** が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目)と同じタイミングで 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 **HP** の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システム **Hoppii** の「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。1 回目の授業はオンラインなので必ず学習支援システム **Hoppii** の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills.

This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシーを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース（受講者のスキルによって決定します）	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシー（サイエンス社）

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経 BP 社）など

【成績評価の方法と基準】

平常点 30%、期末試験 70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。

期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・II がセットになっている講義ですが、II 期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
<http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html>
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話します。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシーを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース (受講者のスキルによって決定します)	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシー (サイエンス社)

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト (日経 BP 社) など

【成績評価の方法と基準】

平常点 30%、期末試験 70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・II がセットになっている講義ですが、II 期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
<http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html>
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話します。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムや e ポートフォリオを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサその 4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第 3 版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第 2 版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation. If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムや e ポートフォリオを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第 3 版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第 2 版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation. If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA

情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

松田 裕幸

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

プログラミング構造の基本を学び、自力でプログラミングが出来るまでを体験する。

【到達目標】

プログラムの基本構造は代入、条件判定、繰り返しの 3 つのみである。これら 3 つの操作をデータ構造 (定数、配列) と組み合わせることでプログラミングの基本を理解する。最終的には、コンピュータと対戦するオセロゲーム作りを体験する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義と演習を併用して進めます。演習にはプログラミング言語 Python をクラウド環境 Google Colaboratory 上で使用して行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	変数の概念	変数の概念
2	プログラムの基本構造 ー 代入、条件分岐、繰り返し	代入、条件分岐、繰り返し
3	配列 ー 表操作	配列。
4	双六ゲーム ー 内部表現	内部表現と表面 GUI と分離。
5	双六ゲーム ー GUI 設計	GUI 設計。
6	オセロゲーム ー 基本設計	問題の定義 [仕様]
7	オセロゲーム ー 配置問題	アルゴリズム。
8	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (1)	アルゴリズム。
9	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (2)	アルゴリズム。
10	オセロゲーム ー 勝敗決定アルゴリズム	アルゴリズム。
11	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 1	対戦アルゴリズム。
12	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 2	対戦アルゴリズム。
13	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 3	対戦アルゴリズム。
14	プログラム評価	プログラム評価。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回の課題を通して、プログラム構造とプログラミング技術を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

なし。

【参考書】

すべてのテキストは授業支援のページに置かれる。

【成績評価の方法と基準】

14 個の短い課題の総合評価: 40%

最終課題の評価: 60%

全評価点を 100 点として、60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

無し。

【学生が準備すべき機器他】

無し。

【その他の重要事項】

講師は、自動プログラミング、コンピュータに人間の知識、特に自然言語を教える研究および仕事に従事している。

【Outline (in English)】

You will learn the basic structure of programs and write programs by yourself.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

松田 裕幸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

プログラミング構造の基本を学び、自力でプログラミングが出来るまでを体験する。

【到達目標】

プログラムの基本構造は代入、条件判定、繰り返しの 3 つのみである。これら 3 つの操作をデータ構造（定数、配列）と組み合わせることでプログラミングの基本を理解する。最終的には、コンピュータと対戦するオセロゲーム作りを体験する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義と演習を併用して進めます。演習にはプログラミング言語 Python をクラウド環境 Google Colaboratory 上で使用して行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	変数の概念	変数の概念
2	プログラムの基本構造 ー代入、条件分岐、繰り返し	代入、条件分岐、繰り返し
3	配列 ー表操作	配列。
4	双六ゲーム ー内部表現	内部表現と表面 GUI と分離。
5	双六ゲーム ー GUI 設計	GUI 設計。
6	オセロゲーム ー 基本設計	問題の定義 [仕様]
7	オセロゲーム ー 配置問題	アルゴリズム。
8	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (1)	アルゴリズム。
9	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (2)	アルゴリズム。
10	オセロゲーム ー 勝敗決定アルゴリズム	アルゴリズム。
11	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 1	対戦アルゴリズム。
12	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 2	対戦アルゴリズム。
13	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 3	対戦アルゴリズム。
14	プログラム評価	プログラム評価。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の課題を通して、プログラム構造とプログラミング技術を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

なし。

【参考書】

すべてのテキストは授業支援のページに置かれる。

【成績評価の方法と基準】

14 個の短い課題の総合評価：40%

最終課題の評価：60%

全評価点を 100 点として、60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

無し。

【学生が準備すべき機器他】

無し。

【その他の重要事項】

講師は、自動プログラミング、コンピュータに人間の知識、特に自然言語を教える研究および仕事に従事している。

【Outline (in English)】

You will learn the basic structure of programs and write programs by yourself.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目 (情報学入門等) と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。

プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業ですが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。1 回目の授業はオンラインなので必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

対面授業では、ボアノードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ [第3版]

著者: 重定如彦・河内谷幸子 共著

出版: サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物 (100%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。1 回目の授業はオンラインなので必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日(日) 10:00~6 日(水) 9:00、結果発表は 4 月 6 日(水) 22:00(予定)です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。

初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目(情報学入門等)と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。

プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業ですが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。1 回目の授業はオンラインなので必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期に学んだ文書作成と表計算
	秋学期ガイダンス	の内容を復習する実習を行う。
	情報倫理	

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF 、 SUMIF 、 AVERAGEIF 、 COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、 Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、 Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ【第 3 版】
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム **Hoppii** への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、**Word・Excel・PowerPoint・Zoom** が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目)と同じタイミングで 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 **HP** の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システム **Hoppii** の「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。1 回目の授業はオンラインなので必ず学習支援システム **Hoppii** の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報技術のより広いスキル・知識の習得を目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加が提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておく必要があります。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第 3 版】、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。

実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物が授業内での実習と課題を兼ね、その内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、より広い範囲の学習を望む人へも対応できるよう、意見を聞く機会を広げたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

本来は情報実習室で行う授業のため、情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報技術のより広いスキル・知識の習得を目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加が提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておく必要があります。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第 3 版】、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。

実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物が授業内での実習と課題を兼ね、その内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、より広い範囲の学習を望む人へも対応できるよう、意見を聞く機会を広げたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

本来は情報実習室で行う授業のため、情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報技術のより広いスキル・知識の習得を目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加が提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第 3 版】、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。

実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物が授業内での実習と課題を兼ね、その内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、より広い範囲の学習を望む人へも対応できるよう、意見を聞く機会を広げたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

本来は情報実習室で行う授業のため、情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報技術のより広いスキル・知識の習得を目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加が提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておく必要があります。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第 3 版】、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。

実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物が授業内での実習と課題を兼ね、その内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、より広い範囲の学習を望む人へも対応できるよう、意見を聞く機会を広げたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

本来は情報実習室で行う授業のため、情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、PHP、HTML5 を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎	Microsoft Excel の基礎について学ぶ。
第 2 回	計算式・関数・書式	Microsoft Excel の計算式や関数、書式等について学ぶ。
第 3 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールについて学ぶ。
第 4 回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いて発表する。
第 5 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 6 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 7 回	課題④	Microsoft Excel を活用する課題に取り組む。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学ぶ。
第 9 回	コンピュータネットワークの基礎	コンピュータネットワークに関する基礎知識を学ぶ。
第 10 回	コンピュータセキュリティの基礎	コンピュータセキュリティに関する基礎知識を学ぶ。
第 11 回	HTML の基礎	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第 12 回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。

第 13 回 HTML5

HTML5 を用いたホームページ作成方法の基礎を学ぶ。

第 14 回 まとめ

講義内容をまとめる。コンピュータの将来展望や問題について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、平常点（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, HTML5, PHP and learn about network structure too.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、PHP、HTML5 を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎	Microsoft Excel の基礎について学ぶ。
第 2 回	計算式・関数・書式	Microsoft Excel の計算式や関数、書式等について学ぶ。
第 3 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールについて学ぶ。
第 4 回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いて発表する。
第 5 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 6 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 7 回	課題④	Microsoft Excel を活用する課題に取り組む。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学ぶ。
第 9 回	コンピュータネットワークの基礎	コンピュータネットワークに関する基礎知識を学ぶ。
第 10 回	コンピュータセキュリティの基礎	コンピュータセキュリティに関する基礎知識を学ぶ。
第 11 回	HTML の基礎	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第 12 回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。

第 13 回 HTML5

HTML5 を用いたホームページ作成方法の基礎を学ぶ。

第 14 回 まとめ

講義内容をまとめる。コンピュータの将来展望や問題について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、平常点（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, HTML5, PHP and learn about network structure too.

IDN200LA

法政学の探究 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

古俣 達郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、「学生（法政大学の学生＝法大生）」の歴史と文化に焦点をあてます。法政大学で学生生活を過ごすなか、ふと疑問に思ったことや関心を抱いたことを日本近現代史、大学史などの学問的な観点から検証します。具体的なテーマとして、体育会・文化系団体・サークルの由来、自主法政祭の歴史、留学生の変遷、法政大学におけるジェンダー、そして、外濠・神楽坂を中心とした周辺地域の特徴などを挙げるができます。法政大学の歴史を通して、日本の近現代や日本の大学のあり方を捉え直す機会となるでしょう。

また、2020 年度に開設された HOSEI ミュージアムの展示コンテンツやデジタルアーカイブをはじめ、映像資料なども活用し、様々な資料から「法政学」を探究します。

【到達目標】

1. 法政大学の歴史はもろろんのこと、日本近現代史や大学の歴史に関する基礎的な知識を得ることができます。
2. 身近なテーマを学問的な「問い」へと発展させる視野を養います。
3. 調査研究の前提となるテーマ設定の具体化や各種資料の調査方法・読解方法について学ぶことができます。
4. 演習形式が中心となるため、各学部の専門ゼミ履修への準備になります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に則り、講義形式と演習形式を組み合わせで進めます。第 4 回では HOSEI ミュージアムで見学調査を行い、第 7・14 回では上映された映像について議論を行います。なお、受講生は授業内で報告（1 回）を行う必要があります。報告（発表）や質問、リアクションペーパー等に対するフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	本授業の目標、スケジュール等を説明します。
第 2 回	法政大学の歴史－東京法学社創立から大学昇格まで－	法律学校時代の法政大学の歴史を主に「学生」の観点から振り返ります。
第 3 回	法政大学の歴史－大学昇格から現在まで－	大学昇格後の法政大学の歴史を主に「学生」の観点から振り返ります。
第 4 回	HOSEI ミュージアムでの学び	HOSEI ミュージアムを訪問し、展示内容から法政大学に関わる様々なテーマについて知見を得ます。
第 5 回	デジタルアーカイブの使い方	HOSEI ミュージアムデジタルアーカイブをはじめ、各種デジタルアーカイブ、データベースの使用方法を学びます。

第 6 回	テーマ設定方法と報告の基礎を学ぶ	「問い」の立て方、テーマ設定の方法をはじめ、レジュメの作成やプレゼンテーション方法など、報告の基礎を学びます。
第 7 回	映像から学ぶ法政大学	法政大学を舞台にした映画『横道世之介』を鑑賞し、そこで描かれた学生像について議論します。
第 8 回	体育会・文化系団体・サークルに関するテーマ設定と資料紹介	体育会・文化系団体・サークルに関するテーマ設定を科目担当者とともに学びます。
第 9 回	その他、学生活動や学生の歴史に関するテーマ設定と資料紹介	上記（体育会・文化系団体・サークル）以外の学生活動や学生の歴史に関するテーマ設定を科目担当者とともに学びます。
第 10 回	地域などに関するテーマ設定と資料紹介	主に外濠・神楽坂など法政大学の周辺地域に関するテーマ設定を科目担当者とともに学びます。
第 11 回	体育会・文化系団体・サークルをテーマとした報告	体育会・文化系団体・サークルをテーマとした受講生の報告を行います。
第 12 回	その他、学生活動や学生の歴史をテーマとした報告	上記（体育会・文化系団体・サークル）以外の学生活動や学生の歴史をテーマとした受講生の報告を行います。
第 13 回	地域などをテーマとした報告	主に地域などをテーマとした受講生の報告を行います。
第 14 回	映像上映と総括	法政大学創立百周年記念映画『オレンジのその情熱と…』を鑑賞し、科目担当者による総括を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前学習では、HOSEI ミュージアムに展示されているコンテンツ、同デジタルアーカイブの調査や授業内で紹介された文献の読解を行います。復習では、毎回科目担当者が配布した資料と授業支援システムにアップロードされた資料を読み直します。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、毎回、科目担当者が資料を配布します。

【参考書】

『法政大学八十年史』（1961 年）、『法政大学百年史』（1980 年）、『法政大学と戦後五〇年』（2004 年）、『法律学の夜明けと法政大学』（1992 年）、唐澤富太郎『学生の歴史－学生生活の社会史的考察』（1955 年）

【成績評価の方法と基準】

平常点と授業内の報告（各 50 %）にて判断します。

【学生の意見等からの気づき】

学部を超えた交流の機会となるよう、受講者が自由に発言できる「場」を形成したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

報告用の PC などの機器は科目担当者が用意します。

【その他の重要事項】

関連科目「大学を知ろう <法政学>への招待」で学んだ内容を前提としますので、同科目の既修者か、それと同等の前提知識を得てから受講してください。後者の場合、大学公式 HP に掲載されている「HOSEI MUSEUM」が参考になります。

【Outline (in English)】

This course explores the history and culture of Hosei students. We examine questions and interests in student life from an academic perspective. Students will learn the modern and contemporary history of Japan, the history of Universities through the history of Hosei University.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Usual performance score: 50%, Classroom presentations: 50%

IDN200LA

法政学の探究 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

古俣 達郎、高柳 俊男

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、「大学を知ろう <法政学>への招待」(旧科目名「法政学への招待」)をすでに受講し、法政大学が経てきた 140 年の歴史と現状について一通りの理解をもつ学生を主対象にして、本学ゆかりの特定の人物を媒介に、法政大学についてより深く考える場を提供する発展科目として設定しました。

「大学を知ろう <法政学>への招待」における学習を前提に、本授業では、法政大学で教えた教員や、学んだ学生を具体的に上げます。教員の場合なら、その人物が法政大学でどういう教育研究に携わったのか、そのことで本学や社会の発展にいかに関与したか、などを追います。卒業生の場合なら、本学で何を学んだのか、あるいは学んだことをその後の本人の人生や、社会に向けてどう役立てたかなどについて、探究することになるでしょう。

法政大学ゆかりの特定の人物を詳しく追うことで、「自由と進歩」の理念や、時代のフロントランナー養成を掲げる本学の歴史と現在が、より具体性を帯びて理解できるようになるはずです。

【到達目標】

本学の経てきた道を、具体的な人物に即して、実証的・実感的に把握できることを目指します。時代の大きな流れの中で、本学ゆかりのその人物が何に興味をもち、どんな活動をし、何を目指し、何に悩んだかなど、時代の潮流や雰囲気を受講生個々人の知性と感性で感じられるようにします。それを、自分の学生生活や将来像へとつなげて考える契機を得るよう努めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

科目責任者の教員が毎回同席し、授業をコーディネートします。講義は、毎回のテーマに最適な本学内外の講師陣 (科目責任者含む) が、分担して担当します。

授業の最後に毎回、リアクションペーパーを書いていただきます。受講生の声を反映した参加型・双方向型授業になるよう努めます。なお、質問やリアクションペーパーに対するフィードバックは授業中に行います。

* 各回のオンラインでの実施形式・実施方法は学習支援システムを通じて、事前にお伝えします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	この授業の狙いや、全体の構成について説明する。 あわせて、本学の経てきた歴史の概略を復習する。(科目責任者=高柳俊男、古俣達郎)

2	世界を知りつくした本学の祖 箕作麟祥	本学の前身である和仏法律学校の初代校長の箕作麟祥は、明治期の有数の啓蒙家であった。彼は、洋学を学んで、西洋の法律や歴史を日本に紹介し、日本の「民権」のために活躍した。彼の仕事を振り返って、そこから学ぶものを探りたい。(南塚信吾)
3	本学草創期を支えた日本近代法の父 ボアソナード	フランス人法学者のボアソナード (1825-1910 年) は、明治政府顧問として来日し、近代法典の整備と法学教育に尽力した。ボアソナードの事績と薫陶を受けた教え子たちの活動を紹介します。その歴史的意義を考える。(村松玄太)
4	「民法の父」・和仏法律学校初代総理 梅謙次郎	日本民法典起草者の一人であり、帝国大学法学部教授、法政大学の初代総理 (総長) であった梅謙次郎について、韓国 (大韓帝国、1897-1910 年) 政府の法律顧問として活動していた頃の足跡を辿る。(李英美)
5	能楽研究の開拓者である野上豊一郎	法政大学は古典芸能の「能楽」と深い結び付きがあるが、その縁は、戦後間もなく総長を務めた野上豊一郎が創出したものである。今回は、野上と能楽との出会いから、彼が残した功績を概観する。(伊海孝充)
6	夏目漱石門下生たちに学んで作家になった椋鳩十	伊那谷出身の椋鳩十 (本名: 久保田彦穗) は、とくに動物物語の作者として広く知られる。初の詩集を出し、学生結婚もした法政大学時代をはじめ、戦前戦後にわたる椋の歩みを時代の中で振り返る。(高柳俊男)
7	「女性である前にまず人間であれ」 野上弥生子と法政大学	日本を代表する作家野上弥生子。法政大学女子高等学校名誉校長もつとめた弥生子は同校の生徒たちに「女性である前にまず人間であれ」という言葉をのこした。弥生子の思想と人物像を探るとともに、その日記に記された法政大学の逸話を紹介する。(古俣達郎)
8	戦争の中を生きた学友たち～久納好孚を例に	終戦直前のわずか 10 ヶ月足らずの間に 5,845 名もの戦死者を出した「特攻」。その第一号となったのが、本学に学んだ学友の一人・久納好孚であった。彼はなぜ「特攻」を志願したのか。その短い生涯を辿りながら、戦前戦中の本学の歴史と学友たちの生きざまを追体験してみたい。(鈴木靖)
9	城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一、乾孝～生涯学習の時代を切り拓いた人々	戦前の法政大学高等師範部教授の城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一らは、本学を舞台に教育科学研究会や保育問題研究会を組織したが、そのねらいは現場の教員と研究者とが共同して教育実践を研究することにあった。キャリアデザイン学部へと引き継がれるこの伝統を明らかにしたい。(笹川孝一)
10	「不安の時代」を代表する思想家	西田幾多郎を中心とする「京都学派」随一の俊才とされ、昭和前期のアカデミズムとジャーナリズムの双方で幅広く活躍しながら、第 2 次大戦直後に悲劇的な獄死をとげた哲学者・三木清の生涯と思想を紹介・検討する。(衣笠正晃)

11	法政スポーツの伝統を 探る	法政スポーツは 100 年以上の歴史をもつ。HOSEI ミュージアムで開催された展示「HOSEI スポーツの原点」をもとに、その歴史と伝統を振り返る。(北口由望)
12	高度経済成長と戦後思想の変容－藤田省三の 射程	「焼け跡・闇市」の原風景から出発した日本の「戦後」は、政治的安定化と経済的繁栄とともに劇的に変わって行く。そのなかで行われた戦後思想の変容について、思想家藤田省三（1927-2003）の議論を中心に考察する。(趙星銀)
13	法政大学の歴史と人物	『法政大学百年史』（1980 年）、『法政大学と戦後五〇年年』（2004 年）など、長年にわたり法政大学の歴史の編纂に携わられている飯田泰三法政大学名誉教授をお招きし、法政大学の歴史並びに法政大学の歴史を形作った様々な人物についてお話いただく。(飯田泰三)
14	学生の目と教員の目か ら見る法政大学	学生として本学で学び、のちに本学で教えるに至った方を授業にお招きし、2 つの立場から見た法政大学について体験的に語っていただき、授業全体のまとめとする。 (小倉淳一、明田川融、古俣達郎)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の講師が授業内で言及した文献は、積極的に参照してください。また、開館したばかりの HOSEI ミュージアムの展示および同ミュージアムデジタルアーカイブ (<https://museum.hosei.ac.jp/archives/Users/Top>) には、授業で取り上げた人物や事象に関するコンテンツが豊富に含まれていますので、準備学習・復習に活用してください。その他、授業に関連する特別展示などが学内外で開催される場合には、随時お知らせしますので、極力足を運んでみてください。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストはありません。講義担当者がプリントを適宜配付します。

【参考書】

各担当教員が、その都度お知らせします。

本学の歴史を通史的にまとめた書籍には、『法政大学 1880-2000：そのあゆみと展望』のほか、『法政大学参拾年史』『法政大学八十年史』『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。図書館などで適宜参照してください。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーに反映された授業に取り組む姿勢 40 %、学期末のレポート 60 %を基準にして、総合的に評価します。受講者数によっては若干の変更があるかもしれませんが、その場合は授業の場（もしくは学習支援システム）でお知らせします。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とします。

なお、レポートの作成に際しては、必ず文献に当たるよう心がけてください。

【学生の意見等からの気づき】

学術的でありながら、同時に自らの生き方の参考になるような授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

とくにありません。学習支援システムを積極的に活用します。

【その他の重要事項】

上述のように、「大学を知ろう <法政学>への招待」で学んだ内容を前提に進めますので、原則として同科目の既修者か、それと同程度の前提知識がある方が受講対象者になります。

「大学を知ろう <法政学>への招待」とこの「法政学の探究 LA」を履修し、さらに学びを深めたい方には、より演習に近い少人数の科目として、「法政学の探究 LB」（春学期）も用意されています。

【Outline (in English)】

This intermediate class aims to explore the history and the spirit of Hosei University, by following the achievements and personality of several specific individuals.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review.

Final grade will be calculated according to the following process. Reaction papers for each class 40%, and term-end report 60%.

LIT200LA

日本文学と文化 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：絵画化された『源氏物語』

阿部 真弓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

絵巻の鑑賞方法等について解説した後、院政期に作られたとされる国宝『源氏物語絵巻』について講義します。種々の源氏絵、また現代のマンガ等とも比較しながら、『源氏物語』がどのように解釈され、絵画化されてきたかを考察します。『源氏物語絵巻』を学ぶことを通し、日本の古典文学や美術に関する理解を深めます。

【到達目標】

- ①絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ②『国宝 源氏物語絵巻』の特質を理解する。
- ③平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。
- ④現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絵画化されてきたか、源氏絵の様相を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、リアクションペーパーに書かれた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳のプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要
第 2 回	絵巻とは (1)	絵巻の歴史について
第 3 回	絵巻とは (2)	絵巻に見られる技法について
第 4 回	絵巻とは (3)	絵巻の鑑賞方法について
第 5 回	『源氏物語絵巻』(1)	『源氏物語絵巻』概説
第 6 回	『源氏物語』第一部概説	『源氏物語』第一部の解説
第 7 回	『源氏物語』第一部概要	『源氏物語』第一部のあらすじ
第 8 回	『源氏物語絵巻』(2)	『源氏物語絵巻』蓬生巻について
第 9 回	『源氏物語』第二部概説	『源氏物語』第二部の解説およびあらすじ
第 10 回	『源氏物語絵巻』(3)	『源氏物語絵巻』柏木巻（一）について
第 11 回	『源氏物語絵巻』(4)	『源氏物語絵巻』柏木巻（三）について
第 12 回	『源氏物語絵巻』(5)	『源氏物語絵巻』横笛巻について
第 13 回	『源氏物語絵巻』(6)	『源氏物語絵巻』鈴虫巻（二）について
第 14 回	総括	授業のまとめ、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨むようにすること。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

レポート（70 %）、平常点（30 %）によって評価します。レポートは【到達目標】①～④に照らして採点します。また平常点については、毎回提出してもらうリアクションペーパーによって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライドのプリントアウトにノートを取ってもらう形を、今年度も継続します。リアクションペーパーに記入された質問やコメントは、次週の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【その他の重要事項】

基本的に対面式授業ですが、第 1 回・第 2 回授業はオンライン式の授業です。第 1 回授業日までに、学習支援システム上の当科目の「お知らせ」をよく確認し、受講してください。

【Outline (in English)】

This course deals with *The Tale of Genji illustrated Scrolls* (源氏物語絵巻, designated a National Treasure) and the other works (including Manga) painted *The Tale of Genji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA

日本文学と文化 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：説話のメディア展開

阿部 真弓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

安珍・清姫伝説として知られる、道成寺にまつわる説話について講義します。絵巻や能・歌舞伎の題材として有名なこの説話が、これまで人々にどのように享受されてきたのかについて学び、日本の古典文学や古典芸能に関する理解を深めます。

【到達目標】

- ①説話文学の特質について理解する。
- ②絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ③能、歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、リアクションペーパーに書かれた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳のプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要
第 2 回	説話について	説話文学に関する解説
第 3 回	道成寺にまつわる説話	説話集に収められた道成寺説話
第 4 回	絵巻について	絵巻の鑑賞方法に関する解説
第 5 回	道成寺縁起絵巻 (1)	『道成寺縁起絵巻』鑑賞
第 6 回	道成寺縁起絵巻 (2)	『道成寺縁起絵巻』解説
第 7 回	道成寺縁起絵巻 (3)	熊野信仰について
第 8 回	道成寺縁起絵巻 (4)	『道成寺縁起絵巻』の異本について
第 9 回	能について	能の歴史・鑑賞の仕方に関する解説
第 10 回	能『道成寺』(1)	能『道成寺』を読む
第 11 回	能『道成寺』(2)	能『道成寺』解説
第 12 回	能『道成寺』(3)	能『道成寺』鑑賞
第 13 回	道成寺物について	日本伝統芸能における「道成寺」の解説
第 14 回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨んでください。

【テキスト（教科書）】

適宜、プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末締切のレポート（70 %）、平常点（30 %）によって評価します。レポートは【到達目標】①～③に照らして採点します。また平常点については、毎回提出してもらうリアクションペーパーによって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

授業に関する質問やコメントは、次以降の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【その他の重要事項】

基本的に対面式授業ですが、第 1 回・第 2 回授業はオンライン式の授業です。第 1 回授業日までに、学習支援システム上の当科目「お知らせ」をよく確認し、受講してください。

【Outline (in English)】

This course deals with the picture scrolls *Dojoji Engi* and the Noh program *Dojoji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art and performing arts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA

日本文学と文化 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 能(謡曲)と仏教

今泉 隆裕

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

本講義では能(謡曲)とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。

俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。この形式(話の枠)には、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されている。どのような状況下で、どのようなことが、この芸能に要請されたのか。どのような歴史社会の状況に影響を受けたためにそれらの形式が確立されたのか。さらに、その形式からどのような想像力が新たに促されたのか。

本講義では、とくに能と宗教文化(おもに日本仏教)との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではないであろう。はじめの数回、能楽に関する入門的内容をふまえることになる。また時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか(あるいは消滅するのか)を考える機会も持ちたい。

そのうち勧進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公(シテ)とする曲をおもに扱う。また離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺の事柄を紹介する。

※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化 L C」(旧「文学 I」)、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化 L D」(旧「文学 II」)となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

【到達目標】

能楽に関する基本的な知識を身につけることを目指す。

と同時に、文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか。また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか。その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

コロナウィルスの状況から講義ができない期間は課題提出とします。また、状況が改善され次第、授業形態は、講義形式とします。課題やリアクションペーパーに記入された内容、および質問など全体でも共有したほうが良いものについては講義内で適時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	能楽入門① 授業展開	能楽入門 ※ 1 回目は人数確認のためオンラインとします。
2	能楽入門② 舞台	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史(1)

3	能楽入門③ 舞台	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史(2)
4	能楽入門④ 歴史	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史(3) 基本用語解説(1)
5	能楽入門⑤ 用語	上記、能楽入門つづき 基本用語解説(2)
6	夢幻能について① (幽霊能について)	夢幻能のなかでも幽霊を主人公(シテ)とするものを取り上げ、その特徴について論じる(9 回程度)。 ・本講義の概要について
7	夢幻能について② (幽霊能〈求塚〉について)	上記、夢幻能について(つづき) 〈求塚〉鑑賞① 作品概要・及び鑑賞
8	夢幻能について③ (幽霊能〈求塚〉について)	上記、夢幻能について(つづき) 〈求塚〉鑑賞② 〈求塚〉にみるシテ(幽霊)とワキ(僧ワキ)との関係
9	夢幻能について④ (幽霊能〈求塚〉について)	上記、夢幻能について(つづき) 〈求塚〉鑑賞③ ・宗教学からみた能〈求塚〉の幽霊の特殊性/僧ワキの機能について
10	夢幻能について⑤ (幽霊能〈船橋〉について)	上記、夢幻能について(つづき) 〈船橋〉〈鶴飼〉ほか幽霊能の鑑賞① 作品概要・及び鑑賞
11	夢幻能について⑥ (幽霊能〈船橋〉について)	上記、夢幻能について(つづき) 〈船橋〉〈鶴飼〉② 〈鶴飼〉にみるシテ(幽霊)とワキ(僧ワキ)との関係
12	夢幻能について⑦ (幽霊能〈鶴飼〉について)	上記、夢幻能について(つづき) 〈船橋〉〈鶴飼〉③ ・宗教学からみた能〈求塚〉の幽霊の特殊性/僧ワキの機能について
13	夢幻能について⑧ (幽霊能〈鶴飼〉について、まとめ)	上記、夢幻能について(つづき) 前期まとめ 1
14	夢幻能について⑨ (幽霊能について、まとめ)	上記、夢幻能について(つづき) 前期まとめ 2、および試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

授業内で指示した課題にしっかり取り組む。

本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。

その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

特に指定しない。必要な際は授業内で指示する。

【参考書】

本文

『謡曲集』上・下(表章日本古典文学大系、岩波書店)

『謡曲百番』(新日本古典文学大系、岩波書店)

『謡曲集』一・二(日本古典文学全集、小学館)など

入門書

西野春雄『能・狂言・風姿花伝』(新潮社、1992 年)など

ほかは授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点と、学期末の授業内レポートを持って評価する。

目安としてはレポート 80 %、平常 20 %とする。平常点はリアクションペーパーの記入状況で判断する。また、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。

講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

試験解答をみていると、そもそも質問の意味を理解していないものが散見される。

能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

※取り上げるテーマは進捗等、都合により変更されることがあります。

※授業形態は対面にしてありますが、コロナの状況に応じてオンラインとなることもあります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism.

Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created. Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

The goals of this course are to Understand Nogaku.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (80%), and in-class contribution (20 %).

LIT200LA

日本文学と文化 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：能（謡曲）と仏教

今泉 隆裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では能（謡曲）とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。

俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。この形式（話の枠）には、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されている。どのような状況下で、どのようなことが、この芸能に要請されたのか。どのような歴史社会の状況に影響を受けたためにそれらの形式が確立されたのか。さらに、その形式からどのような想像力が新たに促されたのか。

本講義では、とくに能と宗教文化（おもに日本仏教）との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではないであろう。はじめの数回、能楽に関する入門的内容をふまえることになる。また時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える機会も持ちたい。

そののち勧進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公（シテ）とする曲をおもに扱う。また離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺の事柄を紹介する。

※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化 L C」（旧「文学 I」）、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化 L D」（旧「文学 II」）となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

【到達目標】

能楽に関する基本的な知識を身につけることを目指す。

と同時に、文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか。また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか。その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、講義形式とする。

課題やリアクションペーパーに記入された内容、および質問など全体でも共有したほうが良いものについては講義内で適時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	能楽入門（補足① 舞台） ※受講人数を確認するため 1 回目はオンラインとする。	入門的事項の補足説明と「日本文学と文化（前期）」（旧「文学 I」）の内容をおさらいする（2 回程度）。ただし、連続して講義を受けていない学生が多い場合は、内容を変更して対応したい。
2	能楽入門（補足② 歴史）	上記、能楽入門つづき

3	夢幻能について① (神能について)	夢幻能のなかでも神を主人公(シテ)とするものを取り上げ、その特徴について論じる(4 回程度)。ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・鑑賞 ・本説(典拠)と能との比較検討 ・夢幻能(神能)の特徴とその機能について ・シテ(神)とワキ(大臣ワキ)との関係 ・宗教学からみた能の神の特殊性 ・大臣ワキの機能について など
4	夢幻能について② (神能〈高砂〉について)	上記、夢幻能、とくに神能について(つづき)〈高砂〉鑑賞①／作品解説
5	夢幻能について③ (神能〈高砂〉について)	上記、夢幻能、とくに神能について(つづき)〈高砂〉鑑賞②／本説(典拠)と能との比較検討 ・シテ(神)とワキ(大臣ワキ)との関係
6	夢幻能について④ (神能〈高砂〉について、まとめ)	上記、夢幻能、とくに神能について(つづき)〈高砂〉鑑賞③／宗教学からみた能の神の特殊性 ・大臣ワキの機能について など
7	親子物狂能について①	春学期でみた勧進興行との関連で寺社の霊験譚として、離ればなれになった親子の再開を描く親子物狂能とその特色などについて論じる(6 回程度)。ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・講義概要
8	親子物狂能について② (隅田川) 概要	上記、親子物狂能について(つづき) 〈隅田川〉鑑賞①／鑑賞
9	親子物狂能について③ (隅田川) 鑑賞	上記、親子物狂能について(つづき) 〈隅田川〉鑑賞②／本説(典拠)と能との比較検討
10	親子物狂能について④ (隅田川) について	上記、親子物狂能について(つづき) 〈隅田川〉鑑賞③／〈弱法師〉と俊徳丸説話、さらにその淵源
11	親子物狂能について⑤ (隅田川) 以外の親子物狂能について	上記、親子物狂能について(つづき) そのほかの親子物狂能 鑑賞①／本説(典拠)と能との比較検討
12	親子物狂能について⑥ (隅田川) 以外の親子物狂能について	上記、親子物狂能について(つづき) そのほかの親子物狂能 鑑賞②／親子物狂能と仏教との関係(まとめ)
13	能楽の近代について① 能楽の歴史・補足	近代化の中で一時期廃れていた能楽がいかに復活したかについて論じ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか(あるいは消滅するのか)を考える(2 回程度)。
14	能楽の近代について② 能楽の歴史・補足、まとめ	上記、能楽の近代について(つづき) 後期まとめ、および試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

授業内で指示した課題にしっかり取り組む。

本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。

その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

特に指定しない。必要な際は授業内で指示する。

【参考書】

本文

『謡曲集』上・下(表章日本古典文学大系、岩波書店)

『謡曲百番』(新日本古典文学大系、岩波書店)

『謡曲集』一・二(日本古典文学全集、小学館)など

入門書

西野春雄『能・狂言・風姿花伝』(新潮社、1992 年)など

ほかは授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点と、学期末の授業内レポートを持って評価する。目安としてはレポート 80 %、平常点 20 % とする。平常点はリアクションペーパーの記入状況などで判断する。

また、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

試験解答をみていると、そもそも質問の意味を理解していないものが散見される。能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

※取り上げるテーマは進捗等、都合により変更されることがあります。

※授業形態は対面としていますが、コロナの状況により、オンラインに変更することもあります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism.

Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created. Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

： The goals of this course are to Understand Nogaku.

： Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

： Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (80%), and in-class contribution (20 %).

LIT200LA

日本文学と文化 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊海 孝充

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「隣の爺」と呼ばれる昔話・伝承について学ぶ。日本の昔話には、善良な爺と邪悪な爺の対立構造をもつ物語が多い。それらは物語をいくつかり上げ、このタイプの特質とそれぞれ作品の成立背景について考える。最終的には、昔話における老人の特徴についても言及したい。

【到達目標】

授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、「隣の爺」譚がどのような形成され、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面で行なうが、状況を見て判断する。授業は講義形式に進める。また、基本的な話柄を確認するために「まんが日本昔ばなし」などのビデオを用いる。さらに文学作品の広がりを確認するため、視聴覚資料を多用する。鑑賞に際しては、話の疑問点を探しながら集中して観ることが望まれる。また、毎回コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なうことで、積極的に意見を出してほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方について
第 2 回	「隣の爺」型の物語	昔話の分類と研究
第 3 回	「花咲か爺」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 4 回	「花咲か爺」と近世文学	五大昔話と出版
第 5 回	「花咲か爺」の要素	物語のプロットについて
第 6 回	「舌切り雀」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 7 回	「舌切り雀」の説話	『宇治拾遺物語』と昔話
第 8 回	「舌切り雀」の要素	物語のプロットについて
第 9 回	「福富草子」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 10 回	「福富草子」の御伽草子	放屁譚と絵巻物
第 11 回	「福富草子」の要素	物語のプロットについて
第 12 回	老人と昔話①	神仏と老人
第 13 回	老人と昔話②	報恩譚と老人
第 14 回	まとめ	昔話とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。授業にのぞむ前に、扱う話を一読してくることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

毎回プリントを配布する。

【参考書】

授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

コメントカードの評価 70 %

学期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】

古文を扱うことも多いが、専門外の学生には配慮をする。

【Outline (in English)】

This course introduces folktales known as "Old men living next door to each other. (隣の爺) to students taking this course. The goals of this course are to understand how those were formed. Students will be expected to read my works before classes. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on reaction papers (70 %), and Term-end report(30 %).

LIT200LA

日本文学と文化 L F

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

伊海 孝充

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本の鬼に纏わる伝承・物語について学ぶ。日本の鬼は人間に危害を加える〈悪〉として捉えられるモノであるが、その姿や出現する場所は様々であり、時には人間に幸いをもたらす〈善〉なる存在としても描かれることがある。本講義では、その鬼の多様性を学ぶと同時に、人間は鬼に何を投影したのかを考えていく。

【到達目標】

授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、日本の鬼がどのような形成され、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ること目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面で行なう湯が、状況を見て判断する。授業は講義形式に進める。また、基本的な話柄を確認するために「まんが日本昔ばなし」などのビデオを用いる。さらに文学作品の広がりを確認するため、視聴覚資料を多用する。鑑賞に際しては、話の疑問点を探しながら集中して観ることが望まれる。また、毎回コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なうことで、積極的に意見を出してほしい。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方について
第 2 回	日本の鬼の特徴	日本の鬼の伝承・物語
第 3 回	「桃太郎」の概説	話の概要と様々な話柄
第 4 回	「桃太郎」と江戸文学	江戸時代文学に描かれる桃太郎像
第 5 回	「桃太郎」の意味	「桃」の呪術性と従者・鬼の存在
第 6 回	「羅生門の鬼」の概説	話の概要と様々な話柄
第 7 回	「羅生門の鬼」の登場人物	源頼光と四天王
第 8 回	羅生門という場と鬼	他の文芸作品との比較
第 9 回	「地獄めぐり」の概説	話の概要と様々な話柄
第 10 回	「地獄めぐり」の地獄描写	『往生要集』と地獄絵
第 11 回	「安達ヶ原の鬼」の概説	話の概要と様々な話柄
第 12 回	「安達ヶ原の鬼」と見る禁	鬼の出現の仕方
第 13 回	心の鬼	鬼と人間の内面
第 14 回	まとめ	現代社会で「鬼」を考える意義

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。授業にのぞむ前に、扱う話を一読してくることが望ましい。

【テキスト (教科書)】

毎回プリントを配布する。

【参考書】

授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

コメントカードの評価 70 %

学期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】

映像などを用いて、専門外の学生も理解しやすいように工夫する明をしていく。

【Outline (in English)】

This course introduces folktales of Oni to students taking this course. The goals of this course are to understand how those were formed. Students will be expected to read works before classes. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on reaction papers (70%), and Term-end report (30 %).

LIT200LA

日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00～6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を鑑賞しながら、原作小説を講読します。2021 年に劇場公開された以下の 6 作品を取りあげる予定です。

文学表現と映像表現を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を解読する力の獲得を目指します。

竹宮ゆゆこ『砕け散るところを見せてあげる』（SABU 監督）

西加奈子『漁港の肉子ちゃん』（渡辺歩監督）

村上春樹『ドライブ・マイ・カー』（濱口竜介監督）

佐藤正午『鳩の撃退法』（タカハタ秀太監督）

瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』（前田哲監督）

中山七里『護られなかった者たちへ』（瀬々敬久監督）

＊劇場公開順。作品は変更の可能性があります。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンルの小説を深く読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的に表現することができるようになります。

加えて、個人の生き方や社会システム、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。映画の一部を鑑賞しながら、原作小説を精読し、作品分析を行っていきます。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取りあげる作品はすべて文庫化されていますので、事前に読んだ上で授業に臨む形がベストです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読 (1)	原作の映画鑑賞&分析&考察
3	映画観賞 (1)	小説の講読&分析&考察
4	原作小説の講読 (2)	原作の映画鑑賞&分析&考察
5	映画観賞 (2)	小説の講読&分析&考察
6	原作小説の講読 (3)	原作の映画鑑賞&分析&考察
7	映画観賞 (3)	小説の講読&分析&考察
8	原作小説の講読 (4)	原作の映画鑑賞&分析&考察
9	映画観賞 (4)	小説の講読&分析&考察
10	原作小説の講読 (5)	原作の映画鑑賞&分析&考察
11	映画観賞 (5)	小説の講読&分析&考察
12	原作小説の講読 (6)	原作の映画鑑賞&分析&考察
13	映画観賞 (6)	小説の講読&分析&考察
14	春学期授業のまとめ	春学期授業のまとめと、レポート提出について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し鑑賞し直すことで、作品の理解を深めるよう努めてください。

レポート提出のための事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で扱う以下の文庫本。

- ・竹宮ゆゆこ『砕け散るところを見せてあげる』（新潮文庫 nex）
- ・西加奈子『漁港の肉子ちゃん』（幻冬舎文庫）
- ・村上春樹『ドライブ・マイ・カー』（文春文庫『女のいない男たち』収録）
- ・佐藤正午『鳩の撃退法』（小学館文庫）
- ・瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』（文春文庫）
- ・中山七里『護られなかった者たちへ』（宝島社文庫）

【参考書】

参考書・参考文献は、教室で指示します。

必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100 %）。

試験や小テストや宿題はありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

映画を観る時間を増やしてほしいとの意見が多くあるので、可能な限り鑑賞時間を増やす努力をします。

専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

本授業は曜日や時限を設けないオンライン授業となります。履修は抽選になります。春学期の抽選期間に必ず申し込みを行ってください。

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。ツイッター (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

We read the original novel after having watched movie work that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 works in 2021.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 titles after carefully selecting from the works released in 2021.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. We aim to acquire the ability to read novels from the perspective of "what literature-specific expressions are."

Reading novels in a variety of genres representing contemporary Japanese literature, you will be able to extract, organize, analyze, and express in their own words various elements from the works as complex linguistic structures.

Please read the works carefully, take notes on what you notice, and summarize your questions.

Grading will be decided based on report 100 %.

LIT200LA

日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 新海誠の文学世界

榎本 正樹

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 集中・その他/intensive・other courses

単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00 ~ 6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 3 位、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えました。2019 年には最新作『天気の子』が封切られ、前作同様の評価を得ました。そして今秋、最新作『すずめの戸締まり』が公開予定で、期待が高まります。

新海誠というクリエイターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭にまで遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の間の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。アニメーションというジャンルの枠を超えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとらえ直す必要があります。

新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作のノベライズ (小説化) を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者による映画版と小説版を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。

本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的」に観賞し、かつ「分析的」に解説する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンごとに分析的に解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、さまざまな他人の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義とプレゼンテーションを合わせた形で行います。新海誠作品を初期から最新作まで（場合によっては作品の一部を）を観賞し、各シーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのはシーンを構成する一つひとつのカットです。カットにはクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

もう一つ重要なのは、言葉（ナレーションや科白や対話）です。本授業では新海作品の言葉に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用しあい、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく見ていきます。

新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
3	『はしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	装置としてのSF
5	『秒速5センチメートル』	風景と速度をめぐる物語
6	『星を追う子ども』	異界への移動と帰還
7	『言の葉の庭』	映像美学を支える文学性
8	『小説 言の葉の庭』	ノベライズの方法
9	短編作品 & CM 作品	新海誠のアザーワークス
10	『君の名は。』前半	すれ違いと入れ替わりの趣向をめぐって
11	『君の名は。』後半	共苦する魂のゆくえ
12	『天気の子』前半	オリンピック後の未来はいかに描かれたか
13	『天気の子』後半	人身御供譚としての構成
14	『ずずめの戸締まり』	最新作について考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

アニメーションを観たり小説を読む際に、ただ受動的に観賞するのではなく、作品の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。実在する場所が物語のシーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

榎本正樹『新海誠の世界 時空を超えて響きあう魂のゆくえ』（KADOKAWA、2021年）

【参考書】

授業で扱う新海誠のノベライズ作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速5センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』とも、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/>

その他の参考書・参考文献や参考サイトは別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストや宿題はありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。

可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】

本授業は曜日や時限を設けないオンライン授業となります。履修は抽選になります。春学期の抽選期間に必ず申し込みを行ってください。

アニメーションや現代日本文学に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. In 2019, his latest work "Weathering With You" was released. And a new film "Suzume no Tojimari" will be released this fall. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints. The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher animation as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

Please watch the films we will discuss in class repeatedly, take notes on what you notice, and summarize your questions.

Grading will be decided based on report 100 %.

LIT200LA

外国文学と文化 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：西洋文学と音楽

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他
/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。音声や文字という記号の表現である文学と、直接感性に訴える音の連なりである音楽は、元来切っても切れない関係にあります。「詩」は「うたふ」ものであり、かつて物語は韻律をとめない楽器にのせて語られました。

春学期では、ミュージカルの名作として愛され続けている『レ・ミゼラブル』を原作を参照しつつ分析します。さらに最も人気の高いオペラの一つである『カルメン』を扱います。次にシェークスピアの名高い『ロミオとジュリエット』を取り上げます。この作品は様々な作曲家により音楽化されています。さらにこの現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を扱います。

【到達目標】

芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。

「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。

この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室での授業ができない見込みですので、on demand 方式を採用することになりそうです。学習支援システムでその方法をお知らせします。教材や資料は同じく学習支援システムに載せます。皆さんは資料の情報を参考にしながら作品（のさわりとなる部分）を鑑賞し、教材に示された問題点、着眼点などについて考えてください。それぞれの作品ごとに課題として 400 字ほどの書き物を学習支援システムを通して出すことになります。私は同じく学習支援システムを通してお返しします。

まずはヴィクトル・ユゴーによる『レ・ミゼラブル』の原作を概観したうえで、ミュージカルを鑑賞し、分析します。次にほぼ同時期に書かれた小説かつ戯曲をもとに創られたオペラ『カルメン』を扱います。さらに『ロミオとジュリエット』を概観し、鍵となる場面を詳しく検討します。そのうえで音楽家によるさまざまな作品を鑑賞し、分析します。さらに『ロミオとジュリエット』の現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を、元ネタとのかかわりを含めて鑑賞し、分析します。2021 年にスビルバーグ監督による映画が公開されましたが、この授業では主に 1961 年の映画版を取り上げます。時代も背景も異なる状況で書かれた物語にも、シェイクスピアの名高い作品の影が映っていることを見ます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『レ・ミゼラブル』1 そもそもこれはどのような作品か	ヴィクトル・ユゴー：ロマン主義運動の総帥 小説『レ・ミゼラブル』
2	『レ・ミゼラブル』2 ぶつかる二人の主要人物	ミュージカル： ジャン・ヴァルジャンとジャヴェール
3	『レ・ミゼラブル』3 ハッピーエンドのカップルともう一人 (two others)	コゼットとマリウス エポニヌという存在 ジャン・ヴァルジャンという存在
4	『レ・ミゼラブル』4 フランス語版のドラマ	フランスのテレビ局製作：ジェラルド・ドパルデュー主演
5	『カルメン』1 小説とオペラ	原作はメリメの中編小説。書いたのは役人。 オペラを作曲したのはフランス人ビゼー。 序曲と冒頭 「ハバナラ」 「ミカエラの歌」 Femme fatale (運命の／致命的な女) VS 清純派
6	『カルメン』2 スペインという異郷	「アルカラの竜騎兵」：ロマの踊りが旺盛 歌手も踊る（というよりも踊れない歌手はお呼びでない）：「鈴を打ち鳴らす」
7	『カルメン』3 闘牛場の外で	「闘牛士の歌」 「行進曲」 最終場面：中の祝祭と外の破局
8	『ロミオとジュリエット』1 誰もが聞いたことはあるあの作家、あの作品、誰もが見たことのあるあの場面	ウィリアム・シェイクスピアの戯曲：元ネタと著作権という考え方 映画版：ゼフィレリ監督 1968 年 冒頭とバルコニーの場面
9	『ロミオとジュリエット』2 どう描くか、演出による違い	決闘の場面 最終場面 ゼフィレリ版とルールマン版 (1966 年)
10	『ロミオとジュリエット』3 バレエ：セリフがないシェイクスピア演劇	セルゲイ・プロコフィエフのバレエ音楽 冒頭 「騎士たちの踊り」 (シンセサイザーなどによる ELP 版)
11	『ロミオとジュリエット』4 原作と最後が大きく違うオペラ	決闘の場面 最終場面
12	『ウエストサイド物語』1 誰もが見たことのあるあの振り付け	現代への翻案 『ロミオとジュリエット』との比較： 登場人物と設定の共通点と違い ジャズの表現：裏拍； 冒頭場面 "Tonight" "America" (The Nice による編曲)

- 13 『ウエストサイド物語』 悪魔の？ 魅惑の？ 減 5 度
2 決闘場面
移民グループの対立 "Cool"
- 14 『ウエストサイド物語』 最終場面
3 永遠のテーマ
どこが、そしてなぜ
「原作」と異なるのか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。ただし現在の状況ではそれもなかなか難しいことだと考えられます。インターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-4:原作の小説を読む。主要登場人物についてまとめる。映画版やドラマ版を選んで視聴する。

5-7：原作の小説を読む。オペラ版を選んで視聴する。

8-11：原作の演劇を読む。映画版やバレエ版を選んで視聴する。

12-14：映画版を視聴する。舞台版を選んで視聴する。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まった教科書はありません。資料、教材を学習支援システムでお配りします。

【参考書】

【参考書 / References】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A

他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示すようにします。

【その他の重要事項】

当科目の履修にあたっては抽選がありますので、「お知らせ」等をよく確認してください。

【Outline (in English)】

This course deals with occidental literature, especially works adapted for music. Literature, which expresses its objects by signs, and music, which appeals to sentiments by way of sequences of sounds, are closely related to each other. Stories were once sung accompanied by musical instruments.

The works dealt with during the spring term will be:

"Les Misérables" (musical), "Carmen"(opera), "Romeo and Juliet" (movie, ballet, opera), "West Side Story" (musical).

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and musical works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work, for which they must spend at least two hours.

Final grade will be calculated according to the total score of their assignments (100%).

LIT200LA

外国文学と文化 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続いて、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。モーツァルトとサリエリのライヴアル関係を描いた演劇および映画『アマデウス』を軸に、モーツァルトの『フィガロの結婚』、『ドン・ジョヴァンニ』、サリエリの『タラール』といったオペラ、モリエールの『ドン・ジュアン』、ボーマルシェの『フィガロの結婚』などの戯曲を分析します。その次に、ミュージカルとして人気を博しているルルー原作の『オペラ座の怪人』を扱います。

【到達目標】

芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。

「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。

この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室での授業ができない見込みですので、on demand 方式を採用することになりそうです。学習支援システムでその方法をお知らせします。教材や資料は同じく学習支援システムに載せます。皆さんは資料の情報を参考にしながら作品（のさわりとなる部分）を鑑賞し、教材に示された問題点、着眼点などについて考えてください。それぞれの作品ごとに課題として 400 字ほどの書き物を学習支援システムを通して出すことになります。私は同じく学習支援システムを通してお返しします。

秋学期には、イギリスの劇作家ピーター・シェファアの『アマデウス』を軸に、その中に登場するヨーロッパの 17 世紀から 18 世紀の文学作品、またそれにちなむ音楽作品を扱います。『アマデウス』は作者自身が脚色して映画化されて多くの人々に評価されたので、知っている方も多いことでしょう。まず、この作品の概要を見渡し、それからこの作品の中に登場する音楽、その原作となった文学作品を概観し、分析します。分析の方法論も学びます。

『オペラ座の怪人』は 20 世紀の初めにフランスのミステリー作家ガストン・ルルーによって発表された小説作品ですが、英語によるミュージカルで今では人気を博しています。美と醜、歴史的な建物に潜む謎など、ある意味では定番の数々のテーマを分析します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『アマデウス』とは	演劇と映画；「神に愛されたる者」の物語
2	『アマデウス』 衝撃の出会い	モーツァルトとサリエリのライ ヴァル関係
3	『フィガロの結婚』1 原作者はどんな人か オペラへの翻案	ボーマルシェの戯曲：政治的な意 味合い ダ・ボンテの台本とモーツァルト のオペラ： 序曲と冒頭
4	『フィガロの結婚』2 ケルビーノというト リックスター	「自分で自分がわからない」 「もう飛ぶまいぞこの蝶々」 映画『アマデウス』におけるサリ エリの行進曲の変奏
5	『フィガロの結婚』3 『アマデウス』版と譜 面	第2幕の最終場面の7重唱 結婚式の場面 第3幕の山場と急転換 第4幕のどんでん返し 最終場面
6	『タラール』とはどん な作品か	ボーマルシェ自身が台本を書いた サリエリのオペラは当時のお手本 オペラ
7	ドン・ファン伝説 モリエールの『ドン・ ジュアン』1 唯物論者にして快楽主 義者？	女たらしの伝説 無神論の誘惑者？ モリエールの演劇：フランス古典 主義の時代 冒頭の場面 貧者との対話の場面
8	『ドン・ジュアン』2 父親という法、掟	騎士隊長の像 亡霊 晩餐 最終場面
9	オペラ『ドン・ジョ ヴァンニ』1 グロテスク：おぞまし くも滑稽	ダ・ボンテの台本とモーツァルト のオペラ：序曲、 「女のリスト」
10	『ドン・ジョヴァンニ』 2 超自然をどう演出する か	村の娘の誘惑 騎士隊長の像
11	『ドン・ジョヴァンニ』 3 再び『アマデウス』 歴史上の謎をどう演出 するか	晩餐 最終場面のさまざまな演出： 映画『アマデウス』版とロゼー版 精神分析：科学か 20 世紀の骨相 学か 『アマデウス』の最終場面
12	『オペラ座の怪人』1 これはオペラではな い、オペラ劇場を扱っ た作品。	原作者のガストン・ルルーとは？ 小説『オペラ座の怪人』 2004 年の映画版ミュージカル
13	『オペラ座の怪人』2 読み手／観客を惹きつ ける設定	ミュージカル： 人気スターと新進の歌手、 謎と恐怖
14	『オペラ座の怪人』3 捕り物という定番クラ イマックスと余韻を残 す最終場面	ミュージカル： 表の二枚目と裏のヒーロー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV
ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思えます。
ただし現在の状況ではそれもなかなか難しいことだと考えられます。
インターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、
皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-2：原作の演劇を読む。

3-5：原作の演劇を読む。オペラ版を選んで視聴する。

6：サリエリについて調べる。

7-10：ドン・ファンの伝説について調べる。モリエールの『ドン・
ジュアン』を読む。オペラ『ドン・ジョヴァンニ』を選んで視聴する。

11：モーツァルトの晩年について調べる。

12-14：原作の小説を読む。映画版、ミュージカル版を選んで視聴
する。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムの「教材」を通し
て資料などを配ります。

【参考書】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書
1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A

他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400 字ほどの書き物
を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価
の合計で成績を出します（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示
すようにします。

【その他の重要事項】

当科目の履修にあたっては抽選がありますので、「お知らせ」等をよ
く確認してください。

【Outline (in English)】

As in the spring semester, this course deals with occidental
literature, especially works adapted for music.

The works dealt with during the fall term will be : "The
Marriage of Figaro", "Tarare", "Don Giovanni" (opera works
presented in Peter Shaffer's "Amadeus", which will be also
treated in this course); "Le Fantôme de l'opéra", one of the
most popular musicals, originally written by Gaston Leroux.

Through this course students are expected to get knowledge
to appreciate analytically and critically literary and musical
works.

Students should read beforehand relevant works. They need
also to submit an assignment after having studied each work,
for which they must spend at least two hours.

Final grade will be calculated according to the total score of
their assignments (100%).

LIT200LA

外国文学と文化 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：漢詩を作る

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者に漢詩の実作を指導する授業です。最初に漢詩の中でも最も厳格な規則に基づく「近体詩」の作り方について解説します。その上で漢詩（七言絶句）の実作に挑み、「近体詩」の規則についての理解を深めます。実作の参考になるように、実作と並行して四季の風物を詠じた漢詩（歳時詩）を季節に沿って鑑賞します。

【到達目標】

- ・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・近体詩の規則を理解し、それに従って漢詩の実作をする。
- ・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

開講時から 3 回ほどを使って、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について説明する。その後は漢詩の実作指導を中心に据える。実作の参考になるように、一回ごとに異なるテーマを設け、毎回数首の漢詩を鑑賞する。日本人の作った漢詩もできるだけ紹介したい。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩と取り組み、各自の思いを表現していったことを知ってほしい。

※第 1 回目の授業はオンラインで行ないます。

※第 2 回目以降は対面授業の予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。

※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	漢詩の詩形、古体詩と近体詩、歳時詩について、／梅の詩鑑賞	漢詩の歴史、さまざまな詩形、古体詩と近体詩の説明。「歳時詩」「二十四節気」／林逋「山園小梅」などを鑑賞。
第 2 回	近体詩の規則①／桜の詩鑑賞	正岡子規「聞子規」を例に作詩法を解説。平仄図式・押韻の説明。／藤井竹外「芳野」などを鑑賞。
第 3 回	近体詩の格律②／春遊の詩鑑賞	二四不同二六対、反法・粘法の説明。／杜牧「江南春」、永井荷風「墨上春遊」などを鑑賞。
第 4 回	近体詩の格律③／晩春の詩鑑賞／実作指導	いくつかの禁忌（下三連、孤平、冒韻、同字の重複）について。／白居易「三月三十日題慈恩寺」、吳錫麒「送春」などを鑑賞。／実作（七言一句を作る）
第 5 回	ほととぎすの詩鑑賞／実作指導	杜甫「子規」、嵯峨波響「聞鵲」などを鑑賞。／実作
第 6 回	牡丹の詩鑑賞／実作指導	皮日休「牡丹」、石川丈山「白牡丹」などを鑑賞。／実作

第 7 回	薔薇・石榴の詩鑑賞／実作指導	高駢「山亭夏日」、柏木如亭「石榴」などを鑑賞。／実作
第 8 回	山行の詩鑑賞／実作指導	王安石「鍾山」、広瀬淡窓「彦山」などを鑑賞。／実作
第 9 回	梅雨の詩鑑賞／実作指導	趙師秀「約客」、篠崎小竹「梅雨」などを鑑賞。／実作
第 10 回	蓮の花の詩鑑賞／実作指導	白居易「池上」、菅茶山「夏日雜詩」などを鑑賞。／実作
第 11 回	螢・蟬・蠅・蚊の詩鑑賞／実作指導	杜甫「螢火」、北條霞亭「観螢」、蘇軾「溪陰堂」、韓愈「雜詩」などを鑑賞。／実作
第 12 回	苦熱・避暑・昼寝の詩鑑賞／実作指導	柳宗元「夏昼偶作」、袁枚「銷夏」、野田笛浦「昌平橋納涼」などを鑑賞。／実作
第 13 回	夕立の詩鑑賞／実作指導	蘇軾「六月二十七日、望湖樓醉書」、大窪詩仏「急雨」などを鑑賞。／実作
第 14 回	夏の江村・舟行・滝の詩鑑賞／実作指導	杜甫「江村」、李白「望廬山瀑布」などを鑑賞。／実作

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書に挙げたような漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当者作成の資料を配布する。

【参考書】

石川忠久『漢詩を作る』（大修館書店）
 石川忠久『漢詩の稽古』（大修館書店）
 鷲野正明『初めての漢詩創作』（白帝社）
 鈴木健一編『漢文のルール』（笠間書院）
 前野直彬『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
 村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
 目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
 山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
 猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』（角川書店）
 石川忠久『漢詩をよむ 春の詩 100 選』
 同 『漢詩をよむ 夏の詩 100 選』
 同 『漢詩をよむ 秋の詩 100 選』
 同 『漢詩をよむ 冬の詩 100 選』（以上、NHK 出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業中に作って提出する漢詩の実作） 50 %

期末試験またはそれに代わる最終レポート 50 %

【学生の意見等からの気づき】

実作指導の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to write Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report) : 50%、Short reports : 50%

LIT200LA

外国文学と文化 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：『唐詩選画本』を読む

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

江戸時代に日本で刊行された『唐詩選画本』をテキストとして唐詩を読む。『唐詩選画本』は絵と詩の本文、その訓み下し文、日本語による解説文によって構成されている。はじめに『唐詩選画本』を含む唐詩のテキストについて概説する。以後は五言絶句から始めて徐々に長い詩に進むかたちで具体的な作品を鑑賞してゆく。「歳時詩」「辺塞詩」「閨怨詩」「唱酬詩」「詠物詩」「詠史詩」といった漢詩のテーマについても折を見て解説を加えるつもりである。なお、『唐詩選画本』の訓み下し文、解説文は「変体仮名」で記されているので、変体仮名を読む訓練にもなるであろう。

【到達目標】

- ・中国古典文学の基盤をなす考え方を知るとともに漢詩の読解に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・変体仮名に慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。第一回目の授業で、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について説明する。第二回目の授業では「変体仮名」について説明した上で、『唐詩選画本』の具体的な作品を鑑賞してゆく。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩をどのように読み解いていたかを具体的に知ってほしい。

※第 1 回目の授業はオンラインで行ないます。

※第 2 回目以降は対面授業の予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。

※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	漢詩の形式について、唐詩のテキストについて	漢詩の形式の解説。『全唐詩』『三 体詩』『唐詩選』『唐詩三百首』 『唐詩選画本』等の説明。
第 2 回	鑑賞（五言絶句）	賀知章「題袁氏別業」
第 3 回	鑑賞（五言絶句）	駱賓王「易水送別」
第 4 回	鑑賞（五言絶句）	李白「静夜思」
第 5 回	鑑賞（五言絶句）	王維「班婕妤」
第 6 回	鑑賞（七言絶句）	王勃「蜀中九日」
第 7 回	鑑賞（七言絶句）	王翰「涼州詞」
第 8 回	鑑賞（七言絶句）	李白「峨眉山月歌」
第 9 回	鑑賞（七言絶句）	王昌齡「閨怨」
第 10 回	鑑賞（五言律詩）	杜甫「旅夜書懷」
第 11 回	鑑賞（五言律詩）	張謂「同王徵君洞庭有懷」
第 12 回	鑑賞（七言律詩）	崔顥「黃鶴樓」
第 13 回	鑑賞（五言古詩）	李白「子夜吳歌」
第 14 回	鑑賞（七言古詩）	杜甫「貧交行」

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書に挙げたような漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当者がプリントを用意する。

【参考書】

前野直彬注解『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
猪口篤志『日本名詩鑑賞辞典』（角川書店）
小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）
石川忠久『漢詩をよむ 春の詩 100 選』
同 『漢詩をよむ 夏の詩 100 選』
同 『漢詩をよむ 秋の詩 100 選』
同 『漢詩をよむ 冬の詩 100 選』（以上、NHK 出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業支援システムを使って提出する課題）50 %
期末試験またはそれに代わる最終レポート 50 %

【学生の意見等からの気づき】

変体仮名を読む訓練の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to appreciate Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report) : 50%、Short reports : 50%

LIT200LA

外国文学と文化 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イタリア・オペラに親しむ (1)

大崎 さやの

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他
/intensive・other courses

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

オペラは 16 世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品を取りあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。日本では比較的馴染みが薄いオペラですが、特にイタリア・オペラはありふれた内容のものが多く、肩肘張って見るような難しいものでは決してありません。楽しみながらヨーロッパ文化の神髄であるオペラに親しんでいきましょう。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

オペラの誕生したルネサンスから 18 世紀までのオペラを講義形式で扱います。配布 PDF の他、視聴覚教材を用います。また適宜、課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。授業はオンデマンド方式で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	授業紹介
	ルネサンスの舞台芸術 (1)	ルネサンスと宮廷音楽劇
②	ルネサンスの舞台芸術 (2)	コンメディア・デッラルテとマドリガル・コメディ
③	オペラの誕生 (1)	カメラータ・フィオレンティーナとオペラの誕生、モンテヴェルディの生涯
④	オペラの誕生 (2)	モンテヴェルディ作曲、ストリッジョ台本のオペラ
⑤	バロック・オペラ (1)	ヴェネツィア・オペラとカストラートの隆盛
⑥	バロック・オペラ (2)	モンテヴェルディ作曲、プゼネッロ台本のオペラ
⑦	バロック・オペラ (3)	ヘンデルの生涯と作品
⑧	バロック・オペラ (4)	ヘンデル作曲、ハイム台本のオペラ
⑨	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (1)	アルカーディア・アカデミーとオペラ
⑩	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (2)	メタスタージオ台本、ヴィンチ作曲のオペラ
⑪	オペラ・セーリアの改革 (1)	グルックとカルツァビーギについて

- ⑫ オペラ・セーリアの改革 (2) グルック作曲、カルツァビーギ台本のオペラ
- ⑬ オペラ・ブッフアとインテルメッツォ
- ⑭ 授業のまとめ 期末課題。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内、または GoogleClassroom で指示します。GoogleClassroom のコードは、授業支援システム (Hoppii) で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

GoogleClassroom で資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

授業内、または GoogleClassroom で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（期限内に提出された課題含む）（約 70 %）と期末課題（約 30 %）により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能（大学の Office 365 に入っています）を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via GoogleClassroom; GoogleClassroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (70%) and the final assignment (30%).

LIT200LA

外国文学と文化 L F

2017 年度以降入学者

サブタイトル: イタリア・オペラに親しむ (2)

大崎 さやの

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 集中・その他/intensive・other courses

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オペラは 16 世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。外国文学と文化 F では、春学期の外国文学と文化 E に引き続き、19 世紀から 20 世紀にかけての爛熟期のイタリア・オペラを扱います。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業では 18 世紀から 20 世紀にかけてのイタリア・オペラを扱います。プリント (オンラインの場合 PDF) の他、視聴覚教材を用います。また適宜、課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。授業はすべてオンデマンド方式で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
①	オペラ・ブッファ	18 世紀までのオペラの簡単な歴史とオペラ・ブッファについて
②	古典派オペラ (1)	モーツァルト作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
③	古典派オペラ (2)	モーツァルト作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
④	古典派オペラ (3)	モーツァルト作曲のオペラ (3) 作品解説
⑤	古典派オペラ (4)	モーツァルト作曲のオペラ (4) 作品鑑賞
⑥	ロマン派オペラ (3)	ロッシーニ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑦	ロマン派オペラ (4)	ロッシーニ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑧	ロマン派オペラ (5)	ドニゼッティ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑨	ロマン派オペラ (6)	ドニゼッティ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑩	ロマン派オペラ (7)	ヴェルディ作曲のオペラ (1) 生涯と作品
⑪	ロマン派オペラ (8)	ヴェルディ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑫	ロマン派オペラ (9)	ヴェルディ作曲のオペラ (3) 作品解説
⑬	世紀末から 20 世紀にかけてのオペラ (2)	プッチーニ作曲のオペラ 作品鑑賞

⑭ 授業のまとめ

期末課題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業内、または GoogleClassroom で指示します。GoogleClassroom のコードは、授業支援システム (Hoppii) で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

GoogleClassroom で資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

授業内、または GoogleClassroom で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (期限内に提出された課題含む) (70 %) と期末課題 (30 %) により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

分かり易い授業を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能 (大学の Office 365 に入っています) を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via GoogleClassroom; GoogleClassroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (about 70%) and the final assignment (about 30%).

LIT200LA

文学と社会 L A

2017 年度以降入学者

梶 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ（副題）：日本文学と民俗

「民俗」（民間伝承）とは、ある地域社会、特定のコミュニティのごくふつうの人々の暮らしの中で集団的に形づくられ、時代を超えて伝えられてきた暮らし方や心の持ち方を指します。「地域（ローカル）」の範囲は、小さくは一つの集落、大きくは世界（グローバル）の中の日本という「地域」といったように、さまざま設定できます。この授業では世界の中の日本、という視野のもと、こうした「民間伝承」を研究対象とする「民俗学」を採り入れた日本文学研究の世界を、『万葉集』『古事記』『日本書紀』『風土記』『古今和歌集』『源氏物語』等、主として上代・中古の文学の中から事例を選んで紹介します。民俗学的な日本文学研究とは、個々の作者・作品の個性や創意、時代性を超えて、現代の私たちの心の底にまで伝わっていると考えられるような集団的心性を、残された言語表現を通じて探ろうとするものである、といえるでしょう。このような性格のため、「個」（一作者や作品）の芸術性の追究といったことを期待する人には、不向きと思われるます。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室での対面授業を基本とする、ふつうの講義形式です。（事情がある場合は、オンライン参加も可とします。）小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。気軽な質疑応答の時間や、（時々）リアクションペーパーにより感想を記す時間を十分に採り入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	民俗学的な日本文学研究について、概説
第 2 回	桜の文学と民俗（1）	季節感と古典文学との関わり、またその源流と考えられる民俗について
第 3 回	桜の文学と民俗（2）	前回の続きとまとめ
第 4 回	「女歌」の特色と源流（1）	男女の恋の贈答歌における女性の歌の特色と、その源と考えられる「歌垣」の習俗について
第 5 回	「女歌」の特色と源流（2）	前回の続きとまとめ
第 6 回	恋歌の虚構性	万葉集・額田王の蒲生野の恋歌を例に
第 7 回	古代女性の巫女的性格と文学（1）	古代女性の「神」に仕える役割と古典文学、歴史との関係

第 8 回	古代女性の巫女的性格と文学（2）	前回の続き
第 9 回	古代女性の巫女的性格と文学（3）	前回の続きとまとめ
第 10 回	「恋（こひ）」の生活と霊魂信仰（1）	「魂乞い」・名前の民俗ほか、和歌や物語から恋愛に関わる霊魂信仰（生命観）を探る
第 11 回	「恋（こひ）」の生活と霊魂信仰（2）	前回の続きとまとめ
第 12 回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（1）	昔の日本人にとっての「誕生」「成人」の意義と文学への反映
第 13 回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（2）	前回の続きとまとめ
第 14 回	総括と授業内試験	話してきた例題のポイントを振り返ったあと、まとめのテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学に高校までの授業のイメージを持たずに、現代語訳でもいいので、日頃からその世界に親しんでほしいと思います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに随時アップする資料プリントをもって代えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 85 %。その他（質問や、時々行うリアクションペーパーの内容等）15 %

【学生の意見等からの気づき】

3 年ぶりの開講のため、略します。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

"Folk" (folklore) refers to the way of life and mindset that has been collectively formed in the lives of ordinary people in a certain community or a specific community and has been passed down through the ages.

increase. The range of "region (local)" can be set in various ways, such as one village for small and Japan in the world (global) for large. In this class, from the perspective of Japan in the world, the world of Japanese literature research that incorporates "folklore" that targets such "folklore" will be discussed in "Manyōshū," "Kojiki," and "Nihonshoki." We will introduce examples mainly from the literature of the upper generation and used, such as "Fudoki," "Kokin Wakashū," and "Genji Monogatari". Folklore Japanese literature research transcends the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works, and is the bottom of our hearts today.

Folklore Japanese literature research leaves behind a collective spirit that is thought to be transmitted to the bottom of our hearts today, transcending the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works. It can be said that it is an attempt to explore through the linguistic expressions that have been made. Because of this personality, it seems unsuitable for those who expect to pursue the artistry of "individuals" (one author or work).

Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.
- ・ As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. I would like you to become familiar with the world on a daily basis, as you can use a modern translation without having the image of a class up to high school in classical literature.

Grading criteria

Final exam 85%. Others (questions, content of reaction papers sometimes asked, etc.) 15%

LIT200LA

文学と社会 L B

2017 年度以降入学者

梶 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ（副題）：日本文学と民俗

梶「文学と社会 LA」と同じです。ただし具体的な内容は「授業計画」に記す通り、異なります。A よりも「民俗」（＝民間伝承）の部分に重点を置いた内容になります。「文学」発生の母胎としての性格を未だによく保持しており、日本文学の「古代性」を考える上で重要なヒントになるとされる沖縄離島の祭事・信仰をクローズアップして紹介する回が多くなり、時間があればそれを材料に、伝統文化を活かした持続可能な地域形成に祭事や言語伝承が果たす役割なども考察したいと思っています。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室での対面授業を基本とし、オンライン参加も可能にする予定の、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。気軽な質疑応答の時間や、(時々)リアクションペーパーにより感想を記す時間を十分に採り入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	日本文学の民俗学的な見方について、概説
第2回	季節行事と文学（1）	具体例として、古典文学における七夕と、七夕関連行事・民俗について
第3回	季節行事と文学（2）	日本固有のタナバタ説話について／2回のまとめ
第4回	古代文学に表現された異郷「妣（はは）の異郷」(1)	古事記の用例をめぐって、語の意味・由来、背景に考えられる民族移動・渡来歴史など
第5回	古代文学に表現された異郷「妣（はは）の異郷」(2)	別視点：「異族結婚」が多かった時代の記憶の反映／2回のまとめ
第6回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(1)	万葉集・記紀・風土記などに見え用 例 明・暗両面性
第7回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(2)	比較事例として沖縄離島における「ニライカナイ」を紹介／明暗両面の意味の考察
第8回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(3)	異郷からの訪問者（神など）の特 色／3回のまとめ

第 9 回 「貴種流離譚」(1)	神（またはそれに近い高貴な存在）がさすらう物語の類型をめぐって
第 10 回 「貴種流離譚」(2)	古代的な生命観・霊魂信仰や異郷意識（他界観）との関わり／2 回のまとめ
第 11 回 「異郷」「他界」と「転生」	第 4 回～11 回にも関連する、日本人の生命観にかかわる考察
第 12 回 「神話」が生きたる島 (1)	祭事・信仰などに古代的要素が残っている日本の離島の例を紹介
第 13 回 「神話」が生きたる島 (2)	前回の続き
第 14 回 総括の授業と授業内試験	話してきた例題のポイントを振り返ったあと、まとめのテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学と「民俗」との関連を知ることをきっかけに、地域の伝統行事を見学することなども奨励します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。随時、学習支援システムにアップする資料プリントをもって代えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 85 %。その他（質問、リアクションペーパー等）15 %。

【学生の意見等からの気づき】

3 年ぶりの開講のため、略します。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

This class is same as "Literature and Society LA" by Kaji. However, the specific content is different as described in the "Class Plan". The content focuses on the "folk" (= folklore) part rather than A. A close-up introduction to the festivals and beliefs of the remote islands of Okinawa, which still retains the character of the mother of "literature" and is considered to be an important hint when considering the "ancientity" of Japanese literature. If I have more time, I would like to consider the role of festivals and linguistic tradition in the sustainable regional formation that make use of traditional culture.

Goal

This lecture aims at the following two goals

- Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.

- As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. We also encourage you to visit traditional events in the area by learning about the relationship between classical literature and "folklore".

Grading criteria

Final exam 85%. Others (questions, content of reaction papers sometimes asked, etc.) 15%

LIT200LA

文学と社会 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：江戸の印刷・出版物

白戸 満喜子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では江戸時代の文学作品『御存商売物』を通読します。作品を通して江戸の出版文化の多様性に触れていきます。江戸という地域・時代に暮らした人々が手にしていた、読んでいた、眼にしていた、時には聴いていたさまざまなメディアを、実際に読んだり聴いたりすることで江戸を体感します。

【到達目標】

江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。

くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は『御存商売物』という江戸時代の印刷・出版物を人物になぞらえた作品を通読しながら講義を行います。あわせて作品の中に登場人物として描かれている印刷・出版物を読解する演習形式を取り入れます。意匠絵本（デザイン集）・暦など、簡単な読み物の翻字（くずし字を現代仮名遣いにすること）のノウハウを解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・江戸時代の文学について ・テキスト『御存商売物』について
2	テキスト『御存商売物』の解説	・外国人から見た江戸 ・日本の書物 ・江戸後期の文学作品 ・江戸の出版
3	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の紋様 ・大坂と江戸
4	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の人気小説 ・江戸の食べ物
5	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の絵画 ・江戸時代までの紙 ・江戸の流行歌
6	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・「見立（みたて）」という表現 ・小道具と物語の関係
7	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・絵と文の関係を読み取る ・江戸の慣習
8	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の街並み ・江戸の繁華街「吉原」 ・浮世絵と鑑賞の基礎知識

- 9 テキスト『御存商売 物』の解説とくずし字の読解 ・現在と異なる暦
・江戸の教養を支えた書物の読解
- 10 テキスト『御存商売 物』の解説とくずし字の読解 ・江戸の土産物
・江戸時代の夫婦喧嘩の読解
- 11 テキスト『御存商売 物』の解説とくずし字の読解 ・江戸の占い
・江戸のおまじないの読解
- 12 テキスト『御存商売 物』の解説とくずし字の読解 ・江戸の学問書
・江戸時代の情報伝達の読解
- 13 テキスト『御存商売 物』の解説とくずし字の読解 ・江戸時代の流行り廃り
・江戸の刑罰の読解
- 14 授業のまとめ ・江戸時代の豊かな出版文化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中に随時、レポートに関する情報を話しますので、その情報を参考にしながら江戸に関する知識を広げて下さい。
くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。くずし字読解の準備として 2 時間、復習に 2 時間、計 4 時間を必要とします。

【テキスト（教科書）】

授業中にプリントを配布します

【参考書】

くずし字読解のための参考文献は以下の 2 冊ですが、読解に必要なプリントは別途授業中に配布します。
・笠間影印叢刊刊行会『字典かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

レポート 40 % 筆記試験（最後の授業時に一回）40 % 平常点（授業への取り組み・発言）20 % として評価します。
詳細は開講時にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

「高校までは学んでこなかった、非常に興味深い内容だった」という感想が寄せられています。古典文学でもなく、現在の小説とも異なる、江戸の大人の娯楽と教養を『御存商売物』という作品を通じて楽しんで下さい。

【Outline (in English)】

In this class, we read through the literary work "Gozonji-no-shobaimono" in the Edo Period. Through the work we can touch on the diversity of Edo's publishing culture. You will experience Edo by actually reading and listening to various media that people were living in in the region & the era of Edo. Sometimes you can listen the audible media.

The main goal of this course is to understand the characteristic culture, customs, and sensations of the Edo period through the textbook "Gozonji-no-shobaimono".

Another goal is to be able to read simple publications and printed matter written in cursive script (Hentaigana).

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time, and read them before class. It takes 2 hours to prepare for reading comprehension and 2 hours to review, for a total of 4 hours.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Short reports 40 %, Term-end examination 40 %, in class contribution 20 %

LIT200LA

文学と社会 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：江戸の絵入り本で読む百人一首

白戸 満喜子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

浮世絵が添えられた絵本『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> を受講生全員で分担し、読解・解釈をします。最近では競技としての知名度が上がってきた百人一首が、いつ、どのようにして成立し、また現在まで人々に愛されてきたのか。江戸時代の人々が楽しんだ百人一首を読み解き、和歌の解釈と描かれた歌人について学んでいきます。

【到達目標】

くずし字で書かれた和歌（ひらかなの部分とその字母）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。

各自の担当する和歌について、1：字母を確認しながら翻字をする、2：解釈（意味や技法）する、という 2 点から考察・発表をし、『錦百人一首あづま織』という絵本の成立を理解し、和歌の知識を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

はじめは百人一首と『錦百人一首あづま織』について講義を行います。その後は受講生がそれぞれ分担する和歌についての読解・解釈を順番に発表します。発表者以外はそれぞれの読解・解釈を準備しておき、発表内容に対して授業内掲示板で意見交換をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	テキスト『錦百人一首あづま織』百人一首とは何か くずし字読解の方法と解釈
2	テキスト『錦百人一首あづま織』の構成について解説	テキストに関する講義
3	テキスト『錦百人一首あづま織』の読解方法	テキストの翻字・解釈の具体的な方法・内容
4	勅撰和歌集に関する講義 1 および受講者による発表 1 回目	勅撰和歌集とは何か：八代集 ・担当者による発表
5	勅撰和歌集に関する講義 2 および受講者による発表 2 回目	勅撰和歌集にまつわる逸話 ・担当者による発表
6	歌合に関する講義 1 および受講者による発表 3 回目	歌合とは何か ・担当者による発表
7	歌合に関する講義 2 および受講者による発表 4 回目	歌合に賭けた歌人たち ・担当者による発表
8	歌道に関する講義および受講者による発表 5 回目	歌道とは何かー和歌の変化 ・担当者による発表

9	百人一首の中世写本に 関する講義および受講 者による発表6回目	・中世における百人一首 ・担当者による発表
10	百人一首の近世写本に 関する講義および受講 者による発表7回目	・手で書き写された百人一首：近 世の写本 ・担当者による発表
11	百人一首版本に関する 講義1 および受講者に よる発表8回目	・印刷された百人一首 ・担当者による発表
12	百人一首版本に関する 講義2 および受講者に よる発表9回目	・浮世絵と百人一首 ・担当者による発表
13	百人一首版本に関する 講義3 および受講者に よる発表10	・百人一首とかるた ・担当者による発表
14	テキスト『錦百人一首 あづま織』のまとめ	教員による全体の解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

履修者にはこちらから発表分担となる和歌を指定します。受講生は各自が分担する和歌の翻字と読解・解釈を指定日までに提出してください。分担以外の和歌については、それぞれ読解しておいてください。各自の読解に基づいて発表内容に対する意見交換をします。くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。テキストのくずし字読解として2時間、授業で扱った和歌の字母確認・復習に2時間を毎回必要とします。

【テキスト（教科書）】

『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227>

【参考書】

くずし字を読むための参考文献は以下の2冊ですが、読解用のプリントは教材にアップロードします。文学と社会LC既習者は同じプリントになります。

- ・笠間影印叢刊行会『字典かな』笠間書院
- ・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

分担発表の内容 30 % 平常点（授業内での意見内容） 40 % 期末レポート 30 % として評価します。分担する和歌の翻字と読解・解釈の未提出、発表内容に関する意見交換がない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

「江戸時代の文字を翻字すること、内容を読み解くこと、どちらも謎解きのように楽しかった」という感想が寄せられています。くずし字の読解は、昔の日本人たちと時空を越えたコミュニケーションをするようなもの。語学習得に似ているものの、ひと味異なる独特の達成感を味わって下さい。

【その他の重要事項】

関連部分があるので文学と社会LCを履修していることが望ましいものの、前向きな性格・柔軟な思考・気合などのどれかがあれば秋学期のみの履修も可能。

【Outline (in English)】

In this class, we read the original book of "Nishiki Hyakunin Isshu Azuma Ori" <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> with ukiyo-e. Hyakunin Isshu has been loved by people, and recently it has gained recognition as a sport. We will read Hyakunin Isshu which was made in the Edo period, and learn about the interpretation of waka and the singer drawn.

The main goal of this lesson is to read and interpret waka (the hirakana part and its character) written in cursive script.

About the waka poems that each person is in charge of

- 1: Transliterate while checking the character
- 2: Interpret (meaning and technique),

We will consider and present from these two points, understand the formation of the text, and deepen our knowledge of waka.

Students will be assigned a waka poem to be shared by the instructor. Students are requested to submit the transliteration, reading comprehension, and interpretation of the waka poems that they share by the designated date. Please read each of the waka poems other than the division. We will exchange opinions on the content of the presentation based on each person's reading comprehension.

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time and read them before class. It takes 2 hours to read the text and 2 hours to check and review the waka characters used in the class.

Final grade will be calculated according to the following process Mid-term report (30 %), in-class contribution (40 %), and term-end examination (30 %)

However, if there is no transliteration of the shared waka poem, unsubmitted reading comprehension / interpretation, and no exchange of opinions regarding the content of the presentation, it will not be evaluated.

LIT200LA

文学と社会 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 日本近代現代文学—小説を読む技術

中澤 忠之

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

小説を読むとき、私たちはどんなところを重視するでしょう。たとえば、泣けるかどうかとか、感情移入できるかどうか、とかいったところでしょうか。実際、これまで中学校や高校の現国の授業では、主人公の心情を素直に読み取るトレーニングを受けてきたはずですが。しかし、小説の書き方・読み方は一様ではありません。この講義は、小説の書き方・読み方には多様性があることを知り (夏目漱石とライトノベルを優劣関係ではなく多様性の一つとして捉えること)、それを身に付ける土台作りとなるでしょう。そのためにはまず、小説の成り立ちをおさらいすることからはじめます。そして文学史にしたがって、小説の書き方・読み方が変化し、新たな書き方・読み方の発見が文学史を豊かに形成してきたことを確認します。戦前の文学史がメインですが、最近の文学史にも積極的にふれます。マンガや映画、美術など、文学に隣接するジャンルにもしばしば言及したい。

【到達目標】

創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

対面による講義です。

(初回のみ Zoom によるオンライン講義です。)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	現在の文学が置かれた状況	最近の文学事情を、他のジャンルとの関係から明らかにする。
第 3 回	文学作品の読み方	文学の仕組みを解説して、高校時代までの読み方を相対化する。
第 4 回	近代文学の誕生①	言文一致 (いわゆる近代日本語) を中心に、近代文学が形になったプロセスを解説。 言文一致形成の全体像を確認する。
第 5 回	近代文学の誕生②	言文一致形成の初期 (明治 10 から 20 年代) の状況を作品を参照しながら確認する。
第 6 回	近代文学の誕生③	言文一致形成の後期 (明治 30 から 40 年代) の状況を作品を参照しながら確認する。
第 7 回	文学史第 1 期 (明治 20~40 年の文学)	リアリズム (写実主義) は近代に確立した表現法だが、そのリアリズムが確立した時代の表現パターンを解説。

第 8 回	文学史第 2 期 (大正時代の文学)	私小説がはやり時代の表現パターンを解説。文学における自己表現を問題にしたい。
第 9 回	文学史第 3 期 (1920 年代) ①	社会が大衆化したモダニズムの時代の表現パターンを解説。
第 10 回	文学史第 3 期 (1920 年代) ②	具体的な文学作品を参照する。
第 11 回	文学史第 4 期 (1930 年代) ①	文学表現が成熟した時代の表現パターンを解説。現代の表現とも関係させる。
第 12 回	文学史第 4 期 (1930 年代) ②	具体的な文学作品を参照する。
第 13 回	現在の文学との接点	過去の文学を参照することで現代文学の読み書きにいかに応用できるのかを考察する。
第 14 回	まとめ	これまでの講義の総括。今後の現代文学の読み方についても触れる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

少しでも文学作品に触れてください。しかし闇雲に読むのではなく、ジャンルを意識しながら読むことをおすすめします。ジャンルが分からなければ、大きめの本屋に行つて書棚がどういう配置になっているのか、どういう本が収まっているのかを確認してみるのもよいです。たとえば、映画をよく観る人は TSUTAYA の棚陳列がどういうジャンル区分に従っているのかよくわかっているはずですが。AKB48 のファンは、素人目には同じように見える顔が、それぞれ個性を持ち、ジャンル分けできることを知っているはずですが。文学も同じです。小説を全く読まない人は、まず『ノルウェイの森』(村上春樹)と『時をかける少女』(筒井康隆)と『涼宮ハルヒの憂鬱』(谷川流)の 3 冊を読み比べてみてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後に提出してもらうレポートが評価の主要な対象となります。各回ごとの課題 (400 字程度) も評価したい。評価の割合は最後のレポートが 70 %、課題を 30 % とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるころではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

【Outline (in English)】

【Course outline and Learning objectives】

This lecture aims to give techniques and cultures to read novels, using the work of modern Japanese literature.

How to write and read novels is not single. In this lecture, you can learn that diversity exists in how to write and read novels. Let's begin by reviewing the origins of the novel. And according to the history of literature, We confirm that the way of writing and reading the novel has changed.

【Learning activities outside of classroom】

Please read even a little literary work. I recommend reading while being aware of the genre. If you don't know the genre, check the shelves in the bookstore.

【Grading Criteria/Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA

文学と社会 L F

2017 年度以降入学者

サブタイトル：文学における性表現と差別表現

中澤 忠之

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses
単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

普段何気なく読んでいた小説が、きわめて政治的で社会的なものであるということ考えたことがあるでしょうか。文学作品は、人畜無害な単なるフィクションではありません。ときに世の中の差別や偏見を生み出し助長するものであり、特定の個人や集団を傷つけるものでもあります。あるいはまた、社会秩序を乱すとして批判される過激な暴力や性表現も無視できないでしょう。もちろんその一方で、社会の差別や偏見と戦ってきた歴史も、文学にはあります。文学作品における、こういった政治的かつ社会的な側面を、本講義では取り上げます。素材は性表現と差別表現がメインです。メディア環境が激変している昨今の事情に対応させて、取り上げる表現は文学のみならず、映画やマンガなど多岐にわたる予定です。現在進行形の話題も積極的に扱います。

【到達目標】

これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎週配信するオンデマンドのラジオ講義と資料配布によって進めていきます。

課題の提出は、学習支援システム（HOPPII）の「課題」から行います（詳細は最初の講義で解説します）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	文学が置かれた社会状況	表現規制の最近の動向を解説。
第 3 回	性表現・暴力表現と規制①	性・暴力表現とその規制の歴史を振り返る。
第 4 回	性表現・暴力表現と規制②	「わいせつ罪」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 5 回	性表現・暴力表現と規制③	「青少年保護」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 6 回	性表現・暴力表現と規制④	「児童ポルノ」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 7 回	性表現・暴力表現と規制⑤	ネット社会における性・暴力表現について解説する。
第 8 回	差別表現と規制①	差別表現とその規制の概要を解説する。
第 9 回	差別表現と規制②	差別の仕組みを知るために、具体的な作品を参照する。
第 10 回	差別表現と規制③	戦後の日本における差別の歴史を振り返る。

第 11 回 差別表現と規制④

差別には複数のパターンがあるので、それらを分節化して解説する。

第 12 回 差別表現と規制⑤

差別表現とその規制の現在。特にネット社会における差別表現（MeToo 運動など）を考える。最近話題になる嫌韓・嫌中の「ヘイトスピーチ」について考察する。

第 13 回 差別表現と規制⑥

第 14 回 まとめ

これまでの講義の総括。表現の自由とその規制の社会的バランスを考える。また、補足として、著作権やプライバシーの問題から表現の社会性をにも言及したい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

まず何より活字や映像作品に触れてください。そして、表現規制の話題は常時ニュースになるので、そのつど気にかけて、新聞やウェブでの議論に触れてほしい。たとえば、昨今話題になっている性表現なり差別表現に対する規制強化の動き、あるいはネット上で盛んに行われている著作物の無断コピーや二次創作等について考えてみるのもよいでしょう。

ここ数年は、美術家の性的な表現物がわいせつ罪に問われたり、また差別的なヘイトスピーチがメディアで盛んに取り扱われています。文学作品にとらわれず、こういった表現にかかわる社会的問題に注目してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後に提出してもらうレポートが評価の主要な対象となります。各回ごとの課題（400 字程度）も評価したい。評価の割合は最後のレポートが 70 %、課題を 30 % とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるころではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。映像を積極的に導入し、時事的な話題も取り入れました。

【Outline (in English)】

【Course outline】 【Learning objectives】

The novel has a very political and social part. Literary works are not mere fiction. They sometimes produce discrimination and prejudice of the world, and they also hurt certain individuals and groups. Or you can not ignore radical violence or sexual expression that is criticized as disturbing the social order.

On the other hand, literature also has a history of fighting social discrimination and prejudice. This lecture will cover these political and social aspects of literary works. Sexual expression and discrimination are the main material.

Our goal is to acquire a culture that allows us to understand topics such as freedom of expression and violence of expression through legal regulations and the history of expression.

【Learning activities outside of classroom】

Please contact literary works and video works. And since the topic of freedom of expression and expression regulation is always news, please contact the discussion in newspapers and the web.

【Grading Criteria / Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA

日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 現代日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 集中・その他
/intensive・other courses

単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10:00~6 日 (水) 9:00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22:00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を鑑賞しながら、原作小説を講読します。2021 年に劇場公開された以下の 6 作品を取り上げる予定です。

文学表現と映像表現を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か?」という視点から小説を解説する力の獲得を目指します。

竹宮ゆゆこ『砕け散るところを見せてあげる』(SABU 監督)

西加奈子『漁港の肉子ちゃん』(渡辺歩監督)

村上春樹『ドライブ・マイ・カー』(濱口竜介監督)

佐藤正午『鳩の撃退法』(タカハタ秀太監督)

瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』(前田哲監督)

中山七里『護られなかった者たちへ』(瀬々敬久監督)

*劇場公開順。作品は変更の可能性があります。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンルの小説を深く読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的に表現することができるようになります。

加えて、個人の生き方や社会システム、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。映画の一部を鑑賞しながら、原作小説を精読し、作品分析を行っていきます。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取りあげる作品はすべて文庫化されていますので、事前に読んだ上で授業に臨む形がベストです。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読 (1)	小説の講読&分析&考察
3	映画観賞 (1)	原作の映画鑑賞&分析&考察
4	原作小説の講読 (2)	小説の講読&分析&考察
5	映画観賞 (2)	原作の映画鑑賞&分析&考察
6	原作小説の講読 (3)	小説の講読&分析&考察
7	映画観賞 (3)	原作の映画鑑賞&分析&考察
8	原作小説の講読 (4)	小説の講読&分析&考察
9	映画観賞 (4)	原作の映画鑑賞&分析&考察
10	原作小説の講読 (5)	小説の講読&分析&考察
11	映画観賞 (5)	原作の映画鑑賞&分析&考察
12	原作小説の講読 (6)	小説の講読&分析&考察
13	映画観賞 (6)	原作の映画鑑賞&分析&考察
14	春学期授業のまとめ	春学期授業のまとめと、レポート提出について

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し鑑賞し直すことで、作品の理解を深めるよう努めてください。

レポート提出のための事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業で扱う以下の文庫本。

- ・竹宮ゆゆこ『砕け散るところを見せてあげる』(新潮文庫 nex)
- ・西加奈子『漁港の肉子ちゃん』(幻冬舎文庫)
- ・村上春樹『ドライブ・マイ・カー』(文春文庫『女のいない男たち』収録)
- ・佐藤正午『鳩の撃退法』(小学館文庫)
- ・瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』(文春文庫)
- ・中山七里『護られなかった者たちへ』(宝島社文庫)

【参考書】

参考書・参考文献は指示します。

必要な資料は別途配付します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します (100%)。

試験や小テストや宿題はありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

映画を観る時間を増やしてほしいとの意見が多くあるので、可能な限り鑑賞時間を増やす努力をします。

専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

本授業は曜日や時限を設けないオンライン授業となります。履修は抽選になります。春学期の抽選期間に必ず申し込みを行ってください。

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。ツイッター (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

Outline and objectives

We read the original novel after having watched movie work that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 works in 2021.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 titles after carefully selecting from the works released in 2021.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. We aim to acquire the ability to read novels from the perspective of "what literature-specific expressions are."

Reading novels in a variety of genres representing contemporary Japanese literature, you will be able to extract, organize, analyze, and express in their own words various elements from the works as complex linguistic structures.

Please read the works carefully, take notes on what you notice, and summarize your questions.

Grading will be decided based on report 100 %.

LIT200LA

日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル：新海誠の文学世界

榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 3 位、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えました。2019 年には最新作『天気の子』が封切られ、前作同様の評価を得ました。そして今秋、最新作『すずめの戸締まり』が公開予定で、期待が高まります。

新海誠というクリエイターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭にまで遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の間の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。アニメーションというジャンルの枠を超えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとらえ直す必要があります。

新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作のノベライズ（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者による映画版と小説版を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。

本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的」に観賞し、かつ「分析的」に解説する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンごとに分析的に解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、さまざまな他人の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義とプレゼンテーションを合わせた形で行います。新海誠作品を初期から最新作まで（場合によっては作品の一部を）を観賞し、各シーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのはシーンを構成する一つひとつのカットです。カットにはクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

もう一つ重要なのは、言葉（ナレーションや科白や対話）です。本授業では新海作品の言葉に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用しあい、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく見ていきます。

新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
3	『はしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	装置としてのSF
5	『秒速5センチメートル』	風景と速度をめぐる物語
6	『星を追う子ども』	異界への移動と帰還
7	『言の葉の庭』	映像美学を支える文学性
8	『小説 言の葉の庭』	ノベライズの方法
9	短編作品& CM 作品	新海誠のアザーワークス
10	『君の名は。』前半	すれ違いと入れ替わりの趣向をめぐって
11	『君の名は。』後半	共苦する魂のゆくえ
12	『天気の子』前半	東京オリンピック後のもう一つの未来
13	『天気の子』後半	人身御供譚としての構成
14	『ずずめの戸締まり』	最新作について考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

アニメーションを観たり小説を読む際に、ただ受動的に観賞するのではなく、作品の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。実在する場所が物語のシーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

榎本正樹『新海誠の世界 時空を超えて響きあう魂のゆくえ』（KADOKAWA、2021年）

【参考書】

授業で扱う新海誠のノベライズ作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速5センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』とも、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/>

その他の参考書・参考文献や参考サイトは別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストや宿題はありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。

可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】

本授業は曜日や時限を設けないオンライン授業となります。履修は抽選になります。春学期の抽選期間に必ず申し込みを行ってください。

アニメーションや現代日本文学に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. In 2019, his latest work "Weathering With You" was released. And a new film "Suzume no Tojimari" will be released this fall. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints. The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher animation as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation. Please watch the films we will discuss in class repeatedly, take notes on what you notice, and summarize your questions. Grading will be decided based on report 100 %.

LIN200LA

音声学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

副島 健作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：2 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「言語」は、音声の形式という表現面と意味の形式という内容面が結びついた言語記号が単位であるようなシステムであり、このシステムの解明を対象とする学問分野は「言語学」と呼ばれています。この「言語」の表現面である「音声を使ったコミュニケーション」のあらゆる側面を研究するのが音の科学、すなわち「音声学」です。

音そのものがある特定のイメージを喚起する現象を「音象徴」といいます。この授業では、音象徴という現象を題材に、「音声学」をできるだけ分かりやすく解説することを目指します。

【到達目標】

1. ヒトが音声を使って話すときに何が起きているか、個々の音（子音・母音）とその連続を発音するしくみを理解する。
2. 音がどのような音響振動として現れるか、障害音、共鳴音、圧力変化などの概念から理解する。
3. 音象徴の例を通して、母音や濁音の調音と音響を理解する。
4. 身近な音象徴の例を自ら発見し、分析する方法を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず「言語学」は言語をどういうものとして見ているかを概説し、表現面の形式である「音韻」が実質である「音声」によって実現されているという発想に慣れ、「音象徴」と呼ばれる現象の分析に入ります。具体的には、音声がある振る舞いをする時に「なぜそのような振る舞いをするのか」を、音声学で必要になる概念や道具立てを使って分析・研究・理解していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入 1	言語とは
2	導入 2	音声とは
3	優しい音、ツンツンした音	どこでどのように発音するか
4	障害音、共鳴音、圧力変化	障害音、共鳴音の物理学的な定義
5	大きな音、小さい音	聞き取ってみる 調音してみる
6	母音の調音と音響	母音の発音の仕方と「大きさのイメージ」
7	濁音と向かい合う	聞き取ってみる 調音してみる
8	濁音の調音と音響	母音の発音の仕方と「大きい」イメージ
9	その他の音象徴 1	音象徴の具体例の「音声学」の概念による理解 1
10	その他の音象徴 2	音象徴の具体例の「音声学」の概念による理解 2

11	音象徴研究の実際 1	音象徴研究の例 1
12	音象徴研究の実際 2	音象徴研究の例 2
13	音象徴・音声学とその関連分野	より広い視点から音象徴・音声学を考える
14	最終試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

音声学はスポーツと同じです。できない発音があっても、訓練すればだれでもできるようになります。発音するしくみを理解し、再現できるよう努めてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まったテキストを使う予定はありません。

【参考書】

川原繁人 (2017) 『「あ」は「い」より大きい!?』 ひつじ書房

川原繁人 (2018) 『ビジュアル音声』 三省堂

J.C. キャットフォード、竹林滋 ほか (訳) (2006) 『実践音声学入門』 大修館書店

国際音声学会 (編)、竹林滋・神山孝夫 (訳) (2003) 『国際音声記号ガイドブック-国際音声学会案内-』 大修館書店

【成績評価の方法と基準】

課題：30%

平常点：20%

期末試験：50%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Language is a system of linguistic symbols that combines the expressive aspect of the form of speech with the content aspect of the form of meaning. The academic field that focuses on the clarification of this system is called "linguistics". The science of sound, or phonetics, studies all aspects of communication using speech, the expressive aspect of language.

The phenomenon in which sound itself evokes a certain image is called "sound symbolism". In this class, we aim to explain phonetics as clearly as possible using the phenomenon of sound symbolism as a subject.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. To understand what happens when humans speak using speech sounds, and how individual sounds (consonants and vowels) and their sequences are pronounced.
2. To understand how sounds appear as acoustic vibrations, based on concepts such as inhibitory sounds, resonant sounds, and pressure changes.
3. To understand the articulation and acoustics of vowels and murmurs through examples of sound symbols.
4. To learn how to discover and analyze examples of familiar sound symbols.

【Learning activities outside of classroom】

Phonetics is just like sports. Even if you can't pronounce something, you can learn to do it with practice. Please try to understand the mechanism of pronunciation and try to reproduce it.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, Assignments : 30%, in class contribution: 20%

PHL200LA

哲学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決すること目的とします。

特にこのⅠの講義は、人間とは何か、その本質に迫ろうとする哲学的人間論です。新技術の開発などによってこれまで考えられもしなかった人間の新しいあり方について選択と決断を迫られる現代においてこそ、人間らしさとは何かが切実に問われます。なお、日本の哲学や 20 世紀以降の思想にも焦点を当てます。

【到達目標】

基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業後、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン (1)	「イデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン (2)	『饗宴』アリストファネスの話
4	プラトン (3)	『饗宴』ソクラテスの話
5	西田幾多郎 (1)	『善の研究』-『知即愛』の命題
6	西田幾多郎 (2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎 (1)	『倫理学』-「問柄」としての人間存在
8	和辻哲郎 (2)	「矛盾的统一」としての人間存在
9	和辻哲郎 (3)	『風土』-「風土」のうちに己を見出す人間存在
10	和辻哲郎 (4)	主体としての風土
11	ブーバー (1)	『我と汝』
12	ブーバー (2)	「汝」としての世界
13	ブーバー (3)	「本質行為」としての人間
14	まとめ	ふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。

プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』（一）、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』

復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックしてから今回の講義内容をノートや公開される授業動画で整理し、そのうえで新たに小テストを受験すること。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点 100 % で評価。

【学生の意見等からの気づき】

板書の仕方を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PC が望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

This lecture is a philosophical human theory trying to think about human nature. In modern times where we are forced to make choices and decisions about the new way of human beings that we have never considered before, such as through the development of new technologies, something is being deeply questioned about humanness. We will also focus on Japanese philosophy and ideas after the 20th century.

PHL200LA

哲学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。哲学が古い常識を批判し、新しい常識をクリエートすることであることをテーマとします。西洋哲学は、万物の根源を人間の理性の力で探り、そうして捉えられた全体としての世界の中に自分を位置づけたいという人間的欲求とともに始まりました。講義では、こうした「形而上学的」な欲求が、世界を全体として非常に生き生きとした自己形成的なものとする自己形成的世界観として、現代にいたるまでの様々な知的探求の背景になっている様子を見ます。

【到達目標】

主要な哲学説の根本問題を学習することを通して常識批判としての哲学を理解することを到達目標とします。受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業後、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学への導入
2	今西錦司	生命的自然観－自己形成的存在論の前哨として
3	その 2	今西錦司『生物の世界』を読む
4	アリストテレス	自己形成的存在論としての形而上学
5	その 2	アリストテレス『形而上学』を読む
6	自己形成的存在論の展開としての近代哲学	近代化の原理としての主観客観二元論
7	デカルトの近代的自然観	近代的主客二元論とは？
8	デカルト (2)	『省察』を読む
9	デカルト (3)	デカルトの機械論的自然観-「近代的分裂」の予告としての近代的主体二元論
10	「近代的分裂」の予告としての近代的主体二元論	近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	カントとヘーゲル	カントによる近代哲学の分裂克服の試み
12	カントとヘーゲル (2)	カントのアンチノミー論
13	カントとヘーゲル (3)	ヘーゲルの弁証法的世界観
14	カントとヘーゲル (4)	ヘーゲルの弁証法的世界観その 2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックしてから今回の講義内容をノートや公開される授業動画で整理し、そのうえで新たに小テストを受験すること。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点 100 % で評価。

【学生の意見等からの気づき】

板書の仕方を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PC が望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

Western philosophy began with human desire to explore the root of all things with the power of human reason and to position himself in the whole world captured as such. In the lecture, we see how these metaphysical needs are behind various intellectual explorations up to the present age, becoming a self-organizing-world-view that the world as a whole is very vivid and self-organizing.

PHL200LA

哲学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

白根 裕里枝

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 集中・その他
/intensive・other courses

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

哲学という難しいという印象があるかもしれないが、何も特別のことではない。私たちは生きてゆく上で、常に様々な行為を選んで、様々な幸せを目指しているが、善く生きて幸福になるためには、よりよく、正しく考えること、つまり哲学が必要なのである。人間の尊厳は考えるということにある。誰もが、正しく考えるために、哲学を学ぶことが必要なのである。

哲学はあらゆる学問の基礎である。学生は、何を学ぶにしても、哲学がその根本に関わることを知るだろう。さらには他の学問、とりわけ、今日、絶大な信頼を持ってその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再確認できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが幸せによく生きるためにはどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものなのだから。

【到達目標】

この授業では西洋の哲学の基礎を学ぶ。哲学は古代ギリシアに誕生した。どのような考えのもとで、哲学が生まれたのか、その後、どのような変遷を辿ったのか、そもそも哲学が問題としたことは何であるのか、古代ギリシアの源流から探りたい。

哲学 (Ⅰ) では、哲学の源である古代ギリシア哲学に遡って、哲学とは何か、その根本的な特徴を捉えた上で、哲学はその他の学問や科学とはどう異なるのか、また、なぜ哲学が必要とされるのかなどを探てみたい。

学生は、まずはオーソドックスな哲学の基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の現場を知ることができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での基本的な見取り図を手に入れることができるだろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は基本的にプリントを用いた講義形式である。哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義してゆく。補助資料によって著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、理解を深めてゆきたい。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。毎回の課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	序論	足の裏に影はあるか?
2	哲学の基本的性格 1	「哲学」とは何か?
3	哲学の基本的性格 2	ギリシアにおける「哲学」の誕生
4	哲学の歴史 1 (哲学の出発点 1)	無知の自覚と愛知
5	哲学の歴史 2 (哲学の出発点 2)	ソクラテスの無知の自覚

6	哲学の歴史 3 (哲学の出発点 3)	懐疑、驚き、絶望… (デカルト〜ヤスパース)
7	哲学の歴史 4 (哲学の究極)	愛についての考察・イデア論とプラトニックラブ
8	哲学の歴史 5 (哲学とは何か・まとめ)	愛の 3 つの対象と知への愛
9	哲学の基本問題 1 (哲学と科学 1)	知についての考察——哲学と学問知
10	哲学の基本問題 2 (哲学と科学 2)	対象の違い——部分と全体、本質と現象
11	哲学の基本問題 3 (哲学と科学 3)	方法の違い——仮説と真理、分析と反省
12	哲学の基本問題 4 (哲学と科学 4)	事実と価値・目的と手段
13	哲学の基本問題 5 (哲学と科学 5)	主体知と客体知・相補性
14	哲学Ⅰ まとめと学期 末試験	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で取り上げた著作を、実際に手に取って読んでみる。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

受講者は、下記を必ず読むこと。

『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966 年、¥ 814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』内山 勝利、中川 純男、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』1～5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点 (40 %) と、学期末試験 (レポート) (60 %) によって評価する。試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさをじっくり伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to science.

PHL200LA

哲学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

白根 裕里枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses
 単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学（Ⅱ）では、「Ⅲ. 哲学と宗教」、「Ⅳ. 哲学と幸福」について考察する。宗教というと嫌いだとか怖いと思う人もいるかも知れないが、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教はどれも同じ神を信じながら、今日、様々な問題を引き起こしているのも事実である。まずは、その思想と歴史的事実をよりよく知ることが重要である。宗教の成立過程を見ることで、宗教の思索の持つ素晴らしい面や意義を知ることができ、また逆に、その問題点や危険性を知ることでもできるだろう。哲学の観点から、今日における宗教の問題を考え、哲学の意義を再考してみたい。

他方で、哲学は人間の真の幸福を探求する。幸福、つまり、善き生とは何か。われわれは誰もが幸福になりたいと願っているが、たとえば、科学だけで、あるいは、宗教によって、幸福になれるのだろうか？ 幸福になるには何よりも哲学が必要である。幸福になるための条件とは何であり、そもそも幸福とは何なのだろうか。哲学の観点から幸福について考えてみたい。

【到達目標】

西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学との対比を通して、キリスト教やその他の宗教について、付かず離れずに見る視点を確保することができよう。偉大な宗教は、人間の弱さ、惨めさをとことん見つめようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」とことと「知る」とこととの緊張関係において、哲学と宗教の接点を考えてみたい。

また、幸福とは何か？ どうしたらわれわれは幸福な生を送ることができるのか？ 古代ギリシア・ローマの幸福論をみることで、私たちの幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知ることごとがいかに大事か、真の幸福の鍵が哲学にあることが理解されるだろう。愚かさこそが、私たちの不幸の原因なのだから。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は基本的にプリント配信を用いた講義形式で進める。まずは、哲学と宗教の根本的相違点である知と信の問題に触れる。その上で、ユダヤ教、キリスト教、ギリシア哲学者たちの神観などについて、補助プリントなども用いて概要を把握した上で、哲学と宗教との関わりについて考えたい。また、補助資料によって、哲学者たちの生き方をめぐるユニークなエピソードなども交えながら、著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義して理解を深めてゆきたい。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。毎回の課題の提出やコメントを重視する。課題やコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。なるべく哲学Ⅰから取るようにして下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	序論	哲学とは何か?哲学と科学と宗教

2	哲学の基本的性格 1	哲学と宗教の相違点——知の立場と信の立場
3	哲学の基本的性格 2 (宗教の予備学習 1)	ユダヤ教とキリスト教
4	哲学の基本的性格 3 (宗教の予備学習 2)	キリスト教——愛の宗教
5	哲学の根本問題について 1 (哲学と宗教 1)	知と信の葛藤——ギリシア哲学とキリスト教
6	哲学の根本問題について 2 (哲学と宗教 2)	現代における宗教の存在理由——理性の偉大さとその限界
7	哲学の根本問題について 3 (哲学と宗教 3)	宗教心の源泉——パスカル『パンセ』より
8	哲学の根本問題について 4 (哲学と宗教 4)	自由意志と悪の問題——パスカルとアウグスティヌス
9	哲学の根本問題について 5 (哲学と宗教 5)	自力と他力——人間の強さと弱さについて
10	現代日本と哲学について (哲学と幸福 1)	幸福論——哲学とよき生について
11	現代日本と哲学について (哲学と幸福 2)	意志の弱さと選択の問題
12	現代世界と哲学について (哲学と幸福 3)	正義と幸福——ソクラテスの場合
13	現代世界と哲学について (幸福論の系譜)	ソクラテスの後継者たち——禁欲主義と快楽主義
14	哲学Ⅱ まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で触れて、興味を持った哲学者の著作を、自分で手に取って読んでみて下さい。本授業の準備・復習時間は、各々 2 時間程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講者は、下記を必ず読むこと。
『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966 年、¥ 814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』
 内山 勝利、中川 純男著、ミネルヴァ書房
『哲学の歴史』1～5、中央公論新社
『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点（40 %）と、学期末試験（レポート）（60 %）によって評価する。毎回の課題を提出済みであること。学期末試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、じっくり楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさを伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to religion. And also this course introduces the philosophical theory of eudaemonics (happiness) to students taking this course.

PHL200LA

倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

森村 修

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 2/Fri.2

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

【授業の概要】

2020 年から 2022 年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行 (パンデミック pandemic) に、全世界が巻き込まれた。2022 年になっても収束する決定的な要因を見出せず、世界では感染は増え続けている。それに対して、各国の医療は感染者の治療に間に合っているとはいえない状況にある。

生死を分ける「トリアージ (どの患者から治療するかという優先順位づけ)」が日常的に行われ、「生命の線引き」が後を絶たない。また、若年層には重篤化する傾向が少なく、感染しても無症状の可能性が高いのに対して、中高年層や持病を持った患者は死に至るケースが多い。これらのことから、年齢差別的な事態も引き起こされかねない。

コロナウイルスのパンデミックによって、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われている。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して (優しくない) 雰囲気を出している。

本授業では、「ケアの倫理」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

【授業の目的】

本科目は、1980 年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】

- (1) 「倫理学」という学問について、近隣諸学 (哲学、法学、宗教学、政治学など) との違いを説明することができる。
- (2) 「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3) 「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4) 「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・履修上の注意 ・「ケアの倫理」についての概要説明
2	第 1 章 生きることの倫理①	・生きることの質 (QOL)
3	第 1 章 生きることの倫理②	・健康であることの意味
4	第 1 章 生きることの倫理③	・死ぬことの意味
5	第 1 章 生きることの倫理④	・死に立ち会うこと
6	第 1 章 生きることの倫理⑤	・ペットロス
7	第 1 章 生きることの倫理⑥	・死への準備教育 (Death Education)
8	第 2 章 「ケア」の倫理①	・「ケア」の思想①——メイヤロフ『ケアの本質』
9	第 2 章 「ケア」の倫理②	・「ケア」の思想②——義理ガン『もう一つの声』
10	第 2 章 「ケア」の倫理③	・〈心〉が傷ついた人のケア
11	第 2 章 「ケア」の倫理④	・スピリチュアルケア (spiritual care) —— 〈いたみ〉を分かち合うこと
12	第 3 章 支え合うことの倫理	・ケア意識の発達
13	第 3 章 支え合うことの倫理	・ケアする人を支えるために
14	まとめ	・「自己へのケア」から「他者へのケア」へ、そして「支え合いとしてのケア」へ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業内で触れたことについて、様々な書籍、雑誌、新聞やインターネットで確認し、自分の知識を増やすように心がけること。倫理学は、生き方に関わる学問である。座学では何も身につかない。積極的に、倫理的な問題を考え、自ら主体的に学ぶように日頃から気をつける必要がある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

- ・森村修『ケアの倫理』(大修館書店、2000 年)
- ・森村修『ケアの形而上学』(大修館書店、2020 年)
- ・Virginia Held, *The Ethics of Care: Personal, Political, and Global*, Oxford University Press, 2006.

【参考書】

竹田純郎・伊坂青司・森秀樹編『生と死の現在——家庭・学校・地域のなかのデス・エデュケーション』(ナカニシヤ出版、2002 年)

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業への参加を見る小テスト (40 %) や授業内で行うレポート課題 (30 %) と期末試験 (30 %) によって、総合的に評価する。
〈要注意〉

・リアルタイム・オンライン授業の場合には、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業内や学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

ビデオ、DVD など AV 機器を用いる場合がある。

【その他の重要事項】

「ケアの倫理」は、単に授業ですわってあれば自然と身につくものではない。自らの主体的な実践を伴わない「ケア」や「癒しと救い」は、単なる「絵に描いた餅」でしかなく、生きるためには何の役にも立たない。受講生各自が、自らの日々の生活のなかで、「ケアとは何か」「何をケアするのか」「ケアするためには何が必要なのか」「ケアとは何をしなければならないことなのか」などという問いを自らに問いかけ、それに答える努力を欠かさないようにしてもらいたい。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, the aim of this course is to help students examine the question of what is care ethics in global ethics in the 21st century from various angles.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to describe the differences between ethics of justice and ethics of care in detail and to understand the concept of care comprehensively.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (30%), term-end examination (30%), and in-class contribution(40 %).

PHL200LA

倫理学 L II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ケアの倫理からケアの形而上学へ

森村 修

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

《授業の概要》

2020 年から 2022 年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行（パンデミック pandemic）に、全世界が巻き込まれた。2022 年になっても収束する決定的な要因を見出せず、世界では感染は増え続けている。それに対して、各国の医療は感染者の治療に間に合っているとはいえない状況にある。

生死を分ける「トリアージ（どの患者から治療するかという優先順位づけ）」が日常的に行われ、「生命の線引き」が後を絶たない。また、若年層には重篤化する傾向が少なく、感染しても無症状の可能性が高いのに対して、中高年層や持病を持った患者は死に至るケースが多い。これらのことから、年齢差別的な事態も引き起こされかねない。

コロナウィルスのパンデミックによって、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しくない〉雰囲気を出しているといえよう。

本授業では、「ケアの倫理」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

《授業の目的》

本科目は、1980 年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】

- (1) 「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
- (2) 「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3) 「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4) 「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・受講上の注意 ・「ケアの倫理」入門
2	第1章 暴力被害者のケア①	・〈生き残ること〉と〈生き延びること〉 ・「こども虐待」という〈社会・政治的暴力〉
3	第1章 暴力被害者のケア②	・「新たなる傷つきし者」の出現——「社会・政治的トラウマ」の問題 ・〈情動を抱える生〉の〈ケアの倫理〉
4	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実①	・哲学的課題としての「認知症」 ・「認知症」が問いかけるもの
5	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実②	・「社会的疾患」としての「認知症」 ・「認知症」における〈こころ〉と脳
6	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実③	・認知症ケアの倫理
7	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理①	・「孤独死」の現在 ・「ひとりで死ぬこと」の意味
8	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理②	・「何も共有していない者たちの共同体」の倫理 ・〈他者としての死者〉を抱えて〈生き延びる〉こと
9	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理③	・アボリアの経験 ・喪の倫理
10	第4章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理①	・〈からだ〉という問題圏 ・東洋の心身論の試み
11	第4章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理②	・富士谷御杖の思想 ・〈身〉と〈言〉 ・〈身〉と〈こころ〉 ・「言霊」の〈力〉
12	第5章 「生存の美学」としてのケア①	・アウトサイダーとアーと・セラピー ・ヘンリー・ダーガーの世界
13	第5章 「生存の美学」としてのケア②	・他者への配慮 ・レベッカ・ブラウンの「贈与」
14	第5章 「生存の美学」としてのケア③	・デヴィッド・グレーバーの価値論について ・贈与としてのケア

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

森村修『ケアの形而上学』、大修館書店、2020 年

【参考書】

森村修『ケアの倫理』、大修館書店、2000 年

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパー（40 %）、小テスト（30 %）と期末試験あるいはレポート（30 %）によって、総合的に評価する。

※ リアルタイム・オンライン授業の場合は、変更の可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の場合には、インターネットなどの必要な設備が必要である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, the aim of this course is to help students examine the question of what is care ethics in global ethics in the 21st century from various angles.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to describe the differences between ethics of justice and ethics of care in detail and to understand the concept of care comprehensively.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (30%), term-end examination (30%), and in-class contribution(40 %).

PHL200LA

倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の生命誕生に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自ら思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回アクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

大学の行動方針レベルが1の場合は、オンライン授業と対面授業を併用する。レベルが2となった場合は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理学の基本概念	倫理学とはどのようなことを研究対象とする学問なのか、倫理学全般に関して説明する。
第 2 回	規範倫理学・記述倫理学・メタ倫理学	倫理学の 3 つのレベルについて、その概要を説明する。
第 3 回	バイオエシックスの誕生	1970 年代に米国においてバイオエシックスが誕生した背景を解説する。
第 4 回	バイオエシックスの諸問題	バイオエシックスにおいて取り扱われるテーマを解説する。
第 5 回	倫理的価値としての生命	生命や健康は価値あるものとされているが、それはいかなる理由からかを考える。
第 6 回	生命の誕生と人工妊娠中絶の問題	生殖に関する生命倫理問題を考察する。
第 7 回	人口抑制と環境問題	生殖に関する生命倫理問題と人口問題や環境問題との関係を考察する。
第 8 回	「自然」とは何か	倫理問題を考えるうえで「自然」という概念がいかなる意味を持つのかを解説する。
第 9 回	優生思想	優秀な子孫を残し劣った子孫の出生を防止するという「優生思想」に関する問題を解説する。

第 10 回	社会ダーウィニズムと人種主義	優生思想と社会ダーウィニズムとの関係を解説し、ナチズムにおける位置づけを考察する。
第 11 回	人工授精と体外受精	具体的な生殖医療における生命倫理問題を概観する。
第 12 回	ウォーノック報告と自由主義	英国のウォーノック報告の基本的考え方を解説し、生命倫理学における自由主義について考察する。
第 13 回	凍結保存の倫理的意味	配偶子や受精卵の凍結保存の持つ意味とそれによってもたらされる倫理的問題を考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートを用いて授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第 4 版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（50 %）定期試験（50 %）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning the birth of people and learn the basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:50,Term-end examination:50.

PHL200LA

倫理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の死に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自らの思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回アクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理的観点から見た「人の死」	人の死とはどのようなことかをあらためて生命倫理学の視点から考察する。
第 2 回	脳死に関する倫理的諸問題	脳死とはどのような状態を確認し、生命倫理学においてどのような問題を孕んでいるのかを概観する。
第 3 回	臓器移植と功利主義	臓器移植という医療が、功利主義的な考え方によってどのように正当化されるかを具体的に考察する。
第 4 回	功利主義の問題	功利主義とはどのような考え方を確認し、その問題点を明らかにする。
第 5 回	義務論と目的論	功利主義を義務論と対比し、義務論的な考え方について概観する。
第 6 回	幸福加算の可能性	「最大多数の最大幸福」を原則とする功利主義が前提とする幸福計算の可能性について考察する。
第 7 回	社会的コンセンサスの倫理的意味	合意形成の可能性について倫理的視点から考察する。
第 8 回	安楽死・尊厳死・自然死	安楽死とはどのようなことかを解説し、安楽死に関する生命倫理問題を概観する。
第 9 回	生命の質	安楽死容認の根拠とされる考え方を考察する。
第 10 回	パターナリズム	自律原理に基づく医療とは対置されるパターナリズムの内容とその問題点を明らかにする。

第 11 回	自己決定の問題	安楽死の根拠とされる自律原理に関わる問題を明らかにする。
第 12 回	「判断能力」の有無	自己決定権行使の前提となる「判断能力」について、その内容を考察するとともに、問題とされる具体的事例を考察する。
第 13 回	「人格」概念	人間とはいかなる存在かをパーソン論の観点から考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。また授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第 4 版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（50 %）定期試験（50 %）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning human death and learn basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:50,Term-end examination:50.

PHL200LA

倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：情報社会の倫理

杉本 隆久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学 L I では、情報社会における倫理的問題の中でも、特に「ネットにおけるコミュニケーション」、「メディア・リテラシー」、「情報技術とセキュリティ」、「インターネットと犯罪」「個人情報と知的財産」、「SNS と情報モラル」などインターネット社会を生きるための情報倫理に関連する諸問題を取り上げます。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。今年度は大学の授業実施方針に則り、原則対面授業を行います。初回授業は受講希望者数が不明なため、着席できない受講者が発生することを回避する目的で「オンライン」または「ハイフレックスを用いた対面」授業を行う予定です。なお、「オンライン授業による教育効果が高い場合や飛沫感染の懸念によって対面では授業の本来の目的を達成するのに障害が出る場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7 回以下）で、オンライン授業を実施する場合があります。また、入国できない外国人留学生や基礎疾患等における配慮を必要とする学生が履修した場合は、Zoom を利用したハイフレックス授業を行います。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	情報と情報社会と情報倫理	授業ガイダンスを行う。また、情報と情報社会と情報倫理についての概説も行います。
第 2 回	情報通信社会とインターネット	情報通信社会とインターネットの進化と変遷を概観し、その中で生じてきた倫理的問題について検討します。
第 3 回	ネット時代のコミュニケーション	ネットにおけるコミュニケーションとマナーについて倫理的に検討します。
第 4 回	メディアの変遷とメディア・リテラシー	メディアの変遷とメディア・リテラシーについて倫理的に検討します。
第 5 回	情報技術とセキュリティ	情報セキュリティとネット被害の問題を倫理的に検討します。
第 6 回	インターネットと犯罪	ネット社会におけるトラブルと犯罪について倫理的に検討します。
第 7 回	個人情報とプライバシー	個人情報の流出と保護の問題について倫理的に検討します。
第 8 回	知的所有権とコンテンツ	知的財産の問題と知的財産権について倫理的に検討します。
第 9 回	企業と情報倫理	企業の社会的責任や企業倫理について倫理的に検討します。
第 10 回	科学技術と倫理	科学技術と倫理の問題や技術者倫理について検討します。
第 11 回	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン	デジタルデバイドの問題とユニバーサルデザインについて倫理的に検討します。
第 12 回	SNS と情報モラル	ソーシャルネットワークサービス（SNS）と情報モラルについて倫理的に検討します。
第 13 回	情報社会とリテラシー	情報社会を生き抜くリテラシーについて倫理的に検討します。
第 14 回	まとめ	まとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

【参考書】

- ・高橋慈子他著『情報倫理—ネット時代のソーシャル・リテラシー』（技術評論社）
- ・情報教育学会『インターネット社会を生きるための情報倫理（改訂版）』（実務出版）
- ・勢力尚雅編著『科学技術時代の倫理学』（梓出版社）
- ・大黒岳彦『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppii を利用することを考えています）。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の 2 点を総合して評価します。評価の比率は、課題 60%、期末レポート 40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。
倫理学 L II も併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%, Short reports : 60%

PHL200LA

倫理学 L II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 情報社会の倫理

杉本 隆久

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学 L II では、＜身体＞というパースペクティブから、特に「人工知能 (AI)」、「ロボット、アンドロイド、サイボーグ」という問題を中心に、他にも「技術的特異点 (テクノロジカル・シンギュラリティ)」、「2045 年問題」、「Google」、「ビッグデータ」、「SNS」、「ウェアラブル」など現代を生きるための情報社会に関連する様々な倫理的問題を取り上げます。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。今年度は大学の授業実施方針に則り、原則対面授業を行います。初回授業は受講希望者数が不明なため、着席できない受講者が発生することを回避する目的で「オンライン」または「ハイフレックスを用いた対面」授業を行う予定です。なお、「オンライン授業による教育効果が高い場合や飛沫感染の懸念によって対面では授業の本来の目的を達成するのに障害が出る場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7 回以下）で、オンライン授業を実施する場合があります。また、入国できない外国人留学生や基礎疾患等における配慮を必要とする学生が履修した場合は、Zoom を利用したハイフレックス授業を行います。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	情報社会と 2045 年問題	授業ガイダンスを行う。また、情報社会と技術的特異点の問題についての概説も行います。
第 2 回	技術的特異点という倫理学的問題 (1) 一切迫の状況と指数関数的な爆発	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第 3 回	技術的特異点という倫理学的問題 (2) ー来るべき未来と終末論	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第 4 回	マスメディアの終焉とメディア史観	マスメディアの終焉とメディア史観について倫理学的に検討します。
第 5 回	グーグルによる「汎知」の企図と哲学の終焉	「汎知」の思想史を概観しながら、「グーグル」という問題について倫理学的に検討します。
第 6 回	ビッグデータの社会哲学的位相	ビッグデータをめぐる倫理的問題について検討します。
第 7 回	SNS によるコミュニケーションの変様と社会システム論	SNS によるコミュニケーションの変様について、社会システム論的見地を踏まえ、倫理学的に検討します。
第 8 回	ロボットから倫理を考える	ロボットをめぐる倫理的問題について検討します。
第 9 回	人間をつくり変える？	クローン、サイボーグ、アンドロイドをめぐる倫理的問題について検討します。
第 10 回	人工知能とロボットの新たな次元	人工知能とロボットの展開（未来）について、「身体」というパースペクティブから倫理学的に検討します。
第 11 回	情報社会において倫理は可能か？	情報社会において倫理は可能かどうかを、「身体」というパースペクティブから倫理学的に検討します。
第 12 回	メルロ＝ポンティと身体哲学	メルロ＝ポンティと身体哲学について倫理学的に検討します。
第 13 回	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学について検討します。
第 14 回	まとめ	まとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

【参考書】

- ・ニック・ボストロム著『スーパーインテリジェンス 超絶 AI と人類の命運』（日本経済新聞出版社）
- ・レイ・カーツワイル著『ポスト・ヒューマン誕生 コンピュータが人類の知性を超えるとき』（NHK 出版）
- ・大黒岳彦著『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）
- ・ジャン＝ガブリエル・ガナシア著『そろそろ、人工知能の真実を話そう』（早川書房）
- ・三宅陽一郎著『人工知能のための哲学塾』（BNN 新社）
- ・久木田水生他著『ロボットからの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
- ・岡本裕一郎著『12 歳からの現代思想』（ちくま新書）
- ・松田卓也著『2045 年問題 コンピュータが人類を超える日』（廣済堂新書）
- ・松尾豊著『人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの』（角川 EPUB 選書）
- ・弥永真生他編『ロボット・AI と法』（有斐閣）
- ・岡本裕一郎著『人工知能に哲学を教えたら』（SB 新書）

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppii を利用することを考えています）。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の 2 点を総合して評価します。評価の比率は、課題 60%、期末レポート 40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。倫理学 L I も併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL200LA

倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

伊藤 直樹

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 2/Fri.2

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業で行う。資料を配付し、それに沿って講義をする。講義終了後、コメントカードを書いてもらう。次の授業では、最初にそのコメントカードに対してリアクションしながら復習をして、当日の内容に入っていく。このパターンで授業を進める。

学期中に2度ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに: 問題設定	単位取得方法、および講義の概要についての説明; 他者という問題。なぜ「他者」が問題なのか。
第 2 回	デカルトの他者論 (その 1)	デカルト哲学の紹介
第 3 回	デカルトの他者論 (その 2)	デカルトの他者論 (コギト、神の存在証明)
第 4 回	デカルトの他者論 (その 3)	それまでの議論を振り返りつつ、あらためてデカルトにおける他者の不在について考察する。
第 5 回	フッサールの他者論 (その 1)	フッサール哲学の紹介
第 6 回	フッサールの他者論 (その 2)	フッサールの他者論へ 問主観性・共現前という問題
第 7 回	フッサールの他者論 (その 3)	フッサールの他者論の問題点と可能性 (自己移入論、超越論的問主観性という立論)
第 8 回	シェーラーの他者論 (その 1)	シェーラー哲学の紹介、シェーラーの類推説・自己移入論批判
第 9 回	シェーラーの他者論 (その 2)	「体験流」からの出発、共同感情について
第 10 回	ハイデガーの他者論 (その 1)	ハイデガー哲学の紹介
第 11 回	ハイデガーの他者論 (その 2)	顧慮の気遣い、本来的な他者

第 12 回 デイルタイの他者論 デイルタイの思想の紹介 (その 1)

第 13 回 デイルタイの他者論 デイルタイの他者論 (その 2)

第 14 回 レポートについての説 レポートの書き方、内容について明 説明します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず 2/3 以上参加してください。

学期末のレポート (65 %) と授業への積極的な貢献度 [コメントカードの記述など] (35 %) によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、4 月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点は注意してください。

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%)

PHL200LA

倫理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず、他者論の問題設定の発生を明らかにして、そのうえで、サルトル、和辻哲郎、M・ブーバー、E・レヴィナスなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。

基本的に講義形式を取るが、内容に応じて映像資料なども用いる。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

2回ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第 2 回	問題設定	他者という問題（デカルト、カント、フッサールの問題設定）
第 3 回	サルトルの他者論（その 1）	サルトル哲学の紹介
第 4 回	サルトルの他者論（その 2）	サルトルの対他存在
第 5 回	和辻哲郎の倫理学（その 1）	和辻哲郎という人物、「面とペルソナ」について
第 6 回	和辻哲郎の倫理学（その 2）	和辻倫理学の主要論点（個と全体、二人共同体）
第 7 回	和辻哲郎の倫理学（その 3）	和辻倫理学の問題点
第 8 回	M・ブーバーの思想（その 1）	ブーバーという人物、「わたし-きみ」「わたし-それ」
第 9 回	M・ブーバーの思想（その 2）	ブーバーの人間観
第 10 回	M・ブーバーの思想（その 3）	ブーバーの思想の問題点、E・レヴィナスによる批判
第 11 回	E・レヴィナスの他者論（その 1）	レヴィナス哲学の紹介
第 12 回	E・レヴィナスの他者論（その 2）	レヴィナスの他者論（顔、他者）

第 13 回 E・レヴィナスの他者 他者論の問題点論（その 3）

第 14 回 レポートについての説明 レポートのテーマ、書き方についての説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず 2/3 以上参加してください。

学期末のレポート（70 %）と授業への積極的な貢献度〔コメントカードの記述など〕（30 %）によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、9 月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点に注意してください。

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%).

PHL200LA

倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：生きることと死ぬことを考える

田島 樹里奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）（life）とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業では、「幸福とは何か」を出発点としながら、人間の生／死、人格、医療（技術）に焦点を当てながら、私たち人間とはどのような存在であるかをじっくり倫理的な視点から考え直していきたい。現代では、自然界に生まれた生命に人間の科学技術が介入することは当たり前であるが、人工授精・体外受精、デザイナーベビー、新生児出生前診断、人工妊娠中絶、臓器移植、延命治療など、現代社会でよく耳にするこれらの人工的な生命操作は、自然の摂理という観点から見れば反自然的な行為と言いうる。だからと言って、簡単に善悪の判断を下すことはできない。私たちの日常生活においては、こうした論理や合理性だけでは解決し難い問題がたくさんある。「いのち」の問題は、私たちが生きていく中で、いずれどこかで関わる身近な問題であり、避けては通ることのできない重要な問題である。本授業では、具体的な事例や現代的な問題を取り上げながら、命（生と死）・医療・科学技術などについて、今一度考え直すきっかけを提供していきたい。

【到達目標】

① 生命、死、存在、医療、QOL などの言葉を相互に関連づけながら思考する力を身につける。
 ② 生命倫理学の多様な価値観を学ぶことで、様々な立場の考え方を多角的に把握する力を身につける。
 ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
 本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

(1) Acquire the ability to think about life, death, existence, medical care, QOL, and other terms while relating them to each other.

(2) By learning the various values of bioethics, students will acquire the ability to grasp the ideas of various positions from multiple perspectives.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of issues. The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking skills as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたり、リアクションペーパーなどを用いながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

* 講義

* 毎回、授業後にコメントシートを提出。

* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業内容の説明 生命倫理学とは？ 自然界の生命に医学（医療）が介入すること
第 2 回	倫理学の基礎理論①—幸福とは何か	「幸福」はどのように決まるか？ 善く生きるの「善い」とは？
第 3 回	バイオエシックスの成立	医療と倫理 バイオエシックス／生命倫理はどのような背景から出てきたか
第 4 回	倫理学の基礎理論②—功利主義	「最大多数の最大幸福」 平等原理は存在するか？
第 5 回	人間の生命と人格①	生物学的生命と人格的生命 人格とは何か？
第 6 回	人間の生命と人格②	人格と責任能力 胎児に人格はあるか？ 自己意識と生存の権利
第 7 回	人間の生命と人格③	パーソン論とは 人工妊娠中絶は殺人か？
第 8 回	生存の義務と死ぬ権利	私たちは死ぬ権利をもつことができるか 自己決定権と生命 医療と人体実験
第 9 回	伝える義務と知る権利	医療とインフォームド・コンセント 情報開示と自己決定権
第 10 回	命は誰のものか？	医療とパターナリズム 患者の権利と医師の義務——生命の維持と自己決定権
第 11 回	医療と倫理と法	看護業務と医療事故 様々な医療事故の裁判例
第 12 回	誰が生／死を決定するのか	患者の自己決定権 宗教・信条と生命
第 13 回	医療の倫理と法	医療技術の進歩と医療現場 医療事故と医療過誤
第 14 回	まとめ	生きることと死ぬことの倫理

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

塩野寛、清水恵子『生命倫理への招待』南山堂、2012 年。
 曾我英彦、棚橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。
 H・T・エンゲルハート『バイオエシックスの基礎』東海大学出版会、1988/2005。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（50 %）、期末試験またはレポート（50 %）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。(リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のためにを行っています)

Reaction papers for each class (50%), final exam or report (50%)
Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。また、受講者のコメントシートを紹介することで、同世代の人たちの色々な考え方を知ることができ、良い刺激になると思います。

Even if you are new to the subject of ethics, don't worry because you can gradually deepen your understanding and get used to it in each class. (Basically, this class is for first-time students)

【Outline (in English)】

This course is an introduction and survey course in Bioethics. The purpose of this course is introduce students to bioethics through critical thinking contemporary issues. Through this course, students will be given not only the knowledge and comprehension of relationship between biotechnology and ethics, but also the opportunity to focus on their life and death. Students will first be introduced the history of ethics, foundational theories in bioethics, and the basic concepts and theoretical framework of bioethics.

Topics will include: what is happiness, health-care, responsibility, system of value, informed consent, death and dying, and the issue of beginning of life(on abortion, designer baby, prenatal testing etc.).

Through this course, students will be able to think carefully and to express their own views more clearly through their own positions on bioethical/ medical issues.

PHL200LA

倫理学 L II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：「いのち」を多角的に考える

田島 樹里奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）(life) とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業の後半では、宗教の視点から生命倫理を考察することにより、様々な宗教的思想を背景にした死生観と生命倫理観を学んでいく。そもそも宗教は生死と密接に関わり、それぞれの仕方で「あの世／この世」「現世／来世」を語ってきた。本授業ではこれら全てを網羅することはできないが、私たちが今・ここで生きることの意義や、死や死後を考察するための手掛かりとして、それぞれの宗教的思想の意義を検討していきたい。

倫理学という学問領域は、私たちの日常生活や生きること・死ぬことに直接関わる部分を含んでいる。それゆえ、本授業を通じて、受講生各自が関心を持ったテーマに対して、積極的にアプローチをすることで、それぞれの興味・関心を深めていきながら、死生観や生命観を構築し、さらに倫理的な問題意識を持って学問的に掘り下げてもらいたい。

以上の観点をもって、受講生各自が本授業を通して、私たち人間とはどのような存在であるか、生きるとは、死ぬとはどういうことなのかをじっくり倫理的な視点から考え直していくきっかけを提供していきたい。

【到達目標】

- ① 生命、死、人格、医学、宗教などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。
- ② 多様な生命の在り方や、宗教的思想を背景とした多様な価値観を学ぶことで、様々な立場から生命倫理を考える力を身につける。
- ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。

本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

1) Acquire the ability to think about life, death, personality, medicine, religion, and other terms while relating them to each other in one's mind.

2) To acquire the ability to think about bioethics from various perspectives by learning about various ways of life and various values based on religious thought.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of the issues.

The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking ability as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたりしながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

* 講義

* 毎回、授業後にコメントシートを提出。

* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	生命倫理学とは何か？
第 2 回	生命の誕生と倫理①	生殖医療の倫理——生殖技術の発展と拡大 人工授精の歴史と現状
第 3 回	生命の誕生と倫理②	生殖医療の倫理——体外受精と卵子の老化
第 4 回	生命の誕生と倫理③	生殖技術の倫理——精子バンクとインターネット
第 5 回	生命の誕生と倫理④	生殖技術の倫理——代理母の在り方
第 6 回	生命と医学①	再生医療とクローン技術
第 7 回	生命と医学②	遺伝子技術と生命倫理 デザイナーベビーとは
第 8 回	生命と医学③	遺伝子とゲノム ゲノム解析とは
第 9 回	生命と医学④	性転換手術と医療倫理 自然界の性転換と人工的性転換、 LGBT
第 10 回	宗教と生命倫理①	宗教とは何か？ 宗教的価値観と倫理的判断
第 11 回	宗教と生命倫理②	神道における死後観と人間観
第 12 回	宗教と生命倫理③	ヒンドゥー教の死生観
第 13 回	宗教と生命倫理④	キリスト教と生命倫理
第 14 回	まとめ	宗教／非宗教から生命倫理を考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

曾我英彦、棚橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。
小松美彦、土井健司編『宗教と生命倫理』ナカニシヤ出版、2005 年。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（50 %）、期末試験またはレポート（50 %）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (50%), final exam or report (50%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively. (The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

倫理学 L 1 から継続して受講すると理解しやすく、知識も深まります。

（倫理学 L2 を受講した後に、次年度の倫理学 L1 を受講することも可能です。）

ただし倫理学が初めての人でも、分かりやすく説明するので受講することは可能です。

It is recommended that students take Ethics LI before taking this course for better understanding.

We do not recommend this course to those who just want to get credits. This class should be taken by anyone who is willing to learn properly as a university student.

【Outline (in English)】

This course is intended to develop student's understanding of ethical issues of bioethics and medical care. Especially, this course will focus upon major bioethical issues which related to artificial insemination, genetic testing and human right. In addition, the second half of this course, we will explore various ethical problems within several religious traditions. Through comparison of bioethical perspectives on selected themes, students will be able to recognize the interconnections between bioethical issues and religious system. This course will help students to develop the ability to analyze diverse perspective and to recognize the importance of ethical considerations.

PHL200LA

倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学の基礎知識を学び、応用倫理学の内容に親しむとともに、具体的な倫理問題について議論する。

【到達目標】

倫理学の基本的な考え方や主要な理論（功利主義、義務論、徳倫理学、社会契約論、正義論）および応用倫理学の内容を把握し、それをもとに具体的な倫理問題について議論することができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義とコメントペーパーへの応答。

この授業は 4 月 28 日（火）から行います。

連絡は学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	倫理学を学ぶ意味	なぜ倫理学を学ぶ必要があるのかについて説明する
2	倫理学の三大理論（1） 功利主義	ミルの自由論を基軸に功利主義について説明する
3	倫理学の三大理論（2） 徳倫理学と義務論	アリストテレスとカントの倫理学の概要を紹介する
4	倫理学と政治哲学（1） 社会契約論	ホブズ、ロック、ルソーらの社会契約論を概説する
5	倫理学と政治哲学（2） 正義論	ロールズ、ノージック、サンデルらの正義論を紹介する
6	倫理学と公共哲学	公共性について倫理学の視点から論じる
7	応用倫理学（1）生命倫理学	脳死と臓器移植、医師・患者関係、フォームドコンセントを中心に説明する
8	応用倫理学（2）情報倫理学	情報化社会の倫理問題について紹介する
9	応用倫理学（3）環境倫理学	環境問題への倫理学からのアプローチについて紹介する
10	応用倫理学の多様な広がり	技術者倫理、研究倫理、脳神経倫理、宇宙倫理などを紹介する
11	対話型講義（1）市民の力	社会に対する市民の力について議論する
12	対話型講義（2）内部告発	内部告発について議論する
13	対話型講義（3）21 世紀の労働倫理	IT・AI の時代がもたらす新たな労働倫理について議論する

14 対話型講義（4）21 IT・AI の時代の教育のあり方について議論する
世紀の教育

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考文献をよく読んでおくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1997 年
新田孝彦『入門講義 倫理学の視座』世界思想社、2000 年
宇都宮芳明『倫理学入門』ちくま学芸文庫、2019 年
川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1994 年
國分功一郎『近代政治哲学』ちくま新書、2015 年
児玉聡『功利と直観』勁草書房、2010 年
梅津光弘『ビジネスの倫理学』丸善、2002 年

【成績評価の方法と基準】

試験（50 %）、書評レポート（50 %）。

【学生の意見等からの気づき】

学生から意見がありませんでした。

【Outline (in English)】

This course deals with ethics and applied ethics. At the end of the course, students are expected to get an overview on ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, book review:50%, term-end examination:50%.

PHL200LA

倫理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

環境倫理学の基本的文献の内容を紹介する。このなかから各自の興味のある文献を読み、レポートを書いてもらう。

【到達目標】

環境倫理学の基本的文献の内容を把握し、それをもとに現実の環境問題に対する自分なりの構えをもつことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。適宜、ディスカッションを取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	この授業の進め方を説明する
2	現代倫理学の射程	現代倫理学の基本文献を紹介する
3	欧米の環境倫理	欧米の環境倫理の基本文献を紹介する
4	グローバルな環境倫理	グローバルな環境倫理に関する文献を紹介する
5	ローカルな環境倫理	ローカルな環境倫理に関する文献を紹介する
6	科学技術の倫理	科学技術の倫理を論じた文献を紹介する
7	公害と環境正義	公害と環境正義に関する文献を紹介する
8	自然保護から生物多様性保全へ	自然保護・生物多様性保全に関する文献を紹介する
9	環境問題と社会科学	社会科学の視点から環境問題を論じた文献を紹介する
10	環境論を問いなおす	環境論に批判を加えている文献を紹介する
11	地域環境保全と市民の力	地域環境や市民運動に関する文献を紹介する
12	場所論と風土論	場所論と風土論の基本文献を紹介する
13	景観保全と都市環境	景観保全と都市環境に関する文献を紹介する
14	都市の環境倫理をめざして	都市の環境倫理の構想を紹介する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書のなかで紹介している文献を読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

吉永明弘『ブックガイド 環境倫理』勁草書房、2017 年

【参考書】

吉永明弘『都市の環境倫理』勁草書房、2014 年

吉永明弘・福永真弓編『未来の環境倫理学』勁草書房、2018 年

吉永明弘『はじめて学ぶ環境倫理』ちくまプリマー新書、2021 年

【成績評価の方法と基準】

試験（50 %）と書評レポート（50 %）。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

This course deals with environmental ethics. At the end of the course, students are expected to get an overview on ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, book review:50%, term-end examination:50%.

PHL200LA

論理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：論理的読解のトレーニング

佐々木 護

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論点が明確で、筋の通った議論や文章は「論理的」と言われます。この授業では、分野を問わず多様な文章を論理的に把握し、それを吟味検討したうえで、自分の見解を論理的に表現する訓練を行います。論理的読解力や論述力を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずです。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、内容をよく理解した上で、的確な要約を行うことができる。
- (2) 上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出答案は添削・評価の上、翌週返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／論理学とは	論理学には分析論と弁証術の2つの流れがあることを理解する。
第2回	論理的説明と論証	トウルミン・モデルなどを参照しつつ、論理的な説明には、根拠の提示が不可欠であることを理解する。
第3回	論理的読解と論証	論理的読解には、文章全体を論証と捉え、結論とそれを支える根拠を見きわめることが有効であることを理解する。
第4回	論証の構造	論証図の作成を通じて、論証構造を的確に把握する仕方を身につける。
第5回	要約の技法	文章から論証構造を取り出し、それを軸に要約する技法を身につける。
第6回	隠れた前提	論証を論理的に理解するには、隠れた前提を自覚的に取り出すことが必要な場合があることを理解する。
第7回	論証の評価（1）	論証の適切さや妥当性を評価するにあたって着目すべきポイントを理解する。
第8回	論証の評価（2）	論証を検討する仕方を実践的に身につける。

第9回 誤った論証

論証の誤りの代表的なパターンを理解する。

第10回 論証への反論（1）

現代の社会問題に関連した論証に対する反論を作成する。

第11回 論証への反論（2）

前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。

第12回 文章読解と見解論述（1）

現代の社会問題に関連した文章を読み、それに対する見解論述を作成する。

第13回 文章読解と見解論述（2）

前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。

第14回 試験日

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

毎回、講義内容に関連した課題が課されます。

毎回返信する資料にはよく目を通しておいください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

荻谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社プラスアルファ文庫、2002年）

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50%）および最終回の試験の成績（50%）で評価します。

評価基準については、授業中に何度か実施する小論文課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「他の学生の答案を見て、意見や表現方法を学ぶことができたのが良かった」「文章を読むときにどういうところに気をつければよいかが分かってきた」「授業を通して、少しずつ自分の文章力がついてきたと実感した」などの感想がありました。

今まで文章を書く機会の少なかった受講者の場合、最初は小論文作成に時間がかかり、難しく感じることもあるようです。しかし、書き続けるうちに徐々に慣れていきますので、その点についてあまり心配する必要はありません。

【Outline (in English)】

We call a reasonable argument as "logical". In this course, we will practice to logically read various texts regardless of the field, examine them, and express your own view logically. If you acquire the ability of logical reading and argumentation, it will be useful for your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. The grading are evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

PHL200LA

論理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 批判的思考のトレーニング

佐々木 護

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

批判的思考 (クリティカル・シンキング) 教育の一環として、複数の視点から仮説を立てたり、対立する意見も視野に入れつつ望ましい問題解決策を見出す訓練を行います。自分が自明とする考えからいったん距離を置き、異なる他者の考えにも目を向ける態度を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上でも大いに役立つはずです。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。
- (2) 与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出答案是添削・評価の上、翌週返却・解説します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／推論の分類	演繹、帰納、仮説推量という推論の3つのタイプを概観する。
第 2 回	演繹と仮説推量	演繹と仮説推量の関連性と相違点を理解したうえで、新たな発想やアイデアを導く上で仮説推量が果たす意義を押さえる。
第 3 回	統計資料の分析と仮説推量	統計資料の分析の基本を理解し、資料からどのような仮説を立てることができるかを考える。
第 4 回	相関関係と因果関係	2つの現象の間に何らかの関係が認められる場合に、どんな仮説が立てられるのかを理解する。
第 5 回	原因分析と対策提言	ある仮説に基づくならば、どのような対策が必要かを考える。仮説が異なれば、必要な対策も大きく異なることを理解する。
第 6 回	価値前提	それぞれの論証がどのような価値判断や価値基準を前提としているかに注目することで、議論の争点を整理する仕方を身につける。
第 7 回	対策提言の評価 (1)	現代の社会問題に関連した論証に対する検討を行う。
第 8 回	対策提言の評価 (2)	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。

- 第 9 回 立論・批判・異論 (1) 対立する意見を視野に入れつつ、それに対する批判や異論を展開する仕方を身につける。
- 第 10 回 立論・批判・異論 (2) 批判と異論の違いを見きわめる。
- 第 11 回 立論・批判・異論 (3) あるテーマに対し、立論・批判・異論から構成される小論文を作成する。
- 第 12 回 立論・批判・異論 (4) 前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
- 第 13 回 誤った二分法 二分法が陥りがちな罠を理解する。
- 第 14 回 試験日 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

配信された資料にはよく目を通しておいください。

また、日頃から政治や経済、社会等のニュースに関心を持ち、批判的にチェックする習慣を身につけていきましょう。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しません。

【参考書】

荻谷剛彦『知的複眼思考法』(講談社プラスアルファ文庫、2002 年)

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』(産業図書、2006 年)

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績 (50 %) および最終回の試験の成績 (50 %) で評価します。

評価基準については、授業中に何度か実施する小論文課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「文章の書き方などを学べたことはもちろん、毎回の授業や課題においてテーマとなる社会問題について考え文章にすることが、自分の意見を持つ大変いい機会となった」「ただ論理の立て方を学ぶだけではなく時事を用いて学ぶことができて大変勉強になった」などの感想がありました。

テーマに関連したアウトプットを繰り返す授業形式を通して、考えて書く力がアップしたと感じる受講者が多かったようです。

【Outline (in English)】

As part of the critical thinking education, we will make hypotheses from multiple perspectives, and practice to find solutions while taking into account the opposite opinion. If you learn how to think critically, you will be of great help in your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. The grading are evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

HIS200LA

東洋史Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：中国古代の国家構造

岡安 勇

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国古代の国家構造については皇帝を頂点とする一元的支配（＝個人身身的支配）という概念で理解されている。

しかし皇帝権力の絶対性の側面を強調すると、その絶対的権力を打倒して新王朝が出現する王朝交替のメカニズムを解明する糸口が見失われてしまう。

また「例外において本質が顕現する」（C. シュミット）と言われるように、皇帝支配における例外的措置としてこれまであまり顧みられることのなかった王朝の「賓・客」（旧王朝の子孫）の存在とその待遇問題について注目して新たに中国古代の国家構造を明らかにしてみたい。

つまり、本授業では中国古代の国家構造を「二王の後（旧王朝の子孫）」の視点から解明する。

漢文講読の経験の有無にかかわらず、中国に興味関心のある学生が本授業を受講することによって、これまでにない中国古代の国家構造を理解することができる。

【到達目標】

中国古代（おもに堯・舜・禹の伝説時代から殷・周～秦・漢・三国時代）の社会・思想のうち興味深い事柄が理解できる。また、そのような社会や思想を理解した上で、一般に知られていない中国古代の「二王の後」の存在も明らかにする。「二王の後」の視点から中国古代の王朝交替のメカニズムが明確に理解できるようにする。

なお、授業では現代に溶け込んでいる中国古代の故事なども取り上げるので、これまでとは違う知識が得られる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも次第に漢文の読み方が上達すると考えられる。

試験では授業で扱った漢文史料を引用して自分自身で中国古代の王朝交替のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義で講読する史料や参考資料はプロジェクターを使用してスクリーンに映しだして説明を加えるので、黒板に書くチョークの文字よりも見やすいと思われる。また、黒板に書く作業が省略される分時間の短縮に繋がり、教師と学生が常に対面できるという利点もある。講義形式（漢文初心者にも理解できるように説明し、丁寧な解説を加える）で行う。授業計画にも示してあるが、講義では、中国古代史上における興味ある話題について参考資料などを示して紹介するつもりである。

なお、授業の概要、重要事項などを確認するリアクションペーパーの提出を義務づけているが、その中で提出された質問のうち共有化すべきものについては、次の授業で回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	二王の後とはなにか	授業内容:春学期授業のガイダンスと中国古代の国家構造について

第 2 回 伝説上の王朝について 堯・舜・禹の伝説上の帝王間の政権交替についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 3 回 実在する最古の王朝について 夏王朝から殷王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 4 回 殷王朝から周王朝へ 殷王朝から周王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 5 回 周王朝から秦王朝へ 周王朝から秦王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 6 回 秦王朝から漢王朝へ 秦王朝から漢王朝への王朝交替についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 7 回 漢王朝初期 漢王朝初期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 8 回 漢の武帝の初期 漢の武帝初期の二王の後礼遇の再建についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 9 回 漢の武帝期② 漢の武帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 10 回 漢の宣帝・元帝期 漢の宣帝・元帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 11 回 漢の成帝期 漢の成帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 12 回 王莽時代 王莽時代の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 13 回 後漢・三国時代まとめ 後漢・三国時代の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介

第 14 回 試験・まとめと解説 試験についての説明を行った後、試験実施 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 4 時間を標準とする。参考図書などについてはテキストに記載してあるが、それ以外のものについては、授業中に紹介するので、それらの参考図書を授業前後に読み、取り扱うテーマとその歴史的背景を理解すること。

なお、中国に関する展覧会などにも積極的に出掛けて、中国への関心と理解を高めることに心がけてもらとうよい。

【テキスト（教科書）】
テキスト：岡安勇『中国古代の国家構造』Hoppii（学習支援システム）内の教材からダウンロードすること。
参考資料：Hoppii（学習支援システム）内の教材からダウンロードすること。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】
参考図書などについてはテキストに紹介してある。

【成績評価の方法と基準】
期末試験：70 %
平常点：30 %（毎時間、授業の理解度確認のためのリアクションペーパー提出）
合計：100 %

成績は毎時間に提出するリアクションペーパーによる平常点と期末試験で評価する。リアクションペーパーを一定枚数以上提出した者が成績の評価対象となる。期末試験では講義で使用するテキストやプリントとその説明のためにとったノートがなければ解答できないと思われる。すなわち出席を重視するゆえんである。なお、試験問題は授業の個々の内容から出題する。

上記の予定が 2022 年度春学期に実行できず、春学期がオンラインでの開講となった場合には、成績評価の方法と基準も変更する。具体的方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

今後も知的好奇心を刺激する授業を展開するよう心がける。また、専門的な分野を理解できるように、これからも工夫を加えていきたい。

【その他の重要事項】

春学期の「二王の後」という視点、秋学期の「中国古代の席次」という視点の両面から中国古代の国家構造というテーマを解明していくので、両者の視点によってより明確にテーマを理解できると思われる。そのため、履修者には通年での履修を勧める。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course is designed to lecture on "descendants of the previous two dynasties (二王之後)" in ancient China.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to understand the National structure of ancient China.

【Learning activities outside of classroom】 Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 70%, Short reports: 30%.

HIS200LA

東洋史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 中国古代の国家構造

岡安 勇

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 1/Tue.1

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期では、王朝の「賓・客」（旧王朝の子孫）の存在とその待遇問題に注目して中国古代の国家構造の解明を行ったが、秋学期ではこれとは反対に禪譲されて新王朝を樹立した者の、旧王朝末期における君臣関係というこれまであまり扱われることのなかった例外的措置について取り上げ、中国古代の新旧両王朝一体となった国家構造を明らかにしてみたい。

そこで本授業では中国古代の国家構造を席次という序列関係を手掛かりにして解明を試みる。

なお、この解明には君臣間、賓主間という性質の異なる席次の序列関係も重要な手掛かりとなるが、人口に膾炙した『史記』の有名な「鴻門の会」はその代表例として取り上げることになるので、親しみやすいと思われる。対象学生は春学期と同じ。

【到達目標】

中国古代に行われていた席次（席に座る順序）を用いるというこれまで考えられなかった視点から王朝交替のメカニズムを解明する糸口を見いだすことが出来る。

一般にもよく知られている鴻門の会での項羽と劉邦の席がどのようになっているのか興味のある問題であるが、この点についてはビデオを用いることによって、視覚的に理解ができる。

中国古代の席次が理解できれば、皇帝が西面することがいかに異例のことだったのかが分かり、するとこれまで考えても見なかった王朝交替のメカニズムが判明することにもつながる。

なお、秋学期でも春学期と同じように、授業では現代に溶け込んでいる中国古代の故事なども取り上げるので、これまでとは違う知識が得られる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも次第に漢語への理解や漢文の読み方が上達すると考えられる。

試験では授業で扱った漢文史料を引用して自分自身で中国古代の王朝交替のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義で講読する史料や参考資料はプロジェクターを使用してスクリーンに映しだして説明を加えるので、黒板に書くチョークの文字よりも見やすいと思われる。また、黒板に書く作業が省略される分時間の短縮に繋がり、教師と学生が常に対面できるという利点もある。講義形式（漢文初心者にも理解できるように説明し、丁寧な解説を加える）で行う。授業計画にも示してあるが、講義では、中国古代史上における興味ある話題について参考資料などを示して紹介するつもりである。

なお、授業の概要、重要事項などを確認するリアクションペーパーの提出を義務づけているが、その中で提出された質問のうち共有化すべきものについては、次の授業で回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容:秋学期授業のガイダンスと中国古代の国家構造について	授業内容ガイダンスと君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 2 回	君臣間の席次	君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 3 回	階層化する君臣間の席次	階層化する君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 4 回	賓主間の席次	賓主間の席次のうち基本的なものについてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 5 回	君臣間の席次と賓主間の席次の相違点	君臣間の席次と賓主間の席次の相違点の確認と理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 6 回	賓主間から君臣間の席次への移行	賓主間から君臣間への席次の移行の意味についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 7 回	複雑な賓主間の席次	複雑な賓主間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 8 回	複雑な賓主間の席次の上下関係	複雑な賓主間の席次の上下関係についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 9 回	私的場面で賓主間の席次に着く皇帝	私的場面で賓主間の席次に着く皇帝の存在についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 10 回	公的場面で賓主間の席次に着く皇帝	公的場面で賓主間の席次に着く皇帝の存在についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 11 回	臣下に対して賓主間の席次に着く皇帝	臣下に対して賓主間の席次に着く皇帝の意味についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 12 回	賓客の席を与えられた臣下の変化	臣下が賓客の席に着くことにより皇帝との関係が主客関係に変化していくこととその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 13 回	席次から見た王朝交替まとめ	賓主間の席次に着く皇帝の意味から王朝交替のメカニズムを明らかにすることとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 14 回	試験・まとめと解説	秋学期講義のまとめおよび結論 試験についての説明を行った後、試験実施　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。参考図書などについてはテキストに記載してあるが、それ以外のものについては、授業中に紹介するので、それらの参考図書を授業前後に読み、取り扱うテーマとその歴史的背景を理解すること。

なお、中国に関する展覧会などにも積極的に出掛けて、中国への関心と理解を高めることに心がけてもらおうとよい。

【テキスト（教科書）】

岡安勇『中国古代の国家構造』Hoppii（学習支援システム）内の教材からダウンロードすること。

参考資料：Hoppii（学習支援システム）内の教材からダウンロードすること。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

参考図書などについてはテキストで紹介してある。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：70 %

平常点：30 %（毎時間、授業の理解度確認のためのリアクションペーパー提出）

合計：100 %

成績は毎時間に提出するリアクションペーパーによる平常点と期末試験で評価する。リアクションペーパーを一定枚数以上提出した者が成績の評価対象となる。期末試験では講義で使用するテキストやプリントとその説明のためにとったノートがなければ解答できないと思われる。すなわち出席を重視するゆえである。なお、試験問題は授業の個々の内容から出題する。

上記の予定が 2022 年度秋学期に実行できず、秋学期がオンラインでの開講となる場合には、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

今後も知的好奇心を刺激する授業を展開するよう心がける。また、専門的な分野を理解できるように、これからも工夫を加えていきたい。

【その他の重要事項】

春学期の「二王の後」という視点、秋学期の「中国古代の席次」という視点の両面から中国古代の国家構造というテーマを解明していくので、両者の視点によってより明確にテーマを理解できると思われる。そのため、履修者には通年での履修を勧める。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is designed to lecture on the National structure in ancient China through the precedence between Sovereign and Subject, Guest and Host.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to understand the Dynasty Change in ancient China.

【Learning activities outside of classroom】 Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination:70%, Short reports:30%.

HIS200LA

東洋史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

長谷部 圭彦

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本科目では、イスラームが誕生した 7 世紀から、オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼす 15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。また、イスラームの教義や戒律、そして世界秩序観などについても解説する。受講者が、当該地域への理解を深めつつ、他の地域との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史と、イスラームの教義に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

本学の方針に基づき、初回を除き、すべて対面授業とする (初回はオンライン授業)。ただし、大学からの指示により、オンライン授業に変更される可能性もある。課題等に対するフィードバックは、対面授業の際は教室で、オンライン授業の際は学習支援システムないしは google classroom で、それぞれ行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第 2 回	預言者ムハンマド	ムハンマドの生涯を概観する。
第 3 回	六信五行	イスラームの信仰箇条と行為義務を概観する。
第 4 回	聖典『クルアーン』	イスラームの聖典を概観する。
第 5 回	スンナ派とシーア派	イスラームの宗派を概観する。
第 6 回	ウマイヤ朝とアッバース朝	7 世紀から 8 世紀までのイスラーム地域を概観する。
第 7 回	シャリーアとフィクフ	イスラームの法と法学を概観する。
第 8 回	ウラマーとマドラサ	イスラームの法の担い手とその養成方法を概観する。
第 9 回	マムルークとイクター制	9 世紀から 11 世紀までのイスラーム地域を概観する。
第 10 回	スーフィーと聖者	イスラームの神秘主義と聖者を概観する。
第 11 回	スンナ派の時代	12 世紀のイスラーム地域を概観する。
第 12 回	モンゴルの時代	13 世紀のイスラーム地域を概観する。
第 13 回	オスマン朝とティムール朝	14 世紀から 15 世紀までのイスラーム地域を概観する。
第 14 回	イスラームの普及	アフリカ、インド、東南アジア、中国へのイスラームの普及を概観する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。
準備学習: レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習: 講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配付する。

【参考書】

大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。
東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社、1996 年。
屋形禎亮・佐藤次高『西アジア』上巻、朝日新聞社、1993 年。

【成績評価の方法と基準】

100%: 期末レポート

期末レポートは、turnitin を用いて、不正の有無を確認する。悪質な剽窃行為の場合、本科目は E 評価となり、停学 (3 カ月未満) となる。

【学生の意見等からの気づき】

前々年度の受講生から、「レジュメは概要だけでなく、それだけ見ても分かるように作ってほしかった」との意見があったが、それでは授業に出席しない (オンライン授業の場合は動画を視聴しない) 受講生が出てくる可能性があるため、簡潔なレジュメのままとする。

【学生が準備すべき機器他】

念のため、オンライン授業に備えておくこと。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「東洋史 LII (イスラーム史 2)」も受講することが望ましい。

【Outline (in English)】

We survey a history of Islamic area from 7th to 15th century and review the Islamic technical terms. We aim to understand the area and to compare and connect it with another. Before / after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report 100%.

HIS200LA

東洋史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長谷部 圭彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本科目では、オスマン・サファヴィー・ムガルの三王朝が並び立った 16 世紀から現代までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。とくに、この地域の大部分を支配したオスマン帝国（1300 頃～1922）に焦点をあてる。受講者が、オスマン帝国への理解を深めつつ、他の政治体との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、オスマン帝国の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本学の方針に基づき、初回を除き、すべて対面授業とする（初回はオンライン授業）。ただし、大学からの指示により、オンライン授業に変更される可能性もある。課題等に対するフィードバックは、対面授業の際は教室で、オンライン授業の際は学習支援システムないしは google classroom で、それぞれ行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第 2 回	オスマン史の全体像	オスマン史の時代区分（形成、拡張、変容、刷新、崩壊）を紹介する。
第 3 回	形成の時代 1—戦士集団から君侯国へ	13 世紀から 15 世紀中葉までのオスマン史を概観する。
第 4 回	形成の時代 2—コンスタンティノープルの征服	コンスタンティノープルの征服を概観する。
第 5 回	拡張の時代 1—世界帝国への道	15 世紀中葉から 16 世紀前半までのオスマン史を概観する。
第 6 回	拡張の時代 2—スレイマンの時代	16 世紀中葉のオスマン史を概観する。
第 7 回	拡張の時代 3—支配組織の確立	16 世紀の支配組織を概観する。
第 8 回	変容の時代 1—兵制と税制の変容	16 世紀後半から 17 世紀前半までのオスマン史を概観する。
第 9 回	変容の時代 2—対外関係の変容	17 世紀後半から 18 世紀までのオスマン史を概観する。
第 10 回	刷新の時代 1—改革の序章	19 世紀前半のオスマン史を概観する。
第 11 回	刷新の時代 2—二つのナショナリズム	オスマン帝国のナショナリズムを概観する。
第 12 回	刷新の時代 3—社会秩序の変容	19 世紀中葉のオスマン史を概観する。

第 13 回 崩壊の時代 1—専制と革命
第 14 回 崩壊の時代 2—帝国の終焉
19 世紀後半から 20 世紀初頭までのオスマン史を概観する。
20 世紀前半のオスマン史を概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配布する。

【参考書】

新井政美『トルコ近現代史』みすず書房、2001 年。
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。
小笠原弘幸『オスマン帝国』中央公論新社、2018 年。
鈴木董『オスマン帝国』講談社、1992 年。
鈴木董『オスマン帝国の解体』筑摩書房、2000 年。
永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』中央公論社、1998 年。
林佳世子『オスマン帝国の時代』山川出版社、1997 年。
林佳世子『オスマン帝国 500 年の平和』講談社、2008 年。

【成績評価の方法と基準】

100%：期末レポート

期末レポートは、turnitin を用いて、不正の有無を確認する。悪質な剽窃行為の場合、本科目は E 評価となり、停学（3 カ月未満）となる。

【学生の意見等からの気づき】

前々年度の受講生から、「レジュメは概要だけでなく、それだけ見ても分かるように作ってほしかった」との意見があったが、それでは授業に出席しない（オンライン授業の場合は動画を視聴しない）受講生が出てくる可能性があるため、簡潔なレジュメのままとする。

【学生が準備すべき機器他】

念のため、オンライン授業に備えておくこと。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「東洋史Ⅱ（イスラーム史 1）」も受講することが望ましい。

【Outline (in English)】

We survey a history of the Ottoman Empire. We aim to understand it and to compare and connect it with another political body. Before / after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report 100%.

HIS200LA

西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

後藤 篤子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 3/Tue.3

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、古代ローマ帝国の宗教世界について学びます。多神教であったローマ帝国の一隅で、一神教のユダヤ教から分離し成立したキリスト教は、時に迫害されながらも発展していき、紀元後 4 世紀末にはローマ帝国の「国教」とされるに至ります。ただし初期キリスト教もまた多様性を孕んでおり、その中から中世カトリック＝キリスト教へとつながる流れが形成されていきます。それらの経緯を学ぶ中で、宗教的寛容・非寛容の問題や、宗教間対立・宗派間対立が生じる背景について考える力を養います。

【到達目標】

古代ローマの宗教世界に関する基本的知識を習得し、ローマの伝統宗教が「国家宗教」と言われる理由、初期カトリシズムの形成過程、ローマ帝国におけるキリスト教徒「迫害」の実態とその変化の要因、ローマ皇帝の「改宗」がローマ帝国の宗教世界に与えた種々の影響などについて、考察できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で進め、講義レジュメは授業の数日前までに学習支援システムを通じて配布します。学期中に数回、講義内容の区切りの良いところでリアクションペーパーを提出してもらい、次回授業で全体講評・質疑応答を行います。ただし、当該回の講義時間を圧迫し過ぎる恐れがある場合は、学習支援システムの授業内掲示板等を利用したフィードバック方法に切り換えます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	「異教」という用語、および古代ローマ史の大きな流れについて説明する。
第 2 回	古代ローマの「国家宗教」	古代ローマの伝統的宗教観を史料から読み取り、アウグストゥスの宗教政策を概観する。
第 3 回	ローマ帝政前期の宗教世界の多様性	種々の「東方密儀宗教」の隆盛と、属州各地の「土着宗教」の存続について概観する。
第 4 回	一神教の出現	ユダヤ略史と古代ユダヤ教の確立について概観する。
第 5 回	キリスト教の成立	イエスの死後、ユダヤ教から分離してキリスト教が成立していく過程を概観する。
第 6 回	初期キリスト教世界の展開	パウロの思想およびパウロ以後の状況について概観する。
第 7 回	初期キリスト教世界の多様性	「異端」の出現と初期カトリシズムの形成について概観する。
第 8 回	1～3 世紀初頭のローマ帝国とキリスト教の関係	帝政前期のキリスト教徒迫害事例を概観し、その実態を考える。

第 9 回	「3 世紀の危機」と宗教世界の変化	「軍人皇帝」たちの宗教的模索、新プラトン主義、マニ教、禁欲主義への志向について概観する。
第 10 回	迫害から公認へ	「最後のキリスト教徒大迫害」を概観し、コンスタンティヌス大帝の「改宗」について考える。
第 11 回	ローマ帝国の「キリスト教化」の進展	コンスタンティヌス帝以後、テオドシウス 1 世による国教化に至るまでの諸皇帝の宗教政策を概観する。
第 12 回	「異教」の終焉?	皇帝の「改宗」が「異教」世界に与えた影響について考える。
第 13 回	古代キリスト教から中世キリスト教へ	国家権力との結びつきがキリスト教世界に与えた影響について考える。
第 14 回	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回の講義レジュメは前もって学習支援システムの教材欄にアップするので、事前によく目を通し、知らない人名や事項についてはできる限り自分で調べたうえで講義に臨むこと。授業後は講義内容や質疑応答等を踏まえてレジュメを見直し、疑問点が残っていたり新たな疑問点が出てきた場合は、まず参考書などで自分で調べてみる。それでも残る疑問点については授業時に質問して解決を図ること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストは使用しません。講義内容および関連史料・図版等を記載したレジュメの PDF ファイルを、学習支援システムを介して事前配布します。

【参考書】

弓削達『ローマ帝国とキリスト教』(世界の歴史 5)、河出文庫、1989 年。
小川英雄『ローマ帝国の神々ー光はオリエントより』、中公新書、2003 年。
山我哲雄『聖書時代史一旧約篇』、岩波現代文庫、2003 年。
佐藤研『聖書時代史一新約篇』、岩波現代文庫、2003 年。
後藤篤子「ローマ帝国における『異教』とキリスト教」、歴史学研究会編『地中海世界史 1・古代地中海世界の統一と変容』(青木書店、2000 年) 所収。
その他の参考文献は、講義レジュメで随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末筆記試験 80 %、平常点 (リアクションペーパーの提出等) 20 % で評価します。
期末筆記試験は、基本的知識の習得度を確認するための語句等の説明 50 点、到達目標に即して事前発表する幾つかの論題から 1 題を選択して答える論述問題 50 点とする予定です。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

< Course Outline > This course deals with the history of religions in ancient Rome and the problem of 'Christianization' of the Roman Empire.

< Learning Objectives > By the end of the course, students are expected to acquire accurate knowledges of religions in the Roman Empire, including early Christianity, and to be able to explain the historical process of the so-called 'Christianization' of the Roman Empire.

< Learning Activities outside of Classroom > Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

< Grading Criteria > Grading will be decided based on term-end examination (80%) and in-class contribution (20%).

HIS200LA

西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高澤 紀恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

歴史家たちはヨーロッパの過去に対してどのような問いを投げかけ、どのように歴史を描こうとしてきたのでしょうか。この授業は、二宮宏之『マルク・ブロックを読む』を共通テキストに、フランスと日本の歴史家たちの営みから、この問題を考えたいと思います。ヨーロッパの歴史に親しむだけでなく、歴史を学ぶ意味、歴史を捉える方法について一緒に学んでいきましょう。

【到達目標】

歴史が過去に問いかける人の営みによって描かれ、伝えられることを、ひとりのフランス人歴史家（マルク・ブロック）とひとりの日本人歴史家（二宮宏之）との知的対話を通して学びましょう。それはまた、中・近世のヨーロッパについての知見を深め、日本・フランスの二〇世紀史について学ぶことに繋がるでしょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業の開始までにテキストを読んできてください。

第一回目に担当を決め、二回目以降は担当者による発表、質疑、議論によって授業を進めます。レジュメは、必ず前日までに学習支援システムにアップしてください。レジュメの書き方などは初回授業で説明します。人数が多い場合は、グループ報告になります。毎回、出席をとり、リアクションペーパーを提出してもらいます。そこで出された質問などへの応答（フィードバック）は、次の授業の冒頭で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方の紹介 報告グループの割り当て
第 2 回	第一講「時代に立ち向かうブロック」(1)	講読・質疑・解説
第 3 回	第一講「時代に立ち向かうブロック」(2)	講読・質疑・解説
第 4 回	レジスタンスを考える	ディスカッション
第 5 回	第二講「学問史のなかのブロック」(1)	講読・質疑・解説
第 6 回	第二講「学問史のなかのブロック」(2)	講読・質疑・解説
第 7 回	第三講「作品の仕組みを読む」(1)	講読・質疑・解説
第 8 回	第三講「作品の仕組みを読む」(2)	講読・質疑・解説
第 9 回	第四講「作品の仕組みを読む(つづき)」(1)	講読・質疑・解説
第 10 回	第四講「作品の仕組みを読む(つづき)」(2)	講読・質疑・解説
第 11 回	第五講「生きられた歴史」(1)	講読・質疑・解説

第 12 回 第五講「生きられた歴史」(2)

第 13 回 20 世紀の学問を考え る ディスカッション

第 14 回 総括 小エッセイの作成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学生に割り当てて、テキストの概要を報告してもらいますので、事前にテキストを入手し、読んできて下さい。

自分はこの箇所を担当したいかを考えながら、疑問をもちながら読むことをおすすめします。

本授業の予習・復習時間は、各二時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

二宮宏之『マルク・ブロックを読む』岩波書店、(岩波現代文庫版) 2016 年。

【参考書】

高澤紀恵「高橋・ルフェーブル・二宮——「社会史誕生」の歴史的位相」『思想』1048 号、2011 年 10 月号。

【成績評価の方法と基準】

担当箇所の発表 (40 %)

議論への参加 (20 %)

最終回におけるエッセイ (40 %)

【学生の意見等からの気づき】

初めての授業ですので、フィードバックできません。

【Outline (in English)】

(Course Outline and Learning Objectives)

This course aims to understand how historians have treated and described the past of Europe. We will focus on the struggle of Japanese and French historians in the 20th century and today like Marc Bloch, Hiroyuki Ninomiya and so on.

Students are expected to read assignments in advance.

(Learning activities outside of the classroom)

I expect students to have completed the required assignment before the class. Your study time will be more than four hours for a class at least.

(Grading Criteria)

I will decide your overall grade in the class based on the following:

Presentation (40%), the quality of the performance in the class (20%), and a final essay (40%).

HIS200LA

西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

新井 隆

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

19 世紀末から 20 世紀前半にかけて、欧米列強による植民地獲得競争が激化し、アフリカやアジアなど世界各地に欧米列強や日本が勢力を拡大させていきました。さらに、植民地支配の流れは、太平洋の島々にも押し寄せていきました。欧米諸国や日本と太平洋世界の関わりには、植民地化以前にも、探検航海や捕鯨船、貿易商人、宣教師などによるものがあり、時代を経ながら羨望と侮蔑が入り混じっていったのです。本授業では、これら太平洋の島々に対する欧米諸国や日本の認識について、俯瞰的な視野で学習していきます。

【到達目標】

太平洋世界に対する欧米諸国や日本の認識の変遷について、歴史的な背景を踏まえながら自らの理解が深まることを目標とします。西洋や日本の「他者」に対するイメージは、しばしば羨望と侮蔑が入り混じるものでしたが、そうした他者認識の方法は太平洋の島々に対しても顕著なものでした。この授業では、太平洋に関する映像や図像などに注目することで、西洋世界の他者認識の変遷が掴めるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業では内容理解の確認とフィードバックのために、適宜ワークシートを配布するので、各自授業内容のポイントを振り返りながら適宜気づいた点や気になった点を書き込んで提出してもらいます。ワークシートの記載内容は、授業のフィードバックに活用すると同時に、期末試験の際に参照可とするので、各自その点を踏まえた上で取り組むこと。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	本授業の概要説明ならびに簡単なアイスブレイク
第 2 回	西洋と太平洋の邂逅 (I) 「開かれた海」における人の移動と西洋による太平洋イメージの登場	接触以前における太平洋世界の概要に触れながら、西洋側の太平洋世界に対するイメージがはじめは曖昧なかつしか持っていなかったことを確認します。
第 3 回	西洋と太平洋の邂逅 (II) 徐々に浮かび上がる太平洋に対する西洋のまなざし	大航海時代をきっかけに太平洋と関わりを持つようになった西洋世界が数々の航海を通して、この大洋の概要を掴もうとしたことを理解します。
第 4 回	浮き彫りになる太平洋の全体像と探検航海 西洋世界における探検航海の意味	ようやく太平洋横断が可能になった西洋がクックをはじめとする探検航海の進展により、さらに明確な太平洋像を作り上げていったことを押さえます。

第 5 回	強まる西洋と太平洋世界のつながり (I) 捕鯨船、貿易、キリスト教伝道	探検航海後に登場した捕鯨船や貿易、キリスト教伝道が進展するにつれて、西洋から見た太平洋世界には、羨望と侮蔑が入り混じっていたことを理解します。
第 6 回	強まる西洋と太平洋世界のつながり (II) 太平洋における資本主義の拡大と海のグローバル化	西洋が太平洋世界と関わる中で形成されたヒトやモノの動きは、確かに双方の世界の結びつきを強めました。しかし、その裏には前者による後者の搾取という側面があったことを改めて確認します。
第 7 回	西洋諸国による太平洋の分割 拡大する植民地化の波と太平洋世界	19 世紀末から 20 世紀はじめにかけて、欧米列強は世界各地で植民地獲得競争に明け暮れ、その波は太平洋世界をも飲み込んでいきました。ここでは、欧米諸国による本格的な太平洋進出が現地社会の在り方を大きく変容させたことを理解します。
第 8 回	南洋をまなざす日本の眼 日本と太平洋の関わり	植民地支配の潮流が世界を覆う中で、日本は国際連盟の C 式委任統治領として南洋群島を支配下に置くことになります。ここでは、欧米諸国の太平洋認識にも触れつつ、日本の認識にも太平洋に対する羨望と侮蔑が入り混じっていた様子を確認します。
第 9 回	軍事衝突の舞台となった太平洋 太平洋における日米の相剋	欧米列強や日本が太平洋にも勢力を伸張させる中で、やがて軍事的対立を深めていく過程を太平洋認識との関わりで理解します。
第 10 回	太平洋に対する列強諸国の軍事的まなざしの系譜 (I) 植民地支配・戦争・冷戦をくぐった太平洋の島々	第二次世界大戦後の太平洋 (ミクロネシア) では、アメリカが国際連合下の戦略的信託統治領として、同地域を管轄していました。ここでは、太平洋の島々が日米を中心とする各国から軍事的な要衝として認識されてきたことの歴史的系譜を掴みます。
第 11 回	太平洋に対する列強諸国の軍事的まなざしの系譜 (II) 核実験の場と化した太平洋と映画の表象	戦後アメリカやフランス、イギリスなどが太平洋の島々で多くの核実験を実施しました。その影響は実際の被害だけでなく、映像作品などを通した太平洋認識にも及ぶものであったことを理解します。
第 12 回	南国の楽園としての太平洋イメージ (I) 観光化される太平洋	欧米諸国による太平洋イメージの系譜を眺めてみると、憧憬・羨望と侮蔑が隣り合わせになって登場してきます。そうした認識は植民地化や戦争を通じて醸成されとともに、観光化によってさらに強化されているということを確認します。
第 13 回	南国の楽園としての太平洋イメージ (II) 南国の楽園としてのハワイ・グアム	太平洋の観光化には、しばしば「南国の楽園」という他者イメージが強く作用しています。ここではハワイやグアムの事例を取り上げながら、特に日米による太平洋認識の一端を確認します。
第 14 回	島嶼国「独立」に見る太平洋イメージ 狭小な存在として認識される太平洋世界 (マイクロ・ステートと MIRAB 経済)	第二次世界大戦後にも欧米諸国による支配の影響が続いていた太平洋地域ですが、これまで見てきた太平洋認識がどのようなかたちで残存しているのか、島嶼国「独立」後の様子を確認します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 3 時間を標準とします。参考書の欄にあげた文献や授業中に紹介した文献などを自主的に読み、授業で取り上げるテーマについての理解を深めましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は特に使用しません。

【参考書】

- ・石川榮吉『日本人のオセアニア発見』平凡社、1992 年 5,600 円
- ・石森大知・丹羽典生編著『エリア・スタディーズ 176 太平洋諸島の歴史を知るための 60 章—日本とのかかわり』明石書店、2019 年 税別 2,000 円
- ・印東道子編著『エリア・スタディーズ 51 ミクロネシアを知るための 60 章【第 2 版】』明石書店、2015 年 税別 2,000 円
- ・春日直樹編『太平洋世界叢書 2 オセアニア・ポストコロニアル』国際書院、2002 年 税別 2,800 円
- ・金澤周作監修・藤井崇ほか編著『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020 年 税別 3,200 円
- ・ジェームズ・クック（増田義郎訳）『クック 太平洋探検 1～6』岩波文庫、2004～2005 年 税別各 800 円
- ・小山哲ほか編著『大学で学ぶ西洋史【近現代】』ミネルヴァ書房、2011 年 税別 2,800 円
- ・佐藤幸男編『太平洋世界叢書 1 世界史のなかの太平洋』国際書院、1998 年 税別 2,800 円
- ・塩田光喜『太平洋文明航海記—キャプテン・クックから米中の制海権をめぐる争いまで』明石書店、2014 年 税別 2,200 円
- ・エティエンヌ・タイユミット（増田義郎監修、中村健一訳）『知の再発見双書 33 太平洋探検史—幻の大陸を求めて』創元社、1993 年 1,359 円
- ・瀧田佳子編『変貌するアメリカ太平洋世界 6 太平洋世界の文化とアメリカ—多文化主義・土着・ジェンダー』彩流社、2005 年 税別 3,800 円
- ・中山京子編著『エリア・スタディーズ 105 グアム・サイパン・マリアナ諸島を知るための 54 章』明石書店、2012 年 税別 2,000 円
- ・増田義郎『太平洋—開かれた海の歴史』集英社新書、2004 年 税別 700 円
- ・矢口祐人『ハワイの歴史と文化—悲劇と誇りのモザイクの中で』中公新書、2002 年 税別 840 円
- 『憧れのハワイ—日本人のハワイ観』中央公論新社、2011 年 税別 2,000 円
- ・山内昌之・古田元夫編『日本イメージの交錯—アジア太平洋のトボス』東京大学出版会、1997 年 税別 1,800 円
- ・山口誠『グアムと日本人—戦争を埋立てた楽園』岩波新書、2007 年 税別 740 円
- ・山中速人『イメージの「楽園」—観光ハワイの文化史』筑摩書房、1992 年 税別 1,359 円
- 『ハワイ』岩波新書、1993 年 税別 620 円
- 『世界史リブレット 64 ヨーロッパからみた太平洋』山川出版社、2004 年 税別 729 円
- ・吉岡政徳・石森大知編著『エリア・スタディーズ 82 南太平洋を知るための 58 章』明石書店、2010 年 税別 2,000 円
- ・和田光弘編著『大学で学ぶアメリカ史』ミネルヴァ書房、2014 年 税別 3,000 円

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は、平常点（毎回のワークシートの提出状況・記述状況、受講態度）30 % ならびに試験 70 % の割合で、（1）毎回の授業に積極的に参加しているかどうか（2）太平洋をめぐる欧米諸国や日本の認識について関心と理解が深められているかどうかを判断します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】

本授業は西洋史 LB との関わりが大きいので、関心のある学生は西洋史 LB の受講も勧めます。

【Outline (in English)】

授業概要（Course outline）

From the end of the 19th century to the first half of the 20th century, the race to acquire colonies by Western powers intensified, and Western powers and Japan expanded their power in Africa, Asia, and other parts of the world. The involvement of Western nations and Japan with the Pacific world, even before colonization, was through exploratory voyages, whaling ships, traders, and missionaries, and over the ages, envy and contempt were mixed together. The aim of this course is to help students acquire a bird's-eye view about Western and Japanese perceptions of these Pacific islands.

到達目標（Learning Objectives）

The goal of this course is to deepen our own understanding of the change of Western and Japanese perceptions toward the Pacific world in the context of historical background. Western and Japanese images of the “other” have often been a mixture of envy and contempt, and this way of perceiving the other has also been evident in the Pacific islands. At the end of the course, students are expected to grasp a part of the change of the Western world's perception of the “other”.

授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content. Students are encouraged to deepen their understanding of the topics to be covered in the class by independently reading the references listed in the reference section and other literature introduced in the class.

成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policies）

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, in class contribution (submission and description of worksheets at each session, and course attitude): 30%

HIS200LA

西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

新井 隆

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

19 世紀末から 20 世紀前半にかけて、欧米列強による植民地獲得競争が激化し、アフリカやアジアなど世界各地に欧米列強や日本が勢力を拡大させていきました。その結果生じた列強間の対立はやがて二度の世界大戦につながり、太平洋の島々にも植民地支配と戦争が大きな影響を与えることになりました。本授業ではこれらの歴史的背景を踏まえた上で、太平洋の地域形成について、特に 19-20 世紀における日米との関わりを中心に学習します。

【到達目標】

19-20 世紀における太平洋地域形成の流れについて、歴史的な背景を踏まえながら、自らの理解が深まることを目標とします。現在太平洋に関する名称については、オセアニアやミクロネシア、ポリネシア、メラネシアなどいくつかの呼称が用いられています。これらの呼び名が用いられるようになった背景には、欧米諸国や日本による植民地支配や戦争の影響が色濃く見られます。この授業では、太平洋をめぐる各国の相剋の事例をいくつか取り上げながら、太平洋地域形成の流れが掴めるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業では内容理解の確認とフィードバックのために、適宜ワークシートを配布するので、各自授業内容のポイントを振り返りながら適宜気づいた点や気になった点を書き込んで提出してもらいます。ワークシートの記載内容は、授業のフィードバックに活用すると同時に、期末試験の際に参照可とするので、各自その点を踏まえた上で取り組むこと。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	本授業の概要説明ならびに簡単なアイスブレイク
第 2 回	西洋と太平洋の関わり (I) 西洋世界の太平洋認識のはじまり	大航海時代からクックらによる探検航海の進展までを通じて、西洋世界が太平洋を認識するようになり、関わりを深めていく過程を概観します。
第 3 回	西洋と太平洋の関わり (II) 西洋世界による太平洋像の把握	数々の探検航海により太平洋の全体像を把握していった西洋世界が捕鯨船、貿易、キリスト教伝道、植民地化などを通じて、一つの地域として太平洋を認識していく過程を押さえます。

第 4 回	西洋諸国による太平洋進出の論理 列強による世界分割の論理と太平洋の地域形成	19 世紀末から 20 世紀はじめにかけて、欧米列強は世界各地で植民地獲得競争に明け暮れ、太平洋地域でも各国の勢力争いが繰り広げられました。ここでは欧米諸国や日本が太平洋に各々の勢力を伸張させたねらいを押さえながら、太平洋の地域形成の流れを確認します。
第 5 回	アメリカによる太平洋進出の論理 (I) マニフェスト・デスティニー (明白なる天命) と西漸運動の拡大	アメリカ合衆国の領土拡大と密接な関わりを持っていたマニフェスト・デスティニーが太平洋への進出にもつながっていったことを確認します。
第 6 回	アメリカによる太平洋進出の論理 (II) 太平洋におけるアメリカの覇権拡大の端緒	19 世紀末の米西戦争やハワイ王国の転覆・併合を通して、海外領土の獲得に踏み切っていくアメリカ合衆国の太平洋との関わりについて、軍事的政治的な観点を踏まえて理解します。
第 7 回	日本による太平洋進出の論理 (I) 日本のミクロネシア占領と南洋群島	日本は第一次世界大戦を契機にミクロネシア地域を軍事占領し、のちに「南洋群島」として支配下に置きます。ここでは、日本が南洋群島として同地域を規定していく過程を概観します。
第 8 回	日本による太平洋進出の論理 (II) 日本の南洋群島支配と太平洋地域形成	植民地支配の潮流が世界を覆う中で、日本は国際連盟の C 式委任統治領として南洋群島を支配下に置くことになります。ここでは、日米の政治的な緊張関係の醸成が太平洋の地域形成に与えた影響を理解します。
第 9 回	日米の軍事的相剋と太平洋地域形成の変容 太平洋における日米の軍事的なせめぎ合い	日米が互いに太平洋に勢力を伸張させる中で、やがて軍事的対立を深めていく過程を太平洋地域形成との関わりで理解します。
第 10 回	戦後太平洋世界における地域形成 (I) 戦略的信託統治領としての太平洋	第二次世界大戦後の太平洋 (ミクロネシア) では、アメリカが国際連合下の戦略的信託統治領として、同地域を管轄していました。ここでは、冷戦対立が深まる戦後世界における太平洋地域形成について理解を深めます。
第 11 回	戦後太平洋世界における地域形成 (II) 冷戦下における太平洋の島々と核実験	戦後アメリカやフランス、イギリスなどが太平洋の島々で多くの核実験を実施しました。その影響について、戦後における太平洋地域形成との関わりで理解します。
第 12 回	太平洋島嶼国の「独立」と地域形成 (I) 太平洋における脱植民地化の進展と課題	1970 年代から 90 年代にかけて、太平洋地域でも脱植民地化の流れが進み、「独立」を達成する国も登場してきます。しかし、その独立に至る過程を眺めてみると、大国との関係構築が決して一筋縄ではいかなかった様子が見えてきます。ここでは、主に戦後におけるアメリカと太平洋島嶼国・地域との関係構築の変遷を追っていきます。
第 13 回	太平洋島嶼国の「独立」と地域形成 (II) 軍事化・観光化された「南国の楽園」	太平洋の島々では、しばしば「南国の楽園」という他者イメージが強く作用することで観光化が進んだり、主に米軍による島の軍事化が推進されたりしてきました。ここではハワイやグアムの事例を取り上げながら、太平洋地域における軍事化・観光化と地域形成のつながりを理解します。

第 14 回 太平洋をめぐる地域形成の系譜とオセアニア・オリエンタリズム 太平洋を語る主体とは

太平洋をめぐるのは、これまでの欧米諸国や日本から様々な名称で呼ばれてきました。ここでは、太平洋をめぐる呼称の裏に、植民地支配や戦争など様々な歴史的背景が絡んでいたことを改めて確認するとともに、そうした呼称の主体が太平洋の地域形成と密接に関わっていたことを理解します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 3 時間を標準とします。参考書の欄にあげた文献や授業中に紹介した文献などを自主的に読み、授業で取り上げるテーマについての理解を深めましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は特に指定しない。

【参考書】

・麻田貞雄『両大戦間の日米関係―海軍と政策決定過程』東京大学出版会、1993 年 定価 7,828 円

・麻田貞雄編・訳『マハン海上権力論集』講談社学術文庫、2010 年 税別 920 円

※同書は『アメリカ古典文庫 8 アルフレッド・T・マハン』研究社出版、1977 年をもとに「解説」などの加筆修正を行い、再編集されたものである

・浅野豊美編『南洋群島と帝国・国際秩序』慈学社出版、2007 年 税別 6,000 円

・ロニー・アレキサンダー『大きな夢と小さな島々―太平洋島嶼国の非核化にみる新しい安全保障観』国際書院、1992 年 3,200 円

・池上大祐『アメリカの太平洋戦略と国際信託統治―米国務省の戦後構想 1942～1947』法律文化社、2014 年 税別 3,700 円

・石森大知・丹羽典生編著『エリア・スタディーズ 176 太平洋諸島の歴史を知るための 60 章』明石書店、2019 年 税別 2,000 円

・今泉裕美子「日本の軍政期南洋群島統治（1914-22）」『国際関係学研究』（17）（別冊）、1990 年

―「日本軍による支配の実態と民衆の抵抗―ミクロネシア」『歴史評論』（508）、1992 年

―「南洋群島委任統治政策の形成」大江志乃夫・浅田喬二ほか編『岩波講座 近代日本と植民地 4 統合と支配の論理』岩波書店、1993 年

―「太平洋の「地域」形成と日本―日本の南洋群島統治から考える」大津透・桜井英治・藤井譲二ほか編『岩波講座 日本歴史 第 20 巻 地域論（テーマ巻 1）』岩波書店、2014 年

・印東道子編著『エリア・スタディーズ 51 ミクロネシアを知るための 60 章【第 2 版】』明石書店、2015 年 税別 2,000 円

・遠藤泰生・油井大三郎編『変貌するアメリカ太平洋世界 1 太平洋世界の中のアメリカ―対立から共生へ』彩流社、2004 年 税別 3,800 円

・大庭三枝『アジア太平洋地域形成への道程―境界国家日豪のアイデンティティ模索と地域主義』ミネルヴァ書房、2004 年 税別 6,000 円

・春日直樹編『太平洋世界叢書 2 オセアニア・ポストコロニアル』国際書院、2002 年 税別 2,800 円

・春日直樹編『オセアニア・オリエンタリズム』世界思想社、1999 年 税別 3,500 円

・金澤周作監修・藤井崇ほか編著『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020 年 税別 3,200 円

・キース・L・カマチョ（西村明・町泰樹訳）『戦禍を記念する―グアム・サイパンの歴史と記憶』岩波書店、2016 年 税別 5,400 円

・紀平英作・油井大三郎編著『シリーズ・アメリカ研究の越境 第 5 巻 グローバリゼーションと帝国』ミネルヴァ書房、2006 年 税別 3,500 円

・ジェームズ・クック（増田義郎訳）『クック 太平洋探検 1～6』岩波文庫、2004～2005 年 税別各 800 円

・熊谷圭知・塩田光喜編『マタンギ・パシフィカー太平洋島嶼国の政治・社会変動』アジア経済研究所、1994 年 4,800 円

・小林泉『アメリカ極秘文書と信託統治の終焉―ソロモン報告・ミクロネシアの独立』東信堂、1994 年 定価 3,811 円

・小山哲ほか編著『大学で学ぶ西洋史【近現代】』ミネルヴァ書房、2011 年 税別 2,800 円

・酒井一臣『近代日本外交とアジア太平洋秩序』昭和堂、2009 年 税別 4,700 円

・佐藤幸男編『太平洋世界叢書 1 世界史のなかの太平洋』国際書院、1998 年 税別 2,800 円

・塩田光喜編『海洋島嶼国家の原像と変貌』アジア経済研究所、1997 年 定価 4,738 円

・塩田光喜『太平洋文明航海記―キャプテン・クックから米中の制海権をめぐる争いまで』明石書店、2014 年 税別 2,200 円

・清水昭俊・吉岡政徳編『オセアニア 3 近代に生きる』東京大学出版会、1993 年 3,090 円

・エティエンヌ・タイユミット（増田義郎監修、中村健一訳）『知の再発見双書 33 太平洋探検史―幻の大陸を求めて』創元社、1993 年 税別 1,359 円

・高橋章『アメリカ帝国主義成立史の研究』名古屋大学出版会、1999 年 税別 5,800 円

・田所昌幸・阿川尚之編『海洋国家としてのアメリカ―パクス・アメリカナへの道』千倉書房、2013 年 税別 3,400 円

・等松春夫『日本帝国と委任統治―南洋群島をめぐる国際政治 1914-1947』名古屋大学出版会、2011 年 税別 6,000 円

・長島怜央『アメリカとグアム―植民地主義、レイシズム、先住民』有信堂高文社、2015 年 税別 6,000 円

・中野聡『歴史経験としてのアメリカ帝国―米比関係史の群像』岩波書店、2007 年 税別 3,500 円

・原貴美恵『サンフランシスコ平和条約の盲点―アジア太平洋地域の冷戦と「戦後未解決の諸問題」』淡水社、2005 年 税別 3,500 円

・藤原帰一『デモクラシーの帝国―アメリカ・戦争・現代世界』岩波新書、2002 年 税別 740 円

・古矢旬『アメリカニズム―「普遍国家」のナショナリズム』東京大学出版会、2002 年 5,800 円

―『アメリカ 過去と現在の間』岩波新書、2004 年 税別 740 円

・古矢旬・山田史郎編著『シリーズ・アメリカ研究の越境 第 2 巻 権力と暴力』ミネルヴァ書房、2007 年 税別 3,500 円

・ジョン・C・ペリー（北太平洋国際関係史研究会訳）『西へ！―アメリカ人の太平洋開拓史』PHP 研究所、1998 年 3,780 円

・増田義郎『太平洋―開かれた海の歴史』集英社新書、2004 年 税別 700 円

・松島泰勝『ミクロネシア―小さな島々の自立への挑戦』早稲田大学出版部、2007 年

・矢崎幸生『ミクロネシア信託統治の研究』御茶の水書房、1999 年 8,000 円

・矢野暢『「南進」の系譜：日本の南洋史観』千倉書房、2009 年（新版） 税別 5,000 円

※初版は、『「南進」の系譜』1975 年ならびに『日本の南洋史観』1979 年として、いずれも中公新書から出版されている

・山中速人『世界史リブレット 64 ヨーロッパからみた太平洋』山川出版社、2004 年 税別 729 円

・山本吉宣編『変貌するアメリカ太平洋世界 3 アジア太平洋の安全保障とアメリカ』彩流社、2005 年 税別 3,800 円

・油井大三郎『好戦の共和国アメリカ―戦争の記憶をたどる』岩波新書、2008 年 税別 780 円

・渡辺昭夫『アジア・太平洋の国際関係と日本』東京大学出版会、1992 年 定価 3,708 円

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は、平常点（毎回のワークシートの提出状況・記述状況、受講態度）30 %ならびに試験 70 %の割合で、（1）毎回の授業に積極的に参加しているかどうか（2）欧米諸国や日本との歴史的な関わりを踏まえつつ、太平洋地域形成の変容について各自の関心と理解が深められているかどうかを判断します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】

本授業は西洋史 LA との関わりが深いため、同授業も受講しておく、より理解が深まります。

【Outline (in English)】

授業概要（Course outline）

From the end of the 19th century to the first half of the 20th century, the race to acquire colonies by Western powers intensified, and Western powers and Japan expanded their power in Africa, Asia, and other parts of the world. As a result, the conflict between the powers eventually led to two world wars, and colonial rule and warfare had a major impact on the Pacific islands. Based on these historical backgrounds, the aim of this course is to help students acquire their own understanding of the regional formation in the Pacific Ocean, especially its relationship with Japan and the U.S. in the 19th and 20th centuries.

到達目標 (Learning Objectives)

The goal of this course is to deepen their own understanding of the formation of the Pacific region in the 19th and 20th centuries, while providing historical background. Currently, several names are used to refer to the Pacific Ocean, including Oceania, Micronesia, Polynesia, and Melanesia. The background to the use of these names is strongly influenced by the colonial rule and wars waged by Western countries and Japan. At the end of the course, students are expected to grasp the flow of the formation of the Pacific region by discussing several examples of conflicts among countries over the Pacific Ocean.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content. Students are encouraged to deepen their understanding of the topics to be covered in the class by independently reading the references listed in the reference section and other literature introduced in the class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, in class contribution (submission and description of worksheets at each session, and course attitude): 30%

HIS200LA

西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

渡辺 知

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス 1	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス 2	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成 1	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成 2	17 世紀ヘゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成 3	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第 7 回	イギリス商業革命 1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。

第 8 回	イギリス商業革命 2	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第 9 回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第 10 回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第 11 回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第 12 回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第 13 回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第 14 回	試験・まとめと解説	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 16th century to the 19th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history
- 2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.
- 3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS200LA

西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：古代アテナイの法と社会－殺人訴訟を中心に－

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

都市国家アテナイでは、紀元前 6 世紀末から前 4 世紀後半まで、高度に発達した民主政の下で人々が生活していた。民主政アテナイにおいては様々な行政制度が精緻に整備され、司法制度も例外ではなかった。本講義では、アテナイ民主政の成立と発展を概観したのち、アテナイの司法制度、特に殺人訴訟の事例に注目することで、当時の司法制度運用の実態と、殺人事件への人々の対応について考察する。その際、法制度の枠に留まらず、当時の倫理規範や宗教観念が、殺人訴訟に対してどのような影響を与えたのかという点についても論じる。

【到達目標】

古代アテナイ民主政の仕組みを理解するとともに、アテナイで行われた殺人訴訟の事例の検討を通じて、アテナイの司法制度の運用実態に関する知見を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリントを用いて講義形式で進める。必要に応じて授業内で質問やリアクションペーパーの記入を求めることもある。質問は主なものを取り上げ、次回授業でコメントする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	本講義の目的と概要について説明する。
第 2 回	アテナイ民主政の成立と発展①	アテナイの司法制度を理解するための前提として、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 3 回	アテナイ民主政の成立と発展②	第 2 回に引き続き、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 4 回	アテナイ司法制度概観①	アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 5 回	アテナイ司法制度概観②	第 4 回に引き続き、アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 6 回	アテナイ殺人法概観①	古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 7 回	アテナイ殺人法概観②	第 6 回に引き続き、古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 8 回	アテナイの殺人訴訟① 一有意思殺人・殺意を有する傷害・毒殺・放火	アレイオス・バゴス評議会で裁かれた殺人事件について説明する。
第 9 回	アテナイの殺人訴訟② 画・在留外人、外国 人、奴隷の殺害	パッラディオンの神域で裁かれた一無意志殺人・殺人計画・在留外人、外国人、奴隷の殺害

第 10 回	アテナイの殺人訴訟③	デルフィニオンの神域で裁かれた一合法殺人	殺人事件について説明する。
第 11 回	アテナイの殺人訴訟④	プレアトスの神域で裁かれた殺人	事件について説明する。
第 12 回	アテナイの殺人訴訟⑤	プリュタネイオンで裁かれた殺人	一犯人不明、動物、無生物による殺人
第 13 回	アテナイの殺人訴訟⑥	民衆法廷で裁かれた殺人事件、および殺人に関連した罪について説明する。授業全体をまとめる。	全体をまとめる。
第 14 回	試験	筆記試験を行う。＊履修人数によっては試験は行わず期末レポートを課す。その場合、第 14 回に全体をまとめるを行う。	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。必要に応じて参考書や配布プリントを読み、予習・復習を行うこと。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

『民主主義の源流』、橋場弦、講談社学術文庫、2016 年
他の文献は授業内で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 50 % ＊出席の他、必要に応じて授業内で行う小テストやリアクションペーパーの内容によって評価する。

最終試験又はレポート 50 % ＊履修者の人数に応じてどちらにするか決定する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

第 1 回の授業はオンライン形式で行うため、オンライン授業を履修するために必要なデバイスおよび通信環境。

【その他の重要事項】

第 2 回以降は対面形式を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、一部オンライン形式に変更する可能性がある。その際は前日までにアナウンスする。

【Outline (in English)】

< Course outline > After overviewing the development of ancient Athenian democracy, we will focus on Athenian legal system and how it works. In particular, homicide trials will be discussed in detail.

< Learning objectives > Students are able to understand ancient Athenian legal system and how it works.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50%
Final examination or report

(TBA): 50%

HIS200LA

西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

渡辺 知

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 2/Thu.2

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス 1	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス 2	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成 1	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成 2	17 世紀ヘゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成 3	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第 7 回	イギリス商業革命 1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。

第 8 回	イギリス商業革命 2	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第 9 回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第 10 回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第 11 回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第 12 回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第 13 回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第 14 回	試験・まとめと解説	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 16th century to the 19th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history

2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.

3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS200LA

西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：古代アテナイの法と社会—殺人訴訟を中心に—

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

都市国家アテナイでは、紀元前 6 世紀末から前 4 世紀後半まで、高度に発達した民主政の下で人々が生活していた。民主政アテナイにおいては様々な行政制度が精緻に整備され、司法制度も例外ではなかった。本講義では、アテナイ民主政の成立と発展を概観したのち、アテナイの司法制度、特に殺人訴訟の事例に注目することで、当時の司法制度運用の実態と、殺人事件への人々の対応について考察する。その際、法制度の枠に留まらず、当時の倫理規範や宗教観念が、殺人訴訟に対してどのような影響を与えたのかという点についても論じる。

【到達目標】

古代アテナイ民主政の仕組みを理解するとともに、アテナイで行われた殺人訴訟の事例の検討を通じて、アテナイの司法制度の運用実態に関する知見を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリントを用いて講義形式で進める。必要に応じて授業内で質問やリアクションペーパーの記入を求めることもある。質問は主なものを取り上げ、次回授業でコメントする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	本講義の目的と概要について説明する。
第 2 回	アテナイ民主政の成立と発展①	アテナイの司法制度を理解するための前提として、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 3 回	アテナイ民主政の成立と発展②	第 2 回に引き続き、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 4 回	アテナイ司法制度概観①	アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 5 回	アテナイ司法制度概観②	第 4 回に引き続き、アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 6 回	アテナイ殺人法概観①	古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 7 回	アテナイ殺人法概観②	第 6 回に引き続き、古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 8 回	アテナイの殺人訴訟① — 有罪意思殺人・殺意を有する傷害・毒殺・放火	アレイオス・パゴス評議会で裁かれた殺人事件について説明する。
第 9 回	アテナイの殺人訴訟② — 無意志殺人・殺人計画・在留外人、外国 人、奴隷の殺害	パッラディオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。

第 10 回	アテナイの殺人訴訟③	デルフィニオンの神域で裁かれた一合法殺人	殺人事件について説明する。
第 11 回	アテナイの殺人訴訟④	プレアトスの神域で裁かれた殺人	事件について説明する。
第 12 回	アテナイの殺人訴訟⑤	プリユタネイオンで裁かれた殺人	一犯人不明、動物、無生物による殺人
第 13 回	アテナイの殺人訴訟⑥	民衆法廷で裁かれた殺人事件、および殺人に関連した罪について説明する。授業全体をまとめる。	全体をまとめる。
第 14 回	試験	筆記試験を行う。＊履修人数によっては試験は行わず期末レポートを課す。その場合、第 14 回に全体をまとめるを行う。	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。必要に応じて参考書や配布プリントを読み、予習・復習を行うこと。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

『民主主義の源流』、橋場弦、講談社学術文庫、2016 年
他の文献は授業内で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 50 % ＊出席の他、必要に応じて授業内で行う小テストやリアクションペーパーの内容によって評価する。

最終試験又はレポート 50 % ＊履修者の人数に応じてどちらにするか決定する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

第 1 回の授業はオンライン形式で行うため、オンライン授業を履修するために必要なデバイスおよび通信環境。

【その他の重要事項】

第 2 回以降は対面形式を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、一部オンライン形式に変更する可能性がある。その際は前日までにアナウンスする。

【Outline (in English)】

< Course outline > After overviewing the development of ancient Athenian democracy, we will focus on Athenian legal system and how it works. In particular, homicide trials will be discussed in detail.

< Learning objectives > Students are able to understand ancient Athenian legal system and how it works.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50% Final examination or report

(TBA): 50%

HIS200LA

日本史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

森 朋久

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ: 日本の耕地と集落（村）の史的展開

日本の歴史のうち、日本の原風景、伝統的な景観であり、主に耕地と集落で成り立つ、村（ムラ）の歴史について、各時代の政治と経済を背景としながら、通史的に学習することができる。特に、現在の市町村の基盤となる村が成立する、近世・近代が重点となる。耕地と集落は、棚田に代表されるように、人間と自然との共同作品で、文化的景観として近年注目されている。世界的に優良なその景観は、世界遺産の選定項目となり、日本でも優良な景観は、文化財保護法、農林水産業の重要文化的景観に選定されており、文化財としての意義がある。授業では前提として、日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）を読み、その重要性を理解するとともに、耕地や集落が文化財としてどのような意義があるのかを学ぶことができる。（学問分野: 日本史、日本地域史、日本村落史、環境歴史学、文化財学）

【到達目標】

日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）や耕地と集落の文化財的な意義を踏まえ、日本の農林水産業の地域基礎単位である村（ムラ）に関する通史的な学習を通し、教科書的な理解を越え日本史に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、基本的に対面授業の講義形式で行う。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は主として適宜配信または配布した資料により、シラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	日本史における耕地と集落の意義 日本史研究の基礎
第 2 回	日本史学入門	歴史資料の提示、解説、歴史資料の内容解説、背景
第 3 回	文化財保護法と耕地と集落	文化財・重要文化的景観からみた村（耕地と集落）
第 4 回	弥生・古墳時代の村	縄文・弥生移行期、弥生・古墳時代の耕地と集落
第 5 回	古代の政治と経済	古代の村と領主支配との関係
第 6 回	古代の村	古代の開発、条里と村、荘園と村、初期武士団の村
第 7 回	中世の政治と経済	中世の村と領主支配との関係
第 8 回	中世の村	村の景観、惣村と在家、開発と経営、近世の村との関係
第 9 回	近世の村の景観	村の基本構成要素、様々な村のかたち

第 10 回	近世の村の機能	村で作成される様々な文書、ムラの運営
第 11 回	幕藩領主の農政と近世の村 (1)	近世中期までの領主財政と年貢収奪
第 12 回	幕藩領主の農政と近世の村 (2)	吉宗政権の年貢増徴策と新田開発、土地政策
第 13 回	近現代の村	地租改正、戸長制、大区小区制、地方三新法、地方改良運動と村、農地改革、昭和の市町村合併と村、高度成長下の耕地と集落
第 14 回	試験と解説	まとめとして、日本における耕地と集落 (村) とは何かを、総体的に考えていきます。そのうえで、試験に対応してもらいます。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

〈1〉準備学習：あらかじめ配信または配布した資料を一読、一覧しておくこと。各授業の時代背景を、日本史年表で調べておくことが望ましい。

〈2〉復習：日本各地の地名が出てくるので、馴染みがない地名は地名辞典などで調べておくこと。授業内レポートに備えて、授業の内容を各回まとめておくこと。

〈3〉本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

特に定めない。適宜配信・配布した資料に沿って授業を行う。

【参考書】

〈1〉『村の語る日本の歴史 古代・中世編』、『村の語る日本の歴史 近世編①』、『村の語る日本の歴史 近世編②』木村礎著 (1983 年 そしえて)

〈2〉『日本の農業 150 年 1850～2000 年』暉峻衆三編著 (2003 年 有斐閣)

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業内小レポート 20 %) と期末試験 (80 %) で、評価を決める。

授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末試験は課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

【学生の意見等からの気づき】

形式的な説明になるオンデマンド授業資料 (音声付属) に関しては、口頭で追加の情報資源を伝える予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the features of the Japanese village society from the perspective of people's life and an abundant historical and geographic image.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the historical features of the Japanese village society.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 80%、Short class reports : 20%.

HIS200LA

日本史 L II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

テーマ：江戸時代転換期における政治・経済・社会

日本の江戸時代の歴史のうち、おもに転換期となる享保改革期から田沼政治期の政治・経済・社会 (農村・都市) について、地域環境の変化に留意しながら学ぶことができる。具体的には、最近の成果を取り入れながら、一般的に知られているこの時期の諸事象と諸政策が歴史上どのような意義をもつのかを理解することを学習・教育目標とする。また、江戸時代における地域の諸相や地域基礎単位であり、町人や武家の生業生活の場である「都市」および農民の生産生活の場である「村」に注目しながら、日本近世史を学ぶことができる。(学問分野：日本近世史、日本地域史、日本都市史、日本都市近郊農村史)

【到達目標】

江戸時代研究の重要な情報資源である近世文書や江戸時代の政治 (幕政・藩政)・経済・社会 (都市江戸および江戸近郊・周辺農村) に関する学習などを通し、教科書的な理解を越え当該期に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行う。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は、主として資料の配信または配付によりシラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の内容と進め方についての説明
第 2 回	吉宗政権の成立	家康～吉宗の時代推移と地域 吉宗政権の性格
第 3 回	行政機構の改革と法令の整備	老中制度及び勘定所機構の整備 法令集の編さん
第 4 回	享保改革期の農政	農政の特徴
第 5 回	都市政策の前提	都市江戸の成立と河川 武家屋敷の展開
第 6 回	都市政策の展開	江戸の防火政策 経済政策 風俗・出版統制
第 7 回	田沼政権の成立	家重政権時代の意次 意次権力の拡大
第 8 回	通貨制度の改革	江戸時代の通貨の特徴 田沼政権発行の貨幣
第 9 回	間接税の導入	百姓一揆と財政窮乏策 株仲間の役割
第 10 回	幕政と藩政 (1)	幕府の銅貿易と秋田藩の産銅政策
第 11 回	幕政と藩政 (2)	幕府の通貨政策と秋田藩の銭鑄造

第 12 回 江戸近郊の地域史	江戸の青物市場 江戸近郊農村における蔬菜生産と下肥流通
第 13 回 江戸周辺の地域史	利根川の歴史と流域住民の共生
第 14 回 試験と解説	まとめとして、享保改革・田沼政権期はなぜ転換期と呼ばれるのか、江戸と近郊・周辺地域との関係は如何なるものなのかを、総体的に考えていきます。そのうえで、試験に対応してもらいます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

常にノートを整理し、配信または配布した資料などを改めて読みなおすなど、次回に備えるようにしてもらいたい。なお、本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは指定しない。適宜資料を配信・配布する。

【参考書】

〈1〉『幕藩体制の展開と動揺 上（日本歴史大系 10）』井上光貞ほか著（山川出版社）
 〈2〉『大江戸歴史の風景』加藤貴編著（山川出版社）
 その他、参考となる文献は、講義の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート 20 %）と期末試験（80 %）で、評価を決める。授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末試験は課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度、授業で利用する資料を、対面授業教室のみではなく、オンラインでの配布を求める意見があり、今年度は実行する予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the administration, the economy and the society of Japan in the early modern period including the social system of Edo and its surrounding areas.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the economy and the society of Japan in the early modern period.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 80%、Short class reports : 20%、

HIS200LA

日本史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

仁平 義孝

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 4/Tue.4

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉時代の幕府政治史を概観する。幕府内部で繰り返された内紛と、幕府の政治意志決定のあり方を中心に、関連する史料を読みながら検討していく。

【到達目標】

鎌倉幕府政治史の流れを理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は Zoom を使用したオンライン授業で、講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配信するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。

学期内（2 回の予定）と学期末にレポートを提出してもらう。レポートはすべて期限内に提出することを必須とする。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明。
2	源頼朝執政期の幕府政治 (1)	寿永 2 年 10 月宣旨、文治勅許など。
3	源頼朝執政期の幕府政治 (2)	頼朝上洛、建久 7 年の政変、頼朝執政期の評定など。
4	將軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (1)	比企氏事件、頼家・実朝期の評定など。
5	將軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (2)	和田合戦、承久の乱、政子期の評定など。
6	執権北条泰時・経時期の幕府政治 (1)	伊賀氏事件、連署制など。
7	執権北条泰時・経時期の幕府政治 (2)	評定、御成敗式目など。
8	執権北条泰時・経時期の幕府政治 (3)	経時の訴訟制度改革など。
9	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (1)	寛元の政変、宝治合戦など。
10	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (2)	引付、得宗時頼など。
11	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治 (1)	引付廃止・再設置、寄合、二月騒動など。
12	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治 (2)	霜月騒動、平禅門の乱など。
13	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治 (3)	貞時の訴訟制度改革、評定・寄合など。

14 まとめ 授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。
本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配信する。

【参考書】

本郷恵子『京・鎌倉 ふたつの王権』（小学館、2008 年）
川合 康『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館、2009 年）
小林一岳『元寇と南北朝の動乱』（吉川弘文館、2009 年）
近藤成一『鎌倉幕府と朝廷』（岩波新書、2016 年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内・学期末のレポートで総合評価する（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom にて受講できる環境を整える。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies political history of the Kamakura Shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

2 mid-term reports and 1 term-end report:100%

HIS200LA

日本史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉幕府の基本法である御成敗式目を読む。その内容は多岐にわたるが、ここでは犯罪や訴訟手続きに関する条文を読み、鎌倉幕府法の特徴を考えていく。

【到達目標】

鎌倉幕府法の特徴を理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は Zoom を使用したオンライン授業で、講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配信するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。

学期内（2回の予定）と学期末にレポートを提出してもらう。レポートはすべて期限内に提出することを必須とする。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	御成敗式目について (1)	御成敗式目制定の目的などの解説。
2	御成敗式目について (2)	御成敗式目の条文構成などの解説。
3	御成敗式目第 3 条	守護について。
4	御成敗式目第 5 条	地頭について。
5	御成敗式目第 9・10 条	謀叛と殺害・刃傷の罪について。
6	御成敗式目第 11 条	夫の罪科の妻への縁坐について。
7	御成敗式目第 33 条	強盗・窃盗の罪について。
8	御成敗式目第 34 条	密懐の罪について。
9	御成敗式目第 12 条	悪口の罪について。
10	御成敗式目第 13・14 条	殴人の罪および地頭代の罪について。
11	御成敗式目第 15 条	謀書の罪について。
12	御成敗式目第 51 条	問状狼藉について。
13	御成敗式目第 35 条	召文違背の罪について。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。
本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配信する。

【参考書】

『中世政治社会思想 上』（日本思想大系 21、岩波書店、1972 年）
笠松宏至編『中世を考える 法と訴訟』（吉川弘文館、1992 年）

水林彪・大津透・新田一郎・大藤修編『法社会史』（新体系日本史2、山川出版社、2001年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内・学期末のリポートで総合評価する（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【学生が準備すべき機器他】

Zoomにて受講できる環境を整える。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies low of the Kamakura shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

2 mid-term reports and 1 term-end report:100%

HIS200LA

日本史 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル:

貫井 裕恵

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ「世界の記憶」に採択されている国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を学びます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいかに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史 L II もあわせて受講することを推奨します。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて、日本の中世社会への理解を深める。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を知る。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・文化財のもつ多様な価値とさまざまな見方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます（オンラインミュージアムや文化財データベースでの代替も可）。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の目的と課題、評価方法などの説明
2	歴史学の流れと日本中世史	日本における歴史学の発達史と、そのなかでの日本中世史研究の大きな流れを学ぶ
3	中世社会と東寺	日本中世社会の構造と、そのなかでの東寺の位置づけなど、本授業のおおまかな流れや前提となる知識を学ぶ
4	東寺百合文書について	東寺百合文書の特質とユネスコ記憶遺産について学ぶ
5	寺院組織	東寺をはじめとする中世寺院の組織と構造を学ぶ
6	文書管理（アーカイブズ）	中世寺院における文書管理のありかたを学ぶ
7	芸能	能・狂言の淵源となった、中世寺院周辺で行われた様々な芸能を学ぶ

8	喫茶文化	中世寺院における僧侶や民間における喫茶文化を学ぶ
9	寺誌・縁起	寺院における歴史叙述のありかたを学ぶ
10	絵巻	『弘法大師行状絵巻』など寺院における絵巻作成の背景や利用方法などを学ぶ
11	荘園の構造・荘園絵図の世界	荘園制について学び、現存する荘園絵図から中世社会の諸問題を学ぶ
12	文化財を守り伝える	文化財が守り伝えられる意義と方法を学ぶ
13	現代社会と歴史学研究	現代社会において歴史学を学ぶ意義を学び、受講者と討論する
14	まとめ	受講者の質疑応答とレポート内容の報告会および講評、本講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003 年
・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年

【成績評価の方法と基準】

レポート 60 %、平常点 40 % で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

日本史 L II もあわせて受講することを推奨します。

日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。

【Outline (in English)】

【Course outline】The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】You spend 2 hours preparing and reviewing each class. 【Grading Criteria / Policy】You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA

日本史 L II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

貫井 裕恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史 L I もあわせて受講することを推奨します。同授業の発展的内容になります。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて日本の中世社会への理解を深める。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を知る。
- ・文化財のもつ多様な価値と読み解き方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます（オンラインミュージアムや文化財データベースでの代替も可）。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の概要や評価方法を知る
2	歴史学と日本中世史	日本における歴史学の流れと、中世史の歩みを学ぶ
3	寺院史料論	中世寺院における史料とその社会について学ぶ
4	寺院史料と東寺百合文書	中世史料として伝存する寺院史料を概観し、東寺百合文書の特徴を探る
5	中世寺院・東寺の誕生	古代から鎌倉初期に至る東寺の歴史を学ぶ
6	鎌倉幕府と東寺	建久年間の文覚上人による東寺復興事業から蒙古襲来までの歴史を学ぶ
7	本末相論	鎌倉中～末期における東大寺・醍醐寺の本末相論との関わりに焦点をあてながら、同時期の東寺の宗教環境を学ぶ

8	文書の管理と利用	中世寺院における文書・聖教の管理のありかたを学ぶ
9	東寺領荘園の展開	鎌倉末期から南北朝期にかけて拡充した東寺領荘園とその展開を学ぶ
10	東寺の伽藍修造事業	東寺大勧進職が推進した室町期修造事業について学ぶ
11	弘法大師信仰の展開	東寺御影堂を中心に展開した弘法大師信仰とその社会的意義を学ぶ
12	寺院の芸能	室町期に発達した寺院における芸能を学ぶ
13	応仁・文明の乱	応仁・文明の乱という大乱に人びとがどのように対応したのかを学ぶ
14	まとめ	現代社会において歴史学研究の果たす役割を学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・使用テキストは事前に予習しておく。（各回 2 時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
 ・プリントやノートを用いた復習を行う。（各回 2 時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
 ・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003 年
 ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年
 このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

【成績評価の方法と基準】

レポート 60 %、平常点 40 % で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

日本史 L I もあわせて受講することを推奨します。
 日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとおくにお待ちしております。

【Outline (in English)】

【Course outline】 The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】 The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】 You spend 2hours preparing and reviewing each class. 【Grading Criteria /Policy】 You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA

日本史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

鈴木 多聞

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本近代史（政治史、社会史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本近代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更につ

いては、本講義の開始日に説明する。また、講義においては、双方向的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本近代史を考える	日本近代史の見方や解釈について、先行研究の論点を整理し、考察を深める。
2	空襲と国民	空襲の残した爪痕について「戦後」も含めて考察する。
3	日本近代史の中の病気	「流感」やその他の病気が、日本近代史に与えた社会的影響について考える。
4	明治憲法と戦前の日本	いわゆる明治憲法体制の形成と崩壊について考える。
5	皇族と戦前の日本	皇族たちの近代史について考える。
6	第一次世界大戦と日本	近年の研究動向をふまえ、100 年以上前の戦争の記憶について考える。
7	皇族と三種の神器	三種の神器や賢所、宮中の制度などについて考える。
8	満州事変と日本外交	「満州事変」が日本の国内政治をどのように変容させたのかについて考える。
9	戦争と捕虜	「捕虜」「俘虜」などの定義などについて考える。
10	二・二六事件と陸軍	二・二六事件とその思想的背景について考える。

11	日独伊三国同盟と重臣	いわゆる「三国同盟」について、当時の史料を読みながら、この問題について考察を深める。また、同盟理論についても考察を深める。
12	「アジア・太平洋戦争」の時代	戦前の朝鮮・台湾・アジアとの関係について考える。
13	シベリア抑留と日ソ関係	近衛文隆や宇野宗佑、三波春夫など、多くの人が抑留されました。抑留中に歌われた音楽やナヴォイ劇場にまつわる言説についても取り上げます。
14	原爆投下について考える	原爆投下についての論争などについて整理し「戦後」の問題も考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント）30%

簡単な小レポート（複数回、70%）

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 70%

Class participation (weekly comments) 30%

HIS200LA

日本史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多聞

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本現代史（政治史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデーターを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本現代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、パワーポイントを使用します。対面の場合は、レジュメと史料のコピーを配布します。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本現代史について考える	「戦前」と「戦後」について考えます。
2	老病死の「終戦史」	「病気」「身体」といった要因が政治に与えた影響を考える。
3	日露戦争と鈴木貫太郎	近年の研究動向をふまえ、日露戦争のインパクトについて考える。
4	真珠湾攻撃と日米戦争	2021 年の 80 周年にあたってのメディアや記憶について考える。
5	新憲法の制定過程	日本国憲法の制定過程について概観します。
6	東条英機と「東京裁判」	国際政治の文脈から「東京裁判」を考えます。
7	昭和天皇と平沼騏一郎	平沼騏一郎とその政治グループの位置づけについて考えます。
8	55 年体制の成立と岸信介	岸信介とその政治グループの位置づけについて考えます。
9	占領政策の転換と吉田茂	吉田茂とその政治グループの位置づけについて考えます。
10	風化する戦争体験と「五感」	五感を歴史学の文脈で語ることは難しいです。空襲警報の音や、戦争における「匂い」などについて考えます。
11	政治とシンボル	「国家」「陸軍」「海軍」は見えなくても、シンボルは目に見えます。国旗、軍旗、軍艦、日本刀、石碑、いろいろなものについて考えてみたいと思います。
12	日中国交正常化と高度成長	戦後の日中・日台関係について概観します。

- 13 冷戦の終結と日米関係 日米関係を長期的視点から考察します。
- 14 21 世紀の日本外交 日本の内政と外交がどのような関連性を持っているのかを理解します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント） 30%

小レポート（複数回） 70 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 70%

Class participation (weekly comments) 30%

PHL200LA

宗教論 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

須藤 孝也

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀:○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近代までの宗教論の歴史について学ぶ。現代の宗教論の前提になっており、現代の宗教論をよく理解するために不可欠だからである。

【到達目標】

- ① 主要な宗教論について説明することができる。
- ② 宗教論の歴史的展開の概要について説明することができる。
- ③ 様々な理論を批判的に検討することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

各回 1 人（時に 2 人）ずつ思想家をとりあげ、その宗教論について説明する。講義形式を予定している。

フィードバック方法: 授業中ないしメールで対応します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の目的や進め方、宗教論の概要について説明する。
2	ソクラテス、プラトン	ソクラテスとプラトンの宗教論について解説する。
3	アリストテレス	アリストテレスの宗教論について解説する。
4	トマス・アキナス	トマス・アキナスの宗教論について解説する。
5	エックハルト	エックハルトの宗教論について解説する。
6	ホッブズ、スピノザ	ホッブズとスピノザの宗教論について解説する。
7	ジョン・ロック	ジョン・ロックの宗教論について解説する。
8	カント	カントの宗教論について解説する。
9	ヘーゲル	ヘーゲルの宗教論について解説する。
10	フォイエルバッハ	フォイエルバッハの宗教論について解説する。
11	キルケゴール宗教論の概要	の宗教論について解説する。
12	キルケゴール宗教論まとめ	キルケゴールの宗教論について解説する。
13	シモーヌ・ヴェイユ	シモーヌ・ヴェイユの宗教論について解説する。
14	補足と総括	全体を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中に挙げる文献リストから 1 冊を選んで読んでもらいます。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。

【参考書】

適宜、授業中に挙げます。

【成績評価の方法と基準】

各回の授業態度 40%と小論文（3000 字程度）60%で評価します。
授業態度は積極的に議論に参加している者を評価します。
小論文は、説得的に立論しているものを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

できるかぎり学生にも話す機会を与えようと思っています。

【その他の重要事項】

履修者数等、状況に応じて、授業の進め方は柔軟に変更します。
質問があればご遠慮なくお問い合わせください。

takaya.suto.87〔アット〕hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

We learn the history of theories of religion until modern times in this class. These knowledge is necessary to understand contemporary arguments well.

Goal:① One can explain major theories of religion. ② One can explain how theories of religion had developed historically. ③ One can examine theories critically.

Students have to read at least one book that is included in the literature list shown in classes. The standard preparation and review time for this class is one hour each.

Grading criteria: class performance(40%) + term end paper(60%)

PHL200LA

宗教論 L II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

須藤 孝也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

G. ジンメルの宗教論について学ぶ。

現代宗教論の一つとして重要であるため。

【到達目標】

①ジンメルの宗教論について説明することができる。

②学術書を正確に読むことができる。

③批判的に考察し、議論することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

『ジンメル宗教論集』所収の論文を毎回 1 つずつ読み進めます。
受講者数によって授業形式は柔軟に変更します。いずれにしても予習は必須です。議論の骨子を捉える。意味がよくとれなかったところはどこか、質問できるようにしておくこと。

フィードバック方法：授業中に／メールで対応します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の目的や進め方、宗教論の概要について説明する。
2	「宗教社会学のために」	内容の確認、解説、議論。
3	「宗教社会学のために」	内容の確認、解説、議論。
4	「汎神論について」	内容の確認、解説、議論。
5	「魂の救いについて」	内容の確認、解説、議論。
6	「生の対立と宗教」	内容の確認、解説、議論。
7	「宗教哲学の一問題」	内容の確認、解説、議論。
8	「神の人格」	内容の確認、解説、議論。
9	「キリスト教と芸術」	内容の確認、解説、議論。
10	「レンブラントの宗教芸術」	内容の確認、解説、議論。
11	「宗教の根本思想と近代科学」	内容の確認、解説、議論。
12	「宗教的状況の問題」	内容の確認、解説、議論。
13	「現代文化の葛藤」	内容の確認、解説、議論。
14	「宗教」	内容の確認、解説、議論。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習は、各 2 時間を標準とします。次回に扱うところは必ず読んでください。議論の骨子をつかみ、不明なところをピックアップし、質問できるようにしておくこと。

【テキスト（教科書）】

『ジンメル宗教論集』、深澤英隆訳、岩波文庫、2021 年。

【参考書】

ありません。

【成績評価の方法と基準】

平常点 100%で評価します。

文献の内容を正確に理解しようとしている者、積極的に議論に参加している者を評価します。
 期末試験は行いませんし、レポートも課しません。その分、各回、真剣に取り組んでください。

【学生の意見等からの気づき】

学術文献を正確に読む力に乏しい学生が少なくないため、精読するトレーニングが必要だと認識しました。

【その他の重要事項】

履修者数等、状況に応じて、授業の進め方は柔軟に変更します。
 質問があればご遠慮なくお問い合わせください。

takaya.suto.87〔アット〕hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

We learn G. Simmel's theory of religion. Because his argument is one of the most important in contemporary religious studies.
 Goal: ① One can explain Simmel's theory of religion. ② One can read academic literatures precisely. ③ One can consider and discuss critically.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Be sure to read the next section. Try to understand the point, pick up where you don't understand, and be ready to ask questions.

Grading criteria: class performance(100%)

ECN200LA

経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル: ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の基礎理論を速習する

中平 千彦

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

*第 1 回講義の形態は学習支援システム (Hoppii) にログインして『経済学 LA』(担当:中平) 内にある「お知らせ」で確認してください。第 2 回講義からは、教室で行います。

この講義は、春学期開講『経済学 LA』(担当:中平) です。この講義で学んだ内容は、秋学期開講『経済学 LB』(担当:中平) に接続されます。

受講生の皆さんは、「経済学」に対してどのような印象を持っているでしょうか? 経済学は、我々の形成する社会で観察される、経済主体の活動や相互依存関係によって導かれた多様な経済問題を分析し、その中に存在する経済法則を究明することによって、望ましい社会的経済厚生を研究する学問です。あるいは、希少性を有する財・サービスの最適な選択と配分を、相互に競合する目的を考慮しながら決定し、また、その決定を行うための方法を研究する学問です。

春学期開講『経済学 LA』では、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎をコンパクトに解説し、受講生にそれらを速習してもらうことを目指します。

【到達目標】

・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の理論的基礎を説明できるようになる。

・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学に関する基本的問題を、社会科学的に思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

経済理論を大別すると、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」に分類できます。「ミクロ (マイクロ) 経済学」は、個々の経済主体における最適化された行動を前提に、市場における経済主体間の相互関係、資源配分と所得分配の決定における市場機構の役割などを分析する、あるいは、いくつかの代表的な公理に依拠した最適化行動に基づき、個から市場、そして経済全体へとアプローチする研究分野です。一方、「マクロ経済学」は、消費者部門における消費、企業部門における投資と生産物供給、政府部門における財政支出と貨幣供給、貿易バランス、そして、それらの相互連関によって決定される国民所得、インフレーションと失業、景気変動などに着目し、経済全体についての集計変数における均衡水準と決定経路を分析する研究分野です。これらの 2 分野は相互補完的な関係にあります。例えば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」において、個々の経済主体の最適な行動がマクロ経済にいかなる影響を与えるかを分析するには、「マクロ経済学」の理論が必要となります。また、「現代マクロ経済学」にとって「マクロ経済学のミクロ (マイクロ) 的基礎」は不可欠な要素となっています。

この講義では「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論を学びますが、講義時間に余裕があれば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」の理論と現実との関係、また、マクロ経済学や公共政策学のミクロ (マイクロ) 的基礎などのトピックも採り入れるよう努力します。

我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よくミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	経済学の基本問題と経済システム	経済学の基本問題と市場の仕組み、経済システム
第 02 回	消費者と生産者の行動 (I)	選好と効用関数、需要関数
第 03 回	消費者と生産者の行動 (II)	生産技術と費用関数 (I)
第 04 回	消費者と生産者の行動 (III)	生産技術と費用関数 (2)、供給関数
第 05 回	市場均衡 (I)	完全競争市場と調整過程、余剰と比較静学
第 06 回	市場均衡 (II)	部分均衡と一般均衡、独占市場と独占的競争市場

第 07 回	経済厚生	市場の失敗、パレート効率性、厚生経済学の基本定理
第 08 回	国民所得分析の基礎	SNA、マクロ経済指標
第 09 回	消費関数	消費と消費関数
第 10 回	投資関数	投資と投資関数
第 11 回	有効需要と乗数理論	有効需要の原理、乗数効果
第 12 回	IS・LM 曲線と総需要曲線・総供給曲線	IS 曲線・LM 曲線および総需要曲線・総供給曲線による経済分析
第 13 回	インフレ需要曲線	インフレ需要曲線による経済分析
第 14 回	インフレ供給曲線	インフレ供給曲線による経済分析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
- ・受講後にテキストやノートによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト（教科書）】

- ・塩澤修平（著）『基礎コース 経済学（第 2 版）』新世社、2011 年。

【参考書】

- ・浅田統一郎（著）『マクロ経済学基礎講義（第 3 版）』中央経済社、2016 年。
- ・浅田統一郎（著）『ミクロ経済学の基礎（第 2 版）』中央経済社、2017 年。
- ・井原哲夫／桜本光／辻村和佑／牧厚志（著）『経済学入門－現実の経済を理解するために（第 2 版）』日本評論社、2008 年。
- ・井堀利宏（著）『入門経済学（第 4 版）』新世社、2021 年。
- ・ステイグリッツ、ジョセフ・E. / ウォルシュ、カール・E.（著）、蔵下史郎/ 秋山太郎/ 蟻川靖浩/ 大久博/ 木立力/ 宮田亮/ 清野一治（訳）『ステイグリッツ入門経済学（第 4 版）』東洋経済新報社、2012 年。
- ・福岡正夫（著）『ゼミナール経済学入門（第 4 版）』日本経済新聞出版社、2008 年。
- ・マンキュー、N. グレゴリー（著）、足立英之/ 石川城太/ 小川英治/ 地主敏樹/ 中馬宏之/ 柳川隆（訳）『マンキュー入門経済学（第 3 版）』東洋経済新報社、2019 年。
- ・Bade, Robin and Michael Parkin, *Foundation of Economics*(8th ed.)(pap.), Pearson, 2018.
- ・Hirshleifer, Jack, Amihai Glazer and David Hirshleifer, *Price Theory and Applications: Decisions, Markets, and Information*(7th ed.)(pap.), Cambridge Univ. Press, 2005.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Essentials of Economics*(6th ed.), Pearson, 2018.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Economics*(8th ed.), Pearson, 2022.
- ・Krugman, Paul and Robin Wells, *Essentials of Economics*(6th ed.), Worth Publishers, 2021.

【成績評価の方法と基準】

- ・【定期試験点（90 %）＋平常点（10 %）＝総合点（100 %）】の評点配分で成績が決定されます。
- ・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
- ・行事参加や疾病などによる欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

- ・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

- ・出席確認を行いますので注意してください。
- ・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。
- ・本講義の趣旨は、アカデミックな経済学の基礎理論を平易に解説することですが、公務員、国税専門官、公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナーなどの、各種資格・就職試験で経済学を受験科目として選択する受講生にも配慮した解説を行います。

【オフィス・アワー】

- ・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

- ・秋学期のリベラルアーツ科目『経済学 LB』（担当：中平）、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】

【Course outline】

* This course is designed to provide the student with an opportunity to understand the basic theory of microeconomics and macroeconomics. Generally, economic theory broadly divided into two parts - microeconomics and macroeconomics. Microeconomics focuses on decision making at the individual level, while macroeconomics studies the economy as a whole.

* This course is a comprehensive guide on how to get started with microeconomics and macroeconomics.

【Learning Objectives】

* Through this course, the students will be able to:

- － explain the basic theories of microeconomics and macroeconomics;
- － think and express basic issues of economics from the aspect of social science.

【Learning activities outside of classroom】

* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100 %).

*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA

経済学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

中平 千彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、応用経済学の一分野としての「観光経済学」を学びます。
観光経済学のトピックの中で、特に基本的フレームワークを形成する主要な項目を、ミクロ（マイクロ）経済学とマクロ経済学の理論に立脚して理解することを目指します。

【到達目標】

・観光経済学の基礎的事項を説明できるようになる。
・観光経済学に関する基本的問題をミクロ（マイクロ）・マクロ経済学理論に基づいて思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

観光経済学は、経済学理論に基づき、また、経済学の関連領域に属する学問を包含し、広義の観光活動を分析する、応用経済学の一種と位置付けられるものです。さらに、現代における広義の観光経済学は、観光客の支出決定、観光市場の構造、観光行動における意思決定、観光企業間の連携、観光による外貨発生効果と範囲、観光資源の貢献可能性、観光政策などを包括的に研究する分野となっています。

本講義では、観光の現状と課題、観光統計、投資理論、消費理論、消費者行動と観光、観光需要、観光サービス供給、観光市場の機能、観光市場の失敗、経済成長と観光、世界遺産と観光、我が国の観光と課題などの項目を学びます。なお、必要に応じて、公共経済学などの知識を補充し、学習内容の拡充を試みます。

我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よく観光経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	観光の現状と課題、SNA と観光統計 (1)	観光のもたらす課題、SNA の概念と観光統計
第 02 回	SNA と観光統計 (2)	SNA の基本構造、サテライト勘定の意義と分類
第 03 回	観光市場の機能	市場需要曲線と市場供給曲線、市場均衡と市場調整、観光財・サービスの価格決定メカニズム
第 04 回	消費理論と観光 (1)	消費と消費関数、消費関数における短期と長期
第 05 回	消費理論と観光 (2)	消費決定の仮説、観光消費の性質
第 06 回	投資理論と観光 (1)	投資と投資の決定要因、限界効率と投資判断
第 07 回	投資理論と観光 (2)	投資の限界効率表と投資量の決定
第 08 回	消費者行動と観光 (1)	消費者行動と需要曲線、観光サービスの対象と選択
第 09 回	消費者行動と観光 (2)、観光需要	観光需要と弾力性、観光需要の実際
第 10 回	観光サービス供給	観光サービス供給、観光市場の構造
第 11 回	観光市場の失敗	市場の失敗と観光分析
第 12 回	公共財とコモンプール財	公共財、コモンプール財と資源の過剰利用
第 13 回	観光成長と観光	インバウンド市場とアウトバウンド市場、観光発展の将来
第 14 回	世界遺産とエコツーリズム、観光の課題と将来	世界遺産の基礎知識、エコツーリズムの事例と課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
・受講後にテキストやノートによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト（教科書）】

・中平千彦／藪田雅弘（編著）『観光経済学の基礎講義』九州大学出版会、2017 年。

【参考書】

・M.T. シンクレア／M. スタブラー（著）、小沢健市（監訳）『観光の経済学』学文社、2001 年。
・ジェームズ・マック（著）、瀧口／藤井（監訳）『観光経済学入門』日本評論社、2005 年。
・中崎茂（著）『観光の経済学入門－観光・環境・交通と経済の関わり』古今書院、2002 年。
・スティーブン・J. ページ（著）、木谷／松下／図師（訳）『交通と観光の経済学』日本経済評論社、2001 年。
・A. ブル（著）、諸江／吉岡／菊池／小沢／原田／池田／和久井（訳）『旅行・観光の経済学』文化書房博文社、1998 年。
・Bull, Adrian(1995), *The Economics of Travel and Tourism*(2nd revised ed.), Longman.
・Dwyer, Larry, Forsyth, Peter, and Wayne Dwyer(2020), *Tourism Economics and Policy*(2nd ed.), Channel View Books.
・Hall, C. Michael and Allan M. Williams(2008), *Tourism and Innovation*, Routledge.
・Stabler, Mike J., Papatheodorou, Andreas., and M. Thea Sinclair(2009), *The Economics of Tourism*(2nd ed.), Routledge.
・Sullivan, Charlotte(ed.)(2016), *Leisure and Tourism Economics*, Willford Press.
・Tribe, John(2020), *The Economics of Recreation, Leisure and Tourism*(6th ed.), Routledge.
・Vanhove, Norbert(2017), *The Economics of Tourism Destinations*(3rd ed.), Routledge.

【成績評価の方法と基準】

・[定期試験点 (90 %) + 平常点 (10 %) = 総合点 (100 %)] の評点配分で成績が決定されます。
・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
・行事参加や疾病などによる欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

・出席確認を行いますので注意してください。
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。

【オフィス・アワー】

・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

・春学期のリベラルアーツ科目『経済学 LA』（担当：中平）、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】

【Course outline】

*The aim of the course is to provide students with an opportunity to gain and enhance the knowledge of tourism economics. Namely, this course is designed to provide a basic understanding of the scientific approaches to economics of tourism, particularly in the field of economic theory.
*In this course, you will learn how the microeconomics and macroeconomics are applied to the analysis of tourism.

【Learning Objectives】

* Through this course, the students will be able to:
- explain the fundamental problems of tourism economics;
- think and express basic issues of tourism economics from the aspect of microeconomics and macroeconomics.

【Learning activities outside of classroom】

* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.
* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100 %).
*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.
*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA

経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ファイナンス入門（金融を学ぼう）

鈴木 誠

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他
/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は金融をこれまで学んだことのない学生向けに、経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。春学期の授業では、経済学における金融の意味と金融で利用される言葉やその意味、さらに計算方法などを身に付け、生活の上で、金融のリテラシーを身に付けることを目指す。

【到達目標】

この授業では、金融リテラシーを身に付けるために、1、歴史的な金融の発展、2、身近な金融活動の発見、3、金融の意義と意味、4、自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。春学期の目標は、一般の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事が読んで、理解できる水準への到達である。ただし、金融は奥が深く、春学期の授業はその入り口に立ったに過ぎない、さらに、一歩踏み出した議論は、秋学期に行いたいと考えているので、履修する学生には春と秋の履修を勧めたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現在の感染が終息していない状況に鑑み、オンライン（オンデマンド）で実施する。したがって、履修生の皆さんには資料を配信し、各自で理解を深めてもらう形で授業を進める。なお、配布する資料は教科書と合致しない部分がある。理解する目的は同じであっても、履修する皆さんにとって理解のしやすい方法で、あるいは、理解できる段階から説明することを心掛けて作成しているためである。また、皆さんには出席に代えた「クイズ」を出して、重要な点の理解を図るようにしたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	授業内容の紹介、歴史的な経済活動の発展	本授業の進め方、評価についての解説、人類の経済活動の発展と経済行動における工夫や発明
2	身近にみる金融商品や金融活動	日ごろの生活で利用される金融商品や金融活動について詳しく学ぶ

3	金融取引と必要な知識	銀行における取引について考える、また、その際に必要とされる知識について学ぶ
4	評価する、価値を測る（第 1 章、第 2 章）	金融活動において、将来の価値や現在の価値を測ることが重要となる。その方法を学ぶ
5	企業における金融取引、債券と株式の発行と投資	企業が発行する債券と株式について学ぶ。特にその違いについて理解を深める。
6	債券の評価（第 3 章）	債券の価格をどのように求めるか、その方法を学ぶ
7	債券投資の理論（第 10 章）	債券を運用する際の基礎となるデュレーションについて意味と計算方法を学ぶ。
8	債券投資の理論（第 10 章）続き	債券ポートフォリオのデュレーションとイミュニゼーションについて学ぶ
9	中間テスト	第 1 講から第 8 講までの内容の理解を確認する。
10	確率変数の基礎知識（第 11 章）とポートフォリオ理論（第 12 章）	期待値や標準偏差など統計値の計算方法を確認する。ポートフォリオ理論の導入を図る。
11	投資理論（第 12 章と第 13 章）	2 資産からなる危険資産によるポートフォリオを構築する。ポートフォリオ理論を発展させ CAPM について学習する
12	コーポレートファイナンス①（第 7 章）	企業の資金調達について検討する。
13	コーポレートファイナンス②（第 7 章）	企業の資金調達におけるモジリアニ＝ミラーの定理（MM 理論）を学習する。
14	期末試験	Hoppi 上でこれまで学習した範囲の試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。特に力を入れてほしいのは、復習と日ごろの生活での習慣である。復習はしっかりと自分の頭で考えたり、計算をしてほしい。目で見ただけでは利用することはできない。日々の生活では、ニュースを見る、新聞を読む、30 分でも日々の生活で経済事象を知ること、は、授業を受ける上で大きなきっかけとなる。

【テキスト（教科書）】

手嶋宜之著「基本から本格的に学ぶ人のためのファイナンス入門」ダイヤモンド社
ISBN:978-4-478-01630-5

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の 3 つの項目に基づいて行う。1、各回の授業に付随するクイズ（20 %）、2、第 8 回に実施する中間テスト（40 %）、3、第 15 回に実施する期末テスト（40 %）である。中間試験と期末試験は Hoppi 上で行う。また、各回のクイズも Hoppi 上で提示される。なお、クイズは毎回実施するとは限らない。成績評価は以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね 90 % 以上、A:優れた成績であるもの、概ね 80 % 以上、B:秀でた成績である者、概ね 70 % 以上、C:平均的な水準である者、概ね 60 % 以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】

資料配布だけでは関心が希薄となりがちであるので、必要に応じてオンデマンド映像を作成して、要点を理解できるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。

【その他の重要事項】

新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることが望ましい。

【Outline (in English)】

This class focuses on finance in economics for students who have never studied finance before. As a university student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time without touching finance. In the spring semester class, students will learn the meaning of finance in economics, the words used in finance, their meanings, and calculation methods, and aim to acquire financial literacy in their daily lives.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA

経済学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル: ファイナンス基礎 (もう少し詳しく学ぶ)

鈴木 誠

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 1/Tue.1

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は主として金融の「入門レベル (経済学 LA)」を学んだ学生向けに、広く、深く金融を学習することを目的としている。したがって、金融システム、金融制度など幅広く経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。しっかりと金融知識を身に付けてほしい。

【到達目標】

この授業では、金融リテラシーを身に着けるために、1. 歴史的な金融の発展、2. 身近な金融活動の発見、3. 金融の意義と意味、4. 自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにでも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。秋学期の目標は、経済専門の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事が読んで、記事の内容が概ね理解できることを目標としたい。経済専門紙の記事を完璧に理解できる水準は金融業界に身を置かない限り、困難である。本講座は、入門レベル (経済学 LA) を経て、金融基礎知識を固める初級レベルの水準に達することを目標に掲げたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面で授業を実施する。ただし、感染状況によりオンライン (オンデマンド) で実施する場合もある。対面授業ではあるが、履修生の皆さんには資料を Hoppii 経由で配信し授業で教科書とともに使用する予定である。ファイナンスは自分で理解する上で問題を解くことが重要である。そこで、授業内容により学習後にクイズ (試験ではない) を行い、理解を深めるようにしたい。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	利子率、将来価値、現在価値 (第 1 章)	単利と複利、現在価値・将来価値を計算する、複利利回りの種類を知る。今学期から参加した学生にも理解しやすいように経済学 LA の内容を一部復習する。
2	債券入門 (第 2 章) ①	様々の利子率と債券市場、債券の分類について学ぶ。本講義でも今学期から参加した学生も理解しやすいように経済学 LA の内容を一部復習する。
3	債券入門 (第 2 章) ②、 債券分析の基礎 (第 3 章) ①	最終利回り、債券投資のリスクについて学ぶ。 金利変動要因とデュレーションについて (復習) 学習する。
4	債券分析の基礎 (第 3 章) ②	デュレーション分析、イールドカーブ分析、債券の投資方法について学習する。

5	株式入門（第4章）①	株式とは、株式発行市場、流通市場、配当割引モデルの紹介
6	株式入門（第4章）②	配当割引モデル応用、株価評価の指標、リスクとリターン（一部経済学 LA の復習）、株式投資の方法
7	中間テスト	これまで学習した範囲についてテスト（60分）を行う。ただし、感染状況によっては Hoppii 上で行う可能性もある。
8	先物入門（第5章）	先渡し取引、先物取引の市場、取引の仕組み、価格の計算方法と利用について学習する
9	先物入門（第5章） オプション入門（第6章）	先物取引による裁定取引、オプションの基本的な仕組みと性質の紹介、オプション市場、オプション取引の仕組みを学習する。
10	オプション入門（第6章）	オプションを用いた投資戦略、バイノミアル（二項価格評価）モデルによるオプション価値の推定
11	ポートフォリオ理論入門①（第8章）	経済学 LA においてファイナンスで利用する基礎統計学は学習している、その前提で2つの危険資産によるポートフォリオを作成する。
12	ポートフォリオ理論入門②（第8章）	安全資産を組み入れた場合のドミナントな組み合わせを考える。CAPM の導出を行う。
13	ポートフォリオ理論入門③（第8章）と効率的市場仮説（第11章）	市場モデルと CAPM の類似点と相違点を整理する。市場の効率性について学習する。
14	期末試験	学習した範囲の試験を行う。ただし、感染状況によっては Hoppii 上で行う可能性もある。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
春学期より少しだけレベルが上がった内容となるので、授業の資料を読む前に関連する該当箇所を読んでおくと、理解の助けとなる。さらに、授業後に、もう一度同じ箇所を読み直すと理解が深まる。また、必要な計算は必ず手を動かしてやってほしい。資料やテキストを読んでいても、自分の力にはならない。また、日常的に新聞やニュースに触れて、金融に関する言葉を利用する場面を知ってほしい。

【テキスト（教科書）】

岸本直樹、池田正幸「入門・証券投資論」有斐閣ブックス、ISBN:978-4-641-18447-3

【参考書】

手嶋宣之「ファイナンス入門」ダイヤモンド社、ISBN:978-4-478-01630-5

大村敬一・俊野雅司「証券論」有斐閣、ISBN:978-4-461-16427-7

【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の3つの項目に基づいて行う。

- 1、授業における貢献などの平常点と授業に関連したクイズ（試験ではない）（20％）、
- 2、第8回に実施する中間テスト（40％）、
- 3、第15回に実施する期末テスト（40％）である。

中間試験と期末試験は原則教室で実施する予定であるが、感染状況により Hoppii 上で行う場合もある。

授業に関連したクイズは不定期に行う。実施予告の指示に従って受験してほしい。

成績評価は法政大学の基準に従って行う。概ね、以下の通りである。
S:特に優れた成績である者、概ね90％以上、A:優れた成績であるもの、概ね80％以上、B:秀でた成績である者、概ね70％以上、C:平均的な水準である者、概ね60％以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】

経済学 LA（春学期）はオンデマンドであるが、経済学 LB(秋学期)は原則対面授業の予定となっている。対面授業ではあるが、スライドで利用する資料等は Hoppii 上に掲示（授業開始から1週間のみダウンロード可）する予定である。

【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。ただし、中間・期末試験においてスマホの計算機能を利用することはできないので、留意してほしい。

【その他の重要事項】

配布する資料は指定した教科書を理解しやすくするために作成したものである。資料だけでは、教科書の内容を理解することは不可能であるので、必ず、指定した教科書を用意してほしい。ただし、参考図書はその限りではない。また、新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることがファイナンスの理解の早道でもある。是非、日々の経済金融活動に興味を持ってほしい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to provide a broad and deep study of finance for students who have studied finance at an introductory level (Economics LA). Therefore, the class will focus on finance in economics, including financial systems and financial institutions. As a undergraduate student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time to finance. I would recommend you to acquire a financial literacy for your life.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA

経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：東アジア経済入門

陳 文挙

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

21 世紀はアジアの時代であり、中国やアジア新興国の台頭によって東アジア地域の存在感は増している。東アジア経済の動向は世界政治経済、安全保障、資源エネルギー等に大きな影響を与えている。本講義は東アジア経済の発展に焦点を合わせ、経済発展の歴史、過程、経験と教訓等について経済学の基礎原理やリベラルアーツの視点から研究する。また、新型コロナウイルス感染拡大によって東アジア地域経済、そして世界経済が一変しており、with コロナ、after コロナの東アジア経済を分析することを通じて学生諸君の地域問題に対する分析力を向上させる。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について立体的な視点から考察する力が必要になる。当該授業を聴講して、学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。また、中国武漢で発生した新型コロナウイルスによる東アジア地域の経済社会の混乱に対してどう対応すればよいかを考える機会も提供し、危機対応型思考力を鍛えることもできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1、大学の授業計画によって春学期は対面式で開講する予定。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によって一時的にオンライン（Zoom 方式）開講の可能性もある。詳細は学習支援システム（Hoppii）内で前をもってお知らせする。
2、一回の講義で基本的に 1 つの論題について議論、展開し、検証を行う。
3、情報時代のニーズに応えるため、事例や図表、統計を用いる分析が多用。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	東アジア経済入門基礎、講義概要、成績評価等説明
2	現代経済社会の仕組み	家計、企業、政府；資本、労働、技術進歩；市場の原理；経済成長と経済発展の原動力分析
3	東アジア経済近代化の始まり	商業とシルクロード、産業革命、国際貿易と植民地の歴史、アヘン戦争
4	日中近代工業化の歴史比較研究	清王朝近代化の失敗と日本明治維新ならびに日本近代化成功の比較分析
5	国際貿易とグローバリゼーションの形成	アダム・スミスの絶対優位性仮説とリカードの比較優位性仮説の検証
6	農業の発展と人口問題	マルサスの人口論とその検証：人口問題の基本考え方

7	中間進捗状況確認	前半復習、「機会費用」と人口問題の両面性
8	農業の発展と制限	「豊作貧乏」現象と需要の価格弾力性
9	東アジア地域の工業化と労働移動	都市化とインフォーマル部門の形成
10	東アジア地域の工業化と国際化	「輸入代替」の失敗から「輸出振興」の成功まで
11	東アジア地域の産業移転	ベティ・クラークの法則と「雁行形態」、世界の工場の形成と空洞化
12	経済成長と所得格差	クズネッツの「逆 U 字仮説」から「エレファントカーブ」まで
13	さまざまな格差問題	ジニ係数の計算を通じて格差の本質を考える
14	まとめ：東アジア地域経済統合の行方は	半期の復習、まとめ、期末レポート作成要領説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

なし。

【参考書】

『アジア経済とは何か—躍進のダイナミズムと日本の活路』、後藤健太（著）、中公新書。
『現代東アジア経済論』、三重野文晴・深川由起子（編集）、ミネルヴァ書房。
『開発経済学—諸国民の貧困と富』、速水佑次郎（著）、創文社。
『東アジアの論理—日中韓の歴史から読み解く』、岡本隆司（著）、中公新書。

【成績評価の方法と基準】

1、授業参加状況
2、リアクションペーパーや課題の提出状況
3、期末レポートの完成状況
等によって総合的に評価する。詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

1、学生皆さんの関心事、質問等についてよく聞く、確認する。
2、課題やレポートに対してできるだけ早くフィードバックする。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。
ただし、オンライン（Zoom 方式）授業の場合は Zoom 視聴、Hoppii 上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器（パソコンなど）の用意が必要。

【その他の重要事項】

秋期『経済学 LB：中国経済入門』の継続履修を勧める。

【Outline (in English)】

The 21st century is said to be the age of Asia. The rapid growth of China and some other developing countries of Asia has increased the presence of the East-Asia in the world. The economy of East-Asia has been greatly affecting the world's politics and economy, security, and resources energy for these years.

This lecture focuses on the development of East-Asia economy, aims at studying the history, process, experiences and teachings of the economic development in this region from the viewpoints of basic theory of economics and Liberal Arts.

【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing regional economy about its variability and complexity in east-Asia from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (30%)
- 2, Reaction paper or homework (40%)
- 3, Term-end report (30%)

ECN200LA

経済学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：中国経済入門

陳 文挙

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の経済規模は 2010 年に日本に追い付き、追い越し、アメリカに次ぐ世界第 2 位に上り詰めた。2019 年に中国の GDP は日本の 2.8 倍、アメリカの 3 分の 2 まで拡大した。本講義では前期授業で学習した東アジア経済発展の基礎を元に、計画経済期から市場経済移行期まで中国経済の発展を研究し、失敗の教訓と成功の要因を明らかにする。その上、「新常態」（ニューノーマル）にある現在の中国経済について事例研究等を通じて考察し、中国経済発展の未来像について考える。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について、特に世界第 2 位の経済規模を持つ中国の経済動向について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1, 大学の授業計画によって春学期は対面式で開講する予定。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によって一時的にオンライン（Zoom 方式）開講の可能性もある。詳細は学習支援システム（Hoppii）内で前をもってお知らせする。

2, 一回の講義で基本的に 1 つの論題について議論、展開し、検証を行う。

3, 情報時代のニーズに応えるため、事例や図表、統計を用いる分析が多用。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	中国経済の基礎、講義概要、中国最新経済情報、成績評価等
2	近代中国革命運動①	アヘン戦争から太平天国、日清戦争、辛亥革命、日中戦争、国共内戦
3	近代中国革命運動②	中国共産党の誕生、武力闘争から政権の奪取、中国人民共和国の樹立
4	朝鮮戦争と社会主義国家建設	戦後処理と冷戦、朝鮮戦争とその日中両国に与える影響：ソ連の対中援助と「朝鮮特需」
5	計画経済期の中国経済と政治	大躍進、人民公社と文化大革命：経済建設から政治闘争へ
6	計画経済の行き詰まりと改革開放の始まり	農村地域の「下剋上」と郷鎮企業の発展：「世界工場」礎の形成
7	中国の経済発展戦略研究	鄧小平氏の「先富論」と成長と格差：先発地域と後発地域との格差拡大問題

8	中間進捗状況確認	前半の復習：「効率」か「平等」か = 「共同富裕」ができるのか
9	企業改革と工業の発展	世界最大白物家電メーカーハイアール (Haier) 社の事例研究
10	対外開放：国際貿易と外資導入	日本企業の中国進出と日中貿易
11	情報技術革新とネットビジネスの興隆	ネット通販巨人アリババの事例、BATH (百度、アリババ、テンセント、華為) 研究
12	中国の「新経済」とニュービジネス：S 級 B 級論	経済のサービス化、デジタル化、スマホ決済、シェア経済、EV、自動運転など
13	高度成長の終焉と社会の成熟化	米中「新冷戦」、新型コロナウイルス、「三次分配」と「共同富裕」、少子高齢化問題など
14	復習とまとめ	中国経済再考、期末レポート作成要領

- 1, in-class contribution (30%)
- 2, Reaction paper or homework (40%)
- 3, Term-end report (30%)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて課題、宿題もあり、期末にはレポートの提出がある。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定なし

【参考書】

『現代中国経済』、丸川知雄、有斐閣アルマ。
『幸福な監視国家・中国』、梶谷懐・高口康太、NHK 出版新書。
『中国 S 級 B 級論 ―発展途上と最先端が混在する国』、高口康太・伊藤聖他著、さくら舎。

【成績評価の方法と基準】

- 1, 授業参加状況；
 - 2, リアクションペーパーや課題の提出状況；
 - 3, 期末レポートの完成状況
- 等によって総合的に評価する。詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

- 1, 学生皆さんの関心事、意見などをよく聞く、確認する。
- 2, オンライン授業において基礎操作や通信環境等様々な問題を柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。
ただし、オンライン (Zoom 方式) 授業の場合は Zoom 視聴、Hoppii 上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器 (パソコンなど) の用意が必要。

【その他の重要事項】

- 1, 前期の『経済学 LA : 東アジア経済入門』とのセットにして履修してほしいが、特に必要事項ではない。
- 2, 中国経済の話題が中心だが、政治、社会、歴史、文化、企業経営等の話もあり、興味があればぜひ取ってほしい。

【Outline (in English)】

This lecture aims at clearing up the success factors and lessons of failure by studying the development of China economy of the period transforming from the planned economy to the market economy, based on the basic knowledge about the development of the East-Asia economy, which students learned in the first semester. Furthermore, this lecture will examine the current China economy, so-called new-normal economy through case-study and consider the future image of China economy.

【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing China economy about its variability and complexity from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

ECN200LA

経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ゼロ金利とグローバリゼーション I

水野 和夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学がどのような考え方に基づいて理論を構築しているかを身に着けることで、現在起きている様々な経済現象のどこに問題があるかを理解することができる。21 世紀が抱える課題、具体的には春学期の経済学 LA ではゼロ金利となった背景とそれに伴って起きた金融経済の肥大化現象、秋学期ではグローバリゼーションの功罪について学び、近代経済学の知見から現実の課題にどのように対処したらよいのかを学ぶことができる。

ところが、現実には近代経済学はこれらの問題に対してこれまでのところ有効な処方箋を提示できないでいる。「近代経済学」を再検討することで、経済学にとって何が求められているのかを理解できるようにする。

春学期と秋学期を通じて履修することで、ゼロ金利とグローバリゼーションがいかに密接に絡み合っていることが理解できる。

【到達目標】

18 世紀後半に誕生した経済学の基本的概念は、そのときどきの時代環境とともに変化してきたことを学ぶことで、ゼロ金利やグローバリゼーションが経済・社会に及ぼす影響、米中新冷戦や日本やドイツのゼロ金利の背景を考えることができる。

なぜ、20 年にわたる長期停滞が続いているのか、ゼロ金利は何を意味しているのか、2016 年にトランプ大統領が誕生し、その後バイデン大統領がトランプに勝利したことでグローバリゼーションは曲がり角を迎えているのか否かを、自ら考える能力を身に着けることができる。

秋学期の「経済学 LB」と合わせて受講することで、春学期の到達目標がさらに高まる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義中心の対面授業で行う（ただし大学の方針に従う）。授業支援システムやリアクションペーパーを通じて、質問をうけ、回答をすることで双方向のコミュニケーションを図る。

『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』（東洋経済新報社、水野和夫、2022 年）の「序章」と第 1 章「ゼロ金利と『蒐集』」を中心に授業を進める。必ずしもこの本を購入する必要はない。授業は購入していないことを前提に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期と秋学期を通じて、講義全体の流れを説明	経済学の考え方とはなにかについて、概略の説明、社会の下部構造としての経済
第 2 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）①	西欧史はコレクションの歴史であり、コレクションの歴史は金利の歴史である。目的は社会秩序の維持、対象は土地、霊魂、資本。『次なる 100 年』の「はじめに」を参照

第 3 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）②例外と常態	ゼロ金利は常態か例外かー近代では例外、ポスト近代では常態。『次なる 100 年』の「序章」を参照
第 4 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）③「蒐集」できなると何が起きるか	歴史の危機（ブルクハルト）一過第 3 回の危機と第 4 回目の 21 世紀。『次なる 100 年』の第 1 章第 1 節を参照
第 5 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）④ゼロ金利と「異次元金融緩和」	金融自由化と電子・金融空間の誕生、金融経済の肥大化現象。『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節を参照
第 6 回	21 世紀の「歴史の危機」①「中心」と「周辺」の関係	ニクソンショック（1971）とコペルニクスの宇宙論（1543）。『次なる 100 年』の第 1 章第 2 節を参照
第 7 回	21 世紀の「歴史の危機」②米中新冷戦について	欧米の支配基準は何かーキリスト教と非キリスト教徒、文明国と非文明国、債権国と債務国。『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 8 回	21 世紀の「歴史の危機」③国際収支発展段階説	対外純債権と所得収支の関係。債権国の定義とは。債権国が債務国を支配する。『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 9 回	21 世紀の「歴史の危機」④GAFA と米国の絶望死とサハラ砂漠以南での児童労働	アダム・スミスの「共感」は 21 世紀も通用しているか。『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 10 回	米中新冷戦の背景	帝国と覇権国の違い。『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 11 回	国民国家と帝国	インターナショナルリゼーションとグローバリゼーション。『次なる 100 年』も第 1 章第 2 節と第 2 章第 1 節
第 12 回	債権国と債務国ー所得収支と対外純資産の関係	米国と中国のねじれ現象。2030 年代に米中で所得収支が逆転する可能性はありなのか。『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 13 回	公式の帝国と非公式の帝国	「帝国主義に免疫性のある社会経済構成体などは皆無」（リヒトハイム）。『次なる 100 年』の第 1 章第 2 節を参照
第 14 回	まとめ	春学期全体のまとめ、リアクションペーパーへの回答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間が理想であるが、講義で使ったレジュメ（授業支援システムに掲載）を教科書と照らし合わせながら、復習をしっかりとすること。

【テキスト（教科書）】

事前に Hoppii に、授業で使用するパワーポイント資料をアップ。授業は下記の本を購入していることを前提とはしないが、春学期の授業は下記の本の序章と 1 章を中心に進める。『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』水野和夫、東洋経済新報社、2022
<https://str.toyokeizai.net/books/9784492444658/>

【参考書】

『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989
<https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html>
『経済学とは何だろうか』佐和隆光、岩波新書、1982
<https://www.iwanami.co.jp/book/b267615.html>

【成績評価の方法と基準】

受講態度 40 %+期末試験（感染状況次第では期末レポート）60 %
受講態度は 3 回程度提出したリアクションペーパーの内容で評価（リアクションペーパーの提出時期は 14 回の授業のうち各自任意に選択）

【学生の意見等からの気づき】

授業支援システムや質問票の配布を通じて学生からの意見を取り入れ、授業内容の改善を図る。

【学生が準備すべき機器他】

事前に PC など授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

【その他の重要事項】

必ずしも経済学Ⅰ、経済学Ⅱを履修している必要はない。
内閣府（内閣府大臣官房審議官）および内閣官房（内閣審議官）での実務経験がある教員が、政府月例経済報告、経済財政白書などで養った経済分析、および政策立案のプロセスなどを授業で解説する

【Outline (in English)】

(Course outline and Learning Objectives) Why should you, as a student in the 21st century, embark on the study of economics?

There are three reasons. The first reason to study economics is that it will help you understand the world in which you live. The second reason to study economics is that it will make you a more astute participant in the economy. The third reason to study economics is that it will give you a better understanding of both the potential and limits of economic policy.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class

(Grading Criteria /Policy) Students are graded by attendance attitude (40%) and the Term-end examination (60%).

ECN200LA

経済学Ⅰ B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ゼロ金利とグローバリゼーションⅡ

水野 和夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学がどのような考え方に基いて理論を構築しているかを身に着けることで、現在起きている様々な経済現象のどこに問題があるかを理解することができる。21 世紀が抱える課題、具体的には秋学期の経済学ⅠB ではグローバリゼーションの功罪について学び、近代経済学の知見から現実の課題にどのように対処したらよいのかを学ぶことができる。

ところが、現実には近代経済学はこれらの問題に対してこれまでのところ有効な処方箋を提示できない。「近代経済学」を再検討することで、経済学にとって何が求められているのかを理解できるようにする。

なお、春学期ではゼロ金利となった背景とそれに伴って起きた金融経済の肥大化現象などについて学ぶことができる。

春学期と秋学期を通じて履修することで、ゼロ金利とグローバリゼーションがいかに密接に絡み合っていることが理解できる。

【到達目標】

18 世紀後半に誕生した経済学の基本的概念は、そのときどきの時代環境とともに変化してきたことを学ぶことで、ゼロ金利やグローバリゼーションが経済・社会に及ぼす影響、米中新冷戦や日本やドイツのゼロ金利の背景を考えることができる。

なぜ、20 年にわたる長期停滞が続いているのか、ゼロ金利は何を意味しているのか、2016 年にトランプ大統領が誕生し、その後バイデン大統領がトランプに勝利したことでグローバリゼーションは曲がり角を迎えているのか否かを、自ら考える能力を身に着けることができる。

春学期の「経済学ⅠA」と合わせて受講することで、秋学期の到達目標がさらに高まる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義中心の対面授業を行う（ただし大学の方針に従う）。授業支援システムやリアクションペーパーを通じて、質問をうけ、回答をすることで双方向のコミュニケーションを図る。

『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』（東洋経済新報社、水野和夫、2022 年）の第 2 章「グローバリゼーションと帝国」を中心に授業を進める。必ずしもこの本を購入する必要はない。授業は購入していないことを前提に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	秋学期授業の全体の流れを説明	グローバリゼーションと帝国 vs. インターナショナルゼーションと国民国家（『次なる 100 年』の第 2 章第 1 節）

第 2 回	グローバリゼーションの起源	インターナショナルリゼーションよりも起源は古いグローバリゼーション「住まいはせまくとも、思いは広し」(『次なる 100 年』の第 2 章第 1 節)
第 3 回	中世が呼び寄せた資本主義	東方貿易、胡椒、金持ちの誕生(『次なる 100 年』の第 2 章第 1 節)
第 4 回	13 世紀の数量革命と都市化	「資本は文明の別名にすぎない」(『次なる 100 年』の第 2 章第 1 節)
第 5 回	21 世紀のグローバリゼーションと近代システム	近代は持続性を欠き、かつ矛盾に満ちたシステム(『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節)
第 6 回	近代と機械化—進歩とは	あらゆるものを機械(マシーン、メカニズム)に見立てる近代社会(『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節)
第 7 回	グローバリゼーションの定義とイデオロギー性	「グローバリゼーションは 21 世紀の妖怪である」(『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節)
第 8 回	GAFA はマモンか	海賊ドレイク(イギリスの資本家第 1 号) vs. GAFA(『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節)
第 9 回	帝国とは—支配と被支配の関係	国民国家における私的所有権と国際関係における「全世界の債権者」(『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節)
第 10 回	私的所有権	ラ・フォンテーヌ「財産を失った守銭奴」、ジョン・ロック『統治二論』、トルストイ「ホルストメール」(『次なる 100 年』の「終章」)
第 11 回	グローバリゼーションの暴力性	「ショック・ドクトリン」(惨事便乗型資本主義)、パンデミック、「絶望死」、エレファントカーブ(Oxfam レポート)(『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節)
第 12 回	日米の IS バランス—投資の日本と消費の米国	1985 年のプラザ合意と 1995 年の「強いドル」政策、弾けさせるためにつくられるバブル(『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節)
第 13 回	ケインズの経済思想—経済学はモラルサイエンスである	「若き日の信条」「わが孫たちの経済的可能性」
第 14 回	まとめ	春学期・秋学期のまとめ、リアクションペーパーへの回答

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

事前に Hoppii に、授業で使用するパワーポイント資料をアップ。授業は下記の本を購入していることを前提とはしないが、秋学期の授業は下記の本の 2 章を中心に進める。

『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』水野和夫、東洋経済新報社、2022

<https://str.toyokeizai.net/books/9784492444658/>

【参考書】

『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989

<https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html>

『経済学とは何だろうか』佐和隆光、岩波新書、1982

<https://www.iwanami.co.jp/book/b267615.html>

【成績評価の方法と基準】

受講態度 40 % + 期末レポート(感染状況次第では期末レポート) 60 %
受講態度は 3 回程度提出したリアクションペーパーの内容で評価(リアクションペーパーの提出時期は 14 回の授業のうち各自任意に選択)

【学生の意見等からの気づき】

授業支援システムや質問票の配布を通じて学生からの意見を取り入れ、授業内容の改善を図る。

【学生が準備すべき機器他】

事前に PC など授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

【その他の重要事項】

必ずしも経済学Ⅰ、経済学Ⅱを履修している必要はない。

内閣府(内閣府大臣官房審議官)および内閣官房(内閣審議官)での実務経験がある教員が、政府月例経済報告、経済財政白書などで養った経済分析、および政策立案のプロセスなどを授業で解説する

【Outline (in English)】

(Course outline and Learning Objectives) Why should you, as a student in the 21st century, embark on the study of economics?

There are three reason. The first reason to study economics is that it will help you understand the world in which you live. The second reason to study economics is that it will make you a more astute participant in the economy. The third reason to study economics is that it will give you a better understanding of both the potential and limits of economic policy.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class

(Grading Criteria / Policy) Students are graded by attendance attitude (40%) and the Term-end examination (60%).

PSY200LA

心理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他
/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00～6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I / II」などを通して、基礎心理学の諸領域（知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など）を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講すること、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン（オンデマンド型）授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ペースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム（掲示板は使用しません）と Google クラウドを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラウドになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要 授業の進め方と方法

第 2 回	レジリエンスとは何か	レジリエンス研究の歴史 認知心理学、発達心理学ほか
第 3 回	「ABC 分析」で自分を 知る (1)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク①]
第 4 回	「ABC 分析」で自分を 知る (2)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク①]
第 5 回	「ABC 分析」で自分を 知る (3)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク①]
第 6 回	「思考のワナ」から抜 け出す	学習心理学ほか [テキスト レジリエンスワーク ②]
第 7 回	「氷山思考」を探り当 てる	深層心理学ほか [テキスト レジリエンスワーク ③]
第 8 回	中間レポート講評	第 2 回～第 7 回授業の振り返り
第 9 回	自分の「思い込み」に 挑む (1)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク ④]
第 10 回	自分の「思い込み」に 挑む (2)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク ④]
第 11 回	未来の「シナリオ」を 書き直す	臨床心理学ほか [テキスト レジリエンスワーク ⑤]
第 12 回	一瞬で心を静める	マインドフルネス [テキスト レジリエンスワーク ⑥]
第 13 回	窮地で自分の思考に反 論する	総合 [テキスト レジリエンスワーク ⑦]
第 14 回	期末レポート説明	第 9 回～第 13 回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『折れない心のつくりかた：はじめてのレジリエンスワークブック』（日本ポジティブ心理学協会著、すばる舎、2016 年）
<https://www.subarusya.jp/book/b251379.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に関係するアクティビティ 50%

中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」として、深い悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間である以上、ネガティブになる傾向があることが指摘されています（決してポジティブになることを奨励する学問ではありません）。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。
・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。

・動画配信を逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限りで、動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。

【その他の重要事項】

心理学 LA・LB 共に、中間レポートは個人ワーク、期末レポートはグループワークで実施することを考えています。ただし、前年度の心理学 LB の期末レポートで、初の試みとして、5 人 1 組となるグループワークを行ったところ、学期末の成績評価では、メンバー間でコミュニケーションがうまくいったグループとそうではなかったグループとで明暗が分かれた形となったようです。グループワークの実施の有無について、第 1 回授業のガイダンス終了後、アンケートを行い、皆さんの意見を仰ぐこととします（アンケートの結果次第では、グループか個人いずれかによる課題を自由に選択できるような方法も視野に入れます）。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course Outline）】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

【到達目標（Learning Objectives）】

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習（Learning Activities Outside of Classroom）】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA

心理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses
単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I / II」などを通して、基礎心理学の諸領域（知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など）を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン（オンデマンド型）授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ベースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム（掲示板は使用しません）と Google クラウドを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラウドになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要、授業の進め方と方法
第 2 回	ウェルビーイングとは何か	ウェルビーイング研究の歴史 臨床心理学、文化心理学ほか

第 3 回	「こころの健康」を理解する	ポジティブ心理学的観点 〔テキスト 第 1 章〕
第 4 回	「こころの健康」を高める (1)	ポジティブ感情 〔テキスト 第 2 章 Part 1〕
第 5 回	「こころの健康」を高める (2)	エンゲージメント 〔テキスト 第 2 章 Part 2〕
第 6 回	「こころの健康」を高める (3)	良好な人間関係 〔テキスト 第 2 章 Part 3〕
第 7 回	「こころの健康」を高める (4)	人生の意味・意義 〔テキスト 第 2 章 Part 4〕
第 8 回	「こころの健康」を高める (5)	達成感、成功 〔テキスト 第 2 章 Part 5〕
第 9 回	中間レポート講評	第 3 回～第 8 回授業の振り返り
第 10 回	「こころの健康」を高める (6)	活力、身体の健康 〔テキスト 第 2 章 プラス a〕
第 11 回	「こころの健康」を支援する (1)	ポジティブ心理学的介入 〔テキスト 第 3 章〕
第 12 回	「こころの健康」を支援する (2)	ポジティブ心理学的介入 〔テキスト 第 3 章〕
第 13 回	「こころの健康」を支援する (3)	ポジティブ心理学的介入 〔テキスト 第 3 章〕
第 14 回	期末レポート	第 10 回～第 13 回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『人生を豊かにするウェルビーイングノート：ポジティブサイコロジー × 解決志向アプローチでこころの健康を育てる』
(松隈信一郎著、金剛出版、2022 年)

<https://www.kongoshuppan.co.jp/book/b596381.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に係るアクティビティ 50%

中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に係るアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」として、深い悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間である以上、ネガティブになる傾向があることが指摘されています（決してポジティブになることを奨励する学問ではありません）。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。

・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。

・動画配信を逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限りで、動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。

【その他の重要事項】

心理学 LA・LB 共に、中間レポートは個人ワーク、期末レポートはグループワークで実施することを考えています。ただし、前年度の心理学 LB の期末レポートで、初の試みとして、5 人 1 組となるグループワークを行ったところ、学期末の成績評価では、メンバー間でコミュニケーションがうまくいったグループとそうではなかったグループとで明暗が分かれた形となったようです。グループワークの実施の有無について、第 1 回授業のガイダンス終了後、アンケートを行い、皆さんの意見を仰ぐこととします（アンケートの結果次第では、グループか個人いずれかによる課題を自由に選択できるような方法も視野に入れます）。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course Outline）】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

【到達目標（Learning Objectives）】

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習（Learning Activities Outside of Classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA

心理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他
/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00～6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I / II」などを通して、基礎心理学の諸領域（知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など）を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン（オンデマンド型）授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ペースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム（掲示板は使用しません）と Google クラウドを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラウドになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要 授業の進め方と方法

第 2 回	レジリエンスとは何か	レジリエンス研究の歴史 認知心理学、発達心理学ほか
第 3 回	「ABC 分析」で自分を 知る (1)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク①]
第 4 回	「ABC 分析」で自分を 知る (2)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク ①]
第 5 回	「ABC 分析」で自分を 知る (3)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク ①]
第 6 回	「思考のワナ」から抜 け出す	学習心理学ほか [テキスト レジリエンスワーク ②]
第 7 回	「氷山思考」を探り当 てる	深層心理学ほか [テキスト レジリエンスワーク ③]
第 8 回	中間レポート講評	第 2 回～第 7 回授業の振り返り
第 9 回	自分の「思い込み」に 挑む (1)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク ④]
第 10 回	自分の「思い込み」に 挑む (2)	認知行動療法ほか [テキスト レジリエンスワーク ④]
第 11 回	未来の「シナリオ」を 書き直す	臨床心理学ほか [テキスト レジリエンスワーク ⑤]
第 12 回	一瞬で心を静める	マインドフルネス [テキスト レジリエンスワーク ⑥]
第 13 回	窮地で自分の思考に反 論する	総合 [テキスト レジリエンスワーク ⑦]
第 14 回	期末レポート説明	第 9 回～第 13 回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『折れない心のつくりかた：はじめてのレジリエンスワークブック』（日本ポジティブ心理学協会著、すばる舎、2016 年）
<https://www.subarusya.jp/book/b251379.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に関係するアクティビティ 50%

中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」として、深い悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間である以上、ネガティブになる傾向があることが指摘されています（決してポジティブになることを奨励する学問ではありません）。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。
・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。

・動画配信を逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限りで、動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。

【その他の重要事項】

心理学 LA・LB 共に、中間レポートは個人ワーク、期末レポートはグループワークで実施することを考えています。ただし、前年度の心理学 LB の期末レポートで、初の試みとして、5 人 1 組となるグループワークを行ったところ、学期末の成績評価では、メンバー間でコミュニケーションがうまくいったグループとそうではなかったグループとで明暗が分かれた形となったようです。グループワークの実施の有無について、第 1 回授業のガイダンス終了後、アンケートを行い、皆さんの意見を仰ぐこととします（アンケートの結果次第では、グループか個人いずれかによる課題を自由に選択できるような方法も視野に入れます）。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course Outline)】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

【到達目標 (Learning Objectives)】

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA

心理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

宇野 カオリ

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 集中・その他/intensive・other courses
単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10:00~6 日 (水) 9:00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22:00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I/II」などを通して、基礎心理学の諸領域 (知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など) を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します (基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません)。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か? そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか? これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン (オンデマンド型) 授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ベースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム (掲示板は使用しません) と Google クラウドを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラウドになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要、授業の進め方と方法
第 2 回	ウェルビーイングとは何か	ウェルビーイング研究の歴史 臨床心理学、文化心理学ほか

第 3 回	「こころの健康」を理解する	ポジティブ心理学的観点 〔テキスト 第 1 章〕
第 4 回	「こころの健康」を高める (1)	ポジティブ感情 〔テキスト 第 2 章 Part 1〕
第 5 回	「こころの健康」を高める (2)	エンゲージメント 〔テキスト 第 2 章 Part 2〕
第 6 回	「こころの健康」を高める (3)	良好な人間関係 〔テキスト 第 2 章 Part 3〕
第 7 回	「こころの健康」を高める (4)	人生の意味・意義 〔テキスト 第 2 章 Part 4〕
第 8 回	「こころの健康」を高める (5)	達成感、成功 〔テキスト 第 2 章 Part 5〕
第 9 回	中間レポート講評	第 3 回～第 8 回授業の振り返り
第 10 回	「こころの健康」を高める (6)	活力、身体 の健康 〔テキスト 第 2 章 プラス a〕
第 11 回	「こころの健康」を支援する (1)	ポジティブ心理学的介入 〔テキスト 第 3 章〕
第 12 回	「こころの健康」を支援する (2)	ポジティブ心理学的介入 〔テキスト 第 3 章〕
第 13 回	「こころの健康」を支援する (3)	ポジティブ心理学的介入 〔テキスト 第 3 章〕
第 14 回	期末レポート	第 10 回～第 13 回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『人生を豊かにするウェルビーイングノート：ポジティブサイコロジー × 解決志向アプローチでこころの健康を育てる』
(松隈信一郎著、金剛出版、2022 年)

<https://www.kongoshuppan.co.jp/book/b596381.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に関係するアクティビティ 50%

中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

- ・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
- ・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」として、深い悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間である以上、ネガティブになる傾向があることが指摘されています（決してポジティブになることを奨励する学問ではありません）。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。
- ・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

- ・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。
- ・動画配信を逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限り、動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。

【その他の重要事項】

心理学 LA・LB 共に、中間レポートは個人ワーク、期末レポートはグループワークで実施することを考えています。ただし、前年度の心理学 LB の期末レポートで、初の試みとして、5 人 1 組となるグループワークを行ったところ、学期末の成績評価では、グメンバー間でコミュニケーションがうまくいったグループとそうではなかったグループとで明暗が分かれた形となったようです。グループワークの実施の有無について、第 1 回授業のガイダンス終了後、アンケートを行い、皆さんの意見を仰ぐこととします（アンケートの結果次第では、グループか個人いずれかによる課題を自由に選択できるような方法も視野に入れます）。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course Outline）】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

【到達目標（Learning Objectives）】

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習（Learning Activities Outside of Classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

GEO200LA

地理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明、米家 志乃布

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他
/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学の基本的な研究方法、考え方、方法論などについて学ぶ。さまざまなテーマを取り上げてそれを考えていく。特に環境問題に重点を置いて、授業を進めていく。

【到達目標】

さまざまなテーマと話題を取り上げながら、地理学の方法論や考え方を学び、身につけることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では、毎回プリントを配布して講義をおこなう。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業内容の説明、成績評価の方法などを解説する。
2	文化・生態・環境	地理学と生態・環境問題との関係について解説する。
3	都市の生態環境①	都市の生態環境の特色について解説する。
4	都市の生態環境②	都市の生態環境の特色について解説する。
5	都市の生態環境③	都市の生態環境の特色について解説する。
6	日本の野生動物相①	日本の野生動物相の特色について解説する。
7	日本の野生動物相②	日本の野生動物相の特色について解説する。
8	日本の植生①	日本の植生の特色について解説する。
9	日本の植生②	日本の植生の特色について解説する。
10	生業条件と生態環境	生業経済と生態環境との関係について解説する。
11	森林問題①	都市の森林問題、里山林の問題などについて解説する。
12	森林問題②	都市の森林問題について解説する。

13 調査とレポート フィールドワークの方法について解説する。

14 全体的な補足 全体的な補足をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習および復習を自宅でおこなうことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。授業内で必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

随時、授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内試験 (100%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート調査結果などを参照し、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明、米家 志乃布

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学の基本的な考え方、研究方法などを学ぶために、さまざまな話題を取り上げ、解説をおこなう。特に環境問題に重点を置いて講義をおこなう。

【到達目標】

地理学的な物の見方とは、どういうことをいっているのか、あるいはその視点・立脚点とはどのようなものか、などなどを身につけることが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回異なったテーマを取り上げる。プリントを配布し、それをテキストとして用いながら授業を進めていく。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などについて解説する。
2	文化・生態・環境	授業を構成する文化・生態・環境の三つのキーワードについて解説する。
3	焼畑農業	焼畑農業の持つ諸課題について解説する。
4	農業の起源と赤米①	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
5	農業の起源と赤米②	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
6	海辺の環境①	海辺の環境の特色について解説する。
7	海辺の環境②	海辺の環境の特色について解説する。
8	海辺の環境③	海辺の環境の特色について解説する。
9	海辺の環境④	海辺の環境の特色について解説する。
10	海辺の環境⑤	海辺の環境と漁業問題について解説する。

11	森林問題	森林問題、里山林の環境的特性などについて解説する。
12	調査とレポート	フィールドワークの方法などについて解説する。
13	まとめ	全体的なまとめをおこない、総括する。
14	補足	補足的なテーマを適宜選んで取り上げる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での予習・復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定はありません。必要に応じて、授業内でプリントを配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内試験（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

地理学の基本から学びますので、高校時代に地理を選択していなかった学生も遠慮なく履修してください。

【Outline (in English)】

You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

片岡 義晴、米家 志乃布

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 4/Thu.4

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

現代世界、とりわけ低開発諸国、地域の地域問題について学んでいきます。

【到達目標】

食料、人口、貧困問題などを手がかりにして、現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。低開発諸国、地域のそれら問題は先進諸国との関係性の中で生じており、授業を通して先進諸国と低開発諸国、諸地域の関係を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

「発展」から取り残されている地域・国を事例にして、現代世界の地域・社会問題を考えていきます。主としてアジア諸地域を例に挙げて、「発展」の仕組みを、その「裏側」から考えていくつもりです。取り扱うテーマは世界の食料、人口、貧困にかかわる諸問題です。それらの出来事は個別に存在するわけではなく、相互に関連し、問題を複雑化させています。したがって結論や解決策を単純に見いだすことはできません。現実の「構造」を知ることができるようにしていきたいと思います。

【課題等に対するフィードバック方法】

授業の初めに、前回までの授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の食糧問題 (1)	先進国と途上国の食料自給率
第 2 回	世界の食糧問題 (2)	食糧輸出国と輸入国
第 3 回	世界の食糧問題 (3)	農業生産性の向上 - 「緑の革命」 -
第 4 回	世界の人口 (1) - 人口の趨勢 -	人口爆発とその後 - 70 億人突破 -
第 5 回	世界の人口 (2) - 二つの人口論 -	マルサスとマルクス
第 6 回	世界の人口 (3) - 死亡率・出生率変化の検討 -	死亡率の急減と出生率低下の緩慢さ
第 7 回	世界の人口 (4)	人口問題と人権
第 8 回	貧困と援助・協力 (1)	世界の貧困 - 先進国、途上国それぞれに貧困 -
第 9 回	貧困と援助・協力 (2)	衛生問題 - 乳児死亡率の地域差と女性の権利 -
第 10 回	貧困と援助協力 (3)	教育の不平等 - 教育と識字率 -
第 11 回	貧困と援助協力 (4)	難民問題の拡大と日本
第 12 回	貧困と援助協力 (5)	ODA と日本、世界の児童労働
第 13 回	貧困と飢饉	飢饉発生 of 構造的要因

第 14 回 まとめ

まとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

「食料」「人口」「貧困」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、さらにそれら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えようとして下さい。時間をとって机に向かうことも重要ですが、それら問題を普段から意識することがより重要です。

なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストは使用しません。資料プリントを配布します。場合によっては PowerPoint を使用します。

【参考書】

西川 潤 (2008) 『データブック 食料』、同『データブック 人口』、同『データブック 貧困』いずれも岩波ブックレット。その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験 100 % で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

プリントの多さに対する意見もありますが、必要ならば配布せざるを得ません。また使用データの古さも指摘されました。しかし途上国のデータは信頼性に欠ける場合もあり、新しいから正確というわけでもないのです。日本の労働に関する、特に近年の統計の杜撰さ (改ざん等)、隠蔽・歪曲体質を思い出せば、それは容易に想像できるはずです。データは読みこなさなければなりません。

また、配布資料のサイズが異なることがしばしばあり、統一して欲しい旨の意見もあります。なるべくサイズを統一したいのですが、できない場合もあります。予めご承知おき下さい。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

初回の授業はオンライン授業 (教材提示) で実施します。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is aimed at broadening students' basic knowledge of the current factors of underdeveloped countries and regions. It has three focuses, :1) food problems, :2) population problems, :3) poverty problems in underdeveloped countries and regions.

【Learning Objectives】 The goal of this course is to help students understand the structural relationships (political and economic relationships) between developed countries and underdeveloped countries and regions.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100 %).

GEO200LA

地理学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

片岡 義晴、米家 志乃布

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の地域問題に関して、様々な問題群、その構造的要因について学んでいきます。具体的には第一次～第五次全国総合開発計画に代表される地域開発政策、同時期に生じた公害問題、地域格差等を指標として検討していきます。

【到達目標】

日本の高度経済成長期における全国総合開発計画に代表される地域開発政策、公害問題、地域格差等を手がかりにして、日本の地域問題の構造的要因に迫っていきます。多くの場合、それら問題は地域開発政策に代表される政治、経済に関わる要因に規定されています。授業を通して、日本の地域問題は構造的であることが理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

国籍の如何に関わらず、日本居住者は日本のことを「知っている」と思い込んでいます。しかし現代日本の地域・社会問題を「知っている」「理解している」人がどれくらい居るでしょうか。地域居住者の「権利」を侵害するような問題は、いつの時代も、どの地域でも発生していますし、発生するように「仕組まれ」ているといわなければなりません。具体例を挙げ、日本の「裏側」から日本の地域・社会問題に迫っていきましょう。

【課題等に対するフィードバック方法】

授業の初めに、前回までの授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	日本の地域性 (1)	「裏日本」の形成
第 2 回	日本の地域性 (2)	「裏日本」の役割
第 3 回	戦後日本の経済と地域	経済成長の内実
第 4 回	地域格差とその指標 (1)	格差の指標
第 5 回	地域格差とその指標 (2)	経済格差と指標
第 6 回	様々な地域格差	様々な地域格差－女性、高齢者、若者、外国人等－
第 7 回	日本の地域開発 (1)	地域開発前史
第 8 回	日本の地域開発 (2)	全国総合開発計画（全総、新全総、三全総、四全総、グランドデザイン）
第 9 回	地域経済の実態	経済の地域間相互依存
第 10 回	公害と地域 (1)	イタイイタイ病と神岡鉱山
第 11 回	公害と地域 (2)	イタイイタイ病訴訟
第 12 回	公害と地域 (3)	水俣病の「発見」とチッソ

第 13 回 公害と地域 (4)

水俣病訴訟

第 14 回 まとめ

まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

日本の「地域問題」「社会問題」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、それら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えて下さい。それら問題は「身近」に存在しています。それら問題について普段から関心を持って下さい。

なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業時に資料プリントを配布します。

【参考書】

政野淳子（2013）『四大公害病』中公新書

その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験 100 %で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

プリントの多さに対する意見もありますが、必要ならば配布せざるを得ません。また使用データの古さも指摘されました。しかし途上国のデータは信頼性に欠ける場合もあり、新しいから正確というわけでもないのです。「先進国」と思われている日本において、日本の労働に関する、特に近年の統計の杜撰さ（改ざん等）、隠蔽・歪曲体質を思い出せば、それは容易に想像できるはずです。データは読みこなさなければなりません。

また、配布資料のサイズが異なることがしばしばあり、統一して欲しい旨の意見もあります。なるべくサイズを統一したいのですが、できない場合もあります。予めご承知おき下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire the regional problems in Japan. It has two main focuses; 1) regional development policies in Japan's highest economic growth, 2) as a result environmental pollution problems and regional disparities in Japan.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to help students understand the structural factors (political and economic factors) of regional problems during the period of Japan's high economic growth.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100 %).

GEO200LA

地理学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高木 正、米家 志乃布

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学そのものを学ぶというよりも、地理学を通じて現代世界の理解を深めるといったスタイルで勉強していきます。高校時代に地理科目を履修した経験がなくても構いません。ここでは世界情勢を大きく把握することを目的とします。

【到達目標】

現在、学生の皆さんが持っている歴史観・地域観・世界観をより確かなものにしていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。配布したプリントで進めていきます。

学習支援システムで授業を開始するのは、5月11日からとします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
I	はじめにー地理学の学問的性格	高校時代とは異なる地理学本来の特徴を押さえる。
II-1	単線的発展史観	ロストウの単線的発展史観を紹介する。
II-2	両極的発展史観	A・G・フランクの両極的発展史観を紹介します。
III-3	世界システム	現代世界を世界システムとして捉える視点を紹介します。
III-1	ヨーロッパ世界経済の成立	大航海時代に始まるヨーロッパ世界経済を捉えなおします。
III-2	産業資本主義段階と植民地支配	ヨーロッパの工業化、植民地支配、パックス・ブリタニカ
III-3	社会主義諸国の形成	ロシア革命から 20 世紀における社会主義諸国の形成をみます。
III-4	第2次世界大戦後の先進国	パックス・アメリカナの形成を解説します。
III-5	ヨーロッパの統合	EU の成立と拡大、通貨統合をみます。
III-6	植民地の独立と発展戦略	発展途上国の成立過程をみます。
III-7	発展途上国の多様化	いわゆる南南問題を理解します。
III-8	冷戦の終結	社会主義諸国の変容と冷戦の終結をみます。
III-9	地域紛争	現在の地域紛争を概観します。
IV	まとめ	復習と試験に向けての諸注意。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備は特に必要としませんが、前の授業に配布したプリントは持参してください。配布するプリントは予備がないので後で渡すことはできません。なお少なくとも 1 時間は復習時間に充ててください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使いません。

【参考書】

室井義雄『南北・南南問題』世界史リブレット 56（山川出版社）

【成績評価の方法と基準】

試験で評価します。試験の方法は最初の授業で説明します。成績の要素配分は試験 80 %、平常点 20 % とします。

【学生の意見等からの気づき】

滑舌をよくします。

【Outline (in English)】

Course outline: Studying in the style of deepening their understanding of the modern world through geography.

Learning objectives: The purpose of this course is to provide students with a broad understanding of world affairs.

Learning activities outside of classroom: Your study time will be more than 4 hours for a class.

Grading Criteria: Term-end report:80% Contribution to class:20%

GEO200LA

地理学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高木 正、米家 志乃布

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学 LD では、できるだけ多くの地域を取り上げて、その社会経済的な実態を地理的な視点からみていきます。

【到達目標】

アフリカと西アジアの現状を理解することで世界の多様性を認識します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。教材は配布するプリントを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
I - 1	アフリカの概観と辺境化	アフリカの概要理解と歴史的背景を理解します。
I - 2	モノカルチャー経済の実態①	コートジボアールのカカオ豆を扱います。
I - 3	モノカルチャー経済の実態②	マリの綿花を扱います。
I - 4	南アフリカ共和国の現状①	アパルトヘイト政策を振り返ります。
I - 5	南アフリカ共和国の現状②	アパルトヘイト以上の経緯をみます。
II - 1	南アフリカ共和国の現状③	南アの現状をみます。
II - 2	パレスチナ問題①	歴史的経緯をみます。
II - 3	パレスチナ問題②	中東戦争、レバノン戦争をみます。
II - 4	パレスチナ問題③	オスロ合意から現在までの流れをみます。
II - 5	西アジアの石油資源	石油資源の開発をみます。
II - 6	資源ナショナリズム	産油国とメジャーの対立、OPEC と石油ショックを理解します。
II - 7	石油開発の主導権の移りかわり	OPEC の弱体化、湾岸戦争、価格決定権の変化などをみます。
II - 8	近年の西アジア・北アフリカ情勢	「アラブの春」以降を概観します。
III	まとめ	授業内容の復習。試験に向けての諸注意。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備は特に必要としませんが、前の授業に配布したプリントは持参してください。配布するプリントは予備がないので、後で渡すことはできません。なお少なくとも 1 時間は復習時間に充ててください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使いません。

【参考書】

松本仁一『アフリカ・レポート』岩波新書 1146、ダニエル・ヤーギン『石油の世紀』（日本放送出版会）

【成績評価の方法と基準】

試験を行います。試験方法は最初の授業で説明します。成績の要素配分は、試験 80 %、平常点 20 % とします。

【学生の意見等からの気づき】

滑舌をよくします。

【Outline (in English)】

Main Course outline: Recognizing the diversity of the world

Learning activities: Understanding the current situation in Africa and West Asia.

Outside of classroom: Your study time will be more than 4 hours for a class.

Grading Criteria: Term-end report:80% contribution to class:20%

GEO200LA

地理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明、米家 志乃布

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまなテーマを毎回ひとつずつ取り上げ、解説していく。全体を通して地理学的な物の見方や考え方を学ぶ。

【到達目標】

授業を通し、地理学的な物の見方と考え方をつかんでいくことがのぞましい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、プリントを配布して授業を進めていくことにする。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方、おおまかな計画について解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本的なテーマである三つのキーワードについて解説する。
3	都市の生態環境（1）	都市の生態環境の特色をとらえるため、タンポポの生態について注目してみる。
4	都市の生態環境（2）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
5	都市の生態環境（3）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
6	日本の野生動物相（1）	日本の野生動物の特色について解説する。
7	日本の野生動物（2）	日本の野生動物、とくにオオカミについて注目してみる。
8	日本の植生（1）	日本の植生のうち、特に落葉広葉樹林帯について解説する。
9	日本の植生（2）	日本の植生のうち、特に照葉樹林帯について解説する。
10	補足（1）	全体的な補足をおこなう。
11	補足（2）	全体も歴な補足をおこなう。
12	調査とレポート	地理学的な調査方法と成果のまとめ方について解説する。
13	まとめ（1）	全体のまとめと総括をおこなう。
14	まとめ（2）	全体のまとめと総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での予習と復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

授業時間内に適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験の成績 (100%) によって評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの要望を極力取り入れて授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明、米家 志乃布

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では毎回ひとつずつ異なったテーマを取り上げて解説する。

【到達目標】

全体を通して地理学的な物の見方と考え方を学んでいく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では、毎回、プリントを配布して解説をおこなう。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などを解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本テーマであるこの三つのキーワードについて解説する。
3	日本の焼畑農業	日本の農業問題、特に焼畑農業について解説する。
4	稲作農業と赤米（1）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題を解説する。
5	稲作農業と赤米（2）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題解説する。
6	生業条件と資源	生業条件と資源環境の問題について注目する。
7	海岸の環境（1）	海をめぐる環境問題について解説する。
8	海岸の環境（2）	海をめぐる環境問題について解説する。
9	海岸の環境（3）	海をめぐる環境問題について解説する。
10	海岸の環境（4）	海をめぐる環境問題について解説する。
11	里山の環境	里山環境と人間生活の歴史について解説する。
12	補足	全体の補足をおこなう。
13	調査とレポート	地理学的な調査方法とそのまとめ方について解説する。
14	まとめ・試験	全体的なまとめと試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での予習と復習をおこなうことががのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験 (50%) およびレポート (50%) によって成績評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの要望は極力取り入れ、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 身近なグローバル社会を地理学で考える

前川 明彦、米家 志乃布

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この講義は世界や日本の身近な課題を地理学をとおして発見や問題意識の醸成などを旨とするを目的にしている。そして、秋学期の LD でそうした課題の解決方法の一端を共に考えるという方向を考えている。具体的にはコロナで顕在化した世界や日本の格差や DX、AI など社会的課題を身近なところから一緒に地理学で考えます。これは、学生自身が課題や問題意識を考え、多様なものの考え方ができることを目的としています。

【到達目標】

皆さんが、身近なことから論理的に課題を見つけ、その背景や要因などを自ら多様性の中で考え、解決の方向性に活用できることを目標としたい。グローバリゼーションやコロナの影響等から社会が格差・分断、また不寛容になりつつあります。また、日本が世界から様々な視点で遅れたり、異なっていたこともあらためて理解されたかもしれません。今後のアフターコロナ下の AI 時代において皆さんはどうすべきでしょうか。問題の解決には知識だけでなく自分の目でみつけ、考えるという必要性が突きつけられている気がします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は対面授業の予定である。コロナ下で日本は様々な課題が顕在化、表面化した。こうしたマクロ的な課題や問題を概観しながら、高校までの授業とは違った視点、学際的に広がった地理学的視点から考えていく。この授業が自分のプラスになるかは自分次第かもしれません。一方的な授業ではない、知識からの応用である AL やフィロドワークはなかなか無理かもしれないが、可能な段階などで試みたい。なお、教材等は授業支援システムなどで指示しますので、注意してください。場合により、支援システム以外で Googleclassroom を併用する可能性があります

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域とは、グローバルとは何かを身近なことから考える
2	グローバリゼーション・パンデミック・21 世紀	コロナで大きく変化した世界とさまざまな課題が顕在化した日本
3	グローバル化と産業	大量生産社会からの変貌と 21 世紀型産業 21 世紀の
4	21 世紀のボーダレス化と地域社会	GAFA・国際分業・市場
5	世界から遅れた日本	先進国が 様々な分野で遅れていることが・・・日本
6	世界の課題を日本から見る 1	若者の格差・貧困と地域社会
7	世界の課題を日本から見る 2	子ども・女性の貧困格差と連鎖社会的弱者

8	世界の課題を日本から見る 3	少子高齢化の課題と格差貧困
9	グローバリゼーションの課題 1	AI/第 4 次産業革命と格差社会・・・立地や仕事が変わる
10	グローバリゼーションの課題 2	AI/IOT/Big Data 社会とこれまで
11	グローバリゼーションの課題 3	世界の分断と今後の社会
12	グローバリゼーションの課題 4	環境か経済か カarbonニュートラルで産業が生まれるか
13	グローバリゼーションの課題 5	分断と共生 世界各国の分断やウクライナ問題などから考えてみよう
14	試験 まとめと解説	授業内試験 (持ち込み可)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

アフターコロナ以降は世界は大きく変わる可能性があります。普段から何事にも興味・関心を持ち、最初の一步を踏み出してください。内外のことを新聞、TV、ネットなどで調べ知識化し、自ら問題を考え応用できるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

基本的になし

【参考書】

授業時や支援システム等に指示

【成績評価の方法と基準】

原則的には、期末の授業内試験 (70 % 持ち込み可) 授業での平常点 (30 %) を予定していますが、感染拡大などによりレポートに代替するなど変更点があるとは思いますが、お知らせなどに注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

2 年間、学生は孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。今年度は、対面中心を予定していますから、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフルに発揮していきたいと思います。むしろ、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。今期も前向きに考えてやってみましょう。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システム等や映像を多用するため、これらや事前、事後に関連性のある情報、資料等を各自調べるなど活用してもらいたい。ほかの科目でも予想されるが、WEB 授業等に係るものは用意されたほうが・・・

【その他の重要事項】

秋学期の地理学 LD と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わないが、先に春学期の LC での問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期の LD で知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。学生の授業アシスタントも予定しますので相談してみてください。あまり一方的な授業は避けたいのでみんなで楽しみましょう。支援システムの掲示板などをみんなで使いましょう。人数次第で Googleclassroom を開設する場合があります。

【Outline (in English)】

Course outline: This course is to discover familiar issues in the world and Japan through geography, and to foster an awareness of these issues.

Learning objectives: The goal is to be able to find issues logically from familiar things, to think about the background and factors of the issues in a diverse context, and to apply this to the direction of solutions.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 70% Contribution to class: 30%

GEO200LA

地理学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：地域再生を地理学で考える

前川 明彦、米家 志乃布

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

講義では、地域の課題解決の方向性を考えます。具体的には、グローバル化・ゼンションなどで衰退する日本を地域再生論やコミュニティデザインなど地理学の視点を中心に考えます。解決策モデル等を紹介しながら、その糸口や方法論を地理学ロジックで学びます。そこから学生自身が多様性のある社会の実現を模索、検討できることを目的としています。対面形式中心ですのでインプット型の学ばではなく、むしろ地理学を材料に、アクティブに一緒に考えることを目指します。

【到達目標】

秋学期には春学期の問題意識や地域的課題を解決方向へと踏み出したい。このため、街づくり、地域再生を主なテーマとし、学生が、地域社会に関連するコミュニティデザインやソーシャルビジネスなどから多様性のある様々な問題解決の方向性を示せることを到達目標としたい。そして、学生が自らの考えをもち行動し、将来的には世界の地域社会を解決する一員になることを到達目標にしている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業の利点を如何にいかすかが問われます。地域再生を軸とした解決方法のモデル的介绍も含めて、一部講義形式となる可能性がありますが、それだけならオンデマンドで十分かもしれません。多様な意見や価値観の認識、コミュニケーションスキル等のために皆さんと考えていきたいと思います。初めての受講でも心配ありません。教材等は授業支援システムを使う予定です。感染予防対策のため、授業資料の紙での配布はいたしません（すべて学習支援システムにアップします）。また、授業アシスタントの人も予定していますので、不安な場合は相談してみてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	アフターコロナの未来社会をみんなで考えよう
2	日本の課題再考 1	AI の判断する 2050 の日本・TOKYO か地方
3	課題再考 2 地域社会の崩壊か	極点社会という少子高齢化社会
4	解決の方向 1 問題の可視化	RESAS というビックデータ・オープンデータ
5	解決の方向 2 具体化と人	工夫をする地域社会 ソーシャルビジネス
6	都市再生 1	TOKYO からの脱出 移住とりモートワーク
7	都市再生 2	失敗から学ぶ コンパクト・スーパーシティの試み
8	都市再生 3	RESAS から考える観光の失敗可視化すると

9	地域再生 1	ハロウィンなどイベント再生
10	地域再生 2	地域戦略をビックデータ、GIS 等で、コミュニティ論再考
11	地域再生 3	AKIBA というコミュニティと場の重要性
12	地域再生 4	関係人口と地域へのかかわりかたコミュニティ再考
13	地域再生 5	震災から 11 年 復興ができたのか
14	試験 まとめと解説	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットやニュースなどから多様な考え方を学んでください。問題をどう解決するかは、さまざまな方法があり、必ずしも 1 つの方法が正解ではありません。日本はどんどん世界から遅れ始めていることに気が付いていますか。将来の自分が想像できますか、自ら考え、行動する意欲を常に持ち、失敗を恐れずむしろ失敗から学び、前向きになる自分を想像してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にはないが使用する場合は、授業時に指示

【参考書】

授業時に指示

【成績評価の方法と基準】

期末の授業内試験（70 %）、授業での平常点（30 %）で総合的に評価する予定でいる。状況により変更の場合などもあり得るかもしれません。

【学生の意見等からの気づき】

2 年間、学生は孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。今年度は、対面中心を予定していますから、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフルに発揮していきたいと思います。むしろ、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。今期も前向きに考えてやってみましょう。

【学生が準備すべき機器他】

通信環境と、スマホよりはパソコン使用を。このため、この授業以外のためにも大学からの貸し出しなどは積極的に申し込んでください。授業支援システム等をかなり利用するので仕様の仕方等に習熟してほしい。

【その他の重要事項】

授業開始日までに、内容の詳細や要点をまとめて授業支援システムに上げておきたいです。必ずご確認ください。（仮登録すれば見れるようにします）状況次第ですが、あまり一方的な授業は避けたいのでみんなで楽しみましょう。また、できれば地理学 LC と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わない。楽かどうかは皆さん次第ですが、アフターコロナで生き残るためには、知識だけではなく自ら考え行動することが必要な気がします。なお、学生アシスタント等の協力で大学の情報なども充実させていきたい。

【Outline (in English)】

Course outline: The lecture will consider the direction of solutions to local issues.

Learning objectives: We would like to make it an attainable goal for students to be able to indicate the direction of various problem solving with diversity from community design and social business related to the local community.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 70% Contribution to class: 30%

SOC200LA

社会学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 文化の社会学

松下 優一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 1/Tue.1

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、文化社会学、特に表象文化を対象とする社会学について学ぶ。文化を研究するためには、それを対象として捉え、記述するための概念・視角 (= 文化理論) についての理解が不可欠となる。国内外の文化社会学や文化研究の古典とされる重要文献を取り上げながら、文化を社会学するための視座・着眼点の獲得を目指す。

【到達目標】

・文化を社会的に考察するための理論 (基本的な着眼点や問題設定など) について理解できる。
・文化的作品 (または作家の営み、生産・流通・受容など) の具体的な特徴を捉え、その社会的文脈性を考察することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進める。受講生には毎回のテーマに関する課題提出を課す。提出物へのフィードバックは、次回授業の冒頭やまとめの回でいくつかピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	文化社会学へのイントロダクション
第 2 回	遊戯	井上俊『遊びの社会学』を中心に
第 3 回	欲望	作田啓一『個人主義の運命』を中心に
第 4 回	記号	R・バルト『神話作用』を中心に
第 5 回	表象とイデオロギー	マルクス主義的アプローチの系譜
第 6 回	文化テキストの分析 (1)	『君の名は。』の構造分析
第 7 回	文化テキストの分析 (2)	『スワロウテイル』と 1990 年代東京
第 8 回	文化テキストの分析 (3)	『ナビの恋』と南島イメージ
第 9 回	文化テキストの分析 (4)	『ゴジラ』と『シン・ゴジラ』の比較分析
第 10 回	メディア文化	ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」を中心に
第 11 回	文化と卓越化	ブルデュー『ディスタンスション』および『芸術の規則』について
第 12 回	受容と流用	カルチュラルスタディーズの展開
第 13 回	コンヴァージエンス・カルチャー	参加型文化の時代
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足、および課題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。課題に取り組むとともに、授業で紹介するテキストや作品を熟読・鑑賞し、自分なりに理解を深めてください。

【テキスト (教科書)】

特に指定しない。

【参考書】

・井上俊／長谷正人編『文化社会学入門』(ミネルヴァ書房、2010 年)
・栗谷佳司／太田健二編『表現文化の社会学入門』(ミネルヴァ書房、2019 年)

【成績評価の方法と基準】

授業内課題 (50 %) + 期末レポート (50 %)
記述の具体性・独自性・妥当性などにより評価する。

【学生の意見等からの気づき】

2020 年度以来オンデマンド型 (資料) での実施だったが、受講生の反応を見る限り概ね好評であったように思う。今後も工夫を重ねていきたい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course introduces students to the key concepts in sociology of culture and to the ways of thinking about culture in the contemporary world.

[Learning Objectives] By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand key concepts in cultural theory and fundamental approaches of the sociology of culture.

- analyze artworks (artists, cultural production/distribution/reception, and so on) in its social context.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy] Grading will be decided based on Term-end report(50%) and Short reports(50%).

SOC200LA

社会学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代社会論

松下 優一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、様々な現代社会論について学びます。現代社会に生起する諸々の現象・問題について、歴史的・構造的な視点をもって、分析・記述・考察するための社会学的視野の獲得を目指します。

【到達目標】

- ・基本的な現代社会の理論について理解し、具体的な事象に応用できる。
- ・現代社会において生起するさまざまな事象について取り上げ、その背景・帰結とともに考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進めます。毎回、提出課題（小レポート）を課し、具体的な事例についてまとめてもらうなどします。課題についてのフィードバックは、次回授業冒頭やまとめの回にて、いくつかの答案をピックアップする形でを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要説明、初回アンケートほか
第 2 回	リスク社会論	ベックのリスク社会論の要点と応用
第 3 回	消費社会論	ボードリヤールの記号消費論の要点と応用
第 4 回	格差社会論	〈格差〉から考える現代社会
第 5 回	監視社会論	管理／監視の技術から考える現代社会
第 6 回	情報社会論	インターネットが切り拓いた社会的地平
第 7 回	再帰的近代化論	ギデンズのモダニティ論を中心に
第 8 回	昭和ノスタルジア	『ALWAYS 三丁目の夕日』から考える現代社会
第 9 回	ポスト・トゥルース	陰謀論の時代
第 10 回	排除型社会	J・ヤングの著作を中心に
第 11 回	コンプライアンス社会	フラット化する文化と社会
第 12 回	平成史	平成とはいかなる時代だったか
第 13 回	アフター・コロナ	コロナ禍から考える現代日本社会
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。各回のテーマに沿った具体的事例の収集、考察、まとめに取り組んでください。

【テキスト（教科書）】

特に使用しない。

【参考書】

- ・長谷川公一ほか『社会学〔新版〕』（有斐閣、2019 年）
- ・本田由紀編『現代社会論—社会学で探る私たちの生き方』（有斐閣、2015 年）

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（50 %）＋期末レポート（50 %）。
記述の具体性・妥当性・独自性を基準に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

2020 年度以来オンデマンド型での実施となったが、受講生の反応を見る限り概ね好評であったように思う。今後も丁寧な資料作成を心がけたい。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives]

This course introduces students to the key concepts of contemporary social theories and to the ways of thinking about current social changes.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand fundamental approaches and theoretical arguments of contemporary social theories.
- think about social issues (cultural phenomena and so on) in contemporary context.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on Term-end report(50%) and Short reports(50%).

SOC200LA

社会学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 政治と社会における「問題の発見」

徐 玄九

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

授業では政治と社会に関わる様々な事例を取り上げながら、政治と社会を動かしている原理を理解するとともに隠れている問題の発見に努める。これらを通して、社会や政治、広くは時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付けることを目指す。問題解決能力は問題を発見する能力とそれを解決する能力に区分できる。問題解決能力の中心は「問題の発見」にある。診断ができれば治療することもできない医者のように、多くの領域において「問題解決」の主題は「問題の発見」である。この「問題の発見」こそが創造的な問題解決の出発点である。

【到達目標】

- ・政治と社会を動かしている原理と問題が発見できる。
- ・発見した問題を自分の言葉で論理的に発表、論述することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

「対面授業」を基本とする。数回、予習・復習の課題 (リアクションペーパー課題) 課す予定であり、課題等の提出・フィードバックは「Hoppii 学習支援システム」を通じて行う予定である。具体的な進め方は初回 (ガイダンス) で発表する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要、成績評価の方法と基準
2	ライト・ミルズ『社会「社会学的想像力」の役割を学ぶ	社会学的想像力
3	何が私たちの行動を規制するのか	道徳的圧力と同調圧力
4	政治と規範	正義論の系譜
5	逸脱の政治	社会的烙印
6	税と正義	宝くじの政治社会学
7	中間テストおよび中間まとめ	中間テストおよび中間まとめ
8	戦争について	テキストの「社会的失明の時代」の講読
9	歴史について	テキストの「失敗の意味」の講読
10	解放について	テキストの「人間の場所」の講読
11	自由について	テキストの「選択と選別の間」の講読
12	日本の近代の始まりについて	藤田省三「維新の精神」の講読
13	歴史とナショナリズム	丸山眞男「超国家主義の論理と心」の講読
14	複製技術とナショナリズム	ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』の講読

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

参考書とレジュメや参考文献などの資料を事前に配布するので、予習として授業内容を把握し、授業後は復習をすること。

・事前学習 2 時間: 概念の調べ、教科書や参考文献を事前に読んでおく。

・事後学習 2 時間: ノートの整理、教科書の他、関連する文献を調べて読む。

【テキスト (教科書)】

市村弘正・杉田敦 (2005) 『社会の喪失』 (中公新書、858 円)。

この他、配布資料 (レジュメ、参考文献の抜粋) を用いる。

【参考書】

ベネディクト・アンダーソン (1997) 『増補版 想像の共同体』 NTT 出版。

杉田敦 (2009) 『政治への想像力』 岩波書店。

森達也 (2003) 『放送禁止歌』 知恵の森文庫。

山本七平 (2018) 『「空気」の研究』 文春文庫。

【成績評価の方法と基準】

(1) 成績評価方法

・平常点と中間テスト、期末テストの合計点で評価する。

・予習・復習課題を課す。

・グループディスカッションの積極的な参加者をより高く評価する。

・課題の評価は、概念や理論の正しい理解と論理的な叙述を重視する。

(2) 成績評価基準・評価の配分

・各課題に対して「自主的な学習の成果が認められている」/「明確な論点の提示、論理的な論述がなされている」/「最低限の論点が提示されている」の三つの段階で評価する。

・期末テスト (30%)、中間テスト (30%)、予習・復習課題 (20%)、グループディスカッション参加 (20%)

【学生の意見等からの気づき】

グループディスカッションの時間を増やす。

【Outline (in English)】

How should we understand the relationship between society and politics? The purpose of this class is to understand the principles that move society and politics and to find hidden problems by taking various examples related to society and politics.

The goal of this course is to provide students with an understanding of the basic issues, principles, and approaches of political sociology.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (30%), term-end examination (30%), Short reports (20%), in class contribution (20%).

SOC200LA

社会学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：国家と市民の役割—政治葛藤の社会学的理解

徐 玄九

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国家の本質、機能、市民の役割などについて学ぶ。具体的には、マックス・ウェーバーによって定義された支配と服従、国家などの概念を手掛かりに、歴史上登場した国家論の変遷と共に「市民」や政治制度の「民主主義」に関する理論を取り上げる。これらを通して受講者自らの「国家」と「市民」、「民主主義」に関する見解と比較してみることで、自らの考え方を少しでも明瞭にすることが目的である。

【到達目標】

- ・政治社会学の基本的な概念を自分の言葉で論理的に発表、論述することができる。
- ・近代における国家論の変遷を歴史的な文脈で理解できる。
- ・政治葛藤の社会学的な理解力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「対面授業」を基本とする。数回、予習・復習の課題（リアクションペーパー課題）課す予定であり、課題等の提出・フィードバックは「Hoppii 学習支援システム」を通じて行う予定である。具体的な進め方は初回（ガイダンス）で発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	政治社会学の概要	主な問題関心とテーマの概説
2	古典講読①	マックス・ウェーバー『職業としての政治』を手掛かりに基礎概念の理解する
3	古典講読②	マックス・ウェーバー「支配の三類型」について学ぶ
4	トマス・ホブズ『リヴァイアサン』	国家主義国家論の基礎を学ぶ
5	ジョン・ロック『統治二論』	自由主義国家論①
6	アダムスミス『国富論』	自由主義国家論②
7	中間テストおよび中間まとめ	中間テストおよび中間まとめ
8	ジャン＝ジャック・ルソー『人間不平等起源論』	自由と平等の相互関係について学ぶ
9	カール・マルクス『共産党宣言』	階級国家論、国家消滅論—解放の方法や在り方に関する議論を学ぶ
10	カール・ポパー『開かれた社会とその敵』	民主主義に対する考え方を学ぶ
11	オルテガ・イ・ガセツ『大衆の反逆』	大衆民主主義論の基本を学ぶ
12	エリック・フロム『自己からの逃走』	自発的服従について学ぶ

13 ヘンリー・デイヴィッド 「市民的不服従」について学ぶ
ド・ソロー『市民の反抗』

14 ラインホルド・ニー 個人道徳と社会道徳の違いを理解
バ『道徳の人間と非道徳的社会』

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

参考書とレジュメや参考文献などの資料を事前に配布するので、予習として授業内容を把握し、授業後は復習をすること。

・事前学習 2 時間：概念の調べ、教科書や参考文献を事前に読んでおく。

・事後学習 2 時間：ノートの整理、教科書の他、関連する文献を調べて読む。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を用いる。

【参考書】

マックス・ウェーバー（1919 = 2018）野口雅弘訳「仕事としての政治」『仕事としての学問・仕事としての政治』講談社。

ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方〔第 2 版〕』ちくま学芸文庫。

【成績評価の方法と基準】

(1) 成績評価方法

・平常点と中間テスト、期末テストの合計点で評価する。

・予習・復習課題を課す。

・グループディスカッションの積極的な参加者をより高く評価する。

・課題の評価は、概念や理論の正しい理解と論理的な叙述を重視する。

(2) 成績評価基準・評価の配分

・各課題に対して「自主的な学習の成果が認められている」/「明確な論点の提示、論理的な論述がなされている」/「最低限の論点が提示されている」の三つの段階で評価する。

・期末テスト（30 %）、中間テスト（30 %）、予習・復習課題（20 %）、グループディスカッション参加（20%）

【学生の意見等からの気づき】

グループディスカッションの時間を増やす。

【Outline (in English)】

The purpose of this class is to understand the interrelationship between politics and social structure from a macroscopic point of view. We will learn the basics of classical theories on civil society and state, political ideology and class conflict, and look at various topics of civil society from an institutional and cultural perspective.

The goal of this course is to provide students with an understanding of the basic issues, principles, and approaches of political sociology.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (30%), term-end examination (30%), Short reports(20%)、in class contribution(20%).

POL200LA

政治学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

木村 正俊

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

テーマ: フォークミュージックの政治学

音楽における政治的抵抗について考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

【到達目標】

ミシェル・フーコーについての基本的知識を得ること。

US のフォークミュージックと政治との関係について理解すること
19 世紀以降の US の政治と社会、特に人種差別についての基本的知識を得ること。【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。

対面授業は最低 7 回以上行う。

授業の初めに、前回授業時の個別質問に対する回答や、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
# 1	Intro.	講義の概要とやり方について
# 2	ミシェル・フーコー (1)	フーコーの権力論
#3	ミシェル・フーコー (2)	フーコーのパレーシア
# 4	ミシェル・フーコー (3)	フーコーのキュニコス派論
# 5	西洋の歴史における キュニコス派	キュニコス派と抵抗: 「シェイク スピアとボブ・ディラン
# 6	民俗学の政治学	フォークの概念の成立
# 7	US のフォークミュー ジック	真のフォークとフォークミュー ジックの追求
#8	WW I 後のフォーク ミュージック	フォークミュージックの政治経済 学
# 9	黒人音楽と抵抗 (1)	「奇妙な果実」: US の人種差別
#10	黒人音楽と抵抗 (2)	スピリチュアルと抵抗
#11	ブルースの系譜学 (1)	Before the Blues
# 12	ブルースの系譜学 (2)	ジム・クロウ体制とブルース
# 13	ブルースの系譜学 (3)	真正なブルースの追求
# 14	Outro.	春学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回配布するプリントを授業の前に目を通し、授業後に復習する。

紹介された参考文献を読む。

本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

プリントを配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート 100 %

【学生の意見等からの気づき】

ポピュラーミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。

しかしながら、洋楽やボブ・ディランについての知識がない学生に配慮して授業を行います。

【その他の重要事項】

ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。

授業時間外の質問はメールや ZOOM によるミーティングで対応します。

大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に 2 時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』(ちくま新書、2019 年)を参照してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Theme: Politics of folk music

This course deals with political resistance in music.

The fundamental aim of this course to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering political resistance in music.

< Learning Objectives >

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire basic knowledge of Michel Foucault

To understand relationships between American folk music and politics

To acquire basic knowledge of politics and society of the United States,

especially racism, since the nineteenth century

< Learning activities outside of classroom >

Read the prints distributed each time before class and review after class.

Read references.

Your study time will be more than four hours for a class.

< Grading Criteria /Policy >

Final grade will be calculated according to term-end report.

POL200LA

政治学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

木村 正俊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：ボブ・ディランと政治

ボブ・ディランと US 政治の関係について考察する。

ボブ・ディランと US 政治の関係について考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

【到達目標】

WW II 以降の US の政治と社会についての基本的知識を得ること。
ボブ・ディランの信仰を考察することによって、ユダヤ教とキリスト教についての基本的な知識を得ることと、宗教と政治の関係について理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。

対面授業は最低 7 回以上行う。

授業の初めに、前回授業時の個別質問に対する回答や、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
# 1	Intro.	講義の概要とやり方について
# 2	戦間期のフォークミュージック	フォークミュージックと政治の交錯
# 3	本当のフォークミュージックの追求	ローマックス親子とレッド・ベリーの
# 4	プロテスト・フォークミュージックの登場	ウディ・ガスリーを中心に
# 5	マッカーシズムとフォーク・リヴァイバル	ピート・シガーを中心に
# 6	古くて奇妙なアメリカ	ハリー・スミスとコラージュの政治学
#7	ボブ・ディランの登場	プロテスト・フォークミュージックの政治学
# 8	1965 年	US のニュー・レフトとボブ・ディラン
# 9	ピート・ジュネレーション	文学による政治の変容
#10	カウンターカルチャー	カウンターカルチャーの時代とその後
#11	The Basement Tapes	Bob Dylan の「古くて奇妙なアメリカ」あるいは「見えない共和国」
# 12	Slow Train Coming	Bob Dylan の改宗と US の政治と社会
# 13	Things Have Changed.	終末論と US の政治と社会

#14 Outro.

秋学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回配布するプリントを授業の前に目を通し、授業後に復習する。
紹介された参考文献を読む。
本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

湯浅学『ボブ・ディラン ロックの精霊』（岩波新書、2013 年、760 円＋税）

プリントを配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート 100 %

【学生の意見等からの気づき】

ポピュラー・ミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。

洋楽についての知識がなくてもかまいませんが、興味・関心を持っていることは必要です。

【その他の重要事項】

ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。

授業時間外の質問はメールや ZOOM によるミーティングで対応します。

大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に 2 時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019 年）を参照してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Theme: Bob Dylan and Politics

This course deals with the political world of Bob Dylan.

The fundamental aim of this course is to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering the political world of Bob Dylan.

< Learning Objectives >

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire basic knowledge of politics and society of the United States since the Second World War

To acquire basic knowledge of Judaism and Christianity and to understand relationships between politics and religion by considering the religious belief of Bob Dylan

< Learning activities outside of classroom >

Read the prints distributed each time before class and review after class.

Read references.

Your study time will be more than four hours for a class.

< Grading Criteria /Policy >

Final grade will be calculated according to term-end report.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 「同時代」をめぐる問い

ベル 裕紀

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。また週によっては、比較的短い文章を読んでもくるなどの予習課題を課し、受講者に発言してもらうこともある。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと 80 年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	「負い目」の政治学	D. グレーバーや小田亮の議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	法と政治と人類学と	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。

第四回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。
第五回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第六回	病とケアと身体	P. ファーマーの「構造的暴力」と病の関係性の指摘や田辺繁治のタイのエイズ患者の自助組織を対象とした研究などを例にしながら、病とケアのあり方について理解を深める。
第七回	機械と工業の人類学	工場は労働力と機械とモノの流通の結節点として捉えることができる。工場で作られる製品はそうした流通と生産のネットワークの中で捉えることができる。この授業では、人類学における科学技術論などを参照しながら、製品のオーサーシップやあるいは機械そのものに対する理解を深める。
第八回	都市人類学	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
第九回	グローバル化の人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
第十回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十一回	人権と人類学	1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね 2 時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト (教科書)】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート 50 %、毎回のリアクションペーパー 45 %、授業への参加度 5 % で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。毎回の授業の冒頭に前回の学生回答の紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。また、学習支援システムを通じ、授業のレジュメや参考となる文書を事前に学生に配布する（レジュメに関しては授業当日にプリントしたものを配布する）。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA

文化人類学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：宗教人類学

谷 憲一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

異なる社会・文化の研究を通じて展開してきた文化人類学は、他者理解・自己理解の学問です。本講義では人類学的な宗教研究の基本的なアプローチを学説史的に概観し現代の宗教現象に対して人類学的にアプローチする方法を学びます。後半では、現代のイスラームの事例を通じて、人類学的なアプローチから宗教についての理解を深めます。

【到達目標】

宗教人類学における主要な理論について、自分自身の身近な事例と結び付けながら自分の言葉で説明することができる。世界の様々な宗教について知るとともに、自らの宗教観についても批判的に見つめなおすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式でおこない、適宜関連する音声教材、映像資料を用いる。講義全体の前半部で人類学の古典的ともいえるテーマを取り上げ、後半部で今日的な問題意識に基づいたテーマを取り上げる。受講生の理解度や関心を把握するためにリアクションペーパーを提出してもらい、その内容や寄せられた質問について、授業内で全体に対しフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	宗教の人類学的研究の特徴	文化人類学の基本的な考え方、宗教という対象について
②	進化論アプローチ	タイラーやフレイザーらの議論とその問題
③	デュルケームの宗教論	デュルケームによる宗教論とその展開
④	モースの贈与論	モースの贈与論とその展開
⑤	機能主義アプローチ	エヴァンス＝プリチャードの妖術論、合理性論争
⑥	通過儀礼・象徴論	ファン・ヘネップ、ターナー、ダグラス
⑦	解釈人類学	ウェーバーの理解社会学からギアツの解釈学的アプローチへ
⑧	「宗教」概念の系譜学	アサドによるギアツ批判
⑨	世俗化と宗教復興	近代社会における宗教をめぐる相反する見解について
⑩	イスラームの人類学（1）	イスラームの教義の基礎について
⑪	イスラームの人類学（2）	世界のムスリムの実践の多様性と言説的伝統
⑫	イスラームの人類学（3）	ヒジャーブ問題と世俗主義
⑬	イスラームの人類学（4）	現代イランのホセイン追悼儀礼の事例分析

⑭ 総括

これまでの授業の総括・最終レポートの作成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパーと授業への取り組み姿勢による平常点（30％）および最終レポート（70％）により、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方について随時受講生の意見を聞き、授業に反映させていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを用いて資料を配布することがあります。

【その他の重要事項】

授業の展開によって、各回の内容や順番に若干の変更があります。

【Outline (in English)】

Cultural anthropology, which has been developed through the study of different societies and cultures, is the study of understanding others/ourself. In this course, we will review the basic approaches to the study of religion from an anthropological perspective, thus learning how to approach contemporary religious phenomena from an anthropological perspective. In the second half of the course, we will apply our anthropological approach to understanding religion to the case study of contemporary Islam.

The class will be conducted in a lecture format, and related video materials will be used as appropriate. Students will be asked to submit reaction papers in order to grasp their level of understanding and interest, and feedback will be given to the entire class on the contents of the papers and questions raised. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Students will be evaluated comprehensively based on their reaction papers and attitude toward the class (30%) and final report (70%).

CUA200LA

文化人類学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

北原 卓也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、文化人類学で扱われる現在の我々の生活に密接な医療、スポーツ、観光といったトピックについて考える。また、オセアニアという地域に焦点をあて、地域から文化的な事象をみていく。普段、何気なく接している事柄を新たな視点から捉えられるようになることを目指す。

【到達目標】

本講義の到達目標は下記の通り。

- (1) 文化人類学で扱われるトピックについて理解する。
- (2) 他者の文化との比較から自身の「あたりまえ」を認識し言語化する。
- (3) 自身の「あたりまえ」とらわれない新たな視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づき対面とオンライン組み合わせで行います。

配布するレジュメに沿って講義を行い、扱うトピックによってディスカッションを行うことがあります。

また、映像を視聴することで理解を深める場合もあります。

毎回授業後にはコメントシートの提出していただきます。

提出されたコメントシートは次回授業の冒頭でいくつか紹介します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：講義の目的と概要	授業の進め方と目的について確認した後、担当教員の研究フィールドの紹介や文化人類学という学問分野について説明する
2	医療	医療を文化の視点から捉えられるようになる
3	スポーツ	スポーツを文化の視点から捉えられるようになる
4	観光	文化現象としての観光を理解する
5	贈与	贈与という行為について身近な事例と世界の事例を比較しながら理解する
6	開発	開発と文化をめぐる諸問題について考察する視点を獲得
7	中間のまとめ	これまでの講義の理解度を確認するため課題に取り組む
8	中間のまとめのフィードバック	中間のまとめについてフィードバックを行う
9	人の移動	移民や難民について理解する
10	コミュニティ	文化人類学の古典的なテーマである家族・親族の研究について理解する

11	オセアニアの人類学 1: オセアニアとはどこか	オセアニアの地理と歴史について概観し、各地域の文化の背景を理解する
12	オセアニアの人類学 2 ：タトゥーを入れる人々	身体変工についてポリネシア地域で見られるタトゥー文化の事例から理解する
13	オセアニアの人類学 3 ：トンガ王国の祝祭	祝祭についてトンガ王国の戴冠式の事例から理解する
14	まとめと確認（試験）	今期のまとめとして教場試験を行います

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の準備として、指定する文献や配布するプリントまたは映像作品に目を通しておくこと。授業後は配布するレジュメを復習し、内容をきちんと理解しておくこと。1 回の授業につき、準備・復習は各 3 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメや資料を配布します。

【参考書】

『よくわかる文化人類学』、綾部恒雄・桑山敬己（編）、ミネルヴァ書房、2010 年。

『オセアニア史』山本真鳥（編）、山川出版会、2000 年。

『オセアニアの人類学-海外移住・民主化・伝統の政治』須藤健一、風響社、2008 年。

『太平洋諸島の歴史を知るための 60 章-日本とのかかわり』石森大地・丹羽典生（編）、明石書店、2019 年。

【成績評価の方法と基準】

中間のまとめ：30 %、期末試験（またはレポート）：40 %、平常点（コメントシート）：30 %

2/3 以上の出席で評価対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

This course introduce the concept of Cultural Anthropology and its research method as tools to understand different cultures.

The goal of this course are:

- (1) to understand the topics of Cultural Anthropology
- (2) to compare cultures and explain differences between your culture and other culture
- (3) to gain the new point of view

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term exam (30%), term-end examination or report (40%), and in-class contribution through comment sheets you should submit after each class(30%).

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Cultural Anthropology L

長沢 利明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化人類学の基礎について学ぶ。人間と文化との関係の構造的な理解をめざし、さまざまなテーマからそれを見ていく。

【到達目標】

文化人類学のもっとも基本的な研究課題としての「人間と文化との関係」を、さまざまな具体的なテーマを提示しながら、考えていく。特に、文化の変容面・動態的側面に注目しつつ、生態環境・生活空間・儀礼構造・民間信仰・民族問題などの諸側面から、この問題を検討して試みることにする。この作業を通じて、文化人類学的な物の考え方や研究方法、分析視角などを学んでいくことにし、極力わかりやすい形で、それを講義して試みたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回ひとつずつ基本テーマを取り上げ、それに関する詳細情報やデータ類を提示しつつ、解説と検討をおこなう。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	プロローグ	受講にあたっての注意事項、授業の全体計画などについて解説。
②	焼畑と植生Ⅰ	日本の焼畑農業の実態を長野県秋山郷を例に解説する。
③	焼畑と植生Ⅱ	日本の焼畑農業の実態を山梨県奈良田を例に解説する。
④	住居と生活空間	住居と居住空間の多様性、その文化的拌啓などについて学ぶ。
⑤	年中行事の構造	日本の年中行事の特色を、その構造分析の側面から開設する。
⑥	民間信仰と文化変容	宗教人類学および日本の民間信仰の特性について学ぶ。
⑦	台湾の社会と民族問題	台湾における多民族社会の実情と問題点について学ぶ。
⑧	アミ族の社会変化	母系制社会の変容の実態をアミ族を例に解説する。
⑨	ブヌン族の社会変化	父系制社会の変容の実態をブヌン族を例に解説する。
⑩	東京のイスラム	日本におけるイスラム教徒の実情を、タータル人社会を例に解説する。
⑪	沖縄文化の特色	沖縄の固有文化の特色とその国際性について学ぶ。
⑫	冬季フィールドワーク解説	冬休みのフィールドワークとレポート作成について解説。

- ⑬ 文化人類学の将来 全体の補足解説として、これからの文化人類学研究の課題・方向性を述べる。
- ⑭ 秋学期授業のまとめ 秋学期授業の全体的な総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での復習をおこない、配布されたプリント資料などを通読し、整理しておくこと。教員への質問事項なども用意しておくことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は特に使用せず、そのかわりに毎回、教室でプリント資料を配布する。それが、いわばテキストがわりとなる。

【参考書】

必要な文献資料や読んでおくべき参考書類は、授業時間内に適宜紹介していく。

【成績評価の方法と基準】

学期末授業時間内試験によって成績評価をおこなう（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケート結果を尊重し、極力受講者からの要望を取り入れ、つねに授業内容の改善につとめていく。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: about general theory of cultural anthropology, basic problems on cross cultural and environmental facts.

Learning objectives: We will consider the "relationship between humans and culture" as the most fundamental research question of cultural anthropology, presenting a variety of specific themes.

Learning activities outside of classroom: The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading criteria/policies: Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 100%.

CUA200LA

文化人類学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：「同時代」をめぐる問い

ベル 裕紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回アクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。また週によっては、比較的短い文章を読んでもくるなどの予習課題を課し、受講者に発言してもらうこともある。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと 80 年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	「負い目」の政治学	D. グレーバーや小田亮の議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	法と政治と人類学と	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。

第四回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。
第五回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第六回	病とケアと身体	P. ファーマーの「構造的暴力」と病の関係性の指摘や田辺繁治のタイのエイズ患者の自助組織を対象とした研究などを例にしながら、病とケアのあり方について理解を深める。
第七回	機械と工業の人類学	工場は労働力と機械とモノの流通の結節点として捉えることができる。工場で作られる製品はそうした流通と生産のネットワークの中で捉えることができる。この授業では、人類学における科学技術論などを参照しながら、製品のオーサーシップやあるいは機械そのものに対する理解を深める。
第八回	都市人類学	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
第九回	グローバル化の人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
第十回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十一回	人権と人類学	1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね 2 時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート 50 %、毎回のリアクションペーパー 45 %、授業への参加度 5 %で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。毎回の授業の冒頭に前回の学生回答の紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。また、学習支援システムを通じ、授業のレジュメや参考となる文書を事前に学生に配布する（レジュメに関しては授業当日にプリントしたものを配布する）。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

梅村 絢美

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 集中・その他/intensive・other courses

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本講義は、主にインドとスリランカにおける伝統的な身体観やヘルスケア実践、現代医療の諸相について紹介しながら、南アジアにおける身体を取り巻く諸事象について総合的に学習します。これを通じて、南アジア特有の身体観のありようについての知識を蓄積するのみならず、受講生自身の実体験と関連付けながら理解することを最終的な目標とします。「遠い世界に住む自分と関係ない人たちのこと」として聞き流すのではなく、主体的に思考しながら受講してください。

【到達目標】

本授業は、以下の到達目標のもと進めていきます。

- (1) 文化人類学の思考の枠組みを理解し実生活のなかで実践できる。
- (2) 自身のもつヘルスケアに対する考え方や衛生観、身体観を相対化し、様々な社会におけるヘルスケア実践をその文脈に即して理解することができる。
- (3) 文化人類学の思考の枠組みを用いて自身の経験や身の回りの出来事を理解し、それを他者にに向けて発信することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づきオンデマンド動画配信型で行ないます。

各回の授業開始時刻までに「学習支援システム」の「授業内掲示板」から授業動画の URL をお知らせしますので、授業日から一週間以内を目安に受講し、適宜小レポートを「学習支援システム」の「課題」から提出してください。授業実施に関する詳細は、初回授業開始日の一週間前までに「学習支援システム」よりお知らせします。授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	文化としての病気と健康	病気や健康といった価値は、それをそうまなぞ社会に固有のものであるとする人類学的な「ものの見方」について考えます。
2	南アジア社会における身体とヘルスケア	南アジア社会の地理的環境や歴史、社会、ヘルスケア実践について触れながら概要を紹介しします。
3	手で診る、手で癒す: スリランカ伝承医療の実践	私 (担当教員) が調査研究をしているスリランカの伝承医療の治療家による「手」という身体部位を用いた診療について紹介しします。
4	アーユルヴェーダの身体観①宇宙と連動する身体	宇宙や自然環境と相互作用しながら調和が保たれた状態 = 健康とするアーユルヴェーダに特有の身体観について紹介しします。

5	アーユルヴェーダの身体観②薬草の力、身体と健康	アーユルヴェーダの薬草を用いた治療法について、薬草の持つ効力と身体内のバランスに注目しながら解説しします。
6	ヨーガの身体観①宇宙を取り込み循環させる	ヨーガの成り立ちについて解説した上で、人体を小宇宙として捉えるヨーガ特有の身体観について紹介しします。
7	ヨーガの身体観②瞑想からヘルスケアへ	瞑想法としてのヨーガがヘルスケア実践として意味が大きく変容していった過程について紹介した上で、ヨーガチキッサー (ヨガ療法) と称されるアシュタンガヨガの身体観の浄化を志向して組織された連続するアーサナ (ポーズ) について検討しします。
8	活かすための武術: カラリパヤットとマルマ療法	南インドの伝統武術カラリパヤットの実践について、その目的と武術の中に取り入れられたマルマ療法に注目しながら解説しします。
9	身体熱と冷	儀礼や家庭生活において見られる熱と冷のレトリックについて、初潮儀礼と家庭でのヘルスケア実践に注目しながら考えます。
10	癒しと呪術	スリランカにおける悪魔祓いをはじめとした呪術的な癒しについて、私 (担当教員) がフィールドで見てきた事例について映像を交えて紹介しします。
11	罪と不浄: 南アジアのヴェジタリアニズム	輪廻転生を基本とする南アジアの諸宗教に特徴的な業食主義について、不殺生と不浄観に注目しながら考えます。
12	ナショナリズムと健康: ガーンディーのヘルスケア実践	インド独立の父として知られる M.K. ガーンディーの独立思想は、自身の心身を自身で律するという意味でのヘルスケアの実践でもありました。今回はガーンディーの遺したヘルスケア指南書を紐解きながら、スワラージ (自治) としての健康というガーンディー独自のヘルスケアについて考えます。
13	医療とツーリズム	グローバルに展開する南アジアのヘルスケアについて、伝統医療と生物医療 (いわゆる西洋医療) をめぐるツーリズムに注目しながら検討しします。
14	消費される身体	インドにおける生殖医療ツーリズムについて、主に代理母出産に注目しながら考えます。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

購入が必要なテキストの指定はありません。

【参考書】

田辺明生ほか編著『南アジア社会を学ぶ人のために』、2010 年、世界思想社。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート (60%) および各回の小レポートの内容 (40%) にもとづき総合的に評価します。いずれも、「到達目標」の達成具合を基準に評価します。

出席は授業参加の前提条件であって成績評価の基準とはなりません。また、小レポートの提出は、そこに記述された内容から授業の理解度を確認するためのものであり、出席確認を目的としたものではありません。

【学生の意見等からの気づき】

学習支援システムを通じて寄せられるコメントには、可能な限り迅速に回答していきます。

【Outline (in English)】

【Course outline and objectives】 This lecture will comprehensively study various phenomena surrounding the body in South Asia, while mainly introducing the traditional view of the body in India and Sri Lanka, practical health care, and various aspects of modern medicine. Through this, the ultimate goal is not only to accumulate knowledge about the physical condition peculiar to South Asia, but also to understand it in relation to the students' own actual experiences.

【Learning activities outside of classroom】

students need to read books or papers related to South Asian Studies or self health care out side of classroom.

【Grading Criteria /Policy】

Term end Report(60%) and reaction paper submitted every class(40%)

CUA200LA

文化人類学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：宗教人類学

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。

世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

オンデマンド配信。学習支援システムを利用して資料を配布する。毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第 2 回	宗教人類学	宗教的なものについて
第 3 回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第 4 回	アニミズム	アニミズムと自然
第 5 回	シャーマニズム	自と他
第 6 回	身体①	儀礼とインタラクション
第 7 回	身体②	儀礼と認識の変容
第 8 回	生と死	境界づける
第 9 回	呪物	モノから宗教を考える
第 10 回	科学と宗教	現実とはなにか
第 11 回	経済	資本主義と宗教
第 12 回	政治	国家と宗教
第 13 回	偶然性	現代世界の宗教的なもの
第 14 回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。

人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

特になし（本年度授業担当者変更のため）

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA

文化人類学Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 妖怪と存在論的転回

廣田 龍平

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、現代の文化人類学において重要な潮流の一つである、いわゆる「存在論的転回」について、妖怪・怪異や幽霊などの非日常的な存在と人間との関係性をおして学んでいきます。私たちが生きる現代社会は、自然と文化、知識と信念、合理性と非合理性など、物事にさまざまな区分をすることによって成り立っていますが、世界には、そのような区分とは大きく違ったかたちで自分たちの環境を生きている人々の社会もあります（アニミズムなど）。この授業では、日本に限らず、妖怪や幽霊など現代社会では実在しないとされるものの事例をとおして、世界のさまざまな生き方を学んでいきます。

【到達目標】

現代の文化人類学で展開しているさまざまな理論や概念を学ぶことにより、異文化のみならず自文化についても基礎的なレベルから理解する方法を身につける。さらに、妖怪や幽霊など、実在しないとされる対象がどのように扱われているのかを学ぶことにより、大衆文化の表象や身近な経験について、文化人類学的な側面から表現できるようにすることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業は、パワーポイントおよびレジュメ資料にもとづく講義形式で実施する。各回授業ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。授業終了後、すみやかに短いコメントを提出してもらい、次回授業の冒頭でいくつかを取り上げてフィードバックをおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	現代の文化人類学と妖怪研究と「存在論的転回」の関係を説明する。
2	日本の妖怪研究史	過去半世紀にわたる文化人類学的な妖怪研究を概観する。境界論を中心に学ぶ。
3	アニミズムと化ける動物たち	異類婚姻譚や妖狐譚など、生き物が人間に変身する話を、アニミズム理論を用い、世界的な視野から理解する。
4	トーテミズムと動物の祖先	オーストラリア先住民にとっての、人間と人間以外の存在との関係のあり方を学ぶ。
5	アナロジズムと万物照応の世界	古代・中世のヨーロッパや日本などの社会で、権力が古い怪異と結びついていた実態を説明する。

6	自然と文化からハイブリッドへ	文化人類学の基礎にある「自然と文化」という二分法の成り立ちや、それに対する批判を解説する。
7	アクターネットワーク理論	存在論的転回にとって重要な理論を学ぶ。
8	科学と俗信と民俗学	アクターネットワーク理論などを用い、科学と俗信の関係や、俗信を研究してきた民俗学的実践を理解する。
9	都市伝説と学校の怪談	20 世紀後半の日本やアメリカの都市社会における妖怪や怪異の展開を学ぶ。
10	ネットロアとクリーピーバスタ	21 世紀、インターネットの時代におけるグローバルな妖怪や怪異のあり方を学ぶ。
11	比較妖怪学	これまでの授業を踏まえ、日本の妖怪を中心として、国外の怪物や妖精と比較する人類学的視点を説明する。
12	心霊主義と超常現象	近現代の妖怪・怪異を支えてきた思想が非近代的なものとどのように違うのかを理解する。
13	合理性と非合理性、文明と未開、自己と他者	妖怪を語るとき使われる合理性と非合理性という二分法を考え直していく。
14	全体のまとめ	存在論的転回と妖怪の関係についてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業では見られない考え方が多く登場するので、授業外でも、まずは自分がどのように世界を認識していたのかを考え、授業中に紹介した事例に加えて、聞いたことのある神話伝説や妖怪・怪異などと比べることをとおして、これまで知らなかった世界の認識方法や生き方を理解すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。毎回の授業に関連する文献を紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてください。

【参考書】

フィリップ・デスコラ 2020 年『自然と文化を越えて』水声社
ブリュノ・ラトゥール 2019 年『社会的なものを組み直す』法政大学出版局
マイケル・ディラン・フォスター 2017 年『日本妖怪考』森話社
香川雅信 2022 年『日本妖怪史』河出書房新社

【成績評価の方法と基準】

毎回提出するレポート（60%）
期末レポート（40%）

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

This course introduces the ontological turn in cultural anthropology to students taking this course. In doing so, this course takes cases primarily from relationships of human with nonhuman beings around the world, especially with ghosts and mysterious beings in Japan (so-called *yōkai*).

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. Understanding other cultures by applying concepts and theories of contemporary anthropology.
- B. Explaining various representations of nonhuman beings in popular culture as well as your personal experiences through anthropological concepts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end paper: 40%, Short reports : 60%

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

梅村 絢美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses
単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、主にインドとスリランカにおける伝統的な身体観やヘルスケア実践、現代医療の諸相について紹介しながら、南アジアにおける身体を取り巻く諸事象について総合的に学習します。これを通じて、南アジア特有の身体のありようについての知識を蓄積するのみならず、受講生自身の実体験と関連付けながら理解することを最終的な目標とします。「遠い世界に住む自分と関係ない人たちのこと」として聞き流すのではなく、主体的に思考しながら受講してください。

【到達目標】

本授業は、以下の到達目標のもと進めていきます。

- （1）文化人類学の思考の枠組みを理解し実生活のなかで実践できる。
- （2）自身のもつヘルスケアに対する考え方や衛生観、身体観を相対化し、様々な社会におけるヘルスケア実践をその文脈に即して理解することができる。
- （3）文化人類学の思考の枠組みを用いて自身の経験や身の回りの出来事を理解し、それを他者に向けて発信することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づきオンデマンド動画配信型で行ないます。

各回の授業開始時刻までに「学習支援システム」の「授業内掲示板」から授業動画の URL をお知らせしますので、授業日から一週間以内を目安に受講し、適宜小レポートを「学習支援システム」の「課題」から提出してください。授業実施に関する詳細は、初回授業開始日の一週間前までに「学習支援システム」よりお知らせします。授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	文化としての病気と健康	病気や健康といった価値は、それをそうまなず社会に固有のものであるとする人類学的な「ものの見方」について考えます。
2	南アジア社会における身体とヘルスケア	南アジア社会の地理的環境や歴史、社会、ヘルスケア実践について触れながら概要を紹介しします。
3	手で診る、手で癒す：スリランカ伝承医療の実践	私（担当教員）が調査研究をしているスリランカの伝承医療の治療家による「手」という身体部位を用いた診療について紹介しします。
4	アーユルヴェーダの身体観①宇宙と連動する身体	宇宙や自然環境と相互作用しながら調和が保たれた状態＝健康とするアーユルヴェーダに特有の身体観について紹介しします。

5	アーユルヴェーダの身体観②薬草の力、身体 の健康	アーユルヴェーダの薬草を用いた 治療法について、薬草の持つ効力 と身体内のバランスに注目しながら 解説します。
6	ヨーガの身体観①宇宙 を取り込み循環させる	ヨーガの成り立ちについて解説し た上で、人体を小宇宙として捉え るヨーガ特有の身体観について紹 介します。
7	ヨーガの身体観②瞑想 からヘルスケアへ	瞑想法としてのヨーガがヘルスケ ア実践として意味が大きく変容し ていった過程について紹介した上 で、ヨーガチキッサー（ヨガ療 法）とも称されるアシュタンガヨ ガの身体の浄化を志向して組織さ れた連続するアーサナ（ポーズ） について検討します。
8	活かすための武術：カ ラリパヤットとマルマ 療法	南インドの伝統武術カラリパヤッ トの実践について、その目的と武 術の中に取り入れられたマルマ療 法に注目しながら解説します。
9	身体の熱と冷	儀礼や家庭生活において見られる 熱と冷のレトリックについて、初 潮儀礼と家庭でのヘルスケア実践 に注目しながら考えます。
10	癒しと呪術	スリランカにおける悪魔祓いをは じめとした呪術的な癒しについ て、私（担当教員）がフィールド で見てきた事例について映像を交 えて紹介します。
11	罪と不浄：南アジアの ヴェジタリアニズム	輪廻転生を基本とする南アジアの 諸宗教に特徴的な菜食主義につい て、不殺生と不浄観に注目しなが ら考えます。
12	ナショナリズムと健康 ：ガンディーのヘル スケア実践	インド独立の父として知られる M.K. ガンディーの独立思想は、 自身の心身を自身で律するという 意味でのヘルスケアの実践でもあ りました。今回はガンディーの 遺したヘルスケア指南書を紐解き ながら、スワラージ（自治）とし ての健康というガンディー独自 のヘルスケアについて考えます。
13	医療とツーリズム	グローバルに展開する南アジアの ヘルスケアについて、伝統医療と 生物医療（いわゆる西洋医療）を めぐるツーリズムに注目しながら 検討します。
14	消費される身体	インドにおける生殖医療ツーリス ムについて、主に代理母出産に注 目しながら考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

購入が必要なテキストの指定はありません。

【参考書】

田辺明生ほか編著『南アジア社会を学ぶ人のために』、2010 年、世界思想社。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート (60%) および各回の小レポートの内容 (40%) に
もとづき総合的に評価します。いずれも、「到達目標」の達成具合を
基準に評価します。

出席は授業参加の前提条件であって成績評価の基準とはなりません。
また、小レポートの提出は、そこに記述された内容から授業の理解
度を確認するためのものであり、出席確認を目的としたものではありません。

【学生の意見等からの気づき】

学習支援システムを通じて寄せられるコメントには、可能な限り迅速
に回答していきます。

【Outline (in English)】

【Course outline and objectives】 This lecture will comprehensively study various phenomena surrounding the body in South Asia, while mainly introducing the traditional view of the body in India and Sri Lanka, practical health care, and various aspects of modern medicine. Through this, the ultimate goal is not only to accumulate knowledge about the physical condition peculiar to South Asia, but also to understand it in relation to the students' own actual experiences.

【Learning activities outside of classroom】

students need to read books or papers related to South Asian Studies or self health care out side of classroom.

【Grading Criteria /Policy】

Term end Report(60%) and reaction paper submitted every class(40%)

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：開発と文化の人類学

石森 大知

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、開発人類学、すなわち開発援助および国際協力のテーマを文化人類学の視点から取り上げる。現在、世界の各地で、2015 年に国連で定められた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けたさまざまな取り組みが実施され、その有効性に関する調査・研究も進んでいる。21 世紀において人類に課せられた課題は数多くあるが、貧困撲滅、健康向上（国際保健）、環境問題などへの対処は重要である。本授業では、これらの同時代的なグローバル・イシューを通して、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について考察する。

【到達目標】

- ・文化人類学、とくに開発人類学の専門的な概念や理論を習得する。
- ・ものごとを相対的に捉えることによって得られる他者理解の洞察力を身に付ける。
- ・同時代的なグローバル・イシューを理解するとともに、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について自らの視点から考察・検討する視点を育てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は「オンデマンド型／資料・教材コンテンツ配布型授業（全 14 回）」です。履修生のみさんには学習支援システムを通して配信される授業レジュメや動画等の資料を用いた学習を行っていただきます。
- ・授業の理解度や平常の取り組みを評価するため、基本的に毎回、授業コメントや質問・疑問を求めるリアクションペーパーを課します。
- ・リアクションペーパー等における興味深いコメントや質問等を授業内で取り上げ、全体に対してフィードバックを行うとともに、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要、成績評価方法の説明
第 2 回	開発概念と関連理論①	開発の誕生
第 3 回	開発概念と関連理論②	社会開発への転換
第 4 回	開発援助と ODA, そ	開発援助とのかかわり方して人類学者
第 5 回	貧困撲滅の取り組み①	貧しい／豊かとは何か
第 6 回	貧困撲滅の取り組み②	マイクロファイナンス
第 7 回	健康な生活①	プライマリヘルスケア

第 8 回	健康な生活②	感染症対策と DOTS
第 9 回	森林開発と環境問題①	近代化と環境破壊
第 10 回	森林開発と環境問題②	ソロモン諸島の植林事業
第 11 回	温暖化と環境言説①	ツバルの「海面上昇」
第 12 回	温暖化と環境言説②	ツバルの浸水被害と海岸浸食
第 13 回	観光開発と自然環境	エコツーリズムを考える
第 14 回	総括	授業のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業内で紹介する文化人類学や開発人類学の関連文献を読み、授業の理解を深める。
- ・図書館などで関連文献を調べ、自らの興味関心を広げる。
- ・本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書はとくに指定せず、必要に応じて関連資料を配布する。

【参考書】

授業中に適宜紹介するが、以下のものを挙げておく。
 信田敏宏ほか編『グローバル支援の人類学—変貌する NGO・市民活動の現場から』昭和堂、2017 年。
 佐藤寛・藤掛洋子編『開発援助と人類学—冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店、2011 年。
 佐藤寛『開発援助の社会学』世界思想社、2005 年。
 青柳まちこ編『開発の文化人類学』古今書院、2000 年。
 関根久雄『開発と向き合う人びと』東洋出版、1997 年。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート:40%、平常点（リアクションペーパー、出席状況等）:60%として総合的に評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする（ただし、平常点だけでは合格とはなりません。学期末レポートを提出しなかった場合、E 評価とします）。

【学生の意見等からの気づき】

文字や音声などの情報だけではなく、できるだけ多くの写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すようにする。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】

- ・学期末のレポートを提出しなかった場合、E 評価とします。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は授業内もしくは学習支援システムで周知します。

【Outline (in English)】

This course introduces the basics of development anthropology, which seeks to the application of anthropological perspectives to the multidisciplinary branch of development studies. The goals of this course are to obtain basic knowledge about the development anthropology, and understand the impacts of development on the local culture, environment and society. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end report (40%) and in class contribution (60%).

SOS200LA

社会思想 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と日本のなかのレイシズムについて学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3 ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では 3 ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、レイシズムについての考え方を学びます。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる

テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる

テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業を進めるごとに数回リアクションペーパーを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていきます。

（基本的には対面授業の予定ですが、感染症の拡大状況によってはオンライン形式を取ることもあります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の内容、授業の進め方、成績評価の方法
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	発生	日本の近代と在日朝鮮人の発生
4	レイシズム（1）	レイシズムの起源
5	レイシズム（2）	レイシズムの展開
6	コミュニティ	朝鮮人コミュニティの変容
7	強制動員	戦時下の在日朝鮮人
8	戦後	占領政策
9	帰国	帰国運動
10	二世（1）	二世たちの挑戦
11	二世（2）	転換期の思想と文化
12	グローバル化（1）	多民族化する日本社会
13	グローバル化（2）	国民の論理を超えて
14	まとめ	在日朝鮮人と日本の進む道

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回ごとに指定するテキストを事前に読んでおくことと理解の助けになります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

第 1 回のガイダンス時に説明します。

【参考書】

その他の参考資料については授業中に指定、配布します。

【成績評価の方法と基準】

4 回提出してもらうリアクションペーパー（40 %）と
期末レポート（60 %）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces the history of the Korean residents and racism in Japan to students taking this course.

This course aims to grasp the history of Zainichi and racism in Japan.

Students will be expected to spend two hours to understand the course content before/after each class meeting.

Grading will be decided based on four short reports (40 %), and one term-end report (60 %).

SOS200LA

社会思想 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3 ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では 3 ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる

テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる

テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業を進めるごとに数回リアクションペーパーを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていきます。

（基本的には対面授業の予定ですが、感染症の拡大状況によってはオンライン形式を取ることもあります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の内容、授業の進め方、成績評価の方法
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	事件	歴史的背景
4	1960 年代（1）	民族の問題
5	1960 年代（2）	民族責任
6	小松川事件（1）	李珍宇の犯罪
7	小松川事件（2）	李珍宇の手紙
8	金嬉老事件（1）	事件の発生
9	金嬉老事件（2）	事件の意味
10	詩と文学（1）	金時鐘と金石範
11	詩と文学（2）	鷺沢萌・柳美里・崔実
12	映画（1）	崔洋一と大島渚
13	映画（2）	浦山桐郎と井筒和幸
14	音楽	在日音楽の百年

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各授業ごとに指定されたテキストを読んでおくことで理解が進みます。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

第 1 回のガイダンス時に説明します。

【参考書】

その他の参考資料については授業中に指定、配布します。

【成績評価の方法と基準】

4 回提出してもらうリアクションペーパー（40 %）と期末レポート（60 %）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course.

This course aims to grasp the essence of the history of Zainichi and their thoughts.

Students will be expected to spend two hours to understand the course content before/after each class meeting.

Grading will be decided based on four short reports (40 %), and one term-end report (60 %).

SOS200LA

社会思想 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではヨーロッパの近代社会思想史を学びます。

16 世紀から 19 世紀初頭の思想家たち、例えばホッブズ、ルソー、カント、ヘーゲルらが生きた西洋の歴史を背景として、その上で各思想家の思考方法、政治社会の構成、個人と社会の関係や経済社会の構造などについての考えかたを学ぶことを目的とします。

【到達目標】

近代の骨格を作る思想家たちのものの見方、考え方を身につけることができる。

歴史的思考について学び、思想家たちの目を通して、現在わたしたちが生きている現代社会の政治、経済、社会のあり方を根本原理から学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業を進めるごとに数回リアクションペーパーを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていきます。

（基本的には対面授業の予定ですが、感染症の拡大状況によってはオンライン形式を取ることもあります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義のねらい、進め方、成績評価の方法
第 2 回	導入（1）	ヨーロッパ、歴史、近代、社会、思想、言語などの基礎概念（1）
第 3 回	導入（2）	ヨーロッパ、歴史、近代、社会、思想、言語などの基礎概念（2）
第 4 回	ホッブズ（1）	リヴァイアサン（1）
第 5 回	ホッブズ（2）	リヴァイアサン（2）
第 6 回	ルソー（1）	人間不平等起源論
第 7 回	ルソー（2）	社会契約論
第 8 回	カント（1）	純粋理性批判
第 9 回	カント（2）	実践理性批判
第 10 回	カント（3）	永遠平和のために
第 11 回	ヘーゲル（1）	精神現象学（1）
第 12 回	ヘーゲル（2）	精神現象学（2）
第 13 回	ヘーゲル（3）	法の哲学
第 14 回	ヘーゲル（4）	ヘーゲル左派

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

第 1 回のガイダンス時に説明します。

【参考書】

授業中に適宜、指定、配布して紹介します。

【成績評価の方法と基準】

4 回提出してもらいアクションペーパー（40 %）と期末レポート（60 %）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

This course introduces the history of ideas of modern western philosophers.

This course aims to grasp the essence of modern western ideas through some discourses of thinkers.

Students will be expected to spend two hours to understand the course content before/after each class meeting.

Grading will be decided based on four short reports (40 %), and one term-end report (60 %).

SOS200LA

社会思想 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではヨーロッパにおける世紀転換期の思想史を学びます。西洋の 19 世紀末から 20 世紀初頭という転換期の歴史を踏まえて、マルクス、キルケゴール、ニーチェ、ウェーバー、フロイト、ベンヤミンらが根源から考察した人間、社会、歴史、芸術、政治についての思想史を学ぶことがこの授業の目的です。

【到達目標】

世紀転換期の思想家たちのものの見方、考え方を身につけることができる。

ヨーロッパ近現代の歴史を理解し、もう一つの転換期である現代社会を思想家の目を通して自ら考えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業を進めるごとに数回リアクションペーパーを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていきます。

（基本的には対面授業の予定ですが、感染症の拡大状況によってはオンライン形式を取ることもあります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義のねらい、進め方、成績評価の方法等の説明
第 2 回	導入（1）	現代という時代の思想経験（1）
第 3 回	導入（2）	現代という時代の思想経験（2）
第 4 回	マルクス（1）	初期マルクス（1）
第 5 回	マルクス（2）	初期マルクス（2）
第 6 回	マルクス（3）	資本論の世界
第 7 回	ニーチェ（1）	ニヒリズム
第 8 回	ニーチェ（2）	力への意志
第 9 回	ウェーバー（1）	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神
第 10 回	ウェーバー（2）	職業としての政治・職業としての学問
第 11 回	フロイト（1）	精神分析の誕生
第 12 回	フロイト（2）	認められたいの正体
第 13 回	ベンヤミン（1）	19 世紀の首都—パリ
第 14 回	ベンヤミン（2）	歴史哲学テーゼ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

第 1 回の授業ガイダンス時に説明します。

【参考書】

講義の中で適宜、指定、配布して説明します。

【成績評価の方法と基準】

4 回提出してもらいアクションペーパー（40 %）と期末レポート（60 %）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

This course introduces the history of modern western ideas of the turn of the century from 19's to 20's.

This course aims to grasp the essence of modern western ideas through some discourses of thinkers.

Students will be expected to spend two hours to understand the course content before/after each class meeting.

Grading will be decided based on four short reports (40 %), and one term-end report (60 %).

MAT200LA

発展数学ⅠⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

池田 宏一郎

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 4/Thu.4

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

～ 社会科学に必要不可欠な数学 (1 変数関数の微積分) ～

さまざまな社会現象が 1 変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質 (グラフの形など) を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、2 変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学Ⅱ」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業概要の説明
第 2 回	微分 1	微分の定義と基本性質
第 3 回	微分 2	積の微分, 商の微分, 合成関数の微分
第 4 回	微分 3	陰関数の微分
第 5 回	微分 4	曲線の傾きと極値
第 6 回	微分の応用 1	曲線の凹凸と変曲点
第 7 回	微分の応用 2	テイラー展開
第 8 回	微分の応用 3	マクローリン展開
第 9 回	微分の応用 4	近似計算
第 10 回	積分 1	定積分と不定積分
第 11 回	積分 2	リーマン積分
第 12 回	積分 3	微分積分法の基本定理
第 13 回	積分の応用 1	図形の面積
第 14 回	積分の応用 2	立体の体積

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

特に指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011) は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験 (80 %) において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出 (20 %) において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

この科目を履修するためには、「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

MAT200LA

発展数学ⅠⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

池田 宏一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはすである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	2変数関数1	多変数関数とは
第3回	2変数関数2	平面のグラフ
第4回	2変数関数3	曲面のグラフ
第5回	偏微分1	偏微分とは
第6回	偏微分2	極限値
第7回	偏微分3	偏導関数の計算
第8回	偏微分4	合成関数の微分
第9回	偏微分5	全微分と接平面
第10回	偏微分の応用1	極値問題
第11回	偏微分の応用2	陰関数の微分法
第12回	偏微分の応用3	条件付極値問題
第13回	重積分1	重積分とは
第14回	重積分2	体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。例題などは印刷したものを学習支援システムで配布する。

【参考書】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80 %）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20 %）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

この科目を履修するためには、「発展数学ⅠⅡ」で取り扱う内容について、おおそ理解していることが必要である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

MAT200LA

発展数学ⅠⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1 変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が 1 変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	導入	授業概要の説明
第 02 回	微分の導入 1	導関数と曲線の傾き
第 03 回	微分の導入 2	直線によるグラフの近似
第 04 回	微分の導入 3	ニュートン法
第 05 回	関数の形式と微分 1	合成関数の微分
第 06 回	関数の形式と微分 2	陰関数と微分
第 07 回	関数の形式と微分 3	媒介変数表示と微分
第 08 回	高階導関数 1	2 階導関数と曲線のしなり
第 09 回	高階導関数 2	放物線によるグラフの近似
第 10 回	高階導関数 3	マクローリン展開
第 11 回	高階導関数 4	社会科学への応用例
第 12 回	積分 1	積分と微分の関係
第 13 回	積分 2	積分と面積の関係
第 14 回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算などが上手くいかないときは、悲観的に考える必要は全くなく、むしろ自力を高める良い機会だと思いますので気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。で、履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA

発展数学ⅠⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分1	偏微分とその意味
第05回	偏微分2	偏導関数の計算
第06回	偏微分3	全微分と接平面
第07回	偏微分4	2変数関数と最適化
第08回	偏微分5	社会科学への応用
第09回	極値の計算1	2階偏導関数の計算
第10回	極値の計算2	2変数関数の極値の計算
第11回	極値の計算3	公務員試験の例題
第12回	極値の計算4	データサイエンスへの応用
第13回	極値の計算5	制約条件付きの極値問題
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算などが上手くいかないときは、悲観的に考える必要は全くなく、むしろ自力を高める良い機会だと思いますので気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

PHY200LA

教養物理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 宇宙と地球

石川 壮一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようにになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基本法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界 (宇宙) に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面 (大気圏、海) の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生 (太陽、地球の誕生)、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。

【テキスト (教科書)】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著 (東京大学出版会、1996)
- ・「物理学への招待」大槻義彦著 (培風館、1989)
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」(増補改訂版) J. T. Shipman 著、勝守寛監訳 (学術図書出版社、2002)
- (その他、必要に応じて授業中に紹介する。)

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点 (演習問題を含む) を総合して評価する。配分は、期末試験の結果を 6 割とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (60%) and in class contribution including short reports (40%).

PHY200LA

教養物理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようにになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基本法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、期末試験の結果を 6 割とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (60%) and in class contribution including short reports (40%).

PHY200LA

教養物理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	17 世紀のガリレオの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	17 世紀のケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 4 回に関連して地球について、更に太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	1960 年代のアポロ計画を中心に、宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトル計画	1980 年代のスペースシャトル計画を中心とした宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査・小惑星探査計画	地球上の生命はどこから来たのか。2000 年代の冥王星探査・小惑星探査等について紹介する。
第 10 回	ラジウム：原子核	原子核について紹介する。
第 11 回	ラジウム：マリ・キュリー	マリ・キュリーの研究について紹介する。
第 12 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。
第 13 回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

第 14 回 まとめ

全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題 (70%) と期末レポート (30%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA

教養物理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	17 世紀のガリレオの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	17 世紀のケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 4 回に関連して地球について、更に太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	1960 年代のアポロ計画を中心に、宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトル計画	1980 年代のスペースシャトル計画を中心とした宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査・小惑星探査計画	地球上の生命はどこから来たのか。2000 年代の冥王星探査・小惑星探査等について紹介する。
第 10 回	ラジウム：原子核	原子核について紹介する。
第 11 回	ラジウム：マリ・キュリー	マリ・キュリーの研究について紹介する。
第 12 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。
第 13 回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

第 14 回 まとめ

全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題 (70%) と期末レポート (30%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA

教養物理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

石川 壮一

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようにになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基本法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界 (宇宙) に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面 (大気圏、海) の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生 (太陽、地球の誕生)、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。

【テキスト (教科書)】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著 (東京大学出版会、1996)
- ・「物理学への招待」大槻義彦著 (培風館、1989)
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」(増補改訂版) J. T. Shipman 著、勝守寛監訳 (学術図書出版社、2002)
- (その他、必要に応じて授業中に紹介する。)

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点 (演習問題を含む) を総合して評価する。配分は、期末試験の結果を 6 割とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (60%) and in class contribution including short reports (40%).

PHY200LA

教養物理学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：放射線の性質と利用

井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

放射線は我々の身近に存在している。自然界では、放射線は宇宙から降り注いでいるだけでなく、地殻や大気、さらには食品中にも放射線を出す物質がごく微量ながら含まれている。さらに、放射線は、社会において広く利用されている。例えば医学では、放射線の性質を利用したがんの治療などが代表例である。他にも、様々なところで放射線は利用されており、放射線を理解することは、現代の科学技術を理解する上でも非常に重要である。一方、放射線と聞くと、人体への影響を心配するかも知れない。人体にどのような影響があり、それをどのようにコントロールすれば良いのか。それを理解するためにも、放射線の性質を科学的に理解することが重要である。本授業を通して、学生は、現代物理学の知見に基づいて放射線を理解するとともに、社会での利用例について、放射線の性質と関連付けて理解する。

【到達目標】

- ・放射線がどのような性質を持つのか、その発生原理とともに理解できる。
- ・原子炉や加速器の原理を理解することができる。
- ・放射線の利用例について、放射線の性質と関連付けて理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行う。この授業は原則として対面授業として実施するが、初回授業はリアルタイムオンライン授業として実施する。また、授業内容に応じて、資料配布型オンデマンド授業として実施する回を数回予定している。その回では、資料を学習支援システム上で配布する予定である。授業の実施形態にかかわらず、各回の授業内容に関する選択式問題による小テストを、学習支援システム上で実施する。講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で実施した小テストに対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	序章	放射線とは何かを説明するとともに、授業内容の概観を示す。
第 2 回	物理学の基礎知識	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、力学の基礎と光の性質を中心に解説する。
第 3 回	原子の構造	原子がどのような構造を持つのか解説する。
第 4 回	原子核	原子核の性質や構造について解説する。
第 5 回	放射性崩壊	原子核の崩壊について解説する。

第 6 回	特殊相対論と質量エネルギー	放射線を学ぶ上で必要な知識として特殊相対論の概略を紹介するとともに、質量エネルギーについて解説する。
第 7 回	X 線の発生	これまでの内容を踏まえ、X 線の発生原理を解説する。
第 8 回	放射線と物質との相互作用（1）	主に荷電粒子線と物質の相互作用について説明する。
第 9 回	放射線と物質との相互作用（2）	主に X 線と物質の相互作用について説明する。
第 10 回	放射線と物質との相互作用（3）	主に中性子と物質の相互作用について解説する。
第 11 回	原子炉	原子炉の原理や原子炉内で起こる核反応について説明する。
第 12 回	加速器	加速器について紹介するとともに、その原理や利用例を説明する。
第 13 回	社会における放射線	放射線の人体への影響や放射線の検出方法などを説明する。また、放射線の社会における利用についても紹介する。
第 14 回	まとめ	全体のまとめを行う。また、第 13 回までに実施した小テストの講評と解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学・技術に関連するニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート（約 50 %）と小テスト（約 50 %）により評価する。毎回の授業内容に関して、小テストを学習支援システム上で実施する。期末レポートは、授業内容に関する課題を出題する。期末試験は実施しない。

【学生の意見等からの気づき】

今年度新規開講科目のため、特にありません。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces basic knowledge of the radiation physics. It also helps students acquire understand how to use the radiation and the related techniques in the modern society.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Explain properties of radiation and radiation sources
- ・ Explain the principle and utilization of nuclear reactor and accelerator

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on mini-exam in each class meeting (50%) and term-end report (50%).

BIO200LA

教養生物学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 私たちの体を作る細胞の構造と働き

沼田 治

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 1/Mon.1
単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

我々の体は、37 兆 2 千億個の細胞から構成されている。この授業では、我々の体を構成する細胞の理解を目的とする。学生諸君が生活の中で毎日経験している活動、外界からの情報を感じて行動するしくみ、食事からエネルギーを獲得するしくみ、エネルギーを利用して運動するしくみなどを、細胞レベルから理解することを目指す。自分の体を構成する細胞について学ぶことで、命の本質を理解してもらいたい。また、新型コロナの感染、発症、予防などについて細胞レベルで説明する。随時、沼田の研究内容、「細胞のエネルギー産生を活性化する発酵茶ポリフェノール (MAF) の生理作用」を紹介して、健康について細胞レベルで考察する。

【到達目標】

私たちの体を構成している細胞がどのような構造をしているのか、細胞がどのような働きをしているのかを学び、細胞が活動するエネルギーがどのように作られるのか、細胞がどのように動くのか、細胞がどのように増えるのか、細胞がどのように組織や器官を形成するのかを理解する。生命の最小単位である細胞についての最新の知見をベースとして、我々が生きているということ、生命の本質について、理解を深める。また、新型コロナの感染、発症、予防について細胞レベルの理解を目指す。さらに細胞のエネルギー産生と健康維持の関係についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

リアルタイムのオンライン講義を主に授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1 回	細胞膜が細胞を外界から区切っている	細胞膜の構造と働きについて理解する。細胞膜を介しての外界との物質のやり取りと、神経の興奮の伝播を例にして、解説する。
2 回	遺伝子は染色体の中に収納され、核の中に保存されている	遺伝子を保存している核の構造について理解する。遺伝子を収納している染色体の構造と、その働きについて解説する。
3 回	ミトコンドリアはエネルギーを産生し、葉緑体は炭水化物を合成する	我々に不可欠なエネルギーを生産するミトコンドリアと、光と二酸化炭素から炭水化物を生産する葉緑体の働きを理解する。
4 回	細胞骨格とは何か?	細胞の形態維持や、細胞の運動に関わる、細胞の骨格を構成する成分について説明する。特に筋肉を例にして理解を深める。

5 回	細胞骨格を動かす細胞内モーター	細胞の中にもモーターがあり、それらの働きで我々は動くことができる。細胞内モーターの実態について、筋肉と精子を例にして解説する。
6 回	細胞が運動するしくみとその働き	細胞骨格と細胞内モーターの働きで、細胞は運動する。その具体的な仕組みに関して、筋収縮と細胞のアメーバ運動を例に挙げて解説する。
7 回	細胞質でタンパク質が作られる	遺伝子に蓄えられた遺伝情報はタンパク質を作る情報である。タンパク質がどのように作られるかを解説する。
8 回	作られたタンパク質は働く場所に運ばれる	タンパク質は働くべき場所が決まっている。どのようにタンパク質が働く場所に運ばれるかを解説する。
9 回	細胞は分泌し、細胞は取り込む	細胞がホルモンや消化酵素を分泌するしくみと、細胞が糖や脂肪を取り込む仕組みについて解説する。
10 回	細胞はシグナルをやり取りしている	細胞は外からシグナルを受け取り、そのシグナルを細胞内に伝達する。細胞間シグナル伝達と細胞内シグナル伝達について解説する。
11 回	細胞はどのように増殖するか?	細胞は細胞分裂を行って増殖する。細胞分裂は、核が分裂したのちに細胞質が分裂して完了する。核分裂と細胞質分裂のしくみを解説する。
12 回	細胞は遺伝子を複製した後に分裂する	細胞は遺伝子の複製と分裂を繰り返している。これを細胞周期と呼ぶ。細胞周期を調節するしくみについて説明する。
13 回	私たちの体と細胞	私たちの体を構成する上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織とそれらを構成する細胞について説明する。
14 回	私たちは感じて行動する	私たちの行動と細胞の関係を、神経細胞の興奮伝達と筋肉の運動を例に挙げ、分子レベルで解説する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で使うパワーポイントなどの資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には 1 回の授業につき 4 時間以上かけて下さい。

【テキスト (教科書)】

教科書名: 「細胞生物学」
著者: 沼田治編著、千葉智樹、中野賢太郎、中田和人著
出版社: 化学同人
出版年: 2012 年第 1 版発行
価格: 3,000 円

【参考書】

書名: 誰も知らない紅茶の秘密
著者: 沼田治
出版社: 幻冬舎
出版年: 2021 年 4 月 15 日
価格: 880 円

【成績評価の方法と基準】

授業の後に課題を出す。14 回の課題の評価点で成績評価を行う。1 回の課題は 10 点満点とし、14 回分合計して 140 点満点で成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

毎回、授業に関する質問やコメントを提出してもらい、授業改善に役立てる。

課題、授業に関する質問、コメントに対するフィードバックは次の授業で行う。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

オフィスアワー：月曜日の 4 時限終了後、16：40 から 18：00 まで

【Outline (in English)】

Our body is said to be composed of 37.2 trillion cells. The purpose of this lesson is to understand the cells that make up our body. We develop classes that allow students to understand the actual conditions of cells, which are basic units that make up their bodies. A class that allows students to understand the activities they are experiencing everyday in their lives, how they feel and act from the outside world, acquire energy from diet, exercise using energy, etc. . I would like you to understand the essence of life by learning about the cells that make up your body. I will also discuss the infection, development, and prevention of new coronas at the cellular level.

【Learning activities outside of classroom】

Materials such as PowerPoint presentations for use in class will be presented in the Teaching Materials section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are required to thoroughly review the class content and answer the assignments presented in class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class for preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

Assignments will be given after class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

教養生物学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：不思議な生物テトラヒメナが教えてくれたこと

沼田 治

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テトラヒメナはノーベル賞に輝いたリボザイムとテロメアの発見に導いた研究材料である。現在でも、テトラヒメナを研究材料として、ヒストンの化学修飾によるエピジェネティック調節や低分子 RNA による遺伝子再編成などの発見がなされている。沼田はテトラヒメナを用いて発酵茶ポリフェノール (MAF) がミトコンドリアの酸素呼吸を活性化することを発見した。本講義では、テトラヒメナを用いて明らかにされた素晴らしい研究成果を紹介し、学生諸君が現代生物学の最先端を理解することを目的とする。さらに、学生諸君は研究者がテトラヒメナを利用して、いかに生物学の大発見に到達したかを学び、生物学の面白さとテトラヒメナのご不思議を理解してもらいたい。授業では上記に加えて、MAF の効果や、新型コロナウイルスの最新情報についても言及する。

【到達目標】

テトラヒメナを研究材料として明らかにされた生物学上の大発見について学ぶ。リボザイムの発見が生命誕生の謎の解明につながったこと、テロメアの発見が我々の老化のしくみの理解に貢献していること、エピジェネティック調節が個体の発生分化を調節していること、エピジェネティック調節がガン化にも関係していることなどを学ぶ。水たまりにいる単細胞生物、テトラヒメナが現代生物学の進歩に如何に貢献したかを理解し、研究材料の重要さと研究者の熱意が大発見につながることを、その発見が我々の人生にも影響していることを理解してもらいたい。さらに、発酵茶 MAF の生理作用や新型コロナウイルスの情報から、私たちの健康について生物学的に考察する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

リアルタイムのオンライン講義を主に授業は進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。課題、質問、コメントに対するフィードバックは次の授業で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1 回	不思議な生物テトラヒメナ	テトラヒメナのご不思議な性質を紹介する。具体的には、2 種類の核を持つこと、7 つの性を持つこと、細胞口と細胞肛門と収縮胞を持つことなど。
2 回	テトラヒメナの核（生殖核）と大核（栄養核）の働き	テトラヒメナが持つ 2 種類の核、生殖核と栄養核の働きを、我々の体を構成する生殖細胞と体細胞と比較しながら説明する。

- 3 回 テトラヒメナは 7 つの性を持つ。生物の性とは何か？ テトラヒメナは 7 つの性を持つが、ほとんどの生物は 2 つの性しか持たない。生物の性とは何か、性を決めるしくみは何かを学ぶ。
- 4 回 テトラヒメナの繊毛を動かすモータータンパク質 精子の鞭毛運動や、テトラヒメナの繊毛運動を引き起こすモータータンパク質、ダイニンの発見と、ダイニンの性状について紹介する。
- 5 回 染色体末端構造テロメアの発見 染色体の末端問題と染色体末端構造であるテロメアの発見、テロメアを合成するテロメラーゼの発見について紹介する。
- 6 回 テロメアは生物の寿命を決めるか？ 生物の寿命とは何か？ 生殖細胞、体細胞、そして不死化したガン細胞のテロメアから生物の寿命について考察する。
- 7 回 酵素活性を持つ RNA、リボザイムの発見 テトラヒメナの RNA が酵素活性を持つことが発見された。リボザイムの発見である。その発見の経緯と、リボザイムの働きを解説する。
- 8 回 リボザイムはセントラルドグマを覆すか？ セントラルドグマでは遺伝情報は「DNA→mRNA→タンパク質」の順に伝達される。生命誕生は DNA からか？ タンパク質からか？ それが問題だ。リボザイムの発見はこの問題に解答を出した。
- 9 回 大核分化で生じる DNA 再編成 接合過程で、小核から大核が分化する時、DNA の大規模な再編成が起きる。我々の体の中で起きる DNA の組み換えと比較して、テトラヒメナの DNA 再編成について解説する。
- 10 回 大核の DNA 再編成を指揮する scnRNA 大核の大規模な DNA 再編成をコントロールしている scnRNA の発見と scnRNA の働きについて解説する。
- 11 回 遺伝子の発現を調節するヒストンの化学修飾 大核は盛んに遺伝子発現し、小核は全く遺伝子発現しない。この違いの原因は何と DNA が巻き付いているヒストンの化学修飾であった。ヒストンの化学修飾が遺伝子発現を調節するしくみを解説する。
- 12 回 ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はすべての生物で起きている。 ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はエピジェネティック調節と呼ばれている。エピジェネティック調節による発分化の調節について解説する。
- 13 回 テトラヒメナの 7 つの性を司る DNA 再編成 テトラヒメナが持つ 7 つの性が、どのような遺伝子によって調節されているか、どのように個体の性が決まるかが明らかになった。大核の DNA 再編成によって、7 つの性のから一つが選択されるしくみを説明する。
- 14 回 テトラヒメナが教えてくれたこと 45 年間テトラヒメナを研究材料として、研究してきた沼田治にテトラヒメナが教えてくれたこと。研究者と研究材料の間の交流、交感について話す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使うパワーポイントなどの資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には 1 回の授業につき 4 時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

教科書名：ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物 テトラヒメナの魅力
著者： 沼田治
出版社： 慶応義塾大学出版会
出版年： 2018 年 10 月 12 日
価格： 1,800 円

【参考書】

書名：誰も知らない紅茶の秘密
著者：沼田治
出版社：幻冬舎
出版年：2021 年 4 月 15 日
価格：880 円

【成績評価の方法と基準】

授業の最後に課題を出す。14 回の課題の評価点で成績評価を行う。1 回の課題は 10 点満点とし、14 回分合計して 140 点満点で成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

毎回、授業に関する質問やコメントを提出してもらい、授業改善に役立てる。
課題、授業に関する質問、コメントに対するフィードバックは次回の授業で行う。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、16 : 40 から 18 : 00 まで

【Outline (in English)】

Tetrahymena is a research material that led to the discovery of ribozymes and the telomere, which won the Nobel Prize. Even now, discoveries such as epigenetic regulation by chemically modifying histones and genetic reediting by low-molecular RNA have been made using Tetrahymena as a research material. In this lecture, we introduce wonderful research results revealed using Tetrahymena, with the aim of students to understand the cutting edge of modern biology. In addition, students want to learn how researchers have reached a major discovery of biology by using Tetrahymena and understand the interest of biology and the wonders of Tetrahymena.

【Learning activities outside of classroom】

Materials such as PowerPoint presentations for use in class will be presented in the Teaching Materials section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are required to thoroughly review the class content and answer the assignments presented in class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class for preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

Assignments will be given after class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

教養生物学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：私たちの体を作る細胞の構造と働き

沼田 治

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々の体は、37 兆 2 千億個の細胞から構成されている。この授業では、我々の体を構成する細胞の理解を目的とする。学生諸君が生活の中で毎日経験している活動、外界からの情報を感じて行動するしくみ、食事からエネルギーを獲得するしくみ、エネルギーを利用して運動するしくみなどを、細胞レベルから理解することを目指す。自分の体を構成する細胞について学ぶことで、命の本質を理解してもらいたい。また、新型コロナの感染、発症、予防などについて細胞レベルで説明する。随時、沼田の研究内容、「細胞のエネルギー産生を活性化する発酵茶ポリフェノール（MAF）の生理作用」を紹介して、健康について細胞レベルで考察する。

【到達目標】

私たちの体を構成している細胞がどのような構造をしているのか、細胞がどのような働きをしているのかを学び、細胞が活動するエネルギーがどのように作られるのか、細胞がどのように動くのか、細胞がどのように増えるのか、細胞がどのように組織や器官を形成するのかを理解する。生命の最小単位である細胞についての最新の知見をベースとして、我々が生きているということ、生命の本質について、理解を深める。また、新型コロナの感染、発症、予防について細胞レベルの理解を目指す。さらに細胞のエネルギー産生と健康維持の関係についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

リアルタイムのオンライン講義を主に授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1 回	細胞膜が細胞を外界から区切っている	細胞膜の構造と働きについて理解する。細胞膜を介しての外界との物質のやり取りと、神経の興奮の伝播を例にして、解説する。
2 回	遺伝子は染色体の中に収納され、核の中に保存されている	遺伝子を保存している核の構造について理解する。遺伝子を収納している染色体の構造と、その働きについて解説する。
3 回	ミトコンドリアはエネルギーを産生し、葉緑体は炭水化物を合成する	我々に不可欠なエネルギーを生産するミトコンドリアと、光と二酸化炭素から炭水化物を生産する葉緑体の働きを理解する。
4 回	細胞骨格とは何か？	細胞の形態維持や、細胞の運動に関わる、細胞の骨格を構成する成分について説明する。特に筋肉を例にして理解を深める。

5 回	細胞骨格を動かす細胞内モーター	細胞の中にもモーターがあり、これらの働きで我々は動くことができる。細胞内モーターの実態について、筋肉と精子を例にして解説する。
6 回	細胞が運動するしくみとその働き	細胞骨格と細胞内モーターの働きで、細胞は運動する。その具体的な仕組みに関して、筋収縮と細胞のアメーバ運動を例に挙げて解説する。
7 回	細胞質でタンパク質が作られる	遺伝子に蓄えられた遺伝情報はタンパク質を作る情報である。タンパク質がどのように作られるかを解説する。
8 回	作られたタンパク質は働く場所に運ばれる	タンパク質は働くべき場所が決まっている。どのようにタンパク質が働く場所に運ばれるかを解説する。
9 回	細胞は分泌し、細胞は取り込む	細胞がホルモンや消化酵素を分泌するしくみと、細胞が糖や脂肪を取り込む仕組みについて解説する。
10 回	細胞はシグナルをやり取りしている	細胞は外からシグナルを受け取り、そのシグナルを細胞内に伝達する。細胞間シグナル伝達と細胞内シグナル伝達について解説する。
11 回	細胞はどのように増殖するか？	細胞は細胞分裂を行って増殖する。細胞分裂は、核が分裂したのちに細胞質が分裂して完了する。核分裂と細胞質分裂のしくみを解説する。
12 回	細胞は遺伝子を複製した後に分裂する	細胞は遺伝子の複製と分裂を繰り返している。これを細胞周期と呼ぶ。細胞周期を調節するしくみについて説明する。
13 回	私たちの体と細胞	私たちの体を構成する上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織とそれらを構成する細胞について説明する。
14 回	私たちは感じて行動する	私たちの行動と細胞の関係を、神経細胞の興奮伝達と筋肉の運動を例に挙げ、分子レベルで解説する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使うパワーポイントなどの資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には 1 回の授業につき 4 時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

教科書名：「細胞生物学」

著者： 沼田治編著、千葉智樹、中野賢太郎、中田和人著

出版社： 化学同人

出版年： 2012 年第 1 版発行

価格： 3,000 円

【参考書】

書名：誰も知らない紅茶の秘密

著者：沼田治

出版社：幻冬舎

出版年： 2021 年 4 月 15 日

価格： 880 円

【成績評価の方法と基準】

授業の後に課題を出す。14 回の課題の評価点で成績評価を行う。1 回の課題は 10 点満点とし、14 回分合計して 140 点満点で成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

毎回、授業に関する質問やコメントを提出してもらい、授業改善に役立てる。

課題、授業に関する質問、コメントに対するフィードバックは次の授業で行う。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

オフィスアワー:月曜日の4時限終了後、16:40から18:00まで

【Outline (in English)】

Our body is said to be composed of 37.2 trillion cells. The purpose of this lesson is to understand the cells that make up our body. We develop classes that allow students to understand the actual conditions of cells, which are basic units that make up their bodies. A class that allows students to understand the activities they are experiencing everyday in their lives, how they feel and act from the outside world, acquire energy from diet, exercise using energy, etc. . I would like you to understand the essence of life by learning about the cells that make up your body. I will also discuss the infection, development, and prevention of new coronas at the cellular level.

【Learning activities outside of classroom】

Materials such as PowerPoint presentations for use in class will be presented in the Teaching Materials section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are required to thoroughly review the class content and answer the assignments presented in class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class for preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

Assignments will be given after class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

教養生物学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 不思議な生物テトラヒメナが教えてくれたこと

沼田 治

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

テトラヒメナはノーベル賞に輝いたリボザイムとテロメアの発見に導いた研究材料である。現在でも、テトラヒメナを研究材料として、ヒストンの化学修飾によるエピジェネティック調節や低分子 RNA による遺伝子再編成などの発見がなされている。沼田はテトラヒメナを用いて発酵茶ポリフェノール (MAF) がミトコンドリアの酸素呼吸を活性化することを発見した。本講義では、テトラヒメナを用いて明らかにされた素晴らしい研究成果を紹介し、学生諸君が現代生物学の最先端を理解することを目的とする。さらに、学生諸君は研究者がテトラヒメナを利用して、いかに生物学の大発見に到達したかを学び、生物学の面白さとテトラヒメナのご不思議を理解してもらいたい。授業では上記に加えて、MAF の効果や、新型コロナウイルスの最新情報についても言及する。

【到達目標】

テトラヒメナを研究材料として明らかにされた生物学上の大発見について学ぶ。リボザイムの発見が生命誕生の謎の解明につながったこと、テロメアの発見が我々の老化のしくみの理解に貢献していること、エピジェネティック調節が個体の発生分化を調節していること、エピジェネティック調節がガン化にも関係していることなどを学ぶ。水たまりにいる単細胞生物、テトラヒメナが現代生物学の進歩に如何に貢献したかを理解し、研究材料の重要さと研究者の熱意が大発見につながることを、その発見が我々の人生にも影響していることを理解してもらいたい。さらに、発酵茶 MAF の生理作用や新型コロナウイルスの情報から、私たちの健康について生物学的に考察する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

リアルタイムのオンライン講義を主に授業は進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。課題、質問、コメントに対するフィードバックは次の授業で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1 回	不思議な生物テトラヒメナ	テトラヒメナのご不思議な性質を紹介する。具体的には、2 種類の核を持つこと、7 つの性を持つこと、細胞口と細胞肛門と収縮胞を持つことなど。
2 回	テトラヒメナの核 (生殖核) と大核 (栄養核) の働き	テトラヒメナが持つ 2 種類の核、生殖核と栄養核の働きを、我々の体を構成する生殖細胞と体細胞と比較しながら説明する。

3 回	テトラヒメナは 7 つの性を持つ。生物の性とは何か？	テトラヒメナは 7 つの性を持つが、ほとんどの生物は 2 つの性しか持たない。生物の性とは何か、性を決めるしくみは何かを学ぶ。
4 回	テトラヒメナの繊毛を動かすモータータンパク質	精子の鞭毛運動や、テトラヒメナの繊毛運動を引き起こすモータータンパク質、ダイニンの発見と、ダイニンの性状について紹介する。
5 回	染色体末端構造テロメアの発見	染色体の末端問題と染色体末端構造であるテロメアの発見、テロメアを合成するテロメララーゼの発見について紹介する。
6 回	テロメアは生物の寿命を決めるか？	生物の寿命とは何か？ 生殖細胞、体細胞、そして不死化したガン細胞のテロメアから生物の寿命について考察する。
7 回	酵素活性を持つ RNA、リボザイムの発見	テトラヒメナの RNA が酵素活性を持つことが発見された。リボザイムの発見である。その発見の経緯と、リボザイムの働きを解説する。
8 回	リボザイムはセントラルドグマを覆すか？	セントラルドグマでは遺伝情報は「DNA→mRNA→タンパク質」の順に伝達される。生命誕生は DNA からか？ タンパク質からか？ それが問題だ。リボザイムの発見はこの問題に解答を出した。
9 回	大核分化で生じる DNA 再編成	接合過程で、小核から大核が分化する時、DNA の大規模な再編成が起きる。我々の体の中で起きる DNA の組み換えと比較して、テトラヒメナの DNA 再編成について解説する。
10 回	大核の DNA 再編成を指揮する scnRNA	大核の大規模な DNA 再編成をコントロールしている scnRNA の発見と scnRNA の働きについて解説する。
11 回	遺伝子の発現を調節するヒストンの化学修飾	大核は盛んに遺伝子発現し、小核は全く遺伝子発現しない。この違いの原因は何と DNA が巻き付いているヒストンの化学修飾であった。ヒストンの化学修飾が遺伝子発現を調節するしくみを解説する。
12 回	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はすべての生物で起きている。	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はエピジェネティック調節と呼ばれている。エピジェネティック調節による発分化の調節について解説する。
13 回	テトラヒメナの 7 つの性を司る DNA 再編成	テトラヒメナが持つ 7 つの性が、どのような遺伝子によって調節されているか、どのように個体の性が決まるかが明らかになった。大核の DNA 再編成によって、7 つの性のから一つが選択されるしくみを説明する。
14 回	テトラヒメナが教えてくれたこと	45 年間テトラヒメナを研究材料として、研究してきた沼田治にテトラヒメナが教えてくれたこと。研究者と研究材料の間の交流、交感について話す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使うパワーポイントなどの資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には 1 回の授業につき 4 時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

教科書名：ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物 テトラヒメナの魅力
著者： 沼田治
出版社： 慶応義塾大学出版会
出版年： 2018 年 10 月 12 日
価格： 1,800 円

【参考書】

書名：誰も知らない紅茶の秘密
著者：沼田治
出版社：幻冬舎
出版年：2021 年 4 月 15 日
価格：880 円

【成績評価の方法と基準】

授業の最後に課題を出す。14 回の課題の評価点で成績評価を行う。1 回の課題は 10 点満点とし、14 回分合計して 140 点満点で成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

毎回、授業に関する質問やコメントを提出してもらい、授業改善に役立てる。
課題、授業に関する質問、コメントに対するフィードバックは次回の授業で行う。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

オフィスアワー：月曜日の 4 時限終了後、16：40 から 18：00 まで

【Outline (in English)】

Tetrahymena is a research material that led to the discovery of ribozymes and the telomere, which won the Nobel Prize. Even now, discoveries such as epigenetic regulation by chemically modifying histones and genetic reediting by low-molecular RNA have been made using Tetrahymena as a research material. In this lecture, we introduce wonderful research results revealed using Tetrahymena, with the aim of students to understand the cutting edge of modern biology. In addition, students want to learn how researchers have reached a major discovery of biology by using Tetrahymena and understand the interest of biology and the wonders of Tetrahymena.

【Learning activities outside of classroom】

Materials such as PowerPoint presentations for use in class will be presented in the Teaching Materials section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are required to thoroughly review the class content and answer the assignments presented in class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class for preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

Assignments will be given after class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

教養生物学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

町田 郁子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 集中・その他
/intensive・other courses

単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、『命とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにかからできているのか?」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか?」、「なぜ病気になるのか?」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、オンデマンド/資料・教材コンテンツ配布型です。授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式 (動画配信型) で行います。

授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

また、授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは?	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。

第 3 回	命の材料とは?	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。
第 4 回	命の設計図とは?	生命活動を営むための情報をもつ DNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは?	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは?	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは?	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは?	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命を守るしくみとは?	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 10 回	命のしくみを利用した新しい医療とは?	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 11 回	命に手を加えるとは?	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 12 回	命を操作する技術とは?	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第 13 回	命とはなにか?	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト (教科書)】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題 (50%) および期末試験 (50%)。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA

教養生物学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日（日）10：00～6 日（水）9：00、結果発表は 4 月 6 日（水）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『人間とはなにものか？』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか？」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか？」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】

ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、オンデマンド/資料・教材コンテンツ配布型です。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式（動画配信型）で行います。

授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

また、授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。

- 第 2 回 多種多様な生物とは？ 地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。
- 第 3 回 生態系の中のヒトとは？ 地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりにふれながら概説します。
- 第 4 回 生物と地球環境のつながりとは？ ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
- 第 5 回 生物、そしてヒトの起源とは？ 地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
- 第 6 回 進化学とは？ ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
- 第 7 回 行動の進化とは？ 生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。
- 第 8 回 生物の行動にみられる特徴とは？ ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
- 第 9 回 種の存続とは？ 生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
- 第 10 回 ヒトによる動物の家畜化とは？ 地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
- 第 11 回 ヒトの動物観とは？ ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
- 第 12 回 ヒトの食とは？ 自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
- 第 13 回 人間とはなにものか？ 授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
- 第 14 回 授業のまとめ・試験 最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA

教養生物学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『命とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにかからできているのか?」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか?」、「なぜ病気になるのか?」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらししているのかについても考えます。

【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。

ただし、初回を含めて数回はオンライン授業となる予定です。詳細は学習支援システムを通じてお知らせします。

また、受講希望者数が教室定員を超えた場合には、抽選を実施する予定です。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に揭示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。
第 3 回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。

第 4 回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつ DNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 10 回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 11 回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 12 回	命を操作する技術とは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第 13 回	命とはなにか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA

教養生物学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『人間とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか?」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか?」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】

ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。

ただし、初回を含めて数回はオンライン授業となる予定です。詳細は学習支援システムを通じてお知らせします。

また、受講希望者数が教室定員を超えた場合には、抽選を実施する予定です。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	多種多様な生物とは？	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。

第 3 回	生態系の中のヒトとは？	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりにふれながら概説します。
第 4 回	生物と地球環境のつながりとは？	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第 5 回	生物、そしてヒトの起源とは？	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第 6 回	進化学とは？	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第 7 回	行動の進化とは？	生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第 8 回	生物の行動にみられる特徴とは？	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第 9 回	種の存続とは？	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第 10 回	ヒトによる動物の家畜化とは？	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第 11 回	ヒトの動物観とは？	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第 12 回	ヒトの食とは？	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第 13 回	人間とはなにものか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

CHM200LA

教養化学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

向井 知大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

物質の変化には、エネルギーの出入りが伴います。社会や生命はこれらを上手に利用することで活動しています。エネルギーを題材にして身の回りの現象や物質について理解を深め、現在の我々の生活を支えている技術に対する興味を持って下さい。

【到達目標】

エネルギーについて原子核や電子の振る舞いをもとに理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。エネルギー問題に関する近年の話題について、自分なりの考察ができるようになることを目標にして下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文の pdf ファイルを授業支援システムにアップロードする予定です。

高校などにおける理系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義計画と概要についての説明
第 2 回	エネルギーの基礎	エネルギーの定義やエネルギー変換についての概説
第 3 回	電子の発見	ふたつの原子を結びつける電子の働きについて
第 4 回	電子と電気	電磁誘導と発電機の仕組みについて
第 5 回	同位体と原子の壊変	原子核の壊変と放射線について
第 6 回	原子力発電	核分裂連鎖反応について
第 7 回	原子爆弾と核融合	ウラン濃縮や臨界について
第 8 回	光と電子のエネルギー	電磁波の性質と光子量子仮説について
第 9 回	化学結合のエネルギー	化学結合が形成されるしくみと、物質の持つエネルギーについて
第 10 回	有機化合物	炭素原子を含む化学物質の構造
第 11 回	エネルギー物質	燃焼によって発生するエネルギーと、爆薬の化学構造、爆発事故について
第 12 回	燃料電池	水素分子と酸素分子から得られるエネルギーについて
第 13 回	元素の循環	物質変化に伴うエネルギーの吸収と放出について
第 14 回	まとめ	これまでの内容の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍や Web 検索などで調査してみてください。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。授業毎に資料を配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回 5 問程度の正誤問題を出題します。この成績を平常点とします（配分 40%）。期末試験の結果（配分 60%）と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

This course introduces fundamental principles of familiar natural phenomena. The goals of this course are to understand about energy and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA

教養化学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーと化学

中島 弘一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではエネルギーと環境をテーマに、エネルギーを作り出す仕組みとそれに伴う環境問題について取り上げます。

原子の構造から放射能や原子力を学び、化学結合からなぜ燃えると熱が発生するのか、太陽電池や燃料電池も原子や分子の中の電子の動きで理解することができます。

原子力は事故があったときの放射能漏れだけが問題なのではありません。温室効果ガスと地球温暖化の関係も理解を知っておく必要があります。太陽電池や燃料電池もそのメリット、デメリットを知っておく必要があります。社会の一員として今後のエネルギー利用を、問題点を理解したうえで、自らが適切に判断できる理解力を養います。

【到達目標】

原子力エネルギーとは何か、利用に際してどういう問題があるのかという知識が身につく。石油や石炭を燃やしてどのように電気に変換されるのか？ 温暖化とどうリンクしているのかを理解できる。自然エネルギーが抱える問題点とは何か？ 水素を利用した燃料電池の特徴に関する知識が得られる。また、個々のエネルギー源が現状抱えている課題を知識として得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

エネルギーに関して化学の基礎から講義形式で解説し、あわせて社会的な問題も考察したいと考えています。原則として教室での対面授業とし、必要に応じてリアルタイムでの Zoom 配信も行う予定です。なお、毎回、理解度を確認する目的で簡単な課題を出します。課題の解説は翌週の講義の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	化学の基礎（1）	原子の構造と電子配置について振り返ります。
第 2 回	化学の基礎（2）	原子量と質量数、モルの考え方を理解します。
第 3 回	原子力エネルギーとその源は何か	質量がエネルギーに変換されること、どういう核変化がエネルギーを生み出すのかを学びます。
第 4 回	放射能とは何か	どういう物質が放射能を持つのか、放射能の特質と核分裂反応との関係を学びます。
第 5 回	放射能の人体に与える影響について	過去に日本や海外で起こった原子力関連の事故を振り返り、人体への影響を学びます。
第 6 回	原子力発電の構造と種類	原子力発電の構造を理解し、その特徴を学びます。
第 7 回	原子力の問題点	プルトニウムやその他の放射性廃棄物の処理について考察します。
第 8 回	化石燃料の種類と分子構造の違い	石油、石炭、天然ガスの特徴を学びます。

第 9 回	燃焼による発熱の仕組み	共有結合の考え方、酸素との反応によるエネルギーの発生の仕組みを学びます。
第 10 回	化石燃料の問題点	化石燃料の利用に伴う問題点（二酸化炭素による温暖化を含む）を考察します。
第 11 回	既存のエネルギーシステムの問題点	原子力、火力、水力発電のエネルギー変換効率の低さや電力の貯蔵が難しいなどその問題点を整理します。
第 12 回	自然エネルギーの利用と問題点	太陽光、風力、地熱発電などの自然エネルギーの特徴を学びます。
第 13 回	水素エネルギーと燃料電池	エネルギー源として水素の利用に伴う問題点を学びます。
第 14 回	まとめ	授業全体の振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。テーマや内容に記載のある項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習してくるとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

【テキスト（教科書）】

授業内で適宜プリントを配布します。

【参考書】

この分野は日々新しい技術が生まれていて、適当な書籍は見当たりません。授業内で配布する資料で不明なことは授業内での質問やメール等を通じていつでも問い合わせてください。

【成績評価の方法と基準】

課題の提出内容（30 %）と期末試験の成績（70 %）をもとに評価する。

【学生の意見等からの気づき】

2011 年 3 月の大震災のため特に興味を持って授業に臨む学生さんが多く、原子力に関しては今年もできるだけ詳しく解説したいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

使いません。

【その他の重要事項】

専門用語がいろいろ出てきます。もちろん、始めに説明をしますが、同じ説明は二度も行いません。従って、欠席や遅刻があれば、それ以降の内容が理解できなくなることが予想されます。

【Outline (in English)】

This course introduces the mechanism of producing energy from atomic energy and fossil fuels and also environmental issues related with them to students taking this course. It also deals with performance of new energy sources such as solar, wind, geothermal energies, and especially hydrogen energy. Study time of students will be more than two hours for a class. A grade point will be evaluated from a score of term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).

CHM200LA

教養化学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 環境化学

中島 弘一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

科学技術の発達によって、人類は着実に生命のなぞを解き明かしつつあります。そして不完全ながらもその知識をもとに、多種多様な薬品、食品添加物、日用品などの製品化、あるいは技術が生み出され応用されて来れています。ホルモンの仕組みから筋肉増強剤や避妊薬の開発、遺伝子操作による害虫や農薬に強い作物への改良、倫理的な問題が不透明なまま利用されているものも少なくありません。この授業では、はじめに過去の公害事例についてその原因等を概説した後、日用品や食品など、身の回りの化学物質を取り上げながら、生命を構成する物質 (糖質、脂質、たんぱく質、核酸) の働きなどとの関連を解説します。

【到達目標】

過去の公害問題の概要を理解する。
生命に関係する物質がどういう分子構造をもち、どのような働きを持って機能しているかを理解することができる。例えば、食事を取って、それがエネルギーに変換される、あるいは、身体そのものに変化する仕組みを理解できる。
体の中での物質の認識の仕組みを理解できる。例えば、免疫反応の仕組みや、でんぷんを消化できて、セルロースを消化できない理由を理解できる。
合成物が生命に与える影響を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

原則として教室での対面による講義形式での授業とします。必要に応じてリアルタイムでの Zoom 配信も行いう予定です。
なお、毎回、理解度を確認する目的で簡単な課題を出します。課題の解説は翌週の講義の中で行います。質問等は適宜授業内で受け付けますが、メールでの対応も可能です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講義概要、授業の進め方など	この講義の概要と、これからの授業の進め方、注意点等について説明します。
第 2 回	日本の過去の公害事例 (1)	明治に始まる鉱山、精錬からの環境問題について解説します。
第 3 回	日本の過去の公害事例 (2)	昭和の高度成長期にあった工場廃液、排ガスによる環境問題について解説します。
第 4 回	有機化合物の基礎	有機化合物の結合と構造、反応性について解説します。
第 5 回	日本の過去の公害事例 (3)	有機塩素系化合物による環境汚染について学びます。
第 6 回	糖質 (1)	エネルギー源としての利用だけではなく糖質の多様性を学びます。

第 7 回	糖質 (2)	砂糖の歴史や合成甘味料などの食品添加物の紹介と味覚についての話題を紹介します。
第 8 回	脂質 (1)	脂質の特徴と洗剤のしくみについて学びます。
第 9 回	脂質 (2)	コレステロールや、ステロイドなどのドーピングの話題を紹介しします。
第 10 回	窒素化合物の働きと代謝 (1)	生命にとって重要な働きのあるアミノ酸とタンパク質の働きを学び、老化との関係について解説します。
第 11 回	窒素化合物の働きと代謝 (2)	核酸と核酸塩基の多様な働き、呼吸によるエネルギーの獲得について学びます。
第 12 回	体内での物質認識	アレルギー、免疫反応の仕組みを学びます。
第 13 回	薬物汚染	大麻、覚せい剤、麻薬など、その危険性について学びます。
第 14 回	まとめ	全般的な振り返りを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
テーマや内容に関係する項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習するとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

【テキスト (教科書)】

特に使いません、適宜プリントを配布します。

【参考書】

取り上げる項目が多岐にわたるため、適当な参考書が見当たらない。気になるキーワードを使用して図書館で検索してみてください。必要に応じて授業内で紹介することも可能です。

【成績評価の方法と基準】

基本的には期末試験の成績 (70 %) をもとにしますが、毎回科す課題の取り組み (30 %) も勘案します。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ身近な物質を例に挙げて説明をしていますが、網羅的になりすぎて、その関係の理解が難しいと感じる人が多いようです。ポイントをもっと明確にする必要があると考えています。

【Outline (in English)】

This course introduces the functions of chemical compounds related with life and also the risk of synthetic chemicals applied to foods, cosmetics or drugs to students taking this course. It also enhances the mechanism of material recognition in our body. Study time of students will be more than two hours for a class. A grade point will be evaluated from a score of term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).

CHM200LA

教養化学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：環境問題を考えるための化学

西村 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現在、地球が直面している環境問題は深刻です。環境問題を解決するためには、その問題点をメカニズムから理解することが大切です。そのためには基本的な化学の理解が必須であると私は思います。本講座は環境問題を考えることを最終目的としていますが、まずはこれに必須な化学の知識を身につけてもらうことを目的としています。

【到達目標】

環境問題の化学的メカニズムを理解してもらうことが最終目的ですが、そのために必要な化学的知識も併せて身につけてもらうことを目的としています。知識を身につけたうえで、自分はどうか考えるかというところまで到達できることを期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

今年度もこの授業はオンデマンドに決定しています。毎週私が作成した約 1 時間の動画を視聴することで学習してください。Hoppii にアップロードした課題を Hoppii 経由で提出してください。これが出席点となります。課題は動画を視聴すれば誰でも答えられます。課題に自分で勉強したことや感想、質問を記入してもらって構いません。課題と共に記入されている質問や素晴らしい感想には Hoppii 経由で必ず回答を返します。もちろんメールで質問してもらっても構いません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
No.1	イントロダクション	本講座を理解するのに必要な基本的な化学法則、構造式、単位などをざっと説明。
No.2	化学基礎 1	これから講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.3	化学基礎 2	これから講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.4	世界の環境問題	大きなトピックとして話すほどではないが、これまで質問の多かった環境問題を取り上げる
No.5	オゾン層破壊	オゾン層破壊のメカニズムについて
No.6	酸性雨	酸性雨の原因と対策
No.7	大気汚染の健康への影響	大気汚染全般の原因と人体への影響

No.8	温室効果ガス 1	温室効果ガスとはなにか
No.9	温室効果ガス 2	温室効果ガスとはなにか
No.10	ゴミ問題から土壌汚染まで	なぜゴミの分別が必要なのか。環境を破壊するゴミ問題に関して
No.11	水質汚染	汚染水に含まれる化学物質
No.12	水質浄化	水質浄化のアイデア
No.13	現在のエネルギー	現行の発電方法について
No.14	未来のエネルギー	新エネルギーについて学習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のリアクションペーパーやレポート作成のため、学期中を通じて週約 30 時間の授業外学習を必要とします。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業は約 70 分前後の動画視聴になります。

【テキスト（教科書）】

なし。適宜プリントを配布します。講義で使うパワーポイントは Hoppii に事前にアップします。

【参考書】

参考書はありません。もう少し学びたい人向けに、授業中に書籍を紹介します。

【成績評価の方法と基準】

テストは行いません。最終レポート (40 %)、毎回のリアクションペーパー (60 %) を総合的に評価します。レポートは最終授業終了後に課します。リアクションペーパーは毎回の授業ごとに提出してもらいます。

初回のガイダンスを除いて、課題を 3 回以上提出しない場合最終レポートを提出しても単位は取れません。(2 回までは問題ありません) それだけ毎回の課題を重視しています。

成績は、「きちんと考えているか」ということを重視しています。具体的には毎週の課題に「自分の意見」をきちんと記入してください。そして、最終レポートで、授業を通じて考えたことを表現してもらえば良い成績に繋がります。

【学生の意見等からの気づき】

「私たち文系なので、わかりやすく教えてください」とコメントいただくので、わかりやすく、急がずに授業を進めていきます。です。で、どうしても動画が長くなってしまいます。オンデマンド授業の良さは、「わからなかったら動画を止めて、自分がわかるまで視聴できる」ことだと思います。化学が少し苦手と思っている人こそ、ゆっくりじっくり一緒に学んでいきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

インターネットに接続できる環境。

【その他の重要事項】

昨年度の受講人数が多かったため、今年度は抽選で受講者を決める予定です。必ずしも化学が好きである必要はありませんが、新しいことを知りたいという熱意があることが望ましいです。

【Outline (in English)】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

【Learning activities outside of classroom】University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria】Reaction Paper (60%) and Final test (40%). Class attendance is the most important in this class. If you don't submit the reaction paper more than three times, you cannot get the credit.

CHM200LA

教養化学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル: エネルギーの科学

中田 和秀

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 集中・その他
/intensive・other courses

単位数: 2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2022 年 4 月 3 日 (日) 10 : 00~6 日 (水) 9 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (水) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2022/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。定員に満たない場合も、抽選結果発表後の追加受入れは一切ありません。履修を希望する場合は、必ずエントリー期間内に申し込んでください。

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論 (化学結合論、熱力学、結合エネルギー等) を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、曜日時限を設定しないオンデマンド型の形態によって行われます。すなわち、毎週、学習支援システム (HOPPII) にアップロードされる学習メモ、スライド資料、プリント教材、課題ファイルなどをダウンロードして各自で学習を行います。学習メモには、内容を解説した期間限定動画の URL が記載されていますので、そちらも視聴して学習を進めてください。質問等は、HOPPII の掲示板を通して受付けます。さらに、発展的な読書やインターネット上の資料調査を通してより深く学習し、課題を課題ファイルに作成します。完成した課題ファイルは、HOPPII を通して提出期限までに提出します。課題内容については、次の講義にて解説などのフィードバックを行います。第 1 回授業の資料は、2022 年 4 月 8 日 (金) に学習支援システム (HOPPII) にアップロードする予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第 2 回	物質とは?	物質の基本単位である分子について学習する。
第 3 回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第 4 回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。

第 5 回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第 6 回	石油 (1)	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第 7 回	石油 (2)	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第 8 回	天然ガス	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。
第 9 回	その他の化石燃料	オイルサンドやオイルシェール等、その他の化石燃料について性質や用途を学習する。
第 10 回	水素経済社会 (1)	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第 11 回	水素経済社会 (2)	水素を利用する社会システム (水素経済社会) について、その長所と短所を学習する。
第 12 回	メタノール経済社会 (1)	将来のエネルギー資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第 13 回	メタノール経済社会 (2)	メタノールを利用する社会システム (メタノール経済社会) について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト (教科書)】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協 Web サイトにて購入することができます。

・書名: 新版 エネルギーの科学 (第 2 版)

著者名: 安井伸郎

出版社: 三共出版

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、学習支援システム (HOPPII) を通して提出される課題 (100%) によって決定されます。課題の詳細については、授業内でお伝えします。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

PC やタブレット端末等、オンデマンド授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

基盤科目 (100 番台) の「入門化学 A・B」(1 年生はクラス指定有り)、リベラルアーツ科目 (200 番台) の「教養化学 L C・L D」、総合科目 (300 番台) の「物質の科学 A・B」および「教養ゼミ I・II」も担当しております。合わせての履修をご検討いただければ幸いです。

【Outline (in English)】

In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. After each class, students will be expected to have completed the required assignments that should be submitted through HOPPII (<https://hoppii.hosei.ac.jp>). Studying time will be more than two hours for a class. Overall grade in the class will be decided based on the assignments submitted (100%).

CHM200LA

教養化学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：細菌の化学

中田 和秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、2020 年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため感染予防に有効なワクチンはまだ十分に流通していません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会は COVID-19 から大きな影響を受けはじめています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する種々の有機化合物についてご紹介します。それらが集合して構成される生体の最小単位である細胞について学習し、細菌や細菌によって引き起こされる疾病について学びます。ウイルスが増殖する舞台である細胞について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるよう配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、第 1 回目はオンライン形式により、第 2 回目以降は対面形式により行われます。基本的には板書を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第 2 回	原子	原子を構成する素粒子や原子が結合して生成する分子について解説し、原子に関する理解を深める。
第 3 回	化学結合論	原子がどのようなルールによって結合し分子を形成するかを学習する。
第 4 回	多重結合	化学結合論に基づいて形成される様々な化学結合の種類について学習する。
第 5 回	生体を構成する有機化合物	生体を構成するタンパク質、脂質、糖質、および、核酸について学習する。

第 6 回	分子の立体構造	種々の化学結合がなす角度と結合距離について学習し、分子の立体構造について理解を深める。
第 7 回	分子の立体構造と物質の性質（1）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第 8 回	分子の立体構造と物質の性質（2）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第 9 回	生体分子の立体構造（1）	タンパク質の立体構造について学習する。
第 10 回	生体分子の立体構造（2）	脂質や糖質の立体構造について学習する。
第 11 回	生体分子の立体構造（3）	核酸の立体構造について学習する。
第 12 回	細胞	生物とウイルスの違いや生体の基本単位である細胞について学習する。
第 13 回	細菌	細菌の種類や細菌によって引き起こされる疾病について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「教養化学 L D」を合わせて受講することをお勧めします。

・ 上述のとおり、第 1 回授業は、Zoom を利用したオンライン授業となります。Zoom のアクセス情報は、授業開始までに学習支援システム（HOPPII）の「お知らせ」欄に掲載します。

【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective vaccine has not yet been distributed sufficiently. This situation will continuously cause severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, various organic compounds that comprise living organisms will be presented. Then, students will learn about the cell that is the minimum unit of the living organisms, and bacteria and its related diseases. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of cell that is the place of multiplication of virus from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA

教養化学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル: ウイルスの化学

中田 和秀

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 2 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国で発生した新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) は、2020 年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため感染予防に有効なワクチンはまだ十分に流通していません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会は COVID-19 から大きな影響を受けはじめています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する最小単位である細胞がどのような活動をおこなっているかを学習します。次に、ウイルスがその細胞に侵入して増殖するメカニズムなどを学習します。ウイルスの性質や活動について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるよう配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、第 1 回目はオンライン形式により、第 2 回目以降は対面形式により行われます。基本的には板書を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第 2 回	化学結合論と分子の立体構造	化学結合論によって原子同士がつながって分子が生成すること、および、分子の立体構造によって物質の性質が決まることを学習する。
第 3 回	生体を構成する有機化合物	生体を構成する種々の有機化合物について学習し、それらの分子構造について理解を深める。
第 4 回	遺伝情報の発現 (1)	生物の遺伝子 DNA を RNA に転写する過程について学習する。

第 5 回	遺伝情報の発現 (2)	mRNA が持つ遺伝情報をタンパク質に翻訳する過程について学習する。
第 6 回	遺伝情報の発現 (3)	細胞分裂の際に行われる遺伝子 DNA の複製について学習する。
第 7 回	生化学の研究手法	生化学を学習する際の研究手法について学習する。
第 8 回	ウイルスの構造	種々のウイルスについて基本的な構造を理解する。
第 9 回	λ ファージ	λ ファージの生活環について学習する。
第 10 回	HIV	ヒト免疫不全ウイルス (HIV) の生活環について学習する。
第 11 回	インフルエンザウイルス	インフルエンザウイルスの構造や増殖過程について学習する。
第 12 回	新型コロナウイルス	新型コロナウイルスについて最新の研究成果を学習する。
第 13 回	ウイルス治療薬	ウイルス治療薬開発の概要について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト (教科書)】

使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験 (教科書、プリント、およびノート持ち込み可) により評価します。(100%)

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「教養化学 L C」を合わせて受講することをお勧めします。

・ 上述のとおり、第 1 回授業は、Zoom を利用したオンライン授業となります。Zoom のアクセス情報は、授業開始までに学習支援システム (HOPPII) の「お知らせ」欄に掲載します。

【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective vaccine has not yet been distributed sufficiently. This situation will continuously cause severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, students will learn the processes of expression and transmission of genetic information that is fundamental for living organisms, and then that of multiplication of viruses utilizing such the processes of the host cell. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of viruses from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA

教養化学 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：薬の科学

向井 知大

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

薬の開発は人類の寿命を大きく伸ばし、医学の発展に大きく寄与してきました。この授業では、薬とはどのようなものか、人体にどのような働きをするのか、薬はどのように開発されるか、など、薬の原理について有機化学を用いて紹介していきます。

【到達目標】

薬の働きについての学習を通して、有機化合物の構造式を身近なものにし、有機化合物の性質を左右する構造的特徴について理解することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文を授業支援システムにアップロードする予定です。高校などにおける自然科学系科目（理系科目）の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義計画と概要について説明
第 2 回	薬の歴史	古代から現代までの薬、薬の働き方の簡単な概説
第 3 回	化学の基礎	原子と分子、化学結合について
第 4 回	有機化合物	有機化合物の構造と表記方法について
第 5 回	DNA とタンパク質	アミノ酸の化学構造と、タンパク質や DNA の立体構造について
第 6 回	酵素と代謝	タンパク質や炭水化物などを分解する酵素について
第 7 回	生活習慣病の薬	糖尿病や高脂血症の薬について
第 8 回	抗炎症薬①	非ステロイド薬とステロイド薬の作用機構について
第 9 回	抗炎症剤②	花粉症などアレルギーの薬、抗ヒスタミン薬の分子設計と、副作用改善について
第 10 回	化学療法薬と抗生物質	病原細菌に作用する薬と、その作用メカニズムについて
第 11 回	抗ウイルス薬	インフルエンザやエイズの薬について
第 12 回	がんの薬	様々な抗がん薬の働きと副作用、標的物質について。
第 13 回	うつ病の薬と危険ドラッグ	脳で働く分子について。
第 14 回	まとめ	これまでの内容の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍や web 検索などで調査してみてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。授業で使用する資料を授業支援システムで配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回 5 問程度の正誤問題を出题します。この成績を平常点とします（配分 40%）。期末試験の結果（配分 60%）と平常点をあわせて成績評価します。授業形態によっては、期末試験がレポート課題になる場合があります。

【学生の意見等からの気づき】

理解度を確かめながら進めていく予定です。

【Outline (in English)】

Pharmaceutics has extended the human lifespan and has greatly contributed to the development of medical science. This course introduce the basic principles of medical supplies using organic chemistry.

The goals of this course are to understand about organic compounds and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

HSS200LA

健康の科学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

阿部 巧

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 2 単位

※定員制

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「高齢期の健康づくり」を主要テーマとして学習する。現在の日本は世界でも類を見ない超高齢社会を迎えている。本授業を通して、日本が直面している少子・高齢化問題に対して、どのように貢献できるかについて考える。また、健康問題に関する考え方について理解する。

【到達目標】

1. 高齢期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について多角的な視点から考えることができる。
2. 学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に各テーマの学習を進める。2-3 回に 1 回程度の頻度で全 5 回、授業終了時にテーマに関する自身の考えや意見を問うミニレポート課題を出す。課題の提出締め切り後の授業にて、レポートにどのような考えや意見が書かれていたかを集約し、紹介・解説する形で全体にフィードバックをおこなう。また、テーマに沿って自身の考えを他者と共有する機会を授業内で作る。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要説明
第 2 回	本邦の高齢化の現状	高齢化の実態と課題
第 3 回	高齢期の健康 1	高齢期の生活機能と体力
第 4 回	高齢期の健康 2	老年症候群 (転倒、尿失禁、閉じこもり) の現状と予防
第 5 回	高齢期の健康 3	低栄養の現状と予防
第 6 回	高齢期の健康 4	認知症の現状と予防
第 7 回	高齢期の健康 5	フレイルの現状と予防
第 8 回	高齢期の健康 6	ロコモティブシンドロームとフレイルの現状と予防
第 9 回	健康づくりの三本柱: 運動、栄養、社会参加 1	高齢期の運動
第 10 回	健康づくりの三本柱: 運動、栄養、社会参加 2	高齢期の食習慣と社会参加
第 11 回	地域・職域での健康づくり 1	地域に介護予防の取り組みを広げる方法と事例の紹介
第 12 回	地域・職域での健康づくり 2	地域での介護予防の実践プロセス
第 13 回	高齢期の健康行動	高齢者の行動特性
第 14 回	まとめ	今後の健康づくり・介護予防の方向性

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

次の授業に向けての準備や授業後におこなうべき課題や復習等は、教員からの指示に従って実践するものとし、各 2 時間を標準とする。また、日ごろから高齢者の健康に関連する話題に目を向けることも準備学習となりうる。

【テキスト (教科書)】

特に指定しない。授業テーマに合わせた資料を配布する。

【参考書】

適宜、関連する書籍などを授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

ミニレポート課題 (50% : 10%×5)、最終レポート課題 (50%)

【学生の意見等からの気づき】

講義だけではなく、健康づくりの課題について考える機会を設ける予定である。これは、ミニレポート課題における回答 (意見) を教員がまとめ、それを紹介しフィードバックする際などにおこなう。自身と異なる考えや気が付かなかった視点を把握し、改めて自身の考えを見直す機会とする。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

授業の進捗状況および授業実施方法 (対面・オンライン) について若干の変更があり得る。

【Outline (in English)】

【Course outline】The Health Science LA aims to learn about health promotion among older adults. Japan has been a super-aged society. This class provides the opportunity to understand public issues related to a declining birth rate and an aging population in Japan. This will help students comprehend how to think about health-related ones.

【Learning Objectives】1) Being able to think about health-related issues in older adults and prevention/treatment methods for them from multiple perspectives. 2) Being able to use the health knowledge in daily life.

【Learning activities outside of classroom】The teacher will announce what students should do and review, and students will spend about two hours doing it. Paying attention to health-related issues in older adults leads to preparing for a class.

【Grading Criteria/Policy】Mini-reports (50% : 10% * 5) and the final report (50%)

HSS200LA

健康の科学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

藤平 杏子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「健康の科学 LA」では、「生涯にわたる健康づくり」を主要テーマとして学習する。本授業を通して、健康長寿に必要な食事・運動・休養・社会参加に関する基礎的な事項を理解できるようにする。

【到達目標】

1. 健康の維持・増進に興味を持ち、健康づくりに関する基礎的な知識を習得する。
2. 本授業で学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを用いた講義を中心に各テーマの学習を進める。毎回の授業終了時に、テーマに関する自身の考えや意見・質問などをまとめた小レポートの提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	本授業の内容や進め方についてオリエンテーションを行う。
2	日本の健康問題	日本の医療や健康に関わる背景、生活習慣病
3	肥満とメタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームとは何か
4	高血圧	高血圧の診断、要因と予防法
5	糖尿病と脂質異常症	糖尿病、脂質異常症の診断、要因と予防法
6	骨や歯の病気	骨粗鬆症、要因と予防法 歯周病、歯の病気の予防
7	心の病気	ストレスの捉え方、鬱と対処法
8	生活習慣病の予防と体力	生活習慣病の予防、日本で行われているヘルスプロモーション
9	健康づくりのための食事	健康づくりに必要な食事方法
10	健康づくりのための運動	健康づくりに必要な運動方法、健康づくりのための身体活動基準
11	健康づくりのための休養	健康づくりに必要な休養方法、睡眠、ストレスへの対処
12	健康づくりのための社会参加	健康づくりに必要な人との関わり
13	生涯にわたる健康づくり	年代別の健康問題、予防法、喫煙と飲酒が健康に及ぼす影響
14	まとめ	授業全体の総括と総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業に向けての予習や授業後に行う課題や授業内容の復習等は、各 2 時間を標準とする。授業に向けた予習や復習内容は、授業中に提示する。

【テキスト（教科書）】

本授業では教科書を使用しない。授業に必要なスライドは適宜、配布もしくは配信する。

【参考書】

授業の中で参考になる図書等は紹介するが、購入が必須ではない。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業終了時に小レポートの提出を求める。小レポートの内容と提出状況で成績評価の 5 割、最終レポートの内容と提出状況が残りの 5 割とする。

【学生の意見等からの気づき】

課題を出すときの調べ学習をしたときに将来に必要な知識も定着することが出来た、という授業改善アンケート結果から、学生の生活に関わるトピックを授業時間内に取り上げ、課題学習に使用する予定である。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のため、学習支援システムもしくはメールを使用する。

【その他の重要事項】

感染症などの流行状況を鑑み、上記の授業の進め方を変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 The main theme of this course is "lifelong health promotion". By taking this course, students will be able to understand the basic issues related to diet, exercise, rest, and social participation necessary for healthy longevity.

【Learning Objectives】 By the end of this course, students should be able to:

1. Develop an interest in the maintenance and promotion of health and acquire basic knowledge about health promotion.
2. To be able to use what they have learned in this class to improve the health of themselves and their families.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecturer's instructions regarding assignments to be done after class and preparation for the next class. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 In this course, students will be asked to submit a short report at the end of each class. The content and submission status of the small report will account for 50% of the grade, and the content and submission status of the final report will account for the remaining 50%.

HSS200LA

健康の科学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人生 100 年時代を迎え人々の生き方が多様化する中で、身体的な健康だけでなく、生きがいや人間の尊厳をも含めたホリスティック・ヘルス（包括的健康）の視点が重要になってきている。本講義では、バイオ・サイコ・ソーシャル・ヘルスに関わる様々なトピックスから個人の健康や社会の健康について考え、ウェルネスの確立に向けて自ら実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・健康の概念や健康観の変遷から、健康とは何かについて理解を深める。
- ・包括的健康の視点から、自己の生活の質や地域の課題について考える。
- ・個人及び社会におけるウェルネスの確立に向けて主体的に行動できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	健康観・健康概念の多様化	世界における健康観・健康概念がどのように多様化してきたかについて理解を深める。
第 3 回	日本における健康観の変遷	日本における健康観・健康概念の変遷について、時代背景を踏まえて理解を深める。
第 4 回	ホリスティック・ヘルスとは	ホリスティック・ヘルスの視点から現代人の心身の健康について考える。
第 5 回	心身の健康とストレス特性	自己の身体的・精神的・社会的ストレス度を測り、ストレス特性を知る。
第 6 回	ストレスマネジメント	自己のストレス特性に応じたストレス対処、セルフマネジメントについて学ぶ。
第 7 回	ストレスマネジメント実践編	日常生活で実践しやすいストレスマネジメントの方法を学ぶ。
第 8 回	日本人の生活と健康	我が国の健康政策から日本人の生活と健康課題について理解を深める。

第 9 回	0 次予防とは	0 次予防、健康のための環境づくりの考え方について学ぶ。
第 10 回	健康のための環境づくり	健康のための環境づくりの先進事例をととして地域の課題について考える。
第 11 回	ライフサイクルと健康	ライフサイクル、各ライフステージにおける健康課題について理解を深める。
第 12 回	ライフスタイルと健康	ライフコース、ライフスタイルの多様化とワークライフバランスについて考える。
第 13 回	人生 100 年時代をどう生きるか	超高齢社会におけるウェルビーイングについて考える。
第 14 回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70 %
- ・期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

With the 100-Year Life, a life-course has become increasingly dynamic and diversified. Regarding the quality of individual lives, not only physical health but also perspective of holistic health including "ikigai" and human dignity is becoming an important concept. Health Sciences for ways of living is based on the biopsychosocial model, which posits that biological, psychological and social well-being are interactively.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

- 1.Introduce students to the field of Health Sciences of body, mind, and spirit
- 2.Provide a basic understanding of the theory and specific issues of biopsychosocial health
- 3.Encourage students to practice for health promotion in their life and community

【Learning activities outside of classroom】

- 1.Get information on current health issues from newspapers and news
- 2.Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- ・ Year-end report 30%

HSS200LA

健康の科学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

※定員制

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

健康はいきいきと生きていくための資源であり、自ら健康をコントロールし、改善していくことは重要なライフスキルである。本講義では、ヘルスプロモーションの視点から、栄養・運動・休養に関わる基礎的知識、健康的な生活習慣や環境づくりについて学び、各自の生活における意識の向上、具体的な実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・栄養・運動・休養に関わる基礎的知識を身に付け、自己の生活習慣を見直す。
- ・健康的なライフスタイルを意識して、学んだことを日々の生活に活かす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストと各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	生活習慣・健康度チェック	チェックシートにより自己の生活習慣や健康度を確認する。
第 3 回	健康的なウエイトコントロール	適正体重やボディイメージを知り、健康的なウエイトコントロールについて学ぶ。
第 4 回	エネルギー必要量と摂取量	エネルギー必要量と摂取量、食事内容をチェックし、改善点を認識する。
第 5 回	食と健康	スポーツ栄養、食の安全やサプリメント等のトピックから、食と健康について考える。
第 6 回	生活習慣病の予防	メタボリックシンドローム、生活習慣病とその予防について学ぶ。
第 7 回	運動・スポーツの意義と役割	現代社会における運動・スポーツの重要性について理解を深める。
第 8 回	運動・スポーツによるトレーニング効果	人間の身体の特徴、運動・スポーツによるトレーニング効果について学ぶ。
第 9 回	適切な運動量と運動内容	適切な運動量と運動内容を知り、運動習慣の改善点を認識する。
第 10 回	生体リズムと健康	生体リズムと健康の関係について理解を深める。

第 11 回	日本人の生活と健康	経済格差と健康、企業の健康経営など時事的なトピックから、日本人の生活と健康について考える。
第 12 回	ウェルエイジング	加齢による心身の変化を知り、老いをどう生きるかについて考える。
第 13 回	超高齢社会と健康	人生 100 年時代におけるウェルビーイングについて考える。
第 14 回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70 %
- ・期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Health promotion is the process of enabling people to increase control over, and to improve, their health. It moves beyond a focus on individual behaviour towards a wide range of social and environmental interventions. (WHO) To maintain a healthy body and mind is an essential life skill improving a quality of life. Developing healthy habits are needed not only to keep your life long but enhance your happiness and vitality.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

1. Provide students the foundational knowledge and skills required for healthy lifestyle
2. Encourage students to practice for health promotion in their life

【Learning activities outside of classroom】

1. Get information on current health issues from newspapers and news
2. Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria / Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- ・ Year-end report 30

LANe100LA

入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

レベル共通/※定員制 (48 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Chapter 1	基本 3 時制
第 3 回	Chapter 2	進行形
第 4 回	Chapter 3	完了形
第 5 回	Chapter 4	受動態
第 6 回	Chapter 5	使役
第 7 回	Chapter 6	5 文型
第 8 回	Chapter 7	文の種類
第 9 回	Chapter 8	不定詞
第 10 回	Chapter 9	動名詞
第 11 回	Chapter 10	分詞
第 12 回	Chapter 11	句と節
第 13 回	Chapter 12	前置詞
第 14 回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習をして授業に参加すること。
適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
課題の提出締め切りは、厳守すること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) (石井隆之 他著、成美堂、1,900 円 (税別))
配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50 %)、授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 (50 %) によって総合的に評価する。

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。

授業に出席していても、積極的に参加していない、授業態度が不適切な場合は、出席と認めない。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認してください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA

入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル共通／※定員制（48 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Chapter 13	接続詞
第 3 回	Chapter 14	話法
第 4 回	Chapter 15	関係代名詞
第 5 回	Chapter 16	関係副詞
第 6 回	Chapter 17	助動詞
第 7 回	Chapter 18	仮定法
第 8 回	Chapter 19	冠詞と名詞
第 9 回	Chapter 20	代名詞
第 10 回	Chapter 21	形容詞と副詞
第 11 回	Chapter 22	比較
第 12 回	Chapter 23	否定
第 13 回	Chapter 24	特殊構文
第 14 回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習をして授業に参加すること。
適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
課題の提出締め切りは、厳守すること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) (石井隆之 他著、成美堂、1,900 円 (税別))
配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50 %)、授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 (50 %) によって総合的に評価する。

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。

授業に出席していても、積極的に参加していない、授業態度が不適切な場合は、出席と認めない。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認してください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA

入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル共通／※定員制 (48 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SSI の学生のなかで、英語を苦手とする学生が英語の基本文法や表現を習得することを目的とする。英語のレベルは基礎的なものから始めるが、徐々にさまざまな場面で使用可能な表現の解説に移る。

【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介など、身の回りの日常会話のための表現を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講者には積極的に演習を行うことが求められる。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡は Hoppii で行う。授業日の朝に Hoppii を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	春学期の授業の進め方を紹介する。必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Unit1-1	Unit1 の前半を演習する
第 3 回	Unit1-2	Unit1 の後半を演習する
第 4 回	Unit2-1	Unit2 の前半を演習する
第 5 回	Unit2-2	Unit2 の後半を演習する
第 6 回	Unit3-1	Unit3 の前半を演習する
第 7 回	Unit3-2	Unit3 の後半を演習する
第 8 回	Unit4-1	Unit4 の前半を演習する
第 9 回	Unit4-2	Unit4 の後半を演習する
第 10 回	Unit5-1	Unit5 の前半を演習する
第 11 回	Unit5-2	Unit5 の後半を演習する
第 12 回	Unit6-1	Unit6 の前半を演習する
第 13 回	Unit6-2	Unit6 の後半を演習する
第 14 回	春学期のまとめ	春学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『イングリッシュ・ガイド 基本文法で学ぶ英語の使い方 English Contrasts』

Robert Hickling 著（金星堂）

英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。

4 回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻 2 回を欠席 1 回に換算する。

授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席として認めないことがある。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせて進度を調節する。

【Outline (in English)】

In this course designed for SSI students, they will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

The goal of this course is to acquire the basics of English mentioned above.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), and in-class contribution (50%).

LANe100LA

入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル共通／※定員制（48 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SSI の学生のうち英語を苦手とする学生に、英語の基本から解説と演習を行う。春学期よりも多少難しい文法項目まで範囲に収め、基礎的な英語の運用能力の習得を目指す。

【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介だけでなく、時制や適切な語句の選択等を通じて、春学期よりも多少高い英語表現能力を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講生には積極的に演習を行うことが求められる。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡は Hoppii で行う。授業日の朝に Hoppii を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の振り返り	春学期に学んだ文法項目等の再確認を行う
第 2 回	Unit7-1	Unit7 の前半を演習する
第 3 回	Unit7-2	Unit7 の後半を演習する
第 4 回	Unit8-1	Unit8 の前半を演習する
第 5 回	Unit8-2	Unit8 の後半を演習する
第 6 回	Unit9-1	Unit9 の前半を演習する
第 7 回	Unit9-2	Unit9 の後半を演習する
第 8 回	Unit10-1	Unit10 の前半を演習する
第 9 回	Unit10-2	Unit10 の後半を演習する
第 10 回	Unit11-1	Unit11 の前半を演習する
第 11 回	Unit11-2	Unit11 の後半を演習する
第 12 回	Unit12-1	Unit12 の前半を演習する
第 13 回	Unit12-2	Unit12 の後半を演習する
第 14 回	秋学期のまとめ	秋学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回、予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『イングリッシュ・ガイド 基本文法で学ぶ英語の使い方 English Contrasts』

Robert Hickling 著（金星堂）

英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。

4 回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻 2 回を欠席 1 回に換算する。

授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席と認めないことがある。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせて進度を調節する。

【Outline (in English)】

In this course designed for SSI students, they will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

The goal of this course is to acquire the basics of English mentioned above.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), and in-class contribution (50%)

LANe100LA

入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 1 単位

レベル共通/※定員制 (48 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は5つあります。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行う練習、3) 英語で自分の考えを表現する練習、4) 統合的な英語学習、5) 英語学習を通して自らの人生を振り返り、将来について考察すること。

【到達目標】

この授業では、以下の目標到達を目指します。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行うこと、3) 英語で話したり、書いたりして自分の考えを表現できること、4) 英語のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを統合的に学習すること、5) 英語学習を通して自らの人生を振り返り将来について考察すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

この授業では、身近な題材を用いて基本的英語文法を学習しながら、英語で表現 (スピーキング・ライティング) する練習を行います。このためペアワークやグループワークを通じて共同学習を行います。授業は日本語で行いますが、徐々に英語でコミュニケーションする機会を増やしていきますので、積極的な授業の参加が求められます。授業ではより良い学習環境の構築・楽しく英語を学習することを目指します。また課題へのフィードバックは授業内、あるいは各個人の提出課題にフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の紹介 担当教員の紹介 自己紹介の準備
2	スピーキング: 自己紹介 ライティング・スピーキング: 今学期の目標設定	英語で自己紹介をします。 今学期の目標を英語で設定し、発表します。
3	品詞について (1)	英語の品詞とくに名詞、動詞、形容詞、副詞について学習します。
4	品詞について (2)、 5 W 1 H	品詞の復習 疑問詞を使った疑問文
5	文型について (第 1、2 文型)	第 1 文型、第 2 文型の学習 be, become, feel を用いた文の学習
6	文型について (第 3 文型)	第 1、第 2 文型の復習 第 3 文型の学習
7	文型について (第 4 文型)	第 1 から第 3 文型の復習 第 4 文型の学習: give, teach, tell, send, show, buy を用いた文の学習

8	文型について (第 5 文型)	第 1~第 4 文型の復習 第 5 文型の学習: call, name, make を用いた文の学習
9	プレゼンテーション準備	効果的なプレゼンテーションに関して学習します。 プレゼンテーションの準備をします。
10	プレゼンテーション (1)	プレゼンテーションをします。
11	プレゼンテーション (2)	プレゼンテーションをします。
12	ディスカッション (1)	好きなテーマのディスカッションをします。
13	ディスカッション (2)	好きなテーマのディスカッションをします。
14	全体の復習 リフレクション	今学期の復習をします。 今学期の学習を振り返り、夏季休暇中、来学期の目標を設定します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業外では以下の学習が求められます。

- 1) 課題を行い、提出期限に提出すること
- 2) 英語番組を定期的に視聴すること

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

適宜資料を配布します。

【参考書】

英和辞典、和英辞典

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%), 課題 (10%), プレゼンテーション (30%), 期末テスト (40%)

*各学期欠席 4 回以上の場合は、原則として単位修得は認められません。またプレゼンテーションを行わなかった場合、定期試験を受けなかった場合も単位修得は認められません。

【学生の意見等からの気づき】

「入門英語」は、初めて担当しますので、適宜みなさんの御希望を伺いながら授業を進めていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii, Zoom, WORD, PowerPoint を使用します。

【その他の重要事項】

- 1) 積極的に授業に参加することが求められます。
- 2) マナーを守り、協力して授業に参加することが求められます。
- 3) 課題の提出期限を遵守することが求められます。
- 4) 授業に欠席する場合は、担当教員に必ず連絡することが必要です。
- 5) COVID 19 の状況によっては一部の対面授業 (予定) がオンラインで実施になる場合もあります。

【Outline (in English)】

[Course outline] You will learn English to achieve these five goals: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to learn English holistically and 5) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning Objectives] You will try to achieve these five goals in this English class: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to learn English holistically and 5) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning activities outside of classroom] You are expected: 1) to do assignments, submit them, and meet the deadline; 2) to watch or listen to an English program regularly/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria/Policy] class participation (20%), assignments (10%), presentation (30%), and final examination (40%)

*If you have four absences per semester without permission, do not make a presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

LANe100LA

入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

深谷 公宣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル共通／※定員制（48 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎的な英語の語彙・表現に触れながら、リーディングとライティングのスキルを修得します。

【到達目標】

学期の終わりにまでに次のことができるようになるのが目標です。

・辞書を引き、単語の意味だけでなく品詞や用法を理解することができる。

・英語の文章をパラグラフ単位で捉え、その構造を意識しながら読むことができる。

・パラグラフの構造を意識しながら、簡単な英語で自分の考えを書くことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

・授業形態：教科書に沿って演習・解説をします。予習をして臨むこと。

・課題：授業内で定期的にパラグラフ・ライティングを行い、提出してもらいます。毎回辞書を持参してください。

・フィードバック方法：提出物は添削のうえ、返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	・授業の概要説明 ・必要に応じて選抜をおこないます。
2	Unit1-1	Unit1 の前半を演習する。
3	Unit1-2	Unit1 の後半を演習する。
4	Unit2-1	Unit2 の前半を演習する。
5	Unit2-2	Unit2 の後半を演習する。
6	Unit3-1	Unit3 の前半を演習する。
7	Unit3-2	Unit3 の後半を演習する。
8	Unit4-1	Unit4 の前半を演習する。
9	Unit4-2	Unit4 の後半を演習する。
10	Unit5-1	Unit5 の前半を演習する。
11	Unit5-2	Unit5 の後半を演習する。
12	Unit6-1	Unit6 の前半を演習する。
13	Unit6-2	Unit6 の後半を演習する。
14	Review	授業のまとめをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・授業前には予習を行ってください。

・授業内で示された追加課題に取り組んでください。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Reflect: Reading & Writing (Level 1) Laurie Blass 他著、セーゲージ・ラーニング。

【参考書】

授業の中で指示します。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点: 50%
- ・提出物: 50%
- ・4 回以上欠席した受講生は単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

- ・ Course outline: This course is designed to develop reading and writing skills in English using basic words and sentences.
- ・ Learning Objectives: By the end of this course, students will be an active English learner who tries to look up a dictionary to understand not only the meaning of a word, but also its collocation, and uses the skills they acquired for the act of paragraph reading and writing.
- ・ Learning activities outside of the classroom: Preparation for exercises in the textbook. Additional tasks will be assigned.
- ・ Grading Criteria/Policy: Class participation 50%, Assignments 50%.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe100LA

入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 2/Fri.2

単位数: 1 単位

レベル共通/※定員制 (48 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、英語の基礎力に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使える実践力を身につけることを目的としています。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。ペアワーク中心に進めます。英語が苦手な学生が、英語をまず好きになってもらうように双方向の楽しい授業を心がけます。授業内での課題、発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。 自己紹介ゲームをする。
2	Unit 1 ① Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 日常生活で使われる英語表現を身につける
3	Unit 1 ② Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 通訳演習・発表
4	Unit 2 ① By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 日常生活で使われる英語表現を身につける
5	Unit 2 ② By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 通訳演習・発表
6	Unit 3 ① What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 日常会話で使われる英語表現を身につける。
7	Unit 3 ② What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 通訳演習・発表
8	Unit 4 ① Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 日常生活で使われる英語表現を身につける
9	Unit 4 ② Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 通訳演習・発表
10	Unit 5 ① We're Sorry for the Inconvenience	Tense ① 日常生活で使われる英語表現を身につける

11	Unit 5 ② We're Sorry for the Inconvenience	Tense ② 通訳演習・発表
12	Unit 6 ① I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
13	Unit 6 ② I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ② 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CD を聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980 円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

履修者に応じて、授業内で必要な場合は、参考書を指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50 %

平常点：50 %（授業への参加度、態度、発表、小テスト）
評価の基準

(1) 基礎文法力、語彙力が身につけているか

(2) リスニング力が身につけているか

(3) 読解力が身につけているか

欠席 4 回以上で、単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、英語が苦手な学生に対して、楽しい授業を心掛ける。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basic English

(1) Acquire basic grammar skills

(2) Acquire basic reading comprehension

(3) Acquire listening skills and daily English conversation Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

(1) Understanding the contents

(2) Acquire the daily English Conversation

(3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA

入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

レベル共通／※定員制（48 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、この授業では、基礎的な英語に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使える実践力を身につけます。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

(1) 基礎文法力を身につける

(2) 基礎読解力を身につける

(3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。各学生は予習をして授業に臨むことを原則とします。文法の解説、語彙力、リスニング力向上のための訓練を行い、実践力を身につけていきます。発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 ① Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
2	Unit 7 ② Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ② 通訳演習・発表
3	Unit 8 ① You should ask Koji	Auxiliary Verbs ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
4	Unit 8 ② You should ask Koji	Auxiliary Verbs ② 通訳演習・発表
5	Unit 9 ① Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
6	Unit 9 ② Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ② 通訳演習・発表
7	Unit 10 ① I'd like to check in.	Participles ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
8	Unit 10 ② I'd like to check in.	Participles ② 通訳演習・発表
9	Unit 11 ① Have you tried looking online?	Gerunds ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
10	Unit 11 ② Have you tried looking on line?	Gerunds ② 通訳演習・発表

11	Unit 12 ① I'd like a smaller one	Comparatives ① 日常生活で使われる英語表現を身につける
12	Unit 13 ② Are you ready to order?	Relative Pronouns 日常生活で使われる英語表現を身につける
13	Unit 14 Walk eight blocks, and you'll see it on your right	Relative Adverbs 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CD を聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980 円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

学生のレベルや状況を鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50 %

平常点：50 % (授業への参加度、態度、発表、小テスト)
評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身についているか
 - (2) リスニング力が身についているか
 - (3) 読解力が身についているか
- 欠席 4 回以上で単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basis English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily conversation skills

Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion, presentation, and essay writing skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World

ジェイソン ポール スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.

The classes will be conducted in-person, on campus.

Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Covid in Japan	typed opinion paragraph due next lesson
Week 3	peer editing	Peer editing of above paragraph and group discussion of same Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
Week 4	Changes	Immigration Reform through authentic source such as TED or VOA. Group discussion. Start outline for group presentation

Week 5	inside looking out	A.TED Talk, "Your Body Language May Shape Who You Are" (21:02) Q & A B. Work on presentations
Week 6	Comparing Health Insurance	A. National Health Insurance in Japan compared to Canada, America and Norway. -Group discussions- Work on presentations. Group presentation outline due. Essay outline due.
Week 7	Tradition against modernity	A. Japan's Endless Search for Modernity article https://www.theatlantic.com B. Group work on presentations
Week 8	peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations C. Japan and its neighbors
Week 9	Discussion	Discussion on Japan and its neighbors. Article: How Toyota Helped Create A Thriving Japanese Food Culture In Kentucky. Opinion paragraph on week 10
Week 10	TED Talk	A. Tony Robbins TED Talk, "Why We Do What We Do" (21:45) Q & A Technological change in Japan compared to the world
Week 11	Presentation Prep	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
Week 12	Presentations	2~3 group presentations + Q & A
Week 13	get ready	2~3 group presentations + Q & A
Week 14	Active Feedback	Voicing your opinion on what you would like to see added or omitted in this class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummett, Helen Stephenson & Lewis Lansford: Keynote Intermediate, Cengage Learning, 2016. Student's Book + Online Workbook Code ISBN: 978-1-305-88061-0

『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下 均著、一般財団法人経済産業調査会（¥2,200）

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare two presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course)

- Writing assignments and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments.

【学生が準備すべき機器他】

Textbook. Students should also bring a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World

ジェイソン ポール スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】

The purpose of this class is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.

The classes will be conducted in-person, on campus.

Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Welcome back	Discuss what you did during your spring break. The Convenience of Living in Japan article Highlight etc. in class
Week 2	Peer editing	Discussion on article from week 1. Peer editing of above paragraph and group discussion of same. Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.

Week 3 Your choice

Week 4 Differences/
commonalities

Week 5 Inside looking out

Week 6 Outline

Week 7 discussion

A. Select a short article related to Japan and the world; you must be prepared (highlighting, vocab work and opinion) before class.

Discuss in groups.

Group presentation work

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『元経済産業省英文校閲者か書いたビ・シ・ネスによく効く英語の本』シ・リアン・ヨーク/森下均著、一般財団法人経済産業調査会 (¥ 2,200)

【参考書】

As described throughout this syllabus

【成績評価の方法と基準】

Group work & participation =

30% Paragraphs and essay =

35% Presentations = 35%

There are no tests in this class.

Without a train delay slip

students will be counted

absent if more than 15 minutes

late. Maximum of 3 absences.

Speaking in English will result in higher participation points.

Any form of plagiarism is

unacceptable. Elaboration on

this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】

None

TED: What does it mean to be

a citizen of the world? Hugh

Evans (16:57)

Group discussion

Group presentation work

Single women living in poverty article

Usual highlighting and vocab

work. Discuss in small groups

A. Outline due for one page

essay. Essay due on week 11.

B. In class work on essay.

A. Select a short article from

VOA (Voice of America),

highlight important points and

discuss it in small groups, You

must be prepared before class.

B. Group work on

presentations

Week 8	Peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations
Week 9	Short speeches	Short speeches based on topic list provided by the instructor.
Week 10	Japan Times	Tokyo's internet cafe 'refugees' number 4,000, survey says Japan Times
Week 11	Preparation	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
Week 12	Presentations	2~3 group presentations + Q & A
Week 13	Presentations	2~3 group presentations + Q & A
Week 14	Sayonara	Fun conversation board game done in small groups.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummett, Helen Stephenson & Lewis Lansford: Keynote Intermediate, Cengage Learning, 2016. Student's Book + Online Workbook Code ISBN: 978-1-305-88061-0

『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下 均著、一般財団法人経済産業調査会（¥2,200）

【参考書】

as described in this syllabus

【成績評価の方法と基準】

Group work & participation = 30%

Paragraphs and essay = 35%

Presentations = 35%

There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】

none

【学生が準備すべき機器他】

Textbook. Students should also bring a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【Outline (in English)】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 社会と文化の新たな諸相

岩坪 友子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に習得した英語 4 技能を向上させることを目的として、現代社会のさまざまな側面を紹介・問題提起する英文とそのテーマに関連するリスニングも含む実用的な各種練習問題に取り組みます。英文の構成と自分たちも使える表現（語彙・構文）に着目し、要約・説明や意見交換を繰り返すことで、クリティカル・シンキング力を鍛えながら、幅広い問題意識と理解力・表現力を身につけていくことを目指します。

【到達目標】

- (1) 教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や英語で要約・コメントできる
- (2) 教材レベルの英語の音声聞いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3) 教材に関連したトピックについて、情報収集・考察し、自分の知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる
- (4) 自分の知識や意見を、英語で聞き手に伝わりやすく表現し、他の人の説明や意見に質問やコメントができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って（語彙・リスニングを含む）各種問題・英文の内容確認・意見交換や音読練習を行います。リーディングでは文章全体および各パラグラフの構成に注目し、要旨の把握を主眼とします。教材の英文を、意味内容を理解する対象としてだけでなく、論理的なエッセイのモデルとしても意識することで、使う目線から便利な語彙・構文をピックアップし、語彙力・表現力と論理的な表現方法を身につけることを目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約練習や自分が興味を持った点など意見交換を行います。付属音声を発音や音読のモデルとして活用し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して（リスニング・スピーキング・読解にも役立つ）音読練習を行い、自然で明瞭な発話を目指します。予習・復習や理解・考察などについて、その場で指名して答えてもらったり、小テストや課題で確認します。質問や小テスト・課題等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション。 Unit 1 Multisensory Art 導入	授業の概要説明。語彙・大意把握・意見交換
2	Multisensory Art 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
3	Unit 2 Personality and Inner Growth 導入	語彙・大意把握・意見交換
4	Personality and Inner Growth 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
5	Unit 3 The Subterranean World 導入	語彙・大意把握・意見交換
6	The Subterranean World 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題

7	Unit 4 Elements of Genius 導入	語彙・大意把握・意見交換
8	Elements of Genius 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニング ほか練習問題
9	Unit 5 Sports Medicine 導入	語彙・大意把握・意見交換
10	Sports Medicine 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニング ほか練習問題
11	Unit 6 Cultural Awareness 導入	語彙・大意把握・意見交換
12	Cultural Awareness 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニング ほか練習問題
13	プレゼンテーション・リハーサル	プレゼンテーションの準備・練習・ アドバイス
14	プレゼンテーション。春学期のまとめ	発表・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (85%), final presentation (15%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします ※予習 → 授業 → 復習を基本のセットとして、目標を持って授業に毎回出席し、理解を深めながら積極的に参加、復習で苦手克服・実力向上を目指します
①予習：(1) テキスト問題を解き、根拠も言えるよう準備 (2) 文章の主旨の把握につとめる。未知の語句は文脈から類推し、辞書で確認 (3) 文章構成を意識して、パラグラフごとの要約 (1～2 文程度) を日本語と英語で練習 (4) ダウンロード音声の区切り・抑揚・明瞭な発音に留意して音読練習②復習：(1) 理解を確認しながらテキストを再読。重要表現などは書いたり声に出して定着させる (2) ダウンロード音声を (テキストを見ながら／見ないで) リピート／シャドーイングする (3) テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言って／書いてみる (4) 題材に対する自分の意見を言って／書いてみる (5) 書籍やウェブサイト等で関連情報収集、知識・視野を広げる③学期末プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備し、原稿を指示に沿って期限内に提出し、リハーサル・推敲する※指示されたリスニング教材は、(1) まずスクリプトなしで大意の把握を目指し (2) 次にスクリプト付きで細部の確認を目指して、繰り返し聞く

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3* 南雲堂、本体 2,200 円＋税
※関連資料を使用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み・小テスト／課題など）85%、プレゼンテーション 15%の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)(4) の達成度に照らして評価します。※欠席が 4 回以上になると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

意見交換・プレゼンテーションなどが刺激となり能動的に学べたという意見や継続的な予習と授業参加で力が伸びた実感などが聞かれましたので、みなさんの取り組みをサポートしていけるよう、内容・手法の充実を図っていききたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項や課題・資料指示などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students further develop all four skills in English acquired in English 1 and 2. Students will read essays on a wide range of issues in the world today and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication. The goals are to develop the abilities to read, summarize and comment on the essays, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's opinions and ideas about the topics in speech and writing.

Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, answering questions and listening to a recording) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least an hour per week preparing for and reviewing each class.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 社会と文化の新たな諸相

岩坪 友子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年次および春学期に習得した英語 4 技能を向上させることを目的として、現代社会のさまざまな側面を紹介・問題提起する英文とそのテーマに関連するリスニングも含む実用的な各種練習問題に取り組みます。英文の構成と自分たちも使える表現 (語彙・構文) に着目し、要約・説明や意見交換を繰り返すことで、クリティカル・シンキング力を鍛えながら、幅広い問題意識と理解力・表現力を身につけていくことを目指します。

【到達目標】

- (1) 教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や英語で要約・コメントできる
- (2) 教材レベルの英語の音声を開いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3) 教材に関連したトピックについて、情報収集・考察し、自分の知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる
- (4) 自分の知識や意見を、英語で聞き手に伝わりやすく表現し、他の人の説明や意見に質問やコメントができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って (語彙・リスニングを含む) 各種問題・英文の内容確認・意見交換や音読練習を行います。リーディングでは文章全体および各パラグラフの構成に注目し、要旨の把握を主眼とします。教材の英文を、意味内容を理解する対象としてだけでなく、論理的なエッセイのモデルとしても意識することで、使う目線から便利な語彙・構文をピックアップし、語彙力・表現力と論理的な表現方法を身につけることを目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約練習や自分が興味を持った点など意見交換を行います。付属音声を発音や音読のモデルとして活用し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して (リスニング・スピーキング・読解にも役立つ) 音読練習を行い、自然で明瞭な発話を目指します。予習・復習や理解・考察などについて、その場で指名して答えてもらったり、小テストや課題で確認します。質問や小テスト・課題等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Living off the Grid 導入	語彙・大意把握・意見交換
2	Living off the Grid 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
3	Unit 8 The Actor's Craft 導入	語彙・大意把握・意見交換
4	The Actor's Craft 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
5	Unit 9 Eco-Packaging 導入	語彙・大意把握・意見交換
6	Eco-packaging 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
7	Unit 10 Pop-up Shops 導入	語彙・大意把握・意見交換

8	Pop-up Shops 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
9	Unit 11 Screen Time 導入	語彙・大意把握・意見交換
10	Screen Time 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
11	Unit 12 The World of the Super Rich 導入	語彙・大意把握・意見交換
12	The World of the Super Rich 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
13	プレゼンテーション・リハーサル	プレゼンテーションの準備・練習・アドバイス
14	プレゼンテーション。秋学期のまとめ	発表・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします ※予習 → 授業 → 復習を基本のセットとして、目標を持って授業に毎回出席し、理解を深めながら積極的に参加、復習で苦手克服・実力向上を目指します
①予習: (1) テキスト問題を解き、根拠も言えるよう準備 (2) 文章の主旨の把握につとめる。未知の語句は文脈から類推し、辞書で確認 (3) 文章構成を意識して、パラグラフごとの要約 (1~2 文程度) を日本語と英語で練習 (4) ダウンロード音声の区切り・抑揚・明瞭な発音に留意して音読練習②復習: (1) 理解を確認しながらテキストを再読。重要表現などは書いたり声に出して定着させる (2) ダウンロード音声 (テキストを見ながら/見ないで) リビート/シャドーイングする (3) テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言って/書いてみる (4) 題材に対する自分の意見を言って/書いてみる (5) 書籍やウェブサイト等で関連情報収集、知識・視野を広げる③学期末プレゼンテーション準備: プレゼン用資料を参考に少しずつ準備し、原稿を指示に沿って期限内に提出し、リハーサル・推敲する※指示されたリスニング教材は、(1) まずスクリプトなしで大意の把握を目指し (2) 次にスクリプト付きで細部の確認を目指して、繰り返し聞く

【テキスト (教科書)】

Andrew E. Bennett 著、*Reading Fusion 3* 南雲堂、本体 2,200 円 + 税
※関連資料を使用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業への取り組み・小テスト/課題など) 85%、プレゼンテーション 15% の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)(4) の達成度に照らして評価します。※欠席が 4 回以上になると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

意見交換・プレゼンテーションなどが刺激となり能動的に学べたという意見や継続的な予習と授業参加で力が伸びた実感などが聞かれたので、みなさんの取り組みをサポートしていけるよう、内容・手法の充実を図っていきたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項や課題・資料指示などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students further develop all four skills in English acquired in English 1 and 2. Students will read essays on a wide range of issues in the world today and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication. The goals are to develop the abilities to read, summarize and comment on the essays, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's opinions and ideas about the topics in speech and writing.

Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, answering questions and listening to a recording) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least an hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (85%), final presentation (15%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英文を通してイギリス文化を知る

宇野 毅

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の 4 技能の実際的な向上

【到達目標】

- ・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に理解したとは言えないであろう。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいただけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習して、単元が終了したら課題を提出する。
- ・対面授業を基本とするが、状況によって変わることがあり得る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Chapter 1 Britain and Europe (前半)	イギリスとヨーロッパ 本文の理解と文化的背景の解説
第 2 回	Chapter 1 Britain and Europe (後半)	イギリスの EU 離脱 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 3 回	Chapter 2 The Memories of Empire (前半)	大英帝国の繁栄 本文の理解と文化的背景の解説
第 4 回	Chapter 2 The Memories of Empire (後半)	大英帝国の名残 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 5 回	Chapter 3 Who Are the British? (前半)	イギリス人とは？ 本文の理解と文化的背景の解説
第 6 回	Chapter 3 Who Are the British? (後半)	スコットランドや北アイルランドの歴史的推移 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 7 回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (前半)	イギリスの経営 本文の理解と文化的背景の解説
第 8 回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (後半)	経営の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 9 回	Chapter 5 The Salaryman (前半)	イギリスのサラリーマン事情 本文の理解と文化的背景の解説

第 10 回 Chapter 5 The Salaryman (後半)

日英労働比較
本文の理解と文化的背景の解説
まとめ

第 11 回 Chapter 6 The Worship of the Individual (前半)

イギリスの個人主義
本文の理解と文化的背景の解説

第 12 回 Chapter 6 The Worship of the Individual (後半)

個人主義の日英比較
本文の理解と文化的背景の解説
まとめ

第 13 回 Chapter 7 The Battle for the Schools (前半)

イギリスの教育
本文の理解と文化的背景の解説

第 14 回 Chapter 7 The Battle for the Schools (後半)

日英教育比較
本文の理解と文化的背景の解説
まとめ
試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて【最低でも】2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

【参考書】

『(増補版) 現代イギリスの社会と文化 ゆとりと思いやりの国』（彩流社 2020）

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験 60 点・平常点 40 点等を基準として評価する。
- ・原則として、欠席が 4 回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・ Course outline : Improvement of the English 4 skills
- ・ Learning Objectives : Perfect understanding of English Language and culture
- ・ Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・ Grading Criteria /Policy : Final grade will be calculated according to the following process : term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英文を通してイギリス文化を知る

宇野 毅

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の 4 技能の実際的な向上

【到達目標】

- ・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に英語を理解したとは言えないであろう。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいただけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習して、単元が終了したら課題を提出する。
- ・対面授業を基本とするが、状況によって変わることがあり得る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (前半)	イギリス政治 本文の理解と文化的背景の解説
第 2 回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (後半)	日英政治比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 3 回	Chapter 9 Changing Fashions (前半)	イギリスのファッション 本文の理解と文化的背景の解説
第 4 回	Chapter 9 Changing Fashions (後半)	日英ファッション比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 5 回	Chapter 10 The Changing Media (前半)	イギリスのメディア 本文の理解と文化的背景の解説
第 6 回	Chapter 10 The Changing Media (後半)	日英メディア比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 7 回	Chapter 11 The British Discover Food (前半)	イギリスの食事情 本文の理解と文化的背景の解説
第 8 回	Chapter 11 The British Discover Food (後半)	日英食文化比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 9 回	Chapter 12 Cars with Personality (前半)	イギリスの車事情 本文の理解と文化的背景の解説

第 10 回	Chapter 12 Cars with Personality (後半)	日英車事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 11 回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (前半)	イギリスのガーデニング 本文の理解と文化的背景の解説
第 12 回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (後半)	日英ガーデニング事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 13 回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (前半)	イギリスの田園 本文の理解と文化的背景の解説
第 14 回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (後半)	日英田園比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、【最低でも】2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

【参考書】

『(増補版) 現代イギリスの社会と文化 ゆとりと思いやりの国』（彩流社）

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等 60 点・平常点 40 点を基準として評価する。
- ・原則として、欠席が 4 回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・ Course outline : Improvement of the English 4 skills
- ・ Learning Objectives : Perfect understanding of English Language and culture
- ・ Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・ Grading Criteria /Policy : Final grade will be calculated according to the following process : term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの多様性と多文化共生について考える

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、英語の母国であるイギリスの政治社会、文化、歴史にフォーカスしながら学生の総合英語力を向上させることを目的としています。毎回の授業で、700～800words 程度の少し長めの英文エッセイを読み、この英文リーディングが本授業の中心となります。英文の内容は、イギリスに関わる広範な人文科学、社会科学、自然科学的知見を取り入れたアカデミックなテーマを取り扱います。このような英文エッセイの読解を通して学生は科目名（サブ）にあるように、イギリスの政治社会文化についての知見を獲得し、この国の多様性と多文化共生について多角的に考察します。また、ペアワークやグループワークでスピーキングやライティングの課題に取り組みます。そのような学習の集大成として、学期末にグループプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションでは、各々の学生が授業で学んだトピックの中で興味を持った内容や疑問を持った内容に関して、グループを組んで調査し英語で発表を行います。授業全体を通して学生同士が協力し合って教えあい、課題を解決する姿勢を重視します。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ① 700～800words 程度の学術的内容の少し長めの英文を読み、その内容が理解できる。
- ② パラグラフのテーマをとらえて読むパラグラフ・リーディングの技法の習得。
- ③ 同義語や言い換えなどを用いた語彙力の増強。
- ④ 正確な文法を使って英作文を行うための基本 5 文型の理解、習得。
- ⑤ 現代社会を読み解くための多様性、多文化共生、異文化理解、民主主義などの概念や定義の理解。
- ⑥ パワーポイントなどを用いて英語の発表スライドづくりができる。
- ⑦ プレゼンテーションにおいて英語を用いた発表、質疑応答ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。

1 回の授業で Chapter を 1 つずつ学習します。

ライティングやスピーキングでは、グループワークやペアワークによる課題解決型の学習を行います。

初回授業のガイダンスと、最終授業の筆記試験はオンラインで行われます。それ以外の授業は原則対面授業を行う予定ですが、感染症や災害などの様々な状況に応じて Zoom 授業を行うこともあります。これらの授業予定は、すべて授業支援システムを通じて事前に案内しますので、授業支援システムを必ずチェックするようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4 月 11 日	ガイダンス	授業の方針説明、テキストの紹介、導入
4 月 18 日	Chapter 1: The Country of Diversity	イギリスの多様性に関するエッセイのリーディング

4 月 25 日	Chapter 2: England, Wales, Scotland, and Northern Ireland	イギリスの 4 つの地域に関するエッセイのリーディング
5 月 9 日	Chapter 3: The Power of the Commonwealth	英連邦コモンウェルスに関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
5 月 16 日	Chapter 4: The Birth of Cultural Studies in the UK	イギリスにおける文化研究に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
5 月 23 日	Chapter 5: The Languages of the UK	英語に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
5 月 30 日	Chapter 6: The Development of Journalism in the UK	イギリスのジャーナリズムに関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
6 月 6 日	Chapter 7: The Vessel of Worldwide Art and Culture	文化の中心としてのイギリスに関するエッセイの、ライティング、スピーキング
6 月 13 日	Review: Chapter 1～7	Chapter 1～7 までの復習、やり残した個所の学習
6 月 20 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのテーマ決定、グループ編成
6 月 27 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成
7 月 4 日	プレゼンテーション前	前半グループによるプレゼンテーション
7 月 11 日	プレゼンテーション後	後半グループによるプレゼンテーション
7 月 18 日	学期末筆記試験	オンライン筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

毎回の授業で難易度の高い英文エッセイを読むので、準備学習が不可欠です。授業前に各 Chapter 冒頭の日本語の導入文章に目を通し学習個所のイメージを掴んだうえで、Warm-Up、Vocabulary-Building をやって学習個所の重要語句、前提知識を得てください。復習に関しては、各 Chapter の授業内を終わらなかった箇所を課題として出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書】Aspects of British Culture: Academic Approaches

【著者】Noriyuki Harada, Andrew Houwen, Akira Morita

【出版社】金星堂

【出版年】2022 年

【価格】1900 円

【参考書】

特に指定しませんが、必要に応じて授業内で適宜案内します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点で評価し、60 点以上で合格です。

成績評価の内訳は、平常点 30 %、プレゼンテーション 30 %、学期末筆記試験 40 %です。平常点は通常授業の授業参加や課題の取り組み、小テストなどを評価します。

4 回以上欠席をすると単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

これまで、プレゼンテーションの発表日を 1 日にしていましたが、発表日のスケジュールがタイトになり時間内に全部の発表が終わらず授業を延長することになったので、今年度は余裕を持った発表時間を取るために、前と後の 2 回のプレゼンテーション発表日を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の案内や課題提出等、全て授業支援システムを通じて行います。また初回授業は Zoom で行いますので、パソコンなどのネットワーク環境を整えてください。授業内で、辞書の引き方の指導を行うので、辞書持参は必携です。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This class is intended to improve students' general ability of using English focusing on politics, society and history of the Great Britain, the motherland of English language. Students will read essays written in English with 700~800 words, and this reading part will be the main focus of the course. The contents of reading are from various academic fields of the humanities, social science, and natural science which are related to Britain. Through this reading of English essays, students will acquire knowledge of British society, culture, and history, and consider diversity and multiculturalism in this country from various lights. In addition, students will work on writing and speaking activities in pairs or groups. As the finishing work of the study, students will give presentation in groups at the end of the term. Students will make groups according to their interests or questions about topics learned in the semester, examine those, and present their study in English. Students' cooperation to work together and solve the problems will be valued throughout the course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの多様性と多文化共生について考える

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、英語の母国であるイギリスの政治社会、文化、歴史にフォーカスしながら学生の総合英語力を向上させることを目的としています。毎回の授業で、700~800words 程度の少し長めの英文エッセイを読み、この英文リーディングが本授業の中心となります。英文の内容は、イギリスに関わる広範な人文科学、社会科学、自然科学的知見を取り入れたアカデミックなテーマを取り扱います。このような英文エッセイの読解を通して学生は科目名（サブ）にあるように、イギリスの政治社会文化についての知見を獲得し、この国の多様性と多文化共生について多角的に考察します。また、ペアワークやグループワークでスピーキングやライティングの課題に取り組みます。そのような学習の集大成として、学期末にグループプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションでは、各々の学生が授業で学んだトピックの中で興味を持った内容や疑問を持った内容に関して、グループを組んで調査し英語で発表を行います。授業全体を通して学生同士が協力し合って教えあい、課題を解決する姿勢を重視します。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ① 700~800words 程度の学術的内容の少し長めの英文を読み、その内容が理解できる。
- ② パラグラフのテーマをとらえて読むパラグラフ・リーディングの技法の習得。
- ③ 同義語や言い換えなどを用いた語彙力の増強。
- ④ 正確な文法を使って英作文を行うための基本 5 文型の理解、習得。
- ⑤ 現代社会を読み解くための多様性、多文化共生、異文化理解、民主主義などの概念や定義の理解。
- ⑥ パワーポイントなどを用いて英語の発表スライドづくりができる。
- ⑦ プレゼンテーションにおいて英語を用いた発表、質疑応答ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。

1 回の授業で Chapter を 1 つずつ学習します。

ライティングやスピーキングでは、グループワークやペアワークによる課題解決型の学習を行います。

初回授業のガイダンスと、最終授業の筆記試験はオンラインで行われます。それ以外の授業は原則対面授業を行う予定ですが、感染症や災害などの様々な状況に応じて Zoom 授業を行うこともあります。これらの授業予定は、すべて授業支援システムを通じて事前に案内しますので、授業支援システムを必ずチェックするようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
9 月 26 日	Chapter 8: The Relationship between Japan and the UK	日英交流に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング

10 月 3 日	Chapter 9: The History of British Democracy	イギリスの民主主義に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 10 日	Chapter 10: The British Debate about the Economy	イギリスの経済理論に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 17 日	Chapter 11: With or Without God: The Development of the Natural Sciences	イギリスの自然科学に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 24 日	Chapter 12: The Country of Satire	イギリスの風刺文化に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 31 日	Chapter 13: Nature and British People	自然を愛するイギリス人に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
11 月 7 日	Chapter 14: An Oxbridge Education	オックスブリッジの教育に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
11 月 14 日	Chapter 15: British Community Life	イギリスの地域社会に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
11 月 21 日	Review: Chapter 8～15	Chapter 8～15 までの復習、やり残した個所の学習
11 月 28 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのテーマ決定、グループ編成
12 月 5 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成
12 月 12 日	プレゼンテーション前半	前半グループによるプレゼンテーション
12 月 19 日	プレゼンテーション後半	後半グループによるプレゼンテーション
1 月 16 日	学期末筆記試験	オンライン筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

毎回の授業で難易度の高い英文エッセイを読むので、準備学習が不可欠です。授業前に各 Chapter 冒頭の日本語の導入文章に目を通し学習個所のイメージを掴んだうえで、Warm-Up、Vocabulary-Building をやって学習個所の重要語句、前提知識を得てください。

復習に関しては、各 Chapter の授業内を終わらなかった箇所を課題として出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書】Aspects of British Culture: Academic Approaches

【著者】Noriyuki Harada, Andrew Houwen, Akira Morita

【出版社】金星堂

【出版年】2022 年

【価格】1900 円

【参考書】

特に指定しませんが、必要に応じて授業内で適宜案内します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点で評価し、60 点以上で合格です。

成績評価の内訳は、平常点 30 %、プレゼンテーション 30 %、学期末筆記試験 40 %です。平常点は通常授業の授業参加や課題の取り組み、小テストなどを評価します。

4 回以上欠席をすると単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

これまでは、プレゼンテーションの発表日を 1 日にしていましたが、発表日のスケジュールがタイトになり時間内に全部の発表が終わらず授業を延長することになったので、今年度は余裕を持った発表時間を取るために、前と後の 2 回のプレゼンテーション発表日を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の案内や課題提出等、全て授業支援システムを通じて行います。また初回授業は Zoom で行いますので、パソコンなどのネットワーク環境を整えてください。授業内で、辞書の引き方の指導を行うので、辞書持参は必須です。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This class is intended to improve students' general ability of using English focusing on politics, society and history of the Great Britain, the motherland of English language. Students will read essays written in English with 700～800 words, and this reading part will be the main focus of the course. The contents of reading are from various academic fields of the humanities, social science, and natural science which are related to Britain. Through this reading of English essays, students will acquire knowledge of British society, culture, and history, and consider diversity and multiculturalism in this country from various lights. In addition, students will work on writing and speaking activities in pairs or groups. As the finishing work of the study, students will give presentation in groups at the end of the term. Students will make groups according to their interests or questions about topics learned in the semester, examine those, and present their study in English. Students' cooperation to work together and solve the problems will be valued throughout the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

NHK のインタビュー番組を題材とするテキストから、"Sustainable businesses"に関連する 4 つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明
第 2 回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (1)	リスニング
第 3 回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (2)	読解、スピーキング

第 4 回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (3)	ライティング
第 5 回	Voice 4: The Matcha Business: A Maverick Spirit (1)	リスニング
第 6 回	Voice 4: The Matcha Business: A Maverick Spirit (2)	読解、スピーキング
第 7 回	Voice 4: The Matcha Business: A Maverick Spirit (3)	ライティング
第 8 回	Voice 7: Farming Is the Future (1)	リスニング
第 9 回	Voice 7: Farming Is the Future (2)	読解、スピーキング
第 10 回	Voice 7: Farming Is the Future (3)	ライティング
第 11 回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (1)	リスニング
第 12 回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (2)	読解、スピーキング
第 13 回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (3)	ライティング
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

- ・テキストの映像を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト (教科書)】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk (金星堂、2021 年、2600 円 + 税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、予習 10 %、課題 30 %、期末試験 30 %
欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用する。
必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。
Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届くので、随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant interview on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (30%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

NHK のインタビュー番組を題材とするテキストから、"People and society"に関連する 4 つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する。 プレゼンテーション導入
第 2 回	Voice 3: Saving Children in Poverty Through Music (1)	リスニング
第 3 回	Voice 3: Saving Children in Poverty Through Music (2)	読解、スピーキング
第 4 回	Voice 3: Saving Children in Poverty Through Music (3)	ライティング
第 5 回	Voice 5: French Refugee Integration (1)	リスニング
第 6 回	Voice 5: French Refugee Integration (2)	読解、スピーキング

第 7 回	Voice 5: French Refugee Integration (3)	ライティング
第 8 回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (1)	リスニング
第 9 回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (2)	読解、スピーキング
第 10 回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (3)	ライティング
第 11 回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (1)	リスニング
第 12 回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (2)	読解、スピーキング、ライティ ング
第 13 回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (3)	プレゼンテーション
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (30%).

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

- ・テキストの映像を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk（金星堂、2021 年、2600 円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、予習 10 %、課題・プレゼンテーション 30 %、期末試験 30 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用する。
必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。
Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届くので、随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant interview on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World

ジェイソン ポール スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.

The classes will be conducted in-person, on campus.

Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Covid in Japan	typed opinion paragraph due next lesson
Week 3	peer editing	Peer editing of above paragraph and group discussion of same Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
Week 4	Changes	Immigration Reform through authentic source such as TED or VOA. Group discussion. Start outline for group presentation

Week 5	inside looking out	A.TED Talk, "Your Body Language May Shape Who You Are" (21:02) Q & A B. Work on presentations
Week 6	Comparing Health Insurance	A. National Health Insurance in Japan compared to Canada, America and Norway. -Group discussions- Work on presentations. Group presentation outline due. Essay outline due.
Week 7	Tradition against modernity	A. Japan's Endless Search for Modernity article https://www.theatlantic.com B. Group work on presentations
Week 8	peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations C. Japan and its neighbors
Week 9	Discussion	Discussion on Japan and it's neighbors. Article: How Toyota Helped Create A Thriving Japanese Food Culture In Kentucky. Opinion paragraph on week 10
Week 10	TED Talk	A. Tony Robbins TED Talk, "Why We Do What We Do" (21:45) Q & A Technological change in Japan compared to the world
Week 11	Presentation Prep	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
Week 12	Presentations	2~3 group presentations + Q & A
Week 13	get ready	2~3 group presentations + Q & A
Week 14	Active Feedback	Voicing your opinion on what you would like to see added or omitted in this class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummett, Helen Stephenson & Lewis Lansford: Keynote Intermediate, Cengage Learning, 2016. Student's Book + Online Workbook Code ISBN: 978-1-305-88061-0

『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下 均著、一般財団法人経済産業調査会（¥2,200）

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare two presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course)

- Writing assignments and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments.

【学生が準備すべき機器他】

Textbook. Students should also bring a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Japan in the Modern World

ジェイソン ポール スミス

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】

The purpose of this class is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.

The classes will be conducted in-person, on campus.

Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Welcome back	Discuss what you did during your spring break. The Convenience of Living in Japan article Highlight etc. in class
Week 2	Peer editing	Discussion on article from week 1. Peer editing of above paragraph and group discussion of same. Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.

Week 3 Your choice	A. Select a short article related to Japan and the world; you must be prepared (highlighting, vocab work and opinion) before class. Discuss in groups. Group presentation work 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト (教科書)】 『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』 ジェリアン・ヨーク/森下均著、一般財団法人経済産業調査会 (¥ 2,200) 【参考書】 As described throughout this syllabus 【成績評価の方法と基準】 Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35% There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class. 【学生の意見等からの気づき】 None	Week 8 Peer editing A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations
Week 9 Short speeches	Short speeches based on topic list provided by the instructor. Tokyo's internet cafe 'refugees' number 4,000, survey says Japan Times	Week 10 Japan Times
Week 11 Preparation	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.	Week 12 Presentations 2~3 group presentations + Q & A
Week 13 Presentations	2~3 group presentations + Q & A	Week 14 Sayonara Fun conversation board game done in small groups.
Week 14	【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト (教科書)】 Paul Dummett, Helen Stephenson & Lewis Lansford: Keynote Intermediate, Cengage Learning, 2016. Student's Book + Online Workbook Code ISBN: 978-1-305-88061-0 『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』 ジェリアン・ヨーク/森下均著、一般財団法人経済産業調査会 (¥2,200) 【参考書】 as described in this syllabus 【成績評価の方法と基準】 Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35% There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class. 【学生の意見等からの気づき】 none 【学生が準備すべき機器他】 Textbook. Students should also bring a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested. 【Outline (in English)】 Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.	
Week 4 Differences/ commonalities	TED: What does it mean to be a citizen of the world? Hugh Evans (16:57) Group discussion Group presentation work	
Week 5 Inside looking out	Single women living in poverty article Usual highlighting and vocab work. Discuss in small groups	
Week 6 Outline	A. Outline due for one page essay. Essay due on week 11. B. In class work on essay.	
Week 7 discussion	A. Select a short article from VOA (Voice of America), highlight important points and discuss it in small groups, You must be prepared before class. B. Group work on presentations	

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion, presentation, and essay writing skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの多様性と多文化共生について考える

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、英語の母国であるイギリスの政治社会、文化、歴史にフォーカスしながら学生の総合英語力を向上させることを目的としています。毎回の授業で、700～800words 程度の少し長めの英文エッセイを読み、この英文リーディングが本授業の中心となります。英文の内容は、イギリスに関わる広範な人文科学、社会科学、自然科学的知見を取り入れたアカデミックなテーマを取り扱います。このような英文エッセイの読解を通して学生は科目名（サブ）にあるように、イギリスの政治社会文化についての知見を獲得し、この国の多様性と多文化共生について多角的に考察します。また、ペアワークやグループワークでスピーキングやライティングの課題に取り組みます。そのような学習の集大成として、学期末にグループプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションでは、各々の学生が授業で学んだトピックの中で興味を持った内容や疑問を持った内容に関して、グループを組んで調査し英語で発表を行います。授業全体を通して学生同士が協力し合って教えあい、課題を解決する姿勢を重視します。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ① 700～800words 程度の学術的内容の少し長めの英文を読み、その内容が理解できる。
- ② パラグラフのテーマをとらえて読むパラグラフ・リーディングの技法の習得。
- ③ 同義語や言い換えなどを用いた語彙力の増強。
- ④ 正確な文法を使って英作文を行うための基本 5 文型の理解、習得。
- ⑤ 現代社会を読み解くための多様性、多文化共生、異文化理解、民主主義などの概念や定義の理解。
- ⑥ パワーポイントなどを用いて英語の発表スライドづくりができる。
- ⑦ プレゼンテーションにおいて英語を用いた発表、質疑応答ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。

1 回の授業で Chapter を 1 つずつ学習します。

ライティングやスピーキングでは、グループワークやペアワークによる課題解決型の学習を行います。

初回授業のガイダンスと、最終授業の筆記試験はオンラインで行われます。それ以外の授業は原則対面授業を行う予定ですが、感染症や災害などの様々な状況に応じて Zoom 授業を行うこともあります。これらの授業予定は、すべて授業支援システムを通じて事前に案内しますので、授業支援システムを必ずチェックするようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4 月 11 日	ガイダンス	授業の方針説明、テキストの紹介、導入
4 月 18 日	Chapter 1: The Country of Diversity	イギリスの多様性に関するエッセイのリーディング

4 月 25 日	Chapter 2: England, Wales, Scotland, and Northern Ireland	イギリスの 4 つの地域に関するエッセイのリーディング
5 月 9 日	Chapter 3: The Power of the Commonwealth	英連邦コモンウェルスに関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
5 月 16 日	Chapter 4: The Birth of Cultural Studies in the UK	イギリスにおける文化研究に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
5 月 23 日	Chapter 5: The Languages of the UK	英語に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
5 月 30 日	Chapter 6: The Development of Journalism in the UK	イギリスのジャーナリズムに関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
6 月 6 日	Chapter 7: The Vessel of Worldwide Art and Culture	文化の中心としてのイギリスに関するエッセイの、ライティング、スピーキング
6 月 13 日	Review: Chapter 1～7	Chapter 1～7 までの復習、やり残した個所の学習
6 月 20 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのテーマ決定、グループ編成
6 月 27 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成
7 月 4 日	プレゼンテーション前	前半グループによるプレゼンテーション
7 月 11 日	プレゼンテーション後	後半グループによるプレゼンテーション
7 月 18 日	学期末筆記試験	オンライン筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

毎回の授業で難易度の高い英文エッセイを読むので、準備学習が不可欠です。授業前に各 Chapter 冒頭の日本語の導入文章に目を通し学習個所のイメージを掴んだうえで、Warm-Up、Vocabulary-Building をやって学習個所の重要語句、前提知識を得てください。復習に関しては、各 Chapter の授業内を終わらなかった箇所を課題として出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書】Aspects of British Culture: Academic Approaches

【著者】Noriyuki Harada, Andrew Houwen, Akira Morita

【出版社】金星堂

【出版年】2022 年

【価格】1900 円

【参考書】

特に指定しませんが、必要に応じて授業内で適宜案内します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点で評価し、60 点以上で合格です。

成績評価の内訳は、平常点 30 %、プレゼンテーション 30 %、学期末筆記試験 40 %です。平常点は通常授業の授業参加や課題の取り組み、小テストなどを評価します。

4 回以上欠席をすると単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

これまでは、プレゼンテーションの発表日を 1 日にしていましたが、発表日のスケジュールがタイトになり時間内に全部の発表が終わらず授業を延長することになったので、今年度は余裕を持った発表時間を取るために、前と後の 2 回のプレゼンテーション発表日を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の案内や課題提出等、全て授業支援システムを通じて行います。また初回授業は Zoom で行いますので、パソコンなどのネットワーク環境を整えてください。授業内で、辞書の引き方の指導を行うので、辞書持参は必携です。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This class is intended to improve students' general ability of using English focusing on politics, society and history of the Great Britain, the motherland of English language. Students will read essays written in English with 700~800 words, and this reading part will be the main focus of the course. The contents of reading are from various academic fields of the humanities, social science, and natural science which are related to Britain. Through this reading of English essays, students will acquire knowledge of British society, culture, and history, and consider diversity and multiculturalism in this country from various lights. In addition, students will work on writing and speaking activities in pairs or groups. As the finishing work of the study, students will give presentation in groups at the end of the term. Students will make groups according to their interests or questions about topics learned in the semester, examine those, and present their study in English. Students' cooperation to work together and solve the problems will be valued throughout the course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの多様性と多文化共生について考える

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、英語の母国であるイギリスの政治社会、文化、歴史にフォーカスしながら学生の総合英語力を向上させることを目的としています。毎回の授業で、700~800words 程度の少し長めの英文エッセイを読み、この英文リーディングが本授業の中心となります。英文の内容は、イギリスに関わる広範な人文科学、社会科学、自然科学的知見を取り入れたアカデミックなテーマを取り扱います。このような英文エッセイの読解を通して学生は科目名（サブ）にあるように、イギリスの政治社会文化についての知見を獲得し、この国の多様性と多文化共生について多角的に考察します。また、ペアワークやグループワークでスピーキングやライティングの課題に取り組みます。そのような学習の集大成として、学期末にグループプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションでは、各々の学生が授業で学んだトピックの中で興味を持った内容や疑問を持った内容に関して、グループを組んで調査し英語で発表を行います。授業全体を通して学生同士が協力し合って教えあい、課題を解決する姿勢を重視します。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ① 700~800words 程度の学術的内容の少し長めの英文を読み、その内容が理解できる。
- ② パラグラフのテーマをとらえて読むパラグラフ・リーディングの技法の習得。
- ③ 同義語や言い換えなどを用いた語彙力の増強。
- ④ 正確な文法を使って英作文を行うための基本 5 文型の理解、習得。
- ⑤ 現代社会を読み解くための多様性、多文化共生、異文化理解、民主主義などの概念や定義の理解。
- ⑥ パワーポイントなどを用いて英語の発表スライドづくりができる。
- ⑦ プレゼンテーションにおいて英語を用いた発表、質疑応答ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。

1 回の授業で Chapter を 1 つずつ学習します。

ライティングやスピーキングでは、グループワークやペアワークによる課題解決型の学習を行います。初回授業のガイダンスと、最終授業の筆記試験はオンラインで行われます。それ以外の授業は原則対面授業を行う予定ですが、感染症や災害などの様々な状況に応じて Zoom 授業を行うこともあります。これらの授業予定は、すべて授業支援システムを通じて事前に案内しますので、授業支援システムを必ずチェックするようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
9 月 26 日	Chapter 8: The Relationship between Japan and the UK	日英交流に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング

10 月 3 日	Chapter 9: The History of British Democracy	イギリスの民主主義に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 10 日	Chapter 10: The British Debate about the Economy	イギリスの経済理論に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 17 日	Chapter 11: With or Without God: The Development of the Natural Sciences	イギリスの自然科学に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 24 日	Chapter 12: The Country of Satire	イギリスの風刺文化に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
10 月 31 日	Chapter 13: Nature and British People	自然を愛するイギリス人に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
11 月 7 日	Chapter 14: An Oxbridge Education	オックスブリッジの教育に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
11 月 14 日	Chapter 15: British Community Life	イギリスの地域社会に関するエッセイのリーディング、ライティング、スピーキング
11 月 21 日	Review: Chapter 8～15	Chapter 8～15 までの復習、やり残した個所の学習
11 月 28 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのテーマ決定、グループ編成
12 月 5 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成
12 月 12 日	プレゼンテーション前半	前半グループによるプレゼンテーション
12 月 19 日	プレゼンテーション後半	後半グループによるプレゼンテーション
1 月 16 日	学期末筆記試験	オンライン筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

毎回の授業で難易度の高い英文エッセイを読むので、準備学習が不可欠です。授業前に各 Chapter 冒頭の日本語の導入文章に目を通し学習個所のイメージを掴んだうえで、Warm-Up、Vocabulary-Building をやって学習個所の重要語句、前提知識を得てください。

復習に関しては、各 Chapter の授業内を終わらなかった箇所を課題として出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書】Aspects of British Culture: Academic Approaches

【著者】Noriyuki Harada, Andrew Houwen, Akira Morita

【出版社】金星堂

【出版年】2022 年

【価格】1900 円

【参考書】

特に指定しませんが、必要に応じて授業内で適宜案内します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点で評価し、60 点以上で合格です。

成績評価の内訳は、平常点 30 %、プレゼンテーション 30 %、学期末筆記試験 40 %です。平常点は通常授業の授業参加や課題の取り組み、小テストなどを評価します。

4 回以上欠席をすると単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

これまでは、プレゼンテーションの発表日を 1 日にしていましたが、発表日のスケジュールがタイトになり時間内に全部の発表が終わらず授業を延長することになったので、今年度は余裕を持った発表時間を取るために、前と後の 2 回のプレゼンテーション発表日を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の案内や課題提出等、全て授業支援システムを通じて行います。また初回授業は Zoom で行いますので、パソコンなどのネットワーク環境を整えてください。授業内で、辞書の引き方の指導を行うので、辞書持参は必須です。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This class is intended to improve students' general ability of using English focusing on politics, society and history of the Great Britain, the motherland of English language. Students will read essays written in English with 700～800 words, and this reading part will be the main focus of the course. The contents of reading are from various academic fields of the humanities, social science, and natural science which are related to Britain. Through this reading of English essays, students will acquire knowledge of British society, culture, and history, and consider diversity and multiculturalism in this country from various lights. In addition, students will work on writing and speaking activities in pairs or groups. As the finishing work of the study, students will give presentation in groups at the end of the term. Students will make groups according to their interests or questions about topics learned in the semester, examine those, and present their study in English. Students' cooperation to work together and solve the problems will be valued throughout the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

NHK のインタビュー番組を題材とするテキストから、"Sustainable businesses"に関連する 4 つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明
第 2 回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (1)	リスニング
第 3 回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (2)	読解、スピーキング

第 4 回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (3)	ライティング
第 5 回	Voice 4: The Matcha Business: A Maverick Spirit (1)	リスニング
第 6 回	Voice 4: The Matcha Business: A Maverick Spirit (2)	読解、スピーキング
第 7 回	Voice 4: The Matcha Business: A Maverick Spirit (3)	ライティング
第 8 回	Voice 7: Farming Is the Future (1)	リスニング
第 9 回	Voice 7: Farming Is the Future (2)	読解、スピーキング
第 10 回	Voice 7: Farming Is the Future (3)	ライティング
第 11 回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (1)	リスニング
第 12 回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (2)	読解、スピーキング
第 13 回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (3)	ライティング
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

- ・テキストの映像を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト (教科書)】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk (金星堂、2021 年、2600 円 + 税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、予習 10 %、課題 30 %、期末試験 30 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用する。必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届くので、随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant interview on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (30%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

NHK のインタビュー番組を題材とするテキストから、"People and society"に関連する 4 つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する。 プレゼンテーション導入
第 2 回	Voice 3: Saving Children in Poverty Through Music (1)	リスニング
第 3 回	Voice 3: Saving Children in Poverty Through Music (2)	読解、スピーキング
第 4 回	Voice 3: Saving Children in Poverty Through Music (3)	ライティング
第 5 回	Voice 5: French Refugee Integration (1)	リスニング
第 6 回	Voice 5: French Refugee Integration (2)	読解、スピーキング

第 7 回	Voice 5: French Refugee Integration (3)	ライティング
第 8 回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (1)	リスニング
第 9 回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (2)	読解、スピーキング
第 10 回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (3)	ライティング
第 11 回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (1)	リスニング
第 12 回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (2)	読解、スピーキング、ライティ ング
第 13 回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (3)	プレゼンテーション
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (30%).

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

- ・テキストの映像を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk（金星堂、2021 年、2600 円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、予習 10 %、課題・プレゼンテーション 30 %、期末試験 30 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用する。
必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。
Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届くので、随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant interview on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 1

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication. The four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
Week 1	Class orientation/self-introductions/news and views	Spring Break catch-up/News Headlines/Discussion
Week 2	Conversation Strategies	Follow-up questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture
Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo

Week 5	Video Report	Something New for 30 Days
Week 6	News and Views	News Headlines Presentations
Week 7	Mid-term Presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Probability
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Aging Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material
Week 14	Final Project/Presentation	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None will be used.

【成績評価の方法と基準】

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (20%)

Final presentation (20%)

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary
Computer with camera/mic
Headset
ZOOM

【その他の重要事項】

None

[None]

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy, and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research, and actively participate.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Current News II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができる (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break	Summer break catch-up/News
	Discussions/News and Views	Headlines/Discussion
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor/Unconscious Bias
Week 4	News Article	Eco-Anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト (教科書)】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None required.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Presentation and Discussion

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions	Getting started
	HW/L1	

2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Presentation and Discussion

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The
homework listening recordings can be streamed or downloaded
from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/> Students will
have to create a yahoo.com email address, join the group,
and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2
Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation,
25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work,
25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class
sessions may disqualify students from obtaining credit for the
course. Lateness exceeding 15 minutes without justification
will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing,
grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from
English 1 and 2 and aims to provide students with further
opportunities to think critically and express their opinions on
a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society
across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas
and opinions while building their communication skills in all
aspects.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant
to their lives, studies and futures. The main sources will be
in British English, but cultures across the world - not only
Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部：
DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the
starting point for discussion and information processing. In
alternate weeks a writing exercise will be included with an
emphasis on accurate self-expression. This work will be
returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will
focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.

- 13 Hello and Goodbye. How We Meet and Take Our Leave.
- 14 Final Examination. Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

This class will be conducted online. All scheduled classes will be held on Zoom. Assignments will be conducted mostly through Google Classrooms. Details will be posted on the HOPPII class management system in due course.

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration. Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で身につけた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探索し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみたいと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1 つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）事例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第 1 回課題を提示します。
第 2 回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示: コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレイカー」となるのか学習します。

第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『憂国のモリアーティ』『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイディオムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：在位 70 周年を迎えたエリザベス二世の文化的アイコンとしての役割を考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェークスピアの意義について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine: アイヌ、私の声』（2020）と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	英前回のフィードバック・課題レポートの指示：語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice）について考察します。
第 13 回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末レポート課題の提示	学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014 年, 1800 円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全 13 回の課題レポートの提出 (65%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出 (35%) を総合して評価します。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が 4 回以上ある方、未提出課題が 5 回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least two hours doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 65%, term-end assignment: 35%, and in-class contribution.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1 つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で) 事例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	学期末レポート課題のフィードバックと第 1 回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第 1 回レポート課題を指示します。
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。

第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示: ビートルズについて調べてみましょう。
第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、オーウェン・ジョーンズの『エスタブリッシュメント』の抜粋を読みます。保守党とエスタブリッシュメントの関係を示す資料として、イギリス映画『ウィンストン・チャーチル』(2017)を鑑賞します。イギリスの小選挙区制について考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』(2000)を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 8 回	The Establishment (3)	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』(2019)を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第 12 回	Films as cultural and political representations	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第 13 回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書のまとめと第 13 回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末レポート課題の提示	学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト (教科書)】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全 13 回の課題レポートの提出 (65%) と三段階評価する学期末レポート課題 (35%) を総合して評価を行います。毎回の課題レポートを提出していれば、問題は無いと思いますが、欠席が 4 回以上ある場合、5 回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位取得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least two hours doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 65%, term-end assignment: 35%, and in-class contribution.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカから見た世界

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ 2022 年版を教材として、経済不況や震災、コロナウィルスといった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に付けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業（資料配布型）とする。

ほぼ 2 回の授業で 1 つの Unit を学習する。1 回目の授業では各自ニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布の Answer sheet に解答して Hoppii を通して締め切り日までに提出する。2 回目の授業では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、Definition で学習した語彙で Examples を完成させる。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 新型コロナ早期封じ込め 「女性リーダー」	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 4/20
3	Unit 1 新型コロナ早期封じ込め 「女性リーダー」	スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
4	Unit 2 2020 年ノーベル平和賞 「世界食糧計画」	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 5/11
5	Unit 2 2020 年ノーベル平和賞 「世界食糧計画」	Unit 1 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題

6	Unit 3 「ワクチン外交」に奔走する中国	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 5/25
7	Unit 3 「ワクチン外交」に奔走する中国	Unit 2 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
8	Unit 4 「オンライン」で世界の美術館巡り	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 6/8
9	Unit 4 「オンライン」で世界の美術館巡り	Unit 3 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
10	Unit 5 史上最悪の森林火災 オーストラリアの野生動物に被害	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 6/22
11	Unit 5 史上最悪の森林火災 オーストラリアの野生動物に被害	Unit 4 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
12	Unit 6 蚊と人間の遺伝子研究 最前線	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 7/6
13	Unit 6 蚊と人間の遺伝子研究 最前線	Unit 5 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
14	これまでのまとめと期末試験	Unit 6 語彙小テスト これまでのまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

オンライン授業では、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストの Definition をしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Definition, Examples 部分は採点し返却される。

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかりと取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース（23）
朝日出版社 2090 円（税込）

【参考書】

特になし
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●オンライン時 課題提出 10%・・・Examples は採点する。1 点×10 問= 10 点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10 点×6 回分 60 点 30%

●期末試験 50%

*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は 3 回までとする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカから見た世界

大曲 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ 2022 年版を教材として、経済不況や震災、コロナウィルスといった世界的な混乱の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業（資料配布型）とする。

ほぼ 2 回の授業で 1 つの Unit を学習する。1 回目の授業では各自ニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布の Answer sheet に解答して Hoppii を通して締め切り日までに提出する。2 回目の授業では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、Definition で学習した語彙で Examples を完成させる。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warming Up	時事問題プリント教材
2	Unit 7 プラスチックを食べる虫 ごみ問題の救世主となるか	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 10/5
3	Unit 7 プラスチックを食べる虫 ごみ問題の救世主となるか	スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
4	Unit 8 NASA アルテミス計画 50 年ぶりに人類が月に	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 10/19

5	Unit 8 NASA アルテミス計画 50 年ぶりに人類が月に	Unit 7 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
6	Unit 9 12 歳の天才少女スケーター 大げがから奇跡の復活	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 11/2
7	Unit 9 12 歳の天才少女スケーター 大げがから奇跡の復活	Unit 8 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
8	Unit 10 新素材で歴史建築を守り抜く 日本だからこそその技術力	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 11/16
9	Unit 10 新素材で歴史建築を守り抜く 日本だからこそその技術力	Unit 9 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
10	Unit 11 新型コロナ感染拡大で進む「オンライン」授業の課題	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 11/30
11	Unit 11 新型コロナ感染拡大で進む「オンライン」授業の課題	Unit 10 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
12	Unit 12 皇太子主導で変貌を遂げるサウジアラビア	definition ニューススクリプトの完成、 Hoppii を通して提出 締め切り 12/15
13	Unit 12 皇太子主導で変貌を遂げるサウジアラビア	Unit 11 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容の確認 Examples 完成 内容の TF 問題
14	これまでのまとめと期末試験	Unit 12 語彙小テスト これまでのまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

オンライン授業では、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストの Definition をしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Definition, Examples 部分は採点し返却される。

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかりと取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース (23)

朝日出版社 2090 円 (税込)

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●オンライン時 課題提出 10%・・・Examples は採点する。1 点×10 問= 10 点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10 点×6 回分 60 点 30%

●期末試験 50%

*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 **Answer Sheet** の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は 3 回までとする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Speaking English in the Global World

URBANOVA Jana

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Unit 1 Conservation	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 5	Unit 2 Family connections	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2 and watching model presentation
Week 9	Unit 4 Music	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

● 指定の教科書

● 授業内容を見返すためのノート

● 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Speaking English in the Global World

URBANOVA Jana

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることのできる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション (スピーキング練習)
- 2) 発表 (プレゼンテーション練習)
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 3	Unit 6 Inspiring people	Watching video (TED Talks); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person

Week 4	Unit 7 Ethical choices	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities	Watching video (TED Talks); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving	Listening and speaking: talking about good causes; Grammar explanation and practice: <i>will</i> for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving	Watching video (TED Talks); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2 回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3 回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4 回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6 回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7 回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8 回目	新聞・雑誌記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9 回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10 回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11 回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック (プレゼン方法と記事内容)
12 回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13 回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14 回目	食生活、健康 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35 %）、課題提出と毎週の小テスト（35 %）、プレゼンテーション関連（30 %）。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったので、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and magazines and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35 %), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行います。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行います。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行います。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2 回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3 回目	裁判制度 ②	The New York Times 記事
4 回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	ブック・パッセージ	パッセージの提出、内容確認、プレゼン練習
6 回目	移民、人種、ホリデー ①	Lesson 3: Juneteenth
7 回目	移民、人種、ホリデー ②	Lesson 7: Illegal
8 回目	移民、人種、ホリデー ③	関連資料、ライティング
9 回目	ブック・プレゼンテーション (1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10 回目	ブック・プレゼンテーション (9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11 回目	ブック・プレゼンテーション (18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ
12 回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind

- 13 回目 環境問題、地域的多様性 ② TED ビデオクリップとスクリプト
- 14 回目 環境問題、地域的多様性 ③ 関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介しします。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35 %）、課題提出と毎週の小テスト（35 %）、プレゼンテーション関連（30 %）。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35 %), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：外国の視点による日本文化の特徴

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会に関するさまざまなトピックについて外国人の視点で書かれたテキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

- テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Are Japanese sweets healthier?
3	Chapter 2	What are those annoying boxes on Japanese TV?
4	Chapter 3	Why don't Japanese men give presents on Valentine's Day?
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
7	プレゼンテーション	Chapter 1～Chapter 3 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 4	Why are there holes in Japanese coins?
9	Chapter 5	Why do Japanese schoolchildren take trips to parks?
10	Chapter 6	Why are Japan's manholes so pretty?
11	Chapter 7	Why do Japanese put sticks in their ears?
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 4～Chapter 7 に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Alice Gordenker, John Rucynski『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』松柏社、2013 年、1,900 円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Surprising Japan!”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following : term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：外国の視点による日本文化の特徴

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会に関するさまざまなトピックについて外国人の視点で書かれたテキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

- テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
 - ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
 - ③テキストなどの英文を繰り返し読み聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
 - ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
 - ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	Why do Japanese students still read aloud?
2	Chapter 9	Why do Japanese put money in envelopes?
3	Chapter 10	Why do Japanese bridges have names?
4	Chapter 11	Why don't Japanese parents praise their children?
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

7	プレゼンテーション	Chapter 8～Chapter 11 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 12	How are those stone walls built?
9	Chapter 13	Why do Japanese bang sticks at night?
10	Chapter 14	Why are good students bullied?
11	Chapter 15	Why do women get better prices?
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 12～Chapter 15 に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Alice Gordenker, John Rucynski『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』松柏社、2013 年、1,900 円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Surprising Japan!”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Eye on America selected 「日本の立ち位置は？アメリカ文化との比較を通して」

吉川 太恵子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能を用いて、日本や日本文化が世界の中でどのように見られているかを教科書だけでなくさまざまな媒体を通じて考察する。日本の学生が国際的な視野を身につけるには、海外で「普通」や「常識」と思われていることを知る必要がある。たとえば、日本では当たり前と思われていることが、海外では異なっており捉えられていることが多々あるからである。授業では、アメリカ文化の諸相を例として、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方からさまざまな事柄を考察する。異なる文化や考え方をすることで、急速に世界で変化していく事象のとらえ方や、いわゆる日本では「常識」と考えられていることを再考するきっかけが得られると考える。

【到達目標】

- 「英文読解」のように逐次日本語に訳すことから離れることが大きな目標となる。英文を英語で頭からそのまま理解することで、読む速度が速くなり、英文全体の要旨を早く捉えることが可能になる。
- 知らない単語があっても、前後の内容で推察することができる。
- リスニング力、スピーキング力を高める。
- 自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
- 外国の文化を知ることで日本についての理解を深め、自らの考えを発信することが可能になる。
- 文化間の違いについて見識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

- 各ユニットを 2 回の授業でカバーする。1 回目の授業では、日本人とアメリカ人著者の考えを読み、内容の理解をチェックする。2 回目はディスカッション、ユニット関連の文献、時事問題記事を読んだりビデオを見る。このため授業の流れが必ずしもスケジュール通りに運ばない場合がある。
- TOEIC のプリントを配布して練習問題を解く。
- 予習を必須とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介 授業の進め方、テキストブックおよびサブ・テキストブックについて、出欠の扱い、単位取得条件、その他について
2	Unit 1-1 The GPA System	The authors' views Comprehension Quizzes
3	Unit 1-2 The GPA System	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
4	Unit 2-1: Potluck Party	The authors' views Comprehension Quizzes

5	Unit 2-2: Potluck Party	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
6	Unit 3-1: Selling Textbooks After Exams	The authors' views Comprehension Quizzes
7	Unit 3-2: Selling Textbooks After Exams	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
8	Unit 4-1: The Rules Of Introductions	The authors' views Comprehension Quizzes
9	Unit 4-2: The Rules Of Introductions	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
10	Unit 5-1: Holding The Door For Other People	The authors' views Comprehension Quizzes
11	Unit 5-2: Holding The Door For Other People	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
12	Unit 6-1: Never Letting Anyone Cut In Line	The authors' views Comprehension Quizzes
13	Unit 6-2: Never Letting Anyone Cut In Line	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
14	春学期末試験	テキストブック、TOEIC Quizzes、授業で取り上げた時事問題などのプリントから

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とされているが、十分とは決して言えない。各々が自分に必要な勉強時間を確保してほしい。授業中にはほぼ 1 回は当たるので、準備が必ず必要である。

特に Eng.3 以降に英語クラスを選択しない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くことが少なくなるため、真剣に英語学習と向き合って欲しい。

リアクションペーパーの毎回提出を義務付けている。（内容は、その日の授業の感想、質問など自由）

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Eye on America, selected, Toshihiko KOBAYASHI, 三修社, 2020 年, ¥1800. ISBN: 978-4-384-33459-3-C1082
プリント類はその都度配布するか、事前に Hoppi にアップするので各々が印刷して授業に持ってくる。

【参考書】

- ・ Japan Today <https://japantoday.com/>
- ・ BBC Learning English <https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/>
- ・ VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
- ・ Oxford Online English <https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish>
- ・ 日米会話学院 Hotwords <https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/>

【成績評価の方法と基準】

平常点 70%（授業態度、自主的な発表、毎回の予習状況、提出物や小テスト）を重要視し、学期末試験（30%）と合わせて総合評価する。必修科目であることから、欠席は 4 回までとし、4 回以上欠席した場合は、試験を受けても原則単位を与えない。授業開始時間から 15 分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし、2 回で欠席 1 回とみなす。30 分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとする。具合が悪い、病院に行くなどの理由でやむなく休む場合は、事前にメールで知らせること。

【学生の意見等からの気づき】

1. 時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評である。時にテーマに沿ったビデオや、英語学習についてのビデオを使ってヒアリング力を自らがチェックする機会をもつ。
2. 毎回提出してもらっているリアクションペーパーを通じて、学生との意思疎通をはかっている。
3. 全学的に対面授業を基本としているが、オンライン授業のブレイクアウトルームでのディスカッション・パートナーがランダムに決まるため、教室で着席した場合には、1 年間一緒のクラスでも話をしなかったであろう学生とも知り合うことができた、どのクラスにおいても Zoom 授業が評価された。このため不定期ではあるが、オンライン授業を行う予定である。

【学生が準備すべき機器他】

英語辞書または電子辞書
授業中に辞書がわりに携帯電話を使用することを禁止する。

【その他の重要事項】

zoom へのリンク：必要となる場合は、その都度 Hopp にて知らせる。

【Outline (in English)】

The purpose of this class is to enhance students' skills in reading, writing, listening, and speaking. Each unit provides two different perspectives on the same topic written by the non-Japanese author and the Japanese author, respectively. By reading the textbook, students will learn what is "standard" for the people in western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan or Japanese are viewed by non-Japanese people and what's going on in the world.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Eye on America selected 「日本の立ち位置は？
アメリカ文化との比較を通して」 カ文化との比較を通して

吉川 太恵子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、4 技能力をさらに高めることを目標とする。世界の中でどのように日本や日本文化が見られているかを考察する。日本の学生が国際的な視野を身につけるには、海外で「普通」や「常識」と思われていることを知る必要がある。たとえば、日本では当たり前と思われていることが、海外では異なっていて捉えられていて通用しないことが多々あるからである。授業では、アメリカ文化の諸相を例として、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方からさまざまな事柄を考察する。異なる文化や考え方を知ること、急速に世界で変化していく事象のとらえ方や、日本では「常識」と考えられていることを再考するきっかけが得られると考える。

【到達目標】

- 「英文読解」のように逐次日本語に訳すことから離れることが大きな目標となる。英文を英語で頭からそのまま理解することで、読む速度が速くなり、英文全体の要旨を早く捉えることが可能になる。
- 知らない単語があっても、前後の内容で推察することができる。
- リスニング力、スピーキング力を高める。
- 自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
- 外国の文化を知ることによって日本についての理解を深め、自らの考えを発信することが可能になる。
- 文化間の違いについて見識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

- 各ユニットを 2 回の授業でカバーする。1 回目の授業では、日本人とアメリカ人著者の考えを読み、内容の理解をチェックする。2 回目はディスカッション、ユニット関連の文献、時事問題記事を読んだりビデオを見る。このため授業の流れが必ずしもスケジュール通りに運ばない場合がある。
- TOEIC のプリントを配布して練習問題を解く。
- 予習を必須とする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8-1 Intolerance of Drunks	The authors' views Comprehension Quizzes
2	Unit 8-2 Intolerance of Drunks	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
3	Unit 9-1 Scary Public Restrooms	The authors' views Comprehension Quizzes
4	Unit 9-2 Scary Public Restrooms	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
5	Unit 10-1 Impolite Store Clerks	The authors' views Comprehension Quizzes

6	Unit 10-2 Impolite Store Clerks	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
7	Unit 11-1 The Troublesome Custom of Tipping	The authors' views Comprehension Quizzes
8	Unit 11-2 The Troublesome Custom of Tipping	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
9	Unit 12-1 Hotel Room Charges: How Many Rooms? Not How Many Guests	The authors' views Comprehension Quizzes
10	Unit 12-2 Hotel Room Charges: How Many Rooms? Not How Many Guests	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
11	Unit 13-1 Independent-Minded Children	The authors' views Comprehension Quizzes
12	Unit 13-2 Independent-Minded Children	Supplementary readings, Discussions, and TOEIC Quizzes
13	Unit 14 Husbands Controlling The Family Budget	The authors' views Comprehension Quizzes
14	秋学期末試験	テキストブック、TOEIC Quizzes、授業で取り上げた時事 問題などのプリントから

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とされているが、十分とは決して言えない。各々が自分に必要な勉強時間を確保してほしい。授業中にほぼ 1 回は当たるので、準備が必ず必要である。

特に Eng.3 以降に英語クラスを選択しない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くことが少なくなるため、真剣に英語学習と向き合って欲しい。

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Eye on America, selected, Toshihiko KOBAYASHI, 三修社, 2020 年, ¥1800. ISBN: 978-4-384-33459-3-C1082
プリント類はその都度配布するか、事前に Hoppi にアップするので各々が印刷して授業に持ってくる。

【参考書】

- ・ Japan Today <https://japantoday.com/>
- ・ BBC Learning English
<https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/>
- ・ VOA Learning English
<https://learningenglish.voanews.com/>
- ・ Oxford Online English
<https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish>
- ・ 日米会話学院 Hotwords
<https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/>

【成績評価の方法と基準】

平常点 70% (授業態度、自主的な発表、毎回の予習状況、提出物や小テスト) を重要視し、学期末試験 (30%) と合わせて総合評価する。必修科目であることから、欠席は 4 回までとし、4 回以上欠席した場合は、試験を受けても原則単位を与えない。授業開始時間から 15 分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし、2 回で欠席 1 回とみなす。30 分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとする。具合が悪い、病院に行くなどの理由でやむなく休む場合は、事前にメールで知らせること。

【学生の意見等からの気づき】

1. 時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評である。時にテーマに沿ったビデオや、英語学習についてのビデオを使ってヒアリング力を自らがチェックする機会をもつ。
2. 毎回提出してもらっているリアクションペーパーを通じて、学生との意思疎通をはかっている。
3. 全学的に対面授業を基本としているが、オンライン授業のブレイクアウトルームでのディスカッション・パートナーがランダムに決まるため、教室で着席した場合には、1 年間一緒のクラスでも話をしなかったであろう学生とも知り合うことができた、どのクラスにおいても Zoom 授業が評価された。このため不定期ではあるが、オンライン授業を行う予定である。

【学生が準備すべき機器他】

英語辞書または電子辞書

授業中に辞書がわりに携帯電話を使用することを禁止する。

【その他の重要事項】

zoom へのリンク：必要となる場合は、その都度 Hopp にて知らせる。

【Outline (in English)】

The purpose of this class is to enhance students' skills in reading, writing, listening, and speaking. Each unit provides two different perspectives on the same topic written by the non-Japanese author and the Japanese author, respectively. By reading the textbook, students will learn what is "standard" for the people in western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan or Japanese are viewed by non-Japanese people and what's going on in the world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppii を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1 の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1 の小テストと Chapter2 の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	UChapter3&4	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4 の小テストと Chapter5 の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5 の小テストと Chapter6 の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6 の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppii を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 1

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
Week 1	Class Orientation/self-introductions	Getting to know you/news headlines handout
Week 2	Conversation Strategies	Follow-up Questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture
Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo
Week 5	Video Report	Something New for 30 Days
Week 6	News and Views	News headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Probability
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Aging Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material
Week 14	Final Presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None will be used.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (20%)

Final presentation (20%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy, and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research, and actively participate.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break Discussion/News and Views	Summer break catch up/News Headlines discussions
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor
Week 4	News Article	Eco-anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/Presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/Presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None required.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Presentation and Discussion

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions	Getting started
	HW/L1	

2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Presentation and Discussion

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The
homework listening recordings can be streamed or downloaded
from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/> Students will
have to create a yahoo.com email address, join the group,
and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2
Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation,
25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work,
25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class
sessions may disqualify students from obtaining credit for the
course. Lateness exceeding 15 minutes without justification
will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing,
grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すとい
う四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語として
の英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を
世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理
解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を
学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いく
つかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文
化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみたいと思います。
教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版
のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな
差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を
向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるよう
になる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情
報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映
画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽し
むことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見な
がら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解
決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニ
ング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式
の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まと
まった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示され たどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部：
DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマ
ンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的
には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等
の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があ
ります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してま
いらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を
通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中か
ら（匿名で）事例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。
各授業では、授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を
行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／課題の提 示	授業テーマの確認と授業方法の説 明を行い、第 1 回課題を提示しま す。
第 2 回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レ ポートの指示：コミュニケーション においてどんなことが「アイ ス・ブレイカー」となるのか学習 します。

第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示: ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示: イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ(『黒執事』・『憂国のモリアーティ』『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』)の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英のイディオムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 在位 70 周年を迎えたエリザベス二世の文化的アイコンとしての役割を考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示: シェークスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェークスピアの意義について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine: アイス、私の声』(2020)と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	英前回のフィードバック・課題レポートの指示: 語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』(A Silent Voice)について考察します。
第 13 回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示: これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末レポート課題の提示	学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014 年, 1800 円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全 13 回の課題レポートの提出 (65%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出 (35%) を総合して評価します。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含みます。授業の欠席が 4 回以上ある方、未提出課題が 5 回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least two hours doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 65%, term-end assignment: 35%, and in-class contribution.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1 つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）事例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	学期末レポート課題のフィードバックと第 1 回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第 1 回レポート課題を指示します。
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。

第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示：ビートルズについて調べてみましょう。
第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、オーウェン・ジョーンズの『エスタブリッシュメント』の抜粋を読みます。保守党とエスタブリッシュメントの関係を示す資料として、イギリス映画『ウィンストン・チャーチル』（2017）を鑑賞します。イギリスの小選挙区制について考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（2000）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 8 回	The Establishment (3)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（2019）を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示：階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示：文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第 12 回	Films as cultural and political representations	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第 13 回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書のまとめと第 13 回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末レポート課題の提示	学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全 13 回の課題レポートの提出 (65%) と三段階評価する学期末レポート課題 (35%) を総合して評価を行います。毎回の課題レポートを提出していれば、問題は無いと思いますが、欠席が 4 回以上ある場合、5 回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位取得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least two hours doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 65%, term-end assignment: 35%, and in-class contribution.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam	Review of the exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Moving On

10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido. [¥2,800（税別）]

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評だったので今後も積極的に取り入れる予定。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By taking this class, students will be able to:

(1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.

(2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.

(3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

(1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。

(2) 現代イギリス文化と社会について理解する。

(3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方と方法】

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination Unit 11: School Laptops for All	Mid-semester exam Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam Unit 11: School Laptops for All	Review of the exam Moving On

10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido. [¥2,800（税別）]

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評だったので今後も積極的に取り入れる予定。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By taking this class, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Speaking English in the Global World

URBANOVA Jana

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることのできる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Unit 1 Conservation	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 5	Unit 2 Family connections	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2 and watching model presentation
Week 9	Unit 4 Music	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

● 指定の教科書

● 授業内容を見返すためのノート

● 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Speaking English in the Global World

URBANOVA Jana

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることのできる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション (スピーキング練習)
- 2) 発表 (プレゼンテーション練習)
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 3	Unit 6 Inspiring people	Watching video (TED Talks); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person

Week 4	Unit 7 Ethical choices	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities	Watching video (TED Talks); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving	Listening and speaking: talking about good causes; Grammar explanation and practice: <i>will</i> for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving	Watching video (TED Talks); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行います。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行います。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2 回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3 回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4 回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6 回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7 回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8 回目	新聞・雑誌記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9 回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10 回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11 回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック (プレゼン方法と記事内容)
12 回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13 回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14 回目	食生活、健康 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35 %）、課題提出と毎週の小テスト（35 %）、プレゼンテーション関連（30 %）。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったので、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and magazines and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35 %), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行います。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行います。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行います。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2 回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3 回目	裁判制度 ②	The New York Times 記事
4 回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	ブック・パッセージ	パッセージの提出、内容確認、プレゼン練習
6 回目	移民、人種、ホリデー ①	Lesson 3: Juneteenth
7 回目	移民、人種、ホリデー ②	Lesson 7: Illegal
8 回目	移民、人種、ホリデー ③	関連資料、ライティング
9 回目	ブック・プレゼンテーション (1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10 回目	ブック・プレゼンテーション (9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11 回目	ブック・プレゼンテーション (18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ
12 回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind

- 13 回目 環境問題、地域的多様性 ② TED ビデオクリップとスクリプト
- 14 回目 環境問題、地域的多様性 ③ 関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介しします。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35 %）、課題提出と毎週の小テスト（35 %）、プレゼンテーション関連（30 %）。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35 %), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：外国の視点による日本文化の特徴

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会に関するさまざまなトピックについて外国人の視点で書かれたテキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

- テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Are Japanese sweets healthier?
3	Chapter 2	What are those annoying boxes on Japanese TV?
4	Chapter 3	Why don't Japanese men give presents on Valentine's Day?
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
7	プレゼンテーション	Chapter 1～Chapter 3 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 4	Why are there holes in Japanese coins?
9	Chapter 5	Why do Japanese schoolchildren take trips to parks?
10	Chapter 6	Why are Japan's manholes so pretty?
11	Chapter 7	Why do Japanese put sticks in their ears?
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 4～Chapter 7 に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Alice Gordenker, John Rucynski『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』松柏社、2013 年、1,900 円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Surprising Japan!”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following : term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：外国の視点による日本文化の特徴

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会に関するさまざまなトピックについて外国人の視点で書かれたテキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

- テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
 - ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
 - ③テキストなどの英文を繰り返し読み聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
 - ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
 - ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	Why do Japanese students still read aloud?
2	Chapter 9	Why do Japanese put money in envelopes?
3	Chapter 10	Why do Japanese bridges have names?
4	Chapter 11	Why don't Japanese parents praise their children?
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

7	プレゼンテーション	Chapter 8～Chapter 11 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 12	How are those stone walls built?
9	Chapter 13	Why do Japanese bang sticks at night?
10	Chapter 14	Why are good students bullied?
11	Chapter 15	Why do women get better prices?
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 12～Chapter 15 に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Alice Gordenker, John Rucynski『ニッポンの不思議 Surprising Japan!』松柏社、2013 年、1,900 円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Surprising Japan!”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following : term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppii を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1 の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1 の小テストと Chapter2 の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	UChapter3&4	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4 の小テストと Chapter5 の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5 の小テストと Chapter6 の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6 の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppii を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの 4 技能の習熟を行う。またそれを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】

- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト 1 章分を 2 回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	ガイダンス	授業の進め方等の確認。
第二回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（リーディング及びリスニング）
第三回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（テキストの問題解答、文法事項の確認）
第四回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションistaに（テキストのリーディング及びリスニング）
第五回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションistaに（テキストの問題解答、文法事項の確認）

第六回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストのリーディング及びリスニング）
第七回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストの問題解答、文法事項の確認）
第八回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストのリーディング及びリスニング）
第九回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストの英作文問題解答）
第十回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストのリーディング及びリスニング）
第十一回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストについての英文要旨作成）
第十二回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のすり（テキストのリーディング及びリスニング）
第十三回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のすり（テキストについてのディスカッション）
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、講読を終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English 一日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017 年

【参考書】

例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）など）

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion): 60%, Term-end exam: 40%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

大和久 梯一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの4技能の習熟を進める。またこれらを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】

- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	Chapter 7	Chapter 7 26-year-old designs Honda's new sports car 26歳がスポーツカーをデザイン（テキストのリーディング及びリスニング）
第二回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト（テキストのリーディング及びリスニング）
第三回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト（テキストの英作文問題解答）
第四回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット（テキストのリーディング及びリスニング）

第五回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット（テキストの英作文問題解答）
第六回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会（テキストのリーディング及びリスニング）
第七回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会（テキストについてのディスカッション）
第八回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト（テキストのリーディング及びリスニング）
第九回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表（テキストのリーディング及びリスニング）
第十一回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十二回	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki 長崎のおくんち、始まる（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十三回	Chapter 14	Chapter 14 UN Women opens Japan office 国連女性事務所を東京に開設（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、リーディングを終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English 一日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017 年

【参考書】

例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）など）

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、学期末試験40%で評価します。30分を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion): 60%, Term-end exam: 40%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

【到達目標】

- この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
 - (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
 - (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam	Review of the exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Moving On

10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido. [¥2,800（税別）]

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評だったので今後も積極的に取り入れる予定。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By taking this class, students will be able to:

(1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.

(2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.

(3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

(1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。

(2) 現代イギリス文化と社会について理解する。

(3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方と方法】

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination Unit 11: School Laptops for All	Mid-semester exam Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam Unit 11: School Laptops for All	Review of the exam Moving On

10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido. [¥2,800（税別）]

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35 %

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評だったので今後も積極的に取り入れる予定。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By taking this class, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本

猪俣 佳瑞美

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。	13	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。	14	プレゼンテーション 2 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。 Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。 準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。 準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。		
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。	【テキスト（教科書）】 英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2 Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著 成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）		
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。	【参考書】 特になし		
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【成績評価の方法と基準】 平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。		
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。	【学生の意見等からの気づき】 英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。		
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。	【学生が準備すべき機器他】 電子辞書を必ず持参すること		
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。	【Outline (in English)】 This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.		
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。			

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本

猪俣 佳瑞美

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能 (英語を読み、聞き、書き、話す力) の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。

3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。

14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切で。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：CLIL Global Issues (revised)

吉川 太恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3 では、English1 と English2 で学んだ、「読む、書く、聞く、話す」という 4 技能力をさらに深めることを目指す。学生はテキストブックやさまざまな媒体を通して、食べ物や健康などの身近な問題から、地球温暖化問題のようなグローバルな事象について英語を用いて考察する。さらにテキストブックに加えて、新聞や雑誌・ビデオなどを用いることで、知識と語彙を増やすことが出来るように指導する。こうして自らの考えをディスカッションやクラス内で発言することにより、英語で考えをまとめることができる力を伸ばすことを目指す。

【到達目標】

- 「英文読解」のように逐次日本語に訳すことから離れることが大きな目標となる。英文を英語で頭からそのまま理解することで、読む速度が速くなり、英文全体の要旨を早く捉えることが可能になる。
- 辞書を使うことなく、初見でもある程度の早さで読み、情報を得る。
- リスニング力を高める。
- 自分の意見を整ったパラグラフ文で表現できる。
- 英語で自分の考えを発表し、他の人に英語で質問できる。
- 単に英語を学ぶだけでなく国際問題などについて学び、自分の意見を発信することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

- 各ユニットを 2 回でカバーする。1 回目は Reading 部分、TOEIC Quizzes、ビデオを見る。2 回目はユニットの残り部分とディスカッション、授業内でライティングを予定している。また、ユニットに関連した記事や、時事問題記事を読む場合もある。このため授業予定が必ずしもスケジュール通りに運ぶとは限らない。
- TOEIC のプリントを配布して練習問題を解く。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介 授業の進め方、テキストブックおよびサブ・テキストブックについて、出欠の扱い、単位取得条件、その他について
2	Topic 1-1 Stereotypes and Racism	Reading TOEIC Quizzes (Video)
3	Topic 1-2 Stereotypes and Racism	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
4	Topic 2-1 Information and Communication	Reading TOEIC Quizzes (Video)

5	Topic 2-2 Information and Communication	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
6	Topic 3-1 Culture and Fashion	Reading TOEIC Quizzes (Video)
7	Topic 3-2 Culture and Fashion	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
8	Topic 4-1 Health	Reading TOEIC Quizzes (Video)
9	Topic 4-2 Health	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
10	Topic 5-1 Food	Reading TOEIC Quizzes (Video)
11	Topic 5-2 Food	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
12	Topic 6-1 A Sound Material-Cycle Society	Reading TOEIC Quizzes (Video)
13	Topic 6-2 A Sound Material-Cycle Society	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
14	春学期末試験	テキストブック、TOEIC Quizzes、授業で取り上げた時事 問題などのプリントから

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とされているが、十分とは決して言えない。各々が自分に必要な勉強時間を確保してほしい。授業中にほぼ 1 回は当たるので、準備が必ず必要である。予習を必須とする。

特に Eng.3 以降に英語クラスを選択しない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くことが少なくなるため、真剣に英語学習と向き合って欲しい。

リアクションペーパーの毎回提出を義務付けている。（内容は、その日の授業の感想、質問など自由）

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CLIL Global Issues (revised), 笹島茂他, 三修社, 2022 年, ¥2100, ISBN: 978-4-384-33513-2 C1082

プリント類はその都度配布するか、事前に Hoppi にアップするので各々が印刷して授業に持ってくる。

【参考書】

- ・ Japan Today <https://japantoday.com/>
- ・ BBC Learning English
<https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/>
- ・ VOA Learning English
<https://learningenglish.voanews.com/>
- ・ Oxford Online English
<https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish>
- ・ 日米会話学院 Hotwords
<https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/>

【成績評価の方法と基準】

平常点 70%（授業態度、自主的な発表、毎回の予習状況、提出物や小テスト）を重要視し、学期末試験（30%）と合わせて総合評価する。必修科目であることから、欠席は 4 回までとし、4 回以上欠席した場合は、試験を受けても原則単位を与えない。授業開始時間から 15 分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし、2 回で欠席 1 回とみなす。30 分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとする。具合が悪い、病院に行くなどの理由でやむなく休む場合は、事前にメールで知らせること。

【学生の意見等からの気づき】

1. 時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評である。時にテーマに沿ったビデオや、英語学習についてのビデオを使ってヒアリング力を自らがチェックする機会をもつ。

2. 毎回提出してもらっているリアクションペーパーを通じて、学生との意思疎通をはかっている。

3. 全学的に対面授業を基本としているが、オンライン授業のブレイクアウトルームでのディスカッション・パートナーがランダムに決まるため、教室で着席した場合には、1 年間一緒のクラスでも話をしなかったであろう学生とも知り合うことができた、どのクラスにおいても Zoom 授業が評価された。このため不定期ではあるが、オンライン授業を行う予定である。

【学生が準備すべき機器他】

英語辞書または電子辞書

授業中に辞書がわりに携帯電話を使用することを禁止する。

【その他の重要事項】

zoom へのリンク：必要となる場合は、その都度 Hoppi にて知らせる。

【Outline (in English)】

This class aims to enhance the students' skills in reading, writing, listening, and speaking. Students will study various topics such as health, global warming, energy, international relationships, wars, etc.

In addition, students will be provided with articles from newspapers, magazines, websites, and videos to expand their vocabulary as well as to open their minds about global issues.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：CLIL Global Issues (revised)

吉川 太恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、English1 と English2 で学んだ、「読む、書く、聞く、話す」という 4 技能をさらに高めることを目指す。学生はテキストブックやさまざまな媒体を通して、食べ物や健康などの身近な問題から、地球温暖化問題のようなグローバルな事象について英語を用いて考察する。さらにテキストブックに加えて、新聞や雑誌・ビデオなどを用いることで、知識と語彙を増やすことが出来るように指導する。こうして自らの考えをディスカッションやクラス内で発言することにより、英語で考えをまとめることができる力を伸ばすことを目指す。

【到達目標】

- 「英文読解」のように逐次日本語に訳すことから離れることが大きな目標となる。英文を英語で頭からそのまま理解することで、読む速度が速くなり、英文全体の要旨を早く捉えることが可能になる。
- 辞書を使うことなく、初見でもある程度の早さで読み、情報を得る。
- リスニング力を高める。
- 自分の意見を整ったパラグラフ文で表現できる。
- 英語で自分の考えを発表し、他の人に英語で質問できる。
- 単に英語を学ぶだけでなく国際問題などについて学び、自分の意見を発信することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 各ユニットを 2 回でカバーする。1 回目は Reading 部分、TOEIC Quizzes、ビデオを見る。2 回目はユニットの残り部分とディスカッション、授業内でライティングを予定している。また、ユニットに関連した記事や、時事問題記事を読む場合もある。このため授業予定が必ずしもスケジュール通りに運ぶとは限らない。
- TOEIC のプリントを配布して練習問題を解く。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Topic 8-1 Energy	Reading TOEIC Quizzes (Video)
2	Topic 8-2 Energy	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
3	Topic 10-1 Endangered Species	Reading TOEIC Quizzes (Video)
4	Topic 10-2 Endangered Species	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
5	Topic 11-1 International Relationships	Reading TOEIC Quizzes (Video)
6	Topic 11-2 International Relationships	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)

7	Topic 12-1 War and Peace	Reading TOEIC Quizzes (Video)
8	Topic 12-2 War and Peace	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
9	Topic 13-1 Human Rights	Reading TOEIC Quizzes (Video)
10	Topic 13-2 Human Rights	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
11	Topic 14-1 Global Citizenship	Reading TOEIC Quizzes (Video)
12	Topic 14-2 Global Citizenship	Reading Data, Discussions, (Writing, and Speaking)
13	Instructor's Special Lesson	Vocabulary comprehension check from the video, Discussions
14	秋学期末試験	テキストブック、TOEIC Quizzes、授業で取り上げた時事 問題などのプリントから

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とされているが、十分とは決して言えない。各々が自分に必要な勉強時間を確保してほしい。授業中にほぼ 1 回は当たるので、準備が必ず必要である。予習を必須とする。

特に Eng.3 以降に英語クラスを選択しない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くことが少なくなるため、真剣に英語学習と向き合って欲しい。

リアクションペーパーの毎回提出を義務付けている。（内容は、その日の授業の感想、質問など自由）

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CLIL Global Issues (revised), 笹島茂他, 三修社, 2022 年, ¥2100, ISBN: 978-4-384-33513-2 C1082

プリント類はその都度配布するか、事前に Hoppi にアップするので各々が印刷して授業に持ってくる。

【参考書】

- ・ Japan Today <https://japantoday.com/>
- ・ BBC Learning English
<https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/>
- ・ VOA Learning English
<https://learningenglish.voanews.com/>
- ・ Oxford Online English
<https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish>
- ・ 日米会話学院 Hotwords
<https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/>

【成績評価の方法と基準】

平常点 70%（授業態度、自主的な発表、毎回の予習状況、提出物や小テスト）を重要視し、学期末試験（30%）と合わせて総合評価する。必修科目であることから、欠席は 4 回までとし、4 回以上欠席した場合は、試験を受けても原則単位を与えない。授業開始時間から 15 分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし、2 回で欠席 1 回とみなす。30 分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとする。具合が悪い、病院に行くなどの理由でやむなく休む場合は、事前にメールで知らせること。

【学生の意見等からの気づき】

1. 時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評である。時にテーマに沿ったビデオや、英語学習についてのビデオを使ってヒアリング力を自らがチェックする機会をもつ。
2. 毎回提出してもらっているリアクションペーパーを通じて、学生との意思疎通をはかっている。

3. 全学的に対面授業を基本としているが、オンライン授業のブレイクアウトルームでのディスカッション・パートナーがランダムに決まるため、教室で着席した場合には、1 年間一緒にのクラスでも話をしなかったであろう学生とも知り合うことができた、どのクラスにおいても Zoom 授業が評価された。このため不定期ではあるが、オンライン授業を行う予定である。

【学生が準備すべき機器他】

英語辞書または電子辞書

授業中に辞書がわりに携帯電話を使用することを禁止する。

【その他の重要事項】

zoom へのリンク：必要となる場合は、その都度 Hoppi にて知らせる。

【Outline (in English)】

This class aims to enhance the students' skills in reading, writing, listening, and speaking. Students will study various topics such as health, global warming, energy, international relationships, wars, etc.

In addition, students will be provided with articles from newspapers, magazines, websites, and videos to expand their vocabulary as well as to open their minds about global issues.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

猪俣 佳瑞美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。	13	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。	14	プレゼンテーション 2 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。 Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。 準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。 準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。		
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。	【テキスト（教科書）】 英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2 Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著 成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）		
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。	【参考書】 特になし		
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【成績評価の方法と基準】 平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。		
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。	【学生の意見等からの気づき】 英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。		
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。	【学生が準備すべき機器他】 電子辞書を必ず持参すること		
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。	【Outline (in English)】 This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.		
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。			

LANe200LA	
English 3 II	2017 年度以降入学者
サブタイトル: 世界の中の日本	
猪俣 佳瑞美	
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 月 5/Mon.5	
単位数: 1 単位	
他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。

3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。

14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:

- 1) The importance of food in cultures
- 2) Meeting people from different cultures
- 3) Living in different cities

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join "Classroom". Course overview and class policies. Grading system.
2	Technology	Vocabulary for technology. Small group discussion of changes in technology.
3	Technology:	Listening and shadowing with Audio and Script.
4	Technology	Group Presentation about a new technology - BBC News articles.
5	Technology:	Writing: Prepare a paragraph to discuss advantages and disadvantages of a new technology.

6	Culture:	Speaking: "Breaking the Ice" Overcome language barriers. Vocabulary for culture. Group discussion.
7	Culture: Listening	Listening and shadowing with Audio and Script.
8	Culture:	The history and development of English language and culture.
9	Culture: Group discussion	Compare and contrast Japanese culture with English culture. Prepare a paragraph.
10	Beliefs:	Group discussion and Vocabulary related to Beliefs.
11	Beliefs	Listening and shadowing with Audio and Script.
12	Beliefs	Group Discussion of beliefs and superstitions.
13	Presentation	Make a Group Presentation about Clancy of the Overflow
14	TED Talk: Critical Thinking	Watch a TED talk and analyze if the speaker is telling the truth.

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2 and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 20%

Classroom Worksheets: 30%

Pair and Group Participation: 20%

Mini-Tests: 15%

On-Line Homework: 15%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

Change of Textbook.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.

A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.

Also, a portable device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Classroom". Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: csrzlcx

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:

- 1) The importance of food in cultures
- 2) Meeting people from different cultures
- 3) Living in different cities

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Review and Objectives	Review of semester 1. Ground rules and grading. Objectives. Decide which Units to study
2	The News:	Vocabulary for technology. Small group discussion of where to get news.
3	The News:	Listening and shadowing with Audio and Script.
4	The News	Small Group discussion and activity. Prepare a short News program.
5	The News	Writing: Prepare an essay outline. Describe a photograph (TOEIC Test 1)
6	Ecotourism	Vocabulary for tourism. Group discussion.

7	Ecotourism: Listening	Listening and shadowing with Audio and Script. Form Ballad groups.
8	Ecotourism:	Ecotourism Presentation; Small group activity.
9	Ecotourism.	Writing: Prepare an Introduction paragraph. Ballad preparation.
10	Environment:	Group discussion and Vocabulary related to Environment. BBC Ideas Videos and Worksheet.
11	Environment	Listening and shadowing with Audio and Script.
12	Environment.	Writing. Prepare a conclusion for the essay. Final Practice for Ballad presentation.
13	Presentation	Make a Group Presentation of their group ballad.
14	TED Talk: Ice Bound Wonderlands	Watch a TED talk and complete Worksheet. Additional Ballad presentations. Summary

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp >. Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 30%

Classroom Worksheets: 20%

Pair and Group Participation: 20%

Mini-Tests: 15%

On-Line Homework: 15%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

Change of Textbook.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.

A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.

Also, a portable device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Classroom". Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: 7jyoisf

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2 and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.

- 13 Hello and Goodbye. How We Meet and Take Our Leave.
- 14 Final Examination. Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English-speaking world: Arts-based learning of social activism

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art plays in maintaining, restoring, regaining, or enhancing human rights in the world.

【到達目標】

This course is designed to develop your English proficiency further as you learn about various cultural and social practices of the world. You will also learn to think critically about important issues that surround us today and develop the ability to effectively express your own ideas, feelings, and opinions. The main goal is communication, not translation or accuracy. You will become aware of some issues related to human rights in the world and able to express your ideas and questions about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Before class, read the assigned pages of the textbook and study the vocabulary and cultural background on our own. In class you will have a chance to appreciate artistic expressions. You will also be asked to exchange your ideas and feelings and discuss relevant issues in pairs or small groups. You will also be giving presentations about your chosen humanitarian activist. You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) and group work. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your reflective writing and class presentations within a week of submission.

This class involves a number of highly interactive activities. Depending on the pandemic situation, class may be delivered through a combination of face-to-face and online instruction. Please check the announcement to be made on Hoppii before the start of the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Poetry, Marshall Rosenberg	Learning language from poetry, Nonviolent communication

3	Poetry, Mother Teresa	Developing language identities through poetry
4	Poetry or film, Mahatma & Kasturabai Gandhi	Poetry or film for art and social justice
5	Story-telling, H.H. The Dalai Lama	Learning language through narratives
6	Paintings, photographs, and peace linguistics, Nelson Mandela	Language learning and peace
7	Music, Mairead Corrigan McGuire & Bettyn Williams	Learning language through music
8	Music	Social activism through music
9	Children's literature, Chief Joseph	Social justice education in picture books and kamishibai theater
10	Learning language through literature, Cesar Chavez	Learning language through literature
11	Novels, Meena Keshwar Kamal	Learning language through literature
12	Film, Danilo Dolci	Learning language through (documentary) film
13	Public speeches, Peter Benson	Learning language through the art of speech
14	Wrap-up	Reflection on the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish assigned reading or listening tasks and other creative assignments before coming to class. As you will be discussing your ideas, reactions, and questions, you are expected to become familiar with the topic of the week and come ready for discussion. Preview and review your lesson thoroughly after class for at least one hour each week.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

Purchase a copy of this textbook in the Sanseido bookstore on campus. Handouts related to the course content may be provided in class. Bring a notebook or loose sheets of paper.

【参考書】

Meera Censor website: <https://www.meeracensor.com/>

The Center for Nonviolent Communication: <https://www.cnvc.org/>

Amnesty International: <https://www.amnesty.org/en/>

Amnesty International in Japanese: <https://www.amnesty.or.jp/>

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)*
- 2) Group presentation (25%)
- 3) Individual presentation (25%)
- 4) Reflective writing (15%)
- 5) Final paper (15%)

* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught as much as possible in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend class on campus.

【その他の重要事項】

この授業では履修者同士のインタラクションを含む活動を数多く行いますので、感染状況など社会情勢により授業形態を柔軟に変更する可能性があります。詳細は授業開始前に授業支援システムにより周知します。

【Outline (in English)】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art plays in maintaining, restoring, regaining, or enhancing human rights in the world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English in American Culture

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: English in American Culture

Robert D. Hinton

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English Speaking World
：Part I

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3
単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】

In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help them improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, and prepare for pair or group discussions. Feedback will be mostly provided during class. Written feedback might also be provided when it is deemed necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: The Urge to Explore What is scientific curiosity?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 1: The Urge to Explore Current science in the English Speaking World	Students will be provided with some tips to read more analytically and understand main ideas in the reading passage. An additional reading material will be provided on the unit topic to help students expand their knowledge of vocabulary.
4	Unit 1: The Urge to Explore Current scientific developments	Listening contents will be covered during this class while the additional reading material will be explored in more depth to allow students to develop their opinions on its topic.

5	Unit 2: Success and Failure An overall understanding of the education system in the English speaking countries.	Students will also read an additional article on the educational matters in English-speaking countries prepared and provided by the teacher while studying this unit.
6	Group Presentations Unit 2: Success and Failure Failures in the Education System	Group presentations will take place during this class. In the remaining time, textbook will be used.
7	Group Presentations Unit 2: Success and Failure Higher Education in the English Speaking World	Group presentations will be followed by a short listening exercise, and a supplemental newspaper article to expand the discussion on the unit topic.
8	Group Presentations Unit 3: Power Shifts Business world in the English speaking countries	Last group of presenters will complete their presentations. Following this, any remaining content and task from unit 2, including the additional reading will be completed. In the remaining time, there is a possibility to start unit 3.
9	Unit 3: Power Shifts Business and Gender: Equality in the workplace	In this unit, there will be greater emphasis on listening, and note-taking. Students will read the unit article for in-depth analysis following a warm-up discussion at the start of the class on the topic. Key vocabulary will also be emphasized in this class.
10	Unit 3: Power Shifts Gender Issues: Representation in different contexts	Listening exercise of the unit will be first completed. After a group work on the listening material of the unit, a supplemental listening material on the topic prepared and provided by the teacher will be introduced to the students. Some aspects of the additional material will be homework to completed in the following class. Note-taking will be practiced in a group discussion style to understand the listening material contents. Each member will share their notes first with one another and then with other groups after each listening step.
11	Unit 5: Hope and Equality Economic Factors	There will be more emphasis on writing throughout this unit. To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.

12	Unit 5: Hope and Equality Possible Solutions to Poverty	Students will be introduced to the writing assignment in this class. They will develop their opinions on the writing topic by responding to the article questions and further discussion questions provided by the teacher.
13	Unit 5: Hope and Equality Better Education and Healthcare	Listening exercise will be completed. Following this, Writing assignment feedback will be provided to the students in the class through a small group work. Teacher will join each group to emphasize most important aspects requiring development in the writings. Some general tips will also be provided on the board. Class will be concluded with a small class discussion on the unit and writing topic.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 4, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ￥ 2840

Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural and social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English Speaking World
: Part II

GENC BURCU

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is the second part of the course, “Current Issues in the English Speaking World,” aiming to help students to become more fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】

In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but there will be a special emphasis on reading and speaking. Students will also be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback will be mostly provided during class. Written feedback might also be provided when it is deemed necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	introductions & class guidelines.
2	Unit 6: Backing Up History Why Archaeology?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 6: Backing Up History Science and Archaeology	Students will discuss the assigned article in more depth to develop ideas for a written assignment. Writing guidelines will be provided following the discussion. Some in-class writing time will also be allowed to start with the assignment.

4	Unit 6: Backing Up History Archaeology and Tourism	Listening exercise will be completed from the textbook, and this will be followed by a feedback session on the writing assignments. The class will be divided into small groups to make improvements in the writings.	12	Unit 8: Future Jobs Predicting some problems	Students will start the class with a revision of the previous week to be able to warm up to a writing assignment on the topic being explored in the unit. Writing will be partially practiced in the classroom.
5	Unit 6: Backing up History Ancient Wonders Captured in 3-D	If there is a listening activity remaining from the previous class, this will be completed first. Then, students will be introduced to a new reading material prepared and provided by the teacher.	13	Unit 8: Future Jobs Recipes for Innovation	Listening materials of the unit will be covered. Feedback will be provided on the writing assignments through group work. Some important topics will be re-visited to wrap up the classes before the final exam.
6	Group Presentations Unit 7: Food for All Feeding Nine Billions	Group presentations will be conducted in the first half the class. This will be followed by a discussion on the reading passage of the unit. Key vocabulary will also be underlined.	14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted
7	Group Presentations Unit 7: Food for All How Food Shapes Our Cities	Students will make their presentations. There will be a short revision of the reading passage from the previous week to warm up the students to the listening material. Following this, students will watch the video two times by taking notes and sharing their notes in small groups. Then, they will read the questions provided in the textbook before watching the video for a final time. Sub-titles will be provided at the end of the class when answers are being revealed.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 4, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840 Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.theguardian.com/international https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 20% Group Presentation: 30% Writing assignments: 10% Final Exam: 40% More than 3 absences will result in automatic failure of the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural and social concerns of the English speaking world.		
8	Group Presentations Unit 7: Food for All Excessive Consumption and Food Waste	Final group will deliver their presentation. Students will be provided a supplemental reading material prepared by the teacher. A general discussion on the reading material will be followed by an in-depth reading with an emphasis on key vocabulary. Reading questions will be given as homework.			
9	Unit 7: Food for All Excessive Consumption and Food Waste	Assigned reading material will be worked on. Following this, students will watch a relevant media content on the topic of the assigned article to explore the topic further and in a fun way.			
10	Unit 8: Future Jobs Changing Business World in the English Speaking Countries	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.			
11	Unit 8: Future Jobs Changing Business World in the English Speaking Countries	Assigned article will be explored in depth and this will be followed by some media content on the topic to make it more understandable and interesting for the students.			

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

Robert Durham

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

(BECAUSE OF THE COVID-19 SITUATION, OUR CLASSES MIGHT NEED TO BE ONLINE. Hopefully, the situation will be more clear, in April.)

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.
第 13 回	Exam (preferably SPEAKING exam), re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Exam (preferably SPEAKING exam), re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.
第 14 回	Discussion of correct Exam answers...and of students' plans for the Summer Break.	Students will find out exam answers; and will be invited to discuss (in English) their plans for the Summer Break.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

【その他の重要事項】

(NEW INFORMATION; Because of the Covid-19 situation, classes might need to be ONLINE. (The situation might be clearer in April.))

Please contact me via e-mail (TonyDur2020@gmail.com), AT LEAST one week before classes begin. We are all novices at 'Online Learning', so we will all probably make some 'mis-steps'. Please PERSEVERE...and keep in touch.

We MIGHT try to arrange some Online video classes/chats...after resolving technical issues. Please make sure that you have an Internet-enabled PC. Also, maybe Docomo, Au, & Sofbank will permit you to have an extra 50GB of access, free. (Please check.)

Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.*

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

Students will be encouraged to more speedily & smoothly communicate in spoken and written English that will be useful in their futures...and in their careers.

【到達目標】

The goal of this course is to get students to better speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English. Some grammar-correction of assignments/submissions will be necessary. Assignment-revising will also be necessary, during Online Learning.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

+Please sign up for a new, free GMAIL address. (For example, if your name is Taro Tanaka, maybe sign up for tarotanaka654@gmail.com)(Please make sure that your teacher will see your gmail name displayed/shown in Romaji [for example, in his 'INBOX', the teacher should see 'Taro Tanaka'.])

+Please e-mail your teacher (using your new gmail address) BEFORE September 9th, 2022, at tonydur2020@gmail.com. He will e-mail to you information about how to arrange your home study setup. Please reply to teacher e-mail in English...and ALWAYS include information about your First Name; Last Name; School Name; Student Number; Class Day & Period; today's date; and REASON for your e-mail message. +Because of Covid-19, our classes might take place Online. You MUST have a PC or Mac (with working microphone & camera), and a FAST Internet connection. If you don't have those: please IMMEDIATELY set up a fast home computer/fast Net situation. Classes will be done in Realtime AUDIO/VIDEO 'chat'. (We will see check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class.)

+Please set up a quiet study location, where you can study ALONE. Each student must be alone, in a QUIET PLACE, when participating in Online Learning.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	"The Seven W's": (Questions about Who...?/What...?/When...?/Where...?/Why...?/Which...?/ How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in English, to questions about "the Seven W's".

第 9 回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第 10 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
第 12 回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans.	Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
第 13 回	Online SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2022 semester.	Online speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	"How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans.	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazuke"]; please learn to wake up early, and to arrive in [ONLINE] class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. 本授業の準備学習・復習時間は各 1 時間を標準とします。

+ University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. In addition, some handouts will be distributed to students, via e-mail and/or classroom portals.

+ Every student MUST A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a *FAST* home Wi-Fi connection; and a QUIET private room (where the student can study alone (quietly); and can participate in Online realtime audio/video 'chats'). Also, you MUST get/borrow an English <—> Japanese dictionary (paper or Electronic).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Every student MUST A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a *FAST* home Wi-Fi connection; a new gmail e-mail address; and a QUIET private room (where the student can study alone (quietly); and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

+ Please get/borrow an English <—> Japanese paper/electronic DICTIONARY.

+ Please get and start using NOW: a Day Planner/Daily 'Organizer' ("techo", in Nihongo).

+ Please NOW sign up for a new (free) GMAIL e-mail address (for example: IF your name is Taro Tanaka: sign up for a NEW gmail address such as 'tarotanaka654@gmail.com'). [+Make sure that your name DISPLAYS/shows in 'Romaji'—such as Taro Tanaka.]

【その他の重要事項】

* Please NOW sign up for a new (free) GMAIL e-mail address (for example: IF your name is Taro Tanaka: sign up for a NEW gmail address such as 'tarotanaka654@gmail.com'). Please make 100% sure that the recipient of your messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example).)

You MUST e-mail your teacher (in English), using your new gmail address, before Sept. 9th, 2022, at Tony-Dur2020@gmail.com. Your teacher will then send you information about what you should set up/should do, during this Semester. [EVERY e-mail message that you send to your teacher MUST contain: your First Name; your Family Name; your School name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.]

PLUS: Please participate ACTIVELY in classes. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

*** IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.***

【—】

—

【Outline (in English)】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in spoken and written English.

'Just in case' Online Learning might be needed, please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom/FREE 'Romaji' gmail accounts; & please test them WELL, long before we meet.

Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。春学期は、英字新聞の記事を中心に扱い、英語で書かれたニュースについて自分の意見をまとめ、他者に伝えられるようになることを目指します。

【到達目標】

1. 英語で書かれた新聞記事の概要を理解できるようになる
2. 英語で書かれた新聞記事を読み、要点を英語で説明できるようになる
3. 英語で書かれたを読み、現代社会の諸問題について自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は、英語で書かれた新聞記事を使って、英字新聞の特徴や読み方を学びます。また、自分で選んだ新聞記事などを題材に、現代社会のさまざまなトピックについて考えます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Getting to know your newspaper (1)	英語のニュースメディアを知る
3	Getting to know your newspaper (2)	英字新聞を読む
4	The structure of a newspaper (1)	英字新聞の構成を調べる
5	The structure of a newspaper (2)	ニュースのカテゴリを調べる
6	News story structure (1)	新聞記事の情報を整理する
7	News story structure (2)	新聞記事を要約する
8	Headlines (1)	Headline とは何か
9	Headlines (2)	Headline の規則を知る
10	Headlines (3)	Headline に使われる略語を調べる
11	What make a story news? (1)	何がニュースになるのか
12	What make a story news? (2)	新聞記事を分析する
13	Writing a news story (1)	ニュースの記事を書く
14	Writing a news story (2)	ニュース記事を編集する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間程度を目安とします。授業内容に即した課題を出します。指示に従って取り組んでください。詳細は、初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点（小テスト、課題、授業への参加態度など） 30%
- 学期末課題 70%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

定期的に英字新聞を読むため、読解力がついたという声が寄せられました。また、ニュースを見たり聞いたりする機会が増えたことで、社会問題についての関心が高まったという声も聞かれます。

【Outline (in English)】**(Course outline)**

This course introduces various international cultural and social issues. The course will encourage students to consider their own culture and society within an international context, and obtain new perspectives about current issues. In the Spring Semester, students are encouraged to become familiar with reading English newspaper articles. Students will review and discuss an overview of English-language media via authentic materials. Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.

(Learning Objectives)

Students will be able to:

- read English newspaper articles and understand the main points
- summarize the outlines of newspaper articles
- logically express their opinion about an issue in English

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to make a short note on a passage for the next class. The preparation and review for the class will take about 1-2 hours every week. Detailed information will be given during the first lesson.

(Grading Criteria /Policy)

Grading will be decided based on:

- Quizzes, weekly assignments, participation (30%)
- Final Exam (70%)

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

川 澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。秋学期は、春学期に学んだ内容に基づいて、英語系メディアについて広く学びます。無意識に持っている偏見 (bias) や偽ニュース (Fake news) についても考え、ものごとに対する批判的な思考力を養うことを目指します。

【到達目標】

1. ニュース番組形式の短い英語の映像を見て、内容を理解することができる
2. 英語系のニュースメディアについて、それぞれの特徴を理解する
3. 英語で書かれた新聞記事を批判的に検討し、自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は、英字新聞の特徴や読み方を学びます。また、英字新聞の記事を題材に、現代社会のさまざまなトピックについて考えていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	News Point	新聞記事の「時間」について分析する
3	Media bias (1)	バイアスとは何か？
4	Media bias (2)	新聞記事に見るバイアス：写真の場合
5	Media bias (3)	新聞記事に見るバイアス：文字テキストの場合
6	Opinion articles (1)	社説や読者投稿欄の記事を読む
7	Opinion articles (2)	社会的な問題について自分の意見を考える
8	Opinion articles (3)	社説の記事を分析する
9	Electronic media (1)	さまざまなメディアの特性を知る
10	Electronic media (2)/	さまざまなメディアのニュース記事を分析する
11	Journalist's job (1)	ジャーナリズムの仕事について知る
12	Journalist's job (2)	ジャーナリストの仕事に関するテキストを鑑賞する
13	Journalist's job (3)	ジャーナリストの仕事について話し合う
14	Writing an opinion article	社会問題について自分の意見を書く

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間程度を目安とします。授業内容に即した課題を出します。指示に従って取り組んでください。詳細は、初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点（小テスト、課題、授業への参加態度など） 30%

- 学期末課題 70%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は、英字新聞に加えて、映画などジャーナリズムやメディアに関するテキストを広く取りあげたことが好評でした。また、授業中の課題についてグループやペアで取り組むため、自分と違う意見を知ることによって学びの幅が広がったという声もありました。

【Outline (in English)】**(Course Outline)**

This course introduces various cultural and social issues of the English speaking world. The course will encourage students to consider their own culture and society within an international context, and obtain new perspectives about current issues. Students are encouraged to critically analyze newspaper articles. Internet sources, broadcast media, and magazines will be reviewed during the Autumn Semester. Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.

(Learning Objectives)

Students will be able to:

- watch English news program and understand the main points

- understand the characteristics of English news media

- logically express their opinion about an issue in English

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to make a short note on a passage for the next class. The preparation and review for the class will take about 1-2 hours every week. Detailed information will be given during the first lesson.

(Grading Criteria /Policy)

Grading will be decided based on:

- Quizzes, weekly assignments, participation (30%)

- Final Exam (70%)

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World:
Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

In Person Class.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts;
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics; Topic: Speed dating	GR Discussion; Written Test on Textbook
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
6	Describing things; Topic: Stress	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
7	Ecology; Topic: Listening and taking note_	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
8	Problems and Solutions: Topic: Fast food	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
9	Comparisons: Topic: Shopping trends	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
11	Group organization; Topic: Student choice	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
12	Presentations; Topic: Course related topics	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups) Student Q & A
13	Choice of test topics	GR Discussion; Written Test on Textbook
14	Student peer review and feedback	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World:
Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest.

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding. Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective. Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but will also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Warm Up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In Week 13, comments and explanations are given for assignments, reports and oral dictation quizzes for the classes held to that point.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and Listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.

5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions.
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening , Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete weekly reading assignments from either the textbook or other supplemental sources as well as doing periodic research on a topic for the following class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and about an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 25% (including the timely completion of homework assigned in the previous class.)

Individual and small group presentations: 25%

Oral dictation quizzes, Mid-Term and Final Semester Test: 50%

*Please note that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/family problem) a fourth absence will result in failure for the term.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding. Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.

Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In Week 13, comments and explanations are given for all assignments, reports and oral dictation quizzes given during the term.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term. assignment for next class.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.

5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Cars and Planes	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice using the text and DVD video.
13	Cars and Planes	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Units 5-9 Final Test: Listening, Reading and Writing.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to come to class fully prepared, having completed any readings, writings or listening tasks assigned from the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities (see Grading criteria below) and for the benefit of the class as a whole.

【テキスト (教科書)】

American Dream: Video Reading and Listening in American Culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 25% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)

Presentations: 25%

Oral dictation quizzes, Mid Term and Final semester test: 50%

*Please be aware that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/ family problem) a fourth absence will result in a failing grade for the term.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

This course will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代社会の諸相を学ぶ

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリスニング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

各 unit を 2 回のペースで進めていきます。教科書の本文については事前に予習が必要です。授業は教科書に沿って Before Reading、本文の読解、While Reading、After Reading の順に進めていきます。随時、話題と関連する動画を視聴したり意見を書くなどリスニングやライティングの演習も行います。

授業内で回収した英作文など、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	教科書、授業の進め方、成績評価について説明
第 2 回	Unit 1 Self-made South Korean billionaires promise to give half away < 前半 >	一代で成功した韓国人富豪の話を読みます。
第 3 回	Unit 1 Self-made South Korean billionaires promise to give half away < 後半 >	前回は引き続き、一代で成功した韓国人富豪の記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 4 回	Unit 2 Treaty to eliminate nukes takes effect < 前半 >	核兵器禁止条約についての記事を読みます。
第 5 回	Unit 2 Treaty to eliminate nukes takes effect < 後半 >	前回は引き続き、核兵器禁止条約についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。

第 6 回	Unit 3 Lockdown-weary Malaysians get appetite for drive-in dining < 前半 >	ロックダウン中のマレーシアについての記事を読みます。
第 7 回	Unit 3 Lockdown-weary Malaysians get appetite for drive-in dining < 後半 >	前回は引き続き、ロックダウン中のマレーシアについての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 8 回	中間テスト	unit 1～unit3 を試験範囲とし、試験および解説をします
第 9 回	Unit 4 France to extend lifetime of old nuclear power plants < 前半 >	フランスにおける原発問題についての記事を読みます。
第 10 回	Unit 4 France to extend lifetime of old nuclear power plants < 後半 >	前回は引き続き、フランスにおける原発問題についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 11 回	Unit 5 Captain: Passenger's letters supported crew < 前半 >	ダイヤモンドプリンセス号についての記事を読みます。
第 12 回	Unit 5 Captain: Passenger's letters supported crew < 後半 >	前回は引き続き、ダイヤモンドプリンセス号についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 13 回	これまでのまとめ	Unit 1～5 の総復習をします。
第 14 回	期末テスト	Unit 4～unit 5 を試験範囲とし、試験・まとめと解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文に関して、わからない単語は辞書を引き、事前に読んでくること。授業後には聞き取れなかった箇所をもう一度聞き直す、文章の解釈を間違えた箇所を再度確認して下さい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

若有保彦『メディアで学ぶ日本と世界 2022』（成美堂、2022）

【参考書】

『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典（電子辞書も可）を各自用意して下さい

【成績評価の方法と基準】

中間テスト 35%、期末テスト 35%、平常点 30%で評価します。欠席が 4 回以上の場合には原則単位認定は行わない。

【学生の意見等からの気づき】

単調な授業とならないように心がけたいと思います

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 現代社会の諸相を学ぶ

小田井 勝彦

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリスニング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各 unit を 2 回のペースで進めていきます。教科書の本文については事前に予習が必要です。授業は教科書に沿って Before Reading、本文の読解、While Reading、After Reading の順に進めていきます。随時、話題と関連する動画を視聴したり意見を書くなどリスニングやライティングの演習も行います。

授業内で回収した英作文など、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 6 Black kings, but no politics – Murphy returns in Coming 2 America < 前半 >	『星の王子ニューヨークへ行く 2』についての記事を読みます。
第 2 回	Unit 6 Black kings, but no politics – Murphy returns in Coming 2 America < 後半 >	引き続き『星の王子ニューヨークへ行く 2』についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 3 回	Unit 7 Learning as avatars may become new norm < 前半 >	オンライン授業についての記事を読みます。
第 4 回	Unit 7 Learning as avatars may become new norm < 後半 >	引き続きオンライン授業についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 5 回	Unit 8 Online safaris, tours keep everyone safe < 前半 >	オンラインでの旅行や体験についての記事を読みます。

第 6 回	Unit 8 Online safaris, tours keep everyone safe < 後半 >	引き続きオンラインでの旅行や体験についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 7 回	中間テスト	unit 6～8 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
第 8 回	Unit 9 Nippon Steel aims to achieve decarbonization by 2050 < 前半 >	脱炭素社会への企業の取り組みについての記事を読みます。
第 9 回	Unit 9 Nippon Steel aims to achieve decarbonization by 2050 < 後半 >	引き続き脱炭素社会への企業の取り組みについての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 10 回	Unit 10 Harvard astronomer argues that alien vessel paid us a visit < 前半 >	UFO についての記事を読みます。
第 11 回	Unit 10 Harvard astronomer argues that alien vessel paid us a visit < 後半 >	引き続き UFO についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 12 回	Unit 11 Remnants of railway on the shore < 前半 >	高輪築堤についての記事を読みます。
第 13 回	Unit 11 Remnants of railway on the shore < 後半 >	引き続き高輪築堤についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 14 回	期末テスト	unit 10～12 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本文に関して、わからない単語は辞書を引き、事前に読んでくること。授業後には聞き取れなかった箇所をもう一度聞き直す、文章の解釈を間違えた箇所を再度確認して下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

若有保彦『メディアで学ぶ日本と世界 2022』(成美堂、2022)

【参考書】

『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典 (電子辞書も可) を各自用意して下さい

【成績評価の方法と基準】

中間テスト 35%、期末テスト 35%、平常点 30%で評価します。
欠席が 4 回以上の場合には原則単位認定は行わない。

【学生の意見等からの気づき】

単調な授業とならないように気をつけます。

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion** や **group presentation** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A

5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 40%

Presentations: 35%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになった」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) が携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ (小論文) を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使用しますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A

5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当のものがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い communicative な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、essay writing が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) か携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本

今井 澄子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスクリプト、Speaking 音声 (単語の発音、アクセント、イントネーション)、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容	授業内容や課題の説明
	OED 採録の日本語	データベース OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Office)	(Listening 小テスト 1) Unit 1 DVD 視聴
	Long-Established Business	Short Reading Comment writing
	*(O) 内は Listening 小テストテーマ	
第 3 回	世界の中の日本文化 (Restaurant)	(Listening 小テスト 2) Unit 2 DVD 視聴
	Uniforms and Identity	Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Department Store)	(Listening 小テスト 3) Unit 3 DVD 視聴
	Volunteer Work and Helping Others	Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Airport)	(Listening 小テスト 4) Unit 4 DVD 視聴
	High-Tech Living [Automobiles]	Short Reading Comment writing

第 6 回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening 小テスト 5) Unit 5 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト 6) Unit 6 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening 小テスト 7) Unit 7 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History (1)	(Listening 小テスト 8) Reading Essay 1 R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 10 回	日本文化の背景 (Fitness Center) Approaches to the Japanese History (2)	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 2 R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 11 回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 3 Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。PartI と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してけるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

【テキスト (教科書)】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)
Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.
R.J. Davies. Japanese Culture: The Religious and Philosophical Foundations. 2016.
<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>
<https://www.japantimes.co.jp/>
<https://www.bbc.co.uk/>
<https://edition.cnn.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。なお、万一オンライン授業になった場合、各回の課題すべてを期限までに提出して出席となる。したがって、複数の課題があるときはすべて提出せねばならず、ひとつでも未提出だと欠席になる。また、オンライン授業でも授業時間中の参加を推奨しており、参加状況が良くないときは平常点に影響が出る。

【学生の意見等からの気づき】

例年 Oxford English Dictionary を引いてデータを集めて英文原稿を書くが、自宅からアクセスするには VPN 接続が難しくてできないというお声をいただく。学内 PC を使えば特別な接続はいらないので、難しい場合は学内で引けばよい。また、英語で定義や説明が書かれていてわからないという人もいるが、早めに調べて質問してくれれば授業で個別対応する。また、教科書空欄の単語 Dictation はできるが、スクリプトを読んでも細かいところまで意味が理解できないというご意見をいただいた。このため、昨年度秋学期から始めたスクリプト日本語訳の試みを今年度も継続して授業中に行う。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスライド、Speaking 音声（単語の発音、アクセント、イントネーション）、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Business Trip)	(Listening 小テスト 1) Unit 8 DVD 視聴
	Seafood-Japanese Cuisine	Short Reading Comment writing
	*() 内は Listening 小テストテーマ	
第 2 回	世界の中の日本文化 (Vacation)	(Listening 小テスト 2) Unit 9 DVD 視聴
	Japanized Foreign Dishes	Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Pay)	(Listening 小テスト 3) Unit10DVD 視聴
	Bag-Culture	Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Exhibition)	(Listening 小テスト 4) Unit11DVD 視聴
	Senior Citizens [Medical Checkups]	Short Reading Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Shopping) Money	(Listening 小テスト 5) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Hospital) Zodiac	(Listening 小テスト 6) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Train Station) What is a Japanese?	(Listening 小テスト 7) Reading Essay 1 R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るサムライ (Presentation) Samurai Spirit	(Listening 小テスト 8) Reading Essay 2 Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Lecture) A New Era or an Era of Newness? Integrating Immigrants	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 3 M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 10 回	Outbound Japan (Contract) The Right Amount of Confidence "Get Out! Why Not Go?"	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 4 M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語 + 言い換え MLA または APA によるリファレンス
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本文化の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。PartI と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してくとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂

Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。なお、万が一オンライン授業になった場合、各回の課題すべてを期限までに提出して出席となる。したがって、複数の課題があるときはすべて提出せねばならず、ひとつでも未提出だと欠席になる。また、オンライン授業でも授業時間中の参加を推奨しており、参加状況が良くないときは平常点に影響が出る。

【学生の意見等からの気づき】

例年 Oxford English Dictionary を引いてデータを集めて英文原稿を書くが、自宅からアクセスするには VPN 接続が難しくできないというお声をいただく。学内 PC を使えば特別な接続はいらないので、難しい場合は学内で引けばよい。また、英語で定義や説明が書かれていてわからないという人もいるが、早めに調べて質問してくれば授業で個別対応する。また、教科書空欄の単語 Dictation はできるが、スクリプトを読んでも細かいところまで意味が理解できないというご意見をいただいた。このため、昨年度秋学期から始めたスクリプト日本語訳の試みを今年度も継続して授業中に行う。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：近代日本と世界

佐々木 一恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、一年次に English1 ならびに English2 で培った力をベースに、日本の歴史（近代）に関する英語の文献・画像・視聴覚資料を用いて、英語の四技能（読む・聴く・話す・書く）をさらに高めていくことを目指します。

【到達目標】

- 英語を用いて日本の歴史（近代）に関する情報の受発信ができるようになること。
- 大学レベルの英語のアカデミック・スキル（プレゼンテーション、スピーチ、ライティング）を身につけること。
- 大学での学びに必要な英語の語彙力とその運用力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は Hoppii(法政大学の学習支援システム)で行っていきます。毎週水曜日に、「教材」に今週の課題で使用する教材をアップロードします。こちらをダウンロードして学習してください。また、「テスト」や「課題」にアップロードされているテストや課題を行い、提出するようにしてください。フィードバックは HOPPII を通じて行います。毎週水曜日、みなさんにやってもらいたいことについては、「お知らせ」でお伝えします。

●毎週水曜日に「教材」にアップロードされるもの：

単語（25 語）リスト、リーディング教材など

●毎週水曜日に「テスト」にアップロードされるもの：

単語テスト（25 語）、リスニング音声＋リスニングテスト（穴埋め問題）、リーディング小テストなど → 翌週の月曜日午前 10 時が提出期限となります。そして火曜日午前 10 時に小テストの結果と回答・コメントが公開になります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容や課題についての説明
2	ペリー来航	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：A Journal of The Perry Expedition to Japan
3	明治維新	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：A letter of resignation of the last Shogun, 1867
4	西郷隆盛と征韓論	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：A letter from Saigo Takamori to Itagaki Taisuke on the Korean question, July 29, 1873

5	文明開化とジェンダー	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：Distinguish the equal rights of husband and wives
6	明治期の改革 1	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー：Japan-Meiji Reforms（前半）とグループディスカッション
7	明治期の改革 2	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー：Japan-Meiji Reforms（後半）とグループディスカッション
8	近代国家と教育 1	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：Military-style physical training
9	近代国家と教育 2	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：The imperial rescript of education, the opening, 1890
10	日清戦争	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：Jishu teki gaiko no igi
11	岡倉天心	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング：The Book of Tea
12	明治期の日本について書く	●語彙・リスニングのエクササイズ ●パラグラフ・ライティング演習
13	明治期の日本について話す	●語彙・リスニングのエクササイズ ●スピーチ演習
14	期末試験	学期のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

●語彙エクササイズ、リーディング課題の予習・復習

●ライティング、スピーチ課題の準備

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

単語テスト（含む期末単語テスト）30 %

リスニング 20 %

リーディング小テスト 30 %

ライティング課題 15 %

スピーチ課題 5 %

【学生の意見等からの気づき】

ビデオ教材をもう少しわかりやすいものに変える。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン等の情報機器ならびにインターネットへの接続環境が必要です。

【その他の重要事項】

欠席が 4 回以上になった場合、原則として単位取得の資格を失います。

【Outline (in English)】

The course is designed for second-year students to further develop the ability to read, listen, speak, and write in English, by utilizing written documents (both primary and secondary) and audiovisual materials on modern Japanese history.

By the end of the course, students are expected to be able to: 1) read, speak, present, and write about Japanese modern history, 2) acquire academic skills in English (reading, presentation, speech, and writing) at the college level, and 3) develop the English vocabulary necessary for university study. Students will be expected to prepare for and review classes: vocabulary and listening exercises, and other assignments (reading, writing, speech, presentation). The preparation and review time for the class is one hour. The final grade will be decided by vocabulary quizzes 30 %, listening tests 20%, reading exams 30%, writing assignment 15%, speech exercise 5%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【到達目標】

1. 英語のニュースを使用して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. ニュースのスク립トの読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 日本の社会についての理解を深め、自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業形態 対面授業（新型コロナウイルスの感染状況に応じて授業形態に変更がある場合は授業と学習支援システムお知らせから連絡します）

テキストの演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。テキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。課題のフィードバックも学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 1 The Challenges of Teaching English amid Coronavirus ①	授業の進め方の説明 Unit 1 ニュース視聴
2	Unit 1 The Challenges of Teaching English amid Coronavirus ②	Unit 1 News Story リスニング, 解説, 演習問題
3	Unit 2 Students Keeping Memory of Shuri Castle Alive	Unit 2 News Story リスニング, 解説, 演習問題
4	Unit 3 A Bitter Taste for Healthy Fish	Unit 3 News Story リスニング, 解説, 演習問題
5	Unit 4 Robots Luring Diners Back	Unit 4 News Story リスニング, 解説, 演習問題
6	Unit 5 Toilet Designs Aim to Flush Away Issues	Unit 5 News Story リスニング, 解説, 演習問題
7	Unit 6 Teleworking Encourages Tokyo Exodus	Unit 6 News Story リスニング, 解説, 演習問題
8	Unit 7 Learning to Love Rural Japan	Unit 7 News Story リスニング, 解説, 演習問題

9	Unit 8 Advocate for Abduction Issue Remembered	Unit 8 News Story リスニング, 解説, 演習問題
10	Unit 9 Clay Artist in Touch with Tradition	Unit 9 News Story リスニング, 解説, 演習問題
11	Unit 10 Space Development Board Game	Unit 10 News Story リスニング, 解説, 演習問題
12	Unit 11 Tatami Takes on New Shapes and Sizes	Unit 11 News Story リスニング, 解説, 演習問題
13	Unit 12 A Runway to a New Start	Unit 12 News Story リスニング, 解説, 演習問題
14	期末試験とまとめ	秋学期全体のまとめ。第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とし期末試験を実施。試験形式は初回授業で発表します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストにニュース映像閲覧用のパスワードと URL が記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、**News Story** の英文を読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の演習問題の解答を課題として学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

NHK NEWSLINE 5『映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 5』山崎達朗 / Stella M. Yamazaki 編著 (金星堂 2022) 2,400 円 (+税) ISBN 978-4-7647-4144-7

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、Hoppii の課題提出）50 % で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等は学習支援システムを通じて行います。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールでご連絡をお願いします。メールを送る際は法政のメールアドレスを使用し「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を本文に明記してください。春学期の **English 3 I** と担当教員が異なるため使用テキストや授業内容も変わります。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Tips for the Quiz Quiz Song lesson
			14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity
8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete a writing assignment every week in preparation for discussion. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course 【テキスト（教科書）】 There is no textbook. Handouts will be given in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 40% Quizzes, writing assignments, presentations: 60% Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course. Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable		
9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.			

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline (in English)】

This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.	11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.	12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
			13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
			14	Big quiz	Quiz Games Puzzle
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are given a writing assignment almost every week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course 【テキスト（教科書）】 There is no textbook. Handouts will be given in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 40% Quizzes, writing assignments, presentations:60% Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course. Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【学生が準備すべき機器他】 Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary. 【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.		
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.			
9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.			

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.
- Improve listening comprehension.
- Enrich your vocabulary.
- Learn about art, culture and social problems.
- Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (15%), term-end report (70%), and in-class contribution (15%).

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、ディスカッションを行う。偶数回ごとにリアクションペーパーを提出してもらう。授業は Zoom を通じて行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Unit 1	『スリー・ビルボード』
2	Unit 1	『スリー・ビルボード』 続き

3	Unit 2	『ムーンライト』
4	Unit 2	『ムーンライト』 続き
5	Unit 3	『ドリーム』
6	Unit 3	『ドリーム』 続き
7	Unit 4	『それでも夜は明ける』
8	Unit 4	『それでも夜は明ける』 続き
9	Unit 5	『ブルックリン』
10	Unit 5	『ブルックリン』 続き
11	Unit 6	『グラン・トリノ』
12	Unit 6	『グラン・トリノ』 続き
13	Unit 7	『扉をたたく人』
14	Unit 7	『扉をたたく人』

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
事前に Reading の文章を読み、訳してくる。また、テキストの演習問題を解いてくる。

【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies
(映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15%

リアクションペーパー 15%

最終レポート 70%

4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生間のディスカッションの時間を充分に取る。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.

-Improve listening comprehension.

-Enrich your vocabulary.

-Learn about art, culture and social problems.

-Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (15%), term-end report (70%), and in-class contribution (15%).

【到達目標】

・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。

・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。

・語彙力を高める。

・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。

・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、ディスカッションを行う。偶数回ごとにリアクションペーパーを提出してもらう。

授業は Zoom を通じて行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』

2	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』 続き
3	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』
4	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』 続き
5	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』
6	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』 続き
7	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』
8	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』 続き
9	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』
10	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』 続き
11	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』
12	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』 続き
13	Unit 15	『シンドラーのリスト』
14	Unit 15	『シンドラーのリスト』 続き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
事前に Reading の文章を読み、訳してくる。テキストの演習問題を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies
(映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15%

リアクションペーパー 15%

最終レポート 70%

4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生間のディスカッションの時間を充分に取る。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

猪俣 佳瑞美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。	13	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。	14	プレゼンテーション 2 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。 Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。 準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。 準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。		
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。	【テキスト（教科書）】 英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2 Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著 成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）		
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。	【参考書】 特になし		
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【成績評価の方法と基準】 平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。		
9	Unit 8 Disaster Volunteers	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【学生の意見等からの気づき】 英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。		
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【学生が準備すべき機器他】 電子辞書を必ず持参すること		
11	Unit 10 Studying English Abroad	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【Outline (in English)】 This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.		
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。			

LANe200LA		3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
English 3 II		4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
サブタイトル：世界の中の日本		5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
猪俣 佳瑞美		6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金 3/Fri.3		7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法を取り上げる。
単位数：1 単位		8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：		9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【到達目標】		11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
講義の到達目標は、以下である。		12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。				
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。				
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。				
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。				
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3				
【授業の進め方と方法】				
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など		
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。		

学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。

高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。

成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。

コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。

「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。

購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。

自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。

「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。

「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どここの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。

13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。

- 13 プレゼンテーション 1 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
- 14 プレゼンテーション 2 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。
- 小テストとまとめ 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: NHK ニュースで学ぶ現代事情

須藤 祐二

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力に基づき、NHK で報道されたさまざまなニュースを題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。

【到達目標】

受講生は簡単な英語記事やニュースであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。

受講生は発信された内容を英語でまとめ、論点を批判的にくみ取りながら、自分の意見を口頭または文書で述べられるようにする。

現代のさまざまな事象について学び、批判的な自分なりの考えを構築する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回の授業に、リーディング、ライティング、スピーキングなどの技能の演習を割り当てる。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。ディスカッションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。ライティングの指導機会を作り、そこで確認したルールに従ってレポートを提出してもらう。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンライン授業をすることがある。

授業方法の変更は Hoppii で周知する。そのため、受講生は授業日の朝に Hoppii を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	Unit 1 のニュース映像の理解とリスニング演習	現代の英語教育の試みについてのニュースから学ぶ
3	Unit 1 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	現代の英語教育についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
4	Unit 2 のニュース映像の理解とリスニング演習	火災後の首里城と高校生ボランティアについてのニュースから学ぶ
5	Unit 2 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	火災後の首里城と高校生ボランティアについての記事を読み解く。リスニング演習を行う
6	Unit 3 のニュース映像の理解とリスニング演習	環境に優しいレジ袋の開発についてのニュースから学ぶ

7	Unit 3 のニュースの スクリプトの速読とリス ニング演習	環境に優しいレジ袋の開発につ いての記事を読み解く。リスニン グ演習を行う
8	Unit 4 のニュース映 像の理解とリスニング 演習	省人化ロボットと食品産業につ いてのニュースから学ぶ
9	Unit 4 のニュースの スクリプトの速読とリス ニング演習	省人化ロボットと食品産業につ いての記事を読み解く。リスニン グ演習を行う
10	Unit 5 のニュース映 像の理解とリスニング 演習	公共衛生施設についてのニュース から学ぶ
11	Unit 5 のニュースの スクリプトの速読とリス ニング演習	公共衛生施設についての記事を 読み解く。リスニング演習を行 う
12	ディスカッション	Unit 1 ～ 5 の英語で書かれた設 題について、自分の意見を口頭で 述べる練習をする
13	ライティング演習	第 12 回で述べた意見をエッセ イ・ライティングの形式でまとめ る
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと 振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。あらかじめ辞書を使って読み解き、分からないところを明確にしてから授業に参加すること。

本授業の準備学習・復習時間は合計で 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

NHK Newslines 5. 山崎達朗、Stella M. Yamazaki 著、金星堂
必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、スピーキングとライティングの課題 25 %、授業の参加度合 25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点がある。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき映像資料を積極的に用いる。

【Outline (in English)】

Based on the English proficiency developed in the first year and by using various NHK English news as educational material, students improve their ability to comprehend English information and present their critical opinions in English.

At the end of the course, students are expected to issues their opinions in English after reading a article about a cultural or social issue.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), speaking and writing tasks (25%), and in-class contribution (25%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：NHK ニュースで学ぶ現代事情

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力に基づき、NHK で報道されたさまざまなニュースを題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。

【到達目標】

受講生は簡単な英語記事やニュースであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。

受講生は発信された内容を英語でまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を口頭または文書で述べられるようにする。

現代のさまざまな事象について学び、批判的な自分なりの考えを構築する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回の授業にリーディング、ライティング、スピーキングなどの技能の演習を割り当てる。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。ディスカッションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。ライティングの指導機会を作り、そこで確認したルールに従って、レポートを提出してもらう。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」（Hoppii）で行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンラインで授業をすることがある。

授業方法の変更は授業支援システム（Hoppii）で周知する。そのため、受講生は授業日の朝に Hoppii を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学んだことの振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Unit 6 のニュース映像の理解とリスニング演習	テレワーク時代の働き方についてのニュースから学ぶ
3	Unit 6 のニュースのスクリプトの速読とリスニング演習	テレワーク時代の働き方についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
4	Unit 7 のニュース映像の理解とリスニング演習	語学学校と地方活性化についてのニュースから学ぶ
5	Unit 7 のニュースのスクリプトの速読とリスニング演習	語学学校と地方活性化についての記事を読み解く。リスニング演習を行う

6	Unit 8 のニュース映像の理解とリスニング 演習	草の根運動についてのニュースから学ぶ
7	Unit 8 のニュースの スクリプトの速読とリスニング演習	草の根運動についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
8	Unit 9 のニュース映像の理解とリスニング 演習	地方発の造形芸術についてのニュースから学ぶ
9	Unit 9 のニュースの スクリプトの速読とリスニング演習	地方発の造形芸術についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
10	Unit10 のニュース映像の理解とリスニング 演習	宇宙開発とボードゲームについてのニュースから学ぶ
11	Unit10 のニュースの スクリプトの速読とリスニング演習	宇宙開発とボードゲームについての記事を読み解く。リスニング演習を行う
12	ディスカッション	Unit 6～10 の設題について、自分の意見を口頭で英語を使って述べる練習をする
13	ライティング演習	第 12 回で述べた意見をエッセイ・ライティングの形式でまとめる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。あらかじめ辞書を使って読み解き、分からないところを明確にしてから授業に参加すること。
本授業の準備学習・復習時間は合計で 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

NHK Newslines 5. 山崎達朗, Stella M. Yamazaki 著、金星堂
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、スピーキングとライティングの課題 25 %、授業の参加度合 25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点がある。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、映像資料を積極的に活用する。

【Outline (in English)】

Based on the English proficiency developed in the first year and by using various NHK English news as educational material, students improve their ability to comprehend English information and present their critical opinions in English.

At the end of the course, students are expected to issues their opinions in English after reading a article about a cultural or social issue.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), speaking and writing tasks (25%), and in-class contribution (25%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: イギリスの文化と社会

萩原 真一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3 分程度の BBC（英国放送協会）の映像ニュースから 15 本精選され、それぞれに Comprehension Questions や Summary などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Up の設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 1 "An Award for an Unsung Hero"	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 1 "An Award for an Unsung Hero"	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 3 回	Unit 2 "Treasures of the Society of Antiquaries"	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 2 "Treasures of the Society of Antiquaries"	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 5 回	Unit 3 "Changing Careers in the Pandemic"	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 6 回	Unit 3 "Changing Careers in the Pandemic"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Unit 4 "The Climate Change Threat to Heritage Sites"[気候変動で墓地が廃墟に?] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 9 回	Unit 4 "The Climate Change Treat to Heritage Sites"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 10 回	Unit 5 "Plastic from Peas"[エンドウマメ・プラスチック] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 11 回	Unit 5 "Plastic from Peas"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 12 回	Unit 6 "Return of the Red Kites"[鳥と人間の共存を目指して] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 13 回	Unit 6 "Return of the Red Kites"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Timothy Knowles 他編著『British News Update 4 一映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース 4』（金星堂、2022 年）2800 円（税別）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

中間試験（45 点）と期末試験（45 点）を実施し、学期末に課す英語小エッセー（10 点）を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、ほぼ 60 点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器（パソコン、スマホ、iPad 等）

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: イギリスの文化と社会

萩原 眞一

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は 4 技能 (リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング) の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3 分程度の BBC (英国放送協会) の映像ニュースから 15 本精選され、それぞれに Comprehension Questions や Summary などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Up の設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 7 "All Cars to Be Electric"[ガソリン車が博物館に展示される未来] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 7 "All Cars to Be Electric"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 3 回	Unit 8 "Mend More and Buy Less: London Repair Shops"[使い捨てのない社会を目指して] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 8 "Mend More and Buy Less: London Repair Shops"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 5 回	Unit 9 "Swimming to Cure Dementia"[寒中水泳は長寿の秘訣?] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 6 回	Unit 9 "Swimming to Cure Dementia" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Unit 10 "A Special Pop-up Shop on Carnaby Street"[ロンドン最先端エリアに黒人によるファッションブランドが登場] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 9 回	Unit 10 "A Special Pop-up Shop on Carnaby Street"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 10 回	Unit 11 "School Laptops for All"[コロナ禍の教育格差に歯止めを!] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 11 回	Unit 11 "School Laptops for All"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 12 回	Unit 12 "A New Nuclear Power Station"[原子力発電の未来はどうなる?] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実にものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 13 回	Unit 12 "A New Nuclear Power Station"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Timothy Knowles 他編著『British News Update 4—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース 4』(金星堂、2022 年) 2800 円 (税別)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

中間試験 (45 点) と期末試験 (45 点) を実施し、学期末に課す英語小エッセー (10 点) を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、ほぼ 60 点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器 (パソコン、スマホ、iPad 等)

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります（learning four skills of reading, listening, speaking and writing）。日本が直面する社会問題をグローバルな視点から考え学びます。

【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue	1 Explaining the course 2 Reading and listening practices
2	Understanding issue: The Significance of Going to School	1 Reading paragraphs on The Significance of Going to School 2 Listening practice
3	Understanding issue: Staying Connected with Friends or Being Exposed to Risks?	1 Reading paragraphs on SNS 2 Listening practice 3 writing and speaking your opinions
4	Understanding issue: Is Every Young Person Worried?	1 Reading paragraphs on worries of young people 2 Listening practice
5	Understanding issue: Eco or Ego?	1 Reading paragraphs on eco-friendliness 2 Listening practice 3 writing and speaking your opinions
6	Understanding issue: Social Standards	1 Reading paragraphs on social standards 2 Listening practice

7	Understanding issue: Clean Energy or Potential Threat?	1 Reading paragraphs on restoring nuclear power generation 2 Listening practice 3 writing and speaking your ideas
8	Understanding issue: Democracy	1 Reading paragraphs on democracy 2 Listening practice 3 writing and speaking your ideas
9	Understanding issue: International Society and an International Outlook	1 Reading paragraphs on International Society and Japan 2 Listening practice
10	Writing and speaking your opinions	1 Exchanging your opinions concerning Education Budgets
11	Understanding issue: Larger Budgets for Education	1 Reading paragraphs on Education Budgets 2 Listening practice
12	Writing and speaking your opinions	1 Exchanging your opinions concerning Education Budgets 2 Making a presentation
13	Understanding issue: Casinos	1 Reading paragraphs on legalizing casinos 2 Listening practice 3 writing and speaking your ideas
14	Review and Test	Reviewing the topics and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course（本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします）

1 Weekly reading, listening or writing home assignments

2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Japan in International Society: A comparison of Dacts and Figures (『データから考える日本と世界』), 音羽書房鶴見書店, 2011

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの積極的な授業参加が授業の質を高めてくれたと実感しています。本年度の授業もそうあることを期待しています。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on social issues in Japan from a global perspective. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本が直面する社会問題をグローバルな視点から考え学びます。English 3 I に引き続き「英語を読み聞く」「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
 - (2) Listening: listening to mini-talks and global news
 - (3) Writing: summary and paragraph writing
 - (4) Speaking: preparation for presentation
- Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening practices
2	Understanding Issue: Japanese Language Study Overseas	1 Reading paragraphs on Japanese Language Study 2 Listening practice
3	Understanding Issue: Mothers and Children of the World	1 Reading paragraphs on the State of the World Mothers 2 Listening practice
4	Understanding Issue: What is the Universal Declaration of Human Rights?	1 Reading paragraphs on the Universal Declaration of Human Rights 2 Listening practice
5	Understanding Issue: Are Homeless responsible for Their Homelessness	1 Reading paragraphs on Homelessness 2 Listening practice 3 Writing and speaking your idea

6	Understanding Issue: Open Border or Closed Societies?	1 Reading paragraphs on an open door policy for immigrants 2 Listening practice 3 Writing and speaking your idea
7	Understanding Issue: A Brief History of Human Rights	1 Reading paragraphs on Human Rights 2 Listening practice 3 Writing and speaking your idea
8	Understanding Issue: Death Penalty or Human Rights?	1 Reading paragraphs on Death Penalty 2 Reading paragraphs on The Universal Declaration of Human Rights 3 Listening practice
9	Understanding Issue: Global Peace Index: Japan Still Peaceful	1 Reading paragraphs on Global Peace Index 2 Listening practice
10	Understanding Issue: International Comparison of Military Expenditures	1 Reading paragraphs on Military Expenditures 2 Listening practice 3 Writing and speaking your idea
11	Understanding Issue: International Competitiveness	1 Reading paragraphs on International Competitiveness 2 Listening practice
12	Understanding Issue: What Makes a Nation Prosperous?	1 Reading paragraphs on HDI and LPI 2 Listening practice
13	Understanding Issue: What Makes a Nation Prosperous?	1 Reading paragraphs on HDI and LPI 2 Writing and speaking on quality of life
14	Review and Test	Reviewing the topics and test.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Japan in International Society: A comparison of Dacts and Figures (『データから考える日本と世界』), 音羽書房鶴見書店, 2011

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about Japan in the international society. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding. Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.

Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but will also be able to apply that knowledge while learning and improving their English skills in reading, writing, listening and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Warm up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In week 13, comments and explanations are given for all assignments, reports and oral dictation quizzes given during the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and Listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.

5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening , Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete weekly reading assignments from either the text or other supplemental sources as well as doing periodic research on a topic for the following class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:

*Class participation: 25% (including the timely completion of assignments)

Presentations (group and individual 25%

Oral dictation and vocabulary quizzes, mid-term and final end of term test: 50%

*Please note that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/family problem) a fourth absence will result in failure for the term.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills of listening, speaking, reading and writing necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding. Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.

Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In week 13, comments and explanations are given for all assignments, reports and oral dictation quizzes given.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term. assignment for next class.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.

5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Native American Indians	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice using the text and DVD video.
13	Native American Indians	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Final Test, Units 5-9: Listening, Reading and Writing

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to come to class fully prepared, having completed any readings, writings or listening tasks assigned from the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities (see Grading criteria below) and for the benefit of the class as a whole.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 25% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)

Presentations (individual and small group) 25%

Oral dictation quizzes, mid-term and final test: 50%

*Please be aware that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/ family problem) a fourth absence will result in a failing grade for the term.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills of listening, speaking, reading and writing necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World:
Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics: Topic: Speed dating	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	Describing things; Topic: Stress	Return test results; GR 2; ECP Handouts; Unit 5
7	Ecology; Topic: Listening and taking notes	GR 2; ECP Handouts; Unit 6
8	Problems and Solutions; Topic: Fast food	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	Comparisons; Topic: Shopping trends	Queen of the Sun (30 - 60 min.); Discussion
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
11	Group organization; Topic: Student choice	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
12	Presentations; Topic: Course related topics	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	Choice of test topics	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	Student peer review and feedback	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World:
Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 現代の諸相

井上 紗央里

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【到達目標】

1. 海外のニュースを使用して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. ニュースのスク립トの読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業形態 対面授業 (新型コロナウイルスの感染状況に応じて授業形態に変更がある場合は授業と学習支援システムお知らせから連絡します)

テキストの演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。テキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。課題のフィードバックも学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 1 An Award for an Unsung Hero ①	授業の進め方の説明 Unit1 のリスニング
2	Unit 1 An Award for an Unsung Hero ②	テキスト P6 Summary のリスニング テキスト P1-6 の解説、提出課題の確認
3	Unit 2 Treasures of the Society of Antiquaries ①	Unit2 News Story のディクテーション、テキスト P7-12 解説前半
4	Unit 2 Treasures of the Society of Antiquaries ②	テキスト P7-12 の解説後半、P12 Summary のリスニング、提出課題の確認
5	Unit 3 Changing Careers in the Pandemic ①	Unit3 News Story のディクテーション、テキスト P13-18 解説前半
6	Unit 3 Changing Careers in the Pandemic ②	テキスト P13-18 の解説後半、P18 Summary のリスニング、提出課題の確認
7	Unit 4 The Climate Change Threat to Heritage Sites ①	Unit4 News Story のディクテーション、テキスト P19-24 解説前半
8	Unit 4 The Climate Change Threat to Heritage Sites ②	テキスト P19-24 の解説後半、P24 Summary のリスニング、提出課題の確認

9	Unit 5 Plastic from Peas ①	Unit5 News Story のディクテーション、テキスト P25-30 解説前半
10	Unit 5 Plastic from Peas ②	テキスト P25-30 の解説後半、P30 Summary のリスニング、提出課題の確認
11	Unit 6 Return of the Red Kites ①	Unit6 News Story のディクテーション、テキスト P31-36 解説前半
12	Unit 6 Return of the Red Kites ②	テキスト P31-36 の解説後半、P36 Summary のリスニング、提出課題の確認
13	Unit 7 All Cars to Be Electric	Unit7 News Story のディクテーション、テキスト解説、P37-42 Summary のリスニング、提出課題の確認
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。春学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストにニュース映像閲覧用のパスワードと URL が記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Story の英文を読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の演習問題の解答を課題として学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

British News Update 4（金星堂 2022）Timothy Knowles / 中村美帆子 / 田中みんね / 馬上紗矢香 著 ¥2,800（+ Tax）ISBN 978-4-7647-4146-1

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの課題提出）50 % で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等は学習支援システムを通じて行います。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールでご連絡をお願いします。メールを送る際は法政のメールアドレスを使用し「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を本文に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【到達目標】

1. 海外のニュースを使用して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. ニュースのスクリプトの読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業形態 対面授業（新型コロナウイルスの感染状況に応じて授業形態に変更がある場合は授業と学習支援システムお知らせから連絡します）

テキストの演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。テキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。課題のフィードバックも学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 8 Mend More and Buy Less: London Repair Shops ①	授業の進め方の説明 Unit 8 Building Language, News Story リスニング
2	Unit 8 Mend More and Buy Less: London Repair Shops ② Unit 9 Swimming to Cure Dementia ①	Unit 8 News Story, Summary 解説, 演習問題 Unit 9 Building Language, News Story リスニング
3	Unit 9 Swimming to Cure Dementia ②	Unit 9 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題
4	Unit 10 A Special Pop-up Shop on Carnaby Street ①	Unit 10 Building Language, News Story リスニング
5	Unit 10 A Special Pop-up Shop on Carnaby Street ② Unit 11 School Laptops for All ①	Unit 10 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題 Unit 11 Building Language, News Story リスニング
6	Unit 11 School Laptops for All ②	Unit 12 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題
7	Unit 12 A New Nuclear Power Station ①	Unit 12 Building Language, News Story リスニング, 解説

8	Unit 12 A New Nuclear Power Station ② Unit 13 Meat Grown in the Laboratory ①	Unit 12 Summary 解説、演習問題 Unit 13 Building Language, News Story リスニング
9	Unit 13 Meat Grown in the Laboratory ②	Unit 13 News Story 解説、Summary 解説、演習問題
10	Unit 14 Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales ①	Unit 14 Building Language, News Story リスニング、解説前半
11	Unit 14 Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales ②	Unit 14 News Story 解説 後半、Summary 解説、演習問題
12	Unit 15 Brexit Problems at the Border ①	Unit 15 Building Language, News Story リスニング、解説前半
13	Unit 15 Brexit Problems at the Border ②	Unit 15 News Story 解説 後半、Summary 解説、演習問題
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。秋学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストにニュース映像閲覧用のパスワードと URL が記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Story の英文を読んでください。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の演習問題の解答を課題として学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

British News Update 4（金星堂 2022）Timothy Knowles / 中村美帆子 / 田中みんね / 馬上紗矢香 著 ¥2,800（+ Tax）ISBN 978-4-7647-4146-1

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの課題提出）50 % で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等は学習支援システムを通じて行います。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールでご連絡をお願いします。メールを送る際は法政のメールアドレスを使用し「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を本文に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、In-class contribution and Assignment submissions: 50%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。本授業では、「4 技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	ガイダンス
第 2 項	発音練習	発音練習
第 3 講	Chapter 1 The Jomon Period	縄文時代について
第 4 講	Chapter 2 The Yayoi Period	弥生時代について
第 5 講	Chapter 3 The Tumulus Period	古墳時代について
第 6 講	Chapter 4, 5 The Asuka Period 1,2	飛鳥時代について
第 7 講	Chapter 6 The Nara Period	奈良時代について
第 8 講	Chapter 7 The Heian Period	平安時代について
第 9 講	Chapter 8 The End of the Heian Period and the Rise of the Bushi	平安時代の終焉
第 10 講	プレゼンテーション 1	プレゼンテーション 1
第 11 講	プレゼンテーション 2	プレゼンテーション 2
第 12 講	プレゼンテーション 3	プレゼンテーション 3
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1 時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

The General History of Japan 五十嵐昭人著 南雲堂 2016 年
ISBN 978-4-523-17824-8

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等 (20%)、グループ・プレゼンテーション (30%)、提出物 (10%)、ペーパーテスト (40%) の総合点で評価します。尚、欠席が 4 回以上になった物は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人 1 分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 30%, Reports: 10%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。「4 技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	ガイダンス
第 2 項	発音練習	発音練習
第 3 講	Chapter 9,10 The Kamakura Period 1,2	鎌倉時代について
第 4 講	Chapter 11,12 The Muromachi Period	室町時代について
第 5 講	Chapter 13, 14 The Azuchi-Momoyama Period	安土桃山時代について
第 6 講	Chapter 15,16 The Edo Period 1,2	江戸時代について
第 7 講	Chapter 17,18 The Edo Period 3,4	江戸時代について
第 8 講	Chapter 19,20 The Meiji Period 1,2	明治時代について
第 9 講	Chapter 21 The Meiji Period	明治時代の終焉
第 10 講	プレゼンテーション 4	プレゼンテーション 4
第 11 講	プレゼンテーション 5	プレゼンテーション 5
第 12 講	プレゼンテーション 6	プレゼンテーション 6
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1 時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

The General History of Japan 五十嵐昭人著 南雲堂 2016 年
ISBN 978-4-523-17824-8

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等 (20%)、グループ・プレゼンテーション (30%)、提出物 (10%)、ペーパーテスト (40%) の総合点で評価します。尚、欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人 1 分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 30%, Reports: 10%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion や group presentation の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表します。授業の雰囲気は informal & friendly です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A

5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 40%

Presentations: 35%

注意事項: 授業 4 回分相当ののがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い communicative な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、discussion や presentation の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) が携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions. Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ (小論文) を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A

5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになった」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、**essay writing** が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) が携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Various Aspects of the World

磯部 芳恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

This is a hybrid class, we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. presentations

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Student introductions Course outline Getting started: reading an article
2	Unit 1 Future Offices	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Try this, one more time!	Summary Discussion
4	Unit 2 Solar Belch	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Try this, one more time!	Summary Discussion
6	Unit 3 Tug-of-War	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion

7	Try this, one more time!	Summary Discussion
8	Unit 4 Spotting Misinformation	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Try this, one more time!	Summary Discussion
10	Unit 5 Mr. Trash Wheel	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Try this, one more time!	Summary Discussion
12	Unit 6 Mission to the Moon	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
13	Presentation	Review Unit 1-6
14	Wrap up and feed back	End of term review and Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CNN 10 Vol. 2 - Student News - < 2019 年 > (朝日出版社)

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>
<https://learningenglish.voanews.com/>
<https://www.newsintlevels.com/>
<https://breakingnewsenglish.com>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(40%), homework(20%), quizzes and tests(30%), and a presentation(10%).

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slide to class on a memory stick.

【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Various Aspects of the World

磯部 芳恵

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Therefore they will acquire four skills, reading, listening, speaking and writing skills.

【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

This is a hybrid class, we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. presentations

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Reading an article	Breaking News English Vocabulary Summary Discussion
2	Unit 7 Desert control	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Try this, one more time!	Summary Discussion
4	Unit 8 Ice Cream Delivery	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Try this, one more time!	Summary Discussion

6	Unit 9 Autumn leaves	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
7	Try this, one more time!	Summary Try this, one more time!
8	Unit 10 Magellan Telescope	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Try this, one more time!	Summary Discussion
10	Unit 11 Robodog	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Try this, one more time!	Summary Discussion
12	Unit 12 Better solar Panels	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
13	Presentation	Review Unit 7-12 Summary Discussion
14	Wrap up and feed back	End of the term review and Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CNN 10 Vol. 2 - Student News - < 2020 年 > (朝日出版社) 1800 円。

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>

<https://learningenglish.voanews.com/>

<https://www.newsintlevels.com/>

<https://breakingnewsenglish.com>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(40%), homework(20%), quizzes and tests(30%), and a presentation(10%).

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーを活用して、活用できるものは授業で紹介する。

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick.

【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Furthermore they will learn to give a presentation.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスライド、Speaking 音声（単語の発音、アクセント、イントネーション）、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容 OED 採録の日本語	授業内容や課題の説明 データベース OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Office) Long-Established Business *() 内は Listening 小 テストテーマ	(Listening 小テスト 1) Unit 1 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Uniforms and Identity	(Listening 小テスト 2) Unit 2 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Department Store) Volunteer Work and Helping Others	(Listening 小テスト 3) Unit 3 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Airport) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening 小テスト 4) Unit 4 DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 6 回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening 小テスト 5) Unit 5 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト 6) Unit 6 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening 小テスト 7) Unit 7 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History (1)	(Listening 小テスト 8) Reading Essay 1 R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 10 回	日本文化の背景 (Fitness Center) Approaches to the Japanese History (2)	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 2 R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 11 回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 3 Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。Part I と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してくとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (Part I の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂

Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J. Davies. Japanese Culture: The Religious and Philosophical Foundations. 2016.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking 10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。なお、万が一オンライン授業になった場合、各回の課題すべてを期限までに提出して出席となる。したがって、複数の課題があるときはすべて提出せねばならず、ひとつでも未提出だと欠席になる。また、オンライン授業でも授業時間中の参加を推奨しており、参加状況が良くないときは平常点に影響が出る。

【学生の意見等からの気づき】

例年 Oxford English Dictionary を引いてデータを集めて英文原稿を書くが、自宅からアクセスするには VPN 接続が難しくできないというお声をいただく。学内 PC を使えば特別な接続はいらないので、難しい場合は学内で引けばよい。また、英語で定義や説明が書かれていてわからないという人もいるが、早めに調べて質問してくれれば授業で個別対応する。また、教科書空欄の単語 Dictation はできるが、スクリプトを読んでも細かいところまで意味が理解できないというご意見をいただいた。このため、昨年度秋学期から始めたスクリプト日本語訳の試みを今年度も継続して授業中に行う。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文読解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスライド、Speaking 音声（単語の発音、アクセント、イントネーション）、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Business Trip) Seafood-Japanese Cuisine	(Listening 小テスト 1) Unit 8 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
	*() 内は Listening 小テストテーマ	
第 2 回	世界の中の日本文化 (Vacation) Japanized Foreign Dishes	(Listening 小テスト 2) Unit 9 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Pay) Bag-Culture	(Listening 小テスト 3) Unit10DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Exhibition) Senior Citizens	(Listening 小テスト 4) Unit11DVD 視聴 Short Reading
	[Medical Checkups]	Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Shopping) Money	(Listening 小テスト 5) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Hospital) Zodiac	(Listening 小テスト 6) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Train Station) What is a Japanese?	(Listening 小テスト 7) Reading Essay 1 R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るサムライ (Presentation) Samurai Spirit	(Listening 小テスト 8) Reading Essay 2 Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Lecture) A New Era or An Era of Newness? Integrating Immigrants	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 3 M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 10 回	Outbound Japan (Contract) The Right Amount of Confidence "Get Out! Why Not Go?"	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 4 M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語 + 言い換え MLA または APA によるリファレンス
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本文化の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。PartI と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してくとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC ® Test. 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。なお、万一オンライン授業になった場合、各回の課題すべてを期限までに提出して出席となる。したがって、複数の課題があるときはすべて提出せねばならず、ひとつでも未提出だと欠席になる。また、オンライン授業でも授業時間中の参加を推奨しており、参加状況が良くないときは平常点に影響が出る。

【学生の意見等からの気づき】

例年 Oxford English Dictionary を引いてデータを集めて英文原稿を書くが、自宅からアクセスするには VPN 接続が難しくてできないというお声をいただく。学内 PC を使えば特別な接続はいらないので、難しい場合は学内で引けばよい。また、英語で定義や説明が書かれていてわからないという人もいて、早めに調べて質問してくれれば授業で個別対応する。また、教科書空欄の単語 Dictation はできるが、スクリプトを読んでも細かいところまで意味が理解できないというご意見をいただいた。このため、昨年度秋学期から始めたスクリプト日本語訳の試みを今年度も継続して授業中に行う。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 英語圏の文化と社会

宮本 三恵子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1 と 2 で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の 4 技能をさらに身に付けることを目的の一つとします。その際、「英語圏の文化と社会」も理解するための材料として英字新聞、映画、音楽が役立つでしょう。

【到達目標】

英字新聞では英語の文章を構文・語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。

映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し、自分で使えるようにしましょう。

英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。主に英語のプロテストソングを使って文化と社会を学びます。自分の考えを英語で表現したり、書いたりもできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

英字新聞ではヘッドラインを読み取ることから始めて徐々に本文の文章にも触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。

映画では、自分で選んだ映画を観て聞き取りの練習などします。映画についての報告などもします。その中で覚えた英語の会話を実際に使ってみます。字幕についても考えてみます。

音楽は指定された曲を使って各自聞き取りの練習をします。脚韻についても学びます。いくつかの日本語訳をみて考察します。

映画や音楽の背景から文化・社会についても考察します。

これらに関連して Hoppii に課題を出すので、報告を提出してもらいます。

フィードバックとして次の授業で解説をします。提出の中から参考になる解答例を挙げたり、間違えやすい例を挙げます。理解できない場合、同じような問題を出してさらに解説するので、身につくまで頑張りましょう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。この
5 月 6 日	及びインターネット環境の調査	授業はオンラインで進みます。
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を学びます。Hoppii に課題を出します。
第 3 回	映画を観る。	選んだ映画についての情報を調べて報告してもらいます。
第 4 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。単語調べなどもします。曲は "Imagine" の予定です。
第 5 回	英字新聞を読む。	紙の英字新聞全体をながめた感想を書きます。
第 6 回	映画を観る。	映画のあらすじや内容について英語で書いてみます。

第 7 回	音楽を聴く。	歌詞の背景も調べ、脚韻についても調べます。
第 8 回	英字新聞を読む。	理解できるヘッドラインを選んで解説します。
第 9 回	映画を観る。	聴き取りに適切なシーンを選んで聴き取りの報告をします。
第 10 回	音楽を聴く。	歌詞の日本語訳について調べ、考察します。
第 11 回	英字新聞を読む。	別のヘッドラインを選んで解説し、本文も読んでみます。
第 12 回	映画を観る。	日本語字幕について考察し、言語や文化の違いなどを学びます。
第 13 回	音楽を聴く。	歌詞の日本語訳 2 つ以上を選んで比較します。英語と日本語の違いを通して文化の違いなども学びます。
第 14 回	英字新聞を読む。	ヘッドラインを選んで解説し、ニュースの内容について本文を読んで、ニュースから文化や社会について考察します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自用意した紙の英字新聞全体をながめて課題の問題に備えてください。

選んだ映画を観て、聴き取りの練習をしたり字幕の書き取りなどして課題の準備をしてください。

授業で扱う曲を聴いて聴き取りしたり歌詞を書き取って課題に備えてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

紙の英字新聞を各自用意してもらいます。ネット上の英字新聞も活用します。

学習する映画を各自選びます。英語字幕・日本語字幕両方出るものを。英和・和英・国語辞書を積極的に使いましょう。

【参考書】

本やネットで調べて解答する場合があります。

各自で本を探したり、ネットで検索したりしましょう。

【成績評価の方法と基準】

平常点 100 % のうち 60 % 以上で合格です。

平常点の内容は、課題に対しての提出です。全提出が単位の条件です。やむをえず未提出になったら次の課題内にその理由を必ず書いて、未提出分もやってください。

未提出は 3 回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

紙の英字新聞（駅の売店やコンビニで売ってます）。

映画のビデオや DVD, レンタルも利用しましょう。

英語字幕・日本語字幕両方であるならネットで観てもいいでしょう。

【その他の重要事項】

質問などは課題内に書くか、メールでもいいです。

miekamimi@ybb.ne.jp（PC メール）

必ず件名に学科と名前を。

【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency which they acquired in English 1 (reading and listening) and English 2 (speaking and writing).

Learning Objectives:

Thinking "Culture and Society," the students in this class will be able to read English newspapers, watch the movies(in English), and listen to the English music.

Learning activities outside of classroom:

The students should read through English newspapers which they bought, watch the movies in English they selected and listen to the music which is specified. They also should look up English words in a dictionary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy:

The students pass at 60 % of 100 % of normal points.

The content of the normal point is the submission for the assignment.

All submissions are a condition of credit.

I accept up to 3 times of non-submission, but if you do not submit, be sure to write the reason in the next task and do the unsubmitted part.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 英語圏の文化と社会

宮本 三恵子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1 と 2 で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の 4 技能をさらに身に付けることを目的の一つとします。その際、「英語圏の文化と社会」も学ぶための材料として、英字新聞、映画、音楽などが役立つでしょう。春学期で学んだことを基礎にさらに発展させます。

【到達目標】

英字新聞では英語の文章を構文や語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し自分で使えるようにしましょう。英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。脚韻が把握できるようにしましょう。主に英語のプロテストソングを使って文化・社会を学びます。自分の考えを英語で表現したり書いたりできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

英字新聞では春学期でヘッドラインの特徴を学び読み取ることを学んだので、本文の文章により多く触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。映画では春学期と同様、自分で選んだ映画を使って聴き取り力をより高めていきます。映画の背景も調べて文化・社会も学びます。原作もあれば比較などもします。日本語字幕についても考察し、言語の違いなども学びます。音楽は指定された曲を使って聴き取り力をより高め、背景なども調べて文化・社会を学びます。脚韻の理解もいっそう深めます。いろいろな日本語訳を調べて言語の違いなども学びます。これらに関連して Hoppii に課題を出していくので、報告を提出してもらいます。フィードバックとして次の授業で解説をします。提出の中から参考になる解答例を挙げたり、間違えやすい例をあげます。習得できない場合、同じような問題を出してさらに解説するので、身に付くまで頑張ります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。 春学期と同様にオンラインで進みます。
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を復習します。 Hoppii に課題を出します。
第 3 回	映画を観る。	映画についての情報を報告します。 英語や字幕についても。

第 4 回 音楽を聴く。 指定された曲の歌詞を調べて書きます。単語や脚韻なども調べます。
曲は未定です。

第 5 回 英字新聞を読む。 春学期で学んだ headline の特徴を復習し本文も読んでみます。

第 6 回 映画を観る。 映画のあらすじや内容について英語で書いてみます。

第 7 回 音楽を聴く。 曲の背景を調べて当時の社会状況や文化を考察します。

第 8 回 英字新聞を読む。 通信社について学び、2 種類の新聞の記事を比較します。

第 9 回 映画を観る。 シーンを選んで聴き取りの勉強をして字幕についても考察します。

第 10 回 音楽を聴く。 歌詞の日本語訳 2 つ以上を選んで比較し、言語の違いなどを学びます。

第 11 回 英字新聞を読む。 同じニュースで 2 種類以上の英字新聞のヘッドラインを比較します。

第 12 回 映画を観る。 映画のテーマをもとに、英米の文化・社会を考察します。シーンの聴き取りもします。

第 13 回 音楽を聴く。 アーティストについて調べたり、今まで学んだことをまとめ、改めて聴き取りをしてみます。

第 14 回 英字新聞を読む。 同じニュースでヘッドラインの比較および本文も比較します。
ニュースから文化・社会を考察します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各自用意した紙の英字新聞全体をながめて、課題の報告の準備をしてください。
選んだ映画を観て聴き取りしたり、字幕の書き取りなどで課題に備えてください。
指定された曲を聴いて、聴き取りしたり歌詞の書き取りなどで課題に備えてください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

紙の英字新聞を各自用意してもらいます。ネット上の英字新聞も活用します。
映画を選んでおきます。英語字幕・日本語字幕両方でるものを。吹き替え版があるものはいっそう便利。
英和・和英・国語辞書を積極的に使いましょう。

【参考書】

本やネットで調べて解答する場合があります。
各自で本を探したり、ネットで検索したりしましょう。

【成績評価の方法と基準】

平常点 100% のうち 60% 以上で合格です。
平常点の内容は、課題に対しての提出です。全提出が単位の条件です。やむを得ず未提出になったらその理由を次の課題内に必ず書いて、未提出分もやってください。
未提出は 3 回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

紙の英字新聞 (駅の売店やコンビニなどで買えます)。
映画のビデオや DVD, レンタルも利用しましょう。
英語字幕・日本語字幕両方でるならネットで観てもいいでしょう。

【その他の重要事項】

質問などは課題内に書くか、メールでもいいです。

miekamimi@ybb.ne.jp (PC メール)

必ず件名に学科と名前を。

【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency which they acquired in English 1 (reading and listening) and English 2 (speaking and writing).

Learning Objectives:

Thinking "Culture and Society," the students in this class will be able to read English newspapers, watch movies (in English) and listen to English music.

Learning activities outside of classroom:

The students should read through English newspapers which they bought, watch the movies in English they selected and listen to the English music which is specified. They should also look up English words in a dictionary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria/Policy:

The students pass at 60 % of 100 % of normal points.

The content of the normal point is the submission for the assignment.

All submissions are a condition of credit.

I accept up to 3 times of non-submission, but if you do not submit, be sure to write the reason in the next task and do the unsubmitted part.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語でよむ日本文学

大野 ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつきまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまぎれもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。春学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の推薦する作家について英語でプレゼンテーションを行う。

【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をしてもらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った発表を個人で、英語で行う。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方や評価基準について説明し、自己紹介を行う。
2	Soseki	夏目漱石「夢十夜」を読み、漱石について講義する。
3	Akutagawa (1)	芥川龍之介「藪の中」を読む。
4	Akutagawa (2)	引き続き「藪の中」を読み、ディスカッションを行う。
5	Akutagawa (3)	引き続き「藪の中」を読み、芥川について講義する。
6	Kajii (1)	梶井基次郎「檸檬」を読み、ディスカッションを行う。
7	Kajii (2)	引き続き「檸檬」を読み、梶井について講義する。
8	Kafu (1)	永井荷風「牡丹の客」を読み、ディスカッションを行う。
9	Kafu (2)	引き続き「牡丹の客」を読み、荷風について講義する。
10	Tanizaki (1)	谷崎潤一郎「刺青」を読む。
11	Tanizaki (2)	引き続き「刺青」を読み、ディスカッションを行う。
12	Tanizaki (3)	引き続き「刺青」を読み、谷崎について講義する。

13	Presentation	個別プレゼンテーションを行う。
14	Review	講評および学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

発表 40 %、小テスト 30 %、平常点 30 %
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。欠席回数が 4 回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケート未実施。

【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also present about their favorite author to the rest of the class.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40% Presentation, 30% Quiz, 30% Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 英語でよむ日本文学

大野 ロベルト

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつきまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまぎれもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。秋学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の関心ある作家について英語でレポートを仕上げる。

【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をしてもらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った英文レポートを仕上げ、提出する。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方について説明し、前期をふりかえる。
2	Kawabata (1)	川端康成「水月」を読む。
3	Kawabata (2)	引き続き「水月」を読み、ディスカッションを行う。
4	Kawabata (3)	引き続き「水月」を読み、川端について講義する。
5	Dazai (1)	太宰治「メロイクリスマス」を読む。
6	Dazai (2)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、ディスカッションを行う。
7	Dazai (3)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、太宰について講義する。
8	Nakajima (1)	中島敦「名人伝」を読む。
9	Nakajima (2)	引き続き「名人伝」を読み、中島について講義する。
10	Miyazawa (1)	宮沢賢治「なめとこ山の熊」を読む。
11	Miyazawa (2)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、ディスカッションを行う。
12	Miyazawa (3)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、宮沢について講義する。
13	Presentation	各自のレポートの内容についてミニ・プレゼンを行う。

14 Review 講評および学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

レポート 40 %、小テスト 30 %、平常点 30 %

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。欠席回数が 4 回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケート未実施。

【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also write a paper on their favorite author.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40% Paper, 30% Quiz, 30% Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:

- 1) The importance of food in cultures
- 2) Meeting people from different cultures
- 3) Living in different cities

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join "Classroom". Course overview and class policies. Grading system.
2	Technology	Vocabulary for technology. Small group discussion of changes in technology.
3	Technology:	Listening and shadowing with Audio and Script.
4	Technology	Group Presentation about a new technology - BBC News articles.

5	Technology:	Writing: Prepare a paragraph to discuss advantages and disadvantages of a new technology.
6	Culture:	Speaking: "Breaking the Ice" Overcome language barriers. Vocabulary for culture. Group discussion.
7	Culture: Listening	Listening and shadowing with Audio and Script.
8	Culture:	The history and development of English language and culture.
9	Culture: Group discussion	Compare and contrast Japanese culture with English culture. Prepare a paragraph.
10	Beliefs:	Group discussion and Vocabulary related to Beliefs.
11	Beliefs	Listening and shadowing with Audio and Script.
12	Beliefs	Group Discussion of beliefs and superstitions.
13	Presentation	Make a Group Presentation about Clancy of the Overflow
14	TED Talk: Critical Thinking	Watch a TED talk and analyze if the speaker is telling the truth.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Classroom". Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: 6lgrpoo

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2 and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 20%

Classroom Worksheets: 30%

Pair and Group Participation: 20%

Mini-Tests: 15%

On-Line Homework: 15%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

Change of Textbook.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.

A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.

Also, a portable device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:

- 1) The importance of food in cultures
- 2) Meeting people from different cultures
- 3) Living in different cities

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Review and Objectives	Review of semester 1. Ground rules and grading. Objectives. Decide which Units to study
2	The News:	Vocabulary for technology. Small group discussion of where to get news.
3	ThThe News:	Listening and shadowing with Audio and Script.
4	The News	Small Group discussion and activity. Prepare a short News program.
5	The News	Writing: Prepare an essay outline. Describe a photograph (TOEIC Test 1)

6	Ecotourism	Vocabulary for tourism. Group discussion.
7	Ecotourism: Listening	Listening and shadowing with Audio and Script. Form Ballad groups.
8	Ecotourism:	Ecotourism Presentation; Small group activity.
9	Ecotourism.	Writing: Prepare an Introduction paragraph. Ballad preparation.
10	Environment:	Group discussion and Vocabulary related to Environment. BBC Ideas Videos and Worksheet.
11	Environment	Listening and shadowing with Audio and Script.
12	Environment.	Writing. Prepare a conclusion for the essay. Final Practice for Ballad presentation.
13	Presentation	Make a Group Presentation of their group ballad.
14	TED Talk: Ice Bound Wonderlands	Watch a TED talk and complete Worksheet. Additional Ballad presentations. Summary

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 30%

Classroom Worksheets: 20%

Pair and Group Participation: 20%

Mini-Tests: 15%

On-Line Homework: 15%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

Change of Textbook.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.

A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.

Also, a portable device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom”. Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: hrcxp32

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2 and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English in American Culture

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English in American Culture

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

Kregg Johnston

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 1 Embrace stress	Vocabulary and listening development Introduction of Response Journals (RJ)
Week 2	Reading: The stressed-out generation TED talks: How to make stress your friend	Involving the audience Gerund/infinitives
Week 3	Quiz chapter 1 Chapter 2 Media influences	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: Superheroes as role models TED talks: How movies teach manhood	Relative clauses Effect of Media Knowing your audience
Week 5	Quiz chapter 2 Ch 3 Development	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: The economics of happiness TED talks: Global population growth	Describing goals and ambitions Adding points to an explanation Present perfect simple/continuous
Week 7	Quiz chapter 3 Presentation: Favorite fictional character/Wealth distribution in a country	Presentations on Favorite fictional character/Wealth distribution in a country

Week 8	Ch 4 Secrets & lies	Vocabulary and listening development	Speech/Presentation 10%
Week 9	Reading: Lies we need to tell	Collocations	
	TED talks: How to spot a liar	Giving examples	
Week 10	Quiz chapter 4	Modals of deduction & speculation	
	Ch 5 To the edge	Vocabulary and listening development	
Week 11	Reading: Magic man	Time expressions	
	TED talks: How I held my breath for 17 minutes	Stating challenges and successes	
		Explaining technical words	
Week 12	Quiz chapter 5	Vocabulary and listening development	
	Ch 6 Money matters	Collocations	
Week 13	Reading: Giving something back	Listening for main ideas	
	TED talks: Giving away wealth	Phrasal verbs	
		Authenticity	
Week 14	Quiz chapter 6	Presentation: Explain your most significant achievement	
	Presentation: Explaining a significant achievement		

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com
<https://quizlet.com/KreggJ/folders>
<https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/>

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%
Writing 15%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 50%
Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on group discussion and thinking critically

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook
Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%
Writing 15%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 50%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

Kregg Johnston

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 7 Medical frontiers	Vocabulary and listening development
Week 2	Reading: Just press print TED talks: Problem of prosthetic limbs	Modals of probability Signpost language Body movement & gestures
Week 3	Quiz chapter 7 Chapter 8 Life decisions	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: The defining decade TED talks: Why the 30's is not the new 20's	Future perfect/future perfect progressive Listing for opinions Describing milestones
Week 5	Quiz chapter 8 Ch 9 Technology & innovation	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: Drones TED talks: Robots that can fly and cooperate	Clues from context 1st & 2nd conditional Referring to visuals Debating
Week 7	Quiz chapter 9 Presentation: Robotic surgery: for or against	Presentations whether robotic surgery should be allowed
Week 8	Ch 10 Connections	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: The lost art of listening TED talks: 5 ways to listen better	Reported speech Identifying cause & effect Summarizing with acronyms

Week 10	Quiz chapter 10 Ch 11 Life in the slow lane	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Your brain on nature TED talks: Cloudy w/ a chance of joy	Articles & quantifiers Repeating main ideas Showing enthusiasm
Week 12	Quiz chapter 11 Ch 12 Make yourself heard	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Whistle blowers TED talks: Dare to disagree	3rd & mixed conditionals Listen for stressed words Using pauses
Week 14	Quiz chapter 12 Presentation: A vacation spot where people can slow down and enjoy nature	Presentation on a place where people can slow down and enjoy nature

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com
https://quizlet.com/KreggJ/folders
https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%
Writing 15%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 50%
Speech/Presentation 10%
* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on group discussion and thinking critically

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook
Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【Outline (in English)】

Course outline:
This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.
Learning Objectives:
By the end of the course, students should be able to do the followings:
- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.
Grading Criteria:
Homework 10%
Writing 15%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 50%
Speech/Presentation 10%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

**NEW INFORMATION: BECAUSE OF THE COVID-19 SITUATION, OUR CLASSES MIGHT NEED TO BE ONLINE. (Hopefully, the situation will be clearer in April.)

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 13 回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 14 回	Students might be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

【その他の重要事項】

Because of the Covid-19 situation, classes might need to be ONLINE. Please contact me via e-mail (TonyDur2020@gmail.com), at least ONE WEEK BEFORE CLASSES START. We are all novices at 'Online Learning', so we will all probably make some 'mis-steps'. Please PERSEVERE...and keep in touch.

We MIGHT try to arrange some Online video classes/chats...after resolving technical issues. Please make sure that you have an Internet-enabled PC. Also, maybe Docomo, Au, & Sofbank will permit you to have an extra 50GB of access, free. (Please check.)

Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【-】

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

'Just in case' Online Learning might be needed, please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom/FREE 'Romaji' gmail accounts; & please test them WELL, long before we meet.

Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

Robert Durham

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a Fall semester English course for students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

Students will be encouraged to more speedily & smoothly communicate in spoken and written English that will be useful in their futures...and in their careers.

【到達目標】

The goal of this course is to get students to better speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English. Some grammar-correction of assignments/submissions will be necessary. Assignment-revising will also be necessary, during Online Learning.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

**NEW INFORMATION: BECAUSE OF THE COVID-19 STATE OF EMERGENCY, OUR CLASSES WILL BEGIN (ONLINE) FROM Sept. 18th, 2020.*

+Please sign up for a new, free GMAIL address. (For example, if your name is Taro Tanaka, maybe sign up for tarotanaka654@gmail.com)(Please make sure that your teacher will see your gmail name displayed/shown in Romaji [for example, in his 'INBOX', the teacher should see 'Taro Tanaka'.])

+Please e-mail your teacher (using your new gmail address) BEFORE September 11th, 2020, at tonydur2020@gmail.com.

He will e-mail to you information about how to arrange your home study setup. Please reply to teacher e-mail in English...and ALWAYS include information about your First Name; Last Name; School Name; Student Number; Class Day & Period; today's date; and REASON for your e-mail message.

+Because of Covid-19, our classes might have to take place Online. You MUST have a PC or Mac (with working microphone & camera) computer, and a FAST Internet connection. If you don't have those: please IMMEDIATELY set up a fast home computer/fast Net situation. Classes will be done in Realtime AUDIO/VIDEO 'chat'. (We will see check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class.)

+Please set up a quiet study location, where you can study ALONE. Each student must be alone, in a QUIET PLACE, when participating in Online Learning.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	*[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?" [Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	"The Seven W's": (Questions about Who...?/What...?/When...?/Where...?/Why...?/Which...?/ How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".

第 9 回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第 10 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
第 12 回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans.	Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
第 13 回	Online SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2022 semester.	Online speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	"How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans.	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazuke"]; please learn to wake up early, and to arrive in [ONLINE] class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. 本授業の準備学習・復習時間は各 1 時間を標準とします。

+ University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. In addition, some handouts will be distributed to students, via e-mail and/or classroom portals.

+ Every student MUST A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a *FAST* home Wi-Fi connection; and a QUIET private room (where the student can study alone (quietly); and can participate in Online realtime audio/video 'chats'). Also, you MUST get/borrow an English <—> Japanese dictionary (paper or Electronic).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Every student MUST A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a *FAST* home Wi-Fi connection; a new gmail e-mail address; and a QUIET private room (where the student can study alone (quietly); and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

+ Please get/borrow an English <—> Japanese paper/electronic DICTIONARY.

+ Please get and start using NOW: a Day Planner/Daily 'Organizer' ("techo", in Nihongo).

+ Please NOW sign up for a new (free) GMAIL e-mail address (for example: IF your name is Taro Tanaka: sign up for a NEW gmail address such as 'tarotanaka654@gmail.com'). [+Make sure that your name DISPLAYS/shows in 'Romaji'—such as Taro Tanaka.]

【その他の重要事項】

* Please NOW sign up for a new (free) GMAIL e-mail address (for example: IF your name is Taro Tanaka: sign up for a NEW gmail address such as 'tarotanaka654@gmail.com'). Please make 100% sure that the recipient of your messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example).)

You MUST e-mail your teacher (in English), using your new gmail address, before Sept. 9th, 2022, at Tony-Dur2020@gmail.com. Your teacher will then send you information about what you should set up/should do, Online. [EVERY e-mail message that you send to your teacher MUST contain: your First Name; your Family Name; your School name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.]

PLUS: Please participate ACTIVELY in Online classes. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.*

【-】

—

【Outline (in English)】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in spoken and written English.

'Just in case' Online Learning might be needed, please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom/FREE 'Romaji' gmail accounts; & please test them WELL, long before we meet.

Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本——日本は世界からどう見られているか

宇治谷 義英

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"Soil to build new US airbase on Okinawa 'contains remains of war dead' " (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"The Guardian view on the Tokyo Olympics: must the show go on?" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"Banning same-sex marriage is unconstitutional, says Japanese court" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"A Sports Event Shouldn't Be a Superspreader. Cancel the Olympics." (<i>The New York Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"Japan Is Shaken After a Detainee, Wasting Away, Dies Alone in Her Cell" (<i>The New York Times</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"Japan Is Shaken After a Detainee, Wasting Away, Dies Alone in Her Cell" (<i>The New York Times</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"Opinion: Naomi Osaka's silence speaks volumes" (<i>The Washington Post</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"Why Asia, the Pandemic Champion, Remains Miles Away From the Finish Line" (<i>The New York Times</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Why Asia, the Pandemic Champion, Remains Miles Away From the Finish Line" (<i>The New York Times</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL 等）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点 (20%) と試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが、2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本——日本は世界からどう見られているか

宇治谷 義英

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。
(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"Replacing Suga as prime minister will do little to resolve Japan's political crisis" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"In Japan's anime universe, 'Belle' seeks to rewrite script on female power" (<i>The Washington Post</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"Japan's ruling party appoints 'Mr status quo' Fumio Kishida as next leader" (<i>The Financial Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"Back from the brink: how Japan became a surprise Covid success story" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"As Japan's yakuza mob weakens, former gangsters struggle to find a role outside crime" (<i>The Washington Post</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"Japan election: rightwing populists sweep vote in Osaka" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"Last rites rights of condemned around the world" (<i>BBC</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"Last rites rights of condemned around the world" (<i>BBC</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Why it costs 37 cents to make Japan's bullet trains run on time" (<i>The Financial Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

扱う記事の入手方法 (URL 等) は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点 (20%) と試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが、2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English in American Culture

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English in American Culture

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

(BECAUSE OF THE COVID-19 SITUATION, SOME OF OUR CLASSES MIGHT NEED TO BE HELD ONLINE.)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1. How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Preparation & practice, for Exam (topics studied and discussed during the Spring 2022 semester).	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Prep & practice for Speaking exam.
第 13 回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 14 回	Students might be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

* IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

【その他の重要事項】

Because of the Covid-19 SITUATION, some classes might have to be ONLINE.

Please contact me via e-mail (TonyDur2020@gmail.com), at least ONE WEEK before Spring classes begin. We are all novices at 'Online Learning', so we will all probably make some 'mis-steps'. Please PERSEVERE...and keep in touch.

We MIGHT try to arrange some Online video classes/chats...after resolving technical issues. Please make sure that you have an Internet-enabled PC. Also, maybe Docomo, Au, & Softbank will permit you to have an extra 50GB of access, free. (Please check.)

Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

'Just in case' Online Learning might be needed, please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom/FREE 'Romaji' gmail accounts; & please test them WELL, long before we meet.

Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

Students will be encouraged to more speedily & smoothly communicate in spoken and written English that will be useful in their futures...and in their careers.

【到達目標】

The goal of this course is to get students to better speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English. Some grammar-correction of assignments/submissions will be necessary. Assignment-revising will also be necessary, during Online Learning.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

+ Please sign up NOW, for a new, free GMAIL address. (For example, if your name is Taro Tanaka, maybe sign up for tarotanaka654@gmail.com)(Please make sure that your teacher will see your gmail name displayed/shown in Romaji [for example, in his 'INBOX', the teacher should see "Taro Tanaka".])

+Please e-mail your teacher (using your new gmail address) BEFORE September 9th, 2022, at TonyDur2020@gmail.com. He will e-mail to you information about how to arrange your home study setup. Please reply to teacher e-mail in English...and ALWAYS include information about your First Name; Last Name; School Name; Student Number; Class Day & Period; today's date; and REASON for your e-mail message.

+ Because of Covid-19, some of our classes might take place Online. You MUST have a PC or Mac (with working microphone & camera), and a FAST Internet connection. If you don't have those: please IMMEDIATELY set up a fast home computer/fast Net situation. Classes will be done in Realtime AUDIO/VIDEO 'chat'. (We will see check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class.)

+ Please set up a quiet study location, where you can study ALONE. Each student must be alone, in a QUIET PLACE, if participating in Online Learning.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	*[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	"The Seven W's": (Questions about Who...?/What...?/When...?/Where...?/Why...?/Which...?/ How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to answer questions about "the Seven W's".
第 9 回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.

- 第 10 回 Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving. Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
- 第 11 回 What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas. Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
- 第 12 回 Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans. Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
- 第 13 回 Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2022 semester. Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第 14 回 "How was your OhShoGatsu?" + Students might be asked to speak about their Winter Break plans. Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazuke"]; please learn to wake up early, and to arrive in [ONLINE] class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. 本授業の準備学習・復習時間は各 1 時間を標準とします。

+ University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. In addition, some handouts will be distributed to students, via e-mail and/or classroom portals.

+ Every student MUST A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a *FAST* home Wi-Fi connection; and a QUIET private room (where the student can study alone (quietly); and can participate in Online realtime audio/video 'chats'). Also, you MUST get/borrow an English <—> Japanese dictionary (paper or Electronic).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Every student MUST A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a *FAST* home Wi-Fi connection; a new gmail e-mail address; and a QUIET private room (where the student can study alone (quietly); and can participate in Online realtime audio/video 'chats').

+ Please get/borrow an English <—> Japanese paper/electronic DICTIONARY.

+ Please get and start using NOW: a Day Planner/Daily 'Organizer' ("techo", in Nihongo).

+ Please NOW sign up for a new (free) GMAIL e-mail address (for example: IF your name is Taro Tanaka: sign up for a NEW gmail address such as 'tarotanaka654@gmail.com'). [+Make sure that your name DISPLAYS/shows in Romaji—such as 'Taro Tanaka'.]

【その他の重要事項】

* Please NOW sign up for a new (free) GMAIL e-mail address (for example: IF your name is Taro Tanaka: sign up for a NEW gmail address such as 'tarotanaka654@gmail.com'). Please make 100% sure that the recipient of your messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example).)

You MUST e-mail your teacher (in English), using your new gmail address, before Sept. 9th, 2022, at Tony-Dur2020@gmail.com. Your teacher will then send you information about what you should set up/should do, during this Semester. [EVERY e-mail message that you send to your teacher MUST contain: your First Name; your Family Name; your School name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.]

PLUS: Please participate ACTIVELY in Online classes. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【Outline (in English)】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in spoken and written English.

(BECAUSE OF THE COVID-19 SITUATION, SOME OF OUR CLASSES MIGHT NEED TO BE HELD ONLINE.)

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"The Guardian view on lifting lockdown: we need cohesion, not division" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"Brewers furious at 'nanny state' plan to put calorie count on beer in pubs" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"The Guardian view on football's failed super league: hit back hard" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"The Guardian view on declining birthrates: there may be trouble ahead" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"The Guardian view on inflation: the revival that's nothing like the 1970s" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the super-rich: a billion reasons for a wealthy tax" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Being the Queen sure has its ups and downs..." (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点 (20%) と試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが、2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相

宇治谷 義英

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"The Times view on the Covid winter strategy: Familiar Plan" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
3	"Political gestures can be inspiring. But let's not mistake them for victory" (<i>The Guardian</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。

4	"Political gestures can be inspiring. But let's not mistake them for victory" (<i>The Guardian</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"The Times view on the Senate investigation into the social media giant: Two Facedbook" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"The Guardian view on sexual abuse and the Catholic church: contrition is not enough" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"The Times view on social media anonymity: David's Law" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"Why the witch-hunt victims of early modern Britain have come back to haunt us" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"Why the witch-hunt victims of early modern Britain have come back to haunt us" (<i>The Observer</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Last rites rights of condemned around the world" (<i>BBC</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点 (20%) と試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが、2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

ELIKO M KOSAKA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN ニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。

更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- ①各 Unit で使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	①音読と発音の指導 ② CNN Unit 1 ③ Words and Phrases to Study ④ Examples ⑤ Blanks to Fill in ⑥ Reading Comprehension
第 2 回	Unit 1, cont.	① Judgments to Make ② Vocabulary exercise ③ Paragraph writing 指導
第 3 回	Unit 2	①単語テスト ②音読 ③ Paragraph writing workshop ④ Start Unit 2: Words and phrases to study
第 4 回	Unit 2, cont.	① Examples ② Blanks to Fill in ③ Reading Comprehension ④ Vocabulary exercises
第 5 回	Unit 3	① Judgments to Make ② Vocabulary exercises ③ Paragraph writing exercise ④ Start Unit 3 Words and phrases to study

第 6 回 Unit 3, cont.
目

第 7 回 中間試験

第 8 回 Unit 4

目

第 9 回 Unit 4, cont.

目

第 10 回 Unit 5

目

第 11 回 Unit 5, cont.

目

第 12 回 Unit 6

目

第 13 回 Unit 6, cont.

目

第 14 回 期末試験

目

- ①単語テスト
 - ②音読
 - ③ Examples
 - ④ Blanks to Fill in
 - ⑤ Reading Comprehension
 - ⑥ Paragraph writing workshop
- まとめと解説

- ① Start Unit 2: Words and phrases to study
 - ② Examples
 - ③ Blanks to Fill in
 - ④ Reading Comprehension
 - ① Vocabulary exercises
 - ② Paragraph writing exercise
 - ③ Judgments to make
 - ①音読
 - ②単語テスト
 - ③ Paragraph writing workshop
 - ④ Start Unit 5: Word and phrases to study
 - ① Examples
 - ② Blanks to Fill in
 - ③ Reading Comprehension
 - ④ Vocabulary exercises
 - ⑤ Judgments to make
 - ① Start Unit 6: Word and phrases to study
 - ② Examples
 - ③ Blanks to Fill in
 - ④ Reading Comprehension
 - ①音読
 - ②単語テスト
 - ③ Vocabulary exercises
 - ④ Judgments to make
 - ⑤ Paragraph writing exercise
- まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース 2 3』English for the Global Age with CNN, Vol 23.

著者関西大学 CNN 英語研究会

出版者：朝日出版社

出版年 2022 年

価格：1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加 20%、中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%

Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

ELIKO M KOSAKA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN ニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。

更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

ディプロマポリシー

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

①各 Unit で使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。

②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。

③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。

④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。

⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	CNN Unit 7	① Words and Phrases to Study
目		② Examples
		③ Blanks to Fill in
		④ Reading Comprehension
第 2 回	Unit 7, cont.	① Judgments to Make
目		② Vocabulary exercise
		③ Paragraph writing exercise
第 3 回	Unit 8	① 単語テスト
目		② 音読
		③ Paragraph writing workshop
		④ Start Unit 8: Words and phrases to study
第 4 回	Unit 8, cont.	① Examples
目		② Blanks to Fill in
		③ Reading Comprehension
		④ Vocabulary exercises
第 5 回	Unit 9	① Judgments to Make
目		② Vocabulary exercises
		③ Paragraph writing exercise
		④ Start Unit 9 Words and phrases to study

第 6 回 Unit 9, cont. 目	① 単語テスト ② 音読 ③ Examples ④ Blanks to Fill in ⑤ Reading Comprehension ⑥ Paragraph writing workshop まとめと解説
第 7 回 中間試験 目	
第 8 回 Unit 10 目	① Start Unit 10: Words and phrases to study ② Examples ③ Blanks to Fill in ④ Reading Comprehension
第 9 回 Unit 10, cont. 目	① Vocabulary exercises ② Paragraph writing exercise ③ Judgements to make
第 10 回 Unit 11 目	① 音読 ② 単語テスト ③ Paragraph writing workshop ④ Start Unit 11: Word and phrases to study
第 11 回 Unit 11, cont. 目	① Examples ② Blanks to Fill in ③ Reading Comprehension ④ Vocabulary exercises ⑤ Judgements to make
第 12 回 Unit 12 目	① Start Unit 12: Word and phrases to study ② Examples ③ Blanks to Fill in ④ Reading Comprehension
第 13 回 Unit 12, cont. 目	① 音読 ② 単語テスト ③ Vocabulary exercises ④ Judgements to make ⑤ Paragraph writing exercise
第 14 回 期末試験 目	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース 23』English for the Global Age with CNN, Vol 23.

著者関西大学 CNN 英語研究会

出版者：朝日出版社

出版年 2022 年

価格：1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加 20%、中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%

Active participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Outline in English: Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Active Participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA	
English 3 I	2017 年度以降入学者
サブタイトル：Global Issues	
岩下 弘史	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：金 5/Fri.5
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これから 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 授業は基本的には以下の手順で進めます。
- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
 - ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）
 - ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント（場合によってはスピーキング）
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	Unit1-1	Unit1 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
3	Unit1-2	Unit1 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
4	Unit2-1	Unit2 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
5	Unit2-2	Unit2 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
6	Unit3-1	Unit3 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）

7	Unit3-2	Unit3 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
8	Unit4-1	Unit4 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
9	Unit4-2	Unit4 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
10	Unit5-1	Unit5 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
11	Unit5-2	Unit5 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
12	Unit6-1	Unit6 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
13	Unit6-2	Unit6 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト（教科書）】

『15 章版：ニュースメディアの英語—演習と解説 2022 年度版—』（朝日出版社、2022 年）

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）
他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）35%
期末試験 65%
公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Global Issues

岩下 弘史

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これから 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
 - ・読解解説 (指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です)
 - ・読んだテキストのリスニング (ディクテーション含む)
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント (場合によってはスピーキング)
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	Unit7-1	Unit7 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
3	Unit7-2	Unit7 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
4	Unit8-1	Unit8 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
5	Unit8-2	Unit8 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
6	Unit9-1	Unit9 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)

7	Unit9-2	Unit9 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
8	Unit10-1	Unit10 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
9	Unit10-2	Unit10 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
10	Unit11-1	Unit11 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
11	Unit11-2	Unit11 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
12	Unit12-1	Unit12 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
13	Unit12-2	Unit12 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
14	まとめ (期末試験)	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト (教科書)】

『15 章版: ニュースメディアの英語—演習と解説 2022 年度版—』(朝日出版社、2022 年)

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」(大修館)
他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です (初回の授業で説明します)。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など) 35%
期末試験 65%
公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Exploring the world's current affairs through critical issues

ウォルター・カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To expand on skills gained in English 1 or 2

【到達目標】

Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Reading skills- skimming, scanning, and summarizing

Writing- structuring paragraphs

Speaking- giving speeches and presentations

Listening- listening for gist and details

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
community I	Community values Teaching tips I	Examining social values for societies. Exploring cultural bonds. class activities
community II	Unwritten Community rules Teaching tips II	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts. time flow, use of variety
Community III	Why some communities collapse teaching tips 3	Discussion of taboos and social misdeeds
responsibility I	Tourism barbs and unintended consequences	Discuss tourism negatives and positive outcomes
Responsibility II	Value brought by tourism	Tourism effects on our lives in both positive and negative ways.
Responsibility III	Rise of ecotourism and fair trade	Tourist initiatives to improve local lifestyles
World heritage I	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
World heritage II	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history

World heritage III	Zoning and how it affects heritage buildings	Zoning code- the balance between modern life and showing our historical roots
Engineers food I	Science and side effects	Science and its end goals and how they might ruin our health
Engineers food II	Health influences of diet	Researching food sources and why variety is important
Engineers food III	Benefits of science engineered food	How radiation and mutations shape our diet
Summary	summary of course themes	Discuss various course themes

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Prepare for teaching lessons by submitting lesson plan 1 week before.

Review reading for further discussion.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Issues that matter - Kinseido

ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/a

【成績評価の方法と基準】

Class participation 33%

Teaching 34%

Homework 33%

In principle, no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Additional time given for take home quizzes.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, writing instrument, paper

【その他の重要事項】

Blog work

【Outline (in English)】

Students will improve their English in 4 skill areas (writing, reading, listening, and speaking).

Students will particularly focus on discussions and short essay writing.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Continuing to explore the world's current affairs through critical issues

ウォルター・カズマー

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To expand on skills gained in English 1 or 2

【到達目標】

Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Reading skills- skimming, scanning, and summarizing

Writing- structuring paragraphs

Speaking- giving speeches and presentations

Listening- listening for gist and details

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food	Food and politics	How do we combat global food changes? class activities
Food II	Food and politics	Positives and negatives of climate change with food time flow, use of variety
Recycling	Recycling	Recycling- reducing waste class work vs. homework
recycling	recycling	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
II	government regulation	
waste	waste and its effects on society	Look at how inequalities affect waste
in-		
equal-		
ity		
whistle	Blowing whistles	whistle blowing vs leaking
blow-		
ing		
Whistle	Government security	Look at government security and other related problems
blow-		
ing		
II		
Protestin	Looking at protests and effects on society	Social issues with government and laws
g		
II	Are all protests the same?	Explore types of protests
Breaking	Handling legal issues	Where do laws come from?
the law		
I		

BreakingChanging laws the law Discuss which is better: protesting or suing

II

Fake Dealing with fake Handling media
newsI information

SummarySummary of course Discussion of course themes
themes

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Review reading for further discussion

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Issues that matter - Kinseido

ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/a

【成績評価の方法と基準】

Class participation 10%

review quiz 45%

Homework 45%

In principle, no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Allow more time for take home quizzes to be completed.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, paper, writing instrument

【その他の重要事項】

Blog work

【Outline (in English)】

Students will improve discussion and short essay writing skills.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students' listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

【到達目標】

The goals of the course are for students:

1. To learn and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
2. To deepen knowledge of vocabulary and common expressions
3. To develop speaking skills and practice new expressions through output activities
4. To learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5. To learn how to express effectively through writing activities and assignments
6. To become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

The instructor would like to create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students can express their opinions and try to understand others' viewpoints without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. Students are expected to listen to others and interact with others actively in group discussions. While presenting their topics, students should use audio-visual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback to in-class discussions. Students will receive a graded presentation rubric for presentations and essays with the instructor's written comments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction/Unit 1: Making a Difference	Course orientation, Icebreaking, Unit 1: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 1: Making a Difference	Reading: “Food Rescue Mission,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions

Lesson 3	Unit 1: Making a Difference	TED Talk: “A Life Lesson from a Volunteer Firefighter,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 4	Unit 3: Improving Lives	Unit 3: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 3: Improving Lives	Reading: “The challenge of Alzheimer's,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 6	Unit 3: Improving Lives	TED Talk: “My Simple Invention Designed to Keep My Grandfather Safe,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 7	Presentation Task 1	Presentation Task 1
Lesson 8	Unit 5: Community Builders	Unit 5: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 5: Community Builders	Reading: “Barefoot College,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 10	Unit 5: Community Builders	TED Talk: “How Painting Can Transform Communities,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 11	Unit 6: Clear Communication	Unit 6: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 6: Clear Communication	Reading: “Communication in the Digital Age,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 13	Unit 6: Clear Communication	TED Talk: “Talk Nerdy to Me,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 14	Presentation Task 2/Final Task	Presentation Task 2/Final Task

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Cengage's Keynote book 3
Title: Keynote 3 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96505-8
Price: ¥ 3,060

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Homework and quizzes: 40% (10 homework assignments: 4%, including 4 vocabulary quizzes, 4 response sheets, 2 extra assignments)

Presentations and a Final Task: 40% (Group presentation: 10%, Individual presentation: 15%, Final Task: 15%)

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students' listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students' listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

【到達目標】

The goals of the course are for students:

1. To learn and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
2. To deepen knowledge of vocabulary and common expressions
3. To develop speaking skills and practice new expressions through output activities
4. To learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5. To learn how to express effectively through writing activities and assignments
6. To become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

The instructor would like to create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students can express their opinions and try to understand others' viewpoints without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. Students are expected to listen to others and interact with others actively in group discussions. While presenting their topics, students should use audio-visual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback to in-class discussions. Students will receive a graded presentation rubric for presentations and essays with the instructor's written comments.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction/Unit 7: Identity	Course orientation, Icebreaking, Unit 7: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 7: Identity	Reading: “Global Migration,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 3	Unit 7: Identity	TED Talk: “Where is home,” Group discussion based on the given response sheet.

Lesson 4	Unit 9: New Words	Unit 9: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 9: New Words	Reading: “Language Change,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 6	Unit 9: New Words	TED Talk: “What Makes a Word ‘Real’?” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 7	Presentation Task 1	Presentation Task 1
Lesson 8	Unit 10: Understanding Emotions	Unit 10: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 10: Understanding Emotions	Reading: “Emotion in Technology,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 10	Unit 10: Understanding Emotions	TED Talk: “This App Knows How You Feel,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 11	Unit 12: Well-being	Unit 12: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 12: Well-being	Reading: “Achieving Work-life Balance,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 13	Unit 12: Well-being	TED Talk: “How to Succeed? Get More Sleep,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 14	Presentation Task 2/Final Task	Presentation Task 2/Final Task

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Cengage’s Keynote book 3
Title: Keynote 3 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96505-8
Price: ¥ 3,060

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Homework and quizzes: 40% (10 homework assignments: 4%, including 4 vocabulary quizzes, 4 response sheets, 2 extra assignments)

Presentations and a Final Task: 40% (Group presentation: 10%, Individual presentation: 15%, Final Task: 15%)

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students’ listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: アメリカ社会

本間 章郎

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1: What's for Lunch?: In Japanese Schools	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1: What's for Lunch?: In Japanese Schools	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	読解及び問題演習

第 6 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

CBS NewsBreak 3 (CBS ニュースブレイク 3)
熊井信弘他著 成美堂 2017 年 2400 円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はコロナ対策のため、対面による発表の相互評価などに十分な時間が取れなかったのが残念です。今年度はコロナの感染状況を踏まえて、可能であれば、実施したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	読解及び問題演習

第 6 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 3 (CBS ニュースブレイク 3)

熊井信弘他著 成美堂 2017 年 2400 円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はコロナ対策のため、対面による発表の相互評価などに十分な時間が取れなかったのが残念です。今年度はコロナの感染状況を踏まえて、可能であれば、実施したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA			5	Unit 2: Fragile Forests	Writing assignment feedback will be provided to the students in group work. They will start reading the supplemental article prepared and provided by the teacher.
English 3 I					
サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I					
GENC BURCU			6	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	First group will deliver their presentations. Following this, the supplemental article distributed in the previous class will be explored in more depth.
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 4/Fri.4					
単位数：1 単位					
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on socioeconomic and popular science content widely discussed in the English speaking world.			7	Group Presentations Unit 3: Bright ideas	In the remaining time, students will start the discussion of unit 3 ideas. Second group will deliver their presentations. This will be followed by an analytical reading and discussion of the unit's reading passage.
【到達目標】					
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide them with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.			8	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	There will be an emphasis on the key vocabulary. Last group will deliver their presentations. Following this, listening content of the unit will be watched to practice note-taking and answer the questions.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3					
【授業の進め方と方法】					
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually conducted in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.			9	Unit 3: Bright Ideas	An additional reading material similar to the unit topic will be provided to the students by the teacher. A supplemental reading article will be distributed to the students as an assignment. Additional reading article will be explored in depth with an emphasis on key vocabulary in this class.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり / Yes			10	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion.
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.	11	Unit 5: Engaging Learners	Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.
2	Unit 2: Fragile Forests	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.	12	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a short revision of the reading passage to warm up to the writing assignment. Then, they will be provided with the necessary instructions.
3	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.			They will also practice some in-class writing.
4	Unit 2: Fragile Forests	Listening exercises will be completed and a writing assignment will be given to students.	13	Unit 5: Engaging Learners	Listening exercises will be completed by practicing note-taking method, which is followed by a group discussion. Writing feedback will be provided by group work. The teacher will take an active role by joining the groups and covering some important points on the board.

14 Final Exam Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840

Additional articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor.

【学生が準備すべき機器他】

No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science topics which hold importance in the English speaking world.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: English Speaking World: From Science to Business II

GENC BURCU

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is the second part of the course, “English Speaking World: From Science to Business” aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on popular science and business related content widely discussed in the English speaking world.

【到達目標】

In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	introductions & class guidelines.
2	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 6: Food for Life Food Revolution	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.

5	Unit 6: Food for Life Food Businesses and Social Media	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. This will be followed by a writing assignment instructions on the topic.	13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Students will work in groups to improve their writings. The teacher will take an active role and join the groups. This will be followed by a general discussion on some important points.
6	Group Presentations Unit 7: Body Signs Power Poses and Leadership	First group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a group work on the main ideas of unit 7 and reading of the unit's passage.			Finally, some significant topics will be revised before the final exam. The teacher will provide handouts.
7	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication in Business Context	Second group of presenters will deliver their presentations. Reading questions will be answered, and listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups.	14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted
8	Group Presentations Unit 7: Body Signs	Last group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a feedback session conducted in groups. The teacher will take an active role and join each group for discussion, which will be followed by general class discussion on important points shared on the board. The teacher will distribute a supplemental article on a relevant topic as an assignment.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840 Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://www.theguardian.com/international https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 20% Group Presentation: 30% Writing assignments: 10% Final Exam: 40% More than 3 absences will result in automatic failure of the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science concerns of the English speaking world.		
9	Unit 7: Body Signs Branding Strategies and Language	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. They will work in groups.			
10	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.			
11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	Students will explore the reading passage in depth with an emphasis on key vocabulary. This will be followed by an in-class writing task on a relevant topic. In this way, students will both practice writing their ideas in an organized way but also expand their ideas on the main topic.			
12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	Listening exercises of the unit will be completed by practicing note-taking in groups. This will be followed by a class discussion on the topic as well as the answers. Additional speaking questions will be provided to encourage students.			

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.

13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

This class will be conducted online. All scheduled classes will be held on Zoom. Assignments will be conducted mostly through Google Classrooms. Details will be posted on the HOPPII class management system in due course.

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.

Japan Times.

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

アメリカにおけるフードロス、eSports による心身への影響、ボトル入り飲料水の安全性などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit2 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit2 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ 1)
8	テキスト Unit5 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit5 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit6 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit6 後半	リーディング、ライティング

12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ 2)
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させうえて、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト (教科書)】

CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ¥2,400 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (あるいはレポート) の成績 (40%)、プレゼンテーション (20%)、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

気候変動、ジェンダー、観光公害、日本企業の販売戦略などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit7 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit7 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit8 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit8 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキスト Unit11 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit11 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit12 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit12 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習

13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させうえて、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ¥2,400 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能: 読み、聴き、話し、書く-を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

[授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。]

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

【第一部】

第 2 週 Topic: Interdisciplinary

第 5 週 Topic: Business/ Leadership

第 8 週 Topic: Life Science

第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

【第二部】

第 3 週: TED TALK by Matt Cutts: Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第 6 週: TED TALK by Tom Wujec: Build a Tower

[https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?](https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja)

language=ja

第 9 週: TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第 12 週: TED TALK by Jessi Arrington: Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第三部】: 各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic: Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Review Unit 1	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 2: Team Power	Topic: Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...etc.
第 7 週	Review Unit 2	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills: Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Review Unit 3	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Topic: Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process

第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet** に記入しておく。

復習： **checksheet** に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期同様に本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能: 読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること

・複雑な構文や語句を理解すること
 ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること

・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
 ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること

・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

【授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。】

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

【第一部】第 2 週 Topic: Architecture and Design 第 5 週 Topic: Conservation/ Engineering 第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology 第 11 週 Topic: Technology/ Robotics [第二部] 第 3 週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第 6 週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第 9 週: TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/cindy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

第 12 週: TED TALK by Cynthia Breazeal: The Rise of Personal Robots https://www.ted.com/talks/cynthia_breazeal_the_rise_of_personal_robots?language=ja [第三部]: 各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	Topic: Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas, summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	Topic: Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第 7 週	Unit 7: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 9: Community Voices	Topic: Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第 10 週	Unit 9: REview	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第 12 週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第 13 週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第 14 週	期末テスト	presentation test presentation script 回収

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

準備学習: 学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
 復習: checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題: 授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。春学期は、英字新聞の記事を中心に扱い、英語で書かれたニュースについて自分の意見をまとめ、他者に伝えられるようになることを目指します。

【到達目標】

1. 英語で書かれた新聞記事の概要を理解できるようになる
2. 英語で書かれた新聞記事を読み、要点を英語で説明できるようになる
3. 英語で書かれた新聞記事を読み、現代社会の諸問題について自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は、英語で書かれたニュースの記事を使って、英字新聞の特徴や読み方を学びます。また、自分で選んだニュースの記事を題材に、現代社会のさまざまなトピックについて考えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Getting to know your newspaper (1)	世界の英字新聞を知る
3	Getting to know your newspaper (2)	英字新聞を読む
4	The structure of a newspaper (1)	英字新聞の構成を調べる
5	The structure of a newspaper (2)	ニュースのカテゴリを調べる
6	News story structure (1)	新聞記事の情報を整理する
7	News story structure (2)	新聞記事を要約する
8	Headlines (1)	Headline とは何か
9	Headlines (2)	Headline の規則を知る
10	Headlines (3)	Headline に使われる略語を調べる
11	What make a story news? (1)	何がニュースになるのか
12	What make a story news? (2)	新聞記事を分析する
13	Writing a news story (1)	ニュース記事を書いてみる
14	Writing a news story (2)	ニュース記事を編集する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間程度を目安とします。授業内容に即した課題を出します。指示に従って取り組んでください。詳細は、初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点（小テスト、課題、授業への参加態度など） 30%
- 学期末課題 70%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

定期的に英字新聞を読むため、読解力がついたという声が寄せられました。また、ニュースを見たり聞いたりする機会が増えたことで、社会問題についての関心が高まったという声も聞かれます。

【Outline (in English)】**(Course outline)**

This course introduces various international cultural and social issues. The course will encourage students to consider their own culture and society within an international context, and obtain new perspectives about current issues. In the Spring Semester, students are encouraged to become familiar with reading English newspaper articles. Students will review and discuss an overview of English-language media via authentic materials. Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.

(Learning Objectives)

Students will be able to:

- read English newspaper articles and understand the main points
- summarize the outlines of newspaper articles
- logically express their opinion about an issue in English

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to make a short note on a passage for the next class. The preparation and review for the class will take about 1-2 hours every week. Detailed information will be given during the first lesson.

(Grading Criteria /Policy)

Grading will be decided based on:

- Quizzes, weekly assignments, participation (30%)
- Final Exam (70%)

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

川 澄 亜 岐 子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。秋学期は、春学期に学んだ内容に基づいて、英語系メディアについて広く学びます。無意識に持っている偏見 (bias) や偽ニュース (Fake news) についても考え、ものごとに対する批判的な思考力を養うことを目指します。

【到達目標】

1. ニュース番組形式の短い英語の映像を見て、内容を理解することができる
2. 英語系のニュースメディアについて、それぞれの特徴を理解する
3. 英語で書かれた新聞記事を批判的に検討し、自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は、英字新聞の特徴や読み方を学びます。また、英字新聞の記事を題材に、現代社会のさまざまなトピックについて考えていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	News Point	新聞記事の「時間」について分析する
3	Media bias (1)	バイアスとは何か?
4	Media bias (2)	新聞記事に見るバイアス: 写真の場合
5	Media bias (3)	新聞記事に見るバイアス: 文字テキストの場合
6	Opinion articles (1)	社説や読者投稿欄の記事を読む
7	Opinion articles (2)	社会的な問題について自分の意見を考える
8	Opinion articles (3)	社説の記事を分析する
9	Electronic media (1)	さまざまなメディアの特性を知る
10	Electronic media (2)	さまざまなメディアのニュース記事を分析する
11	Journalist's job (1)	ジャーナリズムの仕事について知る
12	Journalist's job (2)	ジャーナリストの仕事に関するテキストを鑑賞する
13	Journalist's job (3)	ジャーナリストの仕事について話し合う
14	Writing an opinion article	社会問題について自分の意見を書く

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間程度を目安とします。授業内容に即した課題を出します。指示に従って取り組んでください。詳細は、初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点（小テスト、課題、授業への参加態度など） 30%
- 学期末課題 70%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は、英字新聞に加えて、映画などジャーナリズムやメディアに関するテキストを広く取りあげたことが好評でした。また、授業中の課題についてグループやペアで取り組むため、自分と違う意見を知ることで学びの幅が広がったという声もありました。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course introduces various cultural and social issues of the English speaking world. The course will encourage students to consider their own culture and society within an international context, and obtain new perspectives about current issues. Students are encouraged to critically analyze newspaper articles. Internet sources, broadcast media, and magazines will be reviewed during the Autumn Semester. Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.

(Learning Objectives)

Students will be able to:

- watch English news program and understand the main points
- understand the characteristics of English news media
- logically express their opinion about an issue in English

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to make a short note on a passage for the next class. The preparation and review for the class will take about 1-2 hours every week. Detailed information will be given during the first lesson.

(Grading Criteria /Policy)

Grading will be decided based on:

- Quizzes, weekly assignments, participation (30%)
- Final Exam (70%)

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、ディスカッションを行う。偶数回ごとにリアクションペーパーを提出してもらう。授業は Zoom を通じて行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Unit 1	『スリー・ビルボード』
2	Unit 1	『スリー・ビルボード』 続き
3	Unit 2	『ムーンライト』
4	Unit 2	『ムーンライト』 続き
5	Unit 3	『ドリーム』
6	Unit 3	『ドリーム』 続き
7	Unit 4	『それでも夜は明ける』
8	Unit 4	『それでも夜は明ける』 続き
9	Unit 5	『ブルックリン』
10	Unit 5	『ブルックリン』 続き
11	Unit 6	『グラン・トリノ』
12	Unit 6	『グラン・トリノ』 続き
13	Unit 7	『扉をたたく人』
14	Unit 7	『扉をたたく人』

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に Reading の文章を読み、訳してこること。また、テキストの演習問題を解いてこること。

【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies
(映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %

リアクションペーパー 15 %

最終レポート 70 %

4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生間のディスカッションの時間を充分に取る。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.

-Improve listening comprehension.

-Enrich your vocabulary.

-Learn about art, culture and social problems.

-Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (15%), term-end report (70%), and in-class contribution (15%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、ディスカッションを行う。偶数回ごとにリアクションペーパーを提出してもらう。授業は Zoom を通じて行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』
2	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』 続き
3	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』
4	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』 続き
5	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』
6	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』 続き
7	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』
8	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』 続き
9	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』
10	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』 続き
11	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』
12	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』 続き
13	Unit 15	『シンドラーのリスト』
14	Unit 15	『シンドラーのリスト』 続き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に Reading の文章を読み、訳してくる。テキストの演習問題を解いてくる。

【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies
(映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15%

リアクションペーパー 15%

最終レポート 70%

4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生間のディスカッションの時間を充分に取る。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.

-Improve listening comprehension.

-Enrich your vocabulary.

-Learn about art, culture and social problems.

-Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (15%), term-end report (70%), and in-class contribution (15%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界から見た日本

岩下 弘史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これら 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に日本について書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに関してのコメント
 - ・読解解説（指名して英文を音読し訳読してもらうので予習が必要です）
 - ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント（場合によってはスピーキング）
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	日本の英語教育についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
3	日本の英語教育についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
4	日本のコロナ対策についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）

5	日本のコロナ対策についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
6	東京五輪についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
7	東京五輪についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
8	日本のポップカルチャーについてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
9	日本のポップカルチャーについてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
10	日本経済についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
11	日本経済についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
12	日本の外交政策についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
13	日本の外交政策についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト（教科書）】

日本に関連するニュース記事を配布しますので、教科書はありません。

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）

他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）35%

期末試験 65%

公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand Japan through reading some English news on it. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about it.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界から見た日本

岩下 弘史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これら 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に日本について書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 授業は基本的には以下の手順で進めます。
- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
 - ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）
 - ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント（場合によってはスピーキング）
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	『鬼滅の刃』についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
3	『鬼滅の刃』についてのニュース②	ニュース前後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
4	福島原発についてのニュース①	Unit8 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
5	福島原発についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）

6	日本の社会問題についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
7	日本の社会問題についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
8	日本のエネルギー問題についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
9	日本のエネルギー問題についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
10	天皇家に関するニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
11	天皇家に関するニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
12	村上春樹についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
13	村上春樹についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト（教科書）】

日本に関連するニュース記事を配布しますので、教科書はありません。

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）
他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）35%
期末試験 65%
公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand Japan through reading some English news on it. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about it.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本で働く人々から見える社会と課題

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Sales Can Be Like Acting	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
3	Unit 2: Travel Opens Up the World	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
4	Unit 3: Love Sells Cars	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
5	Unit 4: Translating Is More than Words	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing

6	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
7	Unit 6: Toast Your Success!	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
8	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
9	Writing Summaries 1	Reading & Writing
10	Writing Summaries 2	Feedback & Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Presentation	Presentation
14	Presentation / Final Exam	Presentation / Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Gordenker, Alice, & Rucynski, John (2015). Working in Japan. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-248-2 (¥2550 + 税)
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria:
Active Participation (15%); Homework Assignments (35%); Presentation (20%); Final Assignments/Exam (30%)
遅刻は 30 分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻 3 回で 1 回の欠席になります）。
4 回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

NA

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。
必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。
課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。
様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など - 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本で働く人々から見える社会と課題

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write summaries and essays in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Build a Happy Life!	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
3	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
4	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
5	Unit 11: Connect Workers with Companies	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing

6	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
7	Unit 13: What's the Recipe for Success?	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
8	Unit 14: Help Animals for a Better Society	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
9	Writing Essays 1	Reading & Writing
10	Writing Essays 2	Feedback & Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Presentation	Presentation
14	Presentation / Final Exam	Presentation / Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Gordenker, Alice & Rucynski, John (2015). Working in Japan. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-248-2 (¥2550 + 税)
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria:

Active Participation (15%); Homework Assignments (35%); Presentation (20%); Final Assignments/Exam (30%)

遅刻は 30 分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻 3 回で 1 回の欠席になります）。

4 回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

NA

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。
課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Tips for the Quiz Quiz Song lesson
			14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity
8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete a writing assignment every week in preparation for discussion. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course 【テキスト（教科書）】 There is no textbook. Handouts will be given in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 40% Quizzes, writing assignments, presentations: 60% Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course. Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable		
9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.			

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline (in English)】

This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.	11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.	12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
			13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
			14	Big quiz	Quiz Games Puzzle
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are given a writing assignment almost every week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course 【テキスト（教科書）】 There is no textbook. Handouts will be given in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 40% Quizzes, writing assignments, presentations:60% Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course. Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【学生が準備すべき機器他】 Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary. 【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.		
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.			
9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.			

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on socioeconomic and popular science content widely discussed in the English speaking world.

【到達目標】

In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide them with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually conducted in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 2: Fragile Forests	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 2: Fragile Forests	Listening exercises will be completed and a writing assignment will be given to students.

5	Unit 2: Fragile Forests	Writing assignment feedback will be provided to the students in group work. They will start reading the supplemental article prepared and provided by the teacher.	14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted
6	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	First group will deliver their presentations. Following this, the supplemental article distributed in the previous class will be explored in more depth. In the remaining time, students will start the discussion of unit 3 ideas.			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
7	Group Presentations Unit 3: Bright ideas	Second group will deliver their presentations. This will be followed by an analytical reading and discussion of the unit's reading passage. There will be an emphasis on the key vocabulary.			【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840 Additional articles will also be provided by the instructor in class.
8	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	Last group will deliver their presentations. Following this, listening content of the unit will be watched to practice note-taking and answer the questions. An additional reading material similar to the unit topic will be provided to the students by the teacher. A supplemental reading article will be distributed to the students as an assignment.			【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/
9	Unit 3: Bright Ideas	Additional reading article will be explored in depth with an emphasis on key vocabulary in this class.			【成績評価の方法と基準】 Class participation: 20% Group Presentation: 30% Writing assignments: 10% Final Exam: 40% More than 3 absences will result in automatic failure of the course.
10	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion.			【学生の意見等からの気づき】 Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor.
11	Unit 5: Engaging Learners	Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.			【学生が準備すべき機器他】 No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.
12	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a short revision of the reading passage to warm up to the writing assignment. Then, they will be provided with the necessary instructions. They will also practice some in-class writing.			【Outline (in English)】 In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science topics which hold importance in the English speaking world.
13	Unit 5: Engaging Learners	Listening exercises will be completed by practicing note-taking method, which is followed by a group discussion. Writing feedback will be provided by group work. The teacher will take an active role by joining the groups and covering some important points on the board.			

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is the second part of the course, “English Speaking World: From Science to Business” aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on popular science and business related content widely discussed in the English speaking world.

【到達目標】

In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	introductions & class guidelines.
2	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 6: Food for Life Food Revolution	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.

5	Unit 6: Food for Life Food Businesses and Social Media	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. This will be followed by a writing assignment instructions on the topic. First group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a group work on the main ideas of unit 7 and reading of the unit's passage. Second group of presenters will deliver their presentations. Reading questions will be answered, and listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Last group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a feedback session conducted in groups. The teacher will take an active role and join each group for discussion, which will be followed by general class discussion on important points shared on the board. The teacher will distribute a supplemental article on a relevant topic as an assignment. Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. They will work in groups. To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article. Students will explore the reading passage in depth with an emphasis on key vocabulary. This will be followed by an in-class writing task on a relevant topic. In this way, students will both practice writing their ideas in an organized way but also expand their ideas on the main topic. Listening exercises of the unit will be completed by practicing note-taking in groups. This will be followed by a class discussion on the topic as well as the answers. Additional speaking questions will be provided to encourage students.
6	Group Presentations Unit 7: Body Signs Power Poses and Leadership	
7	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication in Business Context	
8	Group Presentations Unit 7: Body Signs	
9	Unit 7: Body Signs Branding Strategies and Language	
10	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	
11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	
12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	

13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Students will work in groups to improve their writings. The teacher will take an active role and join the groups. This will be followed by a general discussion on some important points. Finally, some significant topics will be revised before the final exam. The teacher will provide handouts.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://www.theguardian.com/international>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World

DANIEL G DUSZA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3I builds upon skills, and knowledge gained earlier in English 1 and 2. This course aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on various topics in English. Students will learn about aspects of culture and society and their influence on and from Japan. Students will become confident in exchanging ideas and opinions while building their communication skills in various modern settings (i.e. physical/virtual, synchronous/asynchronous, and through various media).

【到達目標】

Students will read, write, hear, and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. Authentic materials will be sourced to give students a broader understanding of English used around the world.

Specific student goals are:

1. To learn and apply strategic listening skills to aid comprehension and communication
2. To connect existing vocabulary and ideas to similar genre-specific language to develop pragmatic awareness (i.e., how and when to use appropriate language)
3. To develop speaking and writing skills and practice new pragmatically appropriate expressions through output activities
4. To learn how to apply knowledge to further research using skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5. To learn how to express opinions effectively through writing activities and assignments
6. To become better independent language learners through reflection and keeping an online learning journal

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

This course is a flipped hybrid class, which requires students to collaborate in small projects outside of class and then bring their knowledge to share in with their peers. This arrangement of learning and sharing information means students need to consider the physical and emotional safety in the learning environment. Before each class, students will use various media to prepare for participation in tasks and problem-solving activities and discussions in class. Occasionally, lessons will include formal instruction to direct learning, where communicative activities did not achieve the desired outcome. Students will develop their four English skills, communicative competence, and intercultural awareness of Japan globally. Students will display their self-improvement through graded reflective writing and journaling. In addition, students will complete two graded assignments based on their areas of interest and communicate them using their choice of medium (E.g., video, vlog/blog, presentation, written, or spoken).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction Module 1: Who am I	Course orientation Intro. to learning through technology: Listening/Speaking and Writing
Lesson 2	Introduction Module 1: Who am I so far	Making a personal online Journal.
Lesson 3	Introduction Module 1: Who am I in the future	TED Talk 1: A Life Lesson Group discussion, reflection, and journal
Lesson 4	Module 2: Influence and influencers	TED Talk 2: How to Start a Movement Group discussion, reflection, and journaling
Lesson 5	Module 2: Influence and influencers	Pre-reading: Identifying and Reporting Trends Understanding, Visualizing and communicating data Discussions and reporting
Lesson 6	Module 2: Influence and influencers	Presentation-1: In small groups about a social issue including data, statistics, and visually influential media
Lesson 7	Group Presentation	Group Presentation Peer feedback, Q&A and workshop skills Discussions, listening, speaking, reflection, journaling
Lesson 8	Module 3: Advertising and Marketing - The Japanese Influence	Pre-reading: Communication in the Digital Age Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 9	Module 3: Advertising and Marketing - The Japanese Influence	Video Advertising: Group discussion about a chosen Japanese advertisement and the perceived global image
Lesson 10	Module 3: Advertising and Marketing - The Japanese Influence	TED Talk: How Can Color Transform Societies Group discussion, reflection, and journaling
Lesson 11	Module 4: Festivals around the world	Essay-1: Media Research, Students identify the influences of marketing on society and build a theory.
Lesson 12	Module 4: Festivals around the world	YouTube: Documentary - Life Events: Marriage, Death, Birth, Life Expressing opinions and beliefs, cultural understanding, and introduction to customs, morals, ethics, and law.
Lesson 13	Presentation Module 4: Festivals around the world	Individual Presentation: Using any media, including critical analysis and understanding of Japans place in the global community.
Lesson 14	Summary: Culture, Communication, and our thoughts	Conclusion: Reflections, reporting, assessment.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Before each class meeting, students are expected to prepare paper or internet-based homework for sharing with small groups at the beginning of the next class. Supervised reflection and journaling activities will generally be held at the end of each class; however, they may need completing at home occasionally.

【テキスト（教科書）】

Online materials will be provided as indicated in the references below.

【参考書】

NHK/NHK Educational
EBS Korean Educational Channel in English
Japan Times
Online Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant
YouTube and TED Talks

【成績評価の方法と基準】

Classwork:
Class Participation 20%
Class Journal 15%
Reflections 15%
Assessments:
Essays and/or Presentations 30%
Final Artifact 20%
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Reflection activities are an important part of the learning cycle in this course. Therefore, opportunities to improve the material, method, and instruction will be continually reviewed. The end of term reflection will also include student assessment of the course.

【学生が準備すべき機器他】

Students are expected to have access to computer and internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class to facilitate searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted. The teacher has many years of award winning essay, presentation, and web building skills. Therefore, practical work is an important (and enjoyable) communicative part of this course.

【Outline (in English)】

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language. The skills practiced in this course should prepare students to communicate in English through a variety of media, while remaining aware of the benefits and limitations of media and culture.

This course will further improve students' reading and writing fluency, content imageability and self-expression, and communication skills. By the end of this course, students should be able to research from various sources, including the internet, critically evaluate information, understand cultural differences, and present their opinions to small and large groups. The focus is to develop skills that will be useful beyond the classroom in the international English speaking community.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World

DANIEL G DUSZA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3II builds upon communication skills and knowledge gained earlier in English 3I. This course aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on various self-interest topics in English. Students will continue to learn about aspects of culture and society and their influences on and from Japan. Students will become confident in exchanging ideas and opinions while building their communication skills in various modern settings (i.e. physical/virtual, synchronous/asynchronous, and through various media).

【到達目標】

Students will read, write, hear, and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. Authentic materials will be sourced to give students a broader understanding of English used worldwide.

Specific student goals are:

1. To learn and apply strategic listening skills to aid comprehension and communication
2. To connect existing vocabulary and ideas to similar genre-specific language to develop pragmatic awareness (i.e., how and when to use appropriate language)
3. To develop speaking and writing skills and practice new pragmatically appropriate expressions through output activities
4. To learn how to apply knowledge to further research using skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5. To learn how to express opinions effectively through writing activities and assignments
6. To become better independent language learners through reflection and keeping an online learning journal

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

This course is a flipped hybrid class, which requires students to collaborate in small projects outside of class and then bring their knowledge to share in with their peers. This arrangement of learning and sharing information means students need to consider the physical and emotional safety in the learning environment. Before each class, students will use various media to prepare for participation in tasks and problem-solving activities and discussions in class. Occasionally, lessons will include formal instruction to direct learning, where communicative activities did not achieve the desired outcome. Students will develop their four English skills, communicative competence, and intercultural awareness of Japan in the Global society.

Students will display their self-improvement through graded reflective writing and journaling. In addition, students will complete two graded assignments based on their areas of interest and communicate them using their choice of medium (E.g., video, vlog/blog, presentation, written, or spoken).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction Module 1: Who am I	Course orientation Learning through technology: Listening/Speaking and Writing
Lesson 2	Introduction Module 1: Who am I in the global society	Pre-reading: Global Migration Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 3	Introduction Module 1: Who am I in the global society	TED Talk: Where is home Group discussion, reflection, and journaling
Lesson 4	Module 2: Emotions Personal space in various Cultures	Pre-Reading: Emotion in Technology Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 5	Module 2: Emotions Personal space in various Cultures	TED Talk: Emotional responses to invasions of privacy. Group discussion, reflection, and journaling
Lesson 6	Module 2: Emotions Personal space in various Cultures	TED Talk: "This App Knows How You Feel," Group discussion based on the given response sheet
Lesson 7	Group Presentation Intercultural understanding and communication	Group Presentation Peer feedback, Q&A and workshop skills Discussions, listening, speaking, reflection, journaling
Lesson 8	Module 3: World Englishes and Intercultural communications	TED TALK: Where did English come from? Group discussion, reflection, and journaling
Lesson 9	Module 3: World Englishes and Intercultural communications	TED Talks (Groups Choose): The world's English mania How language shapes the way we think What our language habits reveal and others. Group discussion, Critical Thinking, reflection, and journaling
Lesson 10	Module 3: World Englishes and Intercultural communications	ESSAY-1: Students write a short essay about English Variation Critical analysis, problem-solving, making suggestions, tolerance, etc.
Lesson 11	Module 4: Main Project Japan and Global Citizenship	Students choose any material from the main theme of this course and commence choosing the focal theme of their project
Lesson 12	Module 4: Main Project Japan and Global Citizenship	Students gather media and information to form their project
Lesson 13	Module 4: Main Project Japan and Global Citizenship	Students submit a draft/proposal for their project, and presentation method, and apply for approval. Preliminary feedback will be provided

Lesson 14 Group Presentation and Individual Reflections and Journals are due Presentations, reflections, and journal submission will be assessed with feedback graded

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Before each class meeting, students are expected to prepare paper or internet-based homework for sharing with small groups at the beginning of the next class. Supervised reflection and journaling activities will generally be held at the end of each class; however, they may need completing at home occasionally.

【テキスト（教科書）】

Online materials will be provided as indicated in the references below.

【参考書】

NHK/NHK Educational

EBS Korean Educational Channel in English

Japan Times

Online Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant

Youtube.com and TED Talks at ted.com

TED CHOICE example: <https://www.ted.com/talks?sort=relevance&q=English+second+language>

【成績評価の方法と基準】

Class work:

Class Participation 20%

Class Journal 15%

Reflections 15%

Assessments:

Essays and/or Presentations 30%

Final Artifact 20%

In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Reflection activities are an important part of the learning cycle in this course. Therefore, opportunities to improve the material, method, and instruction will be continually reviewed. The end of term reflection will also include student assessment of the course.

【学生が準備すべき機器他】

Students are expected to have access to computer and internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to have access to computer and internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted. The teacher has many years of award winning essay, presentation, and web building skills. Therefore, practical work is an important (and enjoyable) communicative part of this course.

【Outline (in English)】

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language. The skills practiced in this course should prepare students to communicate in English through various media, while remaining aware of the benefits and limitations of media and culture.

This course will further improve students' reading and writing fluency, content imageability and self expression, and communication skills. By the end of this course, students should be able to research from various sources including the internet, critically evaluate information, understand cultural differences, and present their opinions to small and large groups. The focus is to develop skills that will be useful beyond the classroom in understanding and communicating Japan's place in the international community.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

アメリカにおけるフードロス、eSports による心身への影響、ボトル入り飲料水の安全性などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit2 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit2 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキスト Unit5 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit5 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit6 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit6 後半	リーディング、ライティング

12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ¥2,400 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

気候変動、ジェンダー、観光公害、日本企業の販売戦略などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit7 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit7 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit8 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit8 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ 1)
8	テキスト Unit11 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit11 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit12 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit12 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習

13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ 2)
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させうえて、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト (教科書)】

CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ¥2,400 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (あるいはレポート) の成績 (40%)、プレゼンテーション (20%)、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

【授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。】

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

【第一部】

第 2 週 Topic: Interdisciplinary

第 5 週 Topic: Business/ Leadership

第 8 週 Topic: Life Science

第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

【第二部】

第 3 週： TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第 6 週： TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第 9 週： TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第 12 週： TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第三部】：各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Review Unit 1	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...etc.
第 7 週	Review Unit 2	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills: Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Review Unit 3	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process

第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet** に記入しておく。
 復習： **checksheet** に記入した事項を習得することができたか、確認する。
 宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning),
 ISBN 978-1-305-26459-5
 その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）
 40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
 Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

・ effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様に本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

【授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。】

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

【第一部】第 2 週 Topic: Architecture and Design 第 5 週 Topic: Conservation/ Engineering 第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology 第 11 週 Topic: Technology/ Robotics [第二部] 第 3 週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第 6 週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第 9 週: TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/cindy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

第 12 週: TED TALK by Cynthia Breazeal: The Rise of Personal Robots https://www.ted.com/talks/cynthia_breazeal_the_rise_of_personal_robots?language=ja [第三部]: 各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第 7 週	Unit 7: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第 10 週	Unit 9: REview	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第 12 週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第 13 週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第 14 週	期末テスト	presentation test presentation script 回収

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。復習： checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: イギリスの歴史と伝統

田口 清一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能（読む・書く・聞く・話す）を更に深めることを目的とする、また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

- * 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- * 英文の内容について常に批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようにする。
- * 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業はオンラインにて、「オンデマンド型」で行う。各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング（センテンス・レビュー）、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング（補充問題とパラグラフ・レビュー）に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提出とフィードバックは「学習支援システム」を通して、毎回の課題に対し次回の授業で解説を行う。最終回は春学期全体の講評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第 2 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理（可算と不可算）
第 3 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理（冠詞と限定詞）
第 4 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 6 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス) ③	ライティング
	Chapter2(ローマ時代のイギリス) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 7 回	Chapter2(ローマ時代のイギリス) ②	読解、リスニング、スピーキング

- 第 8 回 Chapter2(ローマ時代 リスニング、ライティング
のイギリス) ③
- 第 9 回 Chapter3(アングロ・ サクソン時代のイギリス) ①
- 第 10 回 Chapter3(アングロ・ サクソン時代のイギリス) ②
- 第 11 回 Chapter3(アングロ・ サクソン時代イギリス) ③
- Chapter4(ノルマン人
による征服) ①
- 第 12 回 Chapter4(ノルマン人 による征服) ②
- 第 13 回 chapter4(ノルマン人 による征服) ③
- 第 14 回 学期末の講評 春学期の課題に対する講評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の課題に対して、しっかりした予習・復習が必須である。本文演習においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習(ライティング)においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業の解説で自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、合わせて少なくとも 1 時間は割くことが標準となる。

【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を最低一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

オンライン授業となるので、「平常点」のみで評価する。具体的には、毎回の課題提出 40 %、その出来 60 % で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、課題提出が出席に相当するので、原則として未提出の課題が 4 回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

【Course Outline and Learning Objectives】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

【Grading Criteria】

Each student's final grade will be decided, based on his or her submissions of the required assignments(40%) and their results(60%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの歴史と伝統

田口 清一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能(読む・書く・聞く・話す)を更に深めることを目的とする。また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

- * 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- * 英文の内容について常に批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようにする。
- * 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業はオンラインにて、「オンデマンド型」で行う。各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング(センテンス・レベル)、スピーキングはテキストに沿って行い、ライティング(補充問題とパラグラフ・レベル)は別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識(一般教養)が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提出とフィードバックは「学習支援システム」を通して、毎回の課題に対し次回の授業で解説を行う。最終回には年間を通しての総評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	日本語と英語の相違	文圧縮(名詞構文)
第 2 回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第 3 回	Chapter5(中世のイギリス) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 4 回	Chapter5(中世のイギリス) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter5(中世のイギリス) ③	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter6(キリスト教の到来) ①	
第 6 回	Chapter6(キリスト教の到来) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 7 回	Chapter6(キリスト教の到来) ③	リスニング、ライティング
第 8 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 9 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体) ②	読解、リスニング、スピーキング

第 10 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体) ③	リスニング、ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 11 回	Chapter8(産業革命) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 12 回	Chapter8(産業革命) ③	リスニング、ライティング
第 13 回	年間の仕上げ	Writing an Essay
第 14 回	今年度の総評	年間を通しての講評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の課題に対して、しっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習（ライティング）においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業の解説で自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、合わせて少なくとも 1 時間は割くことが標準となる。

【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書（体系的にある程度詳しく記述されたもの）を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

オンライン授業となるので、「平常点」のみで評価する。具体的には、毎回の課題提出 40 %、その出来 60 % で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期からの習熟度も考慮に入れる。

尚、課題提出が出席に相当するので、原則として未提出の課題が 4 回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も幅広い観点から英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

【Course Outline and Learning Objectives】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

【Grading Criteria】

Each student's final grade will be decided, based on his or her submissions of the required assignments(40%) and their results(60%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、ディスカッションを行う。偶数回ごとにリアクションペーパーを提出してもらう。授業は Zoom を通じて行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Unit 1	『スリー・ビルボード』
2	Unit 1	『スリー・ビルボード』 続き
3	Unit 2	『ムーンライト』
4	Unit 2	『ムーンライト』 続き
5	Unit 3	『ドリーム』
6	Unit 3	『ドリーム』 続き
7	Unit 4	『それでも夜は明ける』
8	Unit 4	『それでも夜は明ける』 続き
9	Unit 5	『ブルックリン』
10	Unit 5	『ブルックリン』 続き
11	Unit 6	『グラン・トリノ』
12	Unit 6	『グラン・トリノ』 続き
13	Unit 7	『扉をたたく人』
14	Unit 7	『扉をたたく人』

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に Reading の文章を読み、訳してこること。また、テキストの演習問題を解いてこること。

【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies
(映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15%

リアクションペーパー 15%

最終レポート 70%

4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生間のディスカッションの時間を充分に取る。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.

-Improve listening comprehension.

-Enrich your vocabulary.

-Learn about art, culture and social problems.

-Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (15%), term-end report (70%), and in-class contribution (15%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、ディスカッションを行う。偶数回ごとにリアクションペーパーを提出してもらう。授業は Zoom を通じて行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』
2	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』 続き
3	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』
4	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』 続き
5	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』
6	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』 続き
7	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』
8	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』 続き
9	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』
10	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』 続き
11	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』
12	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』 続き
13	Unit 15	『シンドラーのリスト』
14	Unit 15	『シンドラーのリスト』 続き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に Reading の文章を読み、訳してくること。テキストの演習問題を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies
(映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15%

リアクションペーパー 15%

最終レポート 70%

4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生間のディスカッションの時間を充分に取る。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.

-Improve listening comprehension.

-Enrich your vocabulary.

-Learn about art, culture and social problems.

-Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (15%), term-end report (70%), and in-class contribution (15%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本で働く人々から見える社会と課題

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction, Self-Introduction
2	Unit 1: Sales Can Be Like Acting	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
3	Unit 2: Travel Opens Up the World	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
4	Unit 3: Love Sells Cars	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
5	Unit 4: Translating Is More than Words	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing

6	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
7	Unit 6: Toast Your Success!	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
8	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
9	Writing Summaries 1	Reading & Writing
10	Writing Summaries 2	Feedback & Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Presentation	Presentation
14	Presentation / Final Exam	Presentation / Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Gordenker, Alice, & Rucynski, John (2015). Working in Japan. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-248-2 (¥2550 + 税)
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria:
Active Participation (15%); Homework Assignments (35%); Presentation (20%); Final Assignments/Exam (30%)
遅刻は 30 分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻 3 回で 1 回の欠席になります）。
4 回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

NA

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。
必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。
課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。
様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など - 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本で働く人々から見える社会と課題

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write summaries and essays in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Build a Happy Life!	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
3	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
4	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
5	Unit 11: Connect Workers with Companies	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing

6	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
7	Unit 13: What's the Recipe for Success?	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
8	Unit 14: Help Animals for a Better Society	Reading & Listening exercises, Discussion & Writing
9	Writing Essays 1	Reading & Writing
10	Writing Essays 2	Feedback & Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Presentation	Presentation
14	Presentation / Final Exam	Presentation / Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Gordenker, Alice, & Rucynski, John (2015). Working in Japan. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-248-2 (¥2550 + 税)
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria:

Active Participation (15%); Homework Assignments (35%); Presentation (20%); Final Assignments/Exam (30%)

遅刻は 30 分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻 3 回で 1 回の欠席になります）。

4 回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

NA

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。
課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。
様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes readings from an assigned textbook and authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through a variety of class activities. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

岩崎 博

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本に関するニュース・ストーリー、またはエッセイを教材に使い、読み、聴き、話し、書くという 4 技能を総合的に身につけることを目標とする。ニュース・ストーリーを読み・聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本に関する様々な読み物を通して、日本的な慣習の長所・弱点を理解したうえで、日本に関する自らの考えを発信できるようになりたい。

【到達目標】

英字新聞の記事を理解する能力を養う。

英和辞典が適切に使えるようになる。

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。

英語らしい発音ができるようになる。

自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。

4 パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。

英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストの新聞記事を読み、日本語訳または要約によってその内容を理解する。その際英和辞典の使い方をマスターするために、ある語句の意味がわからない時、その正しい定義を決定する術を学ぶ。

②スピーキング

記事の内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。発表内容を書き起こしたものを提出する。

③ライティング

学期中に一度、教材の中から好きなものを選び 4 パラグラフからなるエッセイを作成する。

④リスニング

ニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。

口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業説明と日本のことを英語で伝える準備	授業説明の後、日本について特に伝えたいことを書き出し、それを英語で表現する。
2	新聞記事「大谷選手 MVP」を読む 1	新聞記事で大谷選手の偉業を確認しつつ、各パラグラフの内容を短い英文で要約する練習をする。

- 3 「新聞記事「大谷選手 MVP」を読む 2 前回に引き続き、新聞記事で大谷選手の偉業を確認しつつ、各パラグラフの内容を短い英文で要約する練習をする。最後に各自の意見を 1 パラグラフからなる英文を作成する。
- 4 日本式挨拶とマナーを記述する 挨拶マナーに関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。日本式マナーに関するエッセイを読んで自分の意見を英語で表現する。
- 5 ニュース映像「東京オリンピック開催決定」を見る。 ニュース映像を使った聴き取りを行なったのちシャドーイングを実践する。
/v/ʌ/の発音の仕方を習得する。
- 6 日本の四季と行事を伝える 日本の四季と行事に関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。日本の四季に関するエッセイを読んで自分の意見を英語で表現する。
- 7 日本の学校行事を伝える 日本の学校行事に関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。日本の学校行事に関するエッセイを読んで自分の意見を英語で表現する。
- 8 新聞記事「伊藤詩織氏強姦訴訟民事で勝利」を読む。 伊藤詩織氏が性暴力被害を訴える民事訴訟で勝訴したことを伝える新聞記事を読む。伊藤氏が性被害を実名と顔を晒して公表したことによって、日本の#Me Too 運動の先駆者的役割を果たした事実を知るとともに、日本の性犯罪が可視化されない問題を考える。
- 9 新聞記事「伊藤詩織氏強姦訴訟民事で勝利」に関する意見を言う。 伊藤さんの訴訟の意義について、あるいは日本の性暴力の問題について自分の意見を英語で発表し、クラスで話し合う。
- 10 ニュース映像「福島は今」を見る。 世界に衝撃を与えた未曾有の原発事故を起こした福島第一原発の今を知る。イギリス英語の特徴を知る。破裂音に伴う気音の発音を習得する。付帯状況の with を聞き取り、かつその意味を理解する。
- 11 和食の素晴らしさを伝える 和食に関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。日本の外食事情に関するエッセイを読んで自分の意見を英語で表現する。
- 12 エッセイライティング 1 (意見を表明する 4 パラグラフからなるエッセイの構造) 自分の意見を表明する、4 パラグラフからなるエッセイの構造を理解したのち、エッセイプラン作成方を学ぶ。
- 13 エッセイライティング 2 (エッセイプランから英文を作成する) 作成したエッセイプランの内容を他の学生に説明し、フィードバックをもらう。エッセイプランから英語を作成する技術を学ぶ。特に書く上で役に立つ様々な辞書の使い方を詳しく学ぶ。またネット上の辞書の活用方法を学ぶ。
- 14 提出したエッセイのフィードバック 教師は添削したエッセイにコメントを添えて返却する。学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す練習をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で 8 時間は必要。リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。春学期に一度 4 パラグラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

大学英語教育学会（JACET）教材研究会編、『Real-Time Japan in Basic English』朝日出版

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。4 回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

アウトプットの比重を高めたい。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learned after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

岩崎 博

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本に関するニュース・ストーリー、またはエッセイを教材に使い、読み、聴き、話し、書くという 4 技能を総合的に身につけることを目標とする。ニュース・ストーリーを読み・聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本に関する様々な読み物を通して、日本的な慣習の長所・弱点を理解したうえで、日本に関する自らの考えを発信できるようになりたい。

【到達目標】

英字新聞の記事を理解する能力を養う。
英和辞典が適切に使えるようになる。
基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4 パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストの新聞記事を読み、日本語訳または要約によってその内容を理解する。その際英和辞典の使い方をマスターするために、ある語句の意味がわからない時、その正しい定義を決定する術を学ぶ。

②スピーキング

記事の内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。発表内容を書き起こしたものを提出する。

③ライティング

学期中に一度、教材の中から好きなものを選び 4 パラグラフから成るエッセーを作成する。

④リスニング

ニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセーに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本の農業の伝統を伝える	準動詞を使って英語会話をする。 日本の伝統式農業に関するエッセーを読んで自分の意見を英語で表現する。

2	新聞記事「菅首相退任」を読む 1	昨年 9 月コロナ禍の最中に、自民党内の求心力を失い退任に追い込まれた菅首相に関する記事を読み、各パラグラフの内容を短い英文で要約する練習をする。
3	新聞記事「菅首相退任」を読む 1	前回に引き続き、新聞記事で菅首相退任の背景を確認しつつ、各パラグラフの内容を短い英文で要約する練習をする。 最後に各自の意見を 1 パラグラフからなる英文を作成する。
4	日本政治の仕組みを説明する	日本政治に関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。 日本式の国会に関するエッセーを読んで自分の意見を英語で表現する。
5	ニュース映像「地下鉄乗客襲撃事件」を見る。	昨年 10 月、地下鉄京王線で起きた無差別に乗客を攻撃する事件を取材した NBC のニュース映像を見る。 ニュース映像を使った聴き取りを行なったのちシャドーイングを実践する。 吸収されて消えてしまう音の発音の仕方を習得する。 発音練習の後、各自が自分の意見を英語で発表する。
6	日本経済を記述する	経済に関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。 日本のコンビニエンスストアに関するエッセーを読んで自分の意見を英語で表現する。
7	日本人サポーターの素晴らしさを伝える	従属節を使って英語会話をする。 サッカーの W 杯ブラジル大会で有名になった、日本人サポーターたちの素晴らしい自発的行為に関するエッセーを読み、自分の意見を英語で表現する。
8	日本のスポーツ事情を説明する	スポーツに関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。 相撲に関するエッセーを読んで自分の意見を英語で表現する。
9	お勧めの観光地の魅力を伝える	観光に関する表現を覚え、それらを使って英語会話をする。 新幹線に関するエッセーを読んで自分の意見を英語で表現する。
10	ニュース映像「ブラックフェイス問題」を見る。	何故黒人の真似をして顔を黒く塗り潰すのが、たとえハロウィンでも許されないことなのか、日本人には馴染みの薄い問題を取り上げる。 ニュース映像を使った聴き取りを行なったのちシャドーイングを実践する。 ニュースを英語で要約したのち各自英語で意見を言う。
11	エッセイライティング 1 (意見を表明する 4 パラグラフからなるエッセーの構造) の復習	自分の意見を表明する、4 パラグラフからなるエッセーの構造を理解したのち、エッセイプラン作成方を再度学習する。
12	エッセイライティング 2 (エッセイプランから英文を作成する) の復習	作成したエッセイプランの内容を他の学生に説明し、フィードバックをもらう。 エッセイプランから英語を作成する技術を学ぶ。特に書く上で役に立つ様々な辞書の使い方を詳しく学ぶ。またネット上の辞書の活用方法を学ぶ。

- 13 日本化した外国文化を伝える 関係詞を使って英語会話をする。海外のお祭りを抵抗なく楽しむ日本人に関するエッセイを読んで、自分の意見を英語で表現する。
- 14 提出したエッセイのフィードバック 教師が添削しコメントを添えたエッセイを返却する。学生は添削・コメントを見て何故間違ったのかを確認し、正しいエッセイ作成法を学習する。学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す練習をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で 8 時間は必要。リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。秋学期に一度 4 パラグラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

大学英語教育学会（JACET）教材研究会編、『Real-Time Japan in Basic English』朝日出版

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。4 回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークによる演習を増やす。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learned after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1:Japan: Unusual Rental Universe – You Can Rent a Family	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1:Japan: Unusual Rental Universe – You Can Rent a Family	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: Is Coffee the Secret to a Longer Life?	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: Is Coffee the Secret to a Longer Life?	読解及び問題演習

第 6 回	Unit 3: Lost in Translation: How China is Cracking Down on Poor English Translations	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: Lost in Translation: How China is Cracking Down on Poor English Translations	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 4: Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Year	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Year	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 5: Your Smartphone is Making You a Workplace Slacker	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Your Smartphone is Making You a Workplace Slacker	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 6: Do happy People Live Long?	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: Do happy People Live Long?	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 4 (CBS ニュースブレイク 4)
熊井信弘他著 成美堂 2019 年 2400 円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はコロナ対策のため、対面による発表の相互評価などに十分な時間が取れなかったのが残念です。今年度はコロナの感染状況を踏まえて、可能であれば、実施したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 7: Selling Charity	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Selling Charity	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: The Power of Music: Using Music to Help Unlock Alzheimer's Patients' Memories	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: The Power of Music: Using Music to Help Unlock Alzheimer's Patients' Memories	読解及び問題演習

第 6 回	Unit 9: A Stitch in Time: Teen Turns Thrift Store Finds into Trendy Clothing for Homeless	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 9: A Stitch in Time: Teen Turns Thrift Store Finds into Trendy Clothing for Homeless	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 10: How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 11: True Meaning of Christmas Found in Family's Magical Reunion	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: True Meaning of Christmas Found in Family's Magical Reunion	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 12: The Joy of Cleaning: The Life-Changing Magic of Tidying Up	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: The Joy of Cleaning: The Life-Changing Magic of Tidying Up	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 4 (CBS ニュースブレイク 4)
熊井信弘他著 成美堂 2019 年 2400 円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はコロナ対策のため、対面による発表の相互評価などに十分な時間が取れなかったのが残念です。今年度はコロナの感染状況を踏まえて、可能であれば、実施したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics range from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, students will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本

猪俣 佳瑞美

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能 (英語を読み、聞き、書き、話す力) の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。

13	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション 2 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本

猪俣 佳瑞美

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能 (英語を読み、聞き、書き、話す力) の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。

3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。

14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切で。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相

猪俣 佳瑞美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。	13	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。	14	プレゼンテーション 2 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。 Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。 準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。 準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。		
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。	【テキスト（教科書）】 英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2 Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著 成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）		
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。	【参考書】 特になし		
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【成績評価の方法と基準】 平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。		
9	Unit 8 Disaster Volunteers	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。	【学生の意見等からの気づき】 英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。		
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。	【学生が準備すべき機器他】 電子辞書を必ず持参すること		
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。	【Outline (in English)】 This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.		
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。			

LANe200LA		
English 3 II		2017 年度以降入学者
サブタイトル：現代の諸相		
猪俣 佳瑞美		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金 5/Fri.5		
単位数：1 単位		
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。		
【到達目標】		
講義の到達目標は、以下である。		
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。		
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。		
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。		
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。		
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3		
【授業の進め方と方法】		
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり / Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。

14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: アメリカ社会

本間 章郎

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1:Japan: Unusual Rental Universe – You Can Rent a Family	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1:Japan: Unusual Rental Universe – You Can Rent a Family	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: Is Coffee the Secret to a Longer Life?	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: Is Coffee the Secret to a Longer Life?	読解及び問題演習

第 6 回	Unit 3: Lost in Translation: How China is Cracking Down on Poor English Translations	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: Lost in Translation: How China is Cracking Down on Poor English Translations	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 4: Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Year	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Year	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 5: Your Smartphone is Making You a Workplace Slacker	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Your Smartphone is Making You a Workplace Slacker	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 6: Do happy People Live Long?	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: Do happy People Live Long?	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 4 (CBS ニュースブレイク 4)
熊井信弘他著 成美堂 2019 年 2400 円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はコロナ対策のため、対面による発表の相互評価などに十分な時間が取れなかったのが残念です。今年度はコロナの感染状況を踏まえて、可能であれば、実施したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル: アメリカ社会

本間 章郎

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 7: Selling Charity	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Selling Charity	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: The Power of Music: Using Music to Help Unlock Alzheimer's Patients' Memories	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: The Power of Music: Using Music to Help Unlock Alzheimer's Patients' Memories	読解及び問題演習

第 6 回	Unit 9: A Stitch in Time: Teen Turns Thrift Store Finds into Trendy Clothing for Homeless	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 9: A Stitch in Time: Teen Turns Thrift Store Finds into Trendy Clothing for Homeless	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 10: How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 11: True Meaning of Christmas Found in Family's Magical Reunion	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: True Meaning of Christmas Found in Family's Magical Reunion	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 12: The Joy of Cleaning: The Life-Changing Magic of Tidying Up	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: The Joy of Cleaning: The Life-Changing Magic of Tidying Up	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

CBS NewsBreak 4 (CBS ニュースブレイク 4)
熊井信弘他著 成美堂 2019 年 2400 円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はコロナ対策のため、対面による発表の相互評価などに十分な時間が取れなかったのが残念です。今年度はコロナの感染状況を踏まえて、可能であれば、実施したいと思います。

【Outline (in English)】
(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

英語 7

2017 年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文法・語彙・構文をしっかりおさえながら、アメリカのみならず世界各地で読まれている **The New York Times** の実際の記事を読んでいます。「日本人学生向けに易しく書き直された英語文章」ではない本当の「生の英語」に慣れ親しむばかりでなく、整形、結婚、宗教など、現代社会の様々な問題への理解も深めていきます。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに慣れ、記事概要を容易に把握できるようにになる。
- ・構文把握に慣れ、複雑な内容の長文を的確に理解できるようにになる。
- ・現代社会の様々な問題をめぐる議論を英語で理解し、またその問題に関する自分の意見を英語で発信できるようにになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を和訳してノートに書く → 学習支援システム上の予習テストに回答する → 授業に出席する → 学習支援システム上の復習テストに回答する、という流れで毎週の学習を行います。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 4 (1)	reading
	Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	
3	Unit 4 (2)	reading and listening
	Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	
4	Unit 5 (1)	reading
	A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	
5	Unit 5 (2)	reading and listening
	A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	
6	Unit 5 (3)	reading and critical thinking exercise
	A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	
7	Unit 7 (1)	reading
	Culture or Chromosomes?	
8	Unit 7 (2)	reading and listening
	Culture or Chromosomes?	
9	Unit 8 (1)	reading
	For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	

10	Unit 8 (2) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and listening
11	Unit 8 (3) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and critical thinking exercise
12	Unit 10 (1) Holiday Wars: Merry Whatever	reading
13	Unit 10 (2) Holiday Wars: Merry Whatever	reading and listening
14	まとめ	final exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の指定テキスト全訳をノートに書き、予習テストに期限内に回答することが必須の予習です。あてられたその場で辞書をひいたり訳を作ったりしている際は、予習をしてこなかったとみなします。授業後は復習テストに期限内に回答すること。大学設置基準に鑑みて、準備・復習時間は毎週一時間以上が標準となります。

【テキスト（教科書）】

喜多留女・細川祐子『World Graffiti ニューヨークタイムズで世界を知る』英宝社、2006年。

【参考書】

『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

【成績評価の方法と基準】

予習テスト: 20%
復習テスト: 20%
授業内活動への参加: 30%
期末テスト: 30%

【学生の意見等からの気づき】

文化的背景を丁寧に説明します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを用います。
感染状況が悪化してオンライン授業になった場合には、zoom 授業中に発言できる環境を確保すること。

【その他の重要事項】

原則として、四回以上の欠席をした場合、単位修得の権利を失います。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

In this course, students will read various articles from The New York Times, on such controversial social issues as immigrants, plastic surgery, marriage, and religion.

【Learning Objectives】

Students will learn different views on several pressing issues in the contemporary American society, and will also learn to read English newspaper articles with more ease.

【Learning Activities outside of Classroom】

Students are required to read the assigned articles before each class with the use of dictionaries. Almost every week, there are small tests to check the students' preparation as well as their comprehension of the previous class.

【Grading Criteria/Policy】

Students who miss more than 3 classes won't get a credit.
weekly preparatory exam : 20%
weekly review exam : 20%
active class participation : 30%
final exam: 30%

LANe200LA

英語 7

2017 年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA 前に「英語を読むこと」を中心にした最後の授業になるので、移民や多文化主義について書かれた論説文の講読を行う。これらの教材は英語学習者用に書かれたものではないが、専門的な内容を扱う割には平易に書かれている。この授業によって、専門的な内容のもので読めるという自信を SA 前に身につけてもらいたい。また、読み取った内容を英語で表現する練習も取り入れる。英語圏 SA 先の社会は多様な人種背景をもった人々で成り立っているのも、異文化体験を意義あるものにするためにも、こうした社会について、きちんとした基礎知識を身につけてほしい。

【到達目標】

学生は、簡単な英語で書かれたものであれば、専門的な内容でも読めるようにする。専門的見地から書かれた論点を批判的にくみ取り、自分の意見を英語で表現できるようにする。英語運用能力の強化はもちろんとして、SA 前の学生が身につけるべき国際社会についての基礎知識の獲得も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

段落ごとに内容を日本語で要約する。難しい内容や表現の箇所については訳読も取り入れて理解を促す。また、読み取った内容を基に自分の意見を英語で表現するための演習も取り入れる。

提出された課題のフィードバックは授業中だけでなく、学習支援システム (Hoppii) を通じて行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンライン授業をすることがある。

授業方法の変更は Hoppii で周知する。そのため、受講生は授業日の朝に Hoppii を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業テーマの確認をする。
第 2 回	移民の歴史	移民の歴史について書かれた論説文を読む。
第 3 回	移民と現代社会	移民と現代社会の多様なかかわりを考える。
第 4 回	強制移住とは	強制移住の定義と歴史を考える。
第 5 回	自発的な移民とは	自発的な移民の特徴を考える。
第 6 回	グローバリゼーションと移民	移民とグローバリゼーションの関係を考える。
第 7 回	グローバリゼーション下の移民と多様性	グローバリゼーションと多様性の関係を考える。
第 8 回	移民と経済発展	移住先の国の開発・経済発展と移民の関係を考える。
第 9 回	移民と開発支援	移民の出身国の開発支援と移民の関係を考える。
第 10 回	欧州と移民	欧州における非合法移民を考える。
第 11 回	アメリカと移民	アメリカにおける非合法移民を考える。

第12回	難民とは	難民の現状と定義を考える。
第13回	難民と統合	亡命先社会への難民の統合と課題を考える。
第14回	学期のまとめ	学習した内容の復習とまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、指定範囲を予習をして授業に参加すること。
有用と思われる資料を紹介した場合には、その読解や視聴を行ってから授業に出席すること。リスニング・ハンドブックに掲載のサイトを指定するので、各自でリスニングの練習をすること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布する。
必ず英和・和英辞書を持参して、授業に参加すること。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を70%、授業内に課した課題を含む平常評価を30%とする。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の英語力に配慮しながら、進む速度を調整することがある。

【Outline (in English)】

Since English 7 is the last course focusing on developing reading skills in English before students embark on their Study Abroad programs, emphasis will be put on reading articles related to immigrants and multiculturalism. The materials chosen for this course are level-appropriate for students, though they are written in academic style. Reading academic articles will enable students to develop confidence in their reading skills. Practices will also be given to make summaries of the articles. Since students will go to SA campuses in multiethnic countries, this course also aims to help them acquire knowledge about some characteristic aspects of their host countries in order to make their SA experiences fruitful.

Students should be able to read academic contents on international immigrants and multiculturalism as long as it is written in plain English. Students will be able to critically assess the arguments written from a professional perspective and express their own opinions in English. In addition to strengthening their English language skills, they will also acquire the basic knowledge of international society that pre-SA students should have.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA

英語7

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

異文化コミュニケーションに関わるさまざまな知識や考え方を学びながら、SAに必要な英語力、とくに「読む力」をつける。

【到達目標】

1. 英文を、一語ごとに立ち止まることなく、意味のかたまり（句や節）を意識しながら一定の速度で読むことができる。（フレーズ・リーディングの習得。）
2. パラグラフの構造・構成を意識して長文を正確に読み、内容的確につかむことができる。（パラグラフ・リーディングの習得。）
3. 読んで理解できる英文を、聴解できる。
4. 読んで理解できた英文を、日本語・英語の両方で要約できる。
5. 異文化コミュニケーションへの理解を深めることを通じて、SA先でコミュニケーションを円滑に行うための心構えができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書本文の内容の理解を深め、本文に出てきた英語表現を身につけることを目的として、本文・練習問題に関するグループワークや質疑応答を行う。

各授業の最後に、リフレクションペーパー（英語）を実施する。（原則として翌週返却。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション/ Unit 1	授業について。SAに向けての英語・各国文化事情などの勉強について。『英語リスニング・ハンドブック』などを利用しての日常的な自習について。/ Intercultural Communication in Today's World
2	Unit 2	English for Intercultural Communication
3	Unit 3	Important Features of Human Communication
4	Unit 4	The Concept of Culture
5	Unit 5	Language and Thought
6	Unit 6/Unit 7	Communication Styles/ Human Psychology and Communication
7	復習、補足（SA先のニュースや文化）	前半：Unit 1～7の復習・補足。 後半：事前に指定・配付しておいた教材を用い、SA先ごとに分かれたグループワーク。
8	Unit 8	Speech Acts across Cultures
9	Unit 9	Stereotypes and Intercultural Communication
10	Unit 10	Cultural Accommodation in Intercultural Communication
11	Unit 11	Intercultural Communication in Higher Education

12	Unit 12/ Unit 13	Study Abroad and Intercultural Adaptation/ Intercultural Competence for the Future
13	復習	前半: Unit 1~13 の復習。後半: 復習試験の実施。
14	復習、補足 (SA 先のニュースや文化)	前半: 復習試験の返却、解説。後半: 事前に指定・配付しておいた教材を用い、SA 先ごとに分かれたグループワーク。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

準備学習は必須である。最低限、

- (1) 本文を読み、不明点を洗い出す
- (2) 本文の音声 (教科書に付属の CD) を用いて、聴解・朗読ができるようにする
- (3) 練習問題を解くことが必要。

付属の CD のナレーションは、アメリカ (Unit 1,5,9,13)、イギリス (Unit 2,6,10)、カナダ (Unit3, 7, 11)、オーストラリア (Unit 4, 8, 12) の 4 か国のネイティブスピーカーが担当している。予習の際に活用し、各 SA 先で使われる英語の違いに親しんだり、自分の SA 先の英語に耳を慣らしたりしてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Troy McConachy、古家聡、櫻井千佳子共著、『Intercultural Communication for English Language Learners in Japan (英語学習者のための異文化コミュニケーション)』南雲堂。

【参考書】

大学〜一般向けの英和および英英辞書、各 1 点以上。

いずれも各自の好みで選んで構わないが、用例を豊富に載せているものを 1 点は使用すること。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (リフレクションペーパー) 40%、および復習試験成績 60% の総合評価。

4 回以上欠席の場合、単位を与えない。

遅刻や授業態度の不良については、頻度や程度に応じて、総合点から減点する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

・ペア/グループワークを効果的に取り入れ、学生同士で学び合えるようにすることが重要である。

・毎回のリフレクションペーパーの作成・提出、添削、フィードバックは、対面授業においてもオンライン実施する。

【学生が準備すべき機器他】

・毎回の授業内で、学習支援システムを活用する (「教材」配布、「課題」配布・提出、等) ため、PC 等の端末 (デバイス) を持参してください。

・予告のうえ、授業中に Zoom を用いる可能性があります。その場合は、自分用のマイク付きヘッドセットの持参が必要となります。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of English 7 is to further develop students' reading ability in preparation for their SA programs in English-speaking countries. Students will also be introduced to various academic approaches to intercultural communication, thereby conceiving their own ideas about how to communicate with people from different cultures.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills and attitudes mentioned above, mainly through practicing phrase reading, paragraph reading, summarizing and commenting on the reading passage of each unit.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises.

Grading Policies: Grading will be decided based on reflection papers (40%) and review test(s) (60%).

LANe200LA

英語 7

2017 年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 3/Tue.3
単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについての英文を素早く正確に読む力を養います。授業内でのリーディングの練習の他に、SA 英語圏留学の際に生かせるように、情報収集と意見を述べることに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. テキスト内の英文を素早く正確に読解することが出来るようになる。
2. 既習事項を踏まえ、テキスト以外の様々なトピックについての英文を可能な限り速く読み、内容を正確に把握出来るようになる。
3. テキスト内の語彙や表現を理解し、情報収集や表現をする際に使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業では 1 回につき 1 つの Chapter を進めていきます。1 つの Chapter は、「Pre-reading Preparation」「Vocabulary」「Reading Analysis」「Information Organization」「Short Summary」「Critical Thinking」で構成されています。流れとして、まずは予習範囲である「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の確認を行います。次に、Appendix 1 にある「Full Passage」を読み、その後、「Reading Analysis」に沿って段落ごとに理解を深めます。授業後は、授業で学習したことの確認とリーディングスキルの向上のための復習をしてください。授業中には、素早く正確に読解できるようになることを目指しますので、リーディングにかかった時間を記録していきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、小テストを行います。また、リスニング・ハンドブックで紹介されているサイトを使った課題を出します。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生または全体に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の理解、アクティビティー
2	Chapter 1: The Birth-Order Myth	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
3	Chapter 2: My Husband, the Outsider	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
4	Chapter 3: Hop, Skip ... and Software?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
5	Chapter 4: Highs and Lows in Self-Esteem	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
6	Chapter 5: Who Lives Longer?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。

7	Chapter 6: Are Gifted Children Born or Made?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント进行学习する。小テストで学習進捗度を把握する。
8	Chapter 7: Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント进行学习する。
9	Chapter 8: Wilder Places for Wild Things	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント进行学习する。
10	Chapter 9: Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント进行学习する。
11	Chapter 10: Matters of Life and Death	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント进行学习する。
12	Chapter 11: Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント进行学习する。小テストで学習進捗度を把握する。
13	Chapter 12: Saving Her Sister's Life	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント进行学习する。
14	期末テスト	リーディングや語彙に関するテストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、予習として授業前に「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の解答を行います。授業後には、既習 Chapter の語彙、文法、読み方のポイントを復習し、音読も行いましょう。

【テキスト（教科書）】

テキスト名：Reading Dynamics – Skills for Academic Success
 編著者：山科美和子/横山三鶴/沖野泰子
 出版社：Cengage Learning
 出版年：2016 年
 価格：2200 円＋税
 ISBN: 9784863122871

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点 30 %（授業中の活動・小テスト）
2. 課題 20%（リーディング、「リスニング・ハンドブック」）
3. 期末試験 50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻（授業開始時刻から10分を超える場合）で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。
- ・授業中に使用する辞書は、書籍または電子辞書とします。通信可能な電子辞書やスマートフォン等のアプリケーションの辞書を使用する場合は、その旨を担当者に伝えること。
- ・テキストの音声はダウンロード形式（無料）です。テキストの7ページに案内がありますので、テキスト購入後にダウンロードをしてください。
- ・「リスニング・ハンドブック」をいつでも参照できるようにしておきましょう。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて受け付けます。メールで質問する場合は、授業支援システムにて、この授業の「お知らせ」を参照してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire skills for reading accurately and fluently based on several daily and modern social topics in English. It also enhances students' vocabulary knowledge needed to gather information and express their ideas. It will help students prepare for assignments when studying abroad.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to read passages quickly and accurately in the textbook.
2. Based on what students learned, they will be able to read and understand passages on several topics at an advanced level outside of the textbook.
3. Students will be able to understand all the vocabulary and expressions in the textbook, and use them when they gather information or express their ideas.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should prepare for class and review what they have learned in one hour. Before class, students have to answer “Pre-reading Preparation” and “Vocabulary” in the textbook. After class, students have to review the vocabulary, grammar, and reading tips they learned, and practice reading the passage they read in the classroom out loud.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
2. Assignments (Reading and “Listening Handbook”) 20%
3. Final test 50%
 - ・Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - ・If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - ・Students should show proof of their delay and absence.
 - ・Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will be get a black mark.

LANe200LA

英語 7

2017 年度以降入学者

衣笠 正晃

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英語圏 SA 留学での授業履修に求められるレベルの英語力を「読む力」を中心に身につけることを目的として、現代社会の諸問題を取り上げた英文エッセイ (論説文) を読み進めます。

【到達目標】

- 1) まとまった量の英文を限られた時間のなかで読み、構成を踏まえて内容情報を正確に整理・把握する。
- 2) 多様な話題についての英文を通じて、英語圏をはじめとする世界の情勢を理解するとともに、日本について語るために必要な知識や視点を身につける。
- 3) 情報収集や意見表明、さらに議論のために必要な、大学生にふさわしいレベルの英語語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業では、英文を逐語的に日本語に置き換えるのではなく、英語のままでその論旨・内容を把握することに重点を置きます。毎回の授業の主な構成は以下の通りです。

- 1) 前回の復習とその回の予習の確認 (小テスト/口頭)。
- 2) テキストのパラグラフごとの内容、重要表現の確認 (担当者はアトランダムに指名します)。
- 3) 授業内容の理解の確認・練習問題 (小テスト/口頭)、書き取り。
- 4) 授業内容についての討議、リアクションシートへの (感想・質問の) 記入。

なお必要に応じてテキストを補完するためのプリントを配付・使用することがあります。またリアクションシートのコメント・質問には、翌週授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画の説明+ Multisensory Art (Unit 1) の講読
2	芸術の諸領域	Multisensory Art (Unit 1) の講読
3	アイデンティティ	Personality and Inner Growth (Unit 2) の講読
4	自然と人類	Nature and Humanity (Unit 3) の講読
5	キャリア形成	Sports Medicine (Unit 5) の講読
6	異文化理解	Culture Awareness (Unit 6) の講読
7	中間試験+ライフスタイル	筆記による試験+ Living off the Grid (Unit 7) の講読
8	環境保護	Eco-Packaging (Unit 9) の講読
9	ビジネスの動向	Pop-up Shops (Unit 10) の講読
10	子供の成長	Screen Time (Unit 11) の講読
11	貧富の格差	The world of the Super Rich (Unit 12) の講読
12	動物学	The Emotions of Animals (Unit 13) の講読

13	未来の世界	The Future of Reality (Unit 15) の講読
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験+学期授業内容の振り返り

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各回とも次のとおり。

- 1) 指定された箇所の予習。まずウォームアップ問題を解き、Part 1 の文章全体を時間を測って読み、大意を把握する。つぎに内容確認問題・語彙問題を解く。再度テキストを読み、理解できなかった語句・表現を調べ、Part 2 の練習問題を解く。最後にもう一度確認のため通読する。(大意把握、細部確認、再確認と、都合最低 3 回はテキストを読む)。また内容理解に必要な情報を自主的に収集する。
 - 2) 発音・イントネーションの確認。テキストに付属の CD を利用して音読練習をおこない、語句のアクセントを確認する。またニュースサイト等を利用したリスニング練習をおこなう。
 - 3) 授業を終えた箇所の復習。テキストを再度読み、内容と理解度を確認する。
 - 4) 課題が出された場合、期日までに作成・提出する。
- なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Andrew E. Bennett (著)、Reading Fusion 3 (リーディングフュージョン 3) (南雲堂、2019 年) 本体 2,200 円
※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

参考書・辞書については、随時授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業参加度、課題、小テストなどによる。50 %)、試験 (中間および期末。50 %) をあわせて評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。

- 1) 英文をスピーディーに読むなかで、その構造・論旨を正確に把握できているか。
- 2) 国際社会・日本社会の諸問題とその背景についての知識・関心を深めているか。
- 3) 情報収集や意見表明、議論に欠かせない、一定レベルの語彙が習得できているか。

【学生の意見等からの気づき】

履修者が自主的に課題に取り組めるよう、予習についての指導や、質問を受けての問題共有や解説をいっそう充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や提出物の回収、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】

- ・初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
- ・出席者の状況に合わせて、進度や読む文章の順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。
- ・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、かならず遵守してください。
- ・欠席が学期中 4 回を超えた場合は原則として単位修得の資格を失います。また遅刻 3 回を欠席 1 回としてカウントします。

【Outline (in English)】

This course is intended to provide students with minimal academic English (especially reading) skills needed during their study abroad, through reading articles on topics and issues of current interest and relevance. The goals are to attain high-intermediate to high level reading comprehension, obtain basic knowledge on world affairs and Japanese society, and acquire college level vocabulary and expressions. Students are expected to have completed the required assignments after each class meeting. The required study time is at least one hour for each class meeting. The overall grade will be decided based on in-class contribution (50%) and regular examinations (50%).

LANe200LA

英語 7

2017 年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

最新の英米の新聞記事・論説から、英語圏で起きていること、そして英語圏から見た日本を含むアジアを読み解く。

【到達目標】

(1) ただ事実を報じた記事ではなく、論説などの英文を正確に読み、筆者の意見を把握すること、(2) それに対して自分で論評を加えられるようになること、(3) 英語圏のメディアがアジアをどのように見ているかを知っておくこと。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	ウォームアップを含めて授業の内容説明。
2	"The Guardian view on lifting lockdown: we need cohesion, not division" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"Brewers furious at 'nanny state' plan to put calorie count on beer in pubs" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
4	"The Guardian view on football's failed super league: hit back hard" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	プレゼン。英語ニュースのリスニング。
6	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

7	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"The Guardian view on declining birthrates: there may be trouble ahead" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	プレゼン。英語ニュースのリスニング。
10	"The Guardian view on inflation: the revival that's nothing like the 1970s" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the super-rich: a billion reasons for a wealthy tax" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Being the Queen sure has its ups and downs..." (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げています)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	プレゼン。英語ニュースのリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用する記事は新しいものをその都度指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点 (20%) と試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが、2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は 20 分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生が英語および記事内容を身近に感じられるよう丁寧な説明を心がけます。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn what is happening outside Japan and how Japan is regarded from the outside through the latest articles of UK or US news media.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA

英語 7

2017 年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 4/Tue.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

世界のニュースを題材に、英字新聞の記事を読みます。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけでなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を簡潔な日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1つの記事というペースで進めることを目標とします。記事毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方と評価の方法の説明をします。
第2回	第二言語としての英語 (前半)	英語を第二言語として学習することについての記事の前半の購読およびディスカッション。
第3回	第二言語としての英語 (後半)	英語を第二言語として学習することについての記事の後半の購読およびディスカッション。
第4回	スマートフォン	スマートフォンの利用について焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第5回	ソーシャルメディア	ソーシャルメディアの利用について焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第6回	インターネットと個人情報	インターネットでの個人情報の扱いについて焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第7回	課題の振り返り	これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。
第8回	Immigration (歴史)	イギリスの移民の歴史についての記事の購読およびディスカッション。

第 9 回	Immigration (文化)	イギリスの移民がもたらした文化についての記事の購読およびディスカッション。
第 10 回	Immigration (課題)	イギリスの移民によって生じている社会的課題についての記事の購読およびディスカッション。
第 11 回	TPP (自動車市場)	日米の自動車市場に対する考え方の違いについて焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第 12 回	TPP (非関税障壁)	アメリカ視点での日本の市場の問題点に焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	期末テスト	購読した記事を振り返るテストです。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

英字新聞の記事を配布します。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

平常点および課題 (60%)

期末テスト (40%)

欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: Before each class, students will be expected to spend one hour to read and prepare questions to ask.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

DONALD W WHYTE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The aim of this course is to give students the opportunity to consider current affairs, controversial topics, and other relevant topics in their environment. Students will think about both sides of an issue and how to structure an opinion. With particular focus on writing, the skills needed for clear communication will be examined.

【到達目標】

The goal of this course is to improve all aspects of English study with a focus on writing skills. Reading skills will be introduced to improve comprehension. Vocabulary exercises will aid in all aspects. There will be discussion in pairs and groups to share ideas and opinions. The basic structure of a paragraph will be studied so that students are able to organize their thoughts in a logical way. This will lead on to essay writing and then to a final paper. This will help students to prepare for a final presentation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In pairs and in groups, students will read, discuss and write about a variety of topics.

Homework will be given to prepare students for the following class.

Submission of assignments and individual feedback will be on the Learning Management System.

General feedback on assignments will be given in class.

If we cannot meet in the classroom, real time Zoom meetings will be arranged. In both cases, active participation is essential.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction to the course and the FIC-Writing Handbook	Students to write on a given topic for evaluation purposes
Week 2	The basic structure of a paragraph.	A model paragraph will be discussed.
Week 3	A breakdown of the components of a paragraph.	From topic sentence, through transition words to concluding sentence.
Week 4	The variety of paragraphs.	How to write time order, list order, space order and compare/contrast paragraphs.
Week 5	TEST 1	Students will be tested on their skill in writing a paragraph.
Week 6	From paragraph to essay.	Using a model, the difference between a paragraph and essay will be discussed.

Week 7	Using facts for support.	Facts give the writing more impact and validity than mere opinions.
Week 8	Appropriate topics. Considering both sides of an issue.	Brainstorming in groups to share ideas and opinions.
Week 9	Test 2	Students will be tested on their skill in writing an essay.
Week 10	From essay to final paper.	A model paper will be discussed.
Week 11	Research and references.	The need for a wide variety of sources and acknowledgment.
Week 12	Plagiarism.	How to summarize and paraphrase
Week 13	Submit final paper.	A hard copy to be submitted.
Week 14	Presentation of final paper.	Students will give a presentation and actively listen to others by writing a short response.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will be given to help students prepare for the following lesson.

Students are required to practice all reading and writing assignments at home so they can be spoken and read fluently in class. Presentations are to be researched and prepared outside of class.

It is recommended that students spend 1-2 hours a week outside of class so that they are properly prepared for the following class.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

FIC-Writing Handbook

【参考書】

Students are required to refer to various sources when researching for writing and presentation assignments. Most of which will be on the internet.

【成績評価の方法と基準】

Homework/classroom assignments 10%

Test 1 Paragraph - 20%

Test 2 Essay - 20%

Final paper - 40%

Presentation - 10%

Total - 100%

【学生の意見等からの気づき】

Nothing in Particular.

【Outline (in English)】

The aim of this course is to give students the opportunity to consider current affairs, controversial topics, and other relevant topics in their environment. Students will think about both sides of an issue and how to structure an opinion. With particular focus on writing, the skills needed for clear communication will be examined.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Controversial phenomena	Presentations about a controversial phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2015. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2300 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable in this case.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

【到達目標】

This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs

Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End-term Pre-sentations	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

【テキスト (教科書)】

Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】

A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

【学生の意見等からの気づき】

The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring a laptop.

【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Controversial phenomena	Presentations about a controversial phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

"The English Course Discussion Book Two", Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2015. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2300 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable in this case.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 2/Thu.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

【到達目標】

This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs

Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End-term Pre-sentations	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

【テキスト（教科書）】

Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】

A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

【学生の意見等からの気づき】

The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring a laptop.

【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted partly as an on-demand class using Google Classroom and partly in the classroom.

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.

9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.
10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 2/Thu.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted partly as an on-demand class using Google Classroom and partly in the classroom.

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.

9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.
10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghuldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者
I

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

【到達目標】

Students will practice skills needed to make effective use of their voices to achieve more natural communication. Students will also practice speaking in "ideas" rather than words. The course will use TED Talks and current news articles to enable students become more effective and proficient in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. We will also practice speaking through chanting of English poetry.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Outline of course, grading criteria and class policies. Access Google Classroom
2	Unit 1: Technology	Introduction of technology related Vocabulary; Practice A++ to encourage longer speaking
3	Technology	Discussions of Technology: Building on Original statements (BOOST)
4	Technology: Reading	BBC Articles - Transport systems. Practice different questions Yes/No/Key/Or
5	Technology: Presentation skills	TED Talk: Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
6	Unit 3: Culture	Introduction of Culture related Vocabulary; Oral Practice A++. Introduce Clancy

7	Culture	Theme Discussions. Build on Original Statement.
8	Culture Research a country	Continue Clancy Theme-related topic study. Negative Questions and TAG questions. Prepare a short presentation on main elements of culture
9	Culture:	Presentation Skills: Present about another culture using presentation aids.
10	Unit 5: Beliefs	Introduce key vocabulary for Belief systems. Discuss beliefs and culture.
11	Beliefs	Clancy ... cont. Listening and Shadowing. Prepare a short presentation.
12	Beliefs	Clancy ... cont. Make a short presentation about beliefs
13	Presentation	Make a presentation of Clancy of the Overflow. with rhythm and meter.
14	Review and Recap	Watch a TED Presentation and evaluate.

【Outline (in English)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Class preparation; There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of the total course value.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be issued during semester.

【成績評価の方法と基準】

Class Activities & Homework 30%

In-Class Worksheets 30%

Presentations 20%

Group /Pair / Class Participation 20%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

Change of textbook from previous years.

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. Students will be required to join the subject using "Classroom".

The Classroom Code for this subject is: msaidox

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者 II

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

【到達目標】

The goal of this course is to further enhance students' oral communication skills. Students will practice making both formal and informal presentations. Students will practice using punctuation to join and separate ideas and using gesture to emphasize ideas. Students will practice techniques to increase eye contact during presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The level of the material should suit students at a pre-intermediate level.

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. Students will gain critical thinking skills through comparison of different articles on the same topic. Students will also practice presentation skills including gesture, voice control, eye contact, using notes and timing of presentation.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Review Presentation Techniques; Presentation Practice
2	Unit 7: The News	Introduction of Theme - related Vocabulary; Oral Practice A++, Boost.
3	The News	Listening and Shadowing / Discussions of different News media.
4	The News	Prepare a small group presentation on the News. Introduce Ballads

5	TED Talk	How to make people WANT to listen. Analysis and Discussion of Presentation Skills.
6	Unit 9: Ecotourism	Introduction of Theme- related Vocabulary; Oral Practice A++ and Boost.
7	Ecotourism	Shadowing with Text Ballad presentation preparation
8	Ecotourism	Presentation or Debate about Eco-Tourism. Ballad Preparation
9	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
10	Unit 11: Environment	Introduction of Theme- related Vocabulary; Oral Practice A++, Boost
11	Environment	Environmental issues Discussions and Shadowing
12	Environment	BBC Articles - synthetic Foods Presentation
13	Ballad Presentation	Small group presentation: Analysis of a Ballad.
14	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like it to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised during course.

【成績評価の方法と基準】

Homework: 30%

In-Class Worksheets: 30%

Presentations: 20%

Pair and Group Participation: 20%

【学生の意見等からの気づき】

Nil

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. The Classroom Code for this subject is: 6s4gqmv

【Outline (in English)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者
I

ELIKO M KOSAKA

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

教科書の各ユニットで紹介される会話内容を用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。更に英語発音を上達させ、会話に役立てる語彙やフレーズを理解し、使いこなすためのアクティビティを通して、練習する。

【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

①各 Unit で使用される語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。

②英語の会話内容を効果的に聞き取り、内容を把握する。

③ダイアログ内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、口頭発表等を行う。

④授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	①オリエンテーション, ② Unit 1(dialogue and drills)
第 2 回	Unit 1, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 3 回	Unit 2	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 2 (dialogue and drills)
第 4 回	Unit 2, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 5 回	Unit 3	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 3 (dialogue and drills)
第 6 回	Unit 3, continued	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 7 回	Unit 4	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 4 (dialogue and drills)

第 8 回 Mid-term exam 目	1). mid-term exam 2). summary and feedback
第 9 回 Unit 4, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 10 回 Unit 5 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 5 (dialogue and drills)
第 11 回 Unit 5, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 12 回 Unit 6 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 6 (dialogue and drills)
第 13 回 Unit 6, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 14 回 Final Exam 目	1). Final exam 2). summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English
著者：Mary Tadokoro
出版者：朝日出版社
出版年：2018 年 第 5 刷発行
I S B N：978-4-255-15492-3

【参考書】

授業時に伝える。

【成績評価の方法と基準】

【評価方法】 積極的な参加 20%、中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%
Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the "CitiPals in New York" textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger command of vocabulary necessary to engage in effective conversation and foster the learner's ability to become more flexible and adaptable to various social settings. This will enable the learner to flexibly and comfortably converse in a diverse range of social settings and situations. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者 II

ELIKO M KOSAKA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

レベル 2,3 /※定員制（24 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書の各ユニットで紹介される会話内容を用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。更に英語発音を上達させ、会話に役立てる語彙やフレーズを理解し、使いこなすためのアクティビティを通して、練習する。

【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法

- ①各 Unit で使用される語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②英語の会話内容を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ダイアログ内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、口頭発表等を行う。
- ④授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回 Unit 8 目		①ガイダンス ② Unit 8 Airport (dialogue and drills)
第 2 回 Unit 8, continued. 目		① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 3 回 Unit 9 目		① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 9 (dialogue and drills)
第 4 回 Unit 9, continued 目		① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 5 回 Unit 10 目		① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 10 (dialogue and drills)
第 6 回 Unit 10 , continued. 目		① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise

第 7 回 Unit 11 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 11 (dialogue and drills)
第 8 回 Mid-term exam 目	① 中間試験 ② まとめと解説
第 9 回 Unit 11 , continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 10 回 Unit 12 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 12 (dialogue and drills)
第 11 回 Unit 12 , continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 12 回 Unit 13 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 13 (dialogue and drills)
第 13 回 Unit 13 , continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 14 回 Final Exam 目	① 期末試験 ② まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English
著者：Mary Tadokoro
出版者：朝日出版社
出版年：2018 年 第 5 刷発行
I S B N：978-4-255-15492-3

【参考書】

授業時に提示する

【成績評価の方法と基準】

【評価方法】 積極的な参加 20% , 中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%
Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the "CitiPals in New York" textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger command of vocabulary necessary to engage in effective conversation and foster the learner's ability to become more flexible and adaptable to various social settings. This will enable the learner to flexibly and comfortably converse in a diverse range of social settings and situations.
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者
I

LASSEGARD JAMES

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 /※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning practical English for communicating in a global society

【到達目標】

Although emphasis is on oral communication, students will practice and improve proficiency in all four language skills. Students should be able to express themselves clearly in discussions and during presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができる（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that encourage listening and speaking English. These activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations given by students on various topics of interest.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online using Google Classroom. Students may also correspond with the instructor using e-mail.

NOTE: For the month of April classes will be conducted ONLINE.

After the Golden Week Holiday, we will change to an in-person, face-to-face classroom format. Instructions will be provided for students who need to continue to take classes online from May.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: People and Events	Dialogue & textbook activities: grammar explanation. Pair & group work. Instructions on writing a short paragraph.
3	Unit 1 Video: Role models	Video Worksheet activities. Discussion and pair work. Reading homework.
4	Unit 2: Holidays and Festivals	Grammar review. Discussion. Review writing tips.
5	Unit 2: Celebrations	Video. Instructions on preparing for and giving presentations.
6	Unit 3: Trends and entertainment	Grammar review. Reading and discussion in small groups.
7	Unit 3: Trends pt. 2	Video content and worksheet: A hotel manager. Discussion. Quiz on Units 1-3.

8	Unit 4: Identity & Personality	Lecture: Describing people and their characteristics. Grammar review. Writing assignment.
9	Unit 4: Identity & Personality Pt. 2	Writing review. Video & worksheet Discussion
10	Student Presentations	Students will give short presentations in pairs/groups on topics from the previous 4 chapters.
11	Unit 5: Future Plans	Reading comprehension and vocabulary practice. Dialogue practice and writing.
12	Unit 5: Future Plans Pt.2	Students perform dialogues in class. Discussion about future goals and plans. Presentation preparations.
13	Unit 6: Changes & Life experiences	Reading and vocabulary review. Student give mini-presentations on topics TBA.
14	Unit 6 Changes & Life Experiences pt 2	Final quiz on Units 4-6. Course wrap up.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments prior to the next class session.
Approximately 1-2 hours of homework is required of students every week.

【テキスト（教科書）】

Speak Your Mind Level 2 (MacMillan publishing)
Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students should have a notebook and/or loose sheets of paper to take notes and to hand in homework.

【参考書】

References: Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

【成績評価の方法と基準】

Student Presentations: 50%
Quizzes, and other speaking and written assignments: 30%
Class Participation: 20%

【学生の意見等からの気づき】

Instructor will provide more online feedback when necessary for students.

【その他の重要事項】

Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester. Students who are absent during a test/quiz must contact the instructor to make it up within one week.
Arriving late to class twice = one absence (except for a good reason, such as illness or late trains)

【Outline (in English)】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students may also be required to write paragraphs and short essays.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者 II

LASSEGARD JAMES

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop practical oral communication skills for students to express themselves in English.

【到達目標】

Students will improve their ability to express themselves in English in order to participate effectively in discussion and will learn to give presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities, but emphasis will be on listening and speaking. These activities include role playing dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials. Students are expected to come to class prepared by doing the assigned reading and other homework.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online the University LMS. Students may also correspond with the instructor using e-mail or visit during office hours.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7: Work and Careers	Course introduction; Review of grammar using summer vacation reports. Reading and discussion on working lives.
2	Unit 7: Work & Careers Pt.2	Instructions and Practice in writing a resume or CV.
3	Unit 8: Hobbies and Pastimes	Video & Worksheet activities and discussion. Research assignment.
4	Unit 8 Pt. 2	Students report on research. Writing essays review.
5	Unit 9: Housing and Living arrangements	Reading assignment and discussion on types of housing. Next Presentation instruction.
6	Unit 9: Housing Pt. 2	Students give presentations in pairs. Review for midterm quiz.
7	Unit 10: Health & Wellbeing	Quiz on Units 7-9. Reading and discussion on study habits and work-life balance. Writing assignment
8	Unit 10: Wellbeing Pt. 2	Writing assignment due. Video content & worksheet. Discussion.

9	Unit 11: Recycling and the Environment	Lecture and discussion. Vocabulary practice.
10	Unit 11: Environment Pt. 2	Pairwork: writing dialogues. Students perform dialogue in class. Review tips on giving effective presentations.
11	Unit 12: Social Groups	Textbook Reading activities Reading, Discussion in pair and groups
12	Unit 12 Social groups and Networking.	Video worksheet and supplemental activities; final essay assignment due and vocabulary review.
13	Student Presentations	Quiz on Units 9-12 Student presentations
14	Class wrap up—End of year celebration	Return all quizzes and essays. Discussion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to prepare by reading ahead in the textbook, looking up unfamiliar vocabulary, and completing other activities assigned in class.

Approximately 1-2 hours of weekly homework are required of students in this class.

【テキスト（教科書）】

Speak Your Mind level 2 (MacMillan)

Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students must have a notebook/binder and/or loose sheets of paper.

【参考書】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic dictionaries are acceptable).

【成績評価の方法と基準】

Student Presentations: 50%

Quizzes and other speaking activities: 30%

Class participation: 20%

In principle, students are allowed no more than 3 unexcused absences during the semester. Two late notices are treated as one absence (unless for a good reason—such as train delays, etc.

【学生の意見等からの気づき】

Instructor will provide students with more online feedback when necessary.

【Outline (in English)】

While some attention will be given to all four skills, the emphasis is on oral communication, and we spend considerable classroom time practicing listening and speaking skills. Students will engage in classroom discussions, dialogue practice, and give short presentations on topics of interest.

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュ I

2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 4/Tue.4

単位数: 1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after

which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Unit 1: Pleased to meet you (1-6)	Introducing people Pages 7-10
3	Unit 1: Pleased to meet you (7-12)	Introducing people Pages 10-13
4	Unit 2: Who do you work for? (1-6)	Describing companies Pages 15-18
5	Unit 2: Who do you work for? (7-12)	Describing companies Pages 18-21
6	Unit 3: What do you do? (1-6)	Describing occupations Pages 23-25
7	Unit 3: What do you do? (7-12)	Describing occupations Pages 26-29
8	Unit 4: Can I leave a message (1-6)	Phone conversations Pages 31-34
9	Unit 4: Unit 4: Can I leave a message (7-12)	Phone conversations Pages 34-36
10	Unit 5: It's tough managing my time (1-6)	Describing time and schedules Pages 39-42
11	Unit 5: It's tough managing my time (7-12)	Describing time and schedules Pages 42-46
12	Unit 6 What do you call that thing? (1-6)	Talking about difficult words Pages 49-51

13	Unit 6 What do you call that thing? (7-12)	Talking about difficult words Pages 52-55
14	Student Pair Speaking Examination	Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material to increase their knowledge

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュⅡ

2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

レベル 3,4 / ※定員制（24 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Unit 7: How much is that in Korean Won? (1-6)	Talking about money Pages 57-59
3	Unit 7: How much is that in Korean Won? (7-12)	Talking about money Pages 59-62
4	Unit 8: You need to download a form (1-6)	Giving instructions Pages 65-67
5	Unit 8: You need to download a form (7-12)	Giving instructions Pages 68-72
6	Unit 9: Do you like Indonesian food? (1-6)	Describing food Pages 75-77
7	Unit 9: Do you like Indonesian food? (7-12)	Describing food Pages 77-81
8	Unit 10: Do you have the sales figures? (1-6)	Working with large numbers Pages 83-86
9	Unit 10: Do you have the sales figures? (7-12)	Working with large numbers Pages 86-91
10	Unit 11: Make sure you keep all receipts (1-6)	Giving advice / Business trips Pages 93-95

11	Unit 11: Make sure you keep all receipts (7-12)	Giving advice / Business trips Pages 96-99
12	Unit 12 When's the trade fair? (1-6)	Describing future plans Pages 101-103
13	Unit 12 When's the trade fair? (7-12)	Describing future plans Pages 103-108
14	Student Pair Speaking Examination	Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA

English Reading and Vocabulary 2017 年度以降入学者 I

ウォルター・カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Sustainable communities I	Keeping the social peace	Examining social goals for societies. Exploring cultural bonds.
Sustainable communities II	Social peace	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts.
Dilemma I	Tourists and value for a they bring to respon- sible tourist	How tourism affects our lives in both positive and negative ways.
Dilemma I	New trends of for a tourism respon- sible tourist	Ponder tourism negatives and positive outcomes
Dilemma II		

Protectin world her- itage I	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history
Protectin world her- itage II	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
No more Ba- nanas I	Engineered food and possible consequences	Quiz 1 Researching food sources and why variety is important
No more Ba- nanas II	Scientists develop strains and their goals	Science and its end goals and how they might ruin our health
Blowing whis- tles I	Corruption and its problems	Looking at corporate problems and how difficult they are to solve
Blowing whis- tles II	Witness to government waste	Trying to eliminate waste
Breaking the law I	Bad laws	Examining when do you have an obligation to protest
Breaking the law I	Well meaning laws	Quiz 2 Researching laws that don't cover all circumstances
Summary	Taking at look at useful words learned	Reviewing useful vocabulary and its parameters

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Some reading and vocabulary review.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Issues that matter - Kinseido

ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 20%

Homework 40%

Quizzes 40%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

English to English dictionary or web dictionary, paper, smartphone or PC

【その他の重要事項】

Blog work

Contact email

kasmersensei@gmail.com

【Outline (in English)】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA

English Reading and Vocabulary 2017 年度以降入学者 II

ウォルター・カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will acquire discussion skills to handle discussions about economic, political, and current events topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension,

taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food politics	Food politics	How do we get our food?
Food politics II	Sourcing our food	Positives and negatives of climate change on food sourcing
Food in-equal-ity I	Food and its effects on society	Look at how inequalities affect our food
Recycling	recycling and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
Recycling II	Covering aspects of structure and use of waste	Looking at waste usage
Blowing whis- tles	Whistle blowing vs leaking	How whistle blowing affects us
Blowing whis- tles II	Consequences of leaking	Government actions vs leaking
Protestin	Protesting	Reasons why people protest

Protesting II	Handling protests	Why people protest and how governments handle it
Fake news	Where does fake news come from?	Talking about fake vs real news
Fake news II	Social media and fake news	Why social media is full of it
review of unit	Review course of unit themes	Discussions of unit themes
ques- tions I		
review of unit	Review course of unit themes	Discuss course related themes.
issues and Sum- mary		
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
Prepare presentation material and review vocabulary lists. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.		
【テキスト（教科書）】		
Issues that matter- Kinseido ISBN 978-4-7647-4061-7		
【参考書】		
N/A		
【成績評価の方法と基準】		
Class participation 20% Homework 40% Quizzes 40%		
For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."		
【学生の意見等からの気づき】		
Require more use of English by students		
【学生が準備すべき機器他】		
English to English dictionary or web dictionary, paper, writing instrument		
【その他の重要事項】		
Contact email kasmersensei@gmail.com Blog work assigned		
【Outline (in English)】		
Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.		

LANe200LA
English Reading and Vocabulary 2017 年度以降入学者
I
ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】

1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing.
2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

This will be an online class so students should be prepared to use Zoom. Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
5	Unit 5	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.

6	Unit 6	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Midterm	Feedback
8	Unit 7	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
9	Unit 8	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 9	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 10	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 11	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 12	Learn new vocabulary. Reading story. Homework: prepare for final exam.
14	Final exam	feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles.

【テキスト（教科書）】

Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】

Book and Quizlet should be studied.

【成績評価の方法と基準】

50% quizzes and exams

25% writing exercises using new words

25% effort and participation

No more than 3 absences or missed assignments are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback

【学生が準備すべき機器他】

Internet enabled device to participate in class with Zoom. Students should also be familiar with Google classroom and Hoppii.

【Outline (in English)】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA

English Reading and Vocabulary 2017 年度以降入学者 II

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】

1. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
2. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 13	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 14	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 15	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 16	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
5	Unit 17	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
6	Unit 18	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion

7	Unit 19	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
8	Midterm Exam	Feedback
9	Unit 20	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 21	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 22	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 23	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 24	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
14	Final Exam	Review
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hour a week for a two-credit class for a 2 hour class and 1 hour a week for a 1 hour class.		
【テキスト（教科書）】		
Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback		
【参考書】		
None		
【成績評価の方法と基準】		
50% quizzes and exams 25% writing exercises using new words 25% effort and participation In principle, no more than 3 absences are allowed. Feedback will be given in class and via Google classroom.		
【学生の意見等からの気づき】		
None		
【Outline (in English)】		
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.		

LANe200LA

English Academic Writing I

2017 年度以降入学者

DYLAN O SCUDDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

【到達目標】

The goal of the course is to develop students' ability to recognize the elements of academic essays in order to perform successfully in an all English-speaking university environment. Students will work on expanding on their general knowledge of pursuing a question with the systematic and rigorous process expected in an English-speaking academic context.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a completely online course. For details, please see HOPPII, the University's Learning Management System. Feedback on class assignments will be provided by email and/or in one-on-one discussions between the lecturer and the student. Students may request additional feedback on class assignments at any time during the semester. Various themes related to life in the English-speaking world will be explored in depth. Students will be expected to not only participate in classroom activities, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to academic reading and writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
One	Thesis: What question do you want to explore? Is it the kind of question that you can answer in one semester? Remember: A good question includes a hint of the answer.	This class is based on Gordon Harvey's Elements of the Academic Essay. ・ Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.

Two	Motive: How did you choose your question, and why should it be interesting to other people?	- Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus. - Homework: You will receive a template, which you will use to complete your homework (always one page of 200-400 words). Your homework always addresses these 4 "learning cycle" questions: (1) your learning goals, (2) the challenges you are experiencing as you pursue your goals, (3) the approaches you are using to overcome these challenges and (4) your plans for your next steps. You will email the template with your classwork and homework to the instructor at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.	Eight	Sources: What have other people written about your topic? Have you showed where you agree and disagree with other people's research, and have you acknowledged these people in the citations and references parts of your essay?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.
			Nine	Reflecting: Have you presented and explained perspectives that contradict your perspective?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.
			Ten	Orienting: Have you provided sufficient explanation for your readers to understand how you explored your topic and why you interpret the information as you do?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.
Three	Evidence: What kinds of facts or examples will you use to support your thesis?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.			
Four	Analysis: How do you explain the evidence you found?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.			
Five	Keyterms: Have you explained the main terms and assumptions that you use in your essay?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.			
Six	Structure: In general, are the sections in your essay in a logical order? Does your essay follow a storyline or roadmap?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.			
Seven	Stitching: In particular, are there clear connections between the parts of your essay? For example, "In the previous section, ..." "In the next section, ..." and so on.	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.			
			Eleven	Stance: Have you maintained a consistent style of communication with your readers from the beginning to the end of your essay?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.
			Twelve	Style: Do you express your ideas in clear and simple terms?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.
			Thirteen	Title: Does your title provide the right amount of information to make readers curious? Your title should give readers the general direction, but also make them want to know more.	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.
			Fourteen	Based on the elements of academic essays that you have studied this semester, what question or problem would you choose for your essay?	Classwork: You will receive a template, which you will use to complete your classwork (always one page of 200-400 words) about the theme of this class described in the syllabus.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。Preparation and review should be around one hour per week. Preparation (homework) is a reflection paper of 200-400 words each week. The paper is based on (1) your learning goals, (2) the challenges you are experiencing as you pursue your goals, (3) the approaches you are using to overcome these challenges and (4) your plans for your next steps. Similar to your classwork, you will write your homework using a template that I will give you. You will submit your homework together with your classwork by the end of each class.

【テキスト（教科書）】

No textbook required this semester.

【参考書】

Any recommended references will be provided during class.

【成績評価の方法と基準】

Note: In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Assuming that students are absent 3 times or less, their performance will be graded as described below.

Classwork: 50%

Homework: 50%

All classwork must be submitted via email by the end of each class to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp. The classwork requires answering 3-4 questions in the textbook each week. You can always find the classwork assignment for each class in the syllabus. You will submit the classwork to me by the end of each class using a classwork template that I will give you. Your classwork each week will be one page (200-400 words). As written above, you will submit your classwork together with your homework by the end of each class by email to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.

All homework must be submitted via email by the end of each class to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp. You will write your homework using a template that I will give you. Your homework each week will also consist of one page (200-400 words). You will submit your homework together with your classwork by the end of each class to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.

There are no points for incomplete or late assignments.

In summary, if you complete and submit all the classwork and homework on time, you can expect a correspondingly good grade.

【学生の意見等からの気づき】

Nothing in particular.

【学生が準備すべき機器他】

In order to complete and submit the classwork and homework for this class, you will need a computer and an internet connection.

【Outline (in English)】

I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

LANe200LA

English Academic Writing II

2017 年度以降入学者

DYLAN O SCUDDER

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

【到達目標】

The goal of the course is to develop students' ability to recognize the elements of academic essays in order to perform successfully in an all English-speaking university environment. Students will work on expanding on their general knowledge of pursuing a question with the systematic and rigorous process expected in an English-speaking academic context.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This is a completely online course. For details, please see HOPPII, the University's Learning Management System. Feedback on class assignments will be provided by email and/or in one-on-one discussions between the lecturer and the student. Students may request additional feedback on class assignments at any time during the semester. Various themes related to life in the English-speaking world will be explored in depth. Students will be expected to not only participate in classroom activities, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to academic reading and writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
One	Thesis: What question do you want to explore? Is it the kind of question that you can answer in one semester? Remember: A good question includes a hint of the answer.	You will receive a template, which you will use to complete the first element of your essay. You will email this first part of your essay by the end of class to the instructor at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Two	Motive: How did you choose your question, and why should it be interesting to other people?	You will receive a template, which you will use to complete the second element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.

Three	Evidence: What kinds of facts or examples will you use to support your thesis?	You will receive a template, which you will use to complete the third element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.	Eleven	Stance: Have you maintained a consistent style of communication with your readers from the beginning to the end of your essay?	You will receive a template, which you will use to complete the eleventh element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Four	Analysis: How do you explain the evidence you found?	You will receive a template, which you will use to complete the fourth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.	Twelve	Style: Do you express your ideas in clear and simple terms?	You will receive a template, which you will use to complete the twelfth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Five	Keyterms: Have you explained the main terms and assumptions that you use in your essay?	You will receive a template, which you will use to complete the fifth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.	Thirteen	Title: Does your title provide the right amount of information to make readers curious? Your title should give readers the general direction, but also make them want to know more.	You will receive a template, which you will use to complete the thirteenth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Six	Structure: In general, are the sections in your essay in a logical order? Does your essay follow a storyline or roadmap?	You will receive a template, which you will use to complete the sixth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.	Fourteen	Confirm that your essay includes all the elements of academic essays that were covered this semester.	Submit the final version of your essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Seven	Stitching: In particular, are there clear connections between the parts of your essay? For example, “In the previous section, …” “In the next section, …” and so on.	You will receive a template, which you will use to complete the seventh element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 No textbook required this semester. 【参考書】 Any recommended references will be provided during class. 【成績評価の方法と基準】 Note: In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Assuming that students are absent 3 times or less, their performance will be graded as described below. Classwork: 50% Homework: 50% All classwork must be submitted via email by the end of each class to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp. The classwork requires answering 3-4 questions in the textbook each week. You can always find the classwork assignment for each class in the syllabus. You will submit the classwork to me by the end of each class using a classwork template that I will give you. Your classwork each week will be one page (200-400 words). As written above, you will submit your classwork together with your homework by the end of each class by email to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp. All homework must be submitted via email by the end of each class to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp. You will write your homework using a template that I will give you. Your homework each week will also consist of one page (200-400 words). You will submit your homework together with your classwork by the end of each class to dylan.scudder.67@hosei.ac.jp. There are no points for incomplete or late assignments. In summary, if you complete and submit all the classwork and homework on time, you can expect a correspondingly good grade. 【学生の意見等からの気づき】		
Eight	Sources: What have other people written about your topic? Have you showed where you agree and disagree with other people’s research, and have you acknowledged these people in the citations and references parts of your essay?	You will receive a template, which you will use to complete the eighth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.			
Nine	Reflecting: Have you presented and explained perspectives that contradict your perspective?	You will receive a template, which you will use to complete the ninth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.			
Ten	Orienting: Have you provided sufficient explanation for your readers to understand how you explored your topic and why you interpret the information as you do?	You will receive a template, which you will use to complete the tenth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.			

【学生が準備すべき機器他】

In order to complete and submit the classwork and homework for this class, you will need a computer and an internet connection.

【その他の重要事項】

Nothing in particular.

【Outline (in English)】

I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

LANe200LA

English Academic Writing I

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing I subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 1a	Writing a paragraph about me	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write expository paragraphs and topic sentences
Unit 1b	Analysis of written assignment 1	Reading and selecting best paper. Focusing on paragraph format
Unit 2a	Writing a paragraph about another students possible career	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write logical conclusions
Unit 2b	Analysis of written assignment 2	Reading and selecting best paper. Focusing on the use of conjunctions
Unit 3a	Writing a paragraph about your partner's future success	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to support topic sentences with facts and examples

Unit 3b	Analysis of written assignment 3	Reading and selecting best paper. Focusing on direct and indirect speech
Unit 4a	Writing a paragraph about an invention	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write definition paragraphs and attention getters
Unit 4b	Analysis of written assignment 4	Reading and selecting best paper. Focusing on avoiding repetition
Unit 5a	Writing a paragraph about an important event in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write cause-and-effect and introductory paragraphs
Unit 5b	Analysis of written assignment 5	Reading and selecting best paper. Focusing on cause-and-effect words
Unit 6a	Writing a paragraph about an exciting destination	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write process paragraphs and make suggestions
Unit 6b	Analysis of written assignment 6	Reading and selecting best paper. Focusing on using modifiers
End-term assignment	Final assignment feedback	Final assignment feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

【参考書】

A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】

Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language.

【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing II

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing II subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 7a	Writing a research report about your classmates	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write classification and concluding paragraphs
Unit 7b	Analysis of written assignment 7	Reading and selecting best paper. Focusing on punctuation
Unit 8a	Writing an article about good and bad interview techniques	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write comparison and contrast paragraphs
Unit 8b	Analysis of written assignment 8	Reading and selecting best paper. Focusing on giving advice
Unit 9a	Writing a letter to your future self about your goals	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write persuasive paragraphs

Unit 9b	Analysis of written assignment 9	Reading and selecting best paper. Focusing on parallel construction
Unit 10a	Writing a composition about your own dorm design	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write division paragraphs
Unit 10b	Analysis of written assignment 10	Reading and selecting best paper. Focusing on articles
Unit 11a	Writing a composition about an important person in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to link paragraphs
Unit 11b	Analysis of written assignment 11	Reading and selecting best paper. Focusing on subject-verb agreement
Unit 12a	Writing a newspaper article	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write in objective, persuasive or entertaining styles
Unit 12b	Analysis of written assignment 12	Reading and selecting best paper. Focusing on verb variety
End-term assignment	Final assignment	Analysis of end-term assignments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

【参考書】

A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】

Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language.

【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing I

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

【到達目標】

The student will be able to prepare a paragraph with the basic structure of: Topic sentence (with Main Idea), supporting ideas and detail sentences.

Students will be able to communicate his/her thoughts, in written format, to an Academic audience. The course will cover: paragraph development, grammar structures for different paragraph styles and paragraph organization.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students will work in pairs or groups to develop paragraphs. In-class worksheets and homework assignments will check the students understanding of the different paragraph styles. Videos of Academic presentations will be used to compare the similarities between written and oral presentations.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introductions Course overview Assessment Classroom Management
2.	Process Writing	Six Steps of Academic Writing. Using outlines
3.	Getting ready: Mini-Test	Choosing a Topic Brainstorming Editing Describing a photograph
4.	Paragraph structure	Topic Sentence Supporting sentences Concluding sentence
5.	Paragraph Development	Styles of support Detail, Explanation, Example.
6.	Peer editing	Give constructive feedback using on-line sharing.

7.	Descriptive Writing	Using Adjectives: describing people and places.
8.	Descriptive Paragraphs	Describing a process using connectors.
9.	Organising ideas	Keeping ideas connected and in order
10.	Opinion Paragraphs	Introduce opinion v.s. fact, opinion paragraphs discussion, homework
11.	Opinion Paragraphs	Persuade your readers to accept your opinion
12.	Modal Auxiliary Verbs	Grammar Review.
13.	Using Causal Adverbs	Describing causes and effects in paragraphs.
14.	Presentation	Present your paragraphs to your peers

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

3 Homework assignments writing different styles of paragraph. Pre-reading of articles.

All assignments written in digital format and submitted via Google Classroom.

To assist in providing feedback, Google Docs format is preferred.

【テキスト（教科書）】

"Writing Essays: From Paragraph to Essay" by Dorothy E Zemach and Lisa A Ghuldu MACMILLAN Writing Series.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 30%

Worksheet Assignments: 30%

Pair and Group Participation: 20%

Presentation: 10%

Mini-test: 10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Please download Google Classroom to your device before our first class. The "Course Code is: quedeqp

【Outline (in English)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

LANe200LA

English Academic Writing II

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.

Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

【到達目標】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills for interview situations and written English tests (IELTS / TOFEL) where candidates have a limited time to prepare an essay. A final document will be a document suitable for submission as an academic essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in pair work and small groups. Students will also practice using peer editing with online documents. In a final presentation, the student will demonstrate their understanding of the features of an academic essay.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Comparing Paragraphs	Structures to compare similar ideas
3.	Contrasting Paragraphs	Structures to contrast dissimilar ideas
4.	Block Organization vs Point-by Point Organization	Different ways to present similar / contrasting ideas
5.	Advantages / Disadvantages	Making arguments for and against proposals
6.	Conditional Statements	Using conditional statements to support an argument.
7.	Problem / Solution Paragraphs	Linking problems with solutions

8.	Writing Essays TOEIC Writing Test	Thesis statements
9.	Writing Essays	Writing thesis statements
10.	Outlining Essays TOEFL Writing Test	Using modern software to create an essay outline.
11.	Outline development	Filling in the details
12.	Developing the Introduction and conclusion IELTS Writing Test	The introduction to thesis statement. Linking the Conclusion to the thesis
13.	Presentation	Present your Essay to the class
14.	Review	Present your Essay to the class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

3 or more short Homework assignments will be set. There will also be preparation of a presentation identifying the key components of an academic essay.

【テキスト（教科書）】

"Writing Essays from Paragraph to Essay" by D.E. Zemach and Lisa A Ghulldu, MACMILLIAN Writing Series.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework assignments: 20%

Classroom Worksheets: 20%

Pair and Group Participation: 20%

Presentation: 10%

Writing Tests: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Please download "Google Classroom" to your laptop or tablet at the start of semester. The Course Code is: dwd36fk

【Outline (in English)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process."

Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの 1 つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2 つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1 文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝えるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として 2～3 回の授業で 1 章分というペースで進めることを目標とします。1 章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。各適宜、グループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	A Life Without Plastic プラなし生活を始めよう（前半）	記事を講読します。
第 3 回	A Life Without Plastic プラなし生活を始めよう（後半）	記事を講読します。
第 4 回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags ルワンダ発：ビニール袋は使えません（前半）	記事を講読します。
第 5 回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags ルワンダ発：ビニール袋は使えません（後半）	記事を講読します。

- 第 6 回 **An Epidemic of Overweight Africans** ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇（前半） 記事を講読します。
- 第 7 回 **An Epidemic of Overweight Africans** ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇（後半） 記事を講読します。
- 第 8 回 課題の振り返り これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。
- 第 9 回 **West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside** タイ発：危険なりサイクル（前半） 記事を講読します。
- 第 10 回 **West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside** タイ発：危険なりサイクル（後半） 記事を講読します。
- 第 11 回 **College Cheating, A Global Business** 宿題はゴーストライターにお任せ（前半） 記事を講読します。
- 第 12 回 **College Cheating, A Global Business** 宿題はゴーストライターにお任せ（後半） 記事を講読します。
- 第 13 回 まとめ方を考察する 記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
- 第 14 回 期末テスト 講読した記事を振り返るテストです。

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: Before each class, students will be expected to spend one hour to read and prepare questions to ask.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・ニューヨークタイムズ世界見聞、喜多留女／Keith Wesley ADAMS 編注、英宝社。（2,100 円＋税）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

平常点および課題（60%）

期末テスト（40%）

欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【その他の重要事項】

受講希望者が多数の場合、初回の授業時に選抜を行う可能性があります。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル: マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 3/Tue.3

単位数: 1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの 1 つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2 つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1 文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として 2～3 回の授業で 1 章分というペースで進めることを目標とします。1 章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発: 教室の映像、全国に生配信中 (前半)	記事を講読します。
第 3 回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発: 教室の映像、全国に生配信中 (後半)	記事を講読します。

第 4 回 Last Chance Travel' 記事を講読します。

As the World

Changes

失われゆく土地を目指

す旅 (前半)

第 5 回 Last Chance Travel' 記事を講読します。

As the World

Changes

失われゆく土地を目指

す旅 (後半)

第 6 回 Chinese Babies, 記事を講読します。

Born Into Canadian

Citizenship

カナダ発: 出生地主義

の土地に妊婦殺到

(前半)

第 7 回 Chinese Babies, 記事を講読します。

Born Into Canadian

Citizenship

カナダ発: 出生地主義

の土地に妊婦殺到 (後

半)

第 8 回 課題の振り返り これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。

第 9 回 Human Contact Is 記事を講読します。

Now a Luxury Good

タブレットの中で猫を

飼う (前半)

第 10 回 Human Contact Is 記事を講読します。

Now a Luxury Good

タブレットの中で猫を

飼う (後半)

第 11 回 With Cloning, Pet 記事を講読します。

Owners in China

Need Never Say

Goodbye

中国発: あなたのペッ

ト、クローンで蘇りま

す (前半)

第 12 回 With Cloning, Pet 記事を講読します。

Owners in China

Need Never Say

Goodbye

中国発: あなたのペッ

ト、クローンで蘇りま

す (後半)

第 13 回 まとめ方を考察する 記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。

第 14 回 期末テスト 講読した記事を振り返るテストです。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト (教科書)】

・ニューヨークタイムズ世界見聞、喜多留女 / Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社。(2,100 円 + 税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

平常点および課題 (60%)

期末テスト (40%)

欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。

授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: Before each class, students will be expected to spend one hour to read and prepare questions to ask.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

岩坪 友子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の多様な動向を題材とする英文を通して、そこで提起される問題について知識や国際的な視野を養いながら、大学レベルで求められる英文を読み通す力を身につけることを目的とします。英文の構成・表現・音声に慣れ親しみ、リスニング力、表現力の向上も目指します。

【到達目標】

- (1) 現代社会の多様な問題を扱う英文を読んで、構成・内容を効果的に把握し、説明できる
- (2) 教材レベルの英語の音声を聞いて、内容を理解できる
- (3) 伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (4) 英文で取り上げられる現代社会の多様な問題について理解・関心を深め、自分の見解を説明できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って内容把握問題の確認、英文の構成・内容・表現の確認、テーマについての意見交換を行います。文章全体と各パラグラフの構成に注目しつつ要旨の把握を主眼とし、リーディング・スキルの向上を目指します。教材の英文を、意味内容を理解する対象としてだけでなく、論理的なエッセイのモデルとしても意識することで、使う目線から便利な語彙・構文をピックアップし、語彙力・表現力の向上を目指します。ペアやグループで、日本語や英語での要約練習や意見交換を練習します。付属音声を発音や音読のモデルとして意識して活用し、(読解にも役立つ) 音読練習を行います。単語の強勢・抑揚・間の取り方などに留意して、自然で明瞭な発音を目指します。予習・復習や理解・考察などについて、その場で指名して答えてもらったり、小テストや課題で確認します。質問や小テスト・課題等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。また、BBC や TED などを活用した関連テーマについてのリスニングも練習します。※ 2 回の授業で 1 ユニット、扱うユニットの順序は下記授業計画のように予定しています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方・評価について。
2	Unit 5 Remote Work: A new way to live and work 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
3	Unit 5 Remote Work: A new way to live and work 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング
4	Unit 3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
5	Unit 3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング

6	Unit 4 Universal Basic Income: An idea whose time has come? 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
7	Unit 4 Universal Basic Income: An idea whose time has come? 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング
8	Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
9	Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body 理解と考察 Unit 16 New Solar Power: A breakthrough in clean energy 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。テーマ関連リスニング。
10	Unit 8 Social Media: Big tech's addiction to addiction 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
11	Unit 8 Social Media: Big tech's addiction to addiction 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。テーマ関連リスニング。
12	Unit 10 Happiness: What is the secret? 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
13	Unit 10 Happiness: What is the secret? 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。テーマ関連リスニング。
14	期末試験。春学期のまとめ	授業内試験。解説。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。※予習 → 授業 → 復習を基本のセットとし、予習して目標を持って授業に毎回出席し、理解を深めながら積極的に参加、復習で苦手克服・実力向上を目指します。

①予習：(1) テキスト問題を解き、根拠も言えるよう準備 (2) 文章の主旨の把握につとめる。未知の語句は文脈から類推し、辞書で確認する (3) 文章構成を意識して、パラグラフごとの要約（1～2 文程度）を練習する (4) ダウンロード音声の区切り・抑揚・明瞭な発音に留意して音読練習する ②復習：(1) 理解を確認しながらテキストを再読。重要表現などは書いて声に出して定着させる (2) ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイングする (3) テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う (4) 題材に対する自分の意見を言う (5) 書籍やウェブサイト等で関連情報収集、知識・視野を広げる ※指示されたリスニング教材は、(1) まずスクリプトなしで大意の把握を目指し (2) 次にスクリプト付きで細部の確認を目指して、繰り返し聞く

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、*Understanding the World Today*（現代を取り巻く新しい真実）成美堂、本体 1,900 円 ※関連資料は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み・小テスト／課題など）70%、期末テスト 30% の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)(4) の達成度に照らして評価します。※欠席が 4 回以上になると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

幅広いトピックや意見交換が有益だった、文章構成や使える表現への着目が役立ったなどの意見があり、みなさんの取り組みをサポートする内容・手法の充実を図っていききたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。授業の連絡事項や課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【その他の重要事項】

受講希望者は必ず初回授業に出席してください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students develop their reading skills through reading essays on a wide range of issues in the world today and thinking critically about them. Students will also improve their listening skills through listening to short talks and conversations on a variety of related topics.

The goals are to develop the abilities to understand and summarize the essays accurately, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively and communicate one's opinions and ideas about the topics.

Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, answering questions and listening to a recording) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least an hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (70%), final examination (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

岩坪 友子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の多様な動向を題材とする英文を通して、そこで提起される問題について知識や国際的な視野を養いながら、大学レベルで求められる英文を読み通す力を身につけることを目的とします。英文の構成・表現・音声に慣れ親しみ、リスニング力、表現力の向上も目指します。

【到達目標】

- (1) 現代社会の多様な問題を扱う英文を読んで、構成・内容を効果的に把握し、説明できる
- (2) 教材レベルの英語の音声を聞いて、内容を理解できる
- (3) 伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (4) 英文で取り上げられる現代社会の多様な問題について理解・関心を深め、自分の見解を説明できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って内容把握問題の確認、英文の構成・内容・表現の確認、テーマについての意見交換を行います。文章全体と各パラグラフの構成に注目しつつ要旨の把握を主眼とし、リーディング・スキルの向上を目指します。教材の英文を、意味内容を理解する対象としてだけでなく、論理的なエッセイのモデルとしても意識することで、使う目線から便利な語彙・構文をピックアップし、語彙力・表現力の向上を目指します。ペアやグループで、日本語や英語での要約練習や意見交換を練習します。付属音声を発音や音読のモデルとして意識して活用し、(読解にも役立つ) 音読練習を行います。単語の強勢・抑揚・間の取り方などに留意して、自然で明瞭な発音を目指します。予習・復習や理解・考察などについて、その場で指名して答えてもらったり、小テストや課題で確認します。質問や小テスト・課題等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。また、BBC や TED などを活用した関連テーマについてのリスニングも練習します。※ 2 回の授業で 1 ユニット、扱うユニットの順序は下記授業計画のように予定しています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 11 Dialects: How English is spoken across the world 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
2	Unit 11 Dialects: How English is spoken across the world 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング
3	Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak? 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
4	Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak? 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング

5	Unit 15 Memory Hack: The one study habit every student needs to know 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
6	Unit 15 Memory Hack: The one study habit every student needs to know 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング
7	Unit 16 New Solar Power: A breakthrough in clean energy 導入 Unit 6 Tricks of the Trade: How companies get us to spend 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
8	Unit 16 New Solar Power: A breakthrough in clean energy 理解と考察 Unit 6 Tricks of the Trade: How companies get us to spend 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング
9	Unit 18 International Space Station: Is it worth the money? 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
10	Unit 18 International Space Station: Is it worth the money? 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング
11	Unit 19 Healthspan: Changing the way we age 導入	語彙・大意把握・意見交換。関連リスニング
12	Unit 19 Healthspan: Changing the way we age 理解と考察	要約・詳細と表現・意見交換。関連リスニング
13	Unit 17 Vaccines: A history of keeping us safe	大意把握・要約・詳細と表現・意見交換
14	期末試験。秋学期のまとめ	授業内試験。解説。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。※予習 → 授業 → 復習を基本のセットとし、予習して目標を持って授業に毎回出席し、理解を深めながら積極的に参加、復習で苦手克服・実力向上を目指します。

①予習：(1) テキスト問題を解き、根拠も言えるよう準備 (2) 文章の主旨の把握につとめる。未知の語句は文脈から類推し、辞書で確認する (3) 文章構成を意識して、パラグラフごとの要約 (1~2 文程度) を練習する (4) ダウンロード音声の区切り・抑揚・明瞭な発音に留意して音読練習する ②復習：(1) 理解を確認しながらテキストを再読。重要表現などは書いたり声に出して定着させる (2) ダウンロード音声を (テキストを見ながら／見ないで) リピート／シャドーイングする (3) テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言ってみる (4) 題材に対する自分の意見を言ってみる (5) 書籍やウェブサイト等で関連情報収集、知識・視野を広げる ※指示されたリスニング教材は、(1) まずスクリプトなしで大意の把握を目指し (2) 次にスクリプト付きで細部の確認を目指して、繰り返し聞く

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、*Understanding the World Today*（現代を取り巻く新しい真実）成美堂、本体 1,900 円 ※関連資料は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業への取り組み・小テスト／課題など) 70%、期末テスト 30% の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)(4) の達成度に照らして評価します。※欠席が 4 回以上になると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

幅広いトピックや意見交換が有益だった、文章構成や使える表現への着目が役立ったなどの意見があり、みなさんの取り組みをサポートする内容・手法の充実を図っていきたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。授業の連絡事項や課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【その他の重要事項】

受講希望者は必ず初回授業に出席してください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students develop their reading skills through reading essays on a wide range of issues in the world today and thinking critically about them. Students will also improve their listening skills through listening to short talks and conversations on a variety of related topics.

The goals are to develop the abilities to understand and summarize the essays accurately, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively and communicate one's opinions and ideas about the topics.

Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, answering questions and listening to a recording) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least an hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (70%), final examination (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が 3 つか 4 つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Chapter 1	Going Viral
第 3 回	Chapter 2	Tourist Traps
第 4 回	Chapter 3	Deal Me In
第 5 回	Chapter 1 ～ Chapter 3 のまとめ	Chapter 1 ～ Chapter 3 の中のいずれかについて、ライティング
第 6 回	Chapter 4	Full Contact
第 7 回	Chapter 5	Fake News
第 8 回	Chapter 6	Dead as a Dodo
第 9 回	Chapter 7	It's a Dry Heat
第 10 回	Chapter 4 ～ Chapter 7 のまとめ	Chapter 4 ～ Chapter 7 の中のいずれかについて、ライティング
第 11 回	Chapter 8	Man's Best Friend
第 12 回	Chapter 9	The Wild West
第 13 回	Chapter 10	Man versus Beast
第 14 回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各 Chapter の英文について、必ず予習をすること。

適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く
変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、1,900 円 (税別))
配布プリントで授業を行うことがある。
英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50 %)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50 %) によって総合的に評価する。

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や、授業中の不適切な態度によっては、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に揭示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に揭示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各 Chapter の本文は 900words 程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),
Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体的内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が 3 つか 4 つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Chapter 11	A Perfect World
第 3 回	Chapter 12	Modern Frankenstein
第 4 回	Chapter 13	Tinted Lenses
第 5 回	Chapter 11 ～ Chapter 13 のまとめ	Chapter 11 ～ Chapter 13 の中のいずれかについて、ライティング
第 6 回	Chapter 14	Get Well Soon
第 7 回	Chapter 15	The Need for Speed
第 8 回	Chapter 16	Time Travel
第 9 回	Chapter 17	The Great Unknown
第 10 回	Chapter 14 ～ Chapter 17 のまとめ	Chapter 14 ～ Chapter 17 の中のいずれかについて、ライティング
第 11 回	Chapter 18	The Endgame
第 12 回	Chapter 19	Heads Up
第 13 回	Chapter 20	Destination Mars
第 14 回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各 Chapter の英文について、必ず予習をすること。
適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く
変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、1,900 円 (税別))
配布プリントで授業を行うことがある。
英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50 %)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50 %) によって総合的に評価する。
4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。
授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。
スマートフォンの不適切な使用や、授業中の不適切な態度によっては、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に揭示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に揭示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各 Chapter の本文は 900words 程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.
Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),
Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル: マスメディアで読む世界情勢

余田 剛

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 2/Fri.2

単位数: 1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】

この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程度の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

The Japan News, Newsweek, The Guardian を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1 パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約をしてもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。
予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明（選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選抜必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。）
2	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読

3	リスニング演習＋記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ The Japan News のアジアある いは中東に関する記事の本論前半 部講読
4	リスニング演習＋記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ The Japan News のアジアある いは中東に関する記事の本論後半 部講読
5	リスニング演習＋記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ The Japan News のアジアある いは中東に関する記事の結論部講 読
6	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する 記事の序論部講読
7	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する 記事の本論前半部講読
8	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する 記事の本論後半部講読
9	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する 記事の結論部講読
10	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関す る記事の序論部講読
11	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関す る記事の本論前半部講読
12	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関す る記事の本論後半部講読
13	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを 題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関す る記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授 業内試験あるいはレポート、まと めと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
辞書を使って記事をしっかりと読んでくること。

【テキスト（教科書）】

資料を配布する。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験の成績（60 %）と平常点（40 %）とから総合的に評価する。欠
席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達する
ごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから
30 分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、
交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ
高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中であてた際一
人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材
やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働
きかけを心掛けたいと思います。

【Outline (in English)】

・ This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed. The aim of this course is to help students improve English reading and listening skills, deepen the knowledge about political and other aspects of modern society in various countries, and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant paragraphs from the designated articles. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (60%) and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル: マスメディアで読む世界情勢

余田 剛

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 2/Fri.2

単位数: 1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】

この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Newsweek, The Guardian, The New York Times を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1 パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約をしてもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明 (選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選択必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。)
2	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読
3	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読

4	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読
5	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかりと読んでくること。

【テキスト (教科書)】

資料を配布する。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験の成績 (60 %) と平常点 (40 %) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中であてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

【Outline (in English)】

・ This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed. The aim of this course is to help students improve English reading and listening skills, deepen the knowledge about political and other aspects of modern society in various countries, and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant paragraphs from the designated articles. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (60%) and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして文化、また人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会、そして文化について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。]

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部: Lesson A では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部: Lesson B では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部として、第 1 部、第 2 部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talk に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第 1 部]

第 2 週 Topic: Interdisciplinary

第 5 週 Topic: Business/ Leadership

第 8 週 Topic: Life Science

第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

[第 2 部]

第 3 週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第 6 週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
 第 9 週: TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
 第 12 週: TED TALK by Jessi Arrington: Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja
 [第 3 部]
 第 4 週: TED TALK by Matt Cutts: Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
 第 7 週: TED TALK by Tom Wujec: Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
 第 10 週: TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
 第 13 週: TED TALK by Jessi Arrington: Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja
 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes
 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	What is TED?
第 2 週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic: Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第 5 週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic: Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...etc.
第 7 週	Unit 2: Team Power	Check sheet summarizing and stating opinions
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Lesson A Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas and key details,... etc.

第 10 週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic: Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions
第 14 週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習: 学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。

復習: 扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題: 授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Matt Cutts: Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

TED TALK by Tom Wujec: Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

TED TALK by Jessi Arrington: Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、配布資料

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準: 授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

This Online English course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Zoom and Hoppii.

[Overall Objectives]

To help students

・ increase vocabulary

・ improve their reading/listening comprehension skills

- ・ understand English sentences without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a paragraph
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 /※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。]

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、セメスター終盤には、第 3 部として、学習したトピックをひとつ選び、更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第 1 部]

第 2 週 Topic: Architecture and Design

第 5 週 Topic: Communication/ Sociology

第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology

[第 2 部]

第 3 週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

第 6 週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第 9 週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

[第 3 部]

第 4 週: TED TALK by Iwan Baan: Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

第 7 週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第 10 週: TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

第 11 週~13 週: Your favorite TED Talk

<https://www.ted.com/>

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業の進め方についての説明 目標の確認
第 2 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Architecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 7 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第 8 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 10 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your favorite TED talk.

第 12 週 Your favorite TED The Summary of the talk
talk

第 13 週 Your favorite TED Your own idea on the talk
talk

第 14 週 final test final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習: 学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習: 扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題: 授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Iwan Baan: Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準: 授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく多く英語を使う場を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

This Online English course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Zoom and Hoppii.

[Overall Objectives]

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand English sentences without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a paragraph
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment: 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフから成る記事を題材として、今社会を取り巻く経済不況や災害、環境問題や文化などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方などを発表などを通して身に付けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業（資料配布型）とする。

ほぼ 2 回の授業で 1 つの Chapter を学習する。1 回目の授業では各自記事を読んで TF 内容問題に取り組み、Answer sheet を配布するので帰りに解答を記入して Hoppii を通して提出する。2 回目の授業では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、自分の考えをまとめる。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

授業で取り上げる Chapter は以下の 6 つとする

Chapter 1,4,5,7,8,10

前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業では exercise を解きながら精読する。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 履修者の決定	ここで履修者を決定するので、履修希望者は必ず初回アンケートに回答して LMS を通して提出すること。
2	Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 4/20

3	Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong	本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think? (英語解答) 主にグループワークで行う。
4	Unit 4 Universal Basic Income: An idea whose time has come?	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 5/11
5	Unit 4 Universal Basic Income: An idea whose time has come?	Unit 1 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think? (英語解答) 主にグループワークで行う。
6	Unit 5 Remote Work: A new way to live and work	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 5/23
7	Unit 5 Remote Work: A new way to live and work	Unit 4 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think? (英語解答) 主にグループワークで行う。
8	Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 6/8
9	Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body	Unit 5 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think? (英語解答) 主にグループワークで行う。
10	Unit 8 Social Media: Big Tech's addiction to addiction	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 6/22
11	Unit 8 Social Media: Big Tech's addiction to addiction	Unit 7 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think? (英語解答) 主にグループワークで行う。
12	Unit 10 Happiness: What is the secret?	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 7/6
13	Unit 10 Happiness: What is the secret?	Unit 8 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think? (英語解答) 主にグループワークで行う。
14	これまでのまとめと期末試験	Unit 10 語彙小テスト これまでのまとめ 期末試験

【テキスト (教科書)】

Understanding the World Today 現代を取り巻く新しい真実
Dave Rear 著
成美堂 2090 円 (税込み)

【参考書】

特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

- オンライン時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1 点×10 問= 10 点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)
- 対面時 授業内課題提出 10%

- 対面時小テスト 10 点×6 回分 60 点 30%
- 期末試験 50%

*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている (空欄の内容全て解答している)、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は 3 回までとする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

オンライン授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各 Unit の Key Vocabulary を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿った TF 問題に真剣に取り組む。(Key Vocabulary, TF は採点する。)本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解に関しての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

LANe200LA	
英語で学ぶ社会と文化Ⅱ	2017 年度以降入学者
サブタイトル：社会と文化の諸相を知る	
大曲 陽子	

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフから成る記事を題材として、今社会を取り巻く経済不況や災害、環境問題や文化などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方などを発表などを通して身に付けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業（資料配布型）とする。

ほぼ 2 回の授業で 1 つの Chapter を学習する。1 回目の授業では各自記事を読んで TF 内容問題に取り組み、Answer sheet を配布するので帰りに解答を記入して Hoppii を通して提出する。2 回目の授業では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、自分の考えをまとめる。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

授業で取り上げる Chapter は以下の 6 つとする

Chapter 13, 14, 15, 17, 18, 20

前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業では exercise を解きながら精読する。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warming Up	ここで履修者を決定する時事問題 プリント教材
2	Unit 13 Mentalism: Mastering the human brain	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 10/5
3	Unit 13 Mentalism: Mastering the human brain	本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think?(英語解答) 主にグループワークで行う。

4	Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 10/19
5	Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak	Unit 13 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think?(英語解答) 主にグループワークで行う。
6	Unit 15 Memory Hack: The One Study habit every student needs to know	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 11/2
7	Unit 15 Memory Hack: The One Study habit every student needs to know	Unit 14 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think?(英語解答) 主にグループワークで行う。
8	Unit 17 Vaccines: A History of keeping us safe	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 11/16
9	Unit 17 Vaccines: A History of keeping us safe	Unit 15 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think?(英語解答) 主にグループワークで行う。
10	Unit 18 International Space Station: Is it worth the money?	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 11/30
11	Unit 18 International Space Station: Is it worth the money?	Unit 17 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think?(英語解答) 主にグループワークで行う。
12	Unit 20 Helping Hands: The growing role of robots in Japan	Key Vocabulary , True or False 提出締め切り 12/15
13	Unit 20 Helping Hands: The growing role of robots in Japan	Unit 18 語彙小テスト 本文内容の確認 テキスト後半 Finding Specific Information, (日本語解答) What do you think?(英語解答) 主にグループワークで行う。
14	これまでのまとめと期 末試験	Unit 20 語彙小テスト これまでのまとめ 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

オンライン授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各 Unit の Key Vocabulary を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿った TF 問題に真剣に取り組む。(Key Vocabulary, TF は採点する。)本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解に関しての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Understanding the World Today 現代を取り巻く新しい真実
Dave Rear 著
成美堂 2090 円（税込み）

【参考書】

特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●オンライン時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1 点 × 10 問 = 10 点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10 点 × 6 回分 60 点 30%

●期末試験 50%

*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている (空欄の内容全て解答している)、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は 3 回までとする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA

English Presentation I

2017 年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement. You will have many opportunities to express your thoughts in a concise and logical manner. You will try various ways to make your opinions more persuasive.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができる (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentations using easy editing software on your phone or PC to share with the class. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	First presentation: "How to..."	Teach us how to do something better. Look at examples. Generate ideas and select topics.

3	Developing your work	Show your ideas and make an outline. Basic presentation structure.
4	Developing your work	Revise and practise. Body language and gestures -examples and practise.
5	Final practise	Combine all the elements and review your speech. Make changes after feedback from classmates and teacher.
6	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
7	Second presentation: SWOT analysis	A SWOT analysis. What is it? Look at examples. Generate ideas and select topics
8	Developing your work:	A SWOT analysis. Show your first research and organise. Voicework - how to vary your voice to make your words have more impact.
9	Developing your work:	Show us your presentation draft and practise. Turn your draft into notecards. Asking and answering questions during a presentation.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates.
11	Third Presentation: Pechakucha	What is a pechakucha presentation? Explanation and examples. Topic planning.
12	Developing your work:	Practise. Speaking to time limits and on the spot transitions.
13	Final practise	Review and practise.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the Pechakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students wanted more time to prepare presentations.

【学生が準備すべき機器他】

Please check Hoppi for how to access the first class online. After that, we will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. . You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA

English Presentation II

2017 年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentation using easy editing software on your phone or PC to share with the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation and a review of the Spring Semester. First presentation: "Inspired by a movie"	A cultural or social theme picked from a movie For example. "The Lego Movie" - a comparison of the education systems of Denmark and Japan. The role of propaganda in Vietnam War movies "The Devil wears Prada" - Karoshi - is work /life balance really possible? Discussing ideas and topic selection.

2	Developing your work	Sharing research. Making outlines and considering some rhetorical techniques such as the rule of 3 and repetition.
3	Developing your work	Sharing research. Using rhetorical techniques. Review of voice techniques.
4	Final practise	Making discussion questions. Practise and make changes after feedback from classmates and teacher.
5	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
6	Second presentation: Something I've learned that you should know	What knowledge have you gained in your university life that you think other people would benefit from knowing? generating ideas
7	Developing your work	Considering different narratives styles. Sharing ideas.
8	Developing your work	Sharing your ideas and using props in a speech.
9	Final practise	Practise your speech using a prop.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
11	Third Presentation: A persuasive speech	A speech about something you feel strongly about. Make us believe how correct and important your opinion is.
12	Developing your work:	Adding passion and emotion to your words. Speaking with your whole body - examples and practise.
13	Final practise	Looking again at body language and voice.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the peckakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested more computer presentations.

【学生が準備すべき機器他】

Please check Hoppi for how to access the first class online. After that, we will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. *Students who attend the Zoom session on campus will need a headset. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA

English Presentation I

2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course teaches presentation skills through watching presentations and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will develop confidence in their public speaking abilities.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give self introduction presentation
3	Unit 1 A good friend (Pages 8-11)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 1 A good friend (Pages 12-15)	- Organizing ideas - Adding impact techniques
5	Unit 1 A good friend (Pages 16-17)	- Developing presentation techniques
6	Unit 1 A good friend (Pages 18-19)	Presentation: "A good friend"
7	Unit 2 A favorite place (Pages 20-23)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 2 A favorite place (Pages 24-27)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 2 A favorite place (Pages 28-29)	- Developing presentation techniques
10	Unit 2 A favorite place (Pages 30-31)	Presentation: "My Favorite Place"
11	Unit 3 A prized possession (Pages 32-37)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas
12	Unit 3 A prized possession (Pages 38-41)	- Adding impact - Developing presentation techniques
13	Unit 3 A prized possession (Pages 42-43)	Presentation: "My Prized Possession"

14	14 Make-up Presentations/ Course Review	Finalize spring semester course

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

- Presentations - 75%
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

This course teaches presentation skills through watching presentations and making presentations on different topics.

LANe200LA

English Presentation II

2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 3/Tue.3

単位数: 1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course teaches presentation skills through watching presentations and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will be able to prepare and make presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment

answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give Self introduction presentation
3	Unit 4 A memorable experience (Pages 44-47)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 4 A memorable experience (Pages 48-51)	- Organizing ideas - Adding impact
5	Unit 4 A memorable experience (Pages 52-53)	- Developing presentation techniques
6	Unit 4 A memorable experience (Pages 54-55)	Presentation: "My Memorable Experience"
7	Unit 5 I'll show you how (Pages 56-59)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 5 I'll show you how (Pages 61-63)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 5 I'll show you how (Pages 64-65)	- Developing presentation techniques
10	Unit 5 I'll show you how (Pages 66-67)	Presentation: "How to _____
11	Unit 6 Screen magic (Pages 68-73)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas

12	Unit 6 Screen magic (Pages 73-77)	- Adding impact - Developing presentation techniques
13	Unit 6 Screen magic (Pages 78-79)	Presentation: "Movie or TV Show Review"
14	Make-up Presentations/ Course Review	Finalize fall semester course

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

- Presentations - 75%
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

This course teaches presentation skills through watching presentations and making presentations on different topics.

LANe200LA

English Presentation I

2017 年度以降入学者

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国
際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学
部： DP1

【授業の進め方と方法】

Online class. All classes will be taught using zoom.

The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/text pgs. 4-12	Talk about spring break. Getting started.
2	2. Text pgs. 13-14, 15-17, 18-22 HW/informative speech (pg. 17) with visuals, posture, eye contact, gestures	Watch sample presentation DVD.
3	3. Performance of informative speech HW/text pgs. 23-24, 28-29	Speech performance and feedback.

4	4. Text pgs. 30-38 HW/demonstration speech (pg. 38) with visuals, posture, eye contact, gestures, voice inflection	Demonstration speech.
5	5. Performance of demonstration speech HW/text pgs. 39-46	Student speech performances.
6	6. Text pgs. 47-48, pgs. 51-55 HW/country comparison (pgs. 49 & 56)	Prepare for country comparison speech.
7	7. Performance of country comparison HW/pgs. 57-59	Student speeches.
8	8. Text pgs. 60-67 HW/speech introduction (pg. 67)	Focus on speech introduction.
9	9. Performance of speech introduction HW/text pgs. 68-72	Speech introduction performances.
10	10. Text pgs. 73-85 HW/speech body (pg. 86)	Focus on speech body.
11	11. Performance of speech body HW/text pgs. 87-94 conclusion (pg. 95)	Student performances of speech body.
12	12. Presentation of conclusion HW/final presentation (pg. 99 steps 1,2,3)	Focus on speech conclusion.
13	Final presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
14	Final presentations	End of term evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト（教科書）】

Speaking of Speech Student Book MacMillan ISBN 978-4-7773-6271-4

【参考書】

Students will use online resources to research and prepare their presentations.

【成績評価の方法と基準】

Presentations (50%)

Class participation (40%)

Final presentation (10%)

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

If classes are held online, Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA

English Presentation II

2017 年度以降入学者

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to make effective presentations on a variety of topics. Students will learn to confidently deliver multimedia informative/descriptive speeches, as well as comparative, demonstrative and argumentative/persuasive presentations. Students will also learn to evaluate the quality and content of others' presentations, to take notes on presentation content, and to provide detailed feedback to help presenters to improve their presentation technique.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. The fall semester of this course will concentrate on the preparation and delivery of persuasive, argumentative and rhetorical speeches. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.
2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.
3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.

4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.
5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.
6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.
8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.
10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.
12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.
14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト（教科書）】

LeBeau. Charles. Speaking of Speech Level 2. MacMillan. 2015.

【参考書】

Students will make use of a variety of online resources in the research and preparation of their speeches.

【成績評価の方法と基準】

Presentations (50%)

Class participation (40%)

Final presentation (10%)

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

If classes are held online, Zoom and a headset.

LANe200LA

English Presentation I

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 4/Thu.4

単位数: 1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開: グローバル: ○ 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the confidence and basic ability to deliver effective presentations in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able to get direct feedback on their presentations from these forms.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	Posture	Learners prepare and present a presentation about a city they like
Unit 2	Gesture	Learners prepare and present a presentation describing the layout of an interesting place
Unit 3	Use of voice	Learners prepare and present a presentation about a recipe
Section review	Review of the physical message	Review of the physical message
Unit 4	Effective visuals	Learners prepare a presentation comparing two countries

Unit 5	Explaining visuals	Learners prepare clear explanations for slides and charts
Section review	Review of the visual message	Learners deliver a presentation comparing two countries
Unit 6	Introduction	Learners prepare and present the introduction to a product comparison presentation
Unit 7	Body	Learners prepare and present the the body a product comparison presentation
Unit 8	Conclusion	Learners prepare and present the conclusion to a product comparison presentation
Section review	Review of presentation structure	Review of presentation structure
Final performance preparation	Final performance preparation	Final performance preparation
Final performance	Final performance	Final performance

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

【テキスト (教科書)】

Speaking of Speech New Edition, David Harrington and Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6271-4

【参考書】

A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】

Personalised individual feedback will be provided.

【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student number.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Presentation II

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

レベル 4 / ※定員制 (24 名)

他学部公開： グローバル：○ 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able get direct feedback on their presentations from these forms.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	What are the options?	Learners prepare option presentations
Unit 2	Performance 1	Option presentations and peer feedback.
Unit 3	Job hunting	Learners prepare a proposal presentation
Unit 4	Performance 2	Proposal presentations and peer feedback.
Unit 5	Have I got your attention?	Learners prepare sales presentations
Unit 6	Performance 3	Sales presentations and peer feedback.
Unit 7	Technical problems and solutions	Learners prepare technical presentations

Unit 8	Performance 4	Technical presentations and peer feedback.
Unit 9	Cite your sources	Learners prepare academic presentations
Unit 10	Performance 5	Academic presentations and peer feedback.
Unit 11	Creative innovations	Learners prepare team presentations
Unit 12	Performance 6	Team presentations and peer feedback.
End-term review	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

【テキスト（教科書）】

Speaking of Speech Level 2, Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6515-9

【参考書】

A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】

Personalised individual feedback will be provided.

【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student numbers.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

英語アカデミック・リーディング 2017 年度以降入学者
I

岩崎 博

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みの実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱うエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

【到達目標】

パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。コンテキストを正しく捉える力を養う。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
辞書が活用できるようになる。
最終的に、英語の論文を効果的に読み解くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

演習を中心に授業を行います。授業では、学生がパラグラフの要約、または内容の説明を行いそれについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。
フィードバックに関しては、学生が発表するたびに教師がコメントを出し、さらにそのコメントについてクラスで話し合います。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明。	授業に関する説明の後、パラグラフの構造について理解する。
2	Session 1 What a Painting Can Tell Us 本エッセイの展望	この論文では、絵画に隠された物語を読み解く際の、筆者の論理的展開の方法に注意し、芸術作品の解釈の方法や説得力のある主張の仕方を学ぶ。リーディングスキルとしては、パラグラフの構造を理解する。筆者の主張を裏付けるトピックセンテンスと、その根拠を示す支持文を区別することによって、パラグラフの内容を大まかにつかみ要約する力を養い、論理的な文章を効果的に読むことができるようにする。 トピックセンテンスのないパラグラフにもトピックが存在することを理解する。

3	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフの構造を学ぶ	パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認する。これを理解した上で、ピックセンテンスを見つけ、それが何故トピックセンテンスなのか、自分の言葉で説明する。
4	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフリーディングの実践	トピックセンテンスと論証部分がどのような関係になっているのか、自分の言葉で説明する。特に最後のパラグラフでは、フェルメールの絵がトピックに対してどのような論拠を与えているのか自分の言葉で説明する。
5	Session 1 What a Painting Can Tell Us のまとめ Session 2 Split-Brain Research 本エッセイの展望	What a Painting Can Tell Us に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合う。 Session 2 では、右脳・左脳の機能の違いを世に知らしめた有名な事例を紹介する論文を読む。両脳間の機能上の最大の違いは、片方の脳のみが言語を扱うということに起因するという興味深い事実を学ぶ。リーディングスキルとしては、科学的論文の構造を理解する。また、図解を参照しながら英文を読む訓練をする。 実験の手順を記述するパラグラフには、トピックセンテンスがないことを理解する。 実験の手順を詳細に記述した文を読み、実験の内容を正確に理解する。
6	Session 2 Split-Brain Research プロセスの記述を読む	
7	Session 2 Split-Brain Research 図を見ながら本文を理解する	図と英語の記述を対応させることによって、左脳の構造を視覚的に理解する。
8	Session 2 Split-Brain Research 記述内容を具体的に読む	実験の結果に関する記述が具体的に実験の何を指し示すのかを理解する。抽象的な記述を具体的に理解し説明する読みの実践をする。つまり文脈をたどる訓練をする。
9	Session 9 On Speaking on Speaking 本エッセイの展望	Split-Brain Research に関する意見を発表し、クラスで話し合う。 Session 9 では、言語の変化生成に関する仮説を扱う論文を読む。言語は原初の形を痕跡として残しつつ絶えず変化し続けること、人間には言語を生み出す普遍的能力があることを学ぶ。また、一般的には理解されていない、あらゆる言語に見られる普遍的性質のいくつかを知る。 リーディングスキルとしては、トピックセンテンスと支持文の関係より深く理解し、筆者の主張をより正確に把握する能力を養う。パラグラフの内容を自分の言葉で要約できるようにする。さらに、パラグラフ間のつながりにも留意することによって、論理的展開の仕方を学ぶ。
10	Session 9 On Speaking on Speaking 言語とは何か	言語は絶えず変化すること、しかも原初の要素を残しながら、別の言語に変わってしまうかのように変化していくことを知る。

11	Session 9 On Speaking on Speaking	言語の変化の担い手が子どもだという事実を検証する。形式主語の it を見破る方法を学ぶ。
12	Session 9 On Speaking on Speaking のまとめ Session 14 Teenage Nation 本エッセイ展望	On Speaking on Speaking に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合う。 Teenager という概念が現れた背景を歴史的に考察する論文を読む。Teenager の出現には、産業革命による労働形態の変化、教育の普及、大量消費社会の到来など、大きな社会的変革が関わっていることを理解する。現在では常識とされている事柄でも、過去においては極めて希少・斬新であったことを知るにより、新たな事実を理解するためには現在の常識を疑わなくてはならないということ学ぶ。 リーディングスキルとしては、パラグラフ内の論理的展開に留意することにより論拠の妥当性を緊密に検証し、批判的に文章を読む術を学習する。
13	Session 14 Teenage Nation 子供の存在と教育の関係	ティーンネージャーという概念出来上がった背景には、子供が労働力から教育を受ける存在に変わったという事実があることを知る。
14	試験日	春学期試と解説

Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.
Final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
予習は、テキストの該当箇所を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。

復習は、授業で扱ったパラグラフの構造を復習し理解した上で、最低 5 回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるよう準備します。

【テキスト（教科書）】

『The Universe of English』東京大学英語教室編（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加 40 パーセント、試験 60 パーセントの比率で評価します。
授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。

一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていきます。
4 回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。
オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ、学生中心の授業をしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞典を持参してください。

【その他の重要事項】

できるだけ教師と学生の対話を通して、知的に楽しくて為になる、双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.
The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.

LANe200LA

英語アカデミック・リーディング 2017 年度以降入学者
Ⅱ

岩崎 博

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みの実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱うエッセイを読み解くことによって新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

【到達目標】

パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。

パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。コンテキストを正しく捉える力を養う。

抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。

パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。

辞書が活用できるようになる。

最終的に、英語の論文を効果的に読み解くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

演習を中心に授業を行います。授業では、学生がパラグラフの要約、または内容の説明を行いそれについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。

フィードバックに関しては、学生が発表するたびに教師がコメントを出し、さらにそのコメントについてクラスで話し合います。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	パラグラフの構造を理解する。
2	Session 17 Ecology 本エッセイの展望	エコロジーの入門書的論文を読む。この論文はコンパクトながら、エコロジーの定義から始まり、生物圏の区分、食物連鎖、生物濃縮、生態遷移などに言及し、エコロジーの最も重要な分野をわかりやすく解説している。また、生態学的知識を吸収することによって、現在我々を取り巻く環境問題を考える。 リーディングスキルとしては、トピックセンテンスの無いパラグラフのトピックを理解する術を学ぶ。
3	Session 17 Ecology	概念の定義を行うパラグラフ構造概念を定義するタイプのパラグラフ

4	Session 17 Ecology 抽象と具体の説得力	エコロジーの定義と具体例を読み、両者の関係と説得力について考える。
5	Session 17 Ecology 内容を要約できないパラグラフに関する説明	トピックがはっきりせず要約不能なパラグラフでも、そこには作者の意図があることを知り、それを言葉で説明する。 生態遷移という概念を具体例から理解する。
6	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 本エッセイの展望	コロンブスが歴史上の偉人から、南米を侵略し社会を破壊した悪人に評価が変わった原因を考察する論文を読む。この論文は、コロンブスの評価の変化の背景を追うことによって、歴史そのものがいかに作り出されるかということにも言及しており、極めて興味深い。歴史が産出される構造を知ることで、歴史的事実とは決して客観的事実なのではなく、政治的意図が反映されたものの見方、すなわちある特権的な視点から事象を見るひとつの解釈であることを理解し、ひいては歴史とは何かを考察する。 リーディングスキルとしては、論理的に難解な文章を読む際に必要な文脈のたどり方に重点を置く。ある文の意味を理解するということとは、その文脈を理解することであるということ、言い換えると、文の意味は文脈によって作り出されるという基本的事実を理解する。 パラグラフ内に一見トピックと関係ないように見える文も、必ずトピックと関連付けられていることを知り、それを自分の言葉で表現できるよう努力する。
7	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy クロノジカルな記述を読む	歴史的記述における視点を考える。西洋中心に考えたときの「アメリカ発見」の歴史的意義を学ぶ。 トピックセンテンスの内容が言い換えによって説明されることを学ぶ。
8	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 歴史とは何か	また、主格関係と目的格関係を表す前置詞 of の用法を学び、名詞句の内容を理解できるようにする。コロンブスの評価が英雄から人類最悪の男に凋落した理由として筆者が援用する歴史観について考察する。筆者が提示した理論を本文に当てはめると何を読みとることができるのか考えてみる。
9	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 反コロンブス神話とは	コロンブス以前のアメリカが理想郷として描き出されている現状の背後に隠された意図を知り、それを批判する。
10	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy コロンブスとは何なのか	コロンブスが「歴史的コマ」として、現代の政治ゲームの中でどのように利用されているか、具体的な記述の中で理解する。 「発見」された側がコロンブスを歴史上傑出した悪人だと非難する、本当の理由を知る。

11	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land 本エッセイの展望	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読む。ディズニーランドの背後には、アメリカを中心とした歴史観、アメリカを代表する中西部の白人中流階層の保守的な理念があることを学ぶ。リーディングスキルとしては、エッセイ内のパラグラフ群が互いにどのような関係になっていて、どのように有機的な読み物を作り上げているのかを考察し、エッセイ全体のテーマを理解する術を学ぶ。 トピックセンテンスの無いパラグラフに埋め込まれているトピックを考える。
12	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランド人気の理由	ディズニーの世界観がどのようにディズニー・ランドに反映されているのかを知る。 また、エッセイ冒頭で示されたテーマとの関係を考察する。
13	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランドの神話的意義	ディズニーランドが単なるレジャーランドを超えて、アメリカの神話作りに貢献しているという説の論拠を知る。 また、エッセイ冒頭で示されたテーマと各パラグラフの関連を考察することによって、エッセイ全体の構造とその主張をより深く理解する。
14	試験日	秋学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
 予習は、テキストの該当箇所を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。
 特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。

復習は、授業で扱ったパラグラフの構造を復習し理解した上で、最低 5 回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるよう準備します。

【テキスト（教科書）】

東京大学英語教室編『The Universe of English』（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加 40 パーセント、試験 60 パーセントの比率で評価します。
 授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。

一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていきます。
 オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。
 欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

学生が話し合って問題を解決する機会を増やします。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

できるだけ教師と学生の対話を通して、知的に楽しくて為になる、双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.

The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.

Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

久慈 美貴

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 2/Wed.2

単位数: 1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

TOEIC Test listening part の速度に慣れ、重要点 (設問部分) をチェックできるよう練習したい。

自習用オーディオファイルを何度も聞いて、音と速さ、設問形式になじんでほしい。

授業外の学習時間 2 時間が必要。成績は授業時の提出物 20%、Final Report (TOEIC 形式の問題を提示)20%として最終評価する。

【到達目標】

TOEIC Test の listening part の速度に慣れ、単語ではなくフレーズの塊を聞き取れるようになる。

既習の文法事項を復習し再確認する。

ビジネス関連の語彙を増やす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を行う予定ですが、状況に応じて大学の方針に従います。変更がある場合は、学習支援システムで、その都度指示します。

初回授業に出席 (または初回授業までに事前登録) して登録を許可された方は、指定のテキストを購入して授業準備を始めてください。定員を超えた場合は、授業掲示板で連絡いたします。授業日にその回のテキスト問題及び単語テストを毎回提出してもらい、授業内で問題の解説をします。提出物が平常点となりますので、しっかり予習してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	preparation test	プリントを配布し TOEIC テストの形式を確認する
2	U.1 動詞の使い方 1	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。自動詞と他動詞の使い方を復習する。
3	U.2 動詞の使い方 2	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の時に注意する。
4	U.3 動詞の使い方 3	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。完了形の復習。idiom review のプリントを配布。
5	U.4 品詞	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。形容詞と副詞の使い方に注意。review プリントを提出する。
6	U.5 準動詞	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。準動詞の意味と使い方に注意する。
7	U.6 準動詞 2	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。準動詞の名使用法を復習する。idiom review プリントを配布する。

8	U.7 準動詞 3	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。pp 形と ing 形の意味と使い方に注意する。review プリントを提出する。
9	U.8 準動詞 4	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。分詞構文の使い方を復習する。
10	U.9 比較級と最上級	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。語形変化と強調語の使い方に注意。idiom review プリントを配布。
11	U.10 代名詞	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。不定代名詞の使い方に注意。review プリントを提出する。
12	U.11 関係詞 1	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。基本の関係詞を復習する。
13	U.12 関係詞 2	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。関係詞の特殊用法に注意する。idiom review プリントを配布。
14	Review for Spring Term	春期のまとめ review プリントを提出する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は併せて 1 時間を標準とします。かならず事前の語彙チェックをしましょう。毎回、ユニットの vocabulary build-up から vocabulrly quiz を行います。

また、listening 練習用に音声ファイルがダウンロードできますので、繰り返し聞いて問題をチェックしてください。授業時には何度も音声チェックをする時間的な余裕がありませんので、事前にしっかり音を聞いてください。3 ユニット終了するごとに熟語のまとめプリントを配布し、宿題として提出していただきます。そのほか、必要に応じて文法プリントを配布します。

【テキスト (教科書)】

Welcome to the TOEIC L&R Test-New Edition(Asahi Press) 1800 円

【参考書】

特に指定しない。随時、リスニングスクリプトと文法プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】

毎回テキスト問題およびボキャブラリークイズの解答を提出し、この点数が平常点 (80%) となる。Review Test(20% TOEIC 形式の問題を予定) と併せて、最終評価する。ただし 4 回分以上課題を提出しない、あるいは 4 回以上欠席した場合、評価の対象としない。提出物の点が評価の大きな割合を占めるので、しっかり予習して点数を積み上げてほしい。テキストのリスニング問題は音声ストリーミング配信で聞くことができるので、何度も聞き、問題を解いてみよう。

ボキャブラリークイズは各ユニットの Vocabulary Build-up から問題を出すので、しっかり確認し、語義と発音をチェックしておくこと。

【学生の意見等からの気づき】

予習用にリスニングパートのスクリプトを配布していますが、何段階かに分けて使用していただければと思います。まず音声ファイルのリスニングのみで問題を解いてみる、聞き取りにくい箇所をスクリプトを見ながら再度聞いてみる、スクリプトを見ながら音声ファイルと同時に声を出して読んでみる、というようにです。

じぶんで発音できれば、耳で聞いて意味をとりやすくなります。プリントは採点して返却しますので、疑問点があれば授業時に質問して下さい。歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

特に指定しない。ただし、辞書は必ず携帯してください (通信機器は使用しないでください)。

【その他の重要事項】

授業時は必ず辞書を携帯すること。
提出物の累計が平常点となるので、欠席しないよう注意してください。

【Outline (in English)】

Try to accustomed to each part of TOEIC questions and to the speed of announcement. You can download listening file on the publisher's website. Please get well-prepared for the class.

You are required to prepare for/review class activities for 2 hours.

You will be assessed with assignments (vocabulary quiz and answers for each Unit of the textbook) and Final Report (TOEIC-type test).

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

久慈 美貴

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

レベル 3,4 /※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

音の脱落・連結音など聞き取りにくい音になじみ、より正確に設問の意図をつかむよう練習したい。
必要に応じて文法プリントや追加の reading 問題を配布し、リーディングの基礎を固めていきたい。

【到達目標】

とくに Part III のように会話の流れと設問が前後するような問題でも、聞きながら情報を整理して、回答できるようにする。

Reading part では、設問から記事のポイントを押さえて、重要点を探せるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

予習としてテキスト各ユニットの重要単語を使ったボキャブラリークイズ、テキストのリスニングおよびリーディングパートの解答を毎回提出してもらい、平常点とします。そのほかに Idiom の復習プリントまたは Extra Questions のプリントを配布します。授業ではテキストの解説を行い、その際に質問等のフィードバックをします。課題を授業支援システムを通じて提出していただいた場合は、支援システムでフィードバックを行います。対面授業を行う予定ですが、大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	U.1 Sightseeing / Guide Tour	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。主語と述語動詞に注意する。
2	U.2 Restaurant	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。人称の単数・複数に注意。
3	U.3 Hotel / Service	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の時制に注意する。idiom review プリントを配布。
4	U.4 Employment	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の種類に注意。
5	U.5 Entertainment	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。形容詞用法分詞を復習する。
6	U.6 Shopping / Purchases	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。文の要素に注意する。Idiomu Review プリントを配布する。
7	U.7 Sports / Health	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。補語と目的語に注意する。

8	U.8 Doctor's Office / Pharmacy	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。接続詞の用法に注意する。
9	U.9 Hobbies / Art	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。接続詞の使い方。idiom review プリントを配布。
10	U.10 Education / Schools	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。関係詞に注意する。
11	U.11 Technology / Office Supplies	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。比較級と最上級に注意する。
12	U.12 Transportation	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。仮定法と倒置に注意する。idiom review プリントを配布。
13	U.13 Travel / Airport	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。不定詞と動名詞の使い方に注意する。
14	U.14 Housing / Construction	学期のまとめ
	Review of Autumn Term	Mini Test の解答を提出する。
	Mini Test	Idiomu Review プリントを配布。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【本授業の準備・復習時間は併せて 1 時間を標準とする。】 毎回ボキャブラリークイズを行い、テキストの解答も提出してもらいます。事前にテキストの問題にしっかり目を通し、難解な語彙・語法をチェックしておいて下さい。また listening part のスクリプトを配布しますので、出版社のホームページから音声ファイルをダウンロードして、予習に役立ててください。また、テキストの問題に使われている熟語を復習する idiom review のプリントを宿題として配布し、提出してもらいます。（これらも評価点に含まれます。）

【テキスト（教科書）】

Progressive Strategy for the TOEIC L & R Test (成美堂 2000 円)

【参考書】

特に指定しない

【成績評価の方法と基準】

授業時の提出物 80 %、Mini Test(最終回提出物)20 %として評価する。

授業時の提出物には各ユニットのボキャブラリークイズ、テキスト問題の解答、宿題として idiom review のプリントが含まれる。平常の提出物の評価割合が大きいので、欠席しないよう気をつけましょう。4 回以上欠席した場合、評価の対象としません。

You will be assessed: Assignments (vocabulary quiz and answers to each

Units of the textbook) 80%

Mini Test(Final Test) 20%

If you don't attend 4 or more classes, you will not get the credit.

When you come late for the class 3times, it will be counted as one absence.

【学生の意見等からの気づき】

授業内でできるだけ多くの問題をこなしてもらいたいと考えていますが、もうすこし基本的な文法の復習と説明が必要かと考えています。Listening part の予習の際、何度も繰り返して聞く、スクリプトを参考にして音読する、という練習が必要だと思います。（聞き取るためには発音練習が必要です。）

また、Reading part、特に part VII では速読と重要語句のピックアップが必要になりますが、予習の際にはきちんと文を読み込む、できれば音読する、という準備が必要ではないかと思います。

【学生が準備すべき機器他】

とくに使用しない。ただし、リスニングパートの音声は各自ダウンロードまたはストリーミング配信を利用して、予習に使用してください。対面での授業時には CD で音声を流します。

【その他の重要事項】

授業時は辞書を携行してください。

対面授業では、毎回授業の最初にボキャブラリークイズを行います。対面授業が困難、またはオンラインで受講する方がいらっしゃる場合は、事前に問題を提示して授業前日までに学習支援システムを利用して提出していただくことになります。提出物の点数が平常点となりますので、提出漏れのないように、注意してください。遅刻した場合、回数に応じて欠席にカウントされます。

Please carry dictionary in the class.

Take care not to fail to submit Assignments, for the scores of assignments take the most part of final estimation.

When you come late for the class 3 times, it will be counted as one absence.

【Outline (in English)】

We will try to get accustomed to reduction of sounds and to check out WHAT kind of answer we are supposed to make.

In questions of Part III, the questions do not necessarily come to the order of the topic in the conversation. You have to get the information while listening and check up the choices on the page. Please listen to the listening file repeatedly and get accustomed to the reduction of pronunciation. You will be given additional Reading Parts questions in the class and practice quick reading. You are required to prepare for/review class activities for 1 hour. You will be assessed by the assignments (vocabulary quiz and answers for each units:80%) and final Test(20%).

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検準 1 級の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の 4 つの能力をバランス良く強化することを目指します。授業の後半では TOEFL, IELTS の紹介と基礎演習も行います。英語検定試験受験予定者はもちろんのこと、英語学習の習慣化を希望する学生の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interview and lectures
- 3 Be able to talk about basic topics
- 4 Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(この授業の形態は演習です)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検, TOEFL, IELTS 各テスト形式と問題の紹介と演習)
3. News mini-presentation (News in Levels についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1 Learning Paragraph Structure 2 Paragraph reading practice 2 Listening practice
5 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice

6 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice
7 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay
8 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
9 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2 Reading practice 3 Listening practice
10 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
11 回	Introduction to IELTS	1 Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2 Reading practice 3 Listening practice
12 回	IELTS: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
13 回	IELTS: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 /※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検、TOEFL、IELTS の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力をバランス良く強化することを目指します。英語検定試験受験予定者はもちろんのこと、英語学習の習慣化を希望する学生の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interview and lectures
- 3 Be able to make a mini presentation
- 4 Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(この授業の形態は演習です)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検、TOEFL、IELTS 各テスト形式と問題の紹介と演習)
3. TED mini-presentation (視聴してきた TED の内容等についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Paragraph Reading Training	1 Paragraph reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice
5 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice

6 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay
7 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice
8 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL テストについて) 2 Reading practice 3 Listening practice
9 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice
10 回	TOEFL: Learning presentation skills	1 Learning an effective presentation 2 Making a presentation
11 回	Introduction to IELTS	1 Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2 Reading practice 3 Listening practice
12 回	IELTS: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
13 回	IELTS: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)

1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)

2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

宮崎 早季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test600 点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600 点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。

【到達目標】

- ・ TOEIC Listening & Reading Test を受験し、600 点以上をとる。
- ・ TOEIC 受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができる。
- ・ 苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

毎回単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や長文読解問題などを授業中に解き、解説を行います。授業終了後、解説・フィードバックを受けて適宜自分のミスを復習し、自宅学習用教材を使ってトレーニングを進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。また、受講者の自己紹介を行い、各自この授業での目標を立てる。
2	Unit 1	Vocabulary quiz < Listening part > Restaurant
3	Unit 1 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Restaurant
4	Unit 2	Vocabulary quiz < Listening part > Department Store
5	Unit 2 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Department Store Unit 1 & 2 Test
6	Unit 3	Vocabulary quiz < Listening part > Train Station
7	Unit 3 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Train Station
8	Unit 4	Vocabulary quiz < Listening part > Transportation

9	Unit 4 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Transportation Unit 3 & 4 Test
10	Unit 5	Vocabulary quiz < Listening part > Post Office
11	Unit 5 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Post Office
12	Unit 6	< Listening part > Bank
13	Unit 6 cont.	< Reading part > Bank Unit 5 & 6 Test
14	Final	期末試験を実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 2 回から第 11 回までは毎回授業で単語クイズを行います。単語練習をして授業に参加すること。授業で間違った箇所を分析し、復習をすること。また、リングボルトを使用した宿題がかけられますので、次の授業までに必ず行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』（石井隆之他著）成美堂

単語帳：『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（TEX 加藤）朝日新聞出版

【参考書】

辞書を使用する。辞書は紙でも電子でもウェブでもアプリでもいいが、品詞や意味のほかにも用法、類語などが調べられるものを用意すること。

また必須テキストとして指定する『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』が難しい者は、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ』、物足りない者は『TOEIC L&R TEST 超上級単語特急 暗黒のフレーズ』を用意することもすすめる。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%), Weekly Vocabulary Quiz (10%), 期末試験 (60%)
原則として、学期期間中に 4 回以上欠席した場合は単位習得を認めない。
遅刻は授業開始時刻から 30 分までとし、30 分以上の遅刻は欠席とする。
遅刻 2 回で欠席 1 回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

リングボルトという学習ツールを使用しますので、宿題にばパソコンが必要になります。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for the students who aim to achieve 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are 3 goals for this course. 1) Achieve 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your own weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】

Class Participation (25%), Weekly Vocabulary Quiz (25%), Final Exam (50%)

In principle, no more than 4 absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered to be up to 30 minutes after the start of class, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.
Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮崎 早季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 /※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test600 点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600 点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。前期の「英語検定試験対策Ⅰ」受講による自身の到達度を確認し、より効果的な学習プランを立てましょう。

【到達目標】

- ・TOEIC Listening & Reading Test を受験し、600 点以上をとる。
- ・TOEIC 受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができ。
- ・苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や長文読解問題などを授業中に解き、解説を行います。授業終了後、解説・フィードバックを受けて適宜自分のミスを復習し、自宅学習用教材を使ってトレーニングを進めてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。受講者は自分の前期到達度を確認し、後期の自己目標を立てる。
2	Unit 7	Vocabulary quiz < Listening part > Airport
3	Unit 7 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Airport
4	Unit 8	Vocabulary quiz < Listening part > Hotel
5	Unit 8 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Hotel Unit 7 & 8 Test
6	Unit 9	Vocabulary quiz < Listening part > Hospital
7	Unit 9 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Hospital
8	Unit 10	Vocabulary quiz < Listening part > Events and Performances
9	Unit 10 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Events and Performances Unit 9 & 10 Test

10	Unit 11	Vocabulary quiz < Listening part > College
11	Unit 11 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > College
12	Unit 12	< Listening part > Office
13	Unit 12 cont.	< Reading part > Office Unit 11 & 12 Test
14	Final	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 2 回から第 11 回までは毎回授業で単語クイズを行います。単語練習をして授業に参加すること。授業で間違った箇所を分析し、復習をすること。また、リングボルトを使用した宿題がかけられますので、次の授業までに必ず行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』（石井隆之他著）成美堂

単語帳：『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（TEX 加藤）朝日新聞出版

【参考書】

辞書を使用する。辞書は紙でも電子でもウェブでもアプリでもいいが、品詞や意味のほかにも用法、類語などが調べられるものを用意すること。

また必須テキストとして指定する『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』が難しい者は、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ』、物足りない者は『TOEIC L&R TEST 超上級単語特急 暗黒のフレーズ』を用意することもすすめる。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%), Weekly Vocabulary Quiz (10%), 期末試験 (60%)

原則として、学期期間中に 4 回以上欠席した場合は単位習得を認めない。

遅刻は授業開始時刻から 30 分までとし、30 分以上の遅刻は欠席とする。

遅刻 2 回で欠席 1 回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

リングボルトという学習ツールを使用しますので、宿題にばパソコンが必要になります。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for the students who aim to achieve 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are 3 goals for this course. 1) Archive 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your own weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】 Class Participation (25%), Weekly Vocabulary Quiz (25%), Final Exam (50%)

In principle, no more than 4 absences per semester are allowed. Late arrivals are considered to be up to 30 minutes after the start of class, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEIC(R)650 点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低 1 回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。

この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650 点を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノート必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。

対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進み方を詳しく説明していく
2	文法説明	TOEIC(R) で必要とする基礎的文法の説明
3	第 1 課	リスニング
4	第 1 課	レストランでの会話
5	第 2 課	レストランでの会話
6	第 2 課	第 1 課小テスト
7	第 3 課	リスニング
8	第 3 課	駅での会話
9	第 4 課	リスニング
10	第 4 課	電車・バスなどでの会話
11	第 5 課	リスニング
12	第 5 課	郵便局での会話

12	第 5 課	リーディング
13	第 6 課	不定詞
14	銀行	第 5 課小テスト
		リスニング
		銀行での会話
		授業で学んだことを試験する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。リスニング（教科書付属の CD その他）

NHK 語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

All-Round Training For The TOEIC L&R TEST 成美堂 2200 円

ISBN978-4-7919-7213-5

【参考書】

学校語彙で学ぶ TOEIC テスト [単語集]

成美堂 (1700 円)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %

小テスト 10 %

レポート課題・発言点 20 %

平常点 10 %

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は 3 回で欠席 1 回に換算される。

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

平常授業が行われる場合は、シラバスに記入されている方法にて評価を行う予定です。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, students who are absent more than 4 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / ※定員制 (36 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEIC(R)650 点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低 1 回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。

この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650 点台の英単語を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノート必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。

対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期に引き続き授業を進めていく
2	第 7 課 空港	リスニング 空港での会話
3	第 7 課 空港	リーディング 分詞
4	第 8 課 ホテル	第 7 課小テスト リスニング ホテルでの会話
5	第 8 課 ホテル	リーディング 名詞の可算・不可算
6	第 9 課 病院	第 8 課小テスト リスニング 病院での会話
7	第 9 課 病院	リーディング 代名詞
8	第 10 課 イベント	第 9 課小テスト リスニング 様々なイベントでの会話
9	第 10 課 イベント	リーディング 接続詞と接続副詞
10	第 11 課 大学	第 10 課小テスト リスニング 大学での会話
11	第 11 課 大学	リーディング 受動態と使役

12	第 12 課 オフィス	第 11 課小テスト リスニング 職場での会話
13	第 12 課 オフィス	リーディング 形容詞
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。リスニング（教科書付属の CD その他）

NHK 語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

All-Round Training For The TOEIC L&R TEST 成美堂 2200 円

ISBN978-4-7919-7213-5

【参考書】

学校語彙で学ぶ TOEIC テスト [単語集]

成美堂 (1700 円)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %

小テスト 10 %

レポート課題・発言点 20 %

平常点 10 %

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は 3 回で欠席 1 回に換算される。

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【その他の重要事項】

秋学期のみ登録予定の学生も、教科書は春学期に購入すること

【Outline (in English)】

Course outline

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, students who are absent more than 4 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA

Oral Communication I

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

Intermediate / ※定員制 (20 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この科目では、「ソーシャルメディア」「ビジネス」「ストーリー」にまつわるトピックについて、楽しみながら英語で聞き、読み、話す練習をし、それぞれの授業の終わりには、その日のトピックについて自信を持って英語で話せるようになることを目指します。

【到達目標】

日常生活やビジネスで役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

毎回、その日のトピックについて、まずはリスニングとリーディングを通して主要な語彙や言い回しに慣れ親しみます (=インプット)。その後、音読やリテリング (自分の言葉で説明する) などのアクティビティを通してインプットした表現を定着させ、最終的に自分が考えた内容を英語で自信を持って話せるようにします (=アウトプット)。これらを、随時ペアワークやグループワークによって行います。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第 2 回	Unit 1 What is important to you?	SNS で自分の大切なものを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 3 回	Unit 2 My morning routine	動画サイトでモーニングルーティンを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 4 回	Unit 3 Your recommended restaurant	グルメサイトでおすすめのレストランを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 5 回	Unit 4 The best film ever	映画レビューサイトでお気に入りの映画を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 6 回	Unit 5 What is a true friend?	Q&A サイトで悩み相談に答える、という設定で英語を話す練習をします。
第 7 回	Unit 6 The best pizza in town	新メニュー開発に向けてユニークなピザを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 8 回	Unit 7 An ideal private tour plan	ニーズに合わせたツアープランを企画する、という設定で英語を話す練習をします。
第 9 回	Unit 8 Useful apps for your smartphone	あったらいいなと思うアプリの機能をプレゼンする、という設定で英語を話す練習をします。
第 10 回	Unit 9 A proposal for new flavors	データをもとにヒット商品の新しい味を提案する、という設定で英語を話す練習をします。

第 11 回	Unit 10 A great figure in the business world	ビジネス界の偉人を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 12 回	Unit 11 Cheese for Uncle David	クスツと笑える小噺を英語で話す練習をします。
第 13 回	Unit 12 The baby sitter	英語でストーリーの展開を予測して伝える練習をします。
第 14 回	期末試験とまとめ	授業でおぼえた表現を用いた試験を行い、試験結果に応じたフィードバックを通して授業のまとめをします。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回の Unit で解説したポイントをよく復習して、期末試験でどの Unit のテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれの Unit の内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Speaking Steps『スピーキング・ステップ〜英語を話すための 3 ステップ〜』(金星堂)

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度 (70%) と期末試験 (30%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【Outline (in English)】

In this course, students are encouraged to listen to, read and speak English on various enjoyable topics regarding 'social media', 'business' and 'stories' so that they can speak confidently about a specific topic in English by the end of each class. The goal of this course is learning useful expressions for daily life and business and improving speaking skills in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (70%) and the final exam (30%).

LANe200LA

Oral Communication II

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

Intermediate / ※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目では、様々な架空の設定やトピックで英語を楽しく話すアクティビティを行うことで、日常会話で役立つ英語表現に慣れ親しみ、様々なトピックについて英語で自信をもって話せるようになることを目指します。

【到達目標】

日常生活や旅行で役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

それぞれの回のテーマに沿った架空の設定で英会話を行えるような、様々なアクティビティをペアワークやグループワークを取り入れながら行います。その際、随所でリスニングや簡単なライティングを取り入れながら日常会話や旅行で使える便利な表現をおぼえることで、様々なトピックについて自信をもって英語で話せるようにします。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第 2 回	Unit 1 You and your classmates	自己紹介・他己紹介に関連した英会話の練習をします。
第 3 回	Unit 2 You, going out to eat	外食に関連した英会話の練習をします。
第 4 回	Unit 3 You, shopping	買い物に関連した英会話の練習をします。
第 5 回	Unit 4 You, out on the town	街での外出に関連した英会話の練習をします。
第 6 回	Unit 5 You, planning a trip	旅行の計画に関連した英会話の練習をします。
第 7 回	Unit 6 You, hotel guest	ホテル滞在に関連した英会話の練習をします。
第 8 回	Unit 7 You, world traveler	海外旅行に関連した英会話の練習をします。
第 9 回	Unit 8 You, living with others	ホームステイやシェアハウスに関連した英会話の練習をします。
第 10 回	Unit 9 You, job hunting	就職活動に関連した英会話の練習をします。
第 11 回	Unit 10 You, giving good advice	誰かに助言をする際の英会話の練習をします。
第 12 回	Unit 11 You, solving world problems	世界の諸問題に関連した英会話の練習をします。
第 13 回	Unit 12 You, inventor for the future	画期的な発明に関連した英会話の練習をします。

第 14 回 期末試験とまとめ

授業でおぼえた表現を用いた試験を行い、試験結果に応じたフィードバックを通して授業のまとめをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の Unit で解説したポイントをよく復習して、期末試験でどの Unit のテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれの Unit の内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Starting off with role play and discussion『これからの英語コミュニケーション講座』（南雲堂）

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度 (70%) と期末試験 (30%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【その他の重要事項】

前学期の Oral Communication I を取っていないくても受講可能です。

【Outline (in English)】

In this course, students speak English in various role-plays in imaginary situations and discussions on enjoyable topics so that they can familiarize themselves with useful daily life expressions in English and speak confidently about various topics in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (70%) and the final exam (30%).

LANe200LA

Oral Communication I

2017 年度以降入学者

R. G. ジェイムズ

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土 1/Sat.1

単位数: 1 単位

Intermediate / ※定員制 (20 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To promote the development of communication skills in English

【到達目標】

To promote the ability of students to interact in English and discuss a wide range of non-specialists topics as they relate to their own experience and opinions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

Lessons are topic-based. Each week students will share experiences and opinions about a topic introduced by the teacher by weekly worksheets, with feedback from the teacher on student answers. Questions will be both direct or discussion-based.

In the case of online classes, worksheets will be uploaded weekly to Hoppii and classes will be conducted over Zoom)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction	Description of the course. Mini-lesson or placement test depending on student numbers.
Lesson 2	Family	Discuss family, family life and family members. Task: Pros and cons of living alone
Lesson 3	Friends	Discuss friends from different stages of life. Task: Assessing friendship
Lesson 4	House and Home	Discuss houses, homes and locations. Task: Deciding on a place for a permanent home.
Lesson 5	Transportation	Discuss travel and transport for work and leisure Task: Assessing Japanese public transport.
Lesson 6	Restaurants	Eating out; restaurant dishes, public smoking, cost and recommendation: Task: where to take foreign visitor.
Lesson 7	Mid-term test	Prepare a speech describing your personal lifestyle
Lesson 8	Mid-term test	Present your speech to students and teacher.
Lesson 9	School life	Discuss student lifestyles and study Task: Assessing a university curriculum

Lesson 10	Media and reading	Discuss personal tastes in clothes and fashion Task: Assess the role and usefulness of uniforms
Lesson 11	Fashion	Discuss personal tastes in clothes and fashion Task: Assess the role and usefulness of uniforms
Lesson 12	Sports	leisure or entertainment Task: Assess the relationship of sports and lifestyle.
Lesson 13	Vacations	Discuss memorable vacations. Task: Exploring ideal vacation places and activities.
Lesson 14	Review and test preparation	Review recent topics and prepare 2nd test speech.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should follow up lessons by compiling notes on each topic that expands on the new vocabulary and useful language they learned in each lesson. University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Handouts and reading materials will be provided by lecturer

【参考書】

Any topic-based elementary conversational English textbook could be studied in conjunction with the course. For vocabulary study, consider a "smart" flashcard app such as "Anki" available for most desktop and mobile platforms.

【成績評価の方法と基準】

2 x essays: one at mid-term and one end-of-term. These essays will express in further detail your opinions about the topics discussed.

2 x 50% = 100%

In addition, students need to follow campus guidelines for attendance: in principle, no more than three (3) absences are permitted in per semester.

【学生の意見等からの気づき】

The topics discussed are a subset of many that could be used that reflect the interests of young people. Recent changes include discussion of online study material, particularly podcasts, the Olympics and comparisons of Eastern and Western culture.

【学生が準備すべき機器他】

In the case of online classes, students will need a Skype client (app) and headset for online meetings, and to access Hoppii to obtain the weekly uploads.

【その他の重要事項】

Students should check the Hoppii system regularly to obtain any study material necessary for completing weekly tasks.

【Outline (in English)】

By the end of the course, students should be able to speak fairly fluently about themselves and their life as a student.

LANe200LA

Oral Communication II

2017 年度以降入学者

R. G. ジェイムズ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

Intermediate / ※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To promote the development of communication skills in English

【到達目標】

To promote the ability of students to interact in English and discuss a wide range of non-specialists topics as they relate to their own experience and opinions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Lessons are topic-based. Each week students will share experiences and opinions about a topic introduced by the teacher by weekly worksheets, with feedback from the teacher on student answers. Questions will be both direct or discussion-based.

In the case of online classes, worksheets will be uploaded weekly to Hoppii and classes will be conducted over Skype)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction	Description of the course. Mini-lesson or placement test depending on student numbers.
Lesson 2	Movies	Discuss movie genres and favorite examples Task: Movie review.
Lesson 3	Jobs and work	Discuss careers, jobs and job hunting Task: Assessing criteria for choosing a company to work for.
Lesson 4	:Money	Discuss personal uses of money and obtaining it Task: Assess different countries' approach to financing students
Lesson 5	Music	Discuss tastes in music and musical styles Task: Assessing music sources in the digital age.
Lesson 6	Holidays	Discuss national holidays and traditional celebrations Task: Exploring free time and how to use it
Lesson 7	Mid-term test	Prepare a speech giving more detailed opinions about the topics discussed so far.
Lesson 8	Mid-term test	Present your speech to students and teacher, and answer any questions.

Lesson 9	The academic year	Discuss study schedules and time management Task: Pros and Cons of adopting international semester times.
Lesson 10	Traditional and virtual classrooms	Discuss what and how to study. Task: Pros and Cons of traditional school curriculum.
Lesson 11	Alternative energy.	Discuss traditional sources of energy and how they are used Task: Pros and Cons of new and alternative energy sources.
Lesson 12	Crime and safety	Discuss common types of crime in Japan and safety measures. Task: Discuss and decide on appropriate punishment for various crimes.
Lesson 13	Christmas	Discuss Christmas traditions in Japan and elsewhere Task: Selecting and justifying gifts and gift-giving.
Lesson 14	Review and test preparation	Review recent topics and prepare 2nd test speech again exploring in greater depth any topic of interest.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should follow up lessons by compiling notes on each topic that expands on the new vocabulary and useful language they learned in each lesson. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Handouts and reading materials will be provided by lecturer.

【参考書】

Any topic-based elementary conversational English textbook could be studied in conjunction with the course. For vocabulary study, consider a "smart" flashcard app such as "Anki" available for most desktop and mobile platforms.

【成績評価の方法と基準】

2 x essays: one at mid-term, and one at end-of-term. These essays will express your opinion on the topics studied during the preceding weeks.

2 x 50% = 100%

In addition, students need to follow campus guidelines for attendance: in principle, no more than three (3) absences are permitted in per semester.

【学生の意見等からの気づき】

The topics discussed are a subset of many that could be used that reflect the interests of young people. Recent changes include discussion of online study material, particularly podcasts, the Olympics and comparisons of Eastern and Western culture.

【学生が準備すべき機器他】

In the case of online classes, students will need a Skype client (app) and headset for online meetings, and to access Hoppii to obtain the weekly uploads.

【その他の重要事項】

Students should regularly check the Hoppii system to obtain the study material each week.

【Outline (in English)】

By the end of the course, students should be able to speak fairly fluently about themselves and their life as a student.

LANe200LA
English through Movies and Drama I 2017 年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 4/Tue.4

単位数: 1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

A Flavor of English: Cinema and Cuisine は、映画の中の食文化について書かれたエッセイ集です。エッセイを精読し、storytelling の基礎力を養います。

【到達目標】

1. 楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
2. 映画の内容と食文化について理解を深めます。
3. 語句や文法の知識を正確に身につけます。
4. 自分が書いたり話したりするときのモデルとしてエッセイを活用します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

1. 単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
2. エッセイの音読の練習をします。
3. 映画の見どころを解説します。
4. ショートエッセイを書いてみます。

①個人別フィードバックを行います。
②課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してもフィードバックを行います。

大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。)
第 2 回	Chapter 1: <i>Kramer vs. Kramer</i> 『クレイマー、クレイマー』	Daddy's French Toast 時制について学ぶ
第 3 回	Chapter 2: <i>The Devil Wears Prada</i> 『プラダを着た悪魔』	New Yorkers' Street Food 比較について学ぶ
第 4 回	Chapter 3: <i>Super Size Me</i> 『スーパーサイズ・ミー』	Fast Food and Obesity 動名詞について学ぶ
第 5 回	Chapter 4: <i>Kamome Shokudo</i> 『かもめ食堂』	Japanese Cuisine in Finland 分詞について学ぶ
第 6 回	Chapter 5: <i>The Road Home</i> 『初恋のきた道』	A Lunchbox Filled with Love 代名詞について学ぶ
第 7 回	Chapter 6: <i>Notting Hill</i> 『ノッティングヒルの恋人』	The Last Brownie 仮定法について学ぶ

第 8 回	Chapter 7: <i>No Reservations</i> 『幸せのレシピ』	A Recipe for Happiness 接続詞について学ぶ
第 9 回	ショートエッセイの書き方 (テーマ編)	どのようなテーマ設定が可能か、全員でディスカッションします。
第 10 回	ショートエッセイの書き方 (文章編)	英文エッセイの書き方を指導します。
第 11 回	Chapter 8: <i>Dear Frankie</i> 『Dear フランキー』	Fish & Chips with Daddy 不定詞について学ぶ
第 12 回	エッセイ・フィードバック (1)	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 13 回	エッセイ・フィードバック (2)	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 14 回	エッセイ・フィードバック (3) と秋学期授業 (English through Movies & Drama II) の予告	個別の提出課題から抽出したポイントを、全体にフィードバックします。 秋学期の課題映画について解説します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの essay reading と exercises は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。期末に英文エッセイ (300 語~400 語程度の予定) を書けるよう、スケジュール管理してください。

【テキスト (教科書)】

A Flavor of English: Cinema and Cuisine (Asahi Press)

【参考書】

本橋哲也著『映画で入門カルチュラル・スタディーズ』(大修館書店)

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50 %) と期末課題 (50 %) から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

「映画を楽しみながら英語を学べてよかった」、「知っているはずの文法項目でも、抜けていたところに気づけてよかった」、「個別のフィードバックが貴重だった」などと、好評でした。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309) 教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom でも動画共有を行うので、使用機器 (PC 利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いしています。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、Hoppii も利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to read intensively essays in *A Flavor of English: Cinema and Cuisine* as a basis for storytelling. You are expected to get used to intensive reading and storytelling. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and essay writing(50%).

LANe200LA

English through Movies and Drama II 2017 年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

A Flavor of English: Cinema and Cuisine は、映画の中の食文化について書かれたエッセイ集です。エッセイを精読し、storytelling の基礎力を養うとともに、自分の考えを英語で伝える練習をします。

【到達目標】

1. 楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
2. 映画の内容と食文化について理解を深めます。
2. 語句や文法の知識を正確に身につけます。
3. 自分が書いたり話したりするときのモデルとしてエッセイを活用します。
4. 興味深く説得力のあるエッセイを書く練習をします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1. 単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
 2. エッセイの音読の練習をします。
 3. 映画の見どころを解説します。
 4. ショートエッセイを書いてみます。
- ①個人別フィードバックを行います。
- ②課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してもフィードバックを行います。
- 大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。)
第 2 回	Chapter 9: <i>Seabiscuit</i> 『シービスケット』	Hard to Bite, Hard to Ride 受動態について学ぶ
第 3 回	Chapter 10: <i>Charlie and the Chocolate Factory</i> 『チャーリーとチョコレート工場』	The Sweetest Treat 疑問詞について学ぶ
第 4 回	Chapter 11: <i>Everybody's Fine</i> 『みんな元気』	Coming Together for Christmas Turkey 前置詞について学ぶ
第 5 回	Chapter 12: <i>The Witch of the West Is Dead</i> 『西の魔女が死んだ』	Making Strawberry Jam with Grandma 使役動詞・知覚動詞について学ぶ
第 6 回	Chapter 13: <i>A Simple Life</i> 『桃さんのしあわせ』	His Favorite Poached Ox Tongue 助動詞について学ぶ

第 7 回	Chapter 14: <i>A Touch of Spice</i> 『タッチ・オブ・スパイス』	A Spice for Life 関係代名詞・関係副詞について学ぶ
第 8 回	映画の原作を読んでみる	<i>Charlie and the Chocolate Factory</i> の一部を原作（英国児童文学）で読みます。
第 9 回	ショートエッセイの書き方（文章編）	英文エッセイの書き方を指導します。
第 10 回	英語の台詞（1）	公式 Video Clips を用いて、英語の台詞を学びます。
第 11 回	英語の台詞（2）	公式 Video Clips を用いて、英語の台詞を学びます。
第 12 回	エッセイ・フィードバック（1）	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 13 回	エッセイ・フィードバック（2）	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 14 回	エッセイ・フィードバック（3）	個別の提出課題から抽出したポイントを、全体にフィードバックします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの essay reading と exercises は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。期末に英文エッセイ (300 語～400 語程度の予定) を書けるよう、スケジュール管理してください。

【テキスト（教科書）】

A Flavor of English: Cinema and Cuisine (Asahi Press)

【参考書】

本橋哲也著『映画で入門カルチュラル・スタディーズ』（大修館書店）

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50 %) と期末課題 (50 %) から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

「映画を楽しみながら英語を学べてよかった」、「知っているはずの文法項目でも、抜けていたところに気づけてよかった」、「個別のフィードバックが貴重だった」などと、好評でした。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309) 教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom でも動画共有を行うので、使用機器 (PC 利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いしています。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、Hoppii も利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to read intensively essays in *A Flavor of English: Cinema and Cuisine* as a basis for storytelling and essay writing. You are expected to get used to intensive reading, storytelling and essay writing. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and essay writing(50%).

LANe200LA
English through Movies and Drama I 2017 年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ヒュー・グラント主演のイギリスのコメディ映画『アバウト・ア・ボーイ』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、CD でスクリプトを聞き、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、スクリプトの音源の CD を聞き、リスニング能力を向上させ、内容については、テキストで問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

教科書の英文を読み、各エクササイズに答えてもらいます。予習を前提にした授業を行う。教科書の問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深める。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	学習支援システム (ホッピー) にアップされている Youtube の予告編を見る。	予告編を何度も見て、どんな映画か想像してレポートを提出する。テキストを買っておく。
2	Unit 1 A Boy and a Man	ふたりの男子。テキストの予習復習をする。
3	Unit 2 Will joins SPAT	ウィル SPAT に入会。テキストの予習復習をする。
4	Unit 3 You Need a Backup	支えが要るんだ。テキストの予習復習をする。
5	Unit 4 Will and Marcus Become Mates	ウィルとマーカスの奇妙な友情。テキストの予習復習をする。
6	Unit 5 Marcus's Fashion Makeover	マーカスを変身させよう。テキストの予習復習をする。
7	Unit 6 Will's First Real Christmas	初めての本物のクリスマス。テキストの予習復習をする。
8	Unit 7 The Boys Get Crushes	ふたりが同時に恋をした。テキストの予習復習をする。
9	Unit 8 Lies, Half-truths & Honesty	「ウソ」と「半端なホント」と「ホントのホント」。テキストの予習復習をする。
10	Unit 9 Marcus's Gift to Mum	お母さんへの贈り物。テキストの予習復習をする。
11	Unit 10 No Man Is an Island	人は孤島ではない。テキストの予習復習をする。
12	Unit 1-5 復習	英語字幕で、映画の前半を復習する

13	Unit 6-10 & Unit 1 冒頭	英語字幕で、映画の後半を、復習する。その後、日本語字幕で、映画の最初の場面を復習する
14	Unit 1 途中から Unit 10	日本語字幕で、Unit 1 の先週の続きから、最後まで、一気に見て復習する

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、テキストの問題を解き、辞書を引きながらスクリプトに目を通して、注を読んでおく。

【テキスト (教科書)】

Peter Hedges/ Chris Weitz & Paul Weitz, 神谷久美子、Kim R.Kanel 『About a Boy』松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

最初の授業のレポートに加えて、各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を 50%、学期末のレポートを 50% で採点する。各課題未提出、欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいました。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called About a Boy, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA

English through Movies and Drama II 2017 年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

マイク・ニューウェル監督、ヒュー・グラント、アンディ・マクドール主演のイギリスのラブコメディ映画『Four Weddings and a Funeral』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、リスニング能力を向上させ、内容については、スクリプトを読み、テキストで問題を解くことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

予習を前提にした授業を行う。各章のスクリプトと問題をあらかじめ予習している状態で、映画の一部を見て、テキストのスクリプトを読み、問題を解いて理解を深める。なお、最初の課題レポートと、最後のレポート課題は、Hoppii に提出していただきます。フィードバックは、Hoppii から行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	Hoppii にアップされている映画のトレイラー (Youtube) を各自で見て、それについて、Hoppii に課題レポートを書く。テキストを買っておく。
2	Week 1 Prologue	Wedding 1 へ。テキストの予習復習をする。
3	Week 2 Reception	披露宴。テキストの予習復習をする。
4	Week 3 After the reception	披露宴後。テキストの予習復習をする。
5	Week 4 Wedding 2	2 回目の結婚式。テキストの予習復習をする。
6	Week 5 Reception	2 回目の結婚式の披露宴。テキストの予習復習をする。
7	Week 6 A Day Off	休日。テキストの予習復習をする。
8	Week 7 Wedding 3	3 回目の結婚式。テキストの予習復習をする。
9	Week 8 Funeral	葬式。テキストの予習復習をする。
10	Week 9 Wedding 4 (1)	4 回目の結婚式の前半。テキストの予習復習をする。
11	Week 10 Wedding 4 (2)	4 回目の結婚式の後半 & Epilogue。テキストの予習復習をする。

12	映画の前半を通して見る。	英語字幕付きで、映画の前半を通して見て復習する。テキストの予習復習をする。
13	映画の後半を通して見る。& 日本語字幕で、映画の冒頭のシーンを復習する。	英語字幕付きで、映画の後半を通して見て復習する。テキストの予習復習をする。日本語字幕で、映画の最初の部分を復習する。
14	日本語字幕で、映画を最後まで復習する	テキストの最初から最後まで復習しておく。授業の後、まとめのレポートを書いてもらい、ホッピーで提出してもらいます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、辞書を引きながら、テキストのスクリプトに目を通して、各課の問題を解いておく。

【テキスト（教科書）】

Richard Curtis ed. & notes by Tomoko Otani, 『Four Wedding and a Funeral』 松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

最初の授業のレポートに加えて、各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を 50%、学期末のレポートを 50% で採点する。各課題未提出、欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいました。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called *Four Weddings and a Funeral*, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA

TOEIC(R) I

2017 年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「TOEIC ® って何?」という入門レベルの話題から出発しますが、秋学期授業終了時には、TOEIC ® で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、春学期から出題内容・言語スキルを系統的に学んでいきます。

【到達目標】

TOEIC ® の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

主として、後述の core text に沿った授業ですが、単なる TOEIC ® 形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、e-learning による個別問題演習や実践力を養う一斉小テストも行います。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期・秋学期の概要とレベルの説明。
第 2 回	Unit 1: Travel (名詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 3 回	Unit 2: Dining Out (形容詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 4 回	Unit 3: Media (副詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 5 回	Unit 4: Entertainment (時制を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 6 回	Unit 1~4	復習のためのクイズやタスクと問題演習
第 7 回	Unit 5: Purchasing (主語と動詞の一致を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 8 回	Unit 6: Clients (能動態・受動態を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 9 回	Unit 7: Recruiting (動名詞・不定詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第 10 回	Unit 8: Personnel (現在分詞・過去分詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC ® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 11 回	Unit 5~8	復習のためのクイズやタスクと問題演習
第 12 回	Interview	個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認します。
第 13 回	春学期末テストと復習	春学期に学んだ単語・フレーズについて筆記試験を行います。
第 14 回	春学期の総括	期末テストを返却して解説します。秋学期授業の予告、夏季休暇中の勉強のしかたなどを説明し、個別指導を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

下記 Core text や関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。秋学期 12 月の TOEIC ® 本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Score Booster for the TOEIC ® L&R Test Intermediate (金星堂)
そのほか、プリント教材

【参考書】

URL (例)
<http://heathrow.com/>
<https://www.expedia.co.uk/>
<https://www.ox.ac.uk/gazette/> など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。少人数クラスならではのコミュニケーションが効果的だったのではと自負しています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309) 教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom 授業では、使用機器 (PC 利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom 授業では顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いします。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

We will start with the introductory topic, 'What it is like the TOEIC ® test?' Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC ® scores. We will learn such knowledge and skills systematically from the spring semester. By the end of the course, students should get familiar with the testing types. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(50%) and final exams(50%).

LANe200LA

TOEIC(R) II

2017 年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期の学習を踏まえて、秋学期はとくにビジネスシーンを意識した内容に取り組みます。秋学期終了時には、TOEIC®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、系統的に学んでいきます。

【到達目標】

TOEIC®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。12 月の TOEIC®本試は全員に受験していただく予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

主として、後述の core text に沿った授業ですが、単なる TOEIC®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、e-learning による個別問題演習や実践力を養う一斉小テストも行います。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期の学習内容の復習、秋学期の学習計画の説明などを行います。
第 2 回	Unit 9: Advertising (代名詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 3 回	Unit 10: Meetings (比較を学ぶ)	テキストによる TOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 4 回	Unit 11: Finance (前置詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 5 回	Unit 8~11	復習のためのクイズやタスク
第 6 回	Unit 12: Offices (接続詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 7 回	問題演習 (1)	パート別に制限時間を設けての問題演習
第 8 回	問題演習 (2)	パート別に制限時間を設けての問題演習
第 9 回	Unit 13: Daily Life (前置詞と接続詞の違いを学ぶ)	テキストによる TOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 10 回	Unit 14: Sales & Marketing (関係代名詞を学ぶ)	テキストによる TOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第 11 回 Unit 15: Events (語彙の結びつきを学ぶ) テキストによる TOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第 12 回 Interview 個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認します。

第 13 回 秋学期末テストと復習 秋学期に学んだ単語・フレーズについて筆記試験を行います。

第 14 回 秋学期の総括 期末テストを返却して解説します。

12 月の TOEIC®スコアレポート提出後、学生本人の希望に応じて個別指導を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

下記 Core text や関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。12 月の TOEIC®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Score Booster for the TOEIC® L&R Test Intermediate (金星堂) そのほか、プリント教材

【参考書】

『TOEIC® テスト公式問題集 新形式問題対応編』(Educational Testing Service)

『TOEIC® Test プラスマガジン』(リント)

URL (例)

<http://heathrow.com/>

<https://www.expedia.co.uk/>

<https://www.ox.ac.uk/gazette/> など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (25%)、Interview (25%)、期末テスト (25%)、12 月 TOEIC®本試のスコア (25%) から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。少人数クラスならではのコミュニケーションが効果的だったのではと自負しています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309) 教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom 授業では、使用機器 (PC 利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom 授業では顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いします。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC® scores. We will continue to learn such knowledge and skills systematically. Especially in the fall semester, we will focus on a variety of business situations. By the end of the course, students should reach their target score in the TOEIC® testing. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(50%) and final exams(50%).

LANe200LA

TOEIC(R) I

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本人が苦手とするリスニングのポイントや読解に必要な文法事項の確認をしながら TOEIC®形式の問題演習を行うことで、リスニング力・読解力の向上を目指します。

【到達目標】

TOEIC®の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC®スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC®の傾向と対策をおさえていきます。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC®の概要
第 2 回	教科書 Lesson 1 Headhunting	「音の消失」を含む英語のリスニング練習（破裂音同士）
第 3 回	教科書 Lesson 2 The Internet	動詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 4 回	教科書 Lesson 3 Weddings	「音の消失」を含む英語のリスニング練習（破裂音と鼻音、s, th 等）
第 5 回	教科書 Lesson 4 Corporate Culture	時制にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 6 回	教科書 Lesson 5 Music	応答の予測をしながらのリスニング練習
第 7 回	教科書 Lesson 6 Movies	形容詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 8 回	教科書 Lesson 7 Sightseeing	「音の同化」を含む英語のリスニング練習
第 9 回	教科書 Lesson 8 Recruiting	名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 10 回	教科書 Lesson 9 Shopping	「音の短縮」を含む英語のリスニング練習
第 11 回	教科書 Lesson 10 Forecasts	分詞構文にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 12 回	教科書 Lesson 11 Customs	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
第 13 回	教科書 Lesson 12 Crime	不定詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 14 回	期末試験とまとめ	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。試験結果に応じてフィードバックを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Navigator for the TOEIC® Test（南雲堂）

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度（70%）と期末試験（30%）から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気を付けます。

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their listening and reading skills in English through preparing for TOEIC®. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (70%) and the final exam (30%).

LANe200LA

TOEIC(R) II

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本人が苦手とするリスニングのポイントや読解に必要な文法事項の確認をしながら TOEIC ® 形式の問題演習を行うことで、リスニング力・読解力の向上を目指します。

【到達目標】

TOEIC ® の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC ® スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC ® の傾向と対策をおさえていきます。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC ® の概要
第 2 回	教科書 Lesson 13 New Products	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
第 3 回	教科書 Lesson 14 Global Matters	動名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 4 回	教科書 Lesson 15 Health	「無声化する音」を含む英語のリスニング練習
第 5 回	教科書 Lesson 16 Parties	時制の一致や主語・動詞の一致にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 6 回	教科書 Lesson 17 Skiing	「有声化する音」を含む英語のリスニング練習
第 7 回	教科書 Lesson 18 Travel	関係詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 8 回	教科書 Lesson 19 Dating	「音の弱化」を含む英語のリスニング練習
第 9 回	教科書 Lesson 20 Hospitals	接続詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 10 回	教科書 Lesson 21 Advertising	音の弱形と強形に注意しながらのリスニング練習
第 11 回	教科書 Lesson 22 Opportunities	仮定法にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 12 回	教科書 Lesson 23 Employment	類音語に注意しながらのリスニング練習
第 13 回	教科書 Lesson 24 Banking / Finance	否定にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 14 回	期末試験とまとめ	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。試験結果に応じてフィードバックを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Navigator for the TOEIC ® Test （南雲堂）

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度（70%）と期末試験（30%）から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気を付けます。

【その他の重要事項】

前学期の「TOEIC I」を取ってなくても受講可能です。

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their listening and reading skills in English through preparing for TOEIC ®. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (70%) and the final exam (30%).

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検準 1 級の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の 4 つの能力をバランス良く強化することを目指します。授業の後半では TOEFL, IELTS の紹介と基礎演習も行います。英語検定試験受験予定者はもちろんのこと、英語学習の習慣化を希望する学生の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interviews and lectures
- 3 Be able to talk about basic topics
- 4 Be able to write a multi-paragraph essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検, TOEFL, IELTS 各テスト形式と問題の紹介と演習)
3. News mini-presentation (News in Levels についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1 Learning Paragraph Structure 2 Paragraph reading practice 2 Listening practice
5 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping 2 Prosodic shadowing 3 Contents shadowing

6 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice
7 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay
8 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
9 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2 Reading practice 3 Listening practice
10 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
11 回	Introduction to IELTS	1 Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2 Reading practice 3 Listening practice
12 回	IELTS: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
13 回	IELTS: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制（20 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検、TOEFL、IELTS の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力をバランス良く強化することを目指します。英語検定試験受験予定者はもちろんのこと、英語学習の習慣化を希望する学生の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interviews and lectures
- 3 Be able to make a mini presentation
- 4 Be able to write a multi-paragraph essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検、TOEFL、IELTS 各テスト形式と問題の紹介と演習)
3. TED mini-presentation (視聴してきた TED の内容等についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Paragraph Reading Training	1 Paragraph reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping 2 Prosodic shadowing 3 Contents shadowing
5 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice

6 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay
7 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice
8 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL テストについて) 2 Reading practice 3 Listening practice
9 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice
10 回	TOEFL: Learning presentation skills	1 Learning an effective presentation 2 Making a presentation
11 回	Introduction to IELTS	1 Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2 Reading practice 3 Listening practice
12 回	IELTS: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
13 回	IELTS: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)

1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)

2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

Business Communication I

2017 年度以降入学者

今井 澄子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/Reading のみならず、TOEIC® Speaking/Writing にも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

授業始めに Listening 小テストを毎回行う。メイン教材としては、まず TOEIC® 実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネス DVD 視聴、英文書類、E メール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Academic English と Business English	Business Communication に必要な英語について概説する
第 2 回	TOEIC® Listening Test	TOEIC® の Listening 問題を一回分 (100 問) 解き、答え合わせを行う
第 3 回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題 1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1 (文法)
第 4 回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題 2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2 (語彙)
第 5 回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題 1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1 (単一文書単語補充)
第 6 回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題 2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2 (単一文書読解)
第 7 回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題 3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3 (複数文書の関連付け)
第 8 回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題 4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4 (図表・伝票を含む複数文書)

第 9 回	Listening 7 英文帳票作成	英語音声聴解 Leave Request Domestic/Oversea Travel Form
第 10 回	Listening 8 社内文書作成	英語音声聴解 Interoffice Memo Notice
第 11 回	Listening 9 社交文書作成 1	英語音声聴解 会合連絡への返信英文メール作成
第 12 回	Listening 10 社交文書作成 2	英語音声聴解 礼状、悔やみ状などの英文レター作成
第 13 回	就職活動文書作成	履歴書作成 応募カバーレター 紹介状・推薦状
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を引きながら読み、問題の答えを考えておくことが必要。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。

【テキスト（教科書）】

TOEIC® 問題、Listening 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用する。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題である。

【参考書】

授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、課題等 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60% 以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも 0 点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。なお、万一オンライン授業になった場合、各回の課題すべてを期限までに提出して出席となる。したがって、複数の課題があるときはすべて提出せねばならず、ひとつでも未提出だと欠席になる。また、オンライン授業でも授業時間中の参加を推奨しており、参加状況が良くないときは平常点に影響が出る。

【学生の意見等からの気づき】

前年度まで使用していた商業英語の Dictation 教材英文がやや古いというご意見をいただいた。確かにビジネスで使用される英語にも変化があるので、できるだけ実情に即したものにしたい方と考える。よって、今年度からは TOEIC® 形式ミニテストまたは実際の Listening 問題スクリプトをもとにして作成したプリントを使用する。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。英文メール&レター Writing を行う際、備付 PC のない教室が割り当てられた場合は各自のモバイル PC を持ち込むことになる。PC の都合がつかない学生には PC 貸与を受けるなど方策をとるので、PC の有無で受講を控える必要はない。

【その他の重要事項】

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。

【Outline (in English)】

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student’s overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.

LANe200LA

Business Communication II 2017 年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/Reading のみならず TOEIC® Speaking/Writing にも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業始めに Listening 小テストを毎回行う。メイン教材としては、まず TOEIC® 実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネス DVD 視聴、英文書類、E メール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。なお、春学期とは別の問題を使って授業を進めるため、秋学期からの履修も可能で不利は一切ない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Business English と TOEIC® 等各種資格試験	Business Communication に必要な英語と TOEIC®, ビジネス英語検定試験等について解説する
第 2 回	TOEIC® Listening Test	TOEIC® の Listening 問題を一回分 (100 問) 解き、答え合わせを行う
第 3 回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題 1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1(文法)
第 4 回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題 2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2(語彙)
第 5 回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題 1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1(単一文書単語補充)
第 6 回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題 2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2(単一文書読解)
第 7 回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題 3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3(複数文書の関連付け)

第 8 回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題 4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4(図表・伝票を含む複数文書)
第 9 回	Listening 7 英文帳票作成 1	英語音声聴解 Cash Advanced Payment, Expense Report, Cash Payment Request
第 10 回	Listening 8 英文帳票作成 2	英語音声聴解 Receipt を使った経費申告
第 11 回	Listening 9 貿易書類作成	英語音声聴解 Packing List, Invoice
第 12 回	Listening 10 英語電話メモ作成	英語音声聴解 英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成 1
第 13 回	国際ビジネス文書	ビジネス取引に関する英文レター作成
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を調べながら読み、問題の答えを考えてくることが必要。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。

【テキスト（教科書）】

TOEIC® 問題、Listening 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題。

【参考書】

授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、課題等 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60% 以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも 0 点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。なお、万一オンライン授業になった場合、各回の課題すべてを期限までに提出して出席となる。したがって、複数の課題があるときはすべて提出せねばならず、ひとつでも未提出だと欠席になる。また、オンライン授業でも授業時間中の参加を推奨しており、参加状況が良くないときは平常点に影響が出る。

【学生の意見等からの気づき】

前年度まで使用していた商業英語の Dictation 教材英文がやや古いというご意見をいただいた。確かにビジネスで使用される英語にも変化があるので、できるだけ実情に即したものにしたい方と考える。よって、今年度からは TOEIC® 形式ミニテストまたは実際の Listening 問題スクリプトをもとにして作成したプリントを使用する。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。英文メール&レター Writing を行う際、備付 PC のない教室が割り当てられた場合は各自のモバイル PC を持ち込むことになる。PC の都合がつかない学生には PC 貸与を受けるなど方策をとるので、PC の有無で受講を控える必要はない。

【その他の重要事項】

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。

【Outline (in English)】

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.

LANe200LA

ニュース英語 I

2017 年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制（20 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的、多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音声に合わせて聞き読みをしたり、音読やシャドーイングの練習も行う。基本文法や語彙の補強も行い、確実に読解力、リスニング力のレベルアップを図る。また、ニュース記事について自分の意見を平易な英語で書くことも到達目標の 1 つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業は教科書を中心に進める。教科書は VOA(Voice of America) Learning English という英語学習者向けのニュース（通常より 3 割程度遅いスピードの放送）からなる。これを聞いたり、読んだり、発話練習を行いながら、記事の内容を正確に理解した上で、自分の意見を伝える練習も行う。使用する CALL（コンピュータ支援の語学学習）教室の特性を活かして、様々な学習ツール（グループワーク機能、音声 & 文字チャット、音声録音など）を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の解説とプレテスト
第 2 回	Unit 2: Oceans to Hold More Plastic than Fish by 2050 (1)	“For Shadowing” & “Listening comprehension”
第 3 回	Unit 2: Oceans to Hold More Plastic than Fish by 2050 (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 4 回	Unit 3: Is Your Plan Sustainable? (1)	“For Shadowing” & “Listening comprehension”
第 5 回	Unit 3: Is Your Plan Sustainable? (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 6 回	Unit 4: : Saving Wild Areas May Have Unexpected Results (1)	“For Shadowing” & “Listening comprehension”
第 7 回	Unit 4: Saving Wild Areas May Have Unexpected Results (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”

第 8 回	Unit 5: Freedom House: Internet Continues to Become Less Free (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 9 回	Unit 5: Freedom House: Internet Continues to Become Less Free (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 10 回	Unit 6: New Drones Could Improve Weather Predictions (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 11 回	Unit 6: New Drones Could Improve Weather Predictions (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 12 回	Unit 7: Artificial Intelligence: Helpful and Dangerous (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 13 回	Unit 7: Artificial Intelligence: Helpful and Dangerous (2) & 発表	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension” & 発表
第 14 回	期末試験 (筆記)	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 60 分程度を標準とする。
 ・教科書の予習や英文のチャンク分け、シャドーイング練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につける。
 ・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業なので、予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかる。準備学習は授業参加の必須条件である。

【テキスト (教科書)】

Enhance your English Skills with Shadowing VOA Learning English (三修社, 2018)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (筆記) 50 % + 発表 20 % + 提出課題 20 % + 平常点 10 % によって評価する。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。

欠席が 4 回以上になった場合は単位修得の資格を失う (ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く)。遅刻・早退 3 回で欠席 1 回の扱いとする。授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

少人数ではあったが、熱意のある学生が多かった。自らに課題を課して学習する自律的な姿勢が見受けられた。

【学生が準備すべき機器他】

初回授業から学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておくこと。

【その他の重要事項】

コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint.

The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading / shadowing practice. Shadowing is a language learning technique in which you listen to a model and repeat what you hear with as little delay as possible. The main benefits of this training are 1) improved speech perception, 2) fluency in pronunciation and speech, and 3) enhanced speed and accuracy in reading comprehension.

This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.

・ Students will learn to read and listen efficiently.

・ Students will develop critical reading and thinking skills.

・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and shadowing at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20 %) + Participation (10%)

LANe200LA

ニュース英語Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。そのために英文を意味の塊ごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音声に合わせて聞き読みをしたり、音読やシャドーイングの練習も行う。基本文法や語彙の補強も行い、確実に読解力、リスニング力のレベルアップを図る。また、パラグラフの構成を意識して自分の意見を書くことも到達目標の 1 つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業は教科書を中心に進める。教科書は VOA(Voice of America) Learning English という英語学習者向けのニュース（通常より 3 割程度ゆっくりとしたスピードの放送）からなる。これを聞いたり、読んだり、発話練習を行いながら、記事の内容を正確に理解した上で、自分の意見を伝える練習も行う。使用する CALL（コンピュータ支援の語学学習）教室の特性を活かして、様々な学習ツール（グループワーク機能、音声 & 文字チャット、音声録音など）を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の解説とプレテスト
第 2 回	Unit 1: Learning How to Ask Questions (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 3 回	Unit 1: Learning How to Ask Questions (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 4 回	Unit 10: Social Media Is Keeping Young Adults Awake (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 5 回	Unit 10: Social Media Is Keeping Young Adults Awake (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 6 回	Unit 12: Scientists Find New Step in Brain Development (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 7 回	Unit 12: Scientists Find New Step in Brain Development (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”

第 8 回	Unit 13: A Child's Growing Brain Needs Love as Much as Food (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 9 回	Unit 13: A Child's Growing Brain Needs Love as Much as Food (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 10 回	Unit 18: WHO: 80% of Urban Residents Breathe Unsafe Air (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 11 回	Unit 18: WHO: 80% of Urban Residents Breathe Unsafe Air (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 12 回	Unit 20: Unit 20: Twenty-one Percent of World's Plants Could Disappear (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 13 回	Unit 20: Twenty-one Percent of World's Plants Could Disappear (2) & 発表	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension” & 発表
第 14 回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 60 分程度を標準とする。
・教科書の予習や英文のチャンク分け、シャドーイング練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につける。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業なので、予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかる。準備学習は授業参加の必須条件である。

【テキスト（教科書）】

Enhance your English Skills with Shadowing VOA Learning English（三修社, 2018）

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50 % + 発表 20 % + 提出課題 20 % + 平常点 10 % によって評価する。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。

欠席が 4 回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退 3 回で欠席 1 回の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

少人数ではあったが、意欲的な学生が多かった。学生同士で考えた互いの学習成果をチェックする機会を設けたところ、毎回の確かなコメントを伝え合っていた。

【学生が準備すべき機器他】

初回授業から学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておくこと。

【その他の重要事項】

コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint.

The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading / shadowing practice. Shadowing is a language learning technique in which you listen to a model and repeat what you hear with as little delay as possible. The main benefits of this training are 1) improved speech perception, 2) fluency in pronunciation and speech, and 3) enhanced speed and accuracy in reading comprehension.

This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.

- ・ Students will learn to read and listen efficiently.
- ・ Students will develop critical reading and thinking skills.
- ・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and shadowing at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20 %) + Participation (10%)

LANe200LA

Practical English (オーラル・コミ ユニケーション) A-I 2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing, in a coherent and concise fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Explanation of class rules & objectives and self-introductions
Class 2	Textbook unit 1 Extreme Sports	Formulating and supporting opinions
Class 3	Textbook unit 1 Extreme Sports	Group discussion Team vs. Individual Sports
Class 4	Textbook unit 2 Identity Theft	Asking for and giving advice
Class 5	Textbook unit 2 Identity Theft	Group discussion How to avoid identity theft
Class 6	Writing Workshop	Writing clear and concise sentences
Class 7	Unit 3 Space Exploration	Making and confirming predictions
Class 8	Unit 3 Space Exploration	Group discussion Future of space tourism
Class 9	Unit 4 Being Persuasive	Using logical and emotional appeals
Class 10	Unit 4 Being Persuasive	Group discussion Comparative advertising
Class 11	Individual speech (3-5 min)	What makes you different from other people? or What makes Japan different from other countries?

Class Individual speech What makes you different
12 (3-5 min) from other people? or What
makes Japan different from
other countries?

Class Final exam review Vocabulary & listening
13 practice

Class Final exam In-class exam
14 units 1-4

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson) ISBN 978-0-13-404981-6 (¥3,564)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities

40%-Outside assignments*

30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

*Assignment 1 — Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)

*Assignment 2 — Prepare a 3-5 speech on

a. What makes you different from other people? or,

b. What makes Japan different from other countries?

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-II 2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制（25 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing in a coherent and concise fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

The class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Explanation of class rules & objectives and student interviews
Class 2	Unit 5 Careers	Using follow-up questions to extend conversations
Class 3	Unit 5 Careers	Job interview role play
Class 4	Unit 6 Tourism	Considering all sides of an issue
Class 5	Unit 6 Tourism	Design a tour campaign for a local Japanese site
Class 6	Writing workshop	Writing a paragraph with topic and supporting sentences
Class 7	Unit 7 Marriage	Using polite expressions to agree & disagree
Class 8	Unit 7 Marriage	Group discussion Pros & cons of marriage
Class 9	Unit 8 Climate change	Analyzing & explaining (presenting) data
Class 10	Unit 8 Climate change	Group discussion Ways to address climate change
Class 11	Individual speech (3-5 min)	What would you like to change about yourself? or What would you like to change about Japan?

Class 12	Individual speech (3-5 min)	What would you like to change about yourself? or What would you like to change about Japan?
Class 13	Final exam review	Vocabulary and listening practice
Class 14	Final exam (units 4-8)	In-class exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson)
ISBN 978-0-13-404981-6 (¥3,564)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities
40%-Outside assignments*
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

*Assignment 1 — Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)

*Assignment 2 — Prepare a 3-5 min speech on

- What would you like to change about yourself? or,
- What would you like to change about Japan?

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA

Practical English (オーラル・コミュニケーション) B- I 2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students' understanding and use of business phrases and terms to become more proficient when using English at work.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of business speaking situations they may encounter when working with English-speaking people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Course goals Expectations of students Introductions
Class 2	Unit 1 Careers	Business phone calls
Class 3	Unit 1 Careers	You Juice case study
Class 4	Unit 2 Companies	Describing companies
Class 5	Unit 2 Companies	Dino Conti case study
Class 6	Unit 3 Selling	Negotiating
Class 7	Unit 3 Selling	Negotiation role play
Class 8	Unit 4 Great Ideas	Conducting a successful meeting
Class 9	Unit 4 Great Ideas	PB Technologies role play
Class 10	Unit 5 Stress	Participating in discussions
Class 11	Unit 5 Stress	Davies-Miller case study
Class 12	Unit 6 Entertaining	Socializing, greetings & small talk
Class 13	Final exam review	Listening & vocabulary exercises
Class 14	Final exam units 1-6	In-class exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Pre-Intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)
ISBN: 978-1-4082-3737-6

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities
40%-Outside assignments
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments.

LANe200LA

Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-II 2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

※定員制（25 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students understanding and use of business phrases and terms to become more proficient when using English at work.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of business speaking situations they may encounter when working with English-speaking people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Course goals Expectations of students Introductions
Class 2	Unit 7 New Business	Economic terms
Class 3	Unit 7 New Business	Shimizu Cycle case study
Class 4	Unit 8 Marketing	Marketing framework
Class 5	Unit 8 Marketing	Bicycle Light case study
Class 6	Unit 9 Planning	Interrupting and clarifying
Class 7	Unit 9 Planning	Planning role play
Class 8	Unit 10 Managing People	Socializing and entertaining
Class 9	Unit 10 Managing People	Wendy Peterson case study (part 1)
Class 10	Unit 11 Conflict	Addressing the root causes of conflict
Class 11	Unit 11 Conflict	Wendy Peterson case study (part 2)
Class 12	Unit 12 Products	Describing and presenting a product
Class 13	Final exam review	Listening & vocabulary practice
Class 14	Final exam units 7-12	In-class exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Pre-Intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)
ISBN: 978-1-4082-3737-6

【参考書】

none

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities
40%-Outside assignments
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments.

LANe200LA

English for Study Abroad I

2017 年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

※定員制（25 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、映像と音声を用いてイギリスでの短期留学、ホームステイを再現する模擬留学を体験する授業です。学生は、イギリスの現地の人との生の対話を録音した音源を聞きながら、リスニングやスピーキングなどのアクティビティに取り組めます。授業の中心となるのが、イギリスでの留学生生活を舞台としたさまざまな場面を想定した英語のロールプレイです。ロールプレイは、役割やペアの相手を変えて何度も行い、授業内で発表も行います。発表の時は、英語のフレーズを完全に暗唱し、台本を見ずに行います。その目的は、日常生活で使う基本的な英語の言い回しを覚え、スムーズな英語コミュニケーションができるようにするためです。英語の習得は、頭での理解という要素と、スポーツや楽器と同じ体での体得という両輪で行います。本授業では、トレーニングによる体得を中心としつつも、基本的な文法事項につまずきが見られる場合はそのつまずきを克服するための演習も行います。今や世界共通語と言われる英語を習得することは、世界の人々とのコミュニケーションのツールを得ることです。本授業を通して学生は、言語を用いたコミュニケーションの楽しさについても学びます。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ① イングランド北部なまりのある英語を聞き、何を言っているか大体わかる。
- ② 入国審査官と英語でやり取りできる。
- ③ カフェやファーストフード店で店員と英語でやり取りできる。
- ④ 駅や両替所で英語でやり取りできる。
- ⑤ 英語のインタビューを聞いて何を言っているか大体の意味が分かる。
- ⑥ 日本文化について英語で外国の人に紹介できる。
- ⑦ イギリスの文化に関心を持ち、イギリス文化に関する内容を英語で質問できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。

ペアワーク、グループワークなど学生参加型のワークを多く行う予定です。また、授業内でリアクションペーパー提出なども行います。これらのワークは、すべて平常点として評価されますので、しっかりと参加してください。授業の準備学習は特に指定しませんが、復習の課題を毎回出します。課題は、授業支援システムを通じて出題、チェック等行います。

初回授業のガイダンスはオンラインで行われます。それ以外の授業は原則対面授業を行う予定ですが、感染症や災害などの様々な状況に応じて Zoom 授業を行うこともあります。これらの授業予定は、すべて授業支援システムを通じて事前に案内しますので、授業支援システムを必ずチェックするようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4 月 12 日	ガイダンス Unit 1: Let's complete LANDING CARD on board	授業の方針説明、教科書の案内、導入、空港における英語でのコミュニケーション：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
4 月 19 日	Unit 2: Living and studying in Manchester	マンチェスターにおける日常生活での英語コミュニケーション：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
4 月 26 日	Unit 3: Can I order now?-1	カフェ、お店での注文時の英語コミュニケーション：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
5 月 10 日	Unit 4: Can I order now?-2	カフェ、パブにおける英語コミュニケーション：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
5 月 17 日	Unit 5: Buying your ticket	イギリスの鉄道に乗る：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
5 月 24 日	Unit 6: Asking questions-1	英語で質問をする：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
5 月 31 日	Unit 7: Studying in Liverpool	リヴァプールでのホームステイ：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
6 月 7 日	Unit 8: Asking questions-2	英語で道を尋ねる、両替をする：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
6 月 14 日	Unit 9: York-Shambles and food	列車の中での会話：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
6 月 21 日	Unit 10: JAPAN	英語で日本のことを伝える：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
6 月 28 日	Unit 11: Various voices in the UK	イギリスの町の人の声を聴く：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
7 月 5 日	Unit 12: Signboards	イギリスの看板、広告を読む：リスニング、スピーキング、ロールプレイ、語彙
7 月 12 日	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの内容、役割決め
7 月 19 日	プレゼンテーション	学生の英語によるロールプレイ・レイプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業の準備学習は特に指定しませんが、復習の課題を毎回出します。課題の取り組みは、平常点として評価しますので、しっかりと取り組んでください。課題は、授業支援システムを通じて出題、チェック等行います。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 English for Study Abroad: People×Language×Culture

【著者】 Akira Inoue, Shinako Imaizumi, Christopher Connolly

【出版社】 英宝社

【出版年】 2018 年

【価格】 2000 円

【参考書】

特に指定しませんが、必要に応じて適宜授業内で案内します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点で評価し、60 点以上で合格です。
成績評価の内訳は、平常点 60 %、学期末プレゼンテーション 40 %です。学期末筆記試験は行いません。平常点はロールプレイなどの通常授業の授業参加や課題の取り組み、小テストなどを評価します。
4 回以上欠席をすると単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、オーラルコミュニケーションの練習時間を増やしてほしいとの意見が多くありました。今年度の授業ではロールプレイやプレゼンテーションを通してスピーキングの時間を大幅に増やす予定です。

【学生が準備すべき機器他】

授業の案内や課題提出等、全て授業支援システムを通じて行います。また初回授業は Zoom で行いますので、パソコンなどのネットワーク環境を整えてください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This class will give students simulation of home staying and short-term study abroad in Britain using video and audio. Students will work on various activities watching the video of sceneries in Britain and listening the voices of local people. The focus of the study is the role playing in English assuming various scenes of living in Britain. Students will play parts of many characters in pairs or groups. As the finishing work of the study, students will give presentation at the end of the term. In the presentation, students will do role playing without script by memorizing the lines of one's part. The aim of this presentation is learning basic expressions or phrases used in daily life by heart and enhancing smooth communication in English. The process of learning English is made up of acquiring knowledge and physical training like exercising or practicing musical instruments. This class will put stress on physical training; however, if students have difficulties in understanding basic grammatical matters, will give practices to tackle these weakness.

Preparation work for each lesson is not necessary, but students must do review work after each lesson. Assignments should be submitted and checked through Hoppii.

Grade evaluation will be assessed based on student's performance at usual lessons (60%) and the end-of-term presentation (40%). Student who is absent from lesson more than 4 times will not be credited.

LANe200LA

English for Study Abroad II

2017 年度以降入学者

北 文美子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまなトピックの英文を読むことで、国内外の時局をより広い視野から見直し、英語の読解力ならびに語彙力の向上をはかります。それぞれの内容について英語で自分の意見を述べるができるよう、語学力に加えて、思考力ならびに批判力を涵養します。

【到達目標】

速読による多読を基本とし、大意を捉えて内容を咀嚼する思考力、批判能力を養います。また、さまざまな文章を読むことのできる語彙力を身につけます。また、各自の意見を適切にまとめることができるよう表現力も養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではテキストの内容の把握に加えて、テキスト内の単語・慣用表現などの類義語、類似表現を確認し、読解力の向上とともに、語彙力ならびに表現力の拡充をはかります。また、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で内容をまとめる練習をします。また、英文を書く上で必要なスキルを、各自が実際に英文を書き、フィードバックすることで定着させます。対面授業を予定しています。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説
2	言語と文化 (1)	異文化理解
3	言語と文化 (2)	文化の衝突
4	言語と文化 (3)	英語公用語化
5	社会と環境 (1)	環境破壊
6	社会と環境 (2)	民族差別
7	中間試験 まとめ	これまで履修したテキスト及び解説から出題
8	経済と社会 (1)	南北問題
9	経済と社会 (2)	国際紛争
10	経済と社会 (3)	児童労働
11	技術と人間 (1)	臓器移植
12	技術と人間 (2)	遺伝子組み換え
13	技術と人間 (3)	インターネット中毒
14	学期末試験、まとめ	履修したテキストと解説から出題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週テキストの英文を読み、わからない単語・表現がある場合には必ず事前に辞書を使って調べておくようにしてください。授業の復習・予習に一時間以上必要です。

【テキスト (教科書)】

適宜プリントを使用します。

【参考書】

その都度紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点、課題の提出 40 %

試験 (中間・期末) 60 %

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。尚、欠席が4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英作文の例を紹介します。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 40% Mid-term and Final Exams 60%

LANe200LA

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I

2017 年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、この目的にかなった教材（『英語で読むスティーブ・ジョブズ』）を読んで理解し、アウトプットできるようにしていきます。

【到達目標】

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけることです。また、プレゼンテーション（グループ・プレゼンテーションを含む）に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

○最初は、テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。テキストには日本語訳もついているため、「訳」を問われることはありません。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。○課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	発音ドリル	発音の確認
第 3 講	Forward	関連映画の観賞及び Forward 読み、内容の確認と発音練習を行います。
第 4 講	Adoption and early life	関連映画の観賞及び Adoption and early life を読み、内容の確認と発音練習を行います。
第 5 講	Stephen Wozniak	関連映画の観賞及び Stephen Wozniak を読み、内容の確認と発音練習を行います。
第 6 講	The Homebrew Computer Club	内容の理解、要約、意見のまとめ (1)
第 7 講	Setting up Apple	内容の理解、要約、意見のまとめ (2)
第 8 講	Culture Shock	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 1
第 9 講	What's NeXT?	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 2
第 10 講	テキストの復習	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 3
第 11 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション	グループ・プレゼンテーション 1

1

第 12 講 グループ学習のまとめ グループ・プレゼンテーションとプレゼンテーション 2

復習 全体の復習

全体の復習

総括 総括

全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト（教科書）】

英語で読むスティーブ・ジョブズ トム・クリスティアン著 IBC
パブリッシング株式会社 2012 年 ISBN 978-4-7946-0151-3

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の教場練習への参加程度 (40%)、プレゼンテーション (30%) と各種レポート等 (30%) を全て考慮し、評価します。ペーパーテストを行う予定はありません。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていたきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

1. 授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ性と一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading about 'Steve Jobs' in English.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 40%, Presentations: 30%, Reports: 30%, No term-end examinations

LANe200LA

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-II 2017 年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、この目的にかなった教材 (『英語で読むスティーブ・ジョブズ』) を読んで理解し、アウトプットできるようにしていきます。また、グループ学習に慣れる練習をします。

【到達目標】

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけることです。また、グループ学習に慣れることも目標とします。グループ・プレゼンテーションでは、英語で自分の意見を言えるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。テキストには日本語訳がついているため、「訳」を問われることはありません。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、英語で発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	夏休みの出来事を書く	夏休みの出来事をテンプレートを用いて書く
第 3 講	夏休みの予定を書く	夏休みの予定をテンプレートを用いて書く
第 4 講	Buying Pixar	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 5 講	Jobs is Back	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 6 講	The iMac	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 7 講	The iTunes Store	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 8 講	A completely New Design	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 1
第 9 講	The iPad	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 2
第 10 講	テキスト全体のチェック	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 3
第 11 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 3	グループ・プレゼンテーション
第 12 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 4	グループ・プレゼンテーション
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト (教科書)】

英語で読むスティーブ・ジョブズ トム・クリスティアン著 IBC
パブリッシング株式会社 2012 年 ISBN 978-4-7946-0151-3

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の練習への参加程度 (50%)、プレゼンテーション (30%) と各種レポート等 (20%) を全て考慮し、評価します。ペーパーテストを行う予定はありません。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションの準備が負担となっているという意見が毎回ありますが、必ず一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

1. 授業時以外の時間の学習が必要です。

【Outline (in English)】**【Course Outline】**

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading about 'Steve Jobs' in English.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 50%, Presentations: 30%, Reports: 20%,
No term-end examinations

LANe200LA

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B- I 2017 年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 2/Thu.2

単位数: 1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Business communication skills: to develop the skills necessary for effective communication for a variety of common business or workplace situations

【到達目標】

This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as Data management, Etiquette, and Success will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also discuss a business case at the end of each unit and report discussion results in class. Some brief written assignments will also be given.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course Introduction & level check Introduce Unit 1	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	Unit 1 Business Activities: vocabulary & reading	Describing roles and activities; Word building; explaining jobs; greeting people; Simple present vs present continuous
Week 3	Unit 1 Business Activities: listening & discussing	Describing roles and activities; Word building; explaining jobs; greeting people; Simple present vs present continuous Case discussion
Week 4	Quiz: unit 1 Unit 1: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 1 Discuss unit 1 case & write summary of decision
Week 5	Unit 2 Data collection and management: vocabulary & reading	Using the internet; countable nouns; Quantity and number; checking information

Week 6 Unit 2 Data collection and management: listening & discussing
Using the internet; countable nouns; Quantity and number; checking information
Case discussion

Week 7 Quiz: unit 2
Unit 2: Dilemma & Decision discussion
Quiz Unit 2
Discuss unit 2 case & write summary of decision

Week 8 Unit 3 Etiquette in business situations: vocabulary & reading
Offers and requests; being polite vs being direct; Synonyms and prefixes

Week 9 Unit 3 Etiquette in business situations: listening & discussing
Offers and requests; being polite vs being direct; Synonyms and prefixes
Case discussion

Week 10 Quiz: unit 1 3
Unit 3: Dilemma & Decision discussion
Quiz Unit 3
Discuss unit 3 case & write summary of decision

Week 11 Unit 4 Image: vocabulary & reading
The fashion industry; Comparative, superlative; word building; describing products

Week 12 Unit 4 Image: listening & discussing
The fashion industry; Comparative, superlative; word building; describing products
Case discussion

Week 13 Unit 4: Dilemma & Decision discussion
Discuss case & write summary of decision

Week 14 Quiz: units 1-4
Quiz Units 1-4

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Intelligent Business Coursebook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84801-6

【参考書】

Intelligent Business Workbook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN- 0-582-84695-1
http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/www.economist.com
<http://www.better-english.com/vocabulary.htm>
Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Course grades will be based on the following components:
Quizzes-50%
Homework from textbook or handouts-20%
Participation-15%
Unit ending discussions & written summaries (typed)-15%
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on business vocabulary development and discussion skills

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook
Students should join Google Classroom for this course.
Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【その他の重要事項】

Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.

This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 550.

【Outline (in English)】

Develop spoken and written competence in a variety of business situations and on a variety of business topics

LANe200LA

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-II 2017 年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 2/Thu.2

単位数: 1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The goal of the course is to develop the student's English communication skills for a variety of situations encountered in business.

【到達目標】

This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as service, productivity, creativity, and motivation will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate what their groups have decided in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also discuss a business case at the end of each unit and report discussion results in class. Some brief written assignments will also be given.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course Intro & level check	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	Unit 6 Ideas for the Future: vocabulary & reading	Modals of possibility; financing ventures; collocations; making predictions
Week 3	Unit 6 Ideas for the Future: listening & discussing	Modals of possibility; financing ventures; collocations; making predictions
Week 4	Unit 6 quiz Unit 6: Dilemma & Decision discussion	Unit 6 quiz Discuss case & write summary of decision
Week 5	Unit 7 Location: vocabulary & reading	Businesses location Phrasal verbs Collocations
Week 6	Unit 7 Location: listening & discussing	Future plans & intentions Making appointments
Week 7	Unit 7 quiz Unit 7: Dilemma & Decision discussion	Unit 7 quiz Discuss case & write summary of decision
Week 8	Unit 8 Job seeking: vocabulary & reading	The online job market; imperatives; Explaining what to do; Fixed procedures or flexibility

Week 9	Unit 8	The online job market; imperatives; Explaining what to do; Fixed procedures or flexibility
Week 10	Unit 8 quiz Unit 8: Dilemma & Decision discussion	Unit 8 quiz Discuss case & write summary of decision
Week 11	Unit 9 Selling: vocabulary & reading	Marketing to students; modals of obligation; Word building; making suggestions; showing reactions
Week 12	Unit 9 Selling: listening & discussing	Marketing to students; modals of obligation; Word building; making suggestions; showing reactions
Week 13	Unit 9: Dilemma & Decision discussion Review: units 6-9	Discuss case & write summary of decision
Week 14	Quiz: unit 6-9	Quiz: unit 6-9

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Intelligent Business Coursebook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84801-6

【参考書】

Intelligent Business Workbook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84695-1
http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/
www.economist.com
<http://www.better-english.com/vocabulary.htm>
Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Course grades will be based on the following components:
Quizzes-50%
Homework from textbook or handouts-20%
Participation-15%
Unit ending discussions & written summaries ((typed)-15%
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on business vocabulary development and discussion skills

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook
Students should join Google Classroom for this course.
Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【その他の重要事項】

Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.
This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 550.

【Outline (in English)】

For each topic covered, the students will learn the vocabulary and grammar to equip them to express their opinions, participate in short discussions, and write up typed summaries of their discussions in email messages or memos.

LANe200LA

Practical English (英語検定試験対策) A- I

2017 年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制（25 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

【到達目標】

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 1	Unit 1Daily Life [基本 5 文型] (精読、内容理解)
3	Unit 1	Unit 1Daily Life [基本 5 文型] (再読、リスニング、質疑応答)
4	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (精読、内容理解)
5	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (再読、リスニング、質疑応答)
6	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (精読、内容理解)
7	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (再読、リスニング、質疑応答)
8	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (精読、内容理解)
9	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (再読、リスニング、質疑応答)

10	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (精読、内容理解)
11	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (再読、リスニング、質疑応答)
12	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (精読、内容理解)
13	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (再読、リスニング、質疑応答)
14	Unit 7	Unit 7 Business & Economics [助動詞] (精読、内容理解)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC® テスト コアをつかんで完全攻略』金星堂、2015 年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、期末試験 40% で評価します。30 分以上の遅刻は欠席とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion): 60%, Term-end exam: 40%.

LANe200LA

Practical English (英語検定試験対策) A-Ⅱ

2017 年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

【到達目標】

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (精読、リスニング、内容理解)
3	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (再読、質疑応答)
4	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (精読、リスニング、内容理解)
5	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (再読、質疑応答)
6	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (精読、リスニング、内容理解)
7	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (再読、質疑応答)
8	Unit 11	Unit 11 Finance & Banking [代名詞・関係詞] (精読、リスニング、内容理解)

9	Unit 11	Unit 11Finance & Banking [代名詞・関係詞] (再読、質疑応答)
10	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (精読、リスニング、内容理解)
11	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (再読、質疑応答)
12	Review Test 1	Review Test1 を解く。リスニング問題とその解説。
13	Review Test 1	Review Test 1 を解く。長文読解問題とその解説。
14	Review Test 2	Review Test 2 を解く。リスニングと長文読解問題、その解説。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC ® テスト コアをつかんで完全攻略』、金星堂、2015 年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、学期末試験 40% で評価します。アンケートについて、期限を過ぎた場合は遅刻とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion): 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA

Practical English (英語検定試験対策) B- I

2017 年度以降入学者

光野 昭雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

※定員制 (25 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

学生諸君が英検準 1 級以上の級に合格することを目的とする。

【到達目標】

語彙、表現、構文、文法等できるだけ細かく説明し、学生諸君があらゆる点に必要な知識を習得し、希望の級に合格できる様に指導する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

プリントを使用し必要な説明をした後に、実際に学生諸君に問題を解いてもらう。最後に詳しい解説を行う。オンライン授業に移行した際は、資料配布型の授業を行う。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	句、節、文、5 文型	説明
第二回	句、節、文、5 文型	問題演習
第三回	句、節、文、5 文型	解答と解説
第四回	不定詞	説明
第五回	不定詞	問題演習
第六回	不定詞	解答と解説
第七回	動名詞	説明
第八回	動名詞	問題演習
第九回	動名詞	解答と解説
第十回	分詞	説明
第十一回	分詞	問題演習
第十二回	分詞	解答と解説
第十三回	熟語と表現	問題演習
第十四回	熟語と表現	解答と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業後に必ずその日学習した重要語句、文法事項を覚えることを各学生諸君に求める。本授業の準備学習・復習時間は 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

プリント使用

【参考書】

学生諸君の力に合った英検問題集を購入し、できるだけ多くの問題を解く。

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、期末試験 80 %

各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

明瞭な説明を求められるので、できるだけ分かりやすく説明する。

【その他の重要事項】

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の4月の春学期1回目の授業に出席し、受講許可を得て9月に履修登録を行なって下さい。定員を超える場合は、選抜を行う場合があります。その際には、春学期に受講許可を得た人優先します。

【Outline (in English)】

This class will show you how your comprehensive English skill can be developed. One hour is required for learning before and after class. The goals of this course is to develop your reading, writing skill.

Grading Criteria test 80 % attitude 20 %

LANe200LA

Practical English (英語検定試験対策) B-Ⅱ 2017 年度以降入学者

光野 昭雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

※定員制（25 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

環境宣言を英文で読みながら、時事英語読解力をつける。文法や表現も併せて学習する。（準1級以上の英語力養成を目指す。）

【到達目標】

受動的に英文を読むのではなく、正確に英文を理解して、自分に必要な情報を入手し、それを基に自分の考えを述べられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

環境宣言とそれに関する英文記事を読む。単に英文を和訳するのではなく、その背景を説明しながら和訳する。必要に応じて関係資料を配布する。和訳した内容について自分の意見を書いてもらうこともある。オンライン授業に移行した際は、資料配布型の授業を行う。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その① (自然環境)
第2回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その② (責任)
第3回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その③ (天然資源)
第4回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その④ (アメリカンモデル)
第5回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その⑤ (ブッシュ政権)
第6回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その⑥ (アメリカの無能さ)
第7回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その⑦ (日本の例)
第8回	東京宣言	宣言文その① (戦後期の日本)
第9回	東京宣言	宣言文その② (自然尊重)
第10回	東京宣言	宣言文その③
第11回	東京宣言	宣言文その④ (日本社会の変化)
第12回	東京宣言	宣言文その⑤ (愛知和夫の希望)
第13回	東京宣言	宣言文その⑥ (日本の行動)
第14回	総復習	13回までの内容の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず分からない単語の意味を調べ、授業前に一読しておく事。復習を中心に最低1時間の学習が求められる。

【テキスト（教科書）】

人間環境宣言（鳳書房）

【参考書】

沈黙の春（レイチェル・カーソン）

【成績評価の方法と基準】

試験 80 % 平常点 20 %

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

説明の明瞭性を求められるので、できるだけ分かりやすく説明したい。

【Outline (in English)】

This class will show you how your English reading skill on environment can be developed. One hour is required for learning before and after class. The goals of this course is to make you understand complicated English.

Grading Criteria test 80 % attitude 20 %

LANj100LA

日本語 1 I

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット（読む・聴く）能力を高める。また、読解や聴解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。

【到達目標】

- (1) ノート・テイキングができるようになること
- (2) 読解・聴解を通して理解したことの概要を口頭で説明すること
- (3) 読解・聴解を通して理解したことについて、自らの意見を述べる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. メモを取りながら読解または聴解を行う
3. メモをもとにアウトラインを作成する
4. アウトラインに基づき、口頭で内容を説明する

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、内容についての紹介
2	聴解練習 1	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。
3	聴解練習 2	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。
4	聴解練習 3	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
5	口頭発表練習 1	第 4 回授業で作成したアウトラインに基づき、口頭で内容を説明する。
6	聴解練習 4	メモを取りながらスクメモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。
7	口頭発表練習 2	第 6 回授業で作成したアウトラインに基づき、口頭で内容を説明する。
8	聴解練習 5	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。

9	口頭発表練習 3	第 8 回授業で作成したアウトラインに基づき、口頭で内容を説明する。
10	聴解試験（中間試験）	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。
11	口頭発表練習 4	第 10 回授業で作成したアウトラインに基づき、口頭で内容を説明する。
12	期末発表準備	期末発表用の資料を作成する。
13	期末発表練習	期末発表の練習をグループで行う。
14	期末発表（期末試験）	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中にハンドアウトや資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

各回の課題： 40 %

中間試験： 30 %

期末試験： 30 %

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj100LA

日本語 1 II

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット（読む・聴く）能力を高める。また、読解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。

【到達目標】

- (1) ノート・テイキングができるようになること
- (2) 読解・聴解を通して理解したことの概要を口頭で説明すること
- (3) 読解・聴解を通して理解したことについて、自らの意見を述べる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

1. 読解課題に取り組む
 2. 読解のトピックに関してディスカッションを行う
 3. 2 を踏まえ、再度 1 の読解課題に取り組む
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、内容についての紹介
2	教材 1 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
3	教材 1 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
4	教材 1 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
5	教材 1 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
6	教材 1 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
7	教材 2 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
8	教材 2 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
9	教材 2 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
10	教材 2 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。

11	教材 2 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
12	教材 2 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
13	教材 2 の読解	読解課題に取り組む。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
14	期末考査	期末考査・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムを通して教材を配布する。

日本社会の現状に概観を与える社会科学分野の文献を 2 本読む予定である。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 60 %、期末考査 40 %

欠席が 4 回以上の学生に対しては原則として成績評価を行わない。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj200LA

日本語 3 I

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。また口頭発表に必要な基本的な技術を身につける。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえ、レジュメにまとめることができる。
3. 学生は、読んだ文章の内容の概要を口頭で説明し、自分の意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を一人で読みレジュメを作成する
 2. グループで各自のレジュメを検討する
 3. 文章の内容をグループで発表する
 4. 文章のトピックに関するディスカッションを行う
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材 1 の読解	読解
③	教材 1 のレジュメ作成	レジュメ作成
④	教材 1 のレジュメをグループで検討	ディスカッション
⑤	教材 1 を紹介するグループ発表の準備①	口頭発表準備
⑥	教材 1 を紹介するグループ発表の準備②	口頭発表準備
⑦	口頭発表	口頭発表
⑧	教材 2 の読解	読解
⑨	教材 2 のレジュメ作成	レジュメ作成
⑩	教材 2 のレジュメをグループで検討	ディスカッション
⑪	教材 1 を紹介するグループ発表の準備①	口頭発表準備
⑫	教材 1 を紹介するグループ発表の準備②	口頭発表準備
⑬	教材 1 を紹介するグループ発表の準備③	口頭発表準備
⑭	口頭発表	口頭発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を 3 本読む。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 50 %、口頭発表 50 %

具体的な方法と基準は、初回の授業で提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to enhance reading comprehension and presentation skills for research activities.

LANj200LA

日本語 3 II

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力と読解内容の概要を口頭で説明する能力の向上を目的とする。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章を正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてレジュメにまとめられる。
3. 学生は、読んだ文章の内容を口頭で説明し、また、自分の意見を述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を読む
2. グループで内容を確認
3. 文章の概要をレジュメにまとめる
4. 文章の内容を口頭で説明する
5. 文章の内容に関し、自分の意見を述べる

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材 1 の読解①	読解内容をグループで確認・検討
③	教材 1 の読解②	読解内容をグループで確認・検討
④	教材 1 のレジュメ作成①	グループで分担し、教材 1 のレジュメを作成する。
⑤	教材 1 のレジュメ作成②	作成したレジュメをグループで検討し、完成させる。
⑥	教材 1 を紹介する口頭発表の練習①	口頭発表の練習を行う
⑦	口頭発表	口頭発表
⑧	教材 2 の読解①	教材 2 の主張とその根拠をグループで検討する
⑨	教材 2 の読解②	教材 2 の主張とその根拠をグループで検討する
⑩	ディスカッション	教材 2 について、グループで、またクラス全体で議論する
⑪	教材 3 の読解①	教材 3 の主張とその根拠をグループで検討する
⑫	教材 3 の読解②	教材 3 の主張とその根拠をグループで検討する
⑬	ディスカッション	教材 3 について、グループで、またクラス全体で議論する
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を3本読む。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 70 %、期末課題 30 %

具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to enhance reading comprehension and presentation skills for research activities.

LANj200LA

日本語 3 I

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。また口頭発表に必要な基本的な技術を身につける。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえ、レジュメにまとめることができる。
3. 学生は、読んだ文章の内容の概要を口頭で説明し、自分の意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を一人で読みレジュメを作成する
2. グループで各自のレジュメを検討する
3. 文章の内容をグループで発表する
4. 文章のトピックに関するディスカッションを行う

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材1の読解	読解
③	教材1のレジュメ作成	レジュメ作成
④	教材1のレジュメをグループで検討	ディスカッション
⑤	教材1を紹介するグループ発表の準備①	口頭発表準備
⑥	教材1を紹介するグループ発表の準備②	口頭発表準備
⑦	口頭発表	口頭発表
⑧	教材2の読解	読解
⑨	教材2のレジュメ作成	レジュメ作成
⑩	教材2のレジュメをグループで検討	ディスカッション
⑪	教材1を紹介するグループ発表の準備①	口頭発表準備
⑫	教材1を紹介するグループ発表の準備②	口頭発表準備
⑬	教材1を紹介するグループ発表の準備③	口頭発表準備
⑭	口頭発表	口頭発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を3本読む。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 50 %、口頭発表 50 %

具体的な方法と基準は、初回の授業で提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to enhance reading comprehension and presentation skills for research activities.

LANj200LA

日本語 3 II

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力と読解内容の概要を口頭で説明する能力の向上を目的とする。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章を正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてレジュメにまとめられる。
3. 学生は、読んだ文章の内容を口頭で説明し、また、自分の意見を述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を読む
2. グループで内容を確認
3. 文章の概要をレジュメにまとめる
4. 文章の内容を口頭で説明する
5. 文章の内容に関し、自分の意見を述べる

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材 1 の読解①	読解内容をグループで確認・検討
③	教材 1 の読解②	読解内容をグループで確認・検討
④	教材 1 のレジュメ作成①	グループで分担し、教材 1 のレジュメを作成する。
⑤	教材 1 のレジュメ作成②	作成したレジュメをグループで検討し、完成させる。
⑥	教材 1 を紹介する口頭発表の練習①	口頭発表の練習を行う
⑦	口頭発表	口頭発表
⑧	教材 2 の読解①	教材 2 の主張とその根拠をグループで検討する
⑨	教材 2 の読解②	教材 2 の主張とその根拠をグループで検討する
⑩	ディスカッション	教材 2 について、グループで、またクラス全体で議論する
⑪	教材 3 の読解①	教材 3 の主張とその根拠をグループで検討する
⑫	教材 3 の読解②	教材 3 の主張とその根拠をグループで検討する
⑬	ディスカッション	教材 3 について、グループで、またクラス全体で議論する
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を3本読む。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 70 %、期末課題 30 %

具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to enhance reading comprehension and presentation skills for research activities.

LANj200LA

日本語3 I

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。また口頭発表に必要な基本的な技術を身につける。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえ、レジュメにまとめることができる。
3. 学生は、読んだ文章の内容の概要を口頭で説明し、自分の意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を一人で読みレジュメを作成する
2. グループで各自のレジュメを検討する
3. 文章の内容をグループで発表する
4. 文章のトピックに関するディスカッションを行う

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材1の読解	読解
③	教材1のレジュメ作成	レジュメ作成
④	教材1のレジュメをグループで検討	ディスカッション
⑤	教材1を紹介するグループ発表の準備①	口頭発表準備
⑥	教材1を紹介するグループ発表の準備②	口頭発表準備
⑦	口頭発表	口頭発表
⑧	教材2の読解	読解
⑨	教材2のレジュメ作成	レジュメ作成
⑩	教材2のレジュメをグループで検討	ディスカッション
⑪	教材1を紹介するグループ発表の準備①	口頭発表準備
⑫	教材1を紹介するグループ発表の準備②	口頭発表準備
⑬	教材1を紹介するグループ発表の準備③	口頭発表準備
⑭	口頭発表	口頭発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を3本読む。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 50 %、口頭発表 50 %

具体的な方法と基準は、初回の授業で提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to enhance reading comprehension and presentation skills for research activities.

LANj200LA

日本語Ⅲ

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力と読解内容の概要を口頭で説明する能力の向上を目的とする。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章を正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてレジュメにまとめられる。
3. 学生は、読んだ文章の内容を口頭で説明し、また、自分の意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を読む
2. グループで内容を確認
3. 文章の概要をレジュメにまとめる
4. 文章の内容を口頭で説明する
5. 文章の内容に関し、自分の意見を述べる

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材 1 の読解①	読解内容をグループで確認・検討
③	教材 1 の読解②	読解内容をグループで確認・検討
④	教材 1 のレジュメ作成①	グループで分担し、教材 1 のレジュメを作成する。
⑤	教材 1 のレジュメ作成②	作成したレジュメをグループで検討し、完成させる。
⑥	教材 1 を紹介する口頭発表の練習①	口頭発表の練習を行う
⑦	口頭発表	口頭発表
⑧	教材 2 の読解①	教材 2 の主張とその根拠をグループで検討する
⑨	教材 2 の読解②	教材 2 の主張とその根拠をグループで検討する
⑩	ディスカッション	教材 2 について、グループで、またクラス全体で議論する
⑪	教材 3 の読解①	教材 3 の主張とその根拠をグループで検討する
⑫	教材 3 の読解②	教材 3 の主張とその根拠をグループで検討する
⑬	ディスカッション	教材 3 について、グループで、またクラス全体で議論する
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を3本読む。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 70 %、期末課題 30 %

具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to enhance reading comprehension and presentation skills for research activities.

LANj200LA

日本語 4 I

2017 年度以降入学者

板井 美佐

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

語彙をビルドアップする。

小説を教材として精読の力を伸ばす。

【到達目標】

1 語彙力をつける

2 小説の時代背景を理解しながら、登場人物の気持ちや小説の展開を把握し、議論する力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1 事前に小説を読み、わからない語彙・表現を調べてくる。

2 教師はタスクを使って、文章の社会背景、内容、表現などに関して質問を行い、学生は読んで理解した内容を話す。

3 発表担当者を決め、担当者は小説の内容について質問シートを作成し、質問の答えを発表する。

4 全員で読んだ内容をもとに討論をする

5 学期中に数回小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
2	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12	テキストの読解 映画 1	テキストの読解・映画の内容に関する質疑応答
13	テキストの読解 映画 2	テキストの読解・映画の内容に関する質疑応答
14	期末試験期末試験	漢字・読解問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙・表現を調べ、小説を読んでくる。

発表担当者は小説の内容について質問シートを作成してくる。

漢字の読み・語彙を暗記する。

【テキスト（教科書）】

『坊ちゃん』 夏目漱石 集英社 286 円

【参考書】

プリント

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %

4 回欠席で落第

＊以下の条件全てを評価の対象とする。

1 欠席回数が4 回以下であること

2 授業で課題・小テストを受け、提出していること

3 学期末試験を受けていること

【学生の意見等からの気づき】

応用力がつくような授業にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレットかスマホ。

パソコンかタブレットが望ましい。

【その他の重要事項】

初日から使用するので、小説を事前に購入しておくこと。

出席を重視し、平常点では、予習、授業への積極性、取り組み意識の高さを重視する。

プリントの再配布は行なわない。

【Outline (in English)】

Build up your vocabulary.

Develop the ability to read carefully using novels as teaching materials.

LANj200LA

日本語 4 II

2017 年度以降入学者

板井 美佐

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

語彙をビルドアップする。

小説を教材として精読の力を伸ばす。

【到達目標】

1 事前に小説を読み、わからない語彙・表現を調べてくる。

2 教師はタスクを使って、文章の社会背景、内容、表現などに関して質問を行い、学生は読んで理解した内容を話す。

3 発表担当を決め、担当者は小説の内容について質問シートを作成し、質問の答えを発表する。

4 全員で読んだ内容をもとに討論をする

5 学期中に数回小テストを実施する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1 事前に小説を読み、わからない語彙・表現を調べてくる。

2 教師はタスクを使って、文章の社会背景、内容、表現などに関して質問を行い、学生は読んで理解した内容を話す。

3 発表担当を決め、担当者は小説の内容について質問シートを作成し、質問の答えを発表する。

4 全員で読んだ内容をもとに討論をする

5 学期中に数回小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
2	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12	テキストの読解 映画 1	テキストの読解と映画の内容に関する質疑応答
13	テキストの読解 映画 2	テキストの読解と映画の内容に関する質疑応答
14	期末試験期末試験	漢字・読解問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙・表現を調べ、小説を読んでくる。
発表担当者は小説の内容について質問シートを作成してくる。
漢字の読み・語彙を暗記する。

【テキスト（教科書）】

『人間失格』 太宰治 （集英社文庫） 286 円

【参考書】

プリント

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %

4 回欠席で落第

＊以下の条件全てを評価の対象とする。

1 欠席回数が 4 回以下であること

2 授業で課題・小テストを受け、提出していること

3 学期末試験を受けていること

【学生の意見等からの気づき】

応用力がつくような授業にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレットかスマホ。

パソコンかタブレットが望ましい。

【その他の重要事項】

初日から使用するので、小説を事前に購入しておくこと。

出席を重視し、平常点では、予習、授業への積極性、取り組み意識の高さを重視する。

プリントの再配布は行なわない。

【Outline (in English)】

1 語彙力をつける

2 小説の時代背景を理解しながら、登場人物の気持ちや小説の展開を把握し、議論する力をつける。

LANj200LA

日本語 4 I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を教材に読解力を身につける。

語彙を増強する。

内容は学生の様子を見て適宜変更する。

【到達目標】

1 物語の大意を取る

2 語彙力をつける

3 時代、社会背景を理解しながら、登場人物の気持ちや展開を考える

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1 小説を事前に読み、わからない語彙・表現を調べる。

2 担当者が小説の内容について質問シートを作成する。

3 担当者以外は質問の答えを質問シートに書き提出する。

4 クラスで意見交換しながら課題のフィードバックをする。

5 語彙練習をする。

6 漢字の読みテストを実施する。

Zoom と Google classroom を使用する。大学の学習支援システムに URL やクラスコードを載せるので確認し、Google classroom に登録しておくこと。

授業形態は変更する可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1.	長編小説を読む	GO 1 章 前半 金城一紀（かねしろかずき）
2	長編小説を読む	GO 1 章 後半
3	長編小説を読む	GO 2 章 前半
4	長編小説を読む	GO 2 章 後半
5	長編小説を読む	GO 3 章 前半
6	長編小説を読む	GO 3 章 後半
7	長編小説を読む	GO 4 章 前半
8	長編小説を読む	GO 4 章 後半
9	長編小説を読む	GO 5 章 前半
10	長編小説を読む	GO 5 章 後半
11	長編小説を読む	GO 6 章
12	長編小説を読む	GO 7 章 映画 1
13	長編小説を見る	GO 映画 2
14	期末試験	期末試験 漢字・語彙・読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙・表現を調べ小説を読んでくる。

担当者は小説の内容について質問シートを作成してくる。

漢字の読み・語彙を覚える。

課題提出、小試験準備に毎週 2-3 時間

【テキスト（教科書）】

『GO』 金城一紀 角川文庫 572 円

【参考書】

プリント

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %

4 回以上欠席で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

小説自体の面白さで最後まで楽しく読めたという意見がありました。学生が問いかけ考える授業形態にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【その他の重要事項】

小説をあらかじめ購入しておくこと。初日から使用する。紙の本が望ましいが、海外から参加する学生は電子書籍を購入できる。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムに詳細を載せるので Zoom の URL などを確認し、授業前に Google classroom にも登録しておくこと。

タブレット（あるいはスマホ）から参加する学生は Zoom と Google classroom のアプリを入れておくこと。

授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

The purpose of this class is to improve reading comprehension skills.

Students read Japanese novel and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2-3 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments40%, Exam40%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANj200LA

日本語 4 II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を教材に読解力を身につける。

語彙力を高める。

内容は学生の様子を見て適宜変更する。

【到達目標】

1 語彙力をつける

2 物語の大意を取る

3 物語の展開を理解する

4 物語を創作する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1 小説を事前に読み、わからない語彙・表現を調べる。

2 小説の内容について質問シートを完成させ提出する。

3 クラスで意見交換しながら課題のフィードバックをする。

4 物語を創作する。

5 語彙練習をする。

6 漢字の読みテストを実施する。

Zoom と Google classroom を使用する。大学の学習支援システムに URL やクラスコードを載せるので確認し、Google classroom に登録しておくこと。

授業形態は変更する可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	短編小説 1 - 1	「夏の葬列」 山川方夫 (やまかわまさお)
2	短編小説 1 - 2	「夏の葬列」 山川方夫
3	短編小説 1 - 3	「夏の葬列」 山川方夫
4	短編小説 2 - 1	「来訪者」 阿刀田高 (あとうだたかし)
5	短編小説 2 - 2	「来訪者」 阿刀田高
6	長編小説 2 - 3	「来訪者」 阿刀田高
7	短編小説 2 - 4	「来訪者」 阿刀田高
8	長編小説 1 - 1	『阪急電車』 有川 浩 (ありかわひろ)
9	長編小説 1 - 2	『阪急電車』 有川 浩
10	長編小説 1 - 3	『阪急電車』 有川 浩
11	長編小説 1 - 4	『阪急電車』 有川 浩
12	長編小説 1 - 5	『阪急電車』 有川 浩
13	長編小説 1 - 6	『阪急電車』 有川 浩
14	期末試験	期末試験 漢字・語彙・読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙、表現を予習する

小説を読む

質問シートを完成させ提出する

漢字・語彙を覚える

2-3 時間必要

【テキスト（教科書）】

『阪急電車』 有川 浩（ありかわひろ） 幻冬舎文庫 649 円

【参考書】

『夏の葬列』 集英社文庫

『阿刀田高傑作短編集』 集英社文庫

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %

欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

さまざまな短編・長編小説の展開を想像しながら読むのが楽しいという声がありました。展開・結末が面白いものを選びました。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【その他の重要事項】

Zoom と Google classroom を使用する。

授業形態は、変更の可能性がある。

詳細は学習支援システムで確認すること。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

The purpose of this class is to improve reading comprehension skills.

Students read Japanese novel and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2-3 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria / policy]

Participation 20%, Assignments 40%, Exam 40%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANj200LA

日本語 4 I

2017 年度以降入学者

戸村 佳代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法、語彙の拡充を図りながら、まとまった量の文章を読みとり、その内容を的確に口頭で説明できるようになるための訓練を行う。また、テキストの内容を批判的に読み、それに基づくディスカッションを行う。

【到達目標】

1. まとまった長さの文章を読み、文章の構成を捉えながら要点をつかんで理解することができる。
2. わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
3. 日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

各回の授業計画の変更や受講者が必要な準備については学習支援システムの「お知らせ」でその都度提示する。

オンライン授業が必要な場合は双方型 Web 会議システム（ZOOM）を利用する。

授業形態（対面授業・オンライン授業）にかかわらず、Google クラウドスルームを利用する。

以下の内容で授業を進めるが、授業の実施状況をみながら変更の可能性はある。

- (1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
⇒ 結果は即時フィードバックされる。
- (2) 担当者による口頭報告
⇒ 報告用のパワーポイントのファイルと配付資料は授業 3 日前までに提出
添削を受けて修正したファイルを使用して報告する
- (3) 文章の内容把握チェック
⇒ 結果は即時フィードバックされるものの他、採点后にフィードバックされる場合がある。
- (4) ディスカッション
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	1. 通信環境確認 2. 授業参加の注意点 3. ウォーミングアップとアイスブレイキング 3. 授業の進め方 4. 成績評価について
②	授業の準備の仕方	1. 語彙・表現リストの利用方法、予習の仕方 2. 発表資料の作り方 3. 練習
③	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション

④	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑧	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／ 読解（内容理解の確認）／ディス カッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、次のような予習と準備をする。

1. 「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
2. 報告担当者2名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業3日前までに提出し、添削を受ける。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

コピー教材（主に、文藝春秋社『2022年の論点100』『2021年の論点100』『2020年の論点100』等から抜粋）

【参考書】

『2022年の論点100』文藝春秋社

※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %

（小テスト、復習課題、授業への取り組み）

課題・授業での発表 30 %

試験・レポート 40 %

※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは0点とする。

※遅刻2回を欠席1回とみなす。

※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする

- (1) 欠席回数が4回以下であること
- (2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
- (3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】

※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】

○ ZOOM を利用してリアルタイム配信型のオンライン授業を実施する場合があります。受講にはスマホやタブレットよりも PC を使用することを推奨します。また、通信環境を整えてください。

○ ZOOM によるリアルタイム配信型オンライン授業に備え、大学が発行した ZOOM のアカウントを使えるようにしてください。

○ Google クラウドスプレッドシートを利用します。

○ 大学が発行したメールアドレスを使用し、定期的にメールチェックしてください。

○ 資料配付、課題提出に学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】

※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、学習支援システムと Google クラウドスプレッドシートによって行います。

初回授業が履修登録の前になる場合には、必ず学習支援システムで仮登録をしてください。

学習支援システムの登録に基づき、Google クラウドスプレッドシートへの登録方法を案内します。

【Outline (in English)】

This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.

You should be able to:

- ・ identify the essay structure and paragraph structures of various types of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
- ・ summarize what you have read and explain it to the rest of the class, using your own words.
- ・ actively discuss a variety of topics of Japanese

LANj200LA

日本語 4 II

2017 年度以降入学者

戸村 佳代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一定のテーマについての必要な情報を収集し、的確に理解・整理した上で、説得力のあるプレゼンテーションを行う訓練を行う。文法、語彙の拡充のみならず、情報発信のために必要な表現方法を学びながらディスカッション・ディベートなどを行う。

【到達目標】

1. まとまった長さの文章を読み、文章構造と論理展開に注目することにより、要点を押さえて理解することができる。
2. わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
3. 日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

各回の授業計画の変更や受講者が必要な準備については学習支援システムの「お知らせ」でその都度提示する。

オンライン授業が必要な場合は双方向型 Web 会議システム（ZOOM）を利用する。

授業形態（対面授業・オンライン授業）にかかわらず、Google クラウドスルームを利用する。

以下の内容で授業を進めるが、授業の実施状況をみながら変更の可能性がある。

- (1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
⇒ 結果は即時フィードバックされる。
- (2) 担当者による口頭報告
⇒ 報告用のパワーポイントのファイルと配付資料は授業 3 日前までに提出
添削を受けて修正したファイルを使用して報告する
- (3) 文章の内容把握チェック
⇒ 結果は即時フィードバックされるものの他、
採点後にフィードバックされる場合がある。
- (4) ディスカッション
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	1. ウォーミングアップ 2. テキスト配布 3. 授業の進め方と受講上の注意 4. 成績評価について 5. 口頭発表用資料の作り方（説明と練習）
②	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
③	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション

④	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑧	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、次のような予習と準備をする。

1. 「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
2. 報告担当者 2 名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業前にメール添付で教員に送り、添削を受ける。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

コピー教材

【参考書】

文藝春秋社『2022 年の論点 100』

※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %

（小テスト、授業への取り組み）

課題・授業での発表 30 %

試験・レポート 40 %

※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。

※遅刻 2 回を欠席 1 回とみなす。

※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする

- (1) 欠席回数が 4 回以下であること
- (2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
- (3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】

※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】

○ ZOOM を利用してリアルタイム配信型のオンライン授業を実施する場合があります。受講にはスマホやタブレットよりも PC を使用することを推奨します。また、通信環境を整えてください。
 ○ ZOOM によるリアルタイム配信型オンライン授業に備え、大学が発行した ZOOM のアカウントを使えるようにしてください。
 ○ Google クラウドスプレッドシートを利用します。
 ○ 授業には PC を利用します。
 ○ 資料配付、課題提出に授業支援システムと Google クラウドスプレッドシートを利用します。

【その他の重要事項】

※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、授業支援システムまたは Google クラウドスプレッドシートによって行います。履修登録の前に授業支援システムに登録をしてください。
 ※初回の授業で詳しい授業進行予定と語彙・表現リスト作成・口頭発表の分担を決めますので、必ず出席してください。
 ※最初の授業でテキスト（コピー教材）を配布します。

【Outline (in English)】

This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.

You should be able to:

- ・ identify the essay structure and paragraph structures of various types of Japanese essays, and grasp the gist of them.
- ・ summarize what you have read and explain it to the rest of the class, using your own words.
- ・ actively discuss a variety of topics of Japanese.

ARSe200LA

日本語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

※定員制（30 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。その際、日本語学、認知言語学、語用論などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方（のいくつか）についても学ぶことができます。ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

【到達目標】

1. 日本語の諸側面について体験をもとに考える力を身につける。
2. 話し合いの中で相手の意見をよく理解しつつ、自分の意見を言うことができる。
3. あるテーマについて、自分または自分たちが考えたことをわかりやすく発表することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

事前課題➡資料を用いた学習・議論➡課題

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス	授業ガイダンス
②	日本語における格	日本語における格を考える 「♪私だけ愛してた」 ～誰が誰を愛してた？
③	「犯人はルパンだ」 vs 「犯人がルパンだ」、 「ルパンが犯人だ」 vs 「ルパンは犯人だ」	「は」と「が」の機能の違いを考 える
④	で、「は」と「が」ってどうやって使い分け ればいいのか？	日本語学習者に「は」と「が」の 違いを教えるにはどうすればいい か考える
⑤	「プレステ5、また売り切れだって」「え、昨日、ヨドバシ に／ で あったよ。」～こ ういう場合、デでも O K なんですかね？	場所を表す助詞二とデの違いを考 える
⑥	「あ、お湯がわいて（い）る」 vs 「あ、お湯がわいた」は同じ出来事 を表している？	「てい（る）」と「た」の違いから 日本語における出来事の様相の捉 え方を考える

- ⑦ 「あ、レポート、今日 「た」 から日本語の時間認識を今までだった！」～今日 える
のことなのに何でタッ
て言うの？
- ⑧ 「大学へ行った」は○、「へ」「に」「で」から場所に関連
「風呂へ入った」は△、する助詞の機能の違いを考える
「電車へ乗った」は
×、の不思議
- ⑨ 「犯人はルパンにちが 根拠に基づく主張を表す文の違い
いない」vs「犯人はル を考える
パンのはずだ」
- ⑩ 「あ～何だか体がだる 「はずだ」の意味と機能を考える
い。風邪を引いたはず
だ。」とは言えないの
はなぜ？
- ⑪ 学生「先生、「あの一」「あの一」と「えーと」の機能を
の意味ってなんで 考える
すか？」
先生「えーと、「あ
の一」の意味はです
ね、あの一…」
- ⑫ 「あ、0 点」vs「え、0 感動詞が表す「心の働き」を考え
点」vs「お、0 点」 る
- ⑬ A「この授業、退屈 「でも」と「ところが」の違いを
だね」 考える
B「うん。|でも／??と
ころが、試験は簡単
らしいよ。」
- ⑭ 学期のまとめ まとめと期末課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。
本授業の準備学習・復習時間は、1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中にハンドアウトを配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（毎回の課題、事前課題）60%、期末課題 40%で、評価を決める。
期末課題は選択制（複数の課題の中から 2 つ選び、授業内容を踏まえ解答する）。

【学生の意見等からの気づき】

「普段は意識せずに使っている日本語について、深く知ることができた」「過去を表すタなど、ひとつの文法が色々な機能を持っていることがわかり興味深かった」「文法が、私たちが出来事を体験する仕方や認識する仕方に関連していることがわかり、面白かった」「授業で学んだことを生かして、外国人の友達に日本語を教えたい」と言った肯定的なコメントを踏まえ、更に授業の内容を充実させていきたいと思っています。

また、異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回ディスカッションを実施していく予定です。

【その他の重要事項】

普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って迫ってみてください。

言語学や日本語学についての特別な知識はありません。

日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとつて興味深い授業となるよう努めます。

言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。

なお、授業計画は、一部変更することがあります。

【Outline (in English)】

This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.

Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced through the task, students can learn some basic ideas in these fields.

ARSe200LA

日本語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

※定員制（30 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。

普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。

その際、日本語学、認知言語学、語用論、日本語教育学などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方（のいくつか）についても学ぶことができます。

ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

【到達目標】

1. 日本語の諸側面について体験をもとに考える力を身につける。
2. 話し合いの中で相手の意見をよく理解しつつ、自分の意見を言うことができる。
3. あるテーマについて、自分または自分たちが考えたことをわかりやすく発表することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

課題 → 教材を用いた学習・議論 → 課題

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス 世界の言語の中の日本語①	授業の進め方の説明 今までに学んだ言語と日本語を比べる／先学期と今学期の授業内容の紹介
②	「彼女にふられた（涙）」vs「彼女は私をふった」 ～日本人は受身がち？	ヴォイス（態）について考える
③	～「あ、黒猫が黒猫を追いかける」vs「あ、黒猫が黒猫に追いかけてる」 ～能動／受動はどのように使い分けられているのか	ヴォイス（態）について考える
④	A「ここ、涼しいね」「こそあ」について考える① B「うん、ここ、涼しい」／A「ここ、涼しいね」B「え、そこ、涼しいの？ここは暑いよ」～	

- ⑤ (壁に飾られた絵を見ている B に A が話しかける)
A「|その／あの| 絵、私が描いたんです。」
～「その」と「あの」のあいまいな(?)境界
- ⑥ 「昨日、キャンパスですごい人見たんだ。あの、リクルートスーツを着てるのに、頭はモヒカン刈りなんだよ。」の「あの」に違和感を感じませんか?
- ⑦ 「あ、(私の猫がみかんを) 食べてる」が、
My cat is eating an orange. を意味しないのはどんな時?
- ⑧ (科学者が実験室の明かりを消して)「さあ、これで何も |見えません／見えていません|」
～「ている」が使えるのはどんな時?
- ⑨ 「そうですね」vs「そうですねよ」vs「そうですね」vs「そうですね」vs「そうですね」etc.
～何事も終わりが肝心です
- ⑩ 「年明けは就活が「いいよ」本格化するし、今のうちに遊んだかなきゃ。それにしても「とうとう」来年度から社会人か…」
～その前に「そろそろ」期末発表の準備をしましょう
- ⑪ 学生「先生、すみません、これ、先週締め切りのレポートです。」
vs「先生、すみません、これは、先週締め切りのレポートです。」
～「は」がないほうがいいように感じませんか?
- ⑫ 車内放送で「この電車は終点東京まで各駅に止まるつもりです。」
と言われたら、ちょっと心配になってしまうのはなぜ?
- ⑬ 先生「A さん、予習しましたか?」
学生 A「はい、しました。」
先生「ふーん、それでしたつもりですか。」
～「つもりですか」と言われると責められている気がするのなぜ?
- ⑭ まとめ 今学期の学習内容を振り返る

本授業の準備学習・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業中にハンドアウトを配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加 (討論での発言、リアクション・ペーパーなど) 60%、
期末レポート 40%で、評価を決める。
出席率が 70%以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】

「普段は意識せずに使っている日本語について、深く知ることができた」「過去を表すタなど、ひとつの文法が色々な機能を持っていることがわかり興味深かった」「文法が、私たちが出来事を体験する仕方や認識する仕方と関連していることがわかり、面白かった」「授業で学んだことを生かして、外国人の友達に日本語を教えたい」と言った肯定的なコメントを踏まえ、更に授業の内容を充実させていきたいと思っています。

また、異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回ディスカッションを実施していく予定です。

【その他の重要事項】

普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って迫ってみてください。

言語学や日本語学についての特別な知識は必要ありません。

日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとって興味深い授業となるよう努めます。

言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。

なお、授業計画は、一部変更することがあります。

【Outline (in English)】

This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.

Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced through the task, students can learn some basic ideas in these fields.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。

ARSe200LA

日本の文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今学期は、「生（生命・生活）」をテーマに、安楽死、障害者差別、生活保障（生活保護／ベーシックインカム）、（私たちの生を支える）食に関する倫理的問題を取り上げます。授業では、例えば、「（積極的）安楽死の是非」「障害」は「障害者」の能力（の不足・欠如）の問題なのか」「生活保護を受けることは恥ずかしいことなのか」「食べ物」であれば何を食べても倫理的に問題ないのか」といった問いについて議論し、文献を読み（ドキュメンタリーを視聴することもあります）、更に議論を含めることで、現代日本社会が直面する具体的な問題への認識を深めます。

授業で扱う問題に関する知識がなくとも授業に参加することは可能です。授業を通して基本的な知識を身に付けること、また、問題への関心を深めることが授業の目的の一つです。（扱う問題は、参加者の関心に応じて変更する場合があります。）

また、ディスカッションを通して様々な意見に触れ、視野を広げること、複眼的に問題を考える姿勢を身に付けることもこの授業の目的です。

【到達目標】

1. 問題について基本的な知識を身に付けること、問題への関心を深めること。
2. 討論の中で自分の考えをわかりやすく伝えること。
（授業では積極的に自分の意見を表明することが求められますが、口頭で意見を述べることを苦手とする学生でも、コメントシートなどを活用し、書くことによって、自分の意見を表明することが出来れば問題なく授業に参加することができます。）
3. 異なる意見に触れ、自らとは異なる視点から問題を考える態度を身に付けること。
4. 異なる文化的出自を持つ学生との議論を通し、自文化を相対化する観点を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

①トピックに関する議論を行う。（グループ・ディスカッション）

②トピックに関連する文献紹介を行う／聞く

③②を踏まえ、再度議論を行う。

学期後半では、②を学生が担当する可能性もあります。

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。それぞれの興味関心を共有する。
②	議論の練習①：	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する

③	安楽死について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
④	安楽死について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑤	安楽死について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑥	障害者差別について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑦	障害者差別について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑧	障害者差別について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑨	生活保障（生活保護／ベーシックインカム）について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑩	生活保障（生活保護／ベーシックインカム）について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑪	生活保障（生活保護／ベーシックインカム）について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑫	食の倫理について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑬	食の倫理について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑭	食の倫理について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各回資料を配布する。

【参考書】

（以下の資料を通読する、ということではなく、その一部を授業内で紹介するということなのでご安心ください。）

松田純（2018）『安楽死・尊厳死の現在-最終段階の医療と自己決定』中央公論社

安藤泰至（2019）『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』岩波書店

宮下洋一（2017）『安楽死を遂げるまで』小学館

立岩真也（2008）『よい死』筑摩書房

竹内章郎（2020）『いのちと平等をめぐる 13 章 優生思想の克服のために』生活思想社

安藤祐樹（2020）『障害者差別を問いなおす』筑摩書房

スナウラ・テイラー（2020）『荷を引く獣たち 動物の解放と障害者の解放』世界思想社

立岩真也（2001）『弱くある自由へ 自己決定・介護・生死の技術』青土社

稲葉剛（2014）『生活保護から考える』岩波書店

菅野嘉人編著（2012）『ベーシックインカムは究極の社会保障か：「競争」と「平等」のセーフティネット』堀之内出版

原田泰『ベーシック・インカム 国家は貧困問題を解決できるか』中央公論

ロナルド・L・サンドラー（2019）『食物倫理（フード・エシックス）入門：食べることの倫理学』ナカニシヤ出版

枝廣淳子（2018）『アニマルウェルフェアとは何か——倫理的消費と食の安全』岩波書店

その他、雑誌や新聞の記事

【成績評価の方法と基準】

各回の課題（50%）、期末レポート（50%）

出席率が 70 % 以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】

「今まで考えたこともなかった問題について考えるきっかけを得ることができた」「議論の中で、自分の考えを言語化することで、今までぼんやりと考えていたことが整理できた」といったコメントを読み、とてもうれしく思います。

今後も、この授業から少しでも多くの学生の皆さんが「気づき」「興味」「問題意識」を得る、あるいは深めることができるよう努力したいと思っています。

また、グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努めます。

【その他の重要事項】

この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。

日本人学生と意見を交換したい留学生のみなさん、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみなさん、どちらもぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

【Outline (in English)】

The class will treat some actual problems we are confronting in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints; international students' and Japanese students' ones. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

ARSe200LA

日本の文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

※定員制（30 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今学期は、格差、差別、不平等をテーマに、ジェンダー格差、人種差別、性的マイノリティ差別の問題を取り上げます。例えば、「『○○女子』という言い方に問題はあるか」「同性婚は法制化すべきか」「日本に人種差別は存在しないのか」といった問いについて議論し、文献を読み、更に議論を含めることで、現代日本社会が直面する具体的な問題への認識を深めます。

授業で扱う問題に関する知識がなくとも授業に参加することは可能です。授業を通して基本的な知識を身に付け、また、問題への関心を深めることが授業の目的の一つです。（扱う問題は、参加者の関心に応じて変更する場合があります。）

また、ディスカッションを通して様々な意見に触れ、視野を広げること、複眼的に問題を考える姿勢を身に付けることもこの授業の目的です。

【到達目標】

1. 問題について基本的な知識を身に付けること、問題への関心を深めること。
2. 討論の中で自分の考えをわかりやすく伝えること。
（授業では積極的に自分の意見を表明することが求められますが、口頭で意見を述べることを苦手とする学生でも、コメントシートなどを活用し、書くことによって、自分の意見を表明することが出来れば問題なく授業に参加することができます。）
3. 異なる意見に触れ、自らとは異なる視点から問題を考える態度を身に付けること。
4. 異なる文化的出自を持つ学生との議論を通し、自文化を相対化する観点を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

- ① トピックに関する議論を行う。（グループ・ディスカッション）
- ② トピックに関連する文献紹介を行う／聞く
- ③ ②を踏まえ、再度議論を行う。

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。それぞれの興味関心を共有する。
②	議論の練習①：「制服」についてどのような観点から論じられるか考える	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する
③	議論の練習②：「○○男子／女子」という言葉に問題はあるか	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する

④	「女らしさ／男らしさ」 ～「女の子みたいに ボールを投げて」と言 われたらどうする？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑤	男女に仕事の向き不向 きはありますか？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑥	女性は管理職に就くこ とを望んでいない？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑦	同性婚の法制化は必要 か	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑧	SOGI とは何か	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑨	アウティング／カミン グアウトについて	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑩	日本は外国人に寛容な 国で人種差別は存在し ない？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑪	「日本人」とは何か？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑫	発表①	文献紹介または自由発表
⑬	発表②	文献紹介または自由発表
⑭	発表③	文献紹介または自由発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各回資料を配布する。

【参考書】

（以下の資料を全て読む、ということではなく、その一部を授業内で紹介することなのでご安心ください。）

佐藤文香監修（2019）『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』明石書店

加藤秀一（2017）『はじめてのジェンダー論』有斐閣

大沢真知子（2017）『なぜ女性管理職は少ないのか 女性の昇進を妨げる要因を考える』青弓社

稲原美苗他（2020）『フェミニスト現象学入門』ナカニシヤ出版

森山至貴（2017）『LGBT を読みとくークィア・スタディーズ入門』筑摩書房

砂川秀樹（2018）『カミングアウト』朝日出版社

堀江有里（2015）『レズビアン・アイデンティティーズ』洛北出版

杉山 麻里子（2016）『ルポ同性カップルの子どもたち アメリカ「ゲイビープーム」を追う』岩波書店

ハントニヒョン（2019）「外国人・移民 包摂型社会を経ない排除型社会で起きていること」、小熊英二編『平成史【完全版】』河出書房新社

望月優大（2019）『ふたつの日本 「移民国家」の建前と現実』講談社

梁英聖（2020）『レイシズムとは何か』筑摩書房

下地ローレンス（2018）『「混血」と「日本人」 ―ハーフ・ダブル・ミックスの社会史―』青土社

その他、雑誌や新聞の記事

【成績評価の方法と基準】

各回の課題（50%）、期末レポート（50%）

出席率が 70 % 以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】

「今まで考えたこともなかった問題について考えるきっかけを得ることができた」「議論の中で、自分の考えを言語化することで、今までほんやりと考えていたことが整理できた」といったコメントを読み、とてもうれしく思います。

今後も、この授業から少しでも多くの学生の皆さんが「気づき」「興味」「問題意識」を得る、あるいは深めることができるよう努力したいと思っています。

また、グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努めます。

【その他の重要事項】

この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。

日本人学生と意見を交換したい留学生のみなさん、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみなさん、どちらもぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

【Outline (in English)】

The class will treat some actual problems we are confronting in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints; international students' and Japanese students' viewpoints. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	オリエンテーション
第 2 回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第 3 回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第 4 回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。 疑問文の練習
第 5 回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。 疑問文の練習
第 6 回	買い物	チラシを読む、買い物で必要な会話を習得する
第 7 回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第 8 回	旅行のドイツ語 I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第 9 回	旅行のドイツ語 II ホテル	ホテルについての情報、予約 Web ページを読む
第 10 回	旅行のドイツ語 III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第 11 回	旅行のドイツ語 IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第 12 回	旅行のドイツ語 V 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第 13 回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第 14 回	期末テスト	期末テスト 学期の締め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %

小テスト 20 %

宿題 20 %

平常点 20 %

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Term-end examination: 40%, short tests: 20%, homework 20%, in-class contribution 20%.

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第 2 回	環境問題 テーマ 1	環境問題についての資料を読む
第 3 回	環境問題 テーマ 2	環境問題についての資料を読んで 文法上の問題点を解説
第 4 回	広告のスローガン I	スローガンを読み解く
第 5 回	広告のスローガン II	スローガンを読み解く スローガン・宣伝のドイツ語の特徴を見る
第 6 回	童話 I	グリム童話を読む
第 7 回	童話 II	文法の解説
第 8 回	ドイツの詩	ゲーテ、国歌など、受講生の興味にに合わせてドイツの詩・歌を読む
第 9 回	ドイツの歌	ゲーテ、国歌など、受講生の興味にに合わせてドイツの詩・歌を読む
第 10 回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第 11 回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第 12 回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第 13 回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第 14 回	期末テスト	期末テスト 纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40%

小テスト 20%

宿題 20%

平常点 20%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Term-end examination: 40%, short tests: 20%, homework 20%, in-class contribution 20%.

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

浦田 智

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 4/Thu.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

【到達目標】

文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化に触れ、世界を広げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

テキストの内容に準じて授業を進めます。テキストの各課の本文を読み、意味を確認する。本文の意味や練習問題の答えは、分担を決めて各履修者に解いてもらう。ドイツ語の文を発音したり、練習問題を解いたりすることは各自で行ない、発表してもらいます。それぞれの練習の内容 (解答など) について提出されたものは、添削チェックして返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ドイツ語およびドイツ語圏の紹介。授業の進め方 (注意すべきポイントなど) やテキストの説明を行う。
2	Lektion 0	自己紹介: ドイツ語で自己紹介する。動詞の現在人称変化や語順の復習。
3	Lektion 1 (1)	地理と気候: 冠詞 (類) の格変化の復習。
4	Lektion 1 (2)	地理と気候: 基数と序数を用いた表現。
5	Lektion 2 (1)	食生活: 前置詞の格支配の復習。
6	Lektion 2 (2)	食生活: 前置詞を用いた表現。
7	Lektion 3 (1)	ドイツ語という言語: 名詞の複数
8	Lektion 3 (2)	形の復習。ドイツ語という言語: 数詞と複数形を用いた表現。
9	Lektion 4 (1)	ドイツの大学: 話法の助動詞の復習。
10	Lektion 4 (2)	ドイツの大学: 未来形と不定代名詞の話。
11	Lektion 5 (1)	祝日と休暇: 形容詞の格変化の復習。
12	Lektion 5 (2)	祝日と休暇: 序数と形容詞の名詞化の話。
13	Lektion 6	ドイツの治安事情: 比較表現の復習。
14	期末のまとめのテストと総括	春学期の復習とまとめのテストの実施。および内容の総括。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

「知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～」 齊藤太郎・他著
朝日出版社

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社 など
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則として出席は 3 分の 2 以上を必要とする。基本的には中間試験+期末試験 70 %、授業参加度 (宿題、課題をふくむ平常点) 30 % の割合で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

コロナ禍によりオンラインやハイフレックス授業に転換になった場合には、学習支援システムや Zoom 等を使用するため、接続可能なパソコンや資料保存のためにプリンターなどが必要になります。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しましょう。

公欠届、診断書などはきちんと出してください。

教科書と独和辞典 (電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない) を毎回手元に置き、使用すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】The purpose of this class is the improvement in German and the mutual understanding of different culture.

【Learning Objectives】Students can understand the rules of pronunciation and everyday german expressions by reading german sentences with many exercises. 【Learning activities outside of classroom】Students need altogether one hour on average for preparation and review of this lesson. 【Grading Criteria】A mark for class participation(including some reports) 30%, a midterm and a term-end examination 70%. Grade evaluation is done by taking these points into account.

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

浦田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語のさらなる向上を目指し、ドイツについての事項を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】

文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化に触れ、世界を広げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

テキストの内容に準じて授業を進めます。テキストの各課の本文を読み、意味を確認する。本文の意味や練習問題の答えは、分担を決めて各履修者に解いてもらう。ドイツ語の文を発音したり、練習問題を解いたりすることは各自で行ない、発表してもらいます。それぞれの練習の内容（解答など）について提出されたものは、添削チェックして返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	秋学期授業の説明。既習事項の復習。あるいは映像教材を観る。教科書と辞書を手元に置いておくこと。
2	Lektion 7 (1)	教育制度：分離動詞と非分離動詞の復習。
3	Lektion 7 (2)	教育制度：再帰表現の復習。
4	Lektion 8 (1)	政治制度：zu 不定詞句の復習。
5	Lektion 8 (2)	政治制度：受動の話。
6	Lektion 9 (1)	ドイツの歴史概観：過去の表現の復習。
7	Lektion 9 (2)	ドイツの歴史概観：現在完了と過去の話。
8	Lektion 10 (1)	音楽の国ドイツ：接続詞の話。
9	Lektion 10 (2)	音楽の国ドイツ：副文（従属文）の語順の復習。
10	Lektion 11 (1)	ドイツの宗教事情：関係文（定関係代名詞）の話。
11	Lektion 11 (2)	ドイツの宗教事情：関係文（不定関係代名詞）の話。
12	Lektion 12 (1)	二つのドイツ：分詞の種類と用法についての話。
13	Lektion 12 (2)	二つのドイツ：冠飾句についての話。接続法とは？
14	秋学期のまとめのテストと総括	秋学期のまとめのテストの実施と総括。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～」 齊藤太郎・他著
朝日出版社

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社 など
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則として出席は 3 分の 2 以上を必要とする。基本的には中間試験＋期末試験 70 %、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）30 % の割合で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

コロナ禍によりオンラインやハイフレックス授業に転換になった場合には、学習支援システムや Zoom 等を使用するため、接続可能なパソコンや資料保存のためにプリンターなどが必要になります。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しましょう。

公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。

教科書と独和辞典を毎回手元に置いておくこと。

【Outline (in English)】

【Course outline】The purpose of this class is the improvement in German and the mutual understanding of different culture.

【Learning Objectives】Students can understand the rules of pronunciation and everyday german expressions by reading german sentences with many exercises. 【Learning activities outside of classroom】Students need altogether one hour on average for preparation and review of this lesson. 【Grading Criteria】A mark for class participation(including some reports) 30%, a midterm and a term-end examination 70%: Grade evaluation is done by taking these points into account.

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

上田 知夫

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

コミュニケーションのためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】

- ・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
- ・コミュニケーションに関わるドイツ語力を涵養する
- ・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
- ・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業内で、読解テキストについて個々の文章の解釈と文法解説を求めます。また授業内および授業外で課題を解いてもらいます。

毎回授業ノートや練習問題の解答結果を学習支援システムを通じて提出していただきます。提出していただいたノートや文法問題の解答については、全体の傾向をまとめた上で授業内でフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課の発音練習とテキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 2 回	第 1 課の練習問題とテキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 3 回	第 1 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 4 回	第 2 課の発音練習とテキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 5 回	第 2 課の練習問題とテキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 6 回	第 2 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 7 回	第 3 課の発音練習とテキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 8 回	第 3 課の練習問題とテキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 9 回	第 3 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 10 回	第 4 課の発音練習とテキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 11 回	第 4 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 12 回	第 5 課の発音練習とテキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 13 回	第 5 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 14 回	確認テストとまとめ	確認テストおよび解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業が進みます (予習は評価の一部になります)。

【テキスト (教科書)】

Ute Schmidt, Mechild Duppel-Takayama, 三ッ石裕子, 和泉雅人『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』三修社、2022 年

【参考書】

ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。

独和辞典を所有していない方は、

『アクセス独和辞典』(三修社)

『大独和辞典』(小学館)

などを入手してください。

文法書を所有していない人は、

中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』(白水社)

などを持参してください。

その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、

毎週の課題 (予習ノート、授業ノート、練習問題) の提出: 50%

期末試験: 50%

の割合でつけます。

【学生の意見等からの気づき】

本年より新規教材を利用につき、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと。

【Outline (in English)】

【Course outline and Learning Objectives】

In this lecture, students will achieve three things:

1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the communicational skill of German language.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation of reading materials are presupposed and there will be some homework (1hour)

【Grading Criteria /Policy】

Result of preparation and participation in the classroom: 50%

Final exam: 50%

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

上田 知夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

コミュニケーションのためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】

- ・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
- ・コミュニケーションに関わるドイツ語力を涵養する
- ・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
- ・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業内で、読解テキストについて個々の文章の解釈や文法解説を求めます。また授業内および授業外で課題を解いてもらいます。

毎回授業ノートや練習問題の解答結果を学習支援システムを通じて提出していただきます。提出していただいたノートや文法問題の解答については、全体の傾向をまとめた上で授業内でフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課の発音練習とテキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 2 回	第 6 課の練習問題とテキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 3 回	第 6 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 4 回	第 7 課の発音練習とテキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 5 回	第 7 課の練習問題とテキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 6 回	第 7 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 7 回	第 8 課の発音練習とテキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 8 回	第 8 課の練習問題とテキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 9 回	第 8 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 10 回	第 9 課の発音練習とテキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 11 回	第 9 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 12 回	第 10 課の発音練習とテキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 13 回	第 10 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 14 回	確認テストとまとめ	確認テストおよび解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業が進みます（予習は評価の一部になります）。

【テキスト（教科書）】

Ute Schmidt, Mechild Duppel-Takayama, 三ッ石裕子, 和泉雅人『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』三修社、2022 年

【参考書】

ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。

独和辞典を所有していない方は、

『アクセス独和辞典』（三修社）

『大独和辞典』（小学館）

などを入手してください。

文法書を所有していない人は、

中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』（白水社）

などを持参してください。

その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、

毎週の課題（予習ノート、授業ノート、練習問題）の提出：50%

期末試験：50%

の割合でつけます。

【学生の意見等からの気づき】

本年より新規教材を利用につき、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと。

【Outline (in English)】

【Course outline and Learning Objectives】

In this lecture, students will achieve three things:

1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the communicational skill of German language.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation of reading materials are presupposed and there will be some homework (1hour)

【Grading Criteria /Policy】

Result of preparation and participation in the classroom: 50%

Final exam: 50%

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の文章を的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とする。同時に、ドイツの生活に根差した文化、習慣を日本の文化と比較しながら理解する。

【到達目標】

ドイツ語の文法を読解に役立つように捉えて、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指します。ドイツ語検定試験 3 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は本文と本文に関連する 5 から 7 の設問からできている。各課の最初に本文の内容と文法的な説明をした後、音読の練習をする。その後、各受講生に本分の一文章を割り当てて音読してもらう。これは各授業の最初に共通に行う。それから、設問を各受講生に割り当てて解答してもらう。各問題の文章はその都度受講生全員で音読する。各課の最後に、設問の最後にある本文の内容と関連する長文を 15 分を最大に翻訳してもらう。フィードバックは対面の場合は翻訳の評価結果をその都度返却するか、または hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	パーティーを開くのは祝ってもらう人 (一回目)	本文解説、音読練習
2	パーティーを開くのは祝ってもらう人 (二回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
3	パーティーを開くのは祝ってもらう人 (三回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
4	パーティーを開くのは祝ってもらう人 (四回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
5	20 歳を過ぎれば親元を離れる (一回目)	本文解説、音読練習
6	20 歳を過ぎれば親元を離れる (二回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
7	20 歳を過ぎれば親元を離れる (三回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
8	教室で手をあげないと減点 (一回目)	本文解説、音読練習
9	教室で手をあげないと減点 (二回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
10	教室で手をあげないと減点 (三回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
11	2 回不合格だと失格 (一回目)	本文解説、音読練習
12	2 回不合格だと失格 (二回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説

13	2 回不合格だと失格 (三回目)	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
14	2 回不合格だと失格 (まとめの試験)	授業が予定通りに進んでいない場合の調整にこの授業を充てる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

音読する文章を付録の CD を参考に予め練習すること。設問の予習をすること。復習は主に既習の本文の音読を練習すること。

【テキスト (教科書)】

CD 付き ドイツ人を知る 9 章 + 1 大谷弘道著 株式会社三修社 2007 年 2 月 20 日 ¥2500

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢 10 % (主に出席と授業態度で評価する)、音読の評価 30 % (ドイツ語として理解できる A+, ドイツ語の発音の基本を理解している A、発音の基本を一二度間違える B、発音の基本を数回以上間違える C)、設問解答の姿勢 10 % (解答の正誤より解答姿勢を問う)、各課終了時の小テストの平均 50 % (短時間の翻訳で、授業で学んだ翻訳の基本事項を理解しているかどうかを評価する)

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときに備えて、パソコン、モバイルを用意しておいてください。

【Outline (in English)】

Course outline: The purpose is to be able to understand the contents accurately by understanding German sentences accurately. At the same time, they will understand the culture and customs rooted in German life by comparing them with Japanese culture.

Learning Objectives: The goal of learning is to understand German grammar for the purpose of reading, speaking and writing in German. We look ahead to passing level 3 of the German proficiency test.

Learning activities outside of classroom : Refer to the CD in the appendix and practice reading in advance. Prepare for the questions in the text. Reviews is mainly to practice reading aloud in practice texts. The standard combined preparation and review time for this class is one hour.

Grading Criteria/Policy: 10% of grades are attitudes to participate in class (mainly evaluated by attendance and class attitude), 30% of grades evaluate reading aloud (A+ who can be understood as German, A who understands the basics of German pronunciation, B who make a few mistakes in pronunciation basics, C who mistake the basics of pronunciation several times or more), 10% of grades are the answer for the questions in the text (assess the answer attitude rather than the correctness of the answer), 50% of grades are the result of the translation test at the end of each lesson (short translations to assess whether you understand the basics of translation learned in class)

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の文章を的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とする。同時に、ドイツの生活に根差した文化、習慣を日本の文化と比較しながら理解する。

【到達目標】

ドイツ語の文法を読解に役立つように捉えて、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指します。ドイツ語検定試験 3 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は本文と本文に関連する 5 から 7 の設問からできている。各課の最初に本文の内容と文法的な説明をした後、音読の練習をする。その後、各受講生に本分の一文章を割り当てて音読してもらう。これは各授業の最初に共通に行う。それから、設問を各受講生に割り当てて解答してもらう。各問題の文章はその都度受講生全員で音読する。各課の最後に、設問の最後にある本文の内容と関連する長文を最長 15 分で最大に翻訳してもらう。フィードバックは翻訳の評価結果を直接返却するか、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	事故死傷者の氏名公表はご法度（一回目）	本文解説、音読練習
2	事故死傷者の氏名公表はご法度（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
3	事故死傷者の氏名公表はご法度（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
4	事故死傷者の氏名公表はご法度（四回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
5	終点を知らない電車に乗れない（一回目）	本文解説、音読練習
6	終点を知らない電車に乗れない（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
7	終点を知らない電車に乗れない（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
8	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（一回目）	本文解説、音読練習
9	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
10	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
11	人間は「動物」ではない（一回目）	本文解説、音読練習

- 12 人間は「動物」ではない（二回目） 音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
- 13 人間は「動物」ではない（三回目） 音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
- 14 人間は「動物」ではない（まとめの試験） 授業が予定通りに進んでいない場合の調整にこの授業を充てる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。音読する文章を付録の CD を参考に予め練習すること。設問の予習をすること。復習は主に既習の本文の音読を練習すること。

【テキスト（教科書）】

CD 付き ドイツ人を知る 9 章 + 1 大谷弘道著 株式会社三修社
2007 年 3 月 20 日 2,750 円（本体 2,500 円）

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢 10 %、音読の評価 30 %（ドイツ語として理解できる A+、ドイツ語の発音の基本を理解している A、発音の基本を一二度間違える B、発音の基本を数回以上間違える C）、設問解答の姿勢 10 %（解答の正誤より解答姿勢を問う）、各課終了時の小テストの平均 50 %（短時間の翻訳で、授業で学んだ翻訳の基本事項を理解しているかどうかを評価する）

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのためにパソコン、または、モバイル機器を用意しておいてください。

【Outline (in English)】

Course outline: The purpose is to be able to understand the contents accurately by understanding German sentences accurately. At the same time, they will understand the culture and customs rooted in German life by comparing them with Japanese culture.

Learning Objectives: The goal of learning is to understand German grammar for the purpose of reading, speaking and writing in German. We look ahead to passing level 3 of the German proficiency test.

Learning Objectives: The goal of learning is to understand German grammar for the purpose of reading, speaking and writing in German. We look ahead to passing level 3 of the German proficiency test.

Learning activities outside of classroom : Refer to the CD in the appendix and practice reading in advance. Prepare for the questions in the text. Reviews is mainly to practice reading aloud in practice texts. The standard combined preparation and review time for this class is one hour.

Grading Criteria/Policy: 10% of grades are attitudes to participate in class (mainly evaluated by attendance and class attitude), 30% of grades evaluate reading aloud (A+ who can be understood as German, A who understands the basics of German pronunciation, B who make a few mistakes in pronunciation basics, C who mistake the basics of pronunciation several times or more), 10% of grades are the answer for the questions in the text (assess the answer attitude rather than the correctness of the answer), 50% of grades are the result of the translation test at the end of each lesson (short translations to assess whether you understand the basics of translation learned in class)

LANd200LA

ドイツ語3 I

2017 年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】

これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

読解、作文および会話の練習を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。

履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テキストの和訳を行い、その都度教員が確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	あいさつ	ドイツ語で自己紹介
第 2 回	Europa, Europa	数字でみるヨーロッパ
第 3 回	Europa, Europa	ドイツの地理
第 4 回	Europa, Europa	ヨーロッパの中のドイツ
第 5 回	Musik	ドイツの音楽教育
第 6 回	Musik	童謡
第 7 回	Mail und Handy	ドイツ語のメール
第 8 回	Mail und Handy	絵文字いろいろ
第 9 回	Mail und Handy	ドイツ語の手紙
第 10 回	Einkaufen	自然食品の店
第 11 回	Einkaufen	閉店時間
第 12 回	Studium	ドイツの大学教育
第 13 回	Studium	ドイツのインターン事情
第 14 回	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の読解テキストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。
予習を授業中に行うことは一切認めない。
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。
本授業の準備・復習時間は合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Ute Schmidt・Mechthild Duppel-Takayama・三ツ石祐子・和泉雅人著『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』三修社（2022 年刊行）

ISBN978-4-384-13102-4

【参考書】

『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社、2003 年刊、1600 円（税別）

ISBN978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業（読解・文法練習問題・会話練習・作文）への取り組み 40 % 学期末試験 60 % を総合的に判断する。
なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業で扱う読解テキストの難易度および長さを見直した。

【学生が準備すべき機器他】

紙の辞書あるいは電子辞書を持参すること。
教務システムや Zoom に接続可能なデバイスを用意すること。

【Outline (in English)】

The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.

The goal of this course are to be able to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】

これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

読解および作文を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。
履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テキストの和訳を行い、その都度教員が確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Multikulturelles	ドイツの人々
第 2 回	Multikulturelles	ドイツにおける外国語学習
第 3 回	Multikulturelles	多言語主義
第 4 回	Essen	ドイツの食べ物
第 5 回	Essen	ドイツの飲み物
第 6 回	Umwelt	環境への意識
第 7 回	Umwelt	Energiesparhaus
第 8 回	Umwelt	理想の家は？
第 9 回	Kunst	ドイツの美術館・博物館
第 10 回	Kunst	ドイツの芸術家
第 11 回	Kunst	バウハウス
第 12 回	Jahresende	アドヴェントとクリスマス
第 13 回	Jahresende	ドイツの年末
第 14 回	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の読解テキストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。
予習を授業中に行うことは一切認めない。
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。
本授業の準備・復習時間は合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Ute Schmidt・Mechthild Duppel-Takayama・三ツ石祐子・和泉雅人著『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』三修社（2022 年刊行）

ISBN978-4-384-13102-4

【参考書】

『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社、2003 年刊、1600 円（税別）

ISBN978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業（読解・文法練習問題・会話練習・作文）への取り組み 40 % 学期末試験 60 % を総合的に判断する。

なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業で扱う読解テキストの難易度および長さを見直した。

【学生が準備すべき機器他】

紙の辞書か電子辞書を持参すること。
教務システムや Zoom に接続可能なデバイスを用意すること。

【Outline (in English)】

The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.

The goal of this course are to be able to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd200LA

ドイツ語3 I

2017 年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は 2 つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは 1 年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。

- 1) 本文の音読の練習と構文解析を行った後、受講生に訳していただきます。
- 2) 各課の終わりに文法練習と聞き取り練習を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	Kapitel 1(Lesetext 1)	音読と構文解析
第 3 回	Kapitel 1 (Lesetext 1)	音読と構文解析（続き）／内容把握と日本語訳／
第 4 回	Kapitel 1 (Lesetext 2)	音読と構文解析
第 5 回	Kapitel 1 (Lesetext 2)	音読と構文解析（続き）／内容把握と日本語訳
第 6 回	Kapitel 1	文法練習と聞き取り練習
第 7 回	Kapitel 2 (Lesetext 1)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 8 回	Kapitel 2 (Lesetext 2)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 9 回	Kapitel 2	文法練習と聞き取り練習
第 10 回	Kapitel 3 (Lesetext 1)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 11 回	Kapitel 3 (Lesetext 2)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 12 回	Kapitel 3	文法練習と聞き取り練習
第 13 回	前期のまとめ (1)	試験
第 14 回	前期のまとめ (2)	答え合わせと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をすること。
復習：本文をあらためて音読する。
※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Ute Schmidt / Mechthild Duppel-Takayama / 三ツ石祐子 / 和泉雅人 (2022 年) 『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』三修社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。
中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003) 『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト： 60 %

授業への積極的な参加・予習の具合： 40 %

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoom を使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar. The participants (Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は 2 つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは 1 年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。

- 1) 本文の音読の練習と構文解析を行った後、受講生に訳していただきます。
- 2) 各課の終わりに文法練習と聞き取り練習を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Kapitel 4 (Lesetext 1)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 2 回	Kapitel 4 (Lesetext 2)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 3 回	Kapitel 4	文法練習と聞き取り練習
第 4 回	Kapitel 5 (Lesetext 1)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 5 回	Kapitel 5 (Lesetext 2)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 6 回	Kapitel 5	文法練習と聞き取り練習
第 7 回	Kapitel 6 (Lesetext 1)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 8 回	Kapitel 6 (Lesetext 2)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 9 回	Kapitel 6	文法練習と聞き取り練習
第 10 回	Kapitel 7 (Lesetext 1)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 11 回	Kapitel 7 (Lesetext 2)	音読と構文解析／内容把握と日本語訳
第 12 回	Kapitel 7	文法練習と聞き取り練習
第 13 回	後期のまとめ (1)	試験
第 14 回	後期のまとめ (2)	答え合わせと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をすること。

復習：本文をあらためて音読する。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Ute Schmidt / Mechthild Duppel-Takayama / 三ツ石祐子 / 和泉雅人 (2022 年) 『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』三修社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003) 『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト： 60 %

授業への積極的な参加・予習の具合： 40 %

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoom を使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar. The participants (Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことが
この授業の目標です。

【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。
ドイツ語で日常的な表現を身につけます。
ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部:
DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

文法説明等は講義形式になりますが、毎回、担当者を決めて訳読し
ます。

回ごとのトピックや表現方法を取り上げながら、授業を進めます。
映画や映像教材を使って、それを授業で見ることで、聞き取る能力
をつけます。

これらと並行して、ドイツの歴史や文化に触れる視聴覚資料を利用
していきます。

また、適宜、確認小テストを行う。

課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつ
ど、解説を加えたフィードバックを行う。

なお、オンライン授業を活用するなど、教育の多様化を意識した柔軟
な運用を行う。授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ーオンラインによる イントロダクション ー	ーオンラインによるイントロダ クションを行い、授業の進め方な どの説明、および Lektion1 を行 うー
第 2 回	Lektion1 相手について知る	動詞の位置と練習問題
第 3 回	Lektion2 Meine Familie 家族の紹介	名詞の性のまとめ
第 4 回	Lektion2 Meine Familie 家族の持ち物	所有冠詞と練習問題
第 5 回	Lektion3 Meine Hobbys 趣味について語る	不規則動詞のまとめ
第 6 回	Lektion3 Meine Hobbys ドイツ人の趣味	名詞の複数形と練習問題
第 7 回	ドイツに関するビデオ 学習	ビデオを見ながら、いくつかの テーマに従って、ドイツ語の表現 を学ぶ
第 8 回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所	名詞の 3 格について

第 9 回	Lektion4 Zum Chiemsee 交通機関について	前置詞と練習問題
第 10 回	Lektion5 Gesundheit ドイツの保険・医療制 度	分離・非分離動詞のまとめ
第 11 回	Lektion5 Gesundheit ドイツと日本の医療の 比較	時刻の表現と練習問題
第 12 回	Lektion6 Einkaufen 買い物の表現	話法の助動詞のまとめ
第 13 回	Lektion6 Einkaufen	命令形と練習問題
第 14 回	春学期で学んだ表現の 振り返りと期末試験・ 振り返り期末試験・まとめと解説	春学期の文法事項から見た表現の 振り返り期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、1 回につき合わせて 1 時間以上を
標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。

次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試
みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努
めます。

テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興
味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト (教科書)】

ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン> 清野智明他著 朝日出版社

【参考書】

必要場合は授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について (期末試験について)

成績配分は期末試験 50 %、平常点 (これまでの確認テスト、課題
履行、授業への積極的参加を含む) 50 %です。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語文法・表現についてわかりやすい丁寧な説明を継続します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業になった場合の必要な機器
として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

Outline and objectives : German for Ichigaya Liberal Arts
Center(ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions through
reading and is open to the students who completed German
1 and German 2 in the ILAC Program.

Goal: By the end of the course, students should be able to :

- confirm German grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the way of German lives, manners and customs
of Germany and the social systems.

Work to be done outside of class: Before each class meeting,
students will be expected to have read the relevant chapter(s)
from the text. Your required study time is at least one hour for
each class meeting.

Grading criteria: : Your overall grade in the class will be
decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and
in-class contribution: 50%

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
春学期に学習したことを確実にし、基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。
ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。
日常生活についてドイツ語での表現法を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

1 年時に学んだ文法事項を確認しながら、別角度で文法体系を見直します。

毎回、担当者を決めて本文と Lesetext を訳読し、解説を加えます。また、適宜、確認小テストを行う。

課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。

なお、オンライン授業を活用し、教育の多様化に対応するなどの運用を行う。

毎週、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ミュンヘン 大都市の生活	3・4 格支配の前置詞の文章
第 2 回	ミュンヘン 文化と芸術	並列接続詞を使った文を学ぶ
第 3 回	Nach dem Urlaub ドイツの休暇制度	定冠詞類のまとめ
第 4 回	Nach dem Urlaub ドイツ人の休暇の過ごし方	過去形を使った文を学ぶ
第 5 回	Essen und Trinken ドイツの食習慣	現在完了形の表現を学ぶ
第 6 回	Essen und Trinken テーブルマナーの比較	副文を使った表現を学ぶ
第 7 回	Weihnachten ドイツのクリスマス	比較級と最上級を学ぶ
第 8 回	Weihnachten クリスマスの祝い	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
第 9 回	Mode ドイツのファッション	形容詞の格変化のまとめ
第 10 回	Mode 日本・ドイツ・イタリアのモードの比較	天候の表現を学ぶ
第 11 回	Mein Wunsch 願望や仮定の表現	接続法第 2 式を使った文例を学ぶ
第 12 回	Mein Wunsch 留学生の生活	zu 不定詞を学ぶ
第 13 回	Mein Wunsch 夢を語る表現	es の用法を学ぶ

第 14 回 秋学期の総復習と試 文法や表現方法の要点確認と試験
験、まとめと解説 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、1 回につき合わせて 1 時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。

次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】

ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン> 清野智明他著 朝日出版社

【参考書】

必要があれば適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50 %

平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50 %

出席は単位修得の前提条件です。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい丁寧な説明を継続します。

ドイツについて新しい発見ができるように構成します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Goal:By the end of the course, students should be able to :

- confirm German grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the way of German lives, manners and customs of Germany and the social systems.

Work to be done outside of class: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 1/Fri.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

※春学期は対面授業と Zoom によるオンライン授業 (リアルタイム配信型) を組み合わせた形での開講を予定しているが、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらの判断となる。授業形態およびオンライン授業への参加方法等具体的なことについては、授業開始日までに「学習支援システム」で提示する。

授業は演習形式で行う。使用する教科書は 15 課からなり、各課とも文法、会話文、練習問題、読章から構成されている。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。

なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	あいさつ表現
2	Lektion 1	自己紹介 動詞の位置
3	読章	Deutschland (ドイツ)
4	Lektion 2	私の家族 所有冠詞
5	読章	Familienbild (家族像)
6	Lektion 3	私の趣味 不規則動詞
7	読章	Deutsch (ドイツ語)
8	Lektion 4	キーム 前置詞
9	Lektion 4	読章 Souvenirs aus Deutschland (ドイツのお土産)
10	Lektion 5	健康 人称代名詞、分離・非分離動詞
11	読章	Das Gesundheitswesen in Deutschland (ドイツの健康保険制度)
12	Lektion 6	買い物 話法の助動詞、命令形
13	読章	Einkaufen in Deutschland (ドイツの買い物)
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間 (ときめきコミュニケーション) コミュニカティブ版—マルチメディア—』(朝日出版社) ISBN9784255253909 ¥2600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を 70 %、平常点を 30 % の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

※秋学期は対面授業と Zoom によるオンライン授業（リアルタイム配信型）を組み合わせたかたちでの開講を予定しているが、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらの判断となる。授業形態およびオンライン授業への参加方法等具体的なことについては、授業開始日までに「学習支援システム」で提示する。

授業は演習形式で行う。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。

なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 ミュンヘン	前置詞
2	読章	München (ミュンヘン)
3	Lektion 8 休暇の後	現在完了形、過去形
4	読章	Urlaubstage in Deutschland und Japan (ドイツと日本の有給休暇)
5	資料配付	アットマークについて
6	Lektion 9 食事	定冠詞類、副文
7	読章	Knigge im Alltag in Deutschland (ドイツの日常のマナー)
8	Lektion 10 クリスマス	比較級と最上級、再帰表現
9	読章	Weihnachten in Deutschland (ドイツのクリスマス)
10	Lektion 11 ファッション	形容詞の格変化
11	読章	Mode in Deutschland? (ドイツのファッション?)
12	Lektion 12 私の夢	接続法第 2 式、zu 不定詞句
13	読章	Studium in Deutschland (ドイツの大学での勉強)
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉 コミュニカティブ版—マルチメディア—』（朝日出版社）ISBN9784255253909 ￥2600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を 70 %、平常点を 30 % の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習してきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

柳橋 大輔

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 2/Wed.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、ドイツ語のテキストを読むことにより、初級文法を復習し読解力を向上させることを目的としています。現代ドイツの文化や生活に関する知識を深めていく一方で、作文練習や聞き取り練習、会話練習にも取り組み、総合的なドイツ語力の向上を目指します。

【到達目標】

短いドイツ語テキストの読解を通して文法力を強化させることができる。

ドイツ語で書かれたやさしいエッセイの内容を的確に把握することができる。

現代ドイツの生活について具体例を通じて学び、異文化としてのドイツ文化について知見を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

〈読み〉のストラテジーを意識しながらテキストの内容を把握します。また、テキストの内容に関連した文法問題を解いてもらい、教員が必要な説明を加えることにより、初級文法のブラッシュアップを目指します。さらに、時間の許す限り、聞き取り練習や作文練習、会話練習に取り組みます (演習形式)。

小テストや課題に取り組んで知識の定着を図るとともに、疑問が残る点についてリアクションペーパーで質問を受け付けます (フィードバック)。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行ないます。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション/ Kapitel 0: Hallo!	授業の進め方/教科書について導入/自己紹介
第 2 回	Kapitel 1: Deutschland	テキスト読解: ドイツの旅 3・4 格支配の前置詞/数/冠詞を伴う国名
第 3 回	Kapitel 1: Deutschland	テキスト読解: 数字で見るドイツ 基本表現の復習/「～へ」を表す前置詞
第 4 回	Kapitel 1: Deutschland	比較表現の基本/聴解練習 (ドイツ・クイズ)
第 5 回	Kapitel 2: Reisen mit Zug und Fahrrad	テキスト読解: 列車の旅 接続法 I 式/ als の用法/聴解・発音練習
第 6 回	Kapitel 2: Reisen mit Zug und Fahrrad	テキスト読解: 自転車の旅 不定関係代名詞 wer, was / 関係副詞 wo
第 7 回	Kapitel 2: Reisen mit Zug und Fahrrad	時刻表の読み方/聴解練習 (列車の旅)
第 8 回	Kapitel 3: Aus dem Märchenwald	テキスト読解: メルヒェンについて 話法の助動詞と lassen / 過去完了

第 9 回	Kapitel 3: Aus dem Märchenwald	テキスト読解: 私は誰? 従属接続詞と対等 (並列) 接続詞
第 10 回	Kapitel 3: Aus dem Märchenwald	形容詞/ „weise“ / 聴解練習 (インタビュー)
第 11 回	Kapitel 4: Wien	テキスト読解: ウィーン発のブログ 仮主語 es / 分詞/現在完了/聴解練習 (電話での会話)
第 12 回	Kapitel 4: Wien	テキスト読解: あの世からの手紙 理由の表現/絶対比較級・最高級
第 13 回	Kapitel 4: Wien	ドイツ語早口言葉/聴解練習 (ベルヴェデーレ宮殿にて)
第 14 回	理解度の確認	学期末テストにより、春学期に学習した内容の習熟度を測る

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎回の授業まえには、授業であつかう文章を読み、知らない単語などは辞書であらかじめ確認して、テキスト読解の準備をしてください。また文法事項の説明を読んだうえで練習問題に取り組んでください。

授業後には、予習で誤答したところをとくに重点的にチェックしてください。また課題が出た場合には提出期限までに忘れずに取り組み、知識の定着を図ってください。

【テキスト (教科書)】

Schmidt, Ute / Duppel-Takayama, Mechthild / ミツ石祐子 / 和泉雅人『ファウストとメフィストと学ぶ ドイツ文化 8 章 プラス・エクストラ』、三修社、2022 年。
——なお、独和辞典を必ず準備してください。詳しくは初回授業の際にお話しします。

【参考書】

1 年生のときに使用した文法の教科書を活用してください。もしすでに手許にないようなら、次の参考書が役に立つでしょう:

中島悠爾/平尾浩三/朝倉巧『必携ドイツ文法総まとめ——改訂版』、白水社、2003 年。

——その他については授業中に適宜ご紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業への積極的な参加、小テスト・課題提出など): 60 %
期末試験: 40 % (受験しない場合は単位の認定ができません)

——なお、授業回数の 3 分の 2 以上の出席が単位認定の前提条件となります (ただし、病気などやむを得ない事由により授業を欠席する場合には考慮しますので、医療機関発行の診断書等を提出してください)。

【学生の意見等からの気づき】

受講生のみなさんのレベルに応じた授業運営を行ないます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を行なう場合に備え、Zoom が使用できるよう、PC とネット環境を準備しておいてください。

【その他の重要事項】

すでに初級文法の学習をひととおり終えたみなさんを対象とした授業です。

春学期・秋学期をとおした受講を強くお勧めします。

授業の進度等により、授業内容が変更される可能性があります。オフィスアワーは月曜 17:00～18:00 までとしますが、事前にメールで連絡をしてください。メールアドレスは授業開始後に学習支援システムでお知らせします。

【Outline (in English)】

The aim of this class is to review elementary grammar and improve reading comprehension by reading German texts. This course will help students deepen their knowledge of contemporary German lifestyle and culture and improve their overall German language skills by writing, listening and speaking exercises.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

柳橋 大輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、ドイツ語のテキストを読むことにより、初級文法を復習し読解力を高めることを目指します。現代ドイツの文化や生活に関する知識を深めていく一方で、作文練習や聞き取り練習、会話練習にも取り組み、総合的なドイツ語力を向上させていきましょう。

【到達目標】

短いドイツ語テキストの読解を通して文法力を強化させることができる。

ドイツ語で書かれたやさしいエッセイの内容を的確に把握することができる。

現代ドイツの生活について具体例を通じて学び、異文化としてのドイツ文化について知見を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

〈読み〉のストラテジーを意識しながらテキストの内容を把握します。また、テキストの内容に関連した文法問題を解いてもらい、教員が必要な説明を加えることにより、初級文法のブラッシュアップを目指します。さらに、時間の許す限り、聞き取り練習や作文練習、会話練習に取り組みます（演習形式）。

小テストや課題に取り組んで知識の定着を図るとともに、疑問が残る点についてリアクションペーパーで質問を受け付けます（フィードバック）。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行ないます。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期の復習
第 2 回	Kapitel 5: Welterbe	テキスト読解：ドイツの世界遺産分詞構文／werden の用法／受動態／冠飾句
第 3 回	Kapitel 5: Welterbe	テキスト読解：ドイツの世界文化遺産／作文練習（世界遺産の説明文を書こう）
第 4 回	Kapitel 5: Welterbe	世界遺産を紹介しよう／聴解練習（世界遺産）
第 5 回	Kapitel 6: Deutschland, Land der Ideen	テキスト読解：ドイツで生まれた発明品 (定) 関係代名詞／ワードパズル（ドイツのブランド）
第 6 回	Kapitel 6: Deutschland, Land der Ideen	テキスト読解：「足のためのベッド」 不定詞句／zu 不定詞句
第 7 回	Kapitel 6: Deutschland, Land der Ideen	記憶ゲーム／聴解練習（ドイツ土産）
第 8 回	Kapitel 7: Es war einmal die DDR	テキスト読解：ベルリンの壁崩壊 接続法・〈かのように〉／お土産クイズ

第 9 回	Kapitel 7: Es war einmal die DDR	テキスト読解：オースタルギー wenn の用法
第 10 回	Kapitel 7: Es war einmal die DDR	丁寧な頼み方／聴解練習（観光案内所にて）
第 11 回	Kapitel 8: Rund um die Neunte	テキスト読解：新しい音楽、新しい絵画 wie の用法／man の人称変化／音楽クイズ
第 12 回	Kapitel 8: Rund um die Neunte	テキスト読解：日本での初演 非人称熟語表現
第 13 回	Kapitel 8: Rund um die Neunte	認容（譲歩）表現／聴解練習（第九の合唱）
第 14 回	理解度の確認	学期末テストにより、秋学期に学習した内容の習熟度を測る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎回の授業まえには、授業であつかう文章を読み、知らない単語などは辞書であらかじめ確認して、テキスト読解の準備をしてください。また文法事項の説明を読んだうえで練習問題に取り組んでおいてください。

授業後には、予習で誤答したところをとくに重点的にチェックしてください。また課題が出た場合には提出期限までに忘れずに取り組み、知識の定着を図ってください。

【テキスト（教科書）】

Schmidt, Ute / Duppel-Takayama, Mechthild / ミッ石祐子 / 和泉雅人『ファウストとメフィストと学ぶ ドイツ文化 8 章 プラス・エクストラ』、三修社、2022 年。
——なお、独和辞典を必ず準備してください。詳しくは初回授業の際にお話しします。

【参考書】

1 年生のときに使用した文法の教科書を活用してください。もしすでに手許にないようなら、次の参考書が役に立つでしょう：
中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧『必携ドイツ文法総まとめ——改訂版』、白水社、2003 年。
——その他については授業中に適宜ご紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への積極的な参加、小テスト・課題提出など）： 60 %
期末試験： 40 %（受験しない場合は単位の認定ができません）
——なお、授業回数の 3 分の 2 以上の出席が単位認定の前提条件となります（ただし、病気などやむを得ない事由により授業を欠席する場合には考慮しますので、医療機関発行の診断書等を提出してください）。

【学生の意見等からの気づき】

受講生のみなさんのレベルに応じた授業運営を行ないます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を行なう場合に備え、Zoom が使用できるよう、PC とネット環境を準備しておいてください。

【その他の重要事項】

すでに初級文法の学習をひととおり終えたみなさんを対象とした授業です。
春学期・秋学期をとおした受講を強くお勧めします。
授業の進度等により、授業内容が変更される可能性があります。
オフィスアワーは月曜 17:00～18:00 までとしますが、事前にメールで連絡をしてください。メールアドレスは授業開始後に学習支援システムでお知らせします。

【Outline (in English)】

The aim of this class is to review elementary grammar and improve reading comprehension by reading German texts. This course will help students deepen their knowledge of contemporary German lifestyle and culture and improve their overall German language skills by writing, listening and speaking exercises.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年間学んだドイツ語文法を復習しドイツ語の理解をより定着させ、ドイツ語の文章を使って読解力を強化する。
ドイツ語で書かれた記事・エッセイ等の読解はドイツの日常・社会・文化をより理解するようになる。

【到達目標】

読解力をつけることで基礎的なドイツ語の文章を読めるようになる。
辞書を使って、より複雑な文章も理解できるようになる。
簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

文法の説明が終えた後、教科書の練習問題を通して実際にその文法を使い、復習する。教科書以外のテキストを使って音読し、和訳する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	オリエンテーション	ドイツ語能力の確認 簡単な自己紹介 授業に関する説明
2 回	Lektion 1: 自己紹介	自己紹介の復習 天気に関する表現
3 回	Lektion 1: 天気予報	ドイツの地理・天気予報の読解
4 回	Lektion 2: 趣味	不規則動詞と格変化
5 回	Lektion 2: 祭り	ドイツの祭りについて学ぶ
6 回	Lektion 3: 持ち物	3 格・4 格と結びつく動詞
7 回	Lektion 3: 食べ物	ドイツの食文化 (読解)
8 回	Lektion 4: 住居	2 格の用法・複数形
9 回	Lektion 4: ドイツの家 族	ドイツの家族 (読解)
10 回	Lektion 5: 自然	所有冠詞・命令形
11 回	Lektion 5: クラインガ ルテン	ドイツのクラインガルテン (読 解)
12 回	Lektion 6: 街歩き	前置詞
13 回	Lektion 6: 案内	町の案内・市街図
14 回	復習	今学期で習った内容を復習する

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

【テキスト (教科書)】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、
2020 年、郁文堂。3080 円
ISBN : 9784261012736
読解の資料が配布される

【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、第三書房、2010
年、2530 円
ISBN : 4808601451

【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

各 Lektion に関して小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出、出席、積極的な授業参加を総合的に評価

する。課題を行わない場合、平常点を減点する。

無断欠席が 4 回以上の場合、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

それぞれの課題・小テストの回答をより積極的に提供するように心掛けていきたいと思います。以前より積極的にパートナーワークに取り組みやすい教科書に変更し、授業内でも学生がドイツ語を使う機会をさらに増やしていきたいと思います。学生のドイツ語レベルに合わせて資料を選びます。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス (パソコンやタブレットが望ましい) とマイク付きイヤホン (ヘッドセット)

【Outline (in English)】

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

Learning Objectives: By strengthening their reading skills students will gain the ability to read texts in basic German and will be able to read more complex texts with the help of a dictionary. Students will further be able to conduct basic oral communication.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

年間学んだドイツ語文法を復習しドイツ語の理解をより定着させ、ドイツ語の文章を使って読解力を強化する。

ドイツ語で書かれた記事・エッセイ等の読解はドイツの日常・社会・文化をより理解するようになる。

【到達目標】

読解力をつけることで基礎的なドイツ語の文章を読めるようになる。辞書を使って、より複雑な文章も理解できるようになる。

簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

文法の説明が終えた後、教科書の練習問題を通して実際にその文法を使い、復習する。教科書以外のテキストを使って音読し、和訳する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Lektion 7:交通	分離動詞・非分離動詞
2 回	Lektion 7:時間	一日の過ごし方に関する表現
3 回	Lektion 8:話法助動詞	話法助動詞・未来形を学習する
4 回	Lektion 8:旅の計画	非人称代名詞について学ぶ
5 回	Lektion 9:学校	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
6 回	Lektion 9:接続詞	理由を述べる（weil）
7 回	Lektion 10:過去の出 来事	現在完了形と過去形を学ぶ
8 回	Lektion 10:ショート ストーリー	ドイツのショートストーリー（読 解）
9 回	Lektion 11:祝祭	形容詞の格変化・比較級・最上級
10 回	Lektion 11:クリスマ ス	ドイツのクリスマス（読解）
11 回	Lektion 12:政治・社 会	関係代名詞
12 回	Lektion 12:想起の文 化	想起の文化（読解）
13 回	文法補足：受動態・接 続法	受動態・接続法について学ぶ
14 回	復習	今学期で習った内容を復習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

【テキスト（教科書）】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020 年、郁文堂。3080 円

ISBN：9784261012736

読解の資料が配布される

【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在問進・亀ヶ谷昌秀、第三書房、2010 年、2530 円

ISBN：4808601451

【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

各 Lektion に関して小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出、出席、積極的な授業参加を総合的に評価

する。課題を行わない場合、平常点を減点する。

無断欠席が 4 回以上の場合、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

それぞれの課題・小テストの回答をより積極的に提供するように心掛けていきたいと思います。以前より積極的にパートナーワークに取り組みやすい教科書に変更し、授業内でも学生がドイツ語を使う機会をさらに増やしていきたいと思います。学生のドイツ語レベルに合わせて資料を選びます。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）とマイク付きイヤホン（ヘッドセット）

【Outline (in English)】

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

Learning Objectives: By strengthening their reading skills students will gain the ability to read texts in basic German and will be able to read more complex texts with the help of a dictionary. Students will further be able to conduct basic oral communication.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd200LA

ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

児島 由理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の確認・補足をしながら、ドイツ語力のステップアップを目指す。

様々な口頭・読解練習、ペアワークやグループワークを行うことで、ドイツ語を使う力を身につける。

【到達目標】

これまでのドイツ語の基礎知識をもとに、表現や語彙の幅を広げる。ドイツ語での実践的なコミュニケーション能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書はリスニング・会話・読み物・文法問題等がバランスよく配置されています。文法や読解の説明は教員が行いますが、会話練習やリスニングに関しては、受講者の積極的な参加が望まれます。宿題は次の授業で確認します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	ガイダンス、挨拶、自己紹介
第 2 回	Lektion 1 (レストランで)	注文の仕方、話法の助動詞
第 3 回	Lektion 1 (レストランで)	支払い、数詞
第 4 回	Lektion 2 (ホテルで)	ホテルを探す、形容詞の比較級
第 5 回	Lektion 2 (ホテルで)	ホテルの予約、話法の助動詞
第 6 回	Lektion 2 (ホテルで)	ホテルに到着して、時刻の言い方
第 7 回	Lektion 3 (街で)	道を尋ねる、定冠詞・不定冠詞
第 8 回	Lektion 3 (街で)	切手を買う、値段の表現
第 9 回	Lektion 4 (旅行と交通)	ドイツの交通機関について、列車の発車、到着時刻を尋ねる、現在完了形、過去形
第 10 回	Lektion 4 (旅行と交通)	駅で切符を買う、観光地について尋ねる、分離動詞
第 11 回	Lektion 4 (旅行と交通)	日本とドイツの交通機関の違い
第 12 回	Lektion 5 (天気)	天気・気温の表現、非人称の es、形容詞
第 13 回	Lektion 5 (天気)	週末の予定を尋ねる、従属の接続詞
第 14 回	期末試験	春学期に学習した内容のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎回の授業の復習、課題学習を必ず行うこと。

【テキスト（教科書）】

佐藤修子・他『CD 付き スツェーネン 2 コンパクト 場面で学ぶドイツ語』三修社、2010 年、2970 円

【参考書】

1 年時に使用した教科書

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：40%、平常点（授業への参加度、宿題・課題等）：60 %

【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

【その他の重要事項】

独和辞典を必ず持参してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve German language skills while reviewing and supplementing grammar items.

Students practice speaking and reading and perform pair work and group work to improve their ability to use German language.

They can expand the range of expressions and vocabulary based on the basic knowledge of German so far and develop practical communication skills in German.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total. Be sure to review and study the assignments for each class.

Grading criteria: Final exam: 40%, normal points (class participation, homework, assignments, etc.): 60%.

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

児島 由理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の確認・補足をしながら、ドイツ語力のステップアップを目指す。

口頭・読解練習、ペアワークやグループワークを行うことで、ドイツ語を使う力を身につける。

【到達目標】

これまでのドイツ語の基礎知識をもとに、表現や語彙の幅を広げる。ドイツ語での実践的なコミュニケーション能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書はリスニング・会話・読解・文法問題等がバランスよく配置されています。文法や読解の解説は教員が行いますが、会話練習やリスニングは参加者の積極的な参加が望まれます。宿題の確認は次の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	ガイダンス、自己紹介、夏休みの思い出を話す（過去形、現在完了形）
第 2 回	Lektion 6（健康）	体の部位について
第 3 回	Lektion 6（健康）	入浴・洗顔・歯磨き等の習慣、再帰の表現
第 4 回	Lektion 7（お祝い）	贈り物を選ぶ・贈る、人称代名詞、所有冠詞
第 5 回	Lektion 7（お祝い）	誕生日のメッセージ、パーティー
第 6 回	Lektion 8（教育制度）	ドイツの教育制度、副文
第 7 回	Lektion 8（教育制度）	憧れの職業、接続法 II 式
第 8 回	Lektion 8（教育制度）	ドイツの幼稚園
第 9 回	Lektion 9（ゴミと環境）	ゴミの名称
第 10 回	Lektion 9（ゴミと環境）	ゴミ処理の仕方を尋ねる、命令形
第 11 回	Lektion 9（ゴミと環境）	ドイツの環境政策、zu 不定詞
第 12 回	Lektion 10（祝日）	ドイツの祝祭と祝日、イースターとカーニバルについて m 受動文
第 13 回	Lektion 10（祝日）	クリスマスと正月について尋ねる、関係文
第 14 回	期末試験	秋学期に学習した内容のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。宿題は必ずやってくる。

【テキスト（教科書）】

佐藤修子・他『CD 付き スツェーネン 2 コンパクト 場面で学ぶドイツ語』三修社、2010 年、2970 円

【参考書】

1 年次に使用した教科書

【成績評価の方法と基準】

期末試験：40 %、平常点（授業参加度、宿題・課題等）：60 %

【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

【その他の重要事項】

独和辞典を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve German language skills while reviewing and supplementing grammar items.

Students practice speaking and reading and perform pair work and group work to improve their ability to use German language.

They can expand the range of expressions and vocabulary based on the basic knowledge of German so far and develop practical communication skills in German.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total. Be sure to review and study the assignments for each class.

Grading criteria: Final exam: 40%, normal points (class participation, homework, assignments, etc.): 60%.

LANd200LA

ドイツ語 4 I

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくためにさまざまなシチュエーションのなかで必要な表現を学ぶことを目的とします。またドイツの若者の日常や関心などを会話表現を通して学びます。

【到達目標】

初級文法の知識を確実なものとするができます。
日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現、使える会話表現を身につけることができます。
ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

テキストをともに読み進めていきます。
各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。
適宜、確認テストを行います。

1 年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。

課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。

訳読を行うにあたっては、精読 (close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

その十全な養成実施のために、原則として初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。

第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。

なお、オンライン授業を積極的に活用するなど、教育の多様化に対応した運用を行うので、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホル シュタイン州	授業の進め方、 訳読と文法的説明を行う
第 2 回	Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホル シュタイン州	文法的解説:完了形 課題・読解を行う
第 3 回	Kapitel 2 Hamburg	テキストの Kapitel 1 表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 4 回	Kapitel 2 受動形	Kapitel 2 訳読と受動形 の文法的説明を行う

第 5 回	Kapitel 2 ハンブルクの産業とメディア	テキストの Kapitel 2 の読解を行う
第 6 回	Kapitel 4 過去形のまとめと確認	テキストの Kapitel 4 の表現を学ぶ この章の練習問題で表現の練習
第 7 回	Kapitel 4 Bremen	Kapitel 4 の文法的説明を行う 訳読の解説
第 8 回	Kapitel 4 動詞の人称変化	テキストの読解を行う この章の練習問題で内容確認と表現の練習
第 9 回	Kapitel 4 この章のまとめと確認	プレーメンの文化と歴史
第 10 回	Kapitel 6 関係代名詞の用法	Kapitel 6 の文法的説明を行う 練習問題で表現の練習・まとめ
第 11 回	Kapitel 6 Brandenburg について	テキストの Kapitel 6 の読解を行う
第 12 回	Kapitel 6 に関連したビデオ学習	テキストの Kapitel 6 ボツダム会談、ヤルタ会談を中心としたドイツについて学ぶ
第 13 回	Kapitel 6 第二次大戦とボツダム	Kapitel 6 の読解と文法的説明を行う。 zu 不定詞の表現を学ぶ。
第 14 回	試験、解説とまとめ	これまでに学んだ読解と文法的説明の振り返り 試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、1 回につき合わせて 1 時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておきます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストに描かれている事柄（例えば、各州の環境問題や歴史など）などに関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ ところ変われば』(Deutschland nach der Wende)

R.Luscher 松本嘉久 著

朝日出版社

【参考書】

とくにありませんが、毎回、独和辞典を持ってくるようにしてください。
ドイツ語の作文を適宜行います。
また、テキストに描かれている事柄などに関して書かれた本を読むことも重要です。

【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について
成績配分は期末試験 50 %、平常点（確認テストの点数の累積、課題、授業への積極的な参加を含む）50 %です。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な解説で説明しています。
また、ドイツの文化や歴史も学べるということで、ビデオも取り入れてゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。
授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読 (close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

その十全な養成実施のために、履修者が多い場合には原則として初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知する
第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。

【Outline (in English)】

German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading and with audio-visual aids and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Goal:By the end of the course, students should be able to :

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of German states.

Work to be done outside of class: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA

ドイツ語 4 II

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に学んだことを踏まえて、1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくために、ドイツの州の特色を通して、ドイツという国やさまざまな表現を身につけていくことを目的とします。

【到達目標】

初級文法の知識を確実なものとして行うことができます。

ドイツ語によるさまざまな表現方法や構文を学ぶことができます。

ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストをとともに読み進めていきます。

毎回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。

適宜、確認テストを行います。

1 年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。

課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。

訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

原則として、初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。

授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知する。なお、オンライン授業を積極的に活用するなど、教育の多様化に対応した運用を行う。

毎週、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction 授業の方法 Kapitel 7	Introduction 授業についての説明 成績評価の説明 Kapitel 7
第 2 回	Kapitel 7 Berlin	Kapitel 7 の訳読の解説を行う。
第 3 回	Kapitel 7 訳読 この Kapitel のまとめと確認	Kapitel 7 zu 不定詞について学ぶ。 練習問題で確認と応用
第 4 回	Kapitel 9 Nordrhein-Westfalen について	Kapitel9 の訳読と文法的説明を行う

第 5 回	Kapitel 9 ケルンについて	Kapitel 9 ライン地方の産業とケルンの大聖堂 テキストの読解を行う
第 6 回	Kapitel 11 の訳読確認	Kapitel 11 再帰代名詞の表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第 7 回	Kapitel 11 ゲーテとシラー	Kapitel 11 ドイツの古典文化とワイマール
第 8 回	Kapitel 11 ワイマール共和国	Kapitel 11 ドイツの戦後
第 9 回	Kapitel 16 Bayern を学ぶ	Kapitel 16 のテキストの表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第 10 回	Kapitel 16 接続法の人称変化と意味を学ぶ	Kapitel 16 訳読の解説と テキストの文法的説明を行う
第 11 回	Kapitel 16 バイエルンの産業	Kapitel 16 ゲーメンズや BMW などドイツの工業について テキストの表現を学ぶ
第 12 回	Kapitel 16 ドイツ語の戦後についてのビデオ学習	Kapitel 16 第二次大戦後のベルリン分割やドイツの統一について
第 13 回	Kapitel 16 Bayern 州 接続法の表現	Kapitel 16 接続法 練習問題で応用
第 14 回	試験、解説とまとめ	表現と文法事項を中心とした振り返り 試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするために復習をします。
次回に行く章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストに描かれている事柄に関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読み、より興味をもって授業に臨み、理解を深めます。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ ところ変われば』（Deutschland nach der Wende）

R.Luscher 松本嘉久 著
朝日出版社

【参考書】

とくにありませんが、毎回、独和辞典が必要。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50 %

平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50 %

出席は単位修得の前提条件です。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な説明に努めたい。
また、ドイツの文化や歴史について学べるということなので、ビデオ学習も取り入れてゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

その十全な養成実施のために、履修者が多い場合には原則として初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知する。

【Outline (in English)】

German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading the text on Germany and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Goal:By the end of the course, students should be able to :

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of German states.

Work to be done outside of class: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: : Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA

ドイツ語 4 I

2017 年度以降入学者

外山 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、異文化理解を深める。

【到達目標】

文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化、ヨーロッパの文化に触れ、世界を広げる。

使用するテキストはそれにぴったりです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面ですが、Zoom によるオンラインになる回もありますので、「各回の授業形態」を見てください。

比較的容易なドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。教科書の他に、すぐに役立つ表現、最新のドイツ事情なども紹介する。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」チェックをしてください。また、シラバスの最下「その他の重要事項欄」を早めに最後までよく読んでください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1 年生の復習もかねて	授業の進め方、勉強の仕方、勉強の課題。
2	Lektion 1 Brot Wurst Döner Kebab	Lektion 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
3	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題
4	Lektion 2 Herr Böse und Herr Streit	Lektion 2 のテキストを読み、過去形、未来・水量の助動詞 werden、従属接続詞について学ぶ。
5	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第 2 式について学ぶ。
7	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8	Lektion 4 Der süße Stadt	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題
10	Lektion 5 Wiener Kaffeehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了形について学ぶ。
11	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題。
12	これまでの文法の補足	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。
13	重要事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 試験・まとめと解説。 試験と春学期のまとめをする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業での指示に従うこと。

本文は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

萩原耕平/ 畠山 寛/ 高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト 9 章』同出版社

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として 3 分の 2 以上を必要とする。配慮される場合については【その他の重要事項】を参照のこと。基本的には期末試験 60 % + 授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）40 % の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

学生はよくがんばっていました。感謝しています。一部の学生は出席に気をつけてください。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器（教室ではスマートフォン、タブレットなど WiFi とつながるもの、自宅では PC があれば PC、なければスマートフォン、タブレットなど）、ヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しましょう。

公欠届、診断書などはきちんと出してください。

教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがあります。学習支援システムの「お知らせ」欄にいつも気をつけていてください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

「初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行う場合があります。その場合は学習支援システムの「お知らせ」欄で告知しますので、履修希望する学生は初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。」抽選は必ず行われるわけではないので、それも含めて学習支援システムには注意を払ってってください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text. 30minutes.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. 30minutes.

Final grade will be calculated according to the following process
Term-end examination(60%) and in-class contribution(40%).

LANd200LA

ドイツ語 4 II

2017 年度以降入学者

外山 知子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の向上を目指し、異文化理解を深める。

【到達目標】

ドイツ語の文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

ドイツへの理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面ですが、個別に Zoom によるオンラインになる回もありますので、「各回の授業形態」を見てください。

学習支援システム「にお知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」チェックをしてください。

比較的平易なドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。教科書の他に、すぐに役立つ表現、最新のドイツ事情なども紹介する。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読んでください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方、勉強の仕方、勉強ドイツ語の感覚を取り戻す。 に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語Ⅱに触れる。 教科書と辞書、Zoom に入る機器が必要です。
2	Lektion 4 Der süße Brei!	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
3	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題
4	Lektion 5 Wiener Kaffeehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了形 (1) について学ぶ。
5	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題
6	Lektion 6 Ausschlussprüfung Verdammt heiß hier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形 (2)、zu 不定詞 (1)、過去分詞の用法について学ぶ。
7	Lektion 6 の続き。	Lektion 6 の練習問題。
8	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
9	Lektion 7 の続き。	Lektion 7 の練習問題。

10	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter Menschen mit Mi- grationshintergrund	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu 不定詞 (2) について学ぶ。
11	Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。 練習問題。
12	プリントなどで教科書 以外のドイツ語に触れ る。	どれくらいの読解能力がついてい るか確認するため、教科書以外の ドイツ語を読む。
13	重要事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。
14	試験・まとめと解説	試験と秋学期のまとめをする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前回学んだことの復習とテキストの予習。

本文は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

荻原耕平/ 島山 寛/ 高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト 9 章』同学社

【参考書】

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として 3 分の 2 以上を必要とする。配慮される場合については【その他の重要事項】を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験 60 %、授業参加度 (宿題、課題をふくむ平常点) 40 % の割合で総合評価する。
遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

学生はよくがんばっていました。こちらも丁寧に教えていきたいと思います。遅刻と出席には気をつけてください。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器 (教室ではスマートフォンあるいはタブレットなど WiFi とつながるもの、自宅では PC、なければスマートフォン、タブレットなど)、場合によってヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しましょう。

公欠届け、診断書などはその都度すぐにきちんと出してください。秋学期から履修する人は教科書を入手しておいてください。

教科書と独和辞典を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の速度によって、少しずれることがあります。それも含めて全般に学習支援システムの「お知らせ」欄にいつも気をつけてください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text. 30minutes.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. 30minutes.

Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination(60%) and in-class contribution(40%).

LANd200LA

ドイツ語 4 I

2017 年度以降入学者

丸山 達也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだ初級文法を復習しながら、ドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解することを通じて、より広くドイツ語圏に関する文化の理解や知識を深めることを目指します。

【到達目標】

第一に、ドイツ語で書かれた文章の意味を大まかに読み取るのではなく、文法に即して文の構造をより正確に読み取る能力の向上を目指します。

第二に、単に文章の表面的な理解だけでなく、文化的・歴史的背景と関連づけて読解する能力の向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。単語（特に動詞）について各課で小テストを行います。しっかり覚えましょう。

内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

授業は原則的に対面で行います。感染状況等の影響により、対面での実施ができない場合には zoom を使ったオンライン（リアルタイム）形式を用います。オンラインで実施する場合には、Hoppii を通じて連絡しますので、必ずご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方について 1 年次の学習事項の確認と簡単な復習
2	Lektion 1	文の基本的構造 過去形・完了形
3	Lektion 1	テキスト読解
4	Lektion 2	Lektion 1 単語小テスト 分離動詞
5	Lektion 2	テキスト読解
6	Lektion 2	テキスト読解 単語小テスト
7	Lektion 3	前置詞
8	Lektion 3	テキスト読解
9	Lektion 3	テキスト読解 単語小テスト
10	Lektion 4	関係代名詞
11	Lektion 4	テキスト読解
12	Lektion 4	単語小テスト
13	Lektion 5	関係代名詞と関係文
14	試験	春学期に学んだことのまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの音読は必ず繰り返し行なってください。

本文で当てられた箇所は必ず予習してくる。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村瀬民子『壁』を壊す メルケル独首相スピーチ』（白水社、2020 年）

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003 年）

【成績評価の方法と基準】

・授業への積極的な参加（自分の担当箇所を責任を持ってやってくる）30%

・授業内外での質問や自発的な発言 10%

・各課での単語小テスト 30%

・学期末試験 30%

以上を総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典（電子辞書も OK）を必ず持参してください。Google 翻訳や DeepL などのオンライン無料辞書では対応できない課題があるので使用しないこと。スマートフォン等のアプリ版の独和辞典を購入して使ってもよいですが、試験では使用できないのでご注意ください。

・1 年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。

・（オンライン形式で授業を行う場合）Zoom および Zoom に接続できる PC と接続可能な環境（ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません）

【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。

また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行う場合があります。その場合は学習支援システムの「お知らせ」欄で告知しますので、履修希望する学生は初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。抽選は必ず行われるわけではないので、それも含めて Hoppii には注意を払ってってください。

【Outline (in English)】

Course outline:

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Learning Objectives:

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

Learning activities outside of classroom:

The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Grading Criteria /Policy:

Students are assessed on the basis of their active participation (10%) and contribution to the class (30%), the results of a vocabulary test (30%) and a final examination (30%).

LANd200LA

ドイツ語 4 II

2017 年度以降入学者

丸山 達也

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年次に学んだ初級文法を復習しながら、ドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解することを通じて、より広くドイツ語圏に関する文化の理解や知識を深めることを目指します。

【到達目標】

第一に、ドイツ語で書かれた文章の意味を大まかに読み取るのではなく、文法に即して文の構造をより正確に読み取る能力の向上を目指します。

第二に、単に文章の表面的な理解だけでなく、文化的・歴史的背景と関連づけて読解する能力の向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。単語 (特に動詞) について各課で小テストを行います。しっかり覚えましょう。

内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

授業は原則的に対面で行います。感染状況等の影響により、対面での実施ができない場合には zoom を使ったオンライン (リアルタイム) 形式を用います。オンラインで実施する場合には、Hoppii を通じて連絡しますので、必ずご確認ください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 5	文法事項おさらい テキスト読解
2	Lektion 5	単語小テスト テキスト読解
3	Lektion 6	zu 不定詞
4	Lektion 6	テキスト読解
5	Lektion 6	テキスト読解 単語小テスト
6	Lektion 7	形容詞の比較変化
7	Lektion 7	テキスト読解
8	Lektion 7	テキスト読解 単語小テスト
9	Lektion 8	接続法 II 式
10	Lektion 8	テキスト読解
11	Lektion 8	テキスト読解 単語小テスト
12	Lektion 9	受動態、形容詞の名詞化
13	Lektion 9	テキスト読解
14	試験	秋学期に学んだことのまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの音読は必ず繰り返し行なってください。

本文で当てられた箇所は必ず予習してくる。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

村瀬民子『壁』を壊す メルケル独首相スピーチ』(白水社、2020 年)

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社、2003 年)

【成績評価の方法と基準】

・授業への積極的な参加 (自分の担当箇所を責任を持ってやってくる) 30%

・授業内外での質問や自発的な発言 10%

・各課での単語小テスト 30%

・学期末試験 30%

以上を総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典 (電子辞書も OK) を必ず持参してください。Google 翻訳や DeepL などのオンライン無料辞書では対応できない課題があるので使用しないこと。スマートフォン等のアプリ版の独和辞典を購入して使ってもよいですが、試験では使用できないのでご注意ください。

・1 年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。

・ (オンライン形式で授業を行う場合) Zoom および Zoom に接続できる PC と接続可能な環境 (ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません)

【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。

また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

Course outline:

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Learning Objectives:

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

Learning activities outside of classroom:

The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Grading Criteria /Policy:

Students are assessed on the basis of their active participation (10%) and contribution to the class (30%), the results of a vocabulary test (30%) and a final examination (30%).

LANd200LA

ドイツ語 (3) I

2017 年度以降入学者

上田 知夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

コミュニケーションのためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】

- ・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
- ・コミュニケーションに関わるドイツ語力を涵養する
- ・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
- ・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業内で、読解テキストについて個々の文章の解釈や文法解説を求めます。また授業内および授業外で課題を解いてもらいます。

毎回授業ノートや練習問題の解答結果を学習支援システムを通じて提出していただきます。提出していただいたノートや文法問題の解答については、全体の傾向をまとめた上で授業内でフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課の発音練習と テキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 2 回	第 1 課の練習問題と テキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 3 回	第 1 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 4 回	第 2 課の発音練習と テキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 5 回	第 2 課の練習問題と テキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 6 回	第 2 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 7 回	第 3 課の発音練習と テキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 8 回	第 3 課の練習問題と テキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 9 回	第 3 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 10 回	第 4 課の発音練習と テキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 11 回	第 4 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 12 回	第 5 課の発音練習と テキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 13 回	第 5 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 14 回	確認テストとまとめ	確認テストおよび解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業が進みます（予習は評価の一部になります）。

【テキスト（教科書）】

Ute Schmidt, Mechild Duppel-Takayama, 三ッ石裕子, 和泉雅人
『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』
三修社、2022 年

【参考書】

ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。

独和辞典を所有していない方は、

『アクセス独和辞典』（三修社）

『大独和辞典』（小学館）

などを入手してください。

文法書を所有していない人は、

中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』（白水社）

などを持参してください。

その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、

毎週の課題（予習ノート、授業ノート、練習問題）の提出：50%

期末試験：50%

の割合でつけます。

【学生の意見等からの気づき】

本年より新規教材を利用につき、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと。

【Outline (in English)】**【Course outline and Learning Objectives】**

In this lecture, students will achieve three things:

1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the communicational skill of German language.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation of reading materials are presupposed and there will be some homework (1hour)

【Grading Criteria /Policy】

Result of preparation and participation in the classroom: 50%

Final exam: 50%

LANd200LA

ドイツ語 (3) II

2017 年度以降入学者

上田 知夫

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 1/Wed.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

コミュニケーションのためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】

- ・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
- ・コミュニケーションに関わるドイツ語力を涵養する
- ・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
- ・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業内で、読解テキストについて個々の文章の解釈や文法解説を求めます。また授業内および授業外で課題を解いてもらいます。

毎回授業ノートや練習問題の解答結果を学習支援システムを通じて提出していただきます。提出していただいたノートや文法問題の解答については、全体の傾向をまとめた上で授業内でフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課の発音練習と テキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 2 回	第 6 課の練習問題と テキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 3 回	第 6 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 4 回	第 7 課の発音練習と テキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 5 回	第 7 課の練習問題と テキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 6 回	第 7 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 7 回	第 8 課の発音練習と テキスト 1 読解	発音練習とテキスト講読
第 8 回	第 8 課の練習問題と テキスト 2 読解	文法復習およびテキスト講読
第 9 回	第 8 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 10 回	第 9 課の発音練習と テキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 11 回	第 9 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 12 回	第 10 課の発音練習と テキスト 1 読解	テキスト講読および練習問題
第 13 回	第 10 課のテキスト 2 読解と練習問題	テキスト講読および練習問題
第 14 回	確認テストとまとめ	確認テストおよび解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業が進みます (予習は評価の一部になります)。

【テキスト (教科書)】

Ute Schmidt, Mechild Duppel-Takayama, 三ッ石裕子, 和泉雅人
『現代ドイツを学ぶための 10 章 [改訂版]』
三修社、2022 年

【参考書】

ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。

独和辞典を所有していない方は、

『アクセス独和辞典』(三修社)

『大独和辞典』(小学館)

などを入手してください。

文法書を所有していない人は、

中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』(白水社)

などを持参してください。

その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、

毎週の課題 (予習ノート、授業ノート、練習問題) の提出: 50%

期末試験: 50%

の割合でつけます。

【学生の意見等からの気づき】

本年より新規教材を利用につき、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと。

【Outline (in English)】

【Course outline and Learning Objectives】

In this lecture, students will achieve three things:

1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the communicational skill of German language.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation of reading materials are presupposed and there will be some homework (1hour)

【Grading Criteria /Policy】

Result of preparation and participation in the classroom: 50%

Final exam: 50%

LANd200LA

ドイツ語7

2017 年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前年度の「ドイツ語1」「ドイツ語3」の後続授業という位置付けです。SA ドイツ語圏での留学に対する事前準備として、ドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力の獲得とさらなる向上を目指します。

【到達目標】

- ・ドイツ語の文章を文法に即し分析的に読む能力の向上。
- ・抽象的なトピックに関する語彙を増やし、話題にふさわしいコメントをドイツ語で発する能力の獲得。
- ・地域ごと異なる社会制度や文化慣習を、言語の特性と関連づけて理解できる能力の獲得。

以上を通じて、留学地での生活に適應するために必要な能力と心構えをしっかりと身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解と並行してドイツ語の初級文法の基礎固めを行います。初級文法の知識を固めドイツ語圏とヨーロッパについての知識を増やししながら、SA 先大学での授業の準備と積極的なドイツ語での発信を目指します。またグループワークなどを通じて、活気ある授業とより良い理解にも配慮します。

- ・法政大学の 2022 年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	オリエンテーション	1 年次の復習としてドイツ語での自己紹介、ドイツ語圏についての既知情報の交換
02	In der Mitte Europas (1)	ドイツは何処にある？ 数詞、国名と言語、文構造の基本の基本
03	In der Mitte Europas (2)	形容詞の格変化、規則動詞の人称変化
	Man spricht Deutsch (1)	ドイツ語は何処で話されている？
04	Man spricht Deutsch (2)	接続詞、副文
05	Die liebe Familie (1)	「家族」とは？ 家族に関する表現、再帰代名詞
06	Die liebe Familie (2)	話法の助動詞 夢は「マイホーム」？
	So wohnt man (1)	
07	So wohnt man (2)	住居に関する表現、場所の前置詞
08	Schul- und Lehrjahre (1)	義務教育をどう思う？ 時刻表現、経過や期間を表す表現
09	Schul- und Lehrjahre (2)	所有冠詞と人称代名詞
	Noch mehr Bildung (1)	大学は何のため？

10	Noch mehr Bildung (2)	不定詞と不定詞句
11	Eine junge Republik (1)	第二次大戦後のドイツは 2 つあった？ 受動態
12	Eine junge Republik (2)	「ゆたかさ」とは？ 分離動詞
	Das war die DDR (1)	
13	Das war die DDR (2)	「壁」とは何だろう？ 関係代名詞と関係文
14	学期末試験・まとめと解説	春学期の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。ドイツ語の文・テキストはどれも必ず音読してください。授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】

„ Dreimal Deutsch“ (Klett) ISBN: 978-3-12-675237-4

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003 年）
清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014 年）

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加 35 %（外部試験の受験結果含）、課題 30 %、学期末試験 35 %を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典は必携です。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。
- ・受講者には「ドイツ語技能検定試験（公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催）」や「ドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験（Goethe Zertifikat）」あるいは「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）」の受験を強く推奨します。特に「ドイツ語技能検定試験」の 3 級には積極的にチャレンジしてください。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加（35 %）」に加算されます（2022 年 7 月 20 日までに担当者へ通知されたものに限る）。
- ・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

German course for the intermediate levels (nearly A1. completed), exclusively for Participants of SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) in the next semester held by the faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language and German speaking world, especially ability of reading and composition for general topics to talk about.

【Learning Objectives】

- ・Improving the ability to read German texts in a grammatical and analytical way.
- ・The development of vocabulary on abstract topics and the ability to make appropriate comments on topics in German.
- ・The ability to understand the different social systems and cultural practices of different regions in relation to the characteristics of the language.

The above will give you the skills and preparation you need to adapt to life in a foreign country.

【Learning Activities outside of classroom】

- ・The standard preparation and revision time for this class is one hour in total.

- ・ For each lesson, students will be given an assignment to prepare and review.
- ・ All sentences and texts in German must be read aloud.
- ・ Students are encouraged to use the German language outside of class.

【Grading Criteria/Policy】

The overall assessment will be based on a combination of 35% active participation in class (including the results of external examinations), 30% assignments and 35% final examinations.

LANd200LA

ドイツ語 8

2017 年度以降入学者

熊田 泰章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

留学レベルのドイツ語を習得する。
留学において、授業を十分に理解し、留学生生活を支障なく過ごすことができるように、ドイツ語運用能力を高める。

【到達目標】

留学に際し、十分な成果を修めることができるようにするために不可欠なドイツ語運用能力を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

留学に備えて、授業と生活に即したドイツ語運用の練習を行なう。
留学に対応する教材を用い、語彙力、受話能力、発話能力を鍛錬する練習を行う。

毎回小テストと課題提出を行なう。

学習支援システムで提出された課題について、次回の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	留学で学ぶこと；授業と生活
2	ドイツ語圏の現在	データなどを用いて整理する
3	ドイツ語圏の特徴	ドイツ語圏の様々な特徴を知る
4	ドイツ語圏の歴史	歴史を深く学ぶ
5	ドイツ語圏と EU	EU の関係を知る
6	ドイツ語圏の都市	様々な都市を知る
7	ドイツ語圏の世界文化遺産	世界文化遺産を知る
8	ドイツ語圏の大学	大学を知る
9	ドイツ語圏の四季	四季を知る
10	ドイツ語圏の祝祭	祝祭を知る
11	ドイツ語圏と日本の対比	違いと同じを知る
12	日本	日本について深く知り、説明できるようにする
13	ドイツ語圏と多文化共生	多文化共生について深く知る
14	これまでのまとめ	これまでに学んだことを整理する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回授業で使用する文献を用いて予習する。
復習として、授業内容を整理し、知識と語彙を確かにする。
宿題とする配布物を読み、内容を整理し、指定された課題に答える。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

ドイツ語圏に関する資料を用いて必要なマテリアルを作成し、学習支援システムで配布する。

【参考書】

熊田泰章編『国際文化研究への道－連帯と共生を求めて－』彩流社、2013 年

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業内での課題と期末試験によって評価する。

留学生活に必要な文化背景を理解する知識力と理解力、実践的なドイツ語の会話力・文法力・語彙力を獲得することがポイントである。毎回の課題 50 %・期末試験 50 %。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講者が積極的に発言する授業とするように努めています。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで教材提示と課題提出を行う。

【Outline (in English)】

【Course outline】

German course exclusively for participants of the SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) held by the Faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines. Students learn German at the study abroad level, so that they can fully understand the lessons and spend their study abroad life without any problems.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of German language for study in Germany.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to short tests(50%) and term-end examination (50%).

LANd200LA

ドイツ語 3 - I

2017 年度以降入学者

平松 英人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語初級文法を一通り学習し終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

【到達目標】

1 年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3 級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は 12 課からなり、各課とも導入、会話、聞き取り、読解、文法問題、発音から構成されている。語彙や文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、ドイツ語文章の読解や会話の練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 1 Ich hatte Fieber 1	イントロダクション 過去形①
2	Lektion 1 Ich hatte Fieber 2	名詞の 2 格と 2 格支配の前置詞
3	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 1	定冠詞類 副詞的 4 格
4	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 2	使役動詞 知覚動詞
5	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 1	過去形②
6	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 2	zu 不定詞 um zu, statt zu, ohne zu 不定詞 (句)
7	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 1	確認テスト 方向・場所を表す前置詞
8	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 2	現在完了形
9	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 1	再帰代名詞
10	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 2	再帰動詞

11	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 1	命令形 接続法 2 式
12	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 2	複合名詞
13	まとめと補足	春学期のまとめと補足
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！ 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5 ￥2,700 + 税

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を 60 %、平常点を 40 % の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

ブレイクアウトセッションを用いたグループワークなど、対面授業よりも高い学習効果が期待できる場合には、授業の進捗と学生の理解度を考慮しながら、適宜（3～4 回程度）オンライン授業を実施する。オンライン授業には Zoom を利用するので、接続可能なデバイス（パソコンを推奨）を用意すること。

【Outline (in English)】

Course outline: In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach B2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd200LA

ドイツ語 3 - II

2017 年度以降入学者

平松 英人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語初級文法を一通り終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

【到達目標】

1 年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3 級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は 12 課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 1	従属の接続詞と副文①
2	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 2	従属の接続詞と副文②
3	Lektion 8 Ich schenke ihr einen roten Rock 1	形容詞
4	Lektion 8 Ich schenke ihr einen roten Rock 2	序数
5	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 1	比較級
6	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 2	最上級
7	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 1	確認テスト 関係代名詞①

8	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 2	関係代名詞②
9	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 1	受動態
10	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 2	分詞
11	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 1	接続法 2 式
12	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 2	接続法 1 式
13	まとめと補足	まとめと補足
14	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！ 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5 ¥2,700 + 税

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を 60 %、平常点を 40 % の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

ブレイクアウトセッションを用いたグループワークなど、対面授業よりも高い学習効果が期待できる場合には、授業の進捗と学生の理解度を考慮しながら、適宜（3～4 回程度）オンライン授業を実施する。オンライン授業には Zoom を利用するので、接続可能なデバイス（パソコンを推奨）を用意すること。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach B2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd200LA

ドイツ語 3 - I

2017 年度以降入学者

辻 英史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習をします。

【到達目標】

この授業では、1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、そこそこ難しいドイツ語の文章を読んだり聞いたりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

春学期は、文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに高度な文法を学んでいきます。さらに応用練習として、ドイツ語圏やヨーロッパの社会やサステナビリティに関連するテキストの読解と、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習を平行しておこないます。

参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。

宿題と小テスト（毎回実施）については、授業内および学習支援システムを用いてフィードバックをおこないます。そのほか確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・第 1 回確認テスト	1 年次に学習した文法事項の確認テスト。
第 2 回	名詞と代名詞	基礎の文法の確認と発展。基本動詞・冠詞類・名詞について。
第 3 回	応用練習 1	テキスト読解をおこないます。
第 4 回	応用練習 2	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	過去形と現在完了形	動詞の時制の確認をします。
第 6 回	応用練習 3	テキスト読解をおこないます。
第 7 回	応用練習 4	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回確認テスト	第 2～第 7 回の内容をテストします。
第 9 回	動詞のいろいろ	分離動詞・助動詞・再帰動詞について。
第 10 回	応用練習 5	テキスト読解をおこないます。
第 11 回	応用練習 6	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	形容詞と分詞	形容詞・分詞とその名詞化、冠飾句について。
第 13 回	応用練習 7	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に小テストとして前回の内容をチェックする問題を出題します。予習復習に必要な時間は毎回 1 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』
 著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著
 出版社：白水社
 ISBN：978-4-560-00492-0

必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っていると便利です。

必要に応じてプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加 (30%)、確認テスト (30%)、期末テスト (40%)

【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくる。

【Outline (in English)】

German Course for Students from A2 Level

This class is designed for those who have studied elementary grammar for a year and want to further strengthen their knowledge of grammar and vocabulary to be able to read and listen to some difficult German texts.

Homework will be assigned each time. There will also be a quiz at the beginning of each class to check the content of the previous class. The time required for preparation and review is approximately one hour each time.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation (30%), confirmation test (30%), final exam (40%)

LANd200LA

ドイツ語 3 - II

2017 年度以降入学者

辻 英史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習をします。

【到達目標】

この授業では、すでに 1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、そこそ難しいドイツ語の文章を読んだり書いたりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

秋学期では、より高度な文法事項をとりあげ、短い作文をすることでそのニュアンスや使い方を練習します。さらに応用練習として、ドイツ語圏やヨーロッパの社会や環境問題に関連するドイツ語のテキストの読解と、音声や映像の教材を用いた会話の練習を平行しておこないます。

参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして出席して下さい。

宿題と小テスト（毎回実施）については、授業内および学習支援システムを用いてフィードバックをおこないます。そのほか確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・復習、第 1 回確認テスト	春学期の内容についての復習と内容確認。
第 2 回	関係代名詞について	関係代名詞とその用例について。
第 3 回	応用練習 1	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 4 回	応用練習 2	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	受動について	受動、自動詞の受動、状態受動文など。
第 6 回	応用練習 3	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 7 回	応用練習 4	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回確認テスト	第 2～第 7 回の内容を確認します。
第 9 回	接続法 1	非現実話法と外交的接続法。
第 10 回	接続法 2	要求話法と間接話法。
第 11 回	応用練習 5	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	機能動詞	さまざまな機能動詞を用いた熟語について。
第 13 回	応用練習 6	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に小テストとして前回の内容をチェックする問題を出題します。予習復習に必要な時間は毎回 1 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っていると便利です。

必要に応じてプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加 (30%)、確認テスト (30%)、期末テスト (40%)

【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくることを。

【Outline (in English)】

German Course for Students from A2 Level

LANd200LA

ドイツ語コミュニケーション I 2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション 自己紹介 (簡単な表現・会話)	Einführung Zur Person (einfache Redemittel, Übungen)
②	自己紹介 (ほかの表現・練習)	Zur Person (weitere Redemittel, Übungen)
③	趣味 (簡単な表現・会話)	Hobbys (einfache Redemittel, Übungen)
④	趣味 (ほかの表現・練習)	Hobbys (weitere Redemittel, Übungen)
⑤	家族	Familie
⑥	食べ物・飲み物 (簡単な表現・会話)	Essen & Trinken (einfache Redemittel, Übungen)
⑦	食べ物・飲み物 (ほかの表現・練習)	Essen & Trinken (weitere Redemittel, Übungen)
⑧	総復習	Wiederholung (Wortschatz, Grammatik, Redemittel)
⑨	住居	Wohnung
⑩	時刻と日付 (簡単な表現・会話)	Uhrzeit und Datum (einfache Redemittel, Übungen)
⑪	時刻と日付 (ほかの表現・練習)	Uhrzeit und Datum (weitere Redemittel, Übungen)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	練習	Übungen zur Wiederholung

⑭ 全体のまとめとテスト Zusammenfassung
Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法・語彙などの復習 & 課題（ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題）

本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

テスト 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA

ドイツ語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

※定員制（20 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。

単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	Einführung
②	春学期の復習	Wiederholung
③	旅行のためのドイツ語 1	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - einfache Redemittel)
	道を探ねる (簡単な表現)	
④	旅行のためのドイツ語 2	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - weitere Redemittel, Übungen)
	道を探ねる (ほかの表現・会話の練習)	
⑤	旅行のためのドイツ語 3	Reisedeutsch (Im Hotel - einfache Redemittel)
	ホテルで (簡単な表現)	
⑥	旅行のためのドイツ語 4	Reisedeutsch (Im Hotel - weitere Redemittel, Übungen)
	ホテルで (ほかの表現・会話の練習)	
⑦	旅行のためのドイツ語 5	Reisedeutsch (Im Restaurant - einfache Redemittel)
	レストランで (簡単な表現)	

⑧	旅行のためのドイツ語 6 レストランで (ほかの表現・会話の 練習)	Reisedeutsch (Im Restaurant - weitere Redemittel, Übungen)
⑨	旅行のためのドイツ語 7 駅にて (簡単な表現)	Reisedeutsch (Verkehr - einfache Redemittel)
⑩	旅行のためのドイツ語 8 駅にて (ほかの表現・会話の 練習)	Reisedeutsch (Verkehr - weitere Redemittel, Übungen)
⑪	旅行のためのドイツ語 9	Reisedeutsch (Reiseziele)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	復習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法・語彙などの復習 & 課題（ワークブック・プリント・インタネット上の練習問題）

本授業の準備・復習時間は、計 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

テスト 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA

ドイツ語表現法 I

2017 年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

※定員制（20 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで。

基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話に苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともありますが、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Erste Schritte: Persönliche Angaben machen Sich selbst vorstellen	自己紹介を書く I 辞書の使い方 I
2.	Länder, Städte, Zahlen	自分の出身を紹介する 人を紹介する
3.	Meine Stadt beschreiben	方位と場所
4.	Mein Alltag	日常 時間を表す
5.	Tagesablauf	助動詞
6.	Hobby und Freizeit	分離動詞

7.	Freizeitangebote in der Stadt	場所と時間を表す
8.	Lieblingsdinge beschreiben	好きな「もの」を紹介する 冠詞と代名詞
9.	作文作成 2	発表
10.	Essen und Trinken	食生活についてと好み
11.	Im Restaurant	レストランのメニューと注文
12.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
13.	Vor den Ferien I	不規則動詞 話法の助動詞
14.	Vor den Ferien II	休暇中の予定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とします。予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト（教科書）】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明

白水社

ISBN：9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度（50%）
提出してもらうドイツ語の作文（50%）
を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要です。電子辞書可。

Zoom で接続可能なデバイス（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this course students will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They will also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50%) and written homework (50%).

LANd200LA

ドイツ語表現法Ⅱ

2017 年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

※定員制（20 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話には苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べることができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書く。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともあります。パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Nach den Ferien	現在完了形
2.	Postkarte	Postkarte schreiben 手紙を書く
3.	Wohnen	前置詞
4.	Mein Traumhaus	住まいについて書く
5.	Wohnen in der Stadt oder auf dem Land?	理由を表す
6.	Jahreskalender Datum und Monate Feiertage	年間行事 招待状を書く
7.	Feste feiern	複文
8.	An der Universität	大学について書く
9.	Meine Universität	グループワーク： 大学紹介を書く

10.	Meine Universität	グループワーク発表
	2	
11.	Eine Reise planen	旅行計画
12.	Sehenswürdigkeiten vorstellen	観光名所の紹介文を書く
13.	Erlebnisse und Erfahrungen	過去形 私の人生
14.	Erlebnisse und Erfahrungen	プレゼンテーション発表
	2	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。
予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト（教科書）】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明

白水社

ISBN：9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度（50%）

提出してもらったドイツ語の作文（50%）

を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要。電子辞書可。

Zoom で接続可能なデバイス（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】

授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this class we will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50 %) and written homework (50 %)

LANd200LA

ドイツ語視聴覚 I

2017 年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：1 単位

※定員制（30 名）

他学部公開：○ グローバル：成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

動画で学ぶドイツ語

YouTube 学習チャンネルのショートアニメとドイツ映画教材などの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともにドイツ語の理解力を高める。

【到達目標】

- ・動画で楽しくドイツ語の読解力やリスニング力を向上させる。
- ・海外のメディアを効果的に活用する力（メディア・リテラシー）を身につける。
- ・Web 上の教材を利用して独学できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

+++ オンライン「オンデマンド/資料・教材コンテンツ配付型」です。参照：【学生が準備すべき機器他】+++

リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。基本的にアップロード動画を配信し、課題を出す。前回の授業で提出された課題からいくつか良い回答を取り上げ、課題に対する解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション（1）	ショートアニメ教材の紹介、練習問題
2	オリエンテーション（2）	映画教材の紹介、練習問題
3	アニメ <i>Über Filme sprechen</i>	映画について話すための表現、課題1
4	映画 <i>Lola rennt</i> （1）	ドイツ映画の台詞を読解、課題2
5	アニメ <i>Ein Tag im Leben eines Superhelden</i>	一日の行動に関する表現、課題3
6	映画 <i>Lola rennt</i> （2）	ドイツ映画の台詞を読解、課題4
7	Ich muss zum Arzt（1）	病気に関する表現
8	Ich muss zum Arzt（2）	応用練習、課題
9	Vorstellungsgespräch（1）	面接に関する表現
10	Vorstellungsgespräch（2）	応用練習、課題
11	Über Filme sprechen（1）	映画についての表現
12	Über Filme sprechen（2）	応用練習、課題
13	einen Filmausschnitt lesen	ドイツ映画の台詞を読解

14 総復習 課題に対するフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準」〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト（初期）設定〕とするが、教室での学びとは違い、自分のペースで何度でも繰り返し学習を進めることができるため、「アクティブ」な自学自習の意欲が要件です。

【テキスト（教科書）】

教科書は使わない。

【参考書】

学習支援システム「Hoppii」を通じて指定する。

【成績評価の方法と基準】

課題提出（100 %）により評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

PDF 入力フォームで課題を提出するには普通のパソコンが必要。手書きの課題作成やスマホ写真による課題提出などは不可。

【Outline (in English)】

"German through short animation" as theme, the goal of this class is to use YouTube's free learning channel to learn natural German and at the same time to raise the attitude and awareness toward different cultures.

(Learning Objectives)

- Improving your reading and listening skills in German.
- Acquire basic knowledge about German audiovisual culture.
- Acquire the ability to effectively utilize overseas media (media literacy).
- You will be able to study by yourself using the teaching materials on the Web.

(Learning activities outside of classroom)

The standard for preparatory study and review time for this class is 1hour in total.

(Grading Criteria /Policies)

Grading will be decided based on worksheets (100%).

LANd200LA

ドイツ語視聴覚Ⅱ

2017 年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：1 単位

※定員制（30 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

動画で学ぶドイツ語

YouTube 学習チャンネルのショートアニメとドイツ映画教材などの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともにドイツ語の理解力を高める。

【到達目標】

- 動画で楽しくドイツ語の読解力やリスニング力を向上させる。
- 海外のメディアを効果的に活用する力（メディア・リテラシー）を身につける。
- Web 上の教材を利用して独学できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

+++ オンライン「オンデマンド/資料・教材コンテンツ配付型」です。参照：【学生が準備すべき機器他】+++

リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。基本的にアップロード動画を配信し、課題を出す。前回の授業で提出された課題からいくつか良い回答を取り上げ、課題に対する解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	サンプル動画、サンプル課題
2	Ein Gericht nach Rezept kochen (1)	料理のレシピに関する表現
3	Ein Gericht nach Rezept kochen (2)	応用練習、課題
4	Karneval und Halloween (1)	祝祭の表現
5	Karneval und Halloween (2)	応用練習、課題
6	Am Flughafen (1)	交通に関する語彙
7	Am Flughafen (2)	応用練習、課題
8	Mein Mann hatte einen Unfall (1)	家の事故についての表現
9	Mein Mann hatte einen Unfall (2)	応用練習、課題
10	Über Musik sprechen (1)	音楽について話す
11	Über Musik sprechen (2)	応用練習、課題
12	Songtext lesen (1)	歌詞を読解する
13	Songtext lesen (2)	応用練習、課題
14	総復習	課題に対するフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準」〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト（初期）設定〕とするが、教室での学びとは違い、自分のペースで何度でも繰り返し学習を進めることができるため、「アクティブ」な自学自習の意欲が要件です。

【テキスト（教科書）】

教科書は使わない。

【参考書】

学習支援システム「Hoppii」を通じて指定する。

【成績評価の方法と基準】

課題提出（100 %）により評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

PDF 入力フォームで課題を提出するには普通のパソコンが必要。手書きの課題作成やスマホ写真による課題提出などは不可。

【Outline (in English)】

"German through short animation" as theme, the goal of this class is to use Youtube's free learning channel to learn natural German and at the same time to raise the attitude and awareness toward different cultures.

(Learning Objectives)

- Improving your reading and listening skills in German.
- Acquire basic knowledge about German audiovisual culture.
- Acquire the ability to effectively utilize overseas media (media literacy).

- You will be able to study by yourself using the teaching materials on the Web.

(Learning activities outside of classroom)

The standard for preparatory study and review time for this class is 1 hour in total.

(Grading Criteria /Policies)

Grading will be decided based on worksheets (100%).

LANd200LA

SDGs で学ぶドイツ語 I

2017 年度以降入学者

熊田 泰章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

※定員制（30 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界共通のアジェンダである＜SDGs＞を取り上げ、ドイツ語を学びながら、＜SDGs＞に関するドイツ語圏の現況を把握します。すでに学んだ初歩的なドイツ語を用いて、＜SDGs＞についてドイツ語で書かれた文章を読み、ドイツ語の文法的な知識を再確認するとともに、文章としてまとまったものを読む力と自分から発言する力を育てます。

現在の世界の出来事を、ドイツ語圏ではどのようにとらえ、どのように対処しているかについて、知識と理解を深めます。

【到達目標】

＜SDGs＞を取り扱う教材と資料を用いて、様々なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読む力を養成することができます。

文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。

それを通して、ドイツ語圏の現在について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

＜SDGs＞を取り扱う教材と資料を用いて、初級文法を確認しながら、「ドイツ語を学ぶ・ドイツ語で学ぶ」授業です。

教員が用意した＜SDGs＞を取り扱う教材と資料を、各回授業で少しずつ解きほぐしていきます。教材と資料に即して、基本的な文法事項を確認し、語彙や構文の復習を行いながら、受講者の理解度を高めていきます。毎回、あらかじめ教材と資料の範囲を決め、教員の説明と受講者の作業を行います。

理解の確認のためのワークシート、アクションペーパーを各回授業で適宜使います。必要に応じて小テストを行います。

履修希望者が 2022 年度の特別教室収容定員を考慮した数を超えた場合には、初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修を希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に学習支援システムを通して周知します。そのため、第 1 回はオンラインで行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション SDGs とは	授業のねらいと進め方、学習の仕方についてのガイダンス SDGs 概観
2	SDGs-Ziel 1:Armut in jeder Form und überall beenden 目標 1 貧困をなくそう	内容確認 文法の説明
3	SDGs-Ziel 2:Ernährung weltweit sichern 目標 2 飢餓をゼロに	内容確認 文法の説明

4	SDGs-Ziel 3: Gesundheit und Wohlergehen 目標 3 すべての人に健康と福祉を	内容確認 文法の説明	この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。
5	Ziel 4: Hochwertige Bildung weltweit 目標 4 質の高い教育をみんなに	内容確認 文法の説明	【学生の意見等からの気づき】 学生の要望に応じて、文法事項をわかりやすく説明する。
6	Ziel 5: Gleichstellung von Frauen und Männern 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう	内容確認 文法の説明	【学生が準備すべき機器他】 独和辞書を必ず持参してください。
7	Ziel 6: Ausreichend Wasser in bester Qualität 目標 6 安全な水とトイレを世界中に	内容確認 文法の説明	【その他の重要事項】 学習支援システムを活用します。 秋学期の「SDGs で学ぶドイツ語Ⅱ」と合わせて履修してください。
8	Ziel 7: Bezahlbare und saubere Energie 目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	内容確認 文法の説明	【Outline (in English)】 【Course outline】 German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program. This course provides advanced German sentences and expressions of its current news and topics including politics, economy, arts and so on through reading of the articles and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.
9	Ziel 8: Nachhaltig wirtschaften als Chance für alle 目標 8 働きがいも経済成長も	内容確認 文法の説明	【Learning Objectives】 At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of German language and to understand current problems in society.
10	Ziel 9: Industrie, Innovation und Infrastruktur 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	内容確認 文法の説明	【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
11	Ziel 10: Weniger Ungleichheiten 目標 10 人や国の不平等をなくそう	内容確認 文法の説明	【Grading Criteria /Policy】 Final grade will be calculated according to contribution in each class meeting(30%), short tests(30%) and term-end examination (40%)
12	Ziel 11: Nachhaltige Städte und Gemeinden 目標 11 住み続けられるまちづくりを	内容確認 文法の説明	
13	Ziel 12: Nachhaltig produzieren und konsumieren 目標 12 つくる責任つかう責任	内容確認 文法の説明	
14	まとめ	これまでのまとめと振り返り 最終試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の教材と資料を、各人が事前に読み、予習を行って授業に参加する。

SDGs に関するニュース解説などを読む。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教材と資料を学習支援システムで配布します。

【参考書】

Jens Martens und Bodo Ellmers : Agenda 2030: Wo steht die Welt? 5 Jahre SDGs – eine Zwischenbilanz. Global Policy Forum(Bonn), 2020

https://www.2030agenda.de/sites/default/files/2030/zwischenbilanz/Agenda_2030_Zwischenbilanz_online-2.pdf

Hauff, Michael : Nachhaltige Entwicklung. Grundlagen und Umsetzung. De Gruyter(Oldenburg), 3. Aufl. 2021

【成績評価の方法と基準】

授業の積極的な参加と貢献 30 %、小テスト 30 %、学期末試験 40 %。

LANd200LA

SDGs で学ぶドイツ語Ⅱ

2017 年度以降入学者

熊田 泰章

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界共通のアジェンダである＜SDGs＞を取り上げ、ドイツ語を学びながら、＜SDGs＞に関するドイツ語圏の現況を把握します。すでに学んだ初歩的なドイツ語を用いて、＜SDGs＞についてドイツ語で書かれた文章を読み、ドイツ語の文法的な知識を再確認するとともに、文章としてまとまったものを読む力と自分から発言する力を育てます。

現在の世界の出来事を、ドイツ語圏ではどのようにとらえ、どのように対処しているのかについて、知識と理解を深めます。

【到達目標】

＜SDGs＞を取り扱う教材と資料を用いて、様々なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読む力を養成することができます。

文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。

それを通して、ドイツ語圏の現在について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

＜SDGs＞を取り扱う教材と資料を用いて、初級文法を確認しながら、「ドイツ語を学ぶ・ドイツ語で学ぶ」授業です。

教員が用意した＜SDGs＞を取り扱う教材と資料を、各回授業で少しずつ解きほぐしていきます。教材と資料に即して、基本的な文法事項を確認し、語彙や構文の復習を行いながら、受講者の理解度を高めていきます。毎回、あらかじめ教材と資料の範囲を決め、教員の説明と受講者の作業を行います。

理解の確認のためのワークシート、アクションペーパーを各回授業で適宜使います。必要に応じて小テストを行います。

履修希望者が 2022 年度の特別教室収容定員を考慮した数を超えた場合には、初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修を希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に学習支援システムを通して周知します。そのため、第 1 回はオンラインで行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション SDGs とは	授業のねらいと進め方、学習の仕方についてのガイダンス SDGs 概観 目標 1～12 の振り返り
2	SDGs-Ziel 13: Weltweit Klimaschutz umsetzen 目標 13 気候変動に具体的な対策を	内容確認 文法の説明

3	SDGs-Ziel14: Leben unter Wasser schützen 目標 14 海の豊かさを守ろう	内容確認 文法の説明
4	SDGs-Ziel 15: Leben an Land 目標 15 陸の豊かさを守ろう	内容確認 文法の説明
5	Ziel 16: Starke und transparente Institutionen fördern 目標 16 平和と公正をすべての人に	内容確認 文法の説明
6	Ziel 17: Globale Partnerschaft 目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう	内容確認 文法の説明
7	オーストリアの SDGs ①	内容確認 文法の説明
8	オーストリアの SDGs ②	内容確認 文法の説明
9	オーストリアの SDGs ③	内容確認 文法の説明
10	スイスの SDGs ①	内容確認 文法の説明
11	スイスの SDGs ②	内容確認 文法の説明
12	スイスの SDGs ③	内容確認 文法の説明
13	大学の SDGs	内容確認 文法の説明
14	まとめ	これまでのまとめと振り返り 最終試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の教材と資料を、各人が事前に読み、予習を行って授業に参加する。

SDGs に関するニュース解説などを読む。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教材と資料を学習支援システムで配布します。

【参考書】

Jens Martens und Bodo Ellmers : Agenda 2030: Wo steht die Welt? 5 Jahre SDGs – eine Zwischenbilanz. Global Policy Forum(Bonn), 2020

https://www.2030agenda.de/sites/default/files/2030/zwischenbilanz/Agenda_2030_Zwischenbilanz_online-2.pdf

Hauff, Michael : Nachhaltige Entwicklung. Grundlagen und Umsetzung. De Gruyter(Oldenburg), 3. Aufl. 2021

【成績評価の方法と基準】

授業の積極的な参加と貢献 30 %、小テスト 30 %、学期末試験 40 %。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生の要望に応じて、文法事項をわかりやすく説明する。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

学習支援システムを活用します。

春学期の「SDGs で学ぶドイツ語Ⅰ」と合わせて履修してください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.

This course provides advanced German sentences and expressions of its current news and topics including politics, economy, arts and so on through reading of the articles and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of German language and to understand current problems in society.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to contribution in each class meeting(30%), short tests(30%) and term-end examination (40%)

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1 つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1 回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2 回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	発音の原則	アルファベットと発音の基本。数字の練習。
2	第 1 課 動詞の現在 人称変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	第 1 課 動詞の現在 人称変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
4	第 2 課 名詞の性と 数と格/冠詞類/人称代 名詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	第 2 課 名詞の性と 数と格/冠詞類/人称代 名詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
6	第 3 課 動詞の不規則 変化/命令形	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	第 3 課 動詞の不規則 変化/命令形	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
8	第 4 課 冠詞類/時刻 の表現	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	第 4 課 冠詞類/時刻 の表現	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
10	第 5 課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	第 5 課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
12	第 6 課 形容詞の格 変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	第 6 課 形容詞の格 変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
14	試験、まとめと解説	春学期のまとめと試験をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法説明を読み、疑問点を整理しておくこと。
復習は文法に関する問題を解答し提出すること。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。毎回プリントを配布するので、これをテキストと同等のものと考えること。

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢 40 %（主に出席と発音の習熟度で評価する）、数回の文法理解の小テストの平均 60 %。

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器を用意しておいてください。

【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

※定員制（30 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1 つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1 回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2 回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	話法の助動詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
2	話法の助動詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	分離・非分離動詞 I / 接続詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
4	分離・非分離動詞 II / 接続詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	再帰代名詞・再帰動詞/zu 不定詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
6	再帰代名詞・再帰動詞/zu 不定詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	動詞の 3 基本形/過去形・現在完了形 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
8	動詞の 3 基本形/過去形・現在完了形 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	受動態/比較表現 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
10	受動態/比較表現 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	関係代名詞/関係副詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
12	関係代名詞/関係副詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	接続法	会話文の解説と文法説明。練習問題。
14	試験、まとめと解説	秋学期のまとめ都市圏をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

その週の授業で学んだ表現を繰り返し発音して、暗記すること。

【テキスト（教科書）】

プリントをテキストとして配布する

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢 40 %（主に出席と練習問題への取り組み、発音の習熟度で評価する）、文法理解度チェックのための小テストの平均 60 %。

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったとこのために、パソコン、または、モバイル機器の用意をお願いします。

【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

ARSA200LA

ドイツ語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

※定員制（60 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。（履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。）

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	オリエンテーション	授業の概説 発表の内容の取り決め
2.	ドイツ語圏の世界 1	地理, 言語, その他
3.	ドイツ語圏の世界 2	プレゼンテーション
4.	文学	ドイツ文学と言えばゲーテ？ 映画：ゲーテの恋 ～君に捧ぐ「若きウェルテルの悩み」 Goethe! (2010) ディスカッション
5.	オーストリアと日本	Sissi とミュージカル「エリザベート」
6.	スイスと日本	映画：ハイジ アルプスの物語 Heidi (2015)
7.	スイスと日本	ハイジ in Japan プレゼンテーション
8.	戦争映画 1	第一次世界大戦 西部戦線異状なし (1930) 戦場のアリア (2005) ディスカッション
9.	ドイツと日本	ベートーヴェンの「第九」 プレゼンテーション 映画：バルトの楽園 (2006)

10. 戦争映画 2 第二次世界大戦
プレゼンテーション
ディスカッション
11. 映画の中のヒトラー ヒトラーと女性
ドキュメンタリー映画 レニ
Die Macht der Bilder: Leni
Riefenstahl 1993
12. 戦後直後のドイツ社会 第二次世界大戦直後の東西ドイツ
13. 50 年代のドイツ社会 サッカーを通して見る戦後ドイツ
社会
映画：ベルンの奇跡
Das Wunder von Bern
(2003)
14. プレゼンテーション ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・文献を事前に読む。（資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語）

・映画鑑賞

・自分担当のプレゼンテーションの準備とレジュメ作成
本授業の準備学習・復習時間は、計 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストを配布

【参考書】

・森井 裕一（著、編）『ドイツの歴史を知るための 50 章』（エリア・スタディーズ

151）

・宮田真治・畠山寛・濱中春（編著）『ドイツ文化 55 のキーワード』

・新野守広・飯田道子・梅田紅子（編）『知ってほしい国 ドイツ』

・スイス文学研究会（編）『スイスを知るための 60 章』（エリア・スタディーズ 128）

・広瀬 佳一編著、今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための 57 章

【第 2 版】（エリア・スタディーズ 19）

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

Zoom で接続可能なデバイス（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。

ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read reference material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSA200LA

ドイツ語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

※定員制（60 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。（履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。）

【到達目標】

・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。

・各時代の思想的・文化的背景を理解する。

・映画の解釈方法を身につける。

・異文化理解能力を高める。

・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。

・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができる（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	60 年代の東西ドイツ	ベルリンの壁ができるまで 映画：トンネル Der Tunnel (2001)
2.	70 年代の西ドイツ	極左のテロリズム バーダー・マインホフ/理想の果てに Der Baader Meinhof Komplex (2008)
3.	東ドイツ	東ドイツの秘密警察 (Stasi) 映画： 善き人のためのソナタ Das Leben der Anderen (2006) グンダーマン 優しき裏切り者の 歌 Gundermann (2018)
4.	ドイツ統一	ベルリンの壁崩壊 映画：グッバイ、レーニン！ Good Bye Lenin (2003)
5.	ドイツ統一	プレゼンテーション ディスカッション
6.	青春	児童文学の映画化

7.	青春	映画：50 年後のボクたちは Tschick (2016) プレゼンテーション ディスカッション
8.	ヒトラーについて笑っていいのか？	ヒトラーについて笑っていいのか？ 映画：帰ってきたヒトラー Er ist wieder da! (2015) プレゼンテーション ディスカッション
9.	ドイツ極右組織	ドイツ極右組織 NSU 映画：女は二度決断する Aus dem Nichts (2017)
10.	ドイツ極右組織	プレゼンテーション ディスカッション 映画鑑賞
11.	ドイツ以外のドイツ語圏の映画	スイス映画・オーストリア映画と映画祭
12.	移民国ドイツ	難民問題
13.	移民国ドイツ	映画：初めてのおもてなし Willkommen bei Hartmanns (2016) プレゼンテーション ディスカッション
14.	まとめ	プレゼンテーション ディスカッション 映画鑑賞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・文献を事前に読む（資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語）

・映画鑑賞

本授業の準備学習・復習時間は、計 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストを配布

【参考書】

・森井裕一（著，編集）『ドイツの歴史を知るための 50 章』（エリア・スタディーズ 151）

・宮田真治・畠山寛・濱中春（編著）『ドイツ文化 55 のキーワード』

・新野守広・飯田道子・梅田紅子（編）『知ってほしい国 ドイツ』

・スイス文学研究会（編）『スイスを知るための 60 章』（エリア・スタディーズ

128）

・広瀬 佳一編著，今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための 57 章

【第 2 版】（エリア・スタディーズ 19

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ： 50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー： 50%

【学生の意見等からの気づき】

特にありません

【学生が準備すべき機器他】

Zoom で接続可能なデバイス（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません。

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。

ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSa200LA

ドイツの文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

上田 知夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「ドイツ」と聞いて思い浮かべるイメージはなんですか。ドイツについて全く知らない人でもいくつかのキーワードが思い浮かぶのではないのでしょうか。

この授業ではそのようなすぐ気がつくキーワードから、ちょっと通なキーワードを集めて、それらがドイツ語圏の社会で果たす役割について少しだけ深く考えて見ることにしたいと思います。ドイツ語の学習は前提しませんし、ドイツ語の文献を扱うこともありません。

【到達目標】

この授業では、ドイツ語圏の様々なキーワードの背後にある、社会や歴史的要素について理解することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を行います。しかし毎回のテーマについて皆さんが知っていることを積極的に伺いますので、対話に参加して下さることを期待します。コロナの状況が許せば、グループワークなどもやってみたいと思います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	ドイツとドイツ語圏について。
第 2 回	ドイツ語の歴史	ドイツ語の歴史について。
第 3 回	ドイツ語の地域性	さまざまな地域のドイツ語について。
第 4 回	ビールの現状	ドイツのビールの現状について。
第 5 回	ビールの歴史	ドイツ語圏のビールの歴史について。
第 6 回	サッカー	ローカルパトリオリズムおよびナショナリズムについて。
第 7 回	ハイジのおんじ	スイスの歴史と傭兵輸出について。
第 8 回	ハイジの旅	スイスの鉄道網の発展と観光について。
第 9 回	アウトバーン	ドイツの自動車交通について。
第 10 回	ドイツの自動車産業	ドイツの工業化と自動車産業の展開について。
第 11 回	ドイツの教育制度	マイスターを生むドイツの教育制度について。
第 12 回	ドネルケバブ	ドイツの都市とそこにやってきた移民 (およびその子孫) たちについて。
第 13 回	休暇	ドイツの戦後復興と休暇について。

第 14 回 まとめ

これまでの話題について振り返り、期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

予習：次回のキーワードについて思いつくことをいくつか考えてから教室に来てください。

復習：レジュメを読み返してください。特に、レポートを書こうと思うテーマの回については、オフィスアワーを積極的に利用して教員と相談の上、参考文献を図書館で探してみてください。

【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

【参考書】

毎回異なる参考文献を参照するので、授業ごとに指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業のリアクションペーパー：40%

授業への積極的参加：10%

期末レポート：50%

【学生の意見等からの気づき】

個々のキーワードをなるべく有機的につなげるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと (なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします)。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。

毎回最初の 10 分ほどでブレインストーミングを行い、最後の 10 分ほどで議論を行うので、積極的に参加してください。

【Outline (in English)】

【Learning Objectives】

This lecture aims to get some basic understanding of German-speaking countries.

【Course outline】

This lecture is organized according to keywords that tend to be associated with these countries.

This lecture does not presuppose any knowledge of the German language.

【Learning activities outside of classroom】

This course presupposes 2 hours of learning activities outside of the classroom.

Before the course: think about images you associate with the keyword of the next session.

After the course: review the handouts and answer the assignments.

【Grading Criteria / Policy】

Reaction papers : 40%

Active participation : 10%

Term paper : 50%

ARSa200LA

ドイツの文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

上田 知夫

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 2/Wed.2

単位数: 2 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業ではドイツの文化と社会の関係を社会についての思想を手がかりに捉えることを目的にします。

その際に、ドイツ語圏の思想が、

1. さまざまな歴史的社会的な事情との関連で展開してきたこと、および、
 2. 実際には 1 つの言語圏を超えて広がっていくということを理解したいと思います。
- なお、この授業は日本語で行います。ドイツ語力は一切前提しません。

【到達目標】

- この授業を通じて、
- ・ 20 世紀から 21 世紀のドイツの社会問題についての概観を得ることができます
 - ・ ドイツの社会思想について概観を得ることができます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業の中心部分は講義形式ですが、最後の 10 分程度全体でディスカッションしたいと思います。また毎回リアクションペーパーの提出を求めます。

また適宜、参加者に発言を求めることがあります。積極的な発言が、平常点の加算要因です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入: ドイツ語圏の	ドイツ語圏の 20 世紀について、20 世紀の歴史の概観
第 2 回	ワイマール共和国とフランクフルト学派	高校世界史の復習をします。フランクフルト学派の第 1 世代の研究の背景を大戦間期のドイツの政治状況と関連付けます。
第 3 回	ナチスの台頭とフランクフルト学派	1933 年以降のドイツの政治状況を概観し、それがドイツの大学に与えた影響を考察します。
第 4 回	19 世紀から 20 世紀にかけてのウィーンの文化	ウィーン学団を生んだオーストリアおよびウィーンの歴史を概観します。
第 5 回	ウィーン学団	ウィーンの歴史を文化の側面から見たときのウィーン学団の位置について概観します。
第 6 回	亡命知識人の哲学 1: アメリカのフランクフルト学派	ナチスの台頭に伴い、多くの哲学者が亡命しました。アメリカ東部の亡命知識人の状況とその思想的展開を追います。
第 7 回	亡命知識人の哲学 1: アメリカのフランクフルト学派	フランクフルト学派が西部に移動したことを概観し、カルフォルニア地域の亡命知識人の状況について概観します。

第 8 回	亡命知識人の哲学 2: 英語圏の科学哲学	ウィーン学団の哲学者たちの亡命とその後の英語圏の哲学に与えた影響について概観します。
第 9 回	亡命知識人の哲学 2: 英語圏の科学哲学	ウィーンから渡米した哲学者たちが、アメリカに定住していく様子を概観します。
第 10 回	戦後のフランクフルト学派	第 2 次世界対戦後のドイツの学問状況を哲学者たちを事例に概観します。
第 11 回	68 年世代の哲学	ドイツの学生運動が隆盛を迎えた 1968 年代当時の哲学的状況を概観します。
第 12 回	歴史家論争	第 2 次世界大戦戦後のドイツが、第 2 次世界大戦をどのように振り返ってきたかについて歴史家論争を手がかりに概観します。
第 13 回	ナチス期にドイツに残った哲学者たち	亡命した研究者の残した空席を埋めた研究者について概観し、彼らの第 2 次世界大戦後を確認します。
第 14 回	まとめ	これまでの議論をまとめ、レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
この授業では復習を中心に学習してください。とりわけ興味を持った主題についてのレポートの準備を入念に行うことを求めたいと思います。そのためのオフィスアワーの積極的利用も推奨します。

【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。適宜、レジュメを配布します。

【参考書】

毎回異なる参考書を利用しますので、スライドでそれらを指示します。レポートを執筆しようと思う回については、それらを一読することをお勧めします。

【成績評価の方法と基準】

授業の際に提出するリアクションペーパー: 50%

レポート: 50%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の学生の要望により、ウィーンやフランクフルトの都市の歴史を少し多めに授業しようと思います。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと (なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします)。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。ただし、春学期で学んだことは絶対に無駄になりませんので、春学期に履修した方の積極的な参加を期待します。

【Outline (in English)】

【Learning Objectives】

The theme of this lecture is the relationship between philosophical thoughts and their roles in society, especially, in German society.

【Learning activities outside of classroom】

This course presupposes 2 hours of learning activities outside of the classroom.

After the course: review the handouts and answer the assignments.

【Grading Criteria /Policy】

Reaction papers : 50%

Term paper : 50%

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の文法をマスターし、発音やコミュニケーション力を高めること。

【到達目標】

平易なフランス語で書かれた文章を読むことを通して、フランス語の語彙を獲得し、それを使って表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う（しかし、感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する）。教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に把握できるように単語テストと小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 一年生の復習	授業方針を説明 基本的なフランス語の決まり事を確認
第 2 回	第 1 課	複合過去
第 3 回	第 1 課	テキスト講読
第 4 回	第 2 課	人称代名詞
第 5 回	第 2 課	テキスト講読
第 6 回	第 1 回小テスト	ここまでの復習
第 7 回	第 3 課	代名動詞
第 8 回	第 3 課	テキスト講読
第 9 回	第 4 課	中性代名詞
第 10 回	第 4 課	テキスト講読
第 11 回	第 5 課	直接法単純未来
第 12 回	第 2 回小テスト 第 5 課	これまでの復習 テキスト講読
第 13 回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験	まとめの試験とその解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『Vraiment ? 』Liliane LATTANZIO, 澤田直著、三修社。

【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』久松健一著、駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 4/Thu.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語の文法をマスターし、発音やコミュニケーション力を高めること。

【到達目標】

平易なフランス語で書かれた文章を読むことを通して、フランス語の語彙を獲得し、それを使って表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う (しかし、感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する)。教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に把握できるように単語テストと小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課	直接法単純未来 命令法
第 2 回	第 6 課	テキスト講読
第 3 回	第 7 課	大過去 条件法
第 4 回	第 7 課	テキスト講読
第 5 回	第 8 課	さまざまな疑問文
第 6 回	第 1 回小テスト	ここまでの復習
第 7 回	第 8 課	テキスト講読
第 8 回	第 9 課	現在分詞 ジェロンディフ
第 9 回	第 9 課	テキスト講読
第 10 回	第 10 課	接続法
第 11 回	第 10 課	テキスト講読
第 12 回	第 2 回小テスト	これまでの復習
第 13 回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験	まとめの試験を行い、その解説をする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『Vraiment?』Liliane LATTANZIO, 澤田直著、三修社。

【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』久松健一著、駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

武田 昭彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス文学作品講読とフランス語基本文法の復習を行う。

【到達目標】

この授業を学ぶことによって、フランス語の文学作品が読めるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

基本文法を復習しながら、テキストを読み、練習問題を行う。

基本的に質問等は授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクションと第 1 課	勉強の仕方の説明と序文の講読。
第 2 回	第 1 課	テキスト講読と直説法複合過去の確認、テキスト講読と練習問題。
第 3 回	第 1 課	テキスト講読と練習問題。
第 4 回	第 2 課	テキスト講読と半過去と複合過去。
第 5 回	第 2 課	テキスト講読と練習問題。
第 6 回	第 3 課	テキスト講読と大過去と単純過去。
第 7 回	第 3 課	テキスト講読と練習問題。
第 8 回	第 4 課	テキスト講読と指示代名詞、単純未来。
第 9 回	第 4 課	テキスト講読と練習問題。
第 10 回	第 5 課	テキスト講読と条件法。
第 11 回	第 5 課	テキスト講読と中性代名詞。
第 12 回	第 5 課	テキスト講読と練習問題。
第 13 回	予備	期末試験の予想練習問題。
第 14 回	期末試験	まとめの問題。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、下読み、復習等、あわせて 2 時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『星の王子さまの教科書』（藤田尊潮著、武蔵野美術大学出版局）

【参考書】

『フランス語ハンドブック』（白水社）

【成績評価の方法と基準】

期末試験（70 %）と平常点（30 %）とで総合成績評価し、合格点は 60 点以上である。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This course is reading a French literature and reviewing a basic French grammar.

You are able to read a French literature by learning this course.

Your study time will be more than two hours for a class.

final grade will be calculated according to the following process term-end examination (70%) and in class contribution (30%).

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

武田 昭彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

仏文学作品の講読と仏語基本文法の復習。

【到達目標】

この授業を学ぶことによって、フランス語の文学作品が読めるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストをみなで講読し、基本文法の確認と練習問題を行う。

基本的に質問等は授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課	テキスト講読と接続法，所有代名詞。
第 2 回	第 6 課	テキスト講読と練習問題。
第 3 回	第 7 課	テキスト講読と現在分詞とジェロンディフ。
第 4 回	第 7 課	テキスト講読と練習問題。
第 5 回	第 8 課	テキストの講読と接続法大過去，命令法。
第 6 回	第 8 課	テキスト講読と練習問題。
第 7 回	第 9 課	テキスト講読と前未来，直接話法と間接話法。
第 8 回	第 9 課	テキスト講読と疑問詞。
第 9 回	第 9 課	テキスト講読と前過去と関係代名詞。
第 10 回	第 10 課	テキスト講読と前過去，疑問代名詞。
第 11 回	第 10 課	テキスト講読と関係代名詞。
第 12 回	第 10 課	テキスト講読と練習問題。
第 13 回	あとがき	テキスト講読。
第 14 回	期末試験	まとめの問題。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は，下読み，復習等，あわせて 2 時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『星の王子さまの教科書』（藤田尊潮著，武蔵野美術大学出版局）

【参考書】

『フランス語ハンドブック』（白水社）

【成績評価の方法と基準】

期末試験（70 %）と平常点（30 %）とで総合成績評価し，合格点は 60 点以上である。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This course is reading a French literature and reviewing a basic French grammar.

You are able to read a French literature by learning this course.

Your study time will be more than two hours for a class.

final grade will be calculated according to the following process term-end examination (70%) and in class contribution (30%).

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「フランス語 1」で学んだ文法事項を復習しながら、時事問題の記事を読む講読の授業です。昨年度にはまだ学習していない受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法、接続法なども習得してフランス語で書かれた文章を辞書さえあれば読めるようになります。

【到達目標】

初見のフランス語でも正しく発音ができ、辞書で単語の意味を調べれば内容を理解することができるレベルを目指します。フランス語検定 4 級程度の文法の知識も復習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

最初の 3 回の授業では、昨年度の教科書の続き「受動態、現在分詞・ジェロンディフ」「条件法現在」「接続法現在」を学びます。そのあと講読で使うテキストは、1 回の授業で 1 レッスンずつ進みます。まず音読練習をして、それから日本語に訳してみます。訳をつけるのに必要な文法事項を復習し、新しい語彙や言い回しも学習します。読んだ内容を発展させてより詳しく調べた結果を、毎回 1～2 名ずつパワーポイント等により発表してもらいそれについてグループディスカッションを行います。音読パートは出版社のサイトにある音声教材であらかじめ練習をして、授業では確認をしながら声に出してみましょう。教科書を 3 章読んだら、4 回目は簡単な文章で書かれたフランス語の実際の新聞記事を使って進捗を確認します。フランス語検定の過去問題でも実力を確認しましょう。音読・日本語訳は一人ずつで行いますが、ディスカッションは 4～5 名のグループで行います。質問のやり取りや発表を終えた掲示資料の提出は、初回の授業でお伝えするメールアドレスをお願いします。

In the first three classes, students will learn the following textbooks of last year: Passive, Present Participle and Jerondif, Subjunctif mood, and Conjonctif mood. After that, we will learn one lesson at a time in one class using a text for reading. First of all, let's practice reading aloud, and then translate it into Japanese. You will review the grammar necessary to translate and learn new vocabulary and phrasings. Each time, one or two students will do a presentation by PowerPoint in class, and a group discussion will be held about the results of further investigation by developing the contents read. Practice the aloud part in advance with the audio teaching materials on the publisher's website, and let's speak out while checking in class. After reading three chapters of the textbook, the fourth time we will check our progress using the actual French newspaper article written in a simple sentence. Check your skills also in past French test questions. Reading aloud and translating in Japanese are conducted by one person, but discussions are held in groups of 4 to 5 people. Please submit the posted materials after exchanging questions and presenting questions at the e-mail address you will be shown in the first class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	授業のデモ、仏検 4 級過去問	復習、導入
2 回目	Leçon19 受動態、現在分詞とジェロンディフ	受動態、現在分詞、ジェロンディフ
3 回目	Leçon20 条件法現在	条件法現在
4 回目	Leçon21 接続法現在	接続法現在
5 回目	1. 復活祭の卵	半過去、複合過去
6 回目	2. ニューカレドニア	関係代名詞
7 回目	3. ローラン・ギャロス	人称代名詞、中性代名詞 le
8 回目	新聞記事、仏検過去問など	実力確認、復習
9 回目	4.5 月 1 日のスズラン	中性代名詞 en、人称代名詞 (物)
10 回目	5. マリでの人質解放	中性代名詞 y、受動態
11 回目	6. カンヌ映画祭	現在分詞・ジェロンディフ
12 回目	新聞記事、仏検過去問など	実力確認、復習
13 回目	7. 気候温暖化	接続法現在・過去
14 回目	まとめと期末試験	試験または課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書出版社のサイトにある音声を使って、授業までに発音を練習しておきましょう。単語の意味を調べて、内容がきちんと伝わる訳を準備しておきましょう。指名された担当者は、テーマから発展させて調べた結果を次回プレゼン形式で発表できるように準備しましょう。

【テキスト（教科書）】

『アンフォ vol.6』井上美穂、Florence Yoko SUDRE 著（駿河台出版社）

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

授業中の音読・和訳・プレゼンなどの平常点 30%、期末試験または課題 70% で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業を進める速度は、ようすを見て調整します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和の辞書が必要です。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a reading class for articles on current affairs written in French. Learn the passive voice, present participle and gerondif, conditional mood, and subjunctive mood that you haven't learned last year so that you can read actual sentences written in French with a dictionary.

【Learning Objectives】 We aim to be able to pronounce correctly in French even at first sight, and to be able to understand the contents by examining the meaning of words in a dictionary. We will also review the knowledge of grammar of level 4 of the French test.

【Learning activities outside of classroom】 Preparation study and review time is set to be 1 hour in total. Practice pronunciation by the time using the audio on the textbook publisher's website. Let's examine the meaning of the word and prepare the translation that the content will be transmitted properly in class. The nominated student should be prepared to develop from the theme and present the results of the research for the next presentation format.

【Grading Criteria /Policy】 Comprehensive evaluation of 30% of normal points such as reading aloud, Japanese translation, presentation, etc. in class and 70% for final exams or assignments will be given.

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「フランス語 1」で学んだ文法事項を復習しながら、時事問題の記事を読む講読の授業です。昨年度にはまだ学習していない受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法、接続法なども習得してフランス語で書かれた文章を辞書さえあれば読めるようになります。

【到達目標】

初見のフランス語でも正しく発音ができ、辞書で単語の意味を調べれば内容を理解することができるレベルを目指します。フランス語検定 4 級程度の文法の知識も復習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

まず音読練習をして、それから日本語に訳してみよう。訳をつけるのに必要な文法事項を復習し、新しい語彙や言い回しも学習します。読んだ内容を発展させてより詳しく調べた結果を、毎回 1~2 名ずつパワーポイント等により発表してもらいそれについてグループディスカッションを行います。音読パートは出版社のサイトにある音声教材であらかじめ練習をして、授業では確認をしながら声に出してみよう。教科書を 3 章読んだら、4 回目は簡単な文章で書かれたフランス語の実際の新聞記事を使って進捗を確認します。フランス語検定の過去問題でも実力を確認しましょう。音読・日本語訳は一人ずつで行いますが、ディスカッションは 4~5 名のグループで行います。

In the first three classes, students will learn the following textbooks of last year: Passive, Present Participle and Jerondif, Subjunctive mood, and Conjonctif mood. After that, we will learn one lesson at a time in one class using a text for reading. First of all, let's practice reading aloud, and then translate it into Japanese. You will review the grammar necessary to translate and learn new vocabulary and phrasings. Each time, one or two students will do a presentation by PowerPoint in class, and a group discussion will be held about the results of further investigation by developing the contents read. Practice the aloud part in advance with the audio teaching materials on the publisher's website, and let's speak out while checking in class. After reading three chapters of the textbook, the fourth time we will check our progress using the actual French newspaper article written in a simple sentence. Check your skills also in past French test questions. Reading aloud and translating in Japanese are conducted by one person, but discussions are held in groups of 4 to 5 people. Please submit the posted materials after exchanging questions and presenting questions at the e-mail address you will be shown in the first class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	8. ボンボン	条件法現在
2 回目	9. イギリスが持つ漁業権	大過去、条件法過去
3 回目	10. 食品ロスとの闘い	単純未来、近接未来、前未来

4 回目	新聞記事、仏検過去問 など	実力確認、復習
5 回目	11. カタルーニャ	指示代名詞
6 回目	12. 諸聖人の大祝日	前置詞 + lequel、前置詞 + qui
7 回目	13. トリュフ	間接話法 (平叙文)
8 回目	新聞記事、仏検過去問 など	実力確認、復習
9 回目	14. 心のレストラン	間接話法 (疑問文・命令文)
10 回目	15. クリスマスマーケット	代名詞の語順
11 回目	16. 新型コロナウイルス	過去分詞の一致
12 回目	新聞記事、仏検過去問 など	実力確認、復習
13 回目	新聞記事、仏検過去問 など	実力確認、復習
14 回目	まとめと期末試験	試験または課題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書出版社のサイトにある音声を使って、授業までに発音を練習しておきましょう。単語の意味を調べて、内容がきちんと伝わる訳を準備しておきましょう。指名された担当者は、テーマから発展させて調べた結果を次回プレゼン形式で発表できるように準備しましょう。

【テキスト (教科書)】

『アンフォ vol.6』井上美穂、Florence Yoko SUDRE 著 (駿河台出版社)

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

授業中の音読・和訳・プレゼンなどの平常点 30%、期末試験または課題 70% で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業を進める速度は、ようすを見て調整します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和の辞書が必要です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This is a reading class for articles on current affairs written in French. Learn the passive voice, present participle and gerondif, conditional mood, and subjunctif mood that you haven't learned last year so that you can read actual sentences written in French with a dictionary.

【Learning Objectives】 We aim to be able to pronounce correctly in French even at first sight, and to be able to understand the contents by examining the meaning of words in a dictionary. We will also review the knowledge of grammar of level 4 of the French test.

【Learning activities outside of classroom】 Preparation study and review time is set to be 1 hour in total. Practice pronunciation by the time using the audio on the textbook publisher's website. Let's examine the meaning of the word and prepare the translation that the content will be transmitted properly in class. The nominated student should be prepared to develop from the theme and present the results of the research for the next presentation format.

【Grading Criteria /Policy】 Comprehensive evaluation of 30% of normal points such as reading aloud, Japanese translation, presentation, etc. in class and 70% for final exams or assignments will be given.

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。しかしその前に、基本文法の未習箇所を勉強しましょう。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検 3 級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

最初の 5 回は文法の未習箇所を勉強します（昨年の文法の教科書を持参してください）。それぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。6 回目からは講読の授業です。指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション。	授業の進め方。文法の復習。
	文法（1）。	
第 2 回	文法（2）。	半過去。
第 3 回	文法（3）。	条件法現在。
第 4 回	文法（4）。	現在分詞とジェロンディフ。
第 5 回	文法（5）。	接続法現在。
第 6 回	講読（1）。	教科書第 1 課。
第 7 回	講読（2）。	教科書第 1 課。
第 8 回	講読（3）。	教科書第 2 課。
第 9 回	講読（4）。	教科書第 2 課。
第 10 回	講読（5）。	教科書第 3 課。
第 11 回	講読（6）。	教科書第 3 課。
第 12 回	講読（7）。	教科書第 4 課。
第 13 回	講読（8）。	教科書第 4 課。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

あらかじめ発表者を指名しますので、指名された学生は必ず準備してくる。それ以外の学生も、最低、単語の意味だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「ボンジュール・フランス」（最初の 5 回）。

「アンフォ vol.6 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

出席と授業中の発言 50 %、期末試験 50 % で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

テキストを新しいものに代えました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEIC のスコアも 975 点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short reports : 25%, in class contribution: 25 %

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検 3 級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テキストを読み進めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講読 (1)。	テキスト第 5 課 (前半) を読む。
第 2 回	講読 (2)。	テキスト第 5 課 (後半) を読む。
第 3 回	講読 (3)。	テキスト第 6 課 (前半) を読む。
第 4 回	講読 (4)。	テキスト第 6 課 (後半) を読む。
第 5 回	講読 (5)。	テキスト第 7 課 (前半) を読む。
第 6 回	講読 (6)。	テキスト第 7 課 (後半) を読む。
第 7 回	講読 (7)。	テキスト第 8 課を読む。
第 8 回	講読 (8)。	テキスト第 9 課を読む。
第 9 回	講読 (9)。	テキスト第 10 課を読む。
第 10 回	講読 (10)。	テキスト第 11 課を読む。
第 11 回	講読 (11)。	テキスト第 12 課を読む。
第 12 回	講読 (12)。	テキスト第 13 課を読む。
第 13 回	講読 (13)。	テキスト第 14 課を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.6 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

出席と授業中の発言 50 %、期末試験 50 %で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

テキストを新しいものに代えました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドヴァイスができます。また、TOEIC スコアも「975 点」を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short reports : 25%、in class contribution: 25 %

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1 年次に終了した文法事項等の確認
第 2 回	1 課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第 3 回	1 課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第 4 回	2 課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞 qui, que
第 5 回	2 課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第 6 回 3 課
ベルシー・ヴィラー
ジュを訪れる

会話実践
会話文の音読と和訳
文法の復習
関係代名詞 dont, où
文法の練習問題
文章読解

第 7 回 3 課
ベルシー・ヴィラー
ジュ

第 8 回 4 課
ルイ・ヴィトン財団美術館を訪れる

会話文の音読と和訳
文法の復習
疑問代名詞

第 9 回 4 課
ルイ・ヴィトン財団美術館

文法の練習問題
文章読解

第 10 回 5 課
電話をかける

会話実践
会話文の音読と和訳
文法の復習
条件法

第 11 回 5 課 フランスの電話事情

文法の練習問題
文章読解

第 12 回 仏検 4 級をめざして 1

会話実践
文章読解

第 13 回 仏検 4 級をめざして 2

仏検 4 級の練習問題を解く

第 14 回 試験と総括

まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワイヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %
期末試験の成績 (60%) により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力 (会話力)、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話 (発話) などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第 2 回	第 6 課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第 3 回	第 7 課 ディジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第 4 回	第 7 課 世界文化遺産の街ディジョン	文法の練習問題 文章読解
第 5 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第 6 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理	文法の練習問題 文章読解
第 7 回	第 9 課 ボヌスに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第 8 回	第 9 課 世界文化遺産の街ボヌス	文法の練習問題 文章読解
第 9 回	第 10 課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	第 10 課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第 11 回	4 級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第 12 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 13 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 14 回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト (教科書)】

パリ・ブルゴーニュ (朝日出版社、2500 円)(フランス語 3I の教科書を継続使用)
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社) 他
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %
期末試験の成績 (60%) により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の文法をマスターし、発音やコミュニケーション力を高めること。

【到達目標】

平易なフランス語で書かれた文章を読むことを通して、フランス語の語彙を獲得し、それを使って表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う（しかし、感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する）。教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に把握できるように単語テストと小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 一年生の復習	授業方針を説明 基本的なフランス語の決まり事を確認
第 2 回	第 1 課	複合過去
第 3 回	第 1 課	テキスト講読
第 4 回	第 2 課	人称代名詞
第 5 回	第 2 課	テキスト講読
第 6 回	第 1 回小テスト	ここまでの復習
第 7 回	第 3 課	代名動詞
第 8 回	第 3 課	テキスト講読
第 9 回	第 4 課	中性代名詞
第 10 回	第 4 課	テキスト講読
第 11 回	第 5 課	直接法単純未来
第 12 回	第 2 回小テスト 第 5 課	これまでの復習 テキスト講読
第 13 回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験と解説	試験を行い、解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『Vraiment ? 』 Liliane LATTANZIO, 澤田直著、三修社。

【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』久松健一著、駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントには必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 5/Thu.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語の文法をマスターし、発音やコミュニケーション力を高めること。

【到達目標】

平易なフランス語で書かれた文章を読むことを通して、フランス語の語彙を獲得し、それを使って表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う (しかし、感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する)。教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に把握できるように単語テストと小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課	直接法単純未来 命令法
第 2 回	第 6 課	テキスト講読
第 3 回	第 7 課	大過去 条件法
第 4 回	第 7 課	テキスト講読
第 5 回	第 8 課	さまざまな疑問文
第 6 回	第 1 回小テスト	ここまでの復習
第 7 回	第 8 課	テキスト講読
第 8 回	第 9 課	現在分詞 ジェロンディフ
第 9 回	第 9 課	テキスト講読
第 10 回	第 10 課	接続法
第 11 回	第 10 課	テキスト講読
第 12 回	第 2 回小テスト	これまでの復習
第 13 回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験と解説	試験とその解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『Vraiment ? 』Liliane LATTANZIO, 澤田直著、三修社。

【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』久松健一著、駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf200LA	
フランス語 3 I	2017 年度以降入学者
杉村 裕史	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 5/Fri.5	
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- 1 フランス文化についての書き下ろしエッセイを読む
- 2 フランス語の文法を復習しながら、文の構造を素早く理解する
- 3 単語や文章の発音が上手にできるようにする。
- 4 フランス文化についての幅広い理解をする

【到達目標】

辞書を引きながらでも、フランス語の文章の構造を素早く理解して、わかりやすい日本語にできる力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

各課を 2 回で 1 課終わらせる。
文法の復習と発音チェック、テキスト本文の内容理解へと進む。
小テストや期末テストのフィードバックは、授業内に LINE や学習支援システムを通して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
オリエンテーション	オリエンテーション	成績評価の方法を説明発音の総復習
複合過去	La passion du sport.	1 課 複合過去
半過去	母音字の発音	1 課 半過去
人称代名詞	La lutte contre gaspillage.	2 課 人称代名詞
強勢形	子音字の発音	2 課 強勢形
代名動詞	L'égalité femmes -hommes	3 課 代名動詞
代名動詞の複合過去	e の発音	3 課 代名動詞の複合過去
中性代名詞	Pour ou contre les devoirs	4 課 中性代名詞
人称代名詞のまとめ	鼻母音の発音	4 課 人称代名詞のまとめ
関係代名詞	Les bonnes manières à table	5 課 関係代名詞
前置詞 + 関係代名詞	複母音字の発音	5 課 前置詞 + 関係代名詞
単純未来	Vivement les vacances.	6 課 単純未来
命令法	半過去の復習	6 課 命令法

時制のまとめ	Les petits noms	時制のまとめ
まとめ	amoureux	
	大過去	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ヴレマン』（澤田直著、2022 年、三修社、2100 + 税）(ISBN 978-4-384-23213-4 C1085)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

次回の授業開始時に、前回の内容から書取りの小テストを行う。
小テストの合計点（40%）と、期末テストの合計点（60%）を 100 点満点に換算して、法政大学の評価基準に応じて評価する。
毎回出席を取る。欠席は 3 回まで認める。
4 回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。
遅刻は 30 分まで集積と同じ扱いにするが、小テストは授業開始時に行うので小テストが終了していれば、受けられない。

【学生の意見等からの気づき】

映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜 Youtubeなどで映像を見せしていく

【学生が準備すべき機器他】

オンライン・ライブの授業ではないが、資料をオンラインで配布することがあるので、指示された時は PC を持参すること。

【その他の重要事項】

辞書は必ず持参すること。どのような辞書が必要なのかは、最初の授業で説明する。

【Outline (in English)】

Learn French culture by reading many essays.

Learn how to pronounce French word and phrases.

This course introduces

review french grammar, read a french texte and understand french culture.

The goals of this course are to

have a good pronunciation, translate and read easily french texte

Learning activities outside of classroom, after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies; Your overall grade in the class will be decided based on the following ; Term-end examination: 50%, Short reports : 50%

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

杉村 裕史

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

- 1 フランス文化についての書き下ろしエッセイを読む
- 2 フランス語の文法を復習しながら、文の構造を素早く理解する
- 3 単語や文章の発音が上手にできるようにする。
- 4 フランス文化についての幅広い理解をする

【到達目標】

辞書を引きながらでも、フランス語の文章の構造を素早く理解して、わかりやすい日本語にできる力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

各課を 2 回で 1 課終わらせる。

文法の復習と発音チェック、テキスト本文の内容理解へと進む。
小テストや期末テストのフィードバックは、授業内に LINE や学習支援システムを通して行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
夏休み	後期オリエンテーション	発音の復習
の出来事	ン	夏休みの出来事
条件法	Les petits noms amoureux	7 課 条件法
大過去	複子音字の発音	7 課 大過去
疑問形	La philosophie pour tous.	8 課 疑問形容詞
疑問代名詞	鼻母音の発音	8 課 疑問代名詞
現在分詞	Les nouvelle famille	9 課 現在分詞
ジェロニデフ	語末の子音字	9 課 ジェロニデフ
接続法	La politique environnementale	10 課 接続法
動詞の法	リエゾン	10 課 動詞の法
比較級	Le bricolage	11 課 比較級
最上級	複母音字の発音	11 課 最上級
単純過去	La folie des soldes	12 課 単純過去
知覚動詞	半母音の例外	12 課 知覚動詞
複合時制のまとめ	les droits de grève	複合時制のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『ゼレマン』(澤田直著、2022 年、三修社、2100 + 税) (ISBN 978-4-384-23213-4 C1085)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

今回の授業開始時に、前回の内容から書取りの小テストを行う。
小テストの合計点 (40%) と、期末テストの合計点 (60%) を 100 点満点に換算して、法政大学の評価基準に応じて評価する。
毎回出席を取る。欠席は 3 回まで認める。
4 回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。
遅刻は 30 分まで集積と同じ扱いにするが、小テストは授業開始時に行うので小テストが終了していれば、受けられない。

【学生の意見等からの気づき】

映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜 Youtubeなどで映像を見せていく

【学生が準備すべき機器他】

オンライン・ライブの授業ではないが、資料をオンラインで配布することがあるので、指示された時は PC を持参すること。

【その他の重要事項】

辞書は必ず持参すること。どのような辞書が必要なのかは、最初の授業で説明する。

【Outline (in English)】

Learn French culture by reading many essays.

Learn how to pronounce French word and phrases.

This course introduces review french grammar, read a french texte and understand french culture.

The goals of this course are to have a good pronunciation, translate and read easily french texte

Learning activities outside of classroom, after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies; Your overall grade in the class will be decided based on the following ; Term-end examination: 50%、Short reports : 50%

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要の説明など
第 2 回	第 1 課 vous にする？ tu にする？	vous と tu の使い分けについて 書かれたフランス語の文章を訳読する
第 3 回	第 1 課 文法の復習	所有形容詞や疑問形の復習と、練習問題
第 4 回	第 2 課 bise は何回？	フランス人の挨拶について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 5 回	第 2 課 文法の復習	非人称構文などの復習と、練習問題
第 6 回	第 3 課 迷信を信じますか	迷信について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 7 回	第 3 課 文法の復習	半過去などの復習と、練習問題
第 8 回	第 4 課 不人気なのに止められないサマータイム	サマータイムについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 9 回	第 4 課 文法の復習	複合過去などの復習と、練習問題
第 10 回	第 5 課 エイプリルフールは背中に注意	エイプリルフールについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 11 回	第 5 課 文法の復習	代名動詞などの復習と、練習問題
第 12 回	第 6 課 動物から学ぼう	動物について書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 13 回	第 6 課 文法の復習	単純未来などの復習と、練習問題
第 14 回	全体の復習	最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

きちんと予習をして、授業に臨む。予習復習時間は各 2 時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900 円

【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業での発表など）を 50%、学期末テストの点数を 50% とし、それぞれの点数を合算して 60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline (in English)】

Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points.

In total, 60 points or more will pass.

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 7 課 ロボットはどこまで進化するか	ロボットについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 2 回	第 7 課 文法の復習	前未来などの復習と、練習問題
第 3 回	第 8 課 君もフランコフォニーの一員	フランコフォニーについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 4 回	第 8 課 文法の復習	受動態などの復習と、練習問題
第 5 回	第 9 課 左利きにも優しい社会	左利きについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 6 回	第 9 課 文法の復習	条件法現在などの復習と、練習問題
第 7 回	第 10 課 食品ロスを解決するには	食品ロスについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 8 回	第 10 課 文法の復習	疑問形容詞などの復習と、練習問題
第 9 回	第 11 課 簿記を学んだフランス王	フランス王について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 10 回	第 11 課 文法の復習	大過去などの復習と、練習問題
第 11 回	第 12 課 熊は友達	熊について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 12 回	第 12 課 文法の復習	強調構文などの復習と、練習問題
第 13 回	第 13 課 漫画が市民権を得るまで	漫画について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 14 回	全体の復習	最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

きちんと予習をして授業に臨む。予習復習時間は各 2 時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900 円

【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業での発表など）を 50%、学期末テストの点数を 50% とし、それぞれの点数を合算して 60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline (in English)】

Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points. In total, 60 points or more will pass.

LANF200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

JULIEN AGAESSE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語のスキルを磨き、フランス語とフランス語圏の文化についての知識を深めます

【到達目標】

DELFL A1 レベルに達する

Reach DELFL A1 level

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

文章と口頭のスキルを練習して、文法と語彙を吸収させます。グループワーク、簡単なプレゼンテーション、ゲーム、リスニング等。原則として、教室における対面授業を予定しています。ただし、大学から対面授業方針の変更が伝えられた場合はこの限りではありません。また、東京および日本全国における感染拡大状況を考慮に入れつつ、教室で行う対面授業の回数とオンラインで行う遠隔授業の回数は学期開始後に調整します。

また、授業や宿題には Google Classroom を使用します。

さらに、学期途中に小テストを課すことがあります。

この学期中、オンラインコースを受講する必要がある場合は、ズーム（オンライン教室）を使用します。プログラムをコンピュータにダウンロードする必要があります。

小テストや課題について、授業での活動後、学生にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Révisions / 復習	復習これまでの事項の確認と復習
2	レッスン 1-1	詳しい自己紹介（会話、読解）
3	レッスン 1-2	詳しい自己紹介（作文、聴解）
4	レッスン 2-1	家族について（会話、読解）
5	レッスン 2-2	家族について（作文、聴解）
6	レッスン 3-1	日常生活（会話、読解）
7	レッスン 3-2	日常生活（作文、聴解）
8	レッスン 4-1	食事・食生活（会話、聴解）
9	レッスン 4-2	食事・食生活（作文、読解）
10	レッスン 5-1	衣服・ファッション（会話、読解）
11	レッスン 5-2	衣服・ファッション（作文、聴解）
12	レッスン 6-1	買い物（会話、読解）
13	試験の復習と実践	最終試験に向けた復習
14	会話試験試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
- ・復習として、作文練習や単語、文法の問題などを与える可能性がある。
- ・マニュアルや資料で理解の問題がないか必ず確認してください。
- ・わからない言葉、意味、発音は必ず検索してください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料は Google classroom と Hoppii で配布する予定です。

【参考書】

レッスン中に参考書を伝えます。

【成績評価の方法と基準】

クラスの出席と態度 20 %

宿題、発表等 20 %

Quiz 30 %

試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】

過去に同授業を行っていません。

【学生が準備すべき機器他】

大学のインターネットプラットフォームを介して学生にドキュメントを配る場合があります。Google ドライブと Google classroom も使用します。

インターネットに接続されたパソコンやタブレットが必要な活動を行います。

【Outline (in English)】

Outline and objectives: Brush up French skills and deepen knowledge of French and French speaking cultures. Develop skills in speaking and writing/reading and listening comprehension in French. Discover France, Francophonie and its culture through the class.

Be able to introduce themselves, talk about their preferences and daily life.

Goal: To develop grammar and vocabulary through the practice of expressing oneself in French.

Work to be done outside of class:

・The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

・Some writing exercises, vocabulary, and grammar problems may be given as review.

・Please be sure to check the manual and materials for understanding problems.

・Be sure to search for any words, meanings, or pronunciations that you do not understand.

For the homeworks and the short test, Feedback will be provided to students following the class activities.

Grading criteria:

Class attendance and attitude 20%.

Homework, presentations, etc. 20%.

Quiz 30 20%.

Exams 30 20%.

LANF200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

JULIEN AGAESSE

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語のスキルを磨き、フランス語とフランス語圏の文化についての知識を深めます

【到達目標】

DELTA A1 相当の技能 (会話、作文、読解、聴解など)

各ユニットは会話・読解と作文・聴解の 2 パートに分けて行われる。ただし、どの回でも常にフランス語での会話練習を実施する。

Skills equivalent to DELTA A1 (conversation, composition, reading comprehension, listening comprehension, etc.)

Each unit is divided into two parts: conversation and reading comprehension and composition and listening comprehension. However, students will always practice speaking in French at any time

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

文章と口頭のスキルを練習して、文法と語彙を吸収させます。グループワーク、簡単なプレゼンテーション、ゲーム、リスニング等。原則として、教室における対面授業を予定しています。ただし、大学から対面授業方針の変更が伝えられた場合はこの限りではありません。また、東京および日本全国における感染拡大状況を考慮に入れつつ、教室で行う対面授業の回数とオンラインで行う遠隔授業の回数は学期開始後に調整します。

また、授業や宿題には Google Classroom を使用します。

さらに、学期途中に小テストを課することがあります。

この学期中、オンラインコースを受講する必要がある場合は、ズーム (オンライン教室) を使用します。プログラムをコンピューターにダウンロードする必要があります。

小テストや課題について、授業での活動後、学生にフィードバックを行います。

For the homeworks and the short test, Feedback will be provided to students following the class activities.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Révisions / 復習	復習これまでの事項の確認と復習 前学期の復習
2	レッスン 7-1	フランスでの様々な手続き (会話、読解)
3	レッスン 7-2	フランスでの様々な手続き (作文、聴解)
4	レッスン 8-1	住居 (会話、読解)
5	レッスン 8-2	住居 (作文、聴解)
6	レッスン 9-1	健康 (会話、読解)
7	レッスン 9-2	健康 (作文、聴解)
8	レッスン 10-1	移動に関する表現 (会話、読解)
9	レッスン 10-2	移動に関する表現 (作文、読解)
10	レッスン 11	観光・文化 (会話、読解)
11	レッスン 12-1	ヴァカンス・旅行 (会話、読解)
12	レッスン 12-2	ヴァカンス・旅行 (作文、聴解)
13	試験の復習と実践	最終試験に向けた復習

14 会話試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
・復習として、作文練習や単語、文法の問題などを与える可能性が
ある。

・マニュアルや資料で理解の問題がないか必ず確認してください。

・わからない言葉、意味、発音は必ず検索してください。

・The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

・Some writing exercises, vocabulary, and grammar problems may be given as review.

・Please be sure to check the manual and materials for understanding problems.

・Be sure to search for any words, meanings, or pronunciations that you do not understand.

【テキスト (教科書)】

教科書は使用せず、資料は Google classroom と Hoppii で配布する予定です。

【参考書】

レッスン中に参考書を伝えます。

【成績評価の方法と基準】

クラスの出席と態度 20 %

宿題、発表等 20 %

Quiz 30 %

試験 30 %

Class attendance and attitude 20%.

Homework, presentations, etc. 20%.

Quiz 30 20%.

Exams 30 20%.

【学生の意見等からの気づき】

過去に同授業を行っていません。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

大学のインターネットプラットフォームを介して学生にドキュメントを配る場合があります。Google ドライブと Google classroom も使用します。

インターネットに接続されたパソコンやタブレットが必要な活動を行います。

【Outline (in English)】

Outline and objectives: Brush up French skills and deepen knowledge of French and French speaking cultures. Develop skills in speaking and writing/reading and listening comprehension in French. Discover France, Francophonie and its culture through the class.

Be able to introduce themselves, talk about their preferences and daily life.

Goal: To develop grammar and vocabulary through the practice of expressing oneself in French.

Work to be done outside of class:

・The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

・Some writing exercises, vocabulary, and grammar problems may be given as review.

・Please be sure to check the manual and materials for understanding problems.

・Be sure to search for any words, meanings, or pronunciations that you do not understand.

For the homeworks and the short test, Feedback will be provided to students following the class activities.

Grading criteria:

Class attendance and attitude 20%.

Homework, presentations, etc. 20%.

Quiz 30 20%.

Exams 30 20%.

LANf200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

佐藤 正和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期の授業は、一年次に身につけたフランス語、とりわけその読解能力のアップをはかります。未習の箇所を行い、文法事項の確認を踏まえながら、将来社会にでも通用するようなより正確で迅速な読解力のレベル・アップをはかります。どうせやるなら、かなりのレベルまで高めたい。また、その読解を通じてさまざまなフランス文化の理解も同時に深めたいと思います。

【到達目標】

辞書さえあれば、英語で言えば高校 1～2 年程度の内容の文章を読むことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

上記の到達目標を達成するために、次のような 3 つの段階を考えています。

- ① 文法に注意しながら、単語を増やしながら正確に読む段階。（1 回の授業で 15 ～ 25 行程度）
 - ② 習得した単語を踏まえ、スピードを上げて読む段階（30 ～ 40 行）
 - ③ 速読・レジュメ・内容把握問題（40 ～ 50 行）
- 春学期では①②秋学期では②③ということになります。当然のことながら、毎回の出席と予習復習を要望します。また内容について各自考えてきてもらい、意見の交換を行います。詳しいことは、オリエンテーションで説明します。（4 月 29 日から始めます）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	オリエンテーション (必ず出席のこと)
②	ロワール河の北と南 1	訳読
③	ロワール河の北と南 2	訳読
④	文化を生み出すカフェ 1	訳読
⑤	文化を生み出すカフェ 2	訳読
⑥	エコ・ライフには自転車 1	訳読
⑦	エコ・ライフには自転車 2	訳読
⑧	カンヌ・映画祭 1	訳読
⑨	カンヌ・映画祭 2	訳読
⑩	魅力あふれるモナコ	訳読
⑪	海洋環境復元	訳読
⑫	フランス独自の高等教育機関	訳読
⑬	昼寝のすすめ	訳読
⑭	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

提示された箇所について 60 分程度の予習

【テキスト（教科書）】

『フランスさまごま』（朝日出版社）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極性（40 %）期末試験 60 %

【学生の意見等からの気づき】

厳しかったけど、力は格段についた！ など
しっかりやってくれば、力はつきます。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインで行うのでパソコンが必要

【その他の重要事項】

個人的な理由により本年度はオンラインでおこないます

【Outline (in English)】

- ① We will improve the reading comprehension of French that we acquired in the first year. We will do unlearned parts, and while checking the grammatical items, we will improve the level of reading comprehension more accurately and quickly so that it will be accepted in society in the future. If I do it anyway, I want to raise it to a considerable level. At the same time, I would like to deepen my understanding of various French cultures through the reading comprehension.
- ② If you have a dictionary, you will be able to read sentences in English for the first or second year of high school.
- ③ About 60 minutes of preparation for the presented part
- ④ Final grade will be calculated according to the following process, term-end examination (60 %) and in-class contribution (40 %).

LANf200LA

フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

佐藤 正和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期の授業は、春学期とは異なりアトランダムな内容ではなく、テーマを絞って読むことでフランス文化の一面を体系的に学ぶことにします。将来社会にでも通用するようなより正確で迅速な読解力の養成をめざします。

【到達目標】

辞書さえあれば、容易なフランス語の文章がサラサラ読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

秋学期の授業の進め方。自宅で訳すというより、読んで理解しそして難しい部分だけ訳し、要約文を書く。授業の前に、要約文を提出。授業は個々人に読ませ、訳読。内容について、各自考えてきてもらい、授業において意見の交換を行う。毎回の出席と予習復習を要望します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション (必ず出席のこと)	演習
②	上昇する出生率	演習
③	P A C S	演習
④	P A C S の 10 年後 (プリント)	演習
⑤	労働時間短縮の道のり	演習
⑥	35 時間労働の功罪 (プリント)	演習
⑦	ヴァカンス (プリント)	演習
⑧	遠距離通勤 (プリント)	演習
⑨	大学事情 (プリント)	演習
⑩	女性の社会進出 (プリント)	演習
⑪	ストライキ大国	演習
⑫	選挙 (プリント)	演習
⑬	老後の生活 (プリント)	演習
⑭	テストまとめ	テストまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定されたものについて 60 分程度の予習

【テキスト（教科書）】

『フランスさまざま』（朝日出版社）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極性（40 %）

期末試験（60 %）

【学生の意見等からの気づき】

毎回やらないといけない。急には、力がつかない。こんな貴重な意見がありました。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインで行うのでパソコン

【その他の重要事項】

個人的な理由で本年度はオンラインで行います

【Outline (in English)】

① Unlike the spring semester, the fall semester classes are not at random, but rather focus on themes to systematically learn one aspect of French culture. We aim to develop more accurate and quick reading comprehension that will be accepted in society in the future.

② If you have a dictionary, you will be able to read sentences in English for the first or second year of high school.

③ About 60 minutes of preparation for the presented part

④ Final grade will be calculated according to the following process, term-end examination (60 %) and in-class contribution (40 %).

LANf200LA

フランス語 3 I (インテンシブ) 2017 年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3～4 級レベル、DEL F A1～A2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業を聞いているだけでは高度なフランス語力は身につけません。そのため予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 ― 初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018 年（1900 円＋税）

【参考書】

文法参考書・単語集（希望者には授業内に指示します）

【成績評価の方法と基準】

平常点 50 %、期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination : 50%, in class contribution : 50%

LANf200LA

フランス語 3 II (インテンシブ) 2017 年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3～4 級レベル、DELF A1～A2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進捗は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞 + 関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculateur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculateur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロンディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業に出席するだけでは高度なフランス語力は身につけません。そのため予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 ―初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018 年（1900 円 + 税）

【参考書】

文法参考書・単語集（希望者には授業内に指示します）

【成績評価の方法と基準】

平常点 50 %、期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination : 50%, in class contribution : 50%

LANf200LA

フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業の目的は、フランスとフランス語圏の時事紹介文を読んで翻訳することにより、その歴史・社会・文化の教養を身につけながら、初級文法の復習、中級文法や語彙の学習をおこなうことである。

【到達目標】

フランス時事についての文章を読み、簡単な文章が理解できるようになること。フランス語検定 3 級レベル程度の達成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

毎回、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を読む。意味を確認し、音読をする。主に宿題のかたちで多くの練習問題をする。宿題に関しては hoppii や授業で正答を示したり解説をしたりしフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	シラバスの説明
	フランス語文法の復習	主要動詞の現在形の復習
第 2 回	「1 章 ソルボンヌ」前半	中性代名詞 y
	後半	複合過去形
第 3 回	「1 章 ソルボンヌ」後半	数詞
第 4 回	「4 章 ジュリエット・グレコ」前半	職業名
第 5 回	「4 章 ジュリエット・グレコ」後半	受動態
第 6 回	「5 章 コロナ時代のフランス」前半	être を使った複合過去
第 7 回	「5 章 コロナ時代のフランス」後半	疑問文のパターン
第 8 回	「7 章 カリカチュア」前半	savoir
第 9 回	「7 章 カリカチュア」後半	半過去形
第 10 回	「8 章 山下朝史 野菜の声を聞く男」前半	概数表現
第 11 回	「8 章 山下朝史 野菜の声を聞く男」後半	si の用法
第 12 回	「10 章 失業」前半	比較級
第 13 回	「10 章 失業」後半	使役の faire
第 14 回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に文章を読み、単語を辞書で調べる。音読する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2022 年度版』朝日出版社、定価 2090 円

【参考書】

電子辞書

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や小テストも含む）50%＋期末試験 50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppii を通じて正答配布ないし添削配布をする。

【その他の重要事項】

初回出席を受講資格とみなすので初回に欠席しないこと

【Outline (in English)】

【Course outline】Students will be asked to read and translate texts about French culture.

【Learning Objectives】By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A. Reading abilities

-B. Increase of vocabulary

-C. Review of the elementary grammar

-D. Acquisition of the intermediate grammar

【Learning activities outside of classroom】Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content

【Grading Criteria/Policy】Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANf200LA

フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業の目的は、フランスとフランス語圏の時事紹介文を読んで翻訳することにより、その歴史・社会・文化の教養を身につけながら、中級文法や語彙の学習をおこなうことである。

【到達目標】

フランス語の簡単な文章が理解できるようになること。フランス語検定 3 級レベル程度に達成することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

毎回、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を読む。意味や文法を確認し、音読をする。主に宿題のかたちで多くの練習問題をする。宿題に関しては hoppii や授業で正答を示したり解説をしたりしフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	「12 章 マリー・アントワネット」前半	connaitre
第 2 回	「12 章 マリー・アントワネット」後半	受動態 単純未来
第 3 回	「13 章 ボランティエ」前半	不定代名詞
第 4 回	「13 章 ボランティエ」後半	半過去 条件法現在
第 5 回	「14 章 ゾラ、作家にしてジャーナリスト」前半	半過去
第 6 回	「14 章 ゾラ、作家にしてジャーナリスト」後半	大過去 条件法過去
第 7 回	「15 章 リヨン」前半	前置詞 pour
第 8 回	「15 章 リヨン」後半	複合過去
第 9 回	「17 章 ビエール・スーラージュ」前半	不定冠詞 des と de
第 10 回	「17 章 ビエール・スーラージュ」後半	人称代名詞の目的補語
第 11 回	「18 章 モンマルトルのサクレ=クール寺」前半	最上級
第 12 回	「18 章 モンマルトルのサクレ=クール寺」後半	接続法
第 13 回	補習	単純過去
第 14 回	期末試験	-試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に文章を読み、単語を辞書で調べる。音読する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2022 年版 (À la plage 2022)』(朝日出版社、定価 2090 円)

【参考書】

電子辞書

【成績評価の方法と基準】

平常点 (宿題や小テストも含む) 50 % + 期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppii を通じて正答配布ないし添削配布をする。

【その他の重要事項】

フランス語 4 I (岡村) を受講していることが望ましいが、フランス語 4 II のみを受講することもできる。

【Outline (in English)】

【Course outline】The student will be asked to read and translate texts about French culture.

【Learning Objectives】By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A. Reading abilities

-B. Increase of vocabulary

-C. Review of the elementary grammar

-D. Acquisition of the intermediate grammar

【Learning activities outside of classroom】Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content

【Grading Criteria/Policy】Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANf200LA

フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語圏（フランコフォニー）を題材とした教科書を用いて、中級に向けたフラン語文法を学び、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。特に、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検 4 級レベルの文法事項の習得を目指します。
世界のフランス語圏（フランコフォニー）に関する基礎知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書『Destination francophonie (nouvelle édition)』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようにします。

2 回の授業で 1 つの課を終えることを目標とします（10 課 + α）。授業中に触れられなかった練習問題などを「ミニ課題」として毎回提出してもらいます。後日、添削した上で返却します。
最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	・既習事項の確認 ・綴りと発音の関係、リズムとイントネーションの確認 ・フランス語圏（フランコフォニー）の概説
2	Leçon 1 Des villes francophones	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (名詞の性数、冠詞、提示の表現など)
3	Leçon 1 Les francophones dans le monde	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (よく使う疑問詞と前置詞など)
4	Leçon 2 Nous sommes étudiants	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (主語人称代名詞、être / avoir など)
5	Leçon 2 Les langues de France	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (形容詞、強勢形など)
6	Leçon 3 Elles travaillent beaucoup!	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (ER 動詞、命令法など)

7	Leçon 3 Le français en Europe	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (疑問文・否定文、所有形容詞など)
8	Leçon 4 Qu'est-ce qu'on fait ce week-end ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (IR 動詞、不規則動詞、部分冠詞、縮約など)
9	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (指示形容詞、近接未来・過去など)
10	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (既習の時制の確認、今後の時制との関係など)
11	Leçon 5 Quel pays francophone visiter ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (不規則動詞、助動詞の疑問文・否定形など)
12	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (比較級と最上級など)
13	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (特殊な比較級と最上級など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。
・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。
・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。
・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

・小松祐子、ジル・デルメール著、『Destination francophonie (nouvelle édition)』、駿河台出版社、2019 年。
・以下の出版社サイトを介して、音声を聞くこともできる。
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

・これまでに用いた教科書
・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000 年。
・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013 年。
・曾我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995 年。
・久保田剛史著、『フランス語動詞 60』、朝日出版社、2015 年。
・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。
①平常点（ミニ課題など）：30 %
②期末テスト：70 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (mini-exercice, etc): 30%, term-end test: 70%.

LANf200LA

フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

廣松 勲

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 4/Mon.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「フランス語 4 I」に引き続き、フランス語圏 (フランコフォニー) を題材とした教科書を用いて、中級に向けたフラン語文法を学び、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。特に、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検 4 級レベルの文法事項の習得を目指します。

世界のフランス語圏 (フランコフォニー) に関する基礎知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

「フランス語 4 I」に引き続き、教科書『Destination francophonie (nouvelle édition)』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようになります。

2 回の授業で 1 つの課を終えることを目標とします (10 課 + a)。授業中に触れられなかった練習問題などを「ミニ課題」として毎回提出してもらいます。後日、添削した上で返却します。最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1-5 の総括	・春学期の学習事項の復習 ・秋学期の学習事項の紹介
2	Leçon 6 Un week-end à Bruxelles	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (代名動詞、不規則動詞など)
3	Leçon 6 Le français au Maghreb	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (Il faut、2 つの人称代名詞など)
4	Leçon 7 Les grandes vacances	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (複合過去、過去分詞形など)
5	Leçon 7 Le français en Afrique noire	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (受動態、否定の多様性など)
6	Leçon 8 Je n'habite pas en France	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (半過去、使役・放任動詞など)
7	Leçon 8 Le français en Asie du Sud-Est	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (関係代名詞など)
8	Leçon 9 J'irai dans un pays africain	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (単純未来、前未来など)

9	Leçon 9 Le français dans le Pacifique ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (ジェロンディフ、現在分詞など)
10	Leçon 9 Le français dans le Pacifique ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (中生代名詞など)
11	Leçon 10 Les voyages forment la jeunesse	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (条件法現在と過去など)
12	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (接続法現在と過去など)
13	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (感嘆文など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。

- ・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。
- ・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。
- ・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

- ・小松祐子、ジル・デルメール 著、『Destination francophonie (nouvelle édition)』、駿河台出版社、2019 年。
- ・以下の出版社サイトを介して、音声を聞くこともできる。
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

- ・これまでに用いた教科書
- ・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000 年。
- ・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013 年。
- ・曽我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995 年。
- ・久保田剛史著、『フランス語動詞 60』、朝日出版社、2015 年。
- ・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。
- ①平常点（ミニ課題など）：30 %
- ②期末テスト：70 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (mini-exercice, etc): 30%, term-end test: 70%.

LANf200LA

フランス語 5 I

2017 年度以降入学者

村松 マリ=エマニユエル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既に基礎が学んだがまだ初級レベルにある学生として、フランス語学習の土台を固める。特に発音やコミュニケーションに重点を置く

【到達目標】

DELFI A1（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）レベルの到達を目指す。It is a course to prepare DELFI A1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

教科書を使わず、プリント、ビデオなどを使う。会話のモデルを練習してから、学生同士で応用練習をする。また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある

You will learn a model of conversation and practice with the other students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
回 1	自己紹介 Introducing yourself	自己紹介、連絡先を言う Introducing yourself, telling your adress フランス語圏の国々
回 2	第三者について Talking about persons	フランスのシャンソン歌手エディット・ピアフ Edith Piaf, a french singer
回 3	好きなアーティスト Present an artist	発表：好きなアーティストを紹介する Presentation : an artist that you like
回 4	道案内 Indicating the way	駅からあなたの家までの道を説明する Indicating the way from the station to your house.
回 5	あなたの家 Your house	家の間取りを説明する Talking among rooms and floors
回 6	日付と時間 date and time	電車のチケットを買う Buying a train ticket.
回 7	いつ、どこ、何をなどを説明する telling when, where, what	仕事状況について話す。 Talking among your work
回 8	趣味 Your hobbies a	趣味について話す Telling your hobbies.
回 9	あなたのリラックスする方法 Your relaxation way	スポーツ選手の時間割とリラックスの方法。 The schedule and relaxation way of a sport champion and
回 10	食事 Food	あなたの食生活について話す。 Telling what you eat.
回 11	過去の出来事 A passed event	過去の出来事について話す・意見を言う Talking about passed events, telling your opinion.

回 12	パリ際、クリスマスなど Bastille days celebrations, Christmas ...	フランスの伝統的な祭りを説明する Talking about traditional festivals.
回 13	日本の祭り Japanese festivals	発表：日本の祭りの紹介を発表する。Presentation : Present a japanese festival.
回 14	前期のまとめ Summary	前期で習ったことについてのクイズ Quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
復習として発音練習を行うことと宿題を必ず行うこと

You will have to make revisions of the lesson studied in the class and do some writing exercises.

【テキスト（教科書）】

教科書使わず、毎回プリントを配る。No text book, only prints.

【参考書】

特になし None

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 % + 提出する課題 40 % Average in the class 60 % + average of the submitted work 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし None

【学生が準備すべき機器他】

配られたプリントをしまうためのファイル Folder to file the prints

【その他の重要事項】

必要に応じて、上記のプログラムを少し変えることがある。I may change the program, in case of necessity.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

You are not a complete beginner but you want to speak french.
This class is a conversation class. You will do exercise for hearing, speaking and learning.

It is a course to prepare DELF A1.

You will need about one hour for preparation and revision.

Average in the class 60 % + average of the submitted work 40 %

LANf200LA

フランス語 5 II

2017 年度以降入学者

村松 マリ=エマニユエル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春期に続いて、オーラル・コミュニケーションに重点を置いて、日常の生活の中でよくする話を練習する。

【到達目標】

DELFA1（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）レベルの到達を目指す。It is a class to prepare the DELFA A1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

教科書を使わず、プリントを配る。No text book, only prints.

また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
回 1	禁止 Interdictions	禁止する、許可する Prohibit and authorize フランス社会のルールについてのクイズ
回 2	可能性、能力など Possibility, capacity, etc.	可能性、能力、意志、義務を言う Expressing possibility, capacity, will and duty
回 3	提案する Proposition	提案する Suggesting something
回 4	就職活動 Looking for a job	就職活動のアドバイス Advise before going to a work interview フランスの就活システム
回 5	あなたのレジャー Your leisure	レジャーについて話す Talking about your leisure フランス人のレジャー
回 6	利点と難点 Advantages and disadvantages	様々のライフスタイルの利点と難点をいう。Telling the advantages and disadvantages of your lifestyle.
回 7	比較する Compare	習慣を比較する。Comparing habits.
回 8	夏休み Summer vacation	あなたの理想な夏休みを説明する。Telling the vacations you like the much.
回 9	子供の頃 Childhood	思い出話や子供の頃の話をする。Talking about your childhood.
回 10	過去の事項 A passed accident	事故について話す。Talking about a accident.
回 11	初めてした体験 A first experience	初めてした体験（愛、一人旅、など）を説明する。Telling a first experience.
回 12	予定 Projects	予定を立てる。Telling your projects.
回 13	条件 Conditions	条件を言う。Telling conditions.
回 14	後期のまとめ Summary	後期で習ったことについてのクイズ Quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
復習として発音練習を行うことと宿題を必ず行うこと
You will have to make revisions of the lesson studied in the class and do some writing exercises.

【テキスト（教科書）】

教科書使わず、プリントを配る。No text book, only prints.

【参考書】

特になし None

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %+ 提出する課題の平均点 40 %

Average in the class 60 %+ submitted exercises 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし None

【学生が準備すべき機器他】

配られたプリントをしまうためのファイル folder to file your prints

【その他の重要事項】

必要に応じて、上記のプログラムを多少変えることがある。I may change a little the above program, in case of nessecity.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

It is a class of oral communication following the class "French 2 I". You will learn in daily situations.

It is a class to prepare the DELF A1.

You will need about one hour for preparation and revision.

Average in the class 60 %+ submitted exercises 40 %

LANf200LA

フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた時事問題の記事を読む、講読の授業です。

【到達目標】

初見のフランス語でも正しく発音ができ、辞書で単語の意味を調べれば内容を理解することができるレベルを目指します。フランス語検定 4 級程度の文法の知識も復習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

使用テキストは 1 回の授業で 1 レッスンずつ進みます。各章のテーマについて解説を読んでから、音読練習をして、日本語に訳してみよう。読んだ内容を発展させてより詳しく調べた結果を、毎回 1～2 名ずつパワーポイント等により発表してもらいそれぞれについてグループディスカッションを行います。音読パートは出版社のサイトにある音声教材であらかじめ練習をして、授業では確認をしながら声に出してみよう。4 回講読が終わると 5 回目は仏検の過去問題や簡単な文章で書かれたフランス語の新聞を使って進捗を確認します。音読・日本語訳は一人ずつで行いますが、発表とその内容についてのディスカッションは 4～5 名のグループで行います。質問のやり取りや訳文の提出、発表を終えた掲示資料の提出は、初回の授業でお伝えするメールアドレスをお願いします。

The text is advanced one lesson at a time in one class. Read the explanations in Japanese on the subject of each chapter, then practice reading aloud and translate it into Japanese. Each time, one or two students will do the presentation by PowerPoint, and a group discussion will be held about the results of further investigation by developing the contents read. Practice the aloud part in advance with the audio teaching materials on the publisher's website, and let's speak out while checking in class. After four reading lessons, the fifth time, you will check your progress level using a French newspaper written in a simple sentence and past questions of the French certificate examination. The reading aloud and Japanese translation will be conducted by one person, but presentations and discussions on their contents will be held in groups of 4 to 5 people. Please contact the e-mail address you will be providing in your first class to exchange questions, submit translations, or submit posted materials that have been submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	音読練習と仏検 5 級過去問	音読練習 (プリント) と仏検 5 級過去問
2 回目	1. フォション	接続法
3 回目	2. ソルボンヌ	中性代名詞 y
4 回目	3. 5 G	人称代名詞と強勢形、形容詞
5 回目	4. ジュリエット・グレコ	受動態
6 回目	仏検 4 級過去問、新聞記事 1	仏検 4 級過去問、新聞記事 1

7 回目	5. コロナ時代のフランス	疑問文
8 回目	6. 動物のいないサーカス	半過去
9 回目	7. カリカチュア	中性代名詞 en
10 回目	8. 山下朝史一野菜の声を聞く男	評価・推薦の表現、大過去
11 回目	仏検 4 級過去問、新聞記事 2	仏検 4 級過去問、新聞記事 2
12 回目	9. 父親の育児休暇	現在分詞・ジェロンディフ
13 回目	10. 失業	使役動詞
14 回目	まとめと期末試験	試験または課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ストーリーミングの音声を使って、授業までに発音を練習しておきましょう。単語の意味を調べて、内容がきちんと伝わる訳を準備しておきましょう。指名された担当者は、テーマから発展させて調べた結果を次回プレゼン形式で発表できるように準備しましょう。

【テキスト（教科書）】

『時事フランス語 2022 年度版』石井洋二郎、ミシェル・サガズ著（朝日出版社）

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

授業中の音読・和訳・プレゼンなどの平常点 50%、期末課題または期末試験 50%で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

読んだ内容やプレゼンに対するグループでの意見交換の時間をもう少し増やします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和の辞書があると便利です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This is a reading class for articles on current affairs written in French.

【Learning Objectives】 We aim to be able to pronounce correctly in French even at first sight, and to be able to understand the contents by examining the meaning of words in a dictionary. We will also review the knowledge of grammar of level 4 of the French certificate test.

【Learning activities outside of classroom】 Preparation study and review time is set to be 1 hour in total. Practice your pronunciation before class with streaming audio. Let's examine the meaning of the word and prepare the translation that the content is transmitted properly. The nominated student should be prepared to develop from the theme and present the results of the research in presentation format.

【Grading Criteria/Policy】 Evaluation of this class will be given comprehensively for 50% of the usual points such as reading aloud, Japanese translation, presentation, etc. in class, and 50% for final assignments or final exams.

LANf200LA

フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた時事問題の記事を読む、講読の授業です。

【到達目標】

初見のフランス語でも正しく発音ができ、辞書で単語の意味を調べれば内容を理解することができるレベルを目指します。フランス語検定 4 級程度の文法の知識も復習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

使用テキストは 1 回の授業で 1 レッスンずつ進みます。各章のテーマについて解説を読んでから、音読練習をして、日本語に訳してみよう。読んだ内容を発展させてより詳しく調べた結果を、毎回 1～2 名ずつパワーポイント等により発表してもらいそれぞれについてグループディスカッションを行います。音読パートは出版社のサイトにある音声教材であらかじめ練習をして、授業では確認をしながら声に出してみましょう。4 回講読が終わると 5 回目は仏検の過去問題や簡単な文章で書かれたフランス語の新聞を使って進捗を確認します。音読・日本語訳は一人ずつで行いますが、発表とその内容についてのディスカッションは 4～5 名のグループで行います。質問のやり取りや訳文の提出、発表を終えた掲示資料の提出は、初回の授業でお伝えするメールアドレスをお願いします。

The text is advanced one lesson at a time in one class. Read the explanations in Japanese on the subject of each chapter, then practice reading aloud and translate it into Japanese. Each time, one or two students will do the presentation by PowerPoint, and a group discussion will be held about the results of further investigation by developing the contents read. Practice the aloud part in advance with the audio teaching materials on the publisher's website, and let's speak out while checking in class. After four reading lessons, the fifth time, you will check your progress level using a French newspaper written in a simple sentence and past questions of the French certificate examination. The reading aloud and Japanese translation will be conducted by one person, but presentations and discussions on their contents will be held in groups of 4 to 5 people. Please contact the e-mail address you will be providing in your first class to exchange questions, submit translations, or submit posted materials that have been submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	11. ラジオ・フランス	間接疑問文
2 回目	12. マリー・アントワネット、ポップなイコン	代名動詞
3 回目	13. ボランティア	非人称構文、条件法
4 回目	14. ゴッダ、作家にしてジャーナリスト	半過去・複合過去・大過去・条件法の比較
5 回目	仏検 4 級過去問、新聞記事 3	仏検 4 級過去問、新聞記事 3

6 回目	15. リヨン	関係代名詞
7 回目	16. ドローン・エリオス	強調構文、長さ大きさをあらわす表現
8 回目	17. ビエール・スーラージュ	冠詞、前置詞
9 回目	18. モンマルトルのサクレニクール寺院	比較級・最上級
10 回目	仏検 4 級過去問、新聞記事 4	仏検 4 級過去問、新聞記事 4
11 回目	19. サバイバリズム	動詞から名詞への変換
12 回目	20. ミシュリーヌ・オステルメイヤー	直接話法・間接話法
13 回目	仏検 4 級過去問、新聞記事 5	仏検 4 級過去問、新聞記事 5
14 回目	まとめと期末試験	試験または課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ストーリーミングの音声を使って、授業までに発音を練習しておきましょう。単語の意味を調べて、内容がきちんと伝わる訳を準備しておきましょう。指名された担当者は、テーマから発展させて調べた結果を次回プレゼン形式で発表できるように準備しましょう。

【テキスト（教科書）】

『時事フランス語 2022 年度版』石井洋二郎、ミシェル・サガズ著（朝日出版社）

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

授業中の音読・和訳・プレゼンなどの平常点 50%、期末課題または期末試験 50%で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

読んだ内容やプレゼンに対するグループでの意見交換の時間をもう少し増やします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和の辞書があると便利です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This is a reading class for articles on current affairs written in French.

【Learning Objectives】 We aim to be able to pronounce correctly in French even at first sight, and to be able to understand the contents by examining the meaning of words in a dictionary. We will also review the knowledge of grammar of level 4 of the French certificate test.

【Learning activities outside of classroom】 Preparation study and review time is set to be 1 hour in total. Practice your pronunciation before class with streaming audio. Let's examine the meaning of the word and prepare the translation that the content is transmitted properly. The nominated student should be prepared to develop from the theme and present the results of the research in presentation format.

【Grading Criteria/Policy】 Evaluation of this class will be given comprehensively for 50% of the usual points such as reading aloud, Japanese translation, presentation, etc. in class, and 50% for final assignments or final exams.

LANf200LA

フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（単純未来など）を学び、4 技能を身に着けることを目指します。

【到達目標】

1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。フランス語の検定試験 4 級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A1 以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教室での授業を予定しています。

教科書は『クロワッサン 2』とあるように、『クロワッサン 1』という教科書の続編となっていて、2 年生から始めるのに都合よくできています。新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。

皆さんは学期中に数回学習支援システムを通して課題を出すことになります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。

学期末には試験を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 1 課その 1 「君の名は？」	動詞の現在形と複合過去の復習：対話と文法
2	第 1 課その 2 主語の書き換えと作文	動詞の現在形と複合過去の復習：練習問題
3	第 2 課その 1 「彼女を紹介しましょう」	直接目的語と間接目的語、強勢形：対話と文法
4	第 2 課その 2 代名詞への書き換えと作文	直接目的語と間接目的語、強勢形：練習問題
5	第 3 課その 1 「私は 6 時半に起きます」	代名動詞の現在形と複合過去形：対話と文法
6	第 3 課その 2 主語の書き換えと作文	代名動詞の現在形と複合過去形：練習問題
7	第 4 課その 1 「1 台貸してあげるよ」	中性代名詞と指示代名詞：対話と文法
8	第 4 課その 2 受け答えと指示代名詞	中性代名詞と指示代名詞：練習問題
9	第 5 課その 1 「休み中何するの？」	単純未来と前未来（未来完了）：対話と文法
10	第 5 課その 2 主語の書き換えと作文	単純未来と前未来：練習問題

11	第 6 課 「日本マニアのフランス人」	読みの練習 1
12	文法補足 1-1	現在分詞と <i>gérondif</i>
13	授業内試験 文法補足 1-2	授業内試験 過去分詞と受動態
14	試験の復習 文法補足 1-3	試験の復習 所有代名詞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

出版社の HP より音声ダウンロードして対話文を聞いてください。
教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1-2：1 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて複合過去の文を作る。複合過去の練習問題をやる。

3-4：2 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて人称代名詞を使った文を作る。人称代名詞の練習問題をやる。

5-6：3 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて代名動詞を使った文を作る。代名動詞の練習問題をやる。

7-8：4 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて中性代名詞や指示代名詞を使った文を作る。中性代名詞や指示代名詞の練習問題をやる。

9-10：5 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて単純未来や前未来の文を作る。単純未来や前未来の練習問題をやる。

11：6 課の文章を読み、練習問題をやる。

12：現在分詞を学ぶ。期末試験のための復習をする。

13：過去分詞と受動態を学ぶ。

14：試験の復習をする。所有代名詞を学ぶ。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『クロワッサン 2 – もっと知りたいフランス語 *Croissant 2*』（『クロワッサン 1』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社

【参考書】

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問）が平常点になります。（50 %）

また期末試験を行います（50 %）

【学生の意見等からの気づき】

教室では互いに距離を取って座るために、口頭練習がなかなかうまくいきません。これを工夫する手立てを考えます。

【学生が準備すべき機器他】

1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have studied French for at least one year. Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (among others future tense,) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

At the end of this course, the students are expected to reach at least the fourth grade level of the APEF or A1 level of CEFR.

The students must prepare the classes and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (50%) and terminal examination (50%).

LANf200LA

フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。春学期のフランス語 4 I を引き継いで 1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（半過去、条件法、接続法など）を学びつつ、4 技能を身に着けることを目指します。

【到達目標】

1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。

フランス語の検定試験 3 級程度、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A2 程度の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

教室での授業を予定しています。

春学期に続いて、新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。

また学習支援システムを通して課題を時折出すことになります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。学期末には試験を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 7 課その 1 「祖父母のところへ行ったものでした」	複合過去と半過去、大過去：対話と文法
2	第 7 課その 2 主語の書き換えと作文	複合過去と半過去、大過去：練習問題
3	第 8 課その 1 「成功しなかったら、真剣に勉強しなくてはだめだよ」	時、理由、条件を表す接続詞：対話と文法
4	第 8 課その 2 接続詞を使った練習	時、理由、条件を表す接続詞：練習問題
5	第 9 課その 1 「私があなただったらティラミスを食べてみるわよ」	条件法現在、条件法過去：対話と文法
6	第 9 課その 2 条件法を使った練習	条件法現在、条件法過去：練習問題
7	第 10 課その 1 「パリが一望できる場所よ」	関係代名詞、強調構文：対話と文法
8	第 10 課その 2 関係代名詞を使った練習 強調構文への書き換え	関係代名詞、強調構文：練習問題
9	第 11 課その 1 「僕になにをしてほしいんだい？」	接続法現在、接続法過去：対話と文法

10	第 11 課その 2	接続法現在、接続法過去：
	主語の書き換えと作文	練習問題
11	第 12 課	読みの練習 2：
	『ワッフルとムール貝	動詞や関係詞の練習
	ポテトの国へ』	
12	文法補足 2-1	話法と時制の一致
13	授業内試験	授業内試験
	分法補足 2-2	疑問文や命令文の間接話法
14	試験の復習	試験の復習
	分法補足 2-3	単純過去

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

出版社の HP より音声ダウンロードして対話文を聞いてください。教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1-2：7 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて半過去の文を作る。半過去の練習問題をやる。

3-4：8 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて時、理由、条件を表す従属節を伴った文を作る。練習問題をやる。

5-6：9 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて条件法の文を作る。条件法の練習問題をやる。

7-8：10 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて関係代名詞を使った文や強調構文を作る。練習問題をやる。

9-10：11 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて接続法の文を作る。接続法の練習問題をやる。

11：読み物を読む。

12：話法と時制の一致を学ぶ。期末試験のための復習をする。

13：疑問文や命令文の間接話法を学ぶ。

14：単純過去を学ぶ。試験の復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

春学期で用いた教科書を引き続き使います：

『クロワッサン 2 もっと知りたいフランス語 *Croissant 2*』（『クロワッサン 1』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社

【参考書】

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問など）が平常点になります。（50 %）

また期末試験を行います（50 %）

【学生の意見等からの気づき】

教室では互いに距離を取って座るために、口頭練習がなかなかうまくいきません。これを工夫する手立てを考えます。

【学生が準備すべき機器他】

1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have studied French for at least one year. It is the continuation of the French 4 I (spring semester). Reviewing what they have already learned, the students will get new knowledge (imparfait, conditionnel, subjunctif etc.) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

During this course, the students are expected to try to reach the third grade level of the APEF or A2 level of CEFR.

The students must prepare the classes and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (50%) and terminal examination (50%).

LANf200LA

フランス語 (3) I

2017 年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエンス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合うことができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppi などを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	LEÇONS 1	(教科書の演習問題)
第 2 回	LEÇONS 2	(教科書の演習問題)
第 3 回	LEÇONS 3	(教科書の演習問題 - 会話)
第 4 回	LEÇONS 4	(教科書の演習問題)
第 5 回	LEÇONS 5	(教科書の演習問題)
第 6 回	LEÇONS 6	(教科書の演習問題 - 会話)
第 7 回	LEÇONS 7	(教科書の演習問題)
第 8 回	LEÇONS 8	(教科書の演習問題 - 会話)
第 9 回	LEÇONS 9	(教科書の演習問題)
第 10 回	LEÇONS 10	(教科書の演習問題 - 会話)
第 11 回	LEÇONS 11	(教科書の演習問題)
第 12 回	LEÇONS 12	(教科書の演習問題 - 会話)
第 13 回	レッスン 1～12 の復習	レッスン 1～12 の復習
第 14 回	まとめ / 試験 その他	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講：課題 / 補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 点、期末テスト 60 点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

コースは Zoom で行われます。スマートフォンではなく、パソコンを使う。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA

フランス語 (3) II

2017 年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppi などを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppi」での質問も可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	Leçon 13	(教科書の演習問題)
第 2 回	Leçon 14	(教科書の演習問題)
第 3 回	Leçon 15	(教科書の演習問題 - 会話)
第 4 回	Leçon 16	(教科書の演習問題)
第 5 回	Leçon 17	(教科書の演習問題)
第 6 回	Leçon 18	(教科書の演習問題 - 会話)
第 7 回	Leçon 19	(教科書の演習問題)
第 8 回	Leçon 20	(教科書の演習問題)
第 9 回	Leçon 21	(教科書の演習問題 - 会話)
第 10 回	Leçon 22	(教科書の演習問題)
第 11 回	Leçon 23	(教科書の演習問題)
第 12 回	Leçon 24	(教科書の演習問題 - 会話)
第 13 回	レッスン 13～24 の復習	レッスン 13～24 の復習
第 14 回	まとめ / 試験 その他	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講：課題 / 補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 点、期末テスト 60 点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

コースは Zoom で行われます。スマートフォンではなく、パソコンを使う。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA

フランス語 7

2017 年度以降入学者

酒井 健

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4 名の教員で同じテキストを使い、フランス語の総合力を強化します。秋学期からの留学を控えた学生を対象とします。この授業では、主に文法を学習します。

【到達目標】

教科書『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われている文法事項を確実に理解し運用できるようにします。

『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われない文法事項は『フランス語トレーニングコース』を用いて学び、基礎文法全体の学習を終えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

共通教科書『Le Nouveau Taxi 1!』の進度に沿い、『フランス語トレーニングコース』を用いて基礎文法を説明します。その後練習問題を解きます。適宜小テストも行います。

テストの解説・講評は授業内に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	文法練習問題
2	Unité 6 L23	補語人称代名詞
3	Unité 7 L25	中性代名詞 y, en
4	・ Unité 7 L26	中性代名詞 le、所有代名詞
5	Unité 7 L27	代名動詞の現在形、複合過去形
6	・ Unité 7 L27	疑問代名詞
7	Unité 8 L29	半過去形、大過去形
8	・ Unité 8 L30	受動態、指示代名詞、非人称構文
9	・ Unité 8 L31	現在分詞、ジェロンディフ
	・ 文法補足	
10	文法補足	前置詞 + 関係代名詞
11	Unité 9 L33	単純未来形、前未来形
12	・ Unité 9 L34	条件法現在、条件法過去
	・ 文法補足	
13	・ Unité 9 L35	直接話法、間接話法
	・ 文法補足	
14	期末試験	・ 筆記試験 ・ 答え合わせ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業準備の時間は各回 1 時間以上を標準とします。

授業で扱った練習問題の復習、および教科書の各授業前に文法事項をしっかり予習をしておいてください。

【テキスト（教科書）】

・『Le Nouveau Taxi 1!』, Hachette, 2009

・斎藤昌三『フランス語トレーニング・コース』、白水社、2003

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

平常点 50 %、期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】

特に難しい文法事項に関しては説明を繰り返すようにします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course is designed for beginners who are learning basis French grammar.

【Learning Objectives】

Especially at the end of this course, students are expected to a good reading of the French text.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be based on the following.
term-examination :50% and in class contribution:50%.

LANf200LA

フランス語 8

2017 年度以降入学者

PHILIPPE JORDY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法と初歩的な会話の復習・予習

【到達目標】

SA 先フランスの準備講座です。基礎文法と初歩的な会話の復習・予習を徹底し、留学先で困らないようしっかり最大限の準備をします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

前年度と同じテキストを使用し、同様の教授法で行いますが、学習速度はスピードアップし、語彙・慣用表現を増やし、自己表現に重点をおきます。LL 教室を使用します。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMS などを活用する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Orientation Unité 6 L23	授業の紹介 提案
②	Unité 6 L24	面接の準備
③	Unité 7 L25	趣味、頻度、程度
④	Unité 7 L26	意見、異議
⑤	Unité 7 L27	休暇、趣味、助言
⑥	Unité 7 L28 Savoir-faire	フランス人のバカンス Unité 7 の応用編
⑦	Unité 8 L29	近接過去、過去の習慣
⑧	Unité 8 L30	過去の出来事、過去の状況 中間テスト
⑨	Unité 8 L31	時間の表現、目的
⑩	Unité 8 L32 Savoir-faire	フランスの象徴 Unité 8 の応用編
⑪	Unité 9 L33	天気予報、可能性
⑫	Unité 9 L34	未来、計画
⑬	Unité 9 L35	条件、意図
⑭	Unité 9 L36	未来、結果 最終テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

徹底的な予習と復習が不可欠 (SA フランス・西部カトリック大学の Cidef プログラムの準備として)。本授業の準備・復習時間は、2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学生はすでに Le Nouveau Taxi 1 を持っています。

【参考書】

仏和辞典が必要です。4 年間の語学期間がありますので、できれば、本の形で。

(例. Le Dico, 白水社)

【成績評価の方法と基準】

テスト（2 回以上）：50%

宿題：25%

参加度（積極性）：25%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

発音や語彙についての練習をさらに強化します。

【学生が準備すべき機器他】

LL 教室ですが、パソコンや録音機の持ち込みは構いません。

【その他の重要事項】

原則として対面授業となりますが、数回のオンライン・オンデマンド授業の可能性があります。

【None】

none

【Outline (in English)】

French for beginners (3rd semester). This course is focused on developing basic written or oral communication skills in French. It is aimed at students of the Study Abroad program in France. It prepares directly to the A1/A2 level of French proficiency tests.

Depending on the tasks involved, homework preparation will range from one to three hours.

The grading criteria are as follows : intermediate and final tests (50%), in class contribution (25%), homework assignment (correction in class or on the LMS system) : 25%.

LANf200LA

フランス語 3 - I

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話文を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1 年次に終了した文法事項等の確認
第 2 回	1 課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第 3 回	1 課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第 4 回	2 課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞 qui, que
第 5 回	2 課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第 6 回	3 課 ベルシー・ヴィラー ジュを訪れる	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 関係代名詞 <i>dont, où</i>
第 7 回	3 課 ベルシー・ヴィラー ジュ	文法の練習問題 文章読解
第 8 回	4 課 ルイ・ヴィトン財団美 術館を訪れる	会話文の音読と和訳 文法の復習 疑問代名詞
第 9 回	4 課 ルイ・ヴィトン財団美 術館	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	5 課 電話をかける	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 条件法
第 11 回	5 課 フランスの電話 事情	文法の練習問題 文章読解
第 12 回	仏検 4 級をめざして 1	会話実践 文章読解
第 13 回	仏検 4 級をめざして 2	仏検 4 級の練習問題を解く
第 14 回	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。
事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

バリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）

副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他

文法事項の確認の為には、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。

また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %

期末試験の成績 (60%) により、評価します。

期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。

疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA

フランス語 3 - II

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】

(1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる

(2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める

(3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話文を理解したりすることが出来る

(4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第 2 回	第 6 課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第 3 回	第 7 課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第 4 回	第 7 課 世界文化遺産の街ディジョン	文法の練習問題 文章読解
第 5 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第 6 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理	文法の練習問題 文章読解
第 7 回	第 9 課 ボースに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第 8 回	第 9 課 世界文化遺産の街ボース	文法の練習問題 文章読解
第 9 回	第 10 課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	第 10 課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第 11 回	4 級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第 12 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 13 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 14 回	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。
事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）（フランス語 3-I の教科書を継続使用）
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和辞典」（旺文社）他
文法事項の確認の為には、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %
期末試験の成績 (60%) により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA

フランス語 3-I

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検 3 級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

最初の 6 回は文法の未習箇所を勉強します（昨年の方の文法の教科書を持参してください）。それぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。7 回目からは講読の授業です。指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション。	授業の進め方。単純未来、中性代名詞。
第 2 回	文法（1）。	中性代名詞。
第 3 回	文法（2）。	半過去。
第 4 回	文法（3）。	受動態、現在分詞、ジェロンディフ。
第 5 回	文法（4）。	条件法現在。
第 6 回	文法（5）。	接続法現在。
第 7 回	講読（1）。	テキスト第 1 課を読む。
第 8 回	講読（2）。	テキスト第 1 課を読む。
第 9 回	講読（3）。	テキスト第 2 課を読む。
第 10 回	講読（4）。	テキスト第 2 課を読む。
第 11 回	講読（5）。	テキスト第 4 課を読む（第 3 課は飛ばす）。
第 12 回	講読（6）。	テキスト第 4 課を読む。
第 13 回	講読（7）。	テキスト第 5 課を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「マ・グラメール」（昨年の方の教科書）
「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 点、平常点 50 点の合計点で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

テキストをより新しいものに代えました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEICのスコアも975点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short reports : 25%, in class contribution: 25 %

LANf200LA

フランス語 3-II

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検3級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テキストを読み進めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講読（1）。	テキスト第5課を読む。
第2回	講読（2）。	テキスト第6課を読む。
第3回	講読（3）。	テキスト第6課を読む。
第4回	講読（4）。	テキスト第7課を読む。
第5回	講読（5）。	テキスト第7課を読む。
第6回	講読（6）。	テキスト第8課を読む。
第7回	講読（7）。	テキスト第9課を読む。
第8回	講読（8）。	テキスト第10課を読む。
第9回	講読（9）。	テキスト第11課を読む。
第10回	講読（10）。	テキスト第12課を読む。
第11回	講読（11）。	テキスト第13課を読む。
第12回	講読（12）。	テキスト第14課を読む。
第13回	講読（13）。	テキスト第15課を読む。
第14回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくること。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 点、平常点 50 点の合計点で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

テキストをより新しいものに代えました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEICのスコアも975点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short reports : 25%、in class contribution: 25 %

ARSa200LA

フランス語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は「フランス語」を介して、フランスの世界的な広がりを知らせることを主たる目的とする。フランス語を話す人々の共同体や彼らの住む領域は、一般に「フランコフォニー（フランス語圏）」と呼ばれる。本授業ではそのような（フランス共和国を含めた）広い地域をも対象としつつ、各地域圏・地域・国にどのような地理・歴史的背景、言語状況、各種の文化（歴史建造物、習慣、食生活など）が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、フランス語学習の基礎作りを行うだけでなく、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、春学期は主にフランス共和国本土の「地域圏」を単位として、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー（フランス語圏）の紹介を介して、フランス語の世界的な広がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてももらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

毎回の授業においてコメントシートを執筆・提出してもらい、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：国内の歴史、県・地域圏などの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国及びフランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	① Île-de-France	・イル＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

3	② Bretagne	・ブルターニュ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
4	③ Normandie	・ノルマンディー地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
5	④ Hauts-de-France	・オー＝ド＝フランス地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
6	⑤ Grand-Est	・グラン・テスト地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
7	⑥ Pays de la Loire	・ペイ・ド・ラ・ロワール地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
8	⑦ Centre-Val de Loire	・サントル＝ヴァル・ド・ロワール地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
9	⑧ Bourgogne-Franche Comté	・ブルゴーニュ＝フランシュ・コンテ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
10	⑨ Nouvelle-Aquitaine	・ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
11	⑩ Auvergne-Rhône-Alpes	・オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
12	⑪ Occitanie	・オクシタニー地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
13	⑫ Provence-Alpes-Côte d'Azur (PACA)	・プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏 (PACA) に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
14	⑬ Corse まとめ	・コルス地方公共団体に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など ・春学期授業のまとめ ・秋学期授業の予告: 世界のフランコフォニー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文（場合によっては各地域圏サイト）を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
- 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
- 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい（或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため。）
- 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点（特に引用の仕方、参考文献の書き方）について確りと学習しておいて欲しい。

本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

- I. 以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
- 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018 年、本体 2600 円＋税
- 2) ジャック・レヴィ編（土居佳代子訳）『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018 年、本体 2800 円＋税
- 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・バーロウ著（立花英裕監修・中尾ゆかり訳）『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008 年、本体 2400 円＋税
- 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012 年、本体 3400 円＋税

II. 以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。

- 5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France（フランス、地方を巡る旅）』駿河台出版社、2017 年、本体 1900 円＋税
- 6) 小松祐子、Gilles Delmaire 著『Destination francophonie: nouvelle édition（フランコフォニーへの旅：改訂版）』駿河台出版社、2019 年、本体 2300 円＋税

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。
- ①平常点（コメントシートなど）：30 %
- ②期末レポート：70 %

【学生の意見等からの気づき】

- ・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会的・文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

- ・フランス共和国、フランコフォニー、フランス語などに関する予備知識は、受講の前提条件とはしない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the french speaking world (la francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc): 30%, term-end report: 70%.

ARSA200LA

フランス語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は「フランス語」を介して、フランス的世界の拡がりを知ることとする。フランス語を話す人々の共同体や彼らの住む領域は、一般に「フランコフォニー (フランス語圏)」と呼ばれる。本授業ではそのような (フランス共和国を含めた) 広い地域をも対象としつつ、各地域圏・地域・国にどのような地理・歴史的背景、言語状況、各種の文化 (歴史建造物、習慣、食生活など) が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、フランス語学習の基礎作りを行うだけでなく、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、秋学期はフランス共和国本土以外の「地域圏」、そしてフランス共和国以外の「フランコフォニー」について扱い、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー (フランス語圏) の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

毎回の授業においてコメントシートを執筆・提出してもらい、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：フランス共和国外にある地域圏、フランコフォニーの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国外にある地域圏について簡単に紹介 ・フランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	カリブ海域の地域圏 Martinique et Guadeloupe	・カリブ海域の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

3	南米大陸の地域圏 Guyane française	・南米大陸の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
4	インド洋の地域圏 Réunion et Mayotte	・インド洋の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	太平洋の海外領土 Nouvelle-Calédonie	・太平洋の海外領土に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	北米大陸のフランス語圏① Québec (Canada)	・北米大陸カナダにおけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	北米大陸のフランス語圏② Louisiane	・北米大陸アメリカ合衆国におけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	北アフリカのフランス語圏① Algérie	・マグリブ中央部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	北アフリカのフランス語圏② Maroc et Tunisie	・マグリブ西部および東部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	サハラ以南のフランス語圏① Sénégal	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	サハラ以南のフランス語圏② Congo-Kinshasa et Congo-Brazzaville	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領およびベルギー領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	サハラ以南のフランス語圏③ Rwanda	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧ベルギー領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	ヨーロッパのフランス語圏① Belgique	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	ヨーロッパのフランス語圏② Suisse	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
	まとめ	・秋学期授業のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文 (場合によっては各地域圏サイト) を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
- 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
- 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい (或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため)。
- 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点 (特に引用の仕方、参考文献の書き方) について確りと学習しておいて欲しい。

本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

I. 以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。

- 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018 年。本体 2600 円＋税
 - 2) ジャック・レヴィ編 (土居佳代子訳)『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018 年。本体 2800 円＋税
 - 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・バーロウ著 (立花英裕監修・中尾ゆかり訳)『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008 年。本体 2400 円＋税
 - 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012 年。本体 3400 円＋税
- II. 以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。
- 5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス、地方を巡る旅)』駿河台出版社、2017 年。本体 1900 円＋税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophonie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅：改訂版)』駿河台出版社, 2019 年, 本体 2300 円＋税

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。
 - ①平常点（コメントシート等）：30 %
 - ②期末レポート：70 %

【学生の意見等からの気づき】

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会的文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

・フランス共和国、フランコフォニー、フランス語などに関する予備知識は、受講の前提条件とはしない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the french speaking world (la francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc): 30%,
term-end report: 70%.

LANf200LA

フランス語コミュニケーション (初級) I

2017 年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

原則として、教室における対面授業を予定しています。ただし、大学から対面授業方針の変更が伝えられた場合はこの限りではありません。また、東京および日本全国における感染拡大状況を考慮に入れつつ、教室で行う対面授業の回数とオンラインで行う遠隔授業の回数は学期開始後に調整します。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Parler d'un besoin	必要なことを言う
2	Saluer et se présenter	挨拶する
3	Excuser et s'excuser	謝る・許す
4	Téléphoner à un ami	友達に電話する
5	Téléphoner 2. Dans une entreprise	会社で電話する
6	Donner des instructions : au club de gym	指示を出す。スポーツセンターで
7	Donner des instructions : Dans un jardin public	指示を出す。公園で
8	Nier	否定する
9	Inviter, accepter, refuser : entre voisins	誘う・承諾する・断る 近所の人と
10	Inviter, accepter, refuser : au travail	誘う・承諾する・断る 会社で
11	Demander à quelqu'un de faire quelque chose	依頼する
12	Proposer	提案する
13	Parler de sa santé	自分の健康の話する

14 Révisions 復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Communication progressive du français - Niveau débutant 出版社：CLE International 作者：Claire Miquel ISBN：978-2-09-038445-1

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点 100 % (授業中の発言 50%及び宿題の提出 50 %)。この授業は 5 回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活の話をもっとします。

【学生が準備すべき機器他】

CD プレーヤー

【その他の重要事項】

感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goals of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following :

- In class contribution and participation : 50%

- Homework : 50%

LANf200LA

フランス語コミュニケーション (初級) II 2017 年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの 4 つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレイングをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMS などを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Parler de sa santé : Une jambe cassée	自分の健康についてはます。骨折した足
2	Parler de sa santé : Chez le médecin	自分の健康についてはます。病院で
3	Parler de ses goûts	自分の好き嫌いについて話す
4	Parler de son curriculum vitae	自分の履歴について話す
5	Demander et donner son opinion	意見を言う
6	Exprimer la surprise	驚きを表現する
7	Exprimer la certitude ou l'incertitude : entre deux mères	確実性を表現する お母さん同士
8	Exprimer la certitude ou l'incertitude : enquête policière	確実性を表現する 捜査
9	Décrire une personne	人の外見を説明する
10	Faire des compliments	賞賛する
11	Féliciter	祝福する
12	Consoler et encourager	慰める・励ます
13	Critiquer	批判する
14	Exprimer l'admiration	感嘆の気持ちを表現する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて、提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Communication progressive du français - Débutant 出版社：CLE International 作者：Claire Miquel ISBN：978-2-09-038445-1

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の発言 50%や宿題の提出 50 %）。この授業は 5 回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活をもっと話します。

【学生が準備すべき機器他】

CD プレーヤー

【その他の重要事項】

感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goals of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better of French grammar. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following :

- In class contribution and participation : 50%

- Homework : 50%

LANf200LA

時事フランス語 I

2017 年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

※定員制（30 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Ce cours a pour but d'aider les étudiants à améliorer la compréhension sur les sociétés, la politique et les médias francophones. L'accent est mis sur la communication orale et l'utilisation de vocabulaire spécialisé. En participant aux activités proposées, ils se familiariseront avec les sites Web francophones d'actualités.

【到達目標】

Les objectifs à atteindre diffèrent selon le niveau de départ de l'étudiant.e.

* Objectif d'apprentissage pour les faux-débutants et les apprenants au niveau intermédiaire : l'étudiante ou l'étudiant sera en mesure d'acquérir, à l'issue des deux semestres de « Jiji-Furansugo », une aptitude linguistique équivalente au niveau A2 du cadre européen de référence pour les langues ou au Futsuken jun 2 kyû.

** Objectif pédagogique pour ceux qui maîtrisent déjà plus ou moins bien la langue française (les apprenants au niveau supérieur ainsi que les étudiants internationaux francophones) : l'étudiante ou l'étudiant sera capable de formuler des commentaires pertinents qui témoignent d'une compréhension solide des enjeux locaux et mondiaux traités par les médias francophones.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

À chaque séance de cours, l'enseignant propose des matériels disponibles sur internet. Les apprenants seront invités à en dégager les éléments essentiels. Pour ce faire, ils ont le droit de consulter les ouvrages et les dictionnaires rédigés dans leur première langue (langue dite "maternelle") respective. Tous les participants doivent néanmoins s'exprimer en langue française, et contribuer à analyser ce qui se dit dans le matériel.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	Pourquoi vous inscrire au cours « Jiji-Furansugo » ?	Exposer l'intérêt de cours ; engager une conversation dans un français simple; Devinettes sonores - les transports; Nos langues et le français
Séance 2	Présenter le planning du semestre	Devinettes sonores - des sons étranges; Nadine se présente.

Séance 3	Entamer une conversation en français; Les symboles de la République française	« Le métro : avec qui ? » ; « Ici, en République »
Séance 4	Parler avec un étudiant étranger; Mondialisation et produits « made in France »	« Les catacombes : avec qui ? » ; « Nous allons vivre à la française »
Séance 5	Connaître le monde francophone; s'intéresser à la mode de vie française.	« En terrasse : avec qui ? » ; « Guadeloupe, couleurs Caraïbes »
Séance 6	Culture Hip-hop et le français; manger c'est important.	« La brasserie Mollard : avec qui ? » ; « Youtubeurs et engagés »
Séance 7	Découvrir une architecture à Paris; Namur, c'est où ?	« L'église Saint-Eustache : avec qui ? » ; « La maison »
Séance 8	Que veulent dire les titres d'un journal ? ; Comprendre les différentes fonctions dans un monde professionnel - journalisme	« Les titres du journal (2 janvier 2019) » ; « Les professions »
Séance 9	Expressions typiques dans une émission d'information (rejoindre, l'Une, etc.); Région Rhône-Alpes	« Les titres du journal en français facile du 04 février 2019 » ; « Grammaire : le présent de l'indicatif »
Séance 10	S'intéresser aux régions du monde que vous ne connaissez pas bien (Asie du sud, etc.) ; Vocabulaire informatique	« Les titres du journal en français facile du 1er mars 2019 » ; « Comment stopper la haine sur les réseaux ? »
Séance 11	Rwanda, Palestine et Paris Saint-Germain; égalité des genres	« Les titres du journal en français facile du 07 avril 2019 » ; « Droits des femmes : à quand l'égalité ? »
Séance 12	Festival de Cannes ; Canada et coronavirus	« En direct de la Croisette » ; « Canada : la pandémie aggrave la crise sociale »
Séance 13	Regarder le Japon de l'extérieur; Guerres au Moyen-Orient	« Être jeune à Damas » ; « Destination Japon »
Séance 14	Crise sanitaire mondiale; mobilisation des citoyens	« L'évolution du coronavirus » ; « Des bénévoles mobilisés au Maroc »

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) Essayez d'exploiter vous-même le matériel pédagogique dont les adresses URL sont d'ores et déjà indiquées dans le Tableau de bord pour Jiji-Furansugo. <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1dU6ltm5to96nAp7FNHAVAehjQHwkfBLFzVXmd8pn3CM/edit?usp=sharing> (accessible uniquement aux étudiant.e.s Hôsei)
- 2) Selon les Normes pour la création d'universités, le temps minimum de préparation et de révision requis pour obtenir deux crédits pour un cours ou un séminaire est de quatre heures par session.

【テキスト（教科書）】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>
2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

【参考書】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
 2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
 3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
 4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
 5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)
- Nota Bene : L'accès hors campus à ces bases de données requiert une connexion via un réseau virtuel privé (« VPN » en anglais). Consultez le site Web du service informatique de Hôsei pour savoir comment vous connecter au VPN universitaire. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

【成績評価の方法と基準】

L'évaluation se fait en contrôle continu. À chaque séance, elle sera effectuée sur deux éléments : assiduité (45%) et participation active en cours (45%). L'investissement de l'étudiant.e pendant le semestre ainsi que les remarques sur les fautes commises par l'enseignant seront toujours les bienvenues et prises en compte en notation (10%).

【学生の意見等からの気づき】

Une connexion internet stable et illimité ainsi qu'un support informatique personnalisé comme ordinateur, tablette ou smartphone sont nécessaires. On utilise deux plateformes (« LMS » en anglais) dont (1) Google Classroom sert principalement à partager les documents et que (2) les apprenants peuvent consulter une partie de notation sur le site Hoppii. En cas de cours en distanciel, on se servira de systèmes de visioconférence comme Zoom ou Google Meet pour assurer la continuité de l'enseignement.

【学生が準備すべき機器他】

La connexion internet stable et illimité ainsi qu'un support informatique personnalisé comme ordinateur, tablette ou smartphone sont nécessaires. On utilise deux plateformes (« LMS » en anglais) dont (1) Google Classroom sert principalement à partager les documents et que (2) les apprenants peuvent consulter une partie de notes sur le site Hoppii. En cas de cours en distanciel, on se servira de systèmes de visioconférence comme Zoom ou Google Meet pour assurer la continuité de l'enseignement.

【その他の重要事項】

- 1) 【「難しそうだし…」とこの科目の受講を迷っている方へ：プレイスメント・テスト】 Si vous n'êtes pas sûr de votre niveau linguistique, essayez de passer un « test de placement » au niveau A1 sur le site Web de la RFI URL <https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1> Inscrivez-vous à ce cours si vous pouvez répondre correctement à plus de la moitié des questions.
- 2) Le planning communiqué ci-dessus est encore sujet à évolution.

【Outline (in English)】

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Outline and objectives

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

【到達目標】 Goal

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyû.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

【授業の進め方と方法】 Method(s)

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Work to be done outside of class (preparation, etc.)

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo. <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1dU6ltm5to96nAp7FNHAVAehjQHwKfBLFzVXmd8pn3CM/edit?usp=sharing> (available only to Hosei students)

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

【参考書】 References

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)

2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)

3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)

4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)

5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

【成績評価の方法と基準】 Grading criteria

Evaluation is done on a continuous basis. At each session, it will be carried out on two elements: attendance (45%) and active participation in class (45%). The student's investment during the semester as well as remarks on mistakes made by the teacher will always be welcome and taken into account in the grading (10%).

【学生の意見等からの気づき】 Changes following student comments

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can check some scores on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

【学生が準備すべき機器他】 Equipment student needs to prepare

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

【その他の重要事項】 Others

1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.

2) The above schedule is still subject to change.

LANf200LA

時事フランス語Ⅱ

2017 年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Ce cours a pour but d'aider les étudiants à améliorer la compréhension sur les sociétés, la politique et les médias francophones. L'accent est mis sur la communication orale et l'utilisation de vocabulaire spécialisé. En participant aux activités proposées, ils se familiariseront avec les sites Web francophones d'actualités.

【到達目標】

Les objectifs à atteindre diffèrent selon le niveau de départ de l'étudiant.e.

* Objectif d'apprentissage pour les faux-débutants et les apprenants au niveau intermédiaire : l'étudiante ou l'étudiant sera en mesure d'acquiescer, à l'issue des deux semestres de « Jiji-Furansugo », une aptitude linguistique équivalente au niveau A2 du cadre européen de référence pour les langues ou au Futsuken jun 2 kyû.

** Objectif pédagogique pour ceux qui maîtrisent déjà plus ou moins bien la langue française (les apprenants au niveau supérieur ainsi que les étudiants internationaux francophones) : l'étudiante ou l'étudiant sera capable de formuler des commentaires pertinents qui témoignent d'une compréhension solide des enjeux locaux et mondiaux traités par les médias francophones.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

À chaque séance de cours, l'enseignant propose des matériels disponibles sur internet. Les apprenants seront invités à en dégager les éléments essentiels. Pour ce faire, ils ont le droit de consulter les ouvrages et les dictionnaires rédigés dans leur première langue (langue dite "maternelle") respective. Tous les participants doivent néanmoins s'exprimer en langue française, et contribuer à analyser ce qui se dit dans le matériel.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	Pourquoi vous inscrire au cours « Jiji-Furansugo » ?	Exposer l'intérêt de cours ; engager une conversation dans un français simple; Devinettes sonores : les animaux; Les langues de la classe (atelier 2 - français langue maternelle)
Séance 2	Présenter le planning du semestre	Devinettes sonores : les lieux; Sous le ciel de Paris - Zaz

Séance 3	Entamer une conversation en français; jouer au journaliste en classe	« La mode : avec qui ? » ; « Flash infos (12/16) »
Séance 4	Parler avec un étudiant étranger; s'interroger sur les stéréotypes	« Le fromage : avec qui ? » ; « Un travail d'homme et de femme »
Séance 5	La vie à l'école - Cantine; parler avec une étudiante étrangère	« Les puces : avec qui ? » ; « À table (10/16) »
Séance 6	Parler du quotidien avec des mots simples; comment mange-t-on le midi ?	« La Poste : avec qui ? » ; « Les Français à table »
Séance 7	Raisonnement par analogie; Connaître le monde francophone	« Faire un portrait chinois de la Joconde » ; « Nous nous informons en français »
Séance 8	Danse et combat; profiter d'une visite guidée dans un monument architectural	« Un fan de capoeira » ; « Le Paris des grands magasins »
Séance 9	Cultiver des légumes dans un jardin; essayer de comprendre les gros titres d'une émission d'information	« Les titres du journal (11 novembre 2020) » ; « Un potager de champion »
Séance 10	Vocabulaires de base pour le journalisme politique (referendum, etc.); Le numérique à Abidjan	« Les titres du journal (01 juillet 2020) » ; « La presse et les médias »
Séance 11	Vaccinations contre le Covid-19; Construire des maisons en Afrique	« Les titres du journal (2 décembre 2020) » ; « Burkina Faso : des toits en terre »
Séance 12	Armée française et soldats africains; Populisme au Brésil	« Rendre justice aux tirailleurs sénégalais » ; « Manifestations anti-confinement à Rio »
Séance 13	Connaissez-vous le rodéo ?; La Macédoine et Albert Londres	« « Yi ha ! » » ; « Destination Les Balkans »
Séance 14	Hydroxychloroquine et George Floyd; Politique de puissance ou démocratie entre les peuples ?	« Les titres du journal (3 juin 2020) » ; « La procédure de nomination du secrétaire général de l'ONU »

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) Essayez d'exploiter vous-même le matériel pédagogique dont les adresses URL sont d'ores et déjà indiquées dans le Tableau de bord pour Jiji-Furansugo. <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1dU6ltn5to96nAp7FNHVAEhJQHwkbLFzVXmd8pn3CM/edit?usp=sharing> (accessible uniquement aux étudiant.e.s Hôsei)
- 2) Selon les Normes pour la création d'universités, le temps minimum de préparation et de révision requis pour obtenir deux crédits pour un cours ou un séminaire est de quatre heures par session.

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo. <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1dU6ltm5to96nAp7FNHAVAehjQHwkfBLFzVXmd8pn3CM/edit?usp=sharing> (available only to Hosei students)

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

【テキスト (教科書)】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>
2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

【参考書】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Nota Bene : L'accès hors campus à ces bases de données requiert une connexion via un réseau virtuel privé (« VPN » en anglais). Consultez le site Web du service informatique de Hôsei pour savoir comment vous connecter au VPN universitaire. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

【成績評価の方法と基準】

L'évaluation se fait en contrôle continu. À chaque séance, elle sera effectuée sur deux éléments : assiduité (45%) et participation active en cours (45%). L'investissement de l'étudiant.e pendant le semestre ainsi que les remarques sur les fautes commises par l'enseignant seront toujours les bienvenues et prises en compte en notation (10%).

【学生の意見等からの気づき】

Depuis quelques années, il y a de plus en plus de personnes qui s'inscrivent à ce cours pour qui la langue japonaise n'est pas nécessairement la langue qu'ils maîtrisent le mieux. La plupart d'entre eux n'éprouve pas de difficulté pour la communication orale en japonais, alors que la langue écrite peut parfois leur poser des problèmes. C'est pourquoi je propose le français non seulement comme « langue cible » (celle que l'étudiant.e souhaite apprendre) mais aussi comme « langue médiatrice » (celle qu'on utilise en classe).

【学生が準備すべき機器他】

Une connexion internet stable et illimitée ainsi qu'un support informatique personnalisé comme ordinateur, tablette ou smartphone sont nécessaires. On utilise deux plateformes (« LMS » en anglais) dont (1) Google Classroom sert principalement à partager les documents et que (2) les apprenants peuvent consulter une partie de notation sur le site Hoppii. En cas de cours en distanciel, on se servira de systèmes de visioconférence comme Zoom ou Google Meet pour assurer la continuité de l'enseignement.

【その他の重要事項】

- 1) 「難しそうだし…」とこの科目の受講を迷っている方へ: プレイスメント・テスト Si vous n'êtes pas sûr de votre niveau linguistique, essayez de passer un « test de placement » au niveau A1 sur le site Web de la RFI URL <https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1> Inscrivez-vous à ce cours si vous pouvez répondre correctement à plus de la moitié des questions.
- 2) Le planning communiqué ci-dessus est encore sujet à évolution.

【Outline (in English)】

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 Outline and objectives

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

【到達目標】 Goal

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyû.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

【授業の進め方と方法】 Method(s)

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

【参考書】 References

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Note : Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

【成績評価の方法と基準】 Grading criteria

Evaluation is done on a continuous basis. At each session, it will be carried out on two elements: attendance (45%) and active participation in class (45%). The student's investment during the semester as well as remarks on mistakes made by the teacher will always be welcome and taken into account in the grading (10%).

【学生の意見等からの気づき】 Changes following student comments

In recent years, there are more and more people who enroll in this course for whom the Japanese language is not necessarily the language they are most comfortable with. Most of them have no difficulty in communicating orally in Japanese, while the written language can sometimes be a problem for them. That is why I propose French not only as a "target language" (the one the student wants to learn) but also as a "mediating language" (the one used in class).

【学生が準備すべき機器他】 Equipment student needs to prepare

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can check some scores on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

【その他の重要事項】 Others

- 1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.
- 2) The above schedule is still subject to change.

ARSA200LA

フランスの文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：フランスの映画

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これら様々な面について考えます。

フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々（フランス国籍を持つとは限りません）の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。

「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」、「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に付けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に付けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

誰でもが知っている大ヒット作、今では古典となったフランス映画の代表的作品、映画の歴史を創った作品、知る人ぞ知る映画などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。

教室での授業を予定していますが、状況によっては Zoom による遠隔授業もありえます。

いずれのやり方を取ったにせよ、皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	『アメリカ』1 2001 年の大ヒット作 パリという空間： モンマルトルからあちこちへ	空想に駆られる主人公： 他人の幸せのために
2	『アメリカ』2 なぜヒットしたか	空想から現実へ モンマルトルは理想郷？

3	『アメリカ』3 トットとカソヴィッ ツ	刑事とシャネル／監督と俳優
4	『太陽がいっぱい』1 名優アラン・ドロンの 主演のフランス・イタリ ア合作映画	このタイトルはどういう意味か。 誤訳かわざとか。邦題タイトルに ついて。
5	『太陽がいっぱい』2 格差と犯罪	金持ちの傲慢青年と貧しき悪の天 才青年。
6	『太陽がいっぱい』3 犯罪は「太陽の せい」？ 映画音楽	地中海の熱い太陽と哀愁の音楽。 映画を知らずとも音楽は聴いたこ とがある。
7	映画の始まり	世界初の映画上映：リュミエール 兄弟。 初期の映画：『月世界探検旅行』 『ファントマス』
8	ヌーヴェル・ヴァーグ 『勝手にしやがれ』1 ゴダールの代表作：原 題は「息切れ」	映画の「新しい波」 「邦題タイトルについて」その2
9	『勝手にしやがれ』2 おかしなカップル： ジャン＝ポール・ベル モンドとジーン・セ バーグ	これは犯罪映画か？
10	『勝手にしやがれ』3 モンパルナス	右岸のモンマルトルと左岸のモン パルナス シャンソンとジャズ
11	ヌーヴェル・ヴァーグ その2： トリュフォー	アントワヌ・ドゥワネルのシ リーズ
12	『女優マルキーズ』1 旅役者	ソフィー・マルソー演じる女優は アクロバットもこなす旅役者
13	『女優マルキーズ』2 ルイ 14 世の時代	太陽王の古典主義時代： モリエールとジャン・ラシーヌ
14	『女優マルキーズ』3 舞台上に死す	謎多き女優の生涯 ソフィー・マルソーとベルナ ール・ジロドー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人は AV ライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：モンマルトルについて調べる。
- 2：アメリカの行く様々な地域について調べる。
- 3：出演者の他の作品について調べる。
- 4：フランス人にとっての地中海はどのようなものかを考える。
- 5：「完全犯罪」は可能かを考える。
- 6：フランス人および他の国の人々にとってアラン・ドロンとはどのような俳優かを考える。
- 7：創世期の映画について調べる。
- 8：外国映画の邦題について考える。
- 9：『勝手にしやがれ』のどこが新しいのかを考える。
- 10：モンパルナスとモンマルトルの共通点と違いについて調べる。
- 11：トリュフォーやその他のヌーヴェル・ヴァーグの監督について調べる。
- 12：17 世紀の俳優について調べる。
- 13：17 世紀の古典主義作家について調べる。
- 14：出演者たちの他の作品について調べる。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書 0179
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡延治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

【Outline (in English)】

This course deals with various aspects of lives in France with the aide of movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to movie-makers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects, which we can find in films.

The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in the French society.

The students are expected to see a whole film, which we can see only partially during the class, and to make some researches on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

Final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA

フランスの文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：フランスの映画

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続いて、この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これら様々な面について考えます。フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々（フランス国籍を持つとは限りません）の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。

「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

21 世紀に入って大ヒットしたいかにもフランスらしい？映画、アメリカのミュージカルのアンチテーゼのようなミュージカル映画、そして戦時中に創られた不朽の名作、さらに演劇の人気ナンバーワンのヒーローの映画化作品などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。教室での授業もしくは Zoom による授業、あるいはその組み合わせによる授業を予定しています。

いずれのやり方を取ったにせよ、皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、	「ふたり」とはどんなひとたち？
	『最強のふたり』1：	
	2011 年のヒット作	
2	『最強のふたり』2：	パリの郊外とは？
	格差社会と移民	富裕層の多い区域は？
3	『最強のふたり』3：	「介護者」と「パートナー」：助
	北の海岸での出会い	ける人とお膳立てする人

4	『シェルブールの雨傘』1 フランスのミュージカル； 原題そのままの邦題は何を意味しているのか	誰もが聞いたことのあるミシェル・ルグランの音楽； 1960 年代のフランスの地方都市：やはり北の港町
5	『シェルブールの雨傘』2 フランスにとっての 1960 年代はじめ	アルジェリア戦争：様々な分断
6	『シェルブールの雨傘』3 Westside Story の向こうを張った？	「曖昧な」結末：雪のクリスマスでの再会と別れ
7	『天井桟敷の人々』1 1945 年の大作 19 世紀のパリの下町という空間	伝説的名優勢ぞろい 「犯罪大通り」
8	『天井桟敷の人々』2 庶民にとっての劇場	「言葉」の俳優とパントマイム役者
9	『天井桟敷の人々』3 カーニバルという空間	またしても「曖昧な」結末：追いかけても追いつけない悪夢
10	『おかしなおかしな訪問者』1 中世からのタイムスリップ。 ジャン・レノとクリスチャン・クラヴィエ共演	フランスのお笑い映画：フランス北部の中世と現代。名優たちの一人二役が見所
11	『おかしなおかしな訪問者』2 めでたしめでたしの結末？	お笑い映画の定番的な演出と筋書。終わったようで終わらない？
12	『シラノ』1： 17 世紀の实在の人物をモデルにした 19 世紀末の芝居	フランスのヒーロー人気ナンバーワン：剣にすぐれて弁もたつが、コンプレックスが恋を妨げる
13	『シラノ』2： 17 世紀の宮廷と社会状況	préciosité とアラスの包囲
14	『シラノ』3： 普遍的な価値	「型破り」と自己犠牲、「身を引く」美学

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人は AV ライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：フランス映画に関する一般的なイメージについてまとめる。
 - 2：フランスの社会階層について調べる。
 - 3：なぜ『最強のふたり』がヒットしたのか考える。
 - 4：「ミュージカル」とは何であるかまとめる。
 - 5：アルジェリア戦争について調べる。
 - 6：『シェルブールの雨傘』の結末を他の作品の結末と比べて、その意味合いについて考える。
 - 7：『天井桟敷の人々』が公開された 1945 年ごろのフランスの状況について調べる。
 - 8-9：19 世紀前半のパリについて調べる。
 - 10：『おかしなおかしな訪問者』で紹介されるフランスの中世と現代の生活について調べる。
 - 11：主人公を演じた俳優たちの経歴について調べる。
 - 12：『シラノ・ド・ベルジュラック』の主人公のモデルとなった 17 世紀の人物について調べる。
 - 13：17 世紀当時のフランスの宮廷や社会の状況について調べる。
 - 14：なぜシラノという人物が時代と国を超えて人々を惹き付けるのかを考える。
- 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書 0179

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.

『論文レポートの文章作法』古郡延治、有斐閣新書 C164

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A

その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

【Outline (in English)】

This course deals with a variety of aspects of lives in France with the aide of the movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to movie-makers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects which we can find in films.

The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, and to reflect on various problems in French society.

The students are expected to see a whole film, which we can see only partially during the class, and to make some researches on subjects concerning social or historical backgrounds of the film.

After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

Final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA

フランス生活文化論 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 18 - 19 世紀フランスの観光・風景・建築

河村 英和

開講時期: サマーセッション/Summer Session | 曜日・時限: 集中・その他/intensive・other courses

単位数: 2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、フランス語圏（フランスだけでなく、スイス、ベルギーも）の観光資源の歴史を学ぶ。山、海、森、川、湖、温泉といった自然風景のジャンル・地域別での観光リゾート地の派生、その発展期である 19 世紀から 20 世紀初頭（ベル・エポック期: 1880-1914）にかけて好まれた建築様式や、愛国的なナショナリズムの高揚とともに増加する偉人像・モニュメントの数々、最後に余暇の発想源でもあるロクス・アモエヌス（心地良い場所）や幸福な島々、そして表裏一体としてのカタストロフ（破壊的事象）的風景についても考える。

【到達目標】

フランスの観光リゾート地の派生・発展からみた文化史を、当時の社会思想を踏まえつつ、関連する芸術作品（絵画、文学、音楽、建築）の事例から理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。図像資料を紹介するためパワーポイントを使う。学期期間中、都内の美術館で開催されているフランス風景画展の見学を推奨する。意見や質問、提出物（リアクションペーパー）に対するフィードバックは、基本的に次の授業時間内に行うが、LMS などを活用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	フランス観光旅行のイメージと歴史的背景	イントロダクションとして、本講義のテーマであるフランス観光旅行の現状イメージを確認しつつ、その史的背景と全体像を概観する。
第 2 回	山へ	バルナツソス、ヴァントゥー山、プロヴァンスの山々
第 3 回	アルプスへ	シャモニーとモンブラン、グリオン、コー、レザン、モンタナ
第 4 回	レマン湖	著名人たちゆかりのレマン湖畔の町（ジュネーヴ、ローザンヌ、モントルー、ヴヴェ、ヴィルヌーヴ）
第 5 回	学外授業、展覧会見学	上野の国立西洋美術館収蔵のフランス風景絵画の見学を予定
第 6 回	田園・田舎・牧歌的風景	フェット・シャンペートル、ミルク小屋、スイス風シャレー、アルカション
第 7 回	森と岩	ファンテーヌブローの森とバルビゾン派、芸術家たちを惹きつけた岩場の風景

第 8 回	海へ：ノルマンディーとコート・ダジュール	芸術家たちの題材となった海の風景と海浜リゾート・ノルマンディーと冬の避寒・結核転地療養地から夏の海水浴リゾートへの転身するコート・ダジュール
第 9 回	水辺と温泉	画家の題材となった川辺の風景、温泉リゾート（スパ、ヴィシー、エヴィアン）
第 10 回	学外授業、展覧会見学	フランス風景に関する展覧会（於：新宿の SOMPO 美術館）の見学を予定
第 11 回	中世復興、歴史主義と折衷主義のパリ	文化財保護の誕生、中世趣味の流行（トゥルバドゥール様式絵画、ネオ・ロマネスク建築、ゴシック大聖堂の再評価）、古代ローマ風、ネオ・ルネサンス、ネオ・バロック建築で溢れる 19 世紀パリ大改造とグラン・ホテル
第 12 回	マリアンヌ、ジャンヌ、ヴィエルジュ	ナショナリズムが台頭する 19 世紀に、愛国のシンボルとして急増したマリアンヌ、ジャンヌ・ダルク、聖母（ヴィエルジュ）像について
第 13 回	国家の記念碑	ナポレオン像、偉人たちの墓、エッフェル塔など国家の威信をかけたモニュメント
第 14 回	楽園とカタストロフ	ロクス・アモエヌスとしての島々と破壊的事象（カタストロフ）の風景への関心

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

気になる（なった）ことを調べたり、授業で出てきた場所を、ゲールストリートビューで歩いてみる。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

毎講義ごとに資料を配布する。Hoppi のお知らせ欄を毎週更新しながら pdf 版を配信。

【参考書】

河村英和『観光大国スイスの誕生－「辺境」から「崇高なる美の国」へ』平凡社新書、2013 年

河村英和『タワーの文化史』丸善出版、2013 年

【成績評価の方法と基準】

授業参加で 30 点、レポート 70 点による総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語またはヨーロッパ言語を第 2 外国語としていない学生、フランスあるいはヨーロッパに行ったことのない学生も多く受講しており、随時ヨーロッパ文化の基礎知識から丁寧に説明する必要がある。

【その他の重要事項】

講義期間中に行う美術館見学は 2 種の展覧会（各講義 1 回分相当、合計 2 回分相当で、現地集合現地解散）があり、一部観覧料（1,000 円程度）の実費がかかる場合もあります。事情により展覧会見学に参加できない方には、代替レポート課題を授業中に指示します。

※定員は目安です。本授業は選抜は行いません。

履修を希望する学生は、履修登録期間中に学生自身で履修登録してください。

※日程は以下のとおりです。

8 月 1 日（月）3・4 限：第 1・2 回＜オンライン＞

8 月 2 日（火）3・4 限：第 3・4 回＜対面＞

8 月 3 日（水）3・5 限：第 5・6 回＜見学＋オンライン＞

8 月 4 日（木）3～5 限：第 7～9 回＜対面＞

8 月 5 日（金）3・5 限：第 10・11 回＜見学＋オンライン＞

8 月 6 日（土）3～5 限：第 12～14 回＜オンライン＞

【Outline (in English)】

【Course outline】 In this course, we will study the history of tourism in French-speaking countries (not only in France, but also in Switzerland, and Belgium), including the tourist spot in the different genres of the natural landscape: mountains, seas, forests, rivers, lakes, and hot springs. Finally, we will consider the origin of the leisure idea, as locus amoenus: the Fortunate Isles, until its antithesis: the catastrophic landscapes.

【Learning Objectives】 Understand the cultural history from the perspective of the derivation and development of tourist resorts in France with examples of related works of art (paintings, literature, music, architecture) based on the social ideas at that time.

【Learning activities outside of classroom】 Find out what you're curious about, or walk around the places you came up with in class on Google Street View. The standard preparation and review time for this class is 1 hour each.

【Grading Criteria / Policy】 Evaluation based on 30 percent for class participation and 70 percent for reports.

ARSA200LA

フランス生活文化論 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル: 古 (いにしえ) のフランス人のイタリア旅行

河村 英和

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「芸術の都パリ」という言い回しが普及する以前、ヨーロッパ人にとっての芸術の都はローマであり、ローマ留学を支援するフランス政府の権威ある奨学制度の「ローマ賞」は芸術家の登竜門だった。イタリア各地を旅したフランス人たちはその体験を数々の芸術作品 (絵画、彫刻、文学、音楽、建築) に反映させてきた。この授業では、おもに 18~19 世紀のフランス人たちがいかにイタリアの風景や芸術・文化に魅せられ、影響を受けていたかを、絵画、彫刻、建築、音楽、文学といった複数のジャンルから学んでゆく。

【到達目標】

フランス文化に多大なる影響を与えたイタリアの風景・芸術・建築を、フランス人芸術家 (文人、画家、彫刻家、建築家、作曲家) たちのイタリア滞在体験と関連作品を知ることによってその理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。図像資料を紹介するためパワーポイントを使う。意見や質問、提出物 (リアクションペーパー) に対するフィードバックは、基本的に次の授業時間内に行うが、LMS などを活用することもある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	18~19 世紀のフランス人がイメージする旅行先としてのイタリアとは?
第 2 回	理想郷 (アルカディア)	ローマ平原をモデルに理想風景を描くローマのフランス人画家たちとその作品
第 3 回	ローマの廃墟	ローマの廃墟に魅せられたフランス人芸術家たちとその作品
第 4 回	サド侯爵のイタリア	小説『ジュリエット、あるいは悪徳の栄え』で知られるサド侯爵が、イタリア旅行中に訪れたところと作品に生かされたスポット
第 5 回	ローマ平原とチョチャリア地方	ローマ平原とチョチャリア地方の風景と美しい民族衣装を描く 19 世紀のフランス人画家たちとその作品、この地を舞台にしたフランスオペラやバレエ
第 6 回	スタール夫人とスタンダールのイタリア	当時はイタリア観光ガイドブックのように読まれたスタール夫人の小説『コリンヌ』に描かれるローマとナポリ、『バルムの僧院』で知られるスタンダールのイタリア滞在中のオペラ通いやローマ散歩について

第 7 回	ヴェスヴィオ噴火とナポリの漁師	ヴェスヴィオ火山の噴火シーンを専門とするフランス人画家、オペールのオペラ『ボルティチの囁娘』、若きナポリの漁師を描くフランス人画家や彫刻家
第 8 回	デュマのナポリ	ナポリに滞在していたアレクサンドル・デュマの旅行記『コリッコロ』、歴史小説『寵愛された女性の思い出』など、数々の著作に描かれる当時のナポリとは
第 9 回	幸あるカンパーニア	イスキア、プロチダ、カプリ、ソレント、アマルフィの海浜風景と民族衣装の娘に魅せられたフランス人芸術家たちとその作品
第 10 回	ヴェネツィア	ジョルジュ・サンド、アルフレード・ミュセ、プルースト、レニエ、モネなど、水都ヴェネツィアに魅せられた文人・芸術家とその作品、オッフェンバックのオペラ『ホフマン物語』など
第 11 回	中世・ルネサンスの再発見ーローマ・フィレンツェ	ダンテやルネサンス時代のイタリア美術をテーマにしたフランス人による芸術作品、ベルリオーズのオペラ『ペンバヌート・チュッリーニ』など
第 12 回	ローマ賞とフランスのイタリア風建築	ローマ留学あるいはイタリア旅行経験のあるフランス人建築家がフランスに残したイタリア風建築について
第 13 回	ゾラ、ロマン・ロラン、ジイドのイタリア	エミール・ゾラ『ローマ』、ロマン・ロラン『ローマの春』、アンドレ・ジイド『背徳者』『法王庁の抜け穴』に描かれるイタリア (とくにローマ) とは
第 14 回	総括	過去の講義のテーマに沿った類似・追加事例を各自で紹介

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

気になる (なった) ことを調べたり、授業で出てきた場所を、グーグルストリートビューで歩いてみる。

【テキスト (教科書)】

毎講義ごとにプリント資料を配布する。オンライン授業のさいは、Hoppi のお知らせ欄を毎週更新しながら pdf 版を配信。

【参考書】

河村英和『イタリア旅行ー「美しい国」の旅人たち』中公新書、2011 年
河村英和『カプリ島ー地中海観光の文化史』白水社、2008 年
佐藤直樹編『ローマ (西洋近代の都市と芸術 1)』竹林舎、2013 年

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 点、レポートあるいは試験 70 点による総合評価

【学生の意見等からの気づき】

フランス語またはヨーロッパ言語を第 2 外国語としていない学生、フランスあるいはヨーロッパに行ったことのない学生も多く受講しており、随時ヨーロッパ文化の基礎知識から丁寧に説明する必要がある。

【その他の重要事項】

諸事情により、オンライン回と対面回の入替え変更 (対面 7 回の規程は保持) がありえます。

【Outline (in English)】

【Course outline】 Before the Paris reputation as the "City of Art" became widespread, the city of art for Europeans was Rome, and the "Prix de Rome", the prestigious scholarship system of the French government to support studying in Rome, was the gateway to become a great artist. French artists who have traveled through Italy have reflected their Italian experiences in their masterpieces (paintings, sculptures, literature, music, architecture). In this course, we will learn how French people of the 18th and 19th centuries were fascinated by and influenced by the Italian landscape, art and culture.

【Learning Objectives】 Understand the Italian landscape, art, and architecture, which had a significant influence on French culture, by learning about the experiences of French artists staying in Italy, with their related works of literature, painters, sculptors, architects, composers.

【Learning activities outside of classroom】 Find out what you're curious about, or walk around the places you came up with in class on Google Street View.

【Grading Criteria /Policy】 Evaluation based on 30 percent for class participation and 70 percent for reports.

ARSa200LA

フランス生活文化論 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：近代フランスの食文化

梶谷 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、19 世紀～20 世紀フランスの食文化を中心に、そのあり方を学びます。「フランスの食文化」という表現から、どのようなことをイメージするでしょうか。「華やか・おしゃれ」、あるいは「特別な日の料理」など様々な印象があると思いますが、実は、現代の私たちがフランス料理に対して持つイメージのルーツの多くは、近代のフランスにあります。空腹を満たす以上の価値を自国の食に見出していったフランス。なぜそうなったのか？ その背景を知って、フランス文化への理解を深めていきましょう。

【到達目標】

フランスの食文化について、歴史の流れとともに理解できるようになること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。映像資料も見ると予定です。

毎回授業後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。授業中に皆さんの意見を聞くこともありますので、小さなことだと思っても、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介。 日本においてフランスの食文化はどのように紹介されているかについても解説。
第 2 回	テーブルに「映える」料理	テーブルに「映える」料理はなぜ必要だったか？／宮廷料理について
第 3 回	「華やかな食卓」の特徴の変遷	「映える」料理から「味で魅せる」料理へ／18 世紀までの価値観と、19 世紀からの価値観
第 4 回	美食を支える背景	パリの美食を支えた市場／給仕の変化
第 5 回	「美食」は誰のものか：レストラン	「おいしい」が皆のものになる時代：レストラン興隆史
第 6 回	「美食」は誰のものか：「おいしい」の基準の誕生	「おいしい」を評価するということ：ガストロノミー（前編）
第 7 回	「美食」は誰のものか	「おいしい」の評価の変遷：ガス：情報が生み出す「美食」トロノミー（後編）

第 8 回	資料で見るフランスの 美食	フランスの美食についての映像資料を視聴し、その後感想等の意見をまとめてもらいます。
第 9 回	ディスカッション	第 8 回授業の映像資料についての感想や意見を全員に発表してもらいます。疑問に感じたことも互いに交換しましょう。
第 10 回	高級料理の変遷	ヌーヴェル・キュイジーヌの誕生と、その後
第 11 回	文化としての「郷土料理」	フランスにおける郷土料理の位置／郷土料理＝文化的遺産という視点の原点
第 12 回	映像資料で見るフランスの美食その 2	映像資料の視聴 (第 2 回) その後感想や意見を書く時間を設けます。
第 13 回	ディスカッション 2	第 12 回授業の映像資料の感想を中心に、全員で意見を交換しましょう。
第 14 回	まとめ・レポート作成の手引き	現代から見た、近代フランスの食文化の重要性／レポートの書き方案内

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。下記参考書のうち、①を読み切ること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料配布を行いません。資料はすべて Hoppii を通じての配信となります。授業中に使いますので、各自手元に用意の上出席してください。

【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。
- ②ジャン・ピエール＝ブーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017 年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑥ フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

【成績評価の方法と基準】

平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

【学生の意見等からの気づき】

講義形式であるため、授業中はどうしても教員から伝えることが多くなってしまうのですが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。今年度も継続していきたいと思いますので、コメントカードは、ぜひ存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードした PC、タブレット端末等を持参すること。接触機会を減らすため、教室内での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が 31 人を超過してしまった場合、定員が 30 人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to study the gastronomic culture of modern France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution(50%) and term-end report(50%).

ARSA200LA

フランス生活文化論 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：フランスの食文化史

梶谷 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、フランスの食文化史を学びます。「美食の国」として名高いフランスはどのようにその食生活を営んできたのでしょうか。古代からの料理術の変遷を中心に、歴史の動きと連動させながら学びます。後半には、日本がフランスの食に与えた影響についても触れてゆきます。

【到達目標】

フランスの食文化について理解を深めること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。

毎回最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。授業中に皆さんの意見を聞くこともありますので、小さなことだと思っても、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介／現在のフランス食文化の最前線についての解説
第 2 回	古代から中世まで	何をどのように食べてきたのか／香辛料について
第 3 回	ルネサンス	マナーの確立／イタリアとの関わり
第 4 回	17 世紀	グランド・キュイジーヌの誕生／「過剰」からの脱却と洗練
第 5 回	18 世紀	宮廷料理の最盛期／「豪華な料理」とは？
第 6 回	フランス革命～19 世紀初頭	「レストラン」とは何か／「ガストロノミー」の誕生／「スターシェフ」の出現
第 7 回	19 世紀後半～19 世紀末	19 世紀後半～世紀末のレストラン／現代フランス料理の基礎の時代
第 8 回	20 世紀初頭	第一次世界大戦とフランスの食文化／新しい「ガストロノミー」
第 9 回	20 世紀半ば	全国の美食を求めてーガストロノミーとツーリズム／「美食ガイドブック」の誕生
第 10 回	20 世紀半ば～20 世紀末	ヌーヴェル・キュイジーヌー健康と美食

第 11 回	日本食文化のフランス食文化への影響	美しさを求めるということ／日本的味覚の広がり
第 12 回	フランス食文化の日本食文化への影響	「洋食」誕生物語
第 13 回	まとめ・ミニディスカッション	「美食の国 フランス」のイメージはいかにして形成されたか／これまでの授業を受けての感想や意見の交換
第 14 回	レポート作成の手引き	レポート作成の手引きを行ないます。残った時間で、フランスの食文化に関わる映像資料を視聴します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。参考書のうち②を授業期間中に読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を紹介します。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しませんが、適宜、資料を主に Hoppii を通じて配信します。授業開始までに、各自手元に用意してください。

【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。
- ②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017 年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

【成績評価の方法と基準】

平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

【学生の意見等からの気づき】

講義形式であるため、どうしても教員から伝えることが多くなってしまうのですが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。今年度も継続していきますので、ぜひ、コメントカードを存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードした PC、タブレット等を持参すること。接触機会を減らすため、教室での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が 31 名を超えてしまった場合、定員が 30 人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to learn the historical background of the gastronomic culture of France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution(50%) and term-end report(50%).

LANr200LA

ロシア語 3 I

2017 年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法の学習を継続する（具体的には、動詞の完了体と完了体、関係代名詞および関係副詞）。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、動詞の「体」（完了体と完了体）、関係代名詞と関係副詞です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	名詞の性・数・格、動詞の時制、運動の動詞など
2	第 12 課：動詞の体のペア	ペア（完了体と完了体）の 3 パターン
3	第 12 課：動詞の体の意味	完了体の意味（動作の事実、継続・進行、反復、同時性など）／完了体の意味（動作の完了・結果、一回性・具体性、連続性など）
4	第 12 課：動詞の体と時制	完了体の過去形・現在形・未来形／完了体の過去形・未来形（非過去形）
5	第 12 課：動詞の体のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第 12 課：動詞の体の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第 12 課：動詞の体のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第 13 課：関係代名詞の変化（性・数・格変化）	関係代名詞の変化＝形容詞の硬変変化 A
9	第 13 課：関係代名詞の用法	二つの文の結合の仕方（主節と従属節の形成）
10	第 13 課：関係副詞	疑問詞から派生する関係副詞、二つの文の結合の仕方（守拙と従属節の形成）
11	第 13 課：関係代名詞・関係副詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳

12	第 13 課: 関係代名詞・関係副詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
13	第 13 課: 関係代名詞・関係副詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
14	期末試験	文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は 2 時間を標準とします。
ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。
辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20 %、期末試験 80 %。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（1 年次に学習した名詞の性・数・格を理解していないと、関係代名詞が分からない等）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。
日本語訳（翻訳）の作成を課する。
授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part1).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to learn the rest of the introductory grammar (perfective and imperfective verbs, relative pronoun and relative adverb), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content. Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

ロシア語 3 II

2017 年度以降入学者

木部 敬

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法を一通り終える（具体的には、数詞の用法、比較級と最上級、仮定法）。その上で、ロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、数詞の表現（個数・時間・年月日・年齢・値段）、形容詞・副詞の比較級と最上級、仮定法（過去・現在・未来）です。
文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「ロシア語 3 I」(春学期)の復習	動詞の完了体・完了体、関係代名詞・関係副詞
2	第 14 課: 個数詞と名詞の結合	個数詞一覧、個数詞（主格）と名詞の結合（1 + 単数主格 / 2 ~ 4 + 単数生格 / 5 ~ + 複数生格）
3	第 14 課: 時間の表現、年月日の表現	「何時（に）？」・「どのくらいの時間？」・「何日（に）？」・「何月（に）？」・「何年（に）？」・「何年何月何日（に）？」
4	第 14 課: 年齢の表現、値段の表現	「何歳？」・「いくら？」
5	第 14 課: 数詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第 14 課: 数詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第 14 課: 数詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第 15 課: 形容詞・副詞の比較級	合成比較級、単一比較級、比較の対象の表わし方
9	第 15 課: 形容詞・副詞の最上級	合成最上級、単一最上級、比較級を利用した最上級
10	第 15 課: 仮定法	仮定法 = 過去形 + б ы
11	第 15 課: 形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
12	第 15 課: 形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法の会話	会話文の音読・読解・暗唱

- 13 第 15 課：形容詞・副 日本語文のロシア語訳
詞の比較級と最上級お
よび仮定法のロシア語
作文
- 14 期末試験 文法問題、ロシア語文の日本語
訳、日本語文のロシア語訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は 2 時間を標準とします。

ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。

辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20 %、期末試験 80 %。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（名詞や形容詞の性・数・格を覚えていないと、数詞の表現や比較級・最上級は理解できない）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part2).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to finish learning the elementary grammar (use of numerals, the comparative and the superlative, subjunctive mood), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Befor/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content. Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

ロシア語 3 I

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語 1 と 2 で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひとつひとつ学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞、副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編〔2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可〕

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 % the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA

ロシア語ⅢⅡ

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	被動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）[2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA

ロシア語 3 I

2017 年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基本的な文法の学習を終え、かんたんなロシア語テキストの講読を行う。

【到達目標】

新聞やネットなどのロシア語短文にも挑戦できる力をつける。辞書を用いて読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキストを通じロシア語を読み、書き、そして簡単な会話ができるように、音読に力を入れます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 1	これまでの復習（運動の動詞、名詞の前置格、対格、生格）
2	復習 2	これまでの復習（名詞の与格と造格）
3	第 1 2 課 動詞の完了体、不完了体	完了体と不完了体の文法説明
4	第 1 2 課 動詞の体と時制	第 12 課の「体と時制」、テキストの解説と文法説明
5	第 1 2 課	会話の読解と練習問題の答え合わせ、文法の復習
6	第 1 3 課 関係代名詞、関係副詞	関係代名詞と関係副詞の文法説明
7	第 1 3 課	テキストと会話の読解
8	第 14 課 数詞と時間	文法：数詞と名詞の結びつき、個数詞と順序数詞を覚える
9	第 14 課 数詞と時間（年月日の表現、年齢の表現など）	年月日の表現、年齢の表現などの文法説明、テキストの読解
10	第 14 課 会話と練習問題	会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
11	第 15 課 比較級、最上級、仮定法	比較級、最上級、仮定法の文法説明
12	第 15 課 テキスト、会話、練習問題	テキスト、会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
13	春期の総復習	春期に学んだ範囲の総復習
14	春学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットなどを用いてロシア語に関する新聞・雑誌等の記事を読み、ロシア語だけでなく、ロシアのことに興味を持ちましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編 [2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可]

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40 %、
学期末試験 60 % の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read simple Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA

ロシア語 Ⅲ

2017 年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な文法を終えたので、配布するテキストの講読に入ります。
今まで学んだ文法を復習しつつ、より高度な文法事項を学びます。

【到達目標】

新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国
際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

辞書を用いてテキストの読みと訳を確実にできるようにするため、
多くのテキストを精読していきます。適宜小テストを行い、採点の
上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 1	春学期の復習（12 課～13 課）数 詞と順序数詞の復習
2	復習 2	春学期の復習（14 課～15 課）数 詞と順序数詞の復習・暗記
3	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
4	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
5	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説、形動詞について
6	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞現在と過去
7	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞の現在と過 去
8	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞過去単語尾 形について
9	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。副動詞について
10	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
11	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
12	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
13	秋学期の総復習	もう一度困難な文章などを復習す る
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語に関する新聞・雑誌等の記事に慣れ親しむ。ロシアのニュー
スや文化に関心を持つ。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて
1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40 %、
学期末試験 60 % の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire advanced Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read various Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA

ロシア語 4 I

2017 年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既習の初級文法を全面的に復習し、加えて未習の文法事項を学習する（特に、名詞・形容詞・所有代名詞の複数形の前置格・対格・生格）。また、標準的なロシア語の文章を読解する能力を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で理解を定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業となります

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の現在形、名詞の複数形、形容詞の性・数変化	動詞の現在形（第 1 変化）、男性名詞・女性名詞・中性名詞の規則的な複数形と不規則的な複数形、形容詞の性・数変化の 6 パターン（硬変化 A・硬変化 B・軟変化／混合変化 A・混合変化 B・混合変化 C）
2	名詞の前置格	名詞の前置格のパターン（単数形・複数形）、名詞の前置格の用法
3	形容詞・所有代名詞の前置格	形容詞・所有代名詞の前置格のパターン（単数形・複数形）
4	名詞・形容詞・所有代名詞の前置格	様々な形容詞・所有代名詞の前置格と様々な名詞の前置格の結合
5	動詞の現在形、名詞の対格	動詞の現在形（第 2 変化）、名詞の対格のパターン（単数形・複数形）、名詞の対格の用法
6	形容詞・所有代名詞の対格	形容詞・所有代名詞の対格のパターン（単数形・複数形）
7	名詞・形容詞・所有代名詞の対格	様々な形容詞・所有代名詞の対格と様々な名詞の対格の結合
8	名詞の生格	名詞の生格のパターン（単数形・複数形）、名詞の生格の用法
9	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格のパターン（単数形・複数形）
10	名詞・形容詞・所有代名詞の生格	様々な形容詞・所有代名詞の生格と様々な名詞の生格の結合
11	с я 動詞、動詞の過去形、形容詞の短語尾形	с я 動詞の現在形、動詞（с я 動詞も含む）の過去形、形容詞の短語尾形の作り方と用法
12	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化

13	所有代名詞と名詞の格変化	所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳（翻訳）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、1 回につき 2 時間を標準とする。
練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。

テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳（翻訳）を各自で提出しなければならない。

【テキスト（教科書）】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。

また、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、文法の知識と読解力を問う期末テスト 80 %。

平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part1).

The aim of this course is to review, in a short term, the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, the prepositional, accusative and genitive cases of nouns, adjectives and possessive pronouns in the plural) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

ロシア語 4 II

2017 年度以降入学者

木部 敬

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 1 単位

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既習の初級文法の復習を継続し、加えて未習の文法事項を学習する（特に、名詞・形容詞・所有代名詞の複数形の与格・造格）。また、標準的なロシア語の文章を読解する能力を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

書籍、新聞や雑誌、ネット上の文章から、最低限の情報を得ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業になります。

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	形容詞と名詞の格変化（復習）	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
2	所有代名詞と名詞の格変化（復習）	所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
3	名詞の与格	名詞の与格のパターン（単数形・複数形）、名詞の与格の用法
4	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格のパターン（単数形・複数形）
5	名詞・形容詞・所有代名詞の与格	様々な形容詞・所有代名詞の与格と様々な名詞の与格の結合
6	動詞の未来形、無人称文	動詞の合成未来形の作り方、無人称文の特徴、無人称文の現在形・過去形・未来形
7	動詞の命令形、否定の表現	動詞の命令形の 3 パターン、否定生格、「何も～ない」
8	名詞の造格	名詞の造格のパターン（単数形・複数形）、名詞の造格の用法
9	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格のパターン（単数形・複数形）
10	名詞・形容詞・所有代名詞の造格	様々な形容詞・所有代名詞の造格と様々な名詞の造格の結合
11	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）与格・造格への変化
12	所有代名詞と名詞の変化	所有代名詞と名詞（単数形・複数形）の（単数形・複数形）与格・造格への変化

13	形容詞・所有代名詞と名詞の格変化	形容詞・所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格・与格・造格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳（翻訳）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は 2 時間を標準とする。

練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならぬ、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならぬ。

テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳（翻訳）を各自で提出しなければならない。

【テキスト（教科書）】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。

また、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、文法の知識と読解力を問う期末テスト 80 %。

平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part2).

The aim of this course is to review the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, the dative and instrumental cases of nouns, adjectives and possessive pronouns in the plural) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Befor/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

ロシア語 4 I

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次のロシア語学習を終えた学生を対象とする授業です。既習の文法事項を復習してから、教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項を学びます。基礎文法をひとつおひと学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書やプリント教材を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習 (1)	格変化の復習 (名詞)
2	既習文法の復習 (2)	格変化の復習 (所有代名詞、形容詞など)
3	動詞 (1)	動詞関連の文法事項の確認
4	動詞 (2)	動詞の完了体・不完了体
5	複文 (1)	関係代名詞を含む複文の読解
6	複文 (2)	接続詞を含む複文の読解
7	数詞 (1)	数詞と時間の表現
8	数詞 (2)	年齢の表現など
9	数詞 (3)	年月日の表現
10	数詞 (4)	数詞を含むその他の表現
11	形容詞・副詞の比較級	形容詞・副詞の比較級
12	形容詞・副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級
13	仮定法	仮定法を用いた表現
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習しましょう。格変化形や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編〔2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可〕
その他、適宜プリント教材を配布します。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 % the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA

ロシア語 4 II

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。さまざまなテーマのテキストの読解を通して、既習の文法事項を復習しながら、未習の文法事項を学びます。ロシア語の文章に慣れ親しみ、基礎文法の応用レベルでの定着を目指します。また、学期の後半には視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。教材を通してロシアに対する理解を深めることも目的の一つです。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明と練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。視聴覚教材を用いる場合は、音読、書き取り、リスニングなどを行います。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法事項の確認	既習文法事項の確認
2	文章読解 (1)	副動詞が含まれる文章の読解
3	文章読解 (2)	能動形動詞が含まれる文章の読解
4	文章読解 (3)	被动形動詞が含まれる文章の読解
5	文章講読 (1)	歴史に関する文章を読む
6	文章講読 (2)	社会に関する文章を読む
7	文章講読 (3)	文化に関する文章を読む
8	文章講読 (4)	ロシアの昔話を読む
9	視聴覚教材 (1)	テキストの音読と書き取り
10	視聴覚教材 (2)	テキストの音読と書き取り
11	視聴覚教材 (3)	リスニングの問題に挑戦する
12	視聴覚教材 (4)	スキットのセリフを開き取る
13	まとめ	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業内で示される課題 (日本語訳等) は必ずやってくる。格変化や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』(法政大学ロシア語担当教員編) [2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』(改訂版) 白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to get used to Russian texts with various themes and master Russian basic grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA

ロシア語 5 I

2017 年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をととして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations and when traveling in Russia.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業ですが、オンライン学習アプリケーションの利用によって教育効果を高めるために数回リアルタイムオンライン授業も実施する予定です。オンライン授業のスケジュールは 3 回目の授業以降に決めて学習支援システムにて周知します。

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、授業時や学習支援システム経由で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	紹介：名前、出身、職業	リスニング、会話練習
2	家族の話	リスニング、会話練習
3	趣味	リスニング、会話練習
4	一日の流れ	リスニング、会話練習
5	一日の流れ（続き）	リスニング、会話練習
6	時間、スケジュール	リスニング、会話練習
7	国、言語、国籍	リスニング、会話練習
8	天気、季節	リスニング、会話練習
9	行ったことがある所	リスニング、会話練習
10	休暇の過ごし方	リスニング、会話練習
11	週の予定	リスニング、会話練習
12	好きな事、好きなもの	リスニング、会話練習
13	春学期の復習	リスニング、会話練習
14	春学期末テスト	（聴解・筆記）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

【テキスト (教科書)】

学習支援システムにてプリント教材を配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50 %、出席、宿題、授業への取り組み 50 %
Term-end examination: 50%, in class contribution (including homework and words test): 50%

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末 (PC やタブレットなど)、Zoom 授業になる場合に WiFi 通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更できます。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

As a learning activity outside of classroom there will be a homework assignment for each lesson to review the vocabulary covered in class and to listen. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria: term-end examination: 50%, in class contribution (including homework and words test): 50%

LANr200LA

ロシア語 5 II

2017 年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をととして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業ですが、オンライン学習アプリケーションの活用によって教育効果を高めるために数回リアルタイムオンライン授業も実施する予定です。オンライン授業のスケジュールは 3 回目の授業以降に決めて学習支援システムにて周知します。

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、課題内容によって授業時や学習支援システム経由や提出した課題につけたコメントのリンク送信などの方法で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	モスクワを歩く	リスニング、会話練習
2	私の街	リスニング、会話練習
3	お買い物	リスニング、会話練習
4	食べ物、お食事	リスニング、会話練習
5	家と部屋	リスニング、会話練習
6	映画	リスニング、会話練習
7	いつも通うところ	リスニング、会話練習
8	乗り物で行く	リスニング、会話練習
9	空港で	リスニング、会話練習
10	ロシアの年行事	リスニング、会話練習
11	ToDo リスト	リスニング、会話練習
12	電話、メール	リスニング、会話練習
13	秋学期の復習	リスニング、会話練習
14	秋学期末テスト	聴解・筆記

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

【テキスト（教科書）】

授業時および学習支援システムにてプリントを配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50 %、出席、宿題、授業への取り組み 50 %
Term-end examination: 50%, in class contribution (including homework and words test): 50%

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末（PC やタブレットなど）、Zoom 授業になる場合に WiFi 通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更できます。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

As a learning activity outside of classroom there will be a homework assignment for each lesson to review the vocabulary covered in class and to listen. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria: term-end examination: 50%, in class contribution (including homework and words test): 50%

LANr200LA

ロシア語 7

2017 年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（数詞、比較級・最上級、形動詞・副動詞）を学んでいき、ロシア語文法の基礎をひとつとおり完成させることになります。

【到達目標】

辞書があればロシア語の文章を読めるようになるレベルを目指すべく長文を読む機会を多くもうけ、文法の基礎力の充実と語彙力の増大に努めます。コミュニケーションの上でも、文法力と語彙力は不可欠です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項を練習問題を重ねつつ、学んでいきます。その後、ロシアの生活習慣や行事、文化をテーマとした長文の読解に入っていきます。ロシア語の文法、文章の構造を確認しながら読み進め、同時に、ロシアの文化についても知識を得て、読解の楽しさを味わいます。課題と小テストのフィードバックは次週の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第 2 回	数詞を使った表現	時間の表現、年月日の表現など数詞の使い方を学ぶ。練習問題とテキスト読解。
第 3 回	数詞、比較級	数詞の表現の復習。比較級の暗記、比較級を使った表現について。練習問題。
第 4 回	最上級、仮定法	比較級の復習。最上級と仮定法の概説。テキスト読解と練習問題。
第 5 回	副動詞	副動詞（完了体・完了体）の説明。練習問題。
第 6 回	副動詞と形動詞	副動詞の復習。形動詞（能動形動詞・現在、過去）の説明。
第 7 回	形動詞（受動形動詞現在）	能動形動詞（現在、過去）の復習。受動形動詞（現在）の説明。
第 8 回	形動詞（受動形動詞過去）	受動形動詞現在の練習問題と復習。受動形動詞過去の説明。
第 9 回	形動詞のまとめ	受動形動詞過去の確認と練習問題。
第 10 回	長文読解：ロシアの祝日について（1）	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 11 回	長文読解：ロシアの祝日について（2）	行事について知る文章の続き。副動詞、形動詞に着目して読む。
第 12 回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（1）	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら読んでいく。

- 第 13 回 長文読解: ロシア人の マナーや慣習について
 (2) 知る文章を文法、文の構造、語彙
 に留意しながら読んでいく。
- 第 14 回 学期末試験 ロシア語文法の総復習をかねて、
 試験を行う。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配付プリントの予習。適宜、課題も出すので必ず提出してください。
 また、長文読解に際しては、辞書を引く労を惜みずに「自分の単語帳」を作って語彙力の増大に励んで下さい。本授業の予習・復習時間は、1 回につき 1.5 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語教員 編）
 その他、教場で配付、もしくは学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】

和久利誓一 『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
 木村彰一 他編『博友社ロシア語辞典』博友社

【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、期末試験（25 %）、小テスト（25 %）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60 % 以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

習得に困難な文法事項を学び、文法の総仕上げをする授業となりますが、平易に教えるよう努めます。

【Outline (in English)】

● Coures outline

This course proceeds in close contact with course: Russian 8.
 In this course, we will acquire basics of Russian grammar: numbers, comparatives, superb, and participles.

● Learning objectives

With a dictionary, you will be able to read some level of Russian text. Improve the basics of grammar and increase vocabulary.

● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

● Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam (25 %) and quizzes (25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA

ロシア語 8

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 4/Thu.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基礎文法の学習を終えた人を対象にした授業です。練習問題を解きながら、これまでに学んだ文法事項を復習し、知識の定着をはかります。さらに基礎文法では学ばなかった文法事項の説明と練習も行います。また、そうした学習と同時に、最重要単語の習得も目指します。

【到達目標】

ロシア語の基礎文法だけでなく、基礎文法を学ぶ際には採り上げられることが少ない、細かい文法事項も習得すること。文法に関しては、ロシア語能力検定試験の 4 級・3 級レベルを軽くこなせる力をつけましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で単語テストを行います。授業は、基本的に、単語テスト、練習問題の答え合せと解説、あるいは未習の文法事項の説明と練習、というかたちで行います。また必要に応じて課題を課しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	格の用法 (1)	格の用法と形の復習
2	格の用法 (2)	格の用法と形の復習
3	形容詞と副詞	形容詞と副詞、比較級・最上級の復習
4	運動の動詞	定動詞／不定動詞の復習
5	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
6	動詞の体の用法	動詞の体の用法の復習
7	関係代名詞、関係副詞	関係代名詞、関係副詞の復習
8	能動形動詞	文法解説と練習
9	被動形動詞	文法解説と練習
10	被動形動詞短語尾形	文法解説と練習
	副動詞	
11	数詞を伴う表現	数詞を伴う表現の復習
12	時間表現	時間表現の復習
13	まとめ	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語テストの範囲については前の週の授業で指定するので、覚えておくようにしてください。授業内で提示される課題は必ずやっつけてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。
 『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）[2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
 露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. Through answering Russian practice exercises, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to master Russian basic grammar and increase vocabulary.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA

ロシア語 3 - I

2017 年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（動詞の体／関係代名詞／比較級・最上級）を学んでいき、ロシア語文法の基礎を完成させることになります。また、ロシア人と簡単なコミュニケーションがとれるレベルとなるでしょう。

【到達目標】

この授業では、数詞の表現、関係代名詞、仮定法、比較級を重点的に学ぶことで、ロシア語文法の基礎を固め、文法と読解の領域ではロシア語能力検定試験 3 級取得が可能なレベルに到達します。また、会話表現を身につけることで、ロシア語で自己紹介をしたり、簡単な日常会話ができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

一年次に終えていない文法事項を、練習問題を解いたり読解を行うことでしっかりと身につけます。その後、ロシア語の実用的な表現をまとめた教材を利用して、文法事項を定着させながら、口語表現を身につける反復練習とトレーニングをおこないます。予習が必須となりますが、その内容は授業内でフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業や教材について。
第 2 回	動詞の体と時制	一年次の文法の復習を実施。動詞の体（完了体、不完了体）と時制について概説、練習問題
第 3 回	完了体と不完了体	練習問題、テキスト読解
第 4 回	関係代名詞	関係代名詞の概説と練習問題
第 5 回	関係副詞、接続詞の用法	関係副詞、接続詞 что бы の概説、練習問題
第 6 回	関係代名詞、関係副詞、接続詞のまとめ	関係代名詞、関係副詞、接続詞の練習問題
第 7 回	数詞	個数詞と順序数詞の音読と筆記、反復練習
第 8 回	数詞と名詞の結合	数詞の小テスト、数詞と名詞の結合について概説、練習問題
第 9 回	数詞を使った表現	時間、年月日、年齢、値段の表現の概説と練習問題
第 10 回	比較級	比較級、比較の対象の表現の概説、練習問題
第 11 回	最上級、仮定法	最上級、仮定法の概説と練習問題
第 12 回	Немного о себе	自己紹介の定型文を覚えて実践する。自分について作文し、覚える。
第 13 回	Мой день	自分の 1 日のスケジュールを語る
第 14 回	学期末試験	ロシア語文法の確認と自己紹介の実践をかねた試験を実施。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1.5 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語教員 編）
他に、教場で適宜、教材のプリントを配付します。

【参考書】

博友社 ロシア語辞典（木村彰一編）

【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、期末試験（25 %）、小テスト（25 %）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60 % 以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

担当教員変更のためフィードバックできません。

【Outline (in English)】

● Course outline

In this course, learning new grammatical items (verb body/relative pronoun/ comparative/ superlative), We will complete the basic grammar of Russian. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian.

● Learning objectives

Learn the basics of Russian grammar and reach a level of the Russian Language Proficiency Test Level 3 in grammar and reading comprehension.

● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

● Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam(25 %) and quizzes(25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA

ロシア語 3 - II

2017 年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまでに学んだロシア語文法を踏まえて、日常を描写する実用的な表現のテキストを読み、日常の定型的な表現を覚えるトレーニングを行います。ロシア人と簡単な日常会話ができるようにします。

【到達目標】

街を歩いている時、買い物をする時、外食をする時、大学や施設の説明をする時など、日常で想定される様々な場面に応じた実用的な表現を身につけて、個別のケースで応用がきくようにします。ロシア人と簡単な日常会話ができるようになることが目標ですが、ロシア語運用能力としては、ロシア語能力検定試験 3 級レベル、T P K II 基礎レベル（CEFR A2）と同等の力を身につけ、本学の派遣留学制度（ロシア語圏）に合格できる力を獲得します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

日常で想定される様々な場面を描写したテキストを読み、記憶すべき表現をトレーニングして覚えていきます。定型文を使って自分のケースを作文し、次週までに暗記しましょう。次回の授業冒頭で簡単なチェックを行い、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	今後の授業について。 使用教材配付。ロシア語の動画視聴。
第 2 回	Д о м и к в а р т и р а 自分の家と近所について語る	自分の家と近所についての位置情報の表現を覚える。
第 3 回	Д о м и к в а р т и р а 自分の家と近所について語る	物や建物の位置情報の表現を覚える
第 4 回	В с у п е р м а р к е т е 食料品を買う	食料品の名称を覚える 買い物をする時の表現を覚える
第 5 回	В с у п е р м а р к е т е 食料品を買う	食料品、飲料品の数え方や単位を覚える
第 6 回	В у н и в е р м а г е 衣類を買う	デパートの売り場、商品、衣類の名称を覚える
第 7 回	В у н и в е р м а г е 衣類を買う	色、大きさ、形状の表現を覚える 価格の表現に慣れる
第 8 回	В к а ф е カフェで食事	料理やデザートの名称を覚える メニューの見方を知る
第 9 回	В к а ф е カフェで食事	注文の表現や料理について尋ねる 表現を覚える
第 10 回	В г о с т и н и ц е ホテルに泊まる	フロントでのやりとりの表現を覚える

第 11 回	В гостинице	ホテルの施設について覚えて語る ホテルに泊まる
第 12 回	В больнице	身体の一部、器官の名称を覚え、 病院で 病状を伝える
第 13 回	В больнице	コロナ禍により使われるようにな った表現を覚え、状況を説明す る
第 14 回	学期末試験	13 回の授業の内容を活かした試 験（筆記とロシア語口述）。まと めと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1.5 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まった教科書は使用しません。

教場、もしくは学習支援システムを通して教材のプリントを配付します。

【参考書】

『博友社 ロシア語辞典』（木村彰一 編）

【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、期末試験（25 %）、小テスト（25 %）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60 % 以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

担当教員変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

● Course outline

In this course, we will acquire basics of Russian grammar. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian.

● Learning objectives

Learn the basics of Russian grammar and reach a level of the Russian Language Proficiency Test Level 3 and TORFL-BL (CEFR A2).

● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

● Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam (25 %) and quizzes (25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

ARSA200LA

ロシアの文化と社会 LA

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

※定員制

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアに興味をもつ学生であれば、ロシア語を学習していなくとも履修できます。なお、SA ロシアの事前学習も兼ねるので、SA ロシアの 2 年生は必ず履修してください。ロシアは、峻厳で美しい自然、深く豊かな芸術（文学、音楽、美術、映画、アニメ、演劇、バレエ、建築など）に満ちた国、また、繊細で優美、神秘的でありながら素朴でパワフルという両極端な感覚に引き裂かれた、なんとも魅力溢れる国です。また、アジアとヨーロッパの文化的融合、社会主義から資本主義へのイデオロギー的・体制的移行、多民族の共生など、複雑で多面的な様相も興味深いものです。こうしたロシアのさまざまな側面を映像・レジュメ資料・概説を通して紹介していくのがこの授業ですが、これら多様な側面を統合して、ロシアの像を結んでいく作業を行うのはみなさん一人ひとりです。

【到達目標】

この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導くこと、そして教員が提起した問題に対して意見を短時間のうちに適切な文章でまとめる力をコメントシートを通して養うことも目的としています。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス：ロシアについて	ガイダンス。今日のロシア社会、地理的環境、歴史的キーワードなどを通してロシアの概略を示す。
第 2 回	モスクワ観光スポット（美術館、博物館、教会、劇場、世界遺産）	ロシアの首都モスクワ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、地下鉄、美術館、建築、観光スポットを紹介。
第 3 回	サンクト・ペテルブルクの名所（美術館、劇場、博物館、教会）	ロシア第 2 の都市サンクト・ペテルブルグ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、美術館、観光スポットを紹介。
第 4 回	民俗文化とロシア正教、国民の祝日	ロシア正教を国教とするロシア。その影響力は政治と結びついて大きなものとなっているが、キリスト教受容以前の異教との習合現象としての二重信仰の伝統もロシアに独特の文化を育んできた。異教、正教、社会主義というイデオロギーなど常に信仰の対象を抱き続ける信心深いロシア人の民俗文化やこれに基づく祝祭、宗教的行事、祝日について紹介。

第 5 回	ロシア・バレエの世界 1	バレエ・リュスからソ連時代のバレエ史に名を残すダンサー、そして現代の国際的ダンサーまで、ロシア・バレエの粋を紹介すると同時に、政治的に抑圧を受けたバレエ界の事象、亡命したダンサーについて概観。
第 6 回	ロシア・バレエの世界 2	前回の授業を踏まえて、政治とバレエの問題を考える。
第 7 回	ロシアの音楽：グリーンカ、チャイコフスキー、ムソルグスキー	ロシア・クラシック音楽の歴史を概観。グリーンカからムソルグスキーまでの音楽を、指揮者ゲルギエフ、国際的に活躍する現代ロシアのソリストのパフォーマンスを通して紹介。
第 8 回	ロシアの音楽：政治と音楽（ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ）	19 世紀末からロシア革命時の音楽を概観。また、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、ラフマニノフを通して音楽と政治の問題を考える。
第 9 回	ロシアの音楽：政治と音楽（テルミン、肋骨レコード）	反体制派と呼ばれたソリスト、抑圧された音楽について。
第 10 回	ロシア文学：イーゴリ軍記から 19 世紀前半	『イーゴリ軍記』における異教性、カラムジンの感傷主義、プーシキンのロマン主義とリアリズムの融合について。《余計者》の確立。
第 11 回	ロシア文学：19 世紀半ば～（ゴーゴリ、ドストエフスキー）	ゴーゴリのグロテスクな手法、《小さな人間》について、ドストエフスキーの超人思想、神人について。
第 12 回	ロシア文学：19 世紀後半～20 世紀（トルストイ、チェーホフ、アヴァンギャルド、フォルマリズム）	トルストイの「性愛・肉欲の否定」と聖愚者の賞揚。チェーホフの創作方法について。《異化》の概念について。政治と文学について。
第 13 回	ロシア文学：亡命作家から現代（ソルジェニーツィン、プロツキー、ベレーヴィン）／日本文学との影響関係	亡命作家を通して政治と文学の問題。検閲から自由になった現代作家の営みを概観。ロシア文学と日本文学との影響関係について。
第 14 回	民族問題とナショナリズムの歴史と現代の民族問題	ロシアの領土拡大とオリエンタリズムについて。ソ連時代の民族統合が現代に残した問題。チェチェン紛争、グルジア紛争、現代ロシアで高まるナショナリズム。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、AV ライブラリーの活用を勧めます。期末レポートの作成には 1 週間程度の時間が必要となります。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。教場で教員が作成する資料を配付します。

【参考書】

参考文献については教場もしくは学習支援システムで、随時、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (25%)、コメントシート (25%)、期末レポート (50%) として総合的に判断します。本授業の到達目標の 60% 以上を達成した学生は合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんとロシアの多様な魅力を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

【Outline (in English)】

● Course outline

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Tourist spots Moscow and Saint Peter's burg, Russian ballet, music and literature.

● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should to attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

● Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %), Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

ARs200LA

ロシアの文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

※定員制

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアの歴史、映画、アニメ、美術の領域からロシアの文化の多様性を見ていきます。本講義では映像資料を多用して概説を行います。多くの情報を統合してロシアの像をまとめていく作業は学生のみさん一人ひとりが行うことになります。

【到達目標】

この授業は、受動的に講義を受けたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張をまとめる力を養うことを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／ロシアの歴史 1：キエフルーシ、タタールの軋、イワン雷帝	ロシアの歴史：キエフルーシ、タタールの軋、イワン雷帝の治世について。
第 2 回	ロシアの歴史 2	ピョートル大帝、エカテリーナ女帝、大黒屋光太夫、祖国戦争について映像資料を交えて概観。
第 3 回	ロシアの歴史 3	農奴解放、近代化、テロリズム、日露戦争について映像資料を交えて概観。
第 4 回	ロシアの歴史 4	ロマノフ王朝の崩壊、ロシア革命、スターリニズムについて映像資料を交えて概観。
第 5 回	ロシアの歴史 5	雪解けから停滞へ、ベレストロイカ、チェルノブイリ原発事故、ソ連邦崩壊、新生ロシアまでを映像資料を交えて概観。
第 6 回	ソ連映画 1	映画黎明期からモンタージュ派（エイゼンシュテイン、ヴェルトフ）、文芸映画を鑑賞しつつ、とりわけ政治的背景と映画の手法について着目する。
第 7 回	ソ連映画 2	雪解け期から停滞の時代までに制作された文芸映画を、社会的背景、政治的体制、手法の観点から見ていく。

第 8 回 ソ連映画 3

第 9 回 ロシア映画 4

第 10 回 ロシア映画 5

第 11 回 ロシア・アニメ 1

第 12 回 ロシア・アニメ 2

第 13 回 ロシア美術 1

第 14 回 ロシア美術 2

反体制の烙印を押された監督（タルコフスキー、パラジャーノフ、イオセリアーニラ）の作家性、手法、映像美を堪能する。また、SF 映画を概観するとともに、ベレストロイカ期に多く制作された不条理作品、諷刺コメディを通して、政治と映画の問題を確認する。

検閲から自由になった映画として、芸術性と映像実験を重ねるソクーロフの作品、また、大国ロシアを再び謳い上げる戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状を概観する。前回に引き続き、戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状と傾向を概観する。

黎明期からプロバガンダ・アニメ、児童アニメ（タレーヴィチ、アタマノフ、ヒトルーク、カチャーノフ）の概説と作品の鑑賞。

アート・アニメ（ノルシュテイン、ペトロフらの作品）の概説と作品鑑賞。

イコン（聖像画）の機能について、移動派の活動、パトロンの役割について。

マレーヴィチ、カンディンスキー、シャガールの絵画について。ロシア・アヴァンギャルド期の建築について紹介。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の視聴には、AV ライブラリーの利用を勧めます。期末レポートの作成には 1 週間程度の時間を要することになります。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。教員が作成した資料を教場で配付するか、もしくは学習支援システムにアップします。

【参考書】

教場や学習支援システムで適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として、総合的に判断します。本授業の到達目標の 60%以上を達成した学生が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

今学期はロシアの歴史、映画が中心となりますが、時事的な話題もとりこみながら講義をおこないます。

【Outline (in English)】

● Course outline

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Russian history, and films, pictures and animations.

● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should to attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

● Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %), Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動 (1) 私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動 (2) 私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動 (3) 趣味について ④語彙導入 [1 課]
第5回	声をかける・挨拶をする (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1 課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする (2) 応用活動	①チェックテスト [1 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入 [2 課]
第7回	初対面の自己表現 (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト [2 課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■状態補語
第8回	初対面の自己表現 (2) 応用活動	①チェックテスト [2 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入 [3 課]
第9回	伝聞による話題について話す (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト [3 課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す (2) 応用活動	①チェックテスト [3 課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題: 作文	①コミュニケーション活動 (5) 伝聞による話題について話す ②課題作文: テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入 [4 課]
第12回	買物について話す: 基本語彙と表現	①チェックテスト [4 課語彙] ②■動詞文: 現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方
第13回	買物について話す: 応用活動	①チェックテスト [4 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (6) 買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験 [筆記]	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- ・ 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
- ・ 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同学社
- ・ 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記 + 口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

I interweave the basic knowledge I have learned in elementary level and review progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Project 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA

中国語ⅢⅡ

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [後半] ③語彙導入 [5 課]
第3回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課語彙] ②■確認 ■比較 [否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (2):天気について話す ④語彙導入 [6 課]
第5回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す [6 課]	③課題 (1) 課題作文について説明 ①チェックテスト [6 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (3) カフェでおしゃべり ④語彙導入 [7 課]
第7回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す [7 課]	③課題 (1) 提出 ①チェックテスト [7 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題 (1) を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題 (2) 課題 (1) をプレゼンテーション ②語彙導入 [8 課]
第10回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動 (4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入 [9 課] ③課題 (3) 中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する [9 課]	①チェックテスト [9 課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断 [肯定] ③課題 (3) ビア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト [筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト [筆記]

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- ・ 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
- ・ 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同学社
- ・ 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

* 上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

* 評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

祝 振媛

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語 1、中国語 2 で学習した内容を基礎とし中国語 1、次のステップへ進む。

Class outline

Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, go to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として 1 課を 2 回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト (約 25 分) 2) テキストの学習 (約 40 分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など (約 35 分)。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせで展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課 『北京に到着』	1 原因、結果の表現 2 動詞句主語
3	連動文 第一課 『北京に到着』	3 数字に関して 文法問題の演習
	本文暗唱	

4	第二課 『道を尋ねる』	1 動詞の完了表現 2 反復疑問文
5	疑問文の使い方 第二課 『道を尋ねる』	文法問題の演習/会話
	本文暗唱	
6	第三課 『買い物』	形容詞と比較の表現に関して 数量補語
7	第三課 『買い物』	文法問題の演習/会話
	本文の暗唱	
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課 『バスに乗る』	1 結果補語 2 人民元に関して
	1 名詞の修飾語 2 副詞に関して	
10	第四課 『バスに乗る』	文法問題の演習/会話
	本文の暗唱	
11	第五課 『新しい友達』	1 完了の「了」に関して 2 変化の「了」に関して
12	第五課 『新しい友達』	文法問題の演習/会話
	本文の暗唱	
13	第六課 『外食』	1 主述述語文 2 能願動詞
	1 経験に関する助詞 2 依頼に関する動詞	
14	第六課 『外食』	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認
	本文暗唱	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト (教科書)】

『2 年生のコミュニケーション中国語』

塚本慶一 劉穎 著

白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること (電子辞書可)

『ポイント学習中国語初級』東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 % とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

【Grading Criteria】

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1、中国語 2 で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・ 中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・ 基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture. 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として 1 課を 2 回の授業で進めていく。単語などの小テストを行う。新出単語・文法事項を確認しながら、本文の和訳、中訳、発音練習などを行う。毎回会話練習をする。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『約束』	「可～了」に関して 伝聞に関する動詞 能願動詞：打算
3	第七課 『約束』	文法、表現、語彙に関する練習/ 本文の暗唱 会話
4	第八課 『友達に電話 する』	使役文、兼語 方向補語
5	第八課 『友達に電話 する』	文法、表現、語彙に関する練習/ 本文の暗唱 会話
6	第九課 『郵便局』	方向補語の「到」 慣用句： 「如果～」

7	第九課 『郵便局』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
8	まとめ、復習	第七課～第九課の復習、勉強した 内容の確認
9	第十課 『医者に行き』 1 「有一点」に関して	1 能願動詞の「要」 2 一～就
10	第十課 『医者に行き』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
11	第十一課 『家庭訪問』 1 助動詞「用」 2 進行形	「就是」の使い方
12	第十一課 『家庭訪問』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
13	第十二課 『謝恩会』 可能補語	1 変化を表す「了」 2 「就要～了」
14	第十二課 『謝恩会』 本文の暗唱	第七課～第十二課の復習、勉強し た内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・付属の CD を繰り返し聴く。
・単語の意味を必ず事前に調べる。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。
語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。
Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.
Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『二年生のコミュニケーション中国語』
塚本慶一 劉穎 著
白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』 東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 % とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態、小テスト）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following
Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課（助動詞、主述	新出単語、本文音読練習、訳文。述語文の用法）
第 2 回	第 1 課（トレーニング 1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 2 課（“的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 2 課（トレーニング 2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 3 課（連動文、“是…的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 3 課（トレーニング 3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 1 課～第 3 課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第 8 回	第 4 課（“了”の 3 つの用法、副詞“就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 4 課（トレーニング 4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 5 課（様態補語、推量の表現、「假定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 5 課（トレーニング 5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 1 課～第 3 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 4 課、第 5 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	授業内試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しておこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 % を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年～火・2 限 周 重雷 1～3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年～水・4 限 青木 正子 1～3 級（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年～火・3 限 周 重雷 3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年～月・3 限 渡辺 昭太 3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年～水・3 限 岩田 和子 3～5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課（結果補語（1）、副詞“有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第 6 課（トレーニング 6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 7 課（存現文、主述句の主語、二つの“了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 7 課（トレーニング 7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 8 課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 8 課（トレーニング 8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 6 課～第 8 課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第 8 回	第 9 課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 9 課（トレーニング 9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（トレーニング 10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 6 課～第 8 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 9 課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年～火・2 限 周 重雷 1～3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年～水・4 限 青木 正子 1～3 級（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年～火・3 限 周 重雷 3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年～月・3 限 渡辺 昭太 3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年～水・3 限 岩田 和子 3～5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

黄 海萍

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語中級レベルの会話・読解力 UP をめざすための授業です。中国語の基礎を一通り学んだ学生を対象として、初級レベルの知識の確認及び定着を進めつつ、中国語に関する知識をさらに高度なレベルにまで引き上げることを目的とします。授業では楽しい会話文を学習すること及び中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語会話・読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び地理などに対する理解を深めることを目標とします。さらに、4 課ごとに復習として、中国語検定と HSK 形式の練習問題も取り入れる予定です。

【到達目標】

- 1、中級レベルの中国語を聞き取れるようになります。
- 2、中級レベルの中国語を話せるようになります。
- 3、中級レベルの中国語文章を読めるようになります。
- 4、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用できるようになります。
- 5、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、翻訳のスキルを身に付けるようになります。
- 6、様々な文章を吟味することを通して中国の文化・社会・歴史・地理への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は指定したテキストに従い、第 1 課から順次進めていきます。2 回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第 1～第 6 課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第 7～第 12 課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。

本授業は対面実施を基本としますが、第 1 週目（初回授業）はオンラインとなります。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、発音の復習	①ガイダンス②声調、単母音、複母音、発音のポイント、無気音と有気音、子音、声調の変化、発音のまとめ③小テストの例を示す
第 2 回	第 1 回 中国菜	関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	第 1 回 中国菜	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 4 回	第 2 回 中国的材料	第 1 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 5 回 第 2 回 中国的材料

第 6 回 第 3 回 中国的糕点

第 7 回 第 3 回 中国的糕点

第 8 回 第 4 回 中国的体育

第 9 回 第 4 回 中国的体育

第 10 回 第 5 回 中国的自然地理

第 11 回 第 5 回 中国的自然地理

第 12 回 第 6 回 中国的行政区划

第 13 回 第 6 回 中国的行政区划

第 14 回 期末試験

関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。中国語検定と HSK 形式の練習問題。

第 2 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 1-3 課の内容について小テストを行う。関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。

第 4 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 5 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。第 1-6 課の内容について復習を行う。中国語検定と HSK 形式の練習問題。

春学期に学んだ部分についての期末試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【準備】標準中国語の発音表記である「ピンイン」の基礎的な運用（ピンイン記号を正しく発音できること）を習得しておくことが、この授業を受講する前提条件です。

【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。

【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかりと定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】

郭春貴・郭久美子・梁勤 著『会話と読解中心 やさしく楽しい中級中国語 中国基礎知識 12 篇』白帝社。

ISBN コード： 978-4-86398-269-7

サイズ： B5 判 128 p

本体 2400 円＋税

音声ファイルは MP 3 形式です。ファイルは ZIP 形式で圧縮された形でダウンロードされます。

<http://www.hakuteisha.co.jp/audio/863982697.html>

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）

瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。

ISBN-13: 978-4876152971

2400 円＋税

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

ISBN-13 : 9784497210036

2900 円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、平常点 60 %（出席状況、課題、授業中に行う小テスト、各課の宿題、アクティブラーニングの参加）、期末試験（口頭・筆記）40 % を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上の人を合格とします。
2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。学生同士の発音練習の時間を増すように心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽にお聞きください。
毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。
授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。
授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。
授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have learned all the basics of Chinese. The aim of this course is to improve conversation and reading comprehension at the inter-mediate level of Chinese. At the same time, this course aims to deepen our understanding of Chinese culture, society, history and geography. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

黄 海萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2
単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語中級レベルの会話・読解力 UP をめざすための授業です。中国語の基礎を一通り学んだ学生を対象として、初級レベルの知識の確認及び定着を進めつつ、中国語に関する知識をさらに高度なレベルにまで引き上げることを目的とします。授業では楽しい会話文を学習すること及び中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語会話・読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び地理などに対する理解を深めることを目標とします。春学期と同じく毎回の授業の最初に復習を行い、4 課ごとに中国語検定と HSK 形式の練習問題も取り入れる予定です。

【到達目標】

- 1、中級レベルの中国語を聞き取れるようになります。
- 2、中級レベルの中国語を話せるようになります。
- 3、中級レベルの中国語文章を読めるようになります。
- 4、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用できるようになります。
- 5、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、翻訳のスキルを身に付けるようになります。
- 6、様々な文章を吟味することを通して中国の文化・社会・歴史・地理への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は指定したテキストに従い、第 1 課から順次進めていきます。2 回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第 1～第 6 課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第 7～第 12 課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。

本授業は対面実施を基本としますが、第 1 週目（初回授業）はオンラインとなります。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、春学期の復習	①ガイダンス ②指定した教科書の前半部分の復習（第 1 課～第 6 課） ③ピンインが付いていない短文の読解練習を行う。
第 2 回	第 7 回 中国的人口与民族	関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	第 7 回 中国的人口与民族	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 4 回	第 8 回 中国的語言	第 7 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 5 回	第 8 回 中国的語言	第 8 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 6 回	第 9 回 中国的歴史	第 10 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 7 回	第 9 回 中国的歴史	第 11 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 8 回	第 10 回 中国的教育	第 12 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 9 回	第 10 回 中国的教育	第 13 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 10 回	第 11 回 中国的宗教	第 14 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 11 回	第 11 回 中国的宗教	第 15 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 12 回	第 12 回 中国的文化	第 16 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 13 回	第 12 回 中国的文化	第 17 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 14 回	期末試験	秋学期に学んだ部分について期末試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【準備】春学期履修した前半部分（第 1 ～第 6 課）の復習をしっかりと行ってください。

【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。

【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかりと定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】

郭春貴・郭久美子・梁勤 著『会話と読解中心 やさしく楽しい中級中国語 中国基礎知識 12 篇』白帝社。

ISBN コード： 978-4-86398-269-7

サイズ： B5 判 128 p

本体 2400 円＋税

音声ファイルは MP 3 形式です。ファイルは ZIP 形式で圧縮された形でダウンロードされます。

<http://www.hakuteisha.co.jp/audio/863982697.html>

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）

瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。

ISBN-13:978-4876152971

2400 円＋税

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

ISBN-13 : 9784497210036

2900 円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、平常点 60 %（出席状況、課題、授業中に行う小テスト、各課の宿題、アクティブラーニングの参加）、期末試験（口頭・筆記） 40 % を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上の人を合格とします。2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。学生同士の発音練習の時間を増すように心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことのできる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽にお願いします。

毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。

授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。

授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, this course aims to improve conversation and reading comprehension at the inter-mediate level of Chinese. At the same time, this course aims to deepen our understanding of Chinese culture, society, history and geography. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

耿 函

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語(現代漢語)の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていく。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や書き取りの練習、また、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れる。

なお、授業の形態については、対面で行うが、新型コロナウイルスの感染状況により大学が対面授業の実施は困難と判断した場合は、それに従い変更することがある。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	発音と基礎文法の復習
2	第 1 課	文法・本文・ドリル
3	第 2 課	文法・本文・ドリル・会話
4	第 3 課	文法・本文・ドリル・会話
5	第 4 課	文法・本文・ドリル・会話
6	第 5 課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間テスト・会話の発表等
8	第 6 課	文法・本文・ドリル・会話
9	第 7 課	文法・本文・ドリル・会話
10	第 8 課	文法・本文・ドリル・会話
11	第 9 課	文法・本文・ドリル・会話
12	第 10 課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験(1)	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験(2)	筆記試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト(教科書)】

「大学生のための中級中国語 20 回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019 年 2400 円+税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末試験を 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一の状況に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), mini tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、中国語のコミュニケーション能力を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていく。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や書き取りの練習、また、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れる。

なお、授業の形態については、対面で行うが、新型コロナウイルスの感染状況により、大学が対面授業の実施は困難と判断した場合は、それに従い、変更することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第 1 1 課	文法・本文・ドリル
3	第 1 2 課	文法・本文・ドリル・会話
4	第 1 3 課	文法・本文・ドリル・会話
5	第 1 4 課	文法・本文・ドリル・会話
6	第 1 5 課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間小テスト 会話の発表等
8	第 1 6 課	文法・本文・ドリル・会話
9	第 1 7 課	文法・本文・ドリル・会話
10	第 1 8 課	文法・本文・ドリル・会話
11	第 1 9 課	文法・本文・ドリル・会話
12	第 2 0 課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験（1）	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験（2）	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語 20 回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019 年 2400 円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一の状況に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), mini tests(20%), in-class contribution(10%).

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマにした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかため、さらに複文を含む 30 の新しい文型と 300 個の新しい単語を学習します。

【到達目標】

学生が 1 年次で学んだ中国語の基礎を踏まえ、読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にします。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また 200～300 文字の文章が読めるように目指します。一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますので、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に演習の形式です。本文、単語、文法の説明と練習問題から構成されているテキストに沿って進行します。学生が本文の内容を理解するために、DVD や音楽の鑑賞など、また、グループディスカッションや、プレゼンテーションによって、内容の理解を一層深めたいです。

課題等へのフィードバックは授業時間で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	本文：「鬼」のイメージについて 文法：複文「既～又～」複文「除了～以外，～」
2	第 1 課	練習問題
3	第 2 課	本文：歌手や芸能人の学歴について 文法：複文「～是因～」 複文「只有～才～」 複文「即使～也～」
4	第 2 課	練習問題
5	第 3 課	本文：美意識について 文法：前置詞「跟/和～有关」前置詞「按照～」複文「因～所以～」複文「但是～」
6	第 3 課	練習問題
7	プレゼンテーション予備時間	学生が発表する
8	第 4 課	本文：友人に求めることについて 文法：前置詞「在～看来」前置詞「从～来」連体修飾語「～的～候」複文「是～而不是～」
9	第 4 課	練習問題
10	第 5 課	本文：親子の関係について 文法：複文「不～也/都～」
11	第 5 課	練習問題

12	第 6 課	本文：大学生のアルバイトについて 文法：副詞「 ☐ 」複文「只要～就～」複文「与其～不如～」動詞「 ☐ 得/感到/想」練習問題
13	第 6 課	期末口頭テスト
14	期末筆記テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日中異文化の出会い 一 中級へのステップアップ』 三修社 中桐典子・余瀾・芳沢ひろこ・黄曉惠著 2018 年 2000 円

【参考書】

『ポイント学習中国語初級【新装版】』（東方書店）

ほかは授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。

配分は、毎回授業中に行う小テストあるいは発表などは 40 点、期末口頭テストは 20 点、期末筆記テストは 40 点です。欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年の授業では、学生によるプレゼンテーションが好評だったため、2022 年にも行います。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(40%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(40%).

LANe200LA

中国語 3Ⅱ

2017 年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマにした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかため、さらに複文を含む 30 の文型と 300 個の新しい単語を学習します。

【到達目標】

1 年次で学んだ中国語の基礎を踏まえ、学生が読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にします。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また 200～300 文字の文章が読めるように目指します。一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますので、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	本文：ご馳走をするときされると き 文法：複文「 ☐ ～都～」 複文 「如果／要是～的 ☐ ，就～」 複文 「虽然～，但是～」 方向補語の 派生義
2	第 7 課	練習問題
3	第 8 課	本文：家に中を全部見せる中国人 文法：複文「先～然后再～」
4	第 8 課	練習問題
5	第 9 課	本文：色のいろいろ 文法：複文 「～，要不然～」 複文「不是～， 而是～」 「一定会～的」
6	第 9 課	練習問題
7	第 10 課	本文：席は譲るべきなのか 文法 ：副詞「就」と「才」 複文「不但 ～而且～」
8	第 10 課	練習問題
9	第 11 課	本文：七夕は八月の行事 文法： 「相当于」「来」 接続詞「以」の 用法
10	第 11 課	練習問題
11	第 12 課	本文：厳かるとにぎやか 文法：複文「越～越～」，「一 ☐ ～ 一 ☐ ～」
12	第 12 課	練習問題
13	期末筆記テスト	試験・纏めと解説
14	期末口頭テスト	試験・纏めと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間はあわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日中異文化の出会い』 三修社 中桐典子・余瀾・芳沢ひろ子・黄
曉惠著

【参考書】

『ポイント学習中国語初級【新装版】』（東方書店）

ほかは授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。

配分は、毎回授業中に行う小テストあるいは発表などは 40 点、期
末口頭テストは 20 点、期末筆記テストは 40 点です。欠席と遅刻
をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年度の授業では、学生によるプレゼンテーションが好評だった
ために、2022 年度にも行います。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The
aim of this course is to acquire the intermediate level
communication skills of Chinese. We will improve the skills of
listening, speaking, reading and writing through studying
pronunciation, grammar, conversation and composition.
Before/after each class meeting, students will be expected to
spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following
Term-end written exam(40%), Term-end oral exam(20%), in-
class contribution(40%).

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

黄 海萍

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語中級レベルの会話・読解力 UP をめざすための授業です。中国語の基礎を一通り学んだ学生を対象として、初級レベルの知識の確認及び定着を進めつつ、中国語に関する知識をさらに高度なレベルにまで引き上げることを目的とします。授業では楽しい会話文を学習すること及び中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語会話・読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び地理などに対する理解を深めることを目標とします。さらに、4 課ごとに復習として、中国語検定と HSK 形式の練習問題も取り入れる予定です。

【到達目標】

- 1、中級レベルの中国語を聞き取れるようになります。
- 2、中級レベルの中国語を話せるようになります。
- 3、中級レベルの中国語文章を読めるようになります。
- 4、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用できるようになります。
- 5、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、翻訳のスキルを身に付けるようになります。
- 6、様々な文章を吟味することを通して中国の文化・社会・歴史・地理への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は指定したテキストに従い、第 1 課から順次進めていきます。2 回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第 1～第 6 課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第 7～第 12 課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。

本授業は対面実施を基本としますが、第 1 週目（初回授業）はオンラインとなります。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、発音の復習	①ガイダンス②声調、単母音、複母音、発音のポイント、無気音と有気音、子音、声調の変化、発音のまとめ③小テストの例を示す
第 2 回	第 1 回 中国菜	関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	第 1 回 中国菜	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 4 回	第 2 回 中国的材料	第 1 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 5 回 第 2 回 中国的材料

関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。中国語検定と HSK 形式の練習問題。

第 6 回 第 3 回 中国的糕点

第 2 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 7 回 第 3 回 中国的糕点

第 1-3 課の内容について小テストを行う。関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 8 回 第 4 回 中国的体育

関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。

第 9 回 第 4 回 中国的体育

第 4 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 10 回 第 5 回 中国的自然地理

第 5 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 11 回 第 5 回 中国的自然地理

第 5 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。第 1-6 課の内容について復習を行う。中国語検定と HSK 形式の練習問題。

第 12 回 第 6 回 中国的行政区划

春学期に学んだ部分について期末試験を行う。

第 13 回 第 6 回 中国的行政区划

第 14 回 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【準備】標準中国語の発音表記である「ピンイン」の基礎的な運用（ピンイン記号を正しく発音できること）を習得しておくことが、この授業を受講する前提条件です。

【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。

【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかりと定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】

郭春貴・郭久美子・梁勤 著『会話と読解中心 やさしく楽しい中級中国語 中国基礎知識 12 篇』白帝社。

ISBN コード： 978-4-86398-269-7

サイズ： B5 判 128 p

本体 2400 円＋税

音声ファイルは MP 3 形式です。ファイルは ZIP 形式で圧縮された形でダウンロードされます。

<http://www.hakuteisha.co.jp/audio/863982697.html>

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）
瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。

ISBN-13:978-4876152971

2400 円＋税

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

ISBN-13： 9784497210036

2900 円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、平常点 60 %（出席状況、課題、授業中に行う小テスト、各課の宿題、アクティブラーニングの参加）、期末試験（口頭・筆記）40 % を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上の人を合格とします。
2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。学生同士の発音練習の時間を増すように心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽にお願いします。
毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。
授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。
授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。
授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have learned all the basics of Chinese. The aim of this course is to improve conversation and reading comprehension at the inter-mediate level of Chinese. At the same time, this course aims to deepen our understanding of Chinese culture, society, history and geography. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

黄 海萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語中級レベルの会話・読解力 UP をめざすための授業です。中国語の基礎を一通り学んだ学生を対象として、初級レベルの知識の確認及び定着を進めつつ、中国語に関する知識をさらに高度なレベルにまで引き上げることを目的とします。授業では楽しい会話文を学習すること及び中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語会話・読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び地理などに対する理解を深めることを目標とします。春学期と同じく毎回の授業の最初に復習を行い、4 課ごとに中国語検定と HSK 形式の練習問題も取り入れる予定です。

【到達目標】

- 1、中級レベルの中国語を聞き取れるようになります。
- 2、中級レベルの中国語を話せるようになります。
- 3、中級レベルの中国語文章を読めるようになります。
- 4、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用できるようになります。
- 5、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、翻訳のスキルを身に付けるようになります。
- 6、様々な文章を吟味することを通して中国の文化・社会・歴史・地理への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業は指定したテキストに従い、第 1 課から順次進めていきます。2 回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第 1～第 6 課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第 7～第 12 課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。

本授業は対面実施を基本としますが、第 1 週目（初回授業）はオンラインとなります。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、春学期の復習	ガイダンス、春学期の復習①ガイダンス ②指定した教科書の前半部分の復習（第 1 課～第 6 課） ③ピンインが付いていない短文の読解練習を行う。
第 2 回	第 7 回 中国的人口与民族	関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	第 7 回 中国的人口与民族	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解文本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 4 回	第 8 回 中国的語言	第 7 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 5 回	第 8 回 中国的語言	第十六課を復習するための第 8 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 6 回	第 9 回 中国的歴史	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 7 回	第 9 回 中国的歴史	第 7-9 課の内容について小テストを行う。関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 8 回	第 10 回 中国的教育	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。提出課題について提示する。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 9 回	第 10 回 中国的教育	第 10 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 10 回	第 11 回 中国的宗教	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 11 回	第 11 回 中国的宗教	第 11 課を復習するための宿題の答え合わせ、関連基礎知識、語彙と文法の解説、会話本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 12 回	第 12 回 中国的文化	関連基礎知識、語彙と文法の解説、読解本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。第 7-12 課の内容について復習を行う。中国語検定と HSK 形式の練習問題。
第 13 回	第 12 回 中国的文化	秋学期に学んだ部分について期末試験を行う。
第 14 回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【準備】春学期履修した前半部分（第 1～第 6 課）の復習をしっかりと行ってください。

【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。

【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかりと定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】

郭春貴・郭久美子・梁勤 著『会話と読解中心 やさしく楽しい中級中国語 中国基礎知識 12 篇』白帝社。

ISBN コード：978-4-86398-269-7

サイズ：B5 判 128 p

本体 2400 円＋税

音声ファイルは MP3 形式です。ファイルは ZIP 形式で圧縮された形でダウンロードされます。

<http://www.hakuteisha.co.jp/audio/863982697.html>

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）

瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。

ISBN-13:978-4876152971

2400 円＋税

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

ISBN-13：9784497210036

2900 円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、平常点 60 %（出席状況、課題、授業中に行う小テスト、各課の宿題、アクティブラーニングの参加）、期末試験（口頭・筆記）40 % を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上の人を合格とします。2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。学生同士の発音練習の時間を増すように心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽にお聞きください。

毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。

授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。

授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, this course aims to improve conversation and reading comprehension at the inter-mediate level of Chinese. At the same time, this course aims to deepen our understanding of Chinese culture, society, history and geography. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていく。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や書き取りの練習、また、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れる。

なお、授業の形態については、対面で行うが、新型コロナウイルスの感染状況により大学が対面授業の実施は困難と判断した場合は、それに従い変更することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	発音と基礎文法の復習
2	第 1 課	文法・本文・ドリル
3	第 2 課	文法・本文・ドリル・会話
4	第 3 課	文法・本文・ドリル・会話
5	第 4 課	文法・本文・ドリル・会話
6	第 5 課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間テスト・会話の発表等
8	第 6 課	文法・本文・ドリル・会話
9	第 7 課	文法・本文・ドリル・会話
10	第 8 課	文法・本文・ドリル・会話
11	第 9 課	文法・本文・ドリル・会話
12	第 10 課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験（1）	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験（2）	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語 20 回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019 年 2400 円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末試験を 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常点を 10 % にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一の状況に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), mini tests(20%), in-class contribution(10%).

LANe200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、中国語のコミュニケーション能力を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていく。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や書き取りの練習、また、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れる。

なお、授業の形態については、対面で行うが、新型コロナウイルスの感染状況により、大学が対面授業の実施は困難と判断した場合は、それに従い、変更することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第 1 1 課	文法・本文・ドリル
3	第 1 2 課	文法・本文・ドリル・会話
4	第 1 3 課	文法・本文・ドリル・会話
5	第 1 4 課	文法・本文・ドリル・会話
6	第 1 5 課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間小テスト 会話の発表等
8	第 1 6 課	文法・本文・ドリル・会話
9	第 1 7 課	文法・本文・ドリル・会話
10	第 1 8 課	文法・本文・ドリル・会話
11	第 1 9 課	文法・本文・ドリル・会話
12	第 2 0 課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験（1）	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験（2）	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語 20 回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019 年 2400 円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一の状況に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), mini tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課（助動詞、主述	新出単語、本文音読練習、訳文。述語文の用法）
第 2 回	第 1 課（トレーニング 1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 2 課（”的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 2 課（トレーニング 2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 3 課（連動文、”是…的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 3 課（トレーニング 3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 1 課～第 3 課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第 8 回	第 4 課（”了”の 3 つの用法、副詞”就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 4 課（トレーニング 4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 5 課（様態補語、推量の表現、「仮定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 5 課（トレーニング 5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 1 課～第 3 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 4 課、第 5 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しておこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 %を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年～火・2 限 周 重雷 1～3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年～水・4 限 青木 正子 1～3 級（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年～火・3 限 周 重雷 3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年～月・3 限 渡辺 昭太 3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年～水・3 限 岩田 和子 3～5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課（結果補語（1）、副詞“有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第 6 課（トレーニング 6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 7 課（存現文、主述句の主語、二つの“了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 7 課（トレーニング 7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 8 課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 8 課（トレーニング 8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 6 課～第 8 課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第 8 回	第 9 課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 9 課（トレーニング 9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（トレーニング 10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 6 課～第 8 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 9 課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200 円＋税

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年～火・2 限 周 重雷 1～3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年～水・4 限 青木 正子 1～3 級（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年～火・3 限 周 重雷 3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年～月・3 限 渡辺 昭太 3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年～水・3 限 岩田 和子 3～5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 安

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。

課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

本授業は対面を基本とし、オンラインを併用する場合もあります。第1週目（初回授業）はオンラインとなります。詳しくは学習支援システムでお知らせします。なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課 自我紹介	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“在、跟”などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課 自我紹介	実践練習：自己紹介の仕方（自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など）
4 回	第 2 課 李 有很多 好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“对”“从”の用法、助動詞“打算”の用法。
5 回	第 2 課 李 有很多 好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身につけ、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 大 的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目：連動文、様態補語、時間副詞の用法。

7 回	第 3 課 大 的一天	実践練習：連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 芳 的	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞“能”の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 芳 的	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我 是 去年 的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的”構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我 是 去年 的	実践練習：中国語の“是…的”構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的”構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道 “ ” ？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目：前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了”の使い方、助動詞“要”の用法
13 回	第 6 課 你知道 “ ” ？	実践練習：中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
- 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
- 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。

本授業の準備学習・復習時間は各 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝100 点で評価します。

注意点：①課題の未提出は 8 点減点/一回

②課題提出の遅れは 4 点減点/一回

（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内

と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気が明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思っています。

また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.

(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours previewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%
- middle-test and final test: 55%

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

王 安

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 7 課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明 実践練習：
2 回	第 7 課	中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3 回	第 8 課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明 実践練習：
4 回	第 8 課	中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5 回	第 9 課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 実践練習：
6 回	第 9 課	中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7 回	第 10 課	①日本の“動漫”に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。 実践練習：
8 回	第 10 課	日本の“動漫”が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。

9 回	第 1 1 課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。	– assignments: 45%
10 回	第 1 1 課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。	– middle-test and final test: 55%
11 回	第 1 2 課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。	
12 回	第 1 2 課 第 1 3 課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する	
13 回	第 1 4 課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ	
14 回	期末試験	筆記試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
- 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
- 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。

本授業の準備学習・復習時間は各 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『標準中国語読解力 UP 編』 王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝ 1 0 0 点で評価します。

注意点：①課題の未提出は 8 点減点/一回

②課題提出の遅れは 4 点減点/一回

（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思っています。

また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.

(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours reviewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通して、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	新出単語とポイント（「目的語が主述句のとき」など 3 項目）の説明
2	第 1 課	「中国に行こう」本文の解説と練習問題
3	第 2 課	新出単語とポイント（「逆接を表す“可是”」など 3 項目）の説明
4	第 2 課	「ウーロン茶を飲もう」本文の解説と練習問題
5	第 3 課	新出単語とポイント（「疑問詞“怎么”」など 3 項目）の説明
6	第 3 課	「友だちをつくろう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第 1 課～第 3 課の内容の定着度チェック
8	第 4 課	新出単語とポイント（「副詞“就”」など 2 項目）の説明
9	第 4 課	「長城に登ろう」本文の解説と練習問題
10	第 5 課	新出単語とポイント（「仮定を表す“要是”」など 3 項目）の説明
11	第 5 課	「漢字を覚えよう」本文の解説と練習問題
12	第 6 課	新出単語とポイント（「又～又～」など 3 項目）の説明
13	第 6 課	「街を歩こう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	前期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一步』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA

中国語ⅢⅡ

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通して、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「部分否定」など3項目）の説明
2	第7課	「中国映画を見よう」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など3項目）の説明
4	第8課	「シルクを買おう」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「強調表現」など2項目）の説明
6	第9課	「中華を食べよう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「推測を表す“会”」など3項目）の説明
9	第10課	「太極拳を習おう」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「結果補語」など2項目）の説明
11	第11課	「水滸伝を楽しもう」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「介詞“把”」など2項目）の説明
13	第12課	「春節を過ごそう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	前期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一歩』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。

【到達目標】

基礎的な文法に関するスキルを身に付ける。

一般的な会話ができる。

簡単な文章の内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせて、内容への理解をチェックしながら授業を進める。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第 1 課	助動詞「可以」、「要」 主述述語文 目的語が主述句のとき
③	第 1 課	本文：中国に行こう！
④	第 2 課	「的」の用法 原因、理由を表す「因为」 文末の助詞「吧」、「呢」
⑤	第 2 課	本文：ジャスミン茶を飲もう！
⑥	第 3 課	連動文 「是～的」の文 疑問詞「怎么」
⑦	第 3 課	本文：友達を作ろう！
⑧	第 4 課	「了」の三つの用法 副詞「就」
⑨	第 4 課	本文：長城に登ろう！
⑩	第 5 課	状態補語 可能性の予測を表す「会」 仮定を表す「要是」
⑪	第 5 課	本文：卓球を楽しもう！
⑫	第 6 課	結果補語 1 副詞「有点儿」
⑬	第 6 課	本文：漢字を覚えよう！
⑭	復習、試験、まとめ	第 1～6 課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一歩』 白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点（学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など）50 % に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見やご要望が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Based on what you have learned in the first year, the purpose is to further solidify the basics and cultivate reading comprehension, expressiveness, etc. that will lead to level up.

Acquire basic grammar skills.

You can have a general conversation.

Can understand the contents of simple sentences.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANc200LA

中国語ⅢⅡ

2017 年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の基礎を固めつつ、中国語のさらなるスキルアップを目標とする。

【到達目標】

日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。
読解力や表現力などのさらなるスキルアップを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

発音および読解の練習を中心としつつ、徐々に習熟度を高めるよう授業を進めていく。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	春学期期末テストの解説と復習
②	第 7 課	存現文 主語がフレーズの時 「～了～了」の用法
③	第 7 課	本文：街を歩こう！
④	第 8 課	状態の持続を表す「着」 副詞「在」 疑問詞の不定用法
⑤	第 8 課	本文：中国映画を見よう！
⑥	第 9 課	方向補語 使役を表す「让」
⑦	第 9 課	本文：チャイナドレスを買おう！
⑧	第 10 課	可能補語 強調表現
⑨	第 10 課	本文：中華を食べよう！
⑩	第 11 課	結果補語（二） 受身を表す「被」
⑪	第 11 課	本文：西遊記を読もう！
⑫	第 12 課	「快～了」の用法 「把」の構文
⑬	第 12 課	本文：春節を祝おう！
⑭	復習、試験、まとめ	第 7～12 課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など) 50 % に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見やご要望が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Aim to further improve Chinese skills while solidifying the basics of grammatical matters.

You can have daily conversation.

Can write simple sentences.

Aim to further improve reading comprehension and expressiveness.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

業 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。

対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。

会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第一課	初級の復習 (1)
2 回	第一課	初級の復習 (2)
3 回	第二課	初級の復習 (1)
4 回	第二課	初級の復習 (2)
5 回	第三課	ある動作を行う目的や方法を説明する表現
6 回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9 回	第六課	能力と可能性の表現
10 回	第七課	動作の結果を説明する表現
11 回	第八課	動作の方向を説明する表現
12 回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13 回	第十課	使役の表現
14 回	復習	I 期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返して、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 % とする。

1) 平常点について (1 回～13 回)

オンラインで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。

①提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点

②提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度

③提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度

④提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度

*対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。

2) 最終課題 (14 回目)

当日提出、35 点分。

検定試験 4 級合格者：I 期終了時合格は 15 点プラス。

検定試験 3 級合格者：I 期終了時合格は 100 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

付属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 65% for normal points and 35% for final assignments.

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

薬 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。

対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。

会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	総括	I 期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	受身の表現
4 回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5 回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6 回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7 回	復習	第十一課～第十四課の復習
8 回	第十五課	仮定の表現
9 回	第十六課	因果関係を表す表現
10 回	第十七課	逆接関係を表す表現
11 回	第十八課	付け加えの表現
12 回	第十九課	除外の表現
13 回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14 回	復習	II 期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返していき、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 % とする。

1) 平常点について（1 回～13 回）

オンラインで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。

- ① 提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点
 - ② 提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度
 - ③ 提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度
 - ④ 提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度
- * 対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。

2) 最終課題（14 回目）

当日提出、35 点分。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria / Policy】

The term-end evaluation is 65% for normal points and 35% for final assignments.

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章で書かれた中国語を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的にレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を高める。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
 - 2、聞き取りの練習
 - 3、発音練習
- 課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	諸事情の確認	シラバスの配布、注意事項の伝達、及び簡単な自己紹介
2	第 1 課 発音	ピンインの復習
3	日常用語	あいさつなどの日常用語を練習する
4	第 2 課 人称代名詞と指示代名詞	人称代名詞と指示代名詞を確認する
5	第 3 課 述語	動詞と形容詞
6	第 4 課 受け答え	「是」その他
7	第 5 課 場所と方位	在と有
8	第 6 課 数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語について勉強する
9	第 7 課 疑問文	ものの尋ね方
10	第 8 課 連用修飾語	副詞と時間詞
11	第 9 課 完了と変化	「了」の様々を知る
12	第 10 課 助動詞と前置詞構造	助動詞と前置詞構造
13	第 11 課 三量補語	数量、時量、動量補語
14	まとめ	第 1 ～ 11 課の筆記テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。
毎週 1 時間を日途に予習・復習をする。

【テキスト（教科書）】

教室にて配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験： 60 %

小テスト： 40 %

【学生の意見等からの気づき】

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。

出勤のピーク時を避けるために、授業開始時間を 9 時 10 分とします。
その分きちんと講義の文章を予習してもらいます。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANe200LA

中国語Ⅲ

2017 年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
 - 2、聞き取りの練習
 - 3、発音練習
- 課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第12課 持続態と進行形	持続態と進行形について勉強する
2	第13課 程度補語	程度補語（様態補語）
3	第14課 比較と連動	比較文と連動文
4	第15課 構文分析	構文と助動詞の補説
5	第16課 強調と重複	強調構文と重複表現
6	第17課 方向補語	方向補語の用法
7	第18課 複合方向補語	複合方向補語の派生的用法
8	第19課 結果補語	結果補語の説明
9	第20課 可能補語	可能補語の説明
10	第21課 使役と受身	使役と受身を確認し、比較する
11	第22課 処置と倒置	処置文と倒置文
12	第23課 複文一	複文について勉強する
13	第24課 複文二	接続詞を確認する
14	まとめ	第12～24課の筆記テスト・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。
毎週1時間を日途に予習・復習する。

【テキスト（教科書）】

教室にて教材を配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト： 60 %

小テスト： 40 %

【学生の意見等からの気づき】

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。
出勤ピーク時を避けるために、授業開始時間を 9 時 10 分とします。その分きちんと予習をしてもらいます。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土 1/Sat.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実践活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動 (1) 私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動 (2) 私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動 (3) 趣味について ④語彙導入 [1 課]
第5回	声をかける・挨拶をする (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1 課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする (2) 応用活動	①チェックテスト [1 課文法] ②既習文型応用・実践練習 ③語彙導入 [2 課]
第7回	初対面の自己表現 (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト [2 課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■状態補語
第8回	初対面の自己表現 (2) 応用活動	①チェックテスト [2 課文法] ②既習文型応用・実践練習 ③コミュニケーション活動 (4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入 [3 課]
第9回	伝聞による話題について話す (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト [3 課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す (2) 応用活動	①チェックテスト [3 課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実践練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題: 作文	①コミュニケーション活動 (5) 伝聞による話題について話す ②課題作文: テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入 [4 課]
第12回	買物について話す: 基本語彙と表現	①チェックテスト [4 課語彙] ②■動詞文: 現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方
第13回	買物について話す: 応用活動	①チェックテスト [4 課文法] ②既習文型応用・実践練習 ③コミュニケーション活動 (6) 買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験 [筆記]	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- ・ 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
- ・ 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同学社
- ・ 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記 + 口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA

中国語ⅢⅡ

2017 年度以降入学者

李 維濤

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 土 1/Sat.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [後半] ③語彙導入 [5 課]
第3回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課語彙] ②■確認 ■比較 [否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (2):天気について話す ④語彙導入 [6 課]
第5回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ③課題 (1) 課題作文について説明
第6回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (3) カフェでおしゃべり ④語彙導入 [7 課]
第7回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ③課題 (1) 提出
第8回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題 (1) を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題 (2) 課題 (1) をプレゼンテーション ②語彙導入 [8 課]
第10回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動 (4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入 [9 課] ③課題 (3) 中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する [9 課]	①チェックテスト [9 課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断 [肯定] ③課題 (3) ビア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト [筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト [筆記]

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- ・ 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
- ・ 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同学社
- ・ 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

* 上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

* 評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎の中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習する。それによって、中級以上の中国語を学習する際に必要な事項を学習する。

【到達目標】

春学期終了時には中国語検定 4 級・HSK3 級程度の能力を確実に習得し、基本的な文法を用いて正確に書くことができ、生活中に必要なフレーズを口頭でも表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進行します。授業形態で変更があった場合は大学の方針がお知らせされた後、詳細は学習支援システム Hoppii で伝達します。

はじめの 3 回については基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音とヒアリングの練習を行い、本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳といった順序で進める。その後、教科書付属の練習問題を行う。

【課題へのフィードバック】授業で回収した課題については添削して返却する。また文法問題に関しては、誤答が多かった問題を参考に授業時に解説する。音声ファイルは発音の誤りが多い部分に関して授業開始時に復習をする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習した発音に関する復習①	自己紹介。特にピンインと発音の確認と練習。
第 2 回	基礎で学習した文型と時制に関する復習②	基礎文法事項 (文型と時制) の練習。
第 3 回	基礎で学習した補語表現に関する復習③	簡単な自己紹介と通学について、介詞の復習表現を使い練習と発音練習。
第 4 回	趣味の聞き方と答え方。	動作の出来や程度と助動詞に関する練習。
第 5 回	アルバイトや仕事について話す。	伝聞・比較と簡単な構文の練習。比較表現と数字に関する表現の復習も兼ねて。
第 6 回	小テスト	第 1 課から第 3 課までの復習と到達度の確認。
第 7 回	時に関する表現	スケジュールに関連する表現、予定をたずねたり、招待したりする文例を学習する。
第 8 回	補語表現と少し複雑な表現	新しく学習した補語表現のまとめと指定した部分の暗誦とヒアリング問題を行う。
第 9 回	レストランでの表現	順番を表す表現と「把」構文に関する練習。
第 10 回	料理を注文する。実際の状況を想定しての表現練習。	スケジュールを調整するところから、仕事で使用する表現のまとめ。

第 11 回	把構文と補語表現を用いての応用練習。	外部の試験問題の文法部分を実際に行ってみる。
第 12 回	春学期全体の復習。小テスト	特に第 4 課から第 6 課の仕事上で必要な日程調整、約束、場所に設定などに関する表現練習。
第 13 回	教科書付属のヒアリングと発音の復習と暗誦	第 4 課から第 6 課の総合練習問題と補充問題から行う。
第 14 回	基礎から中級文法事項の復習・期末試験	補語表現や把構文を主に復習し到達度の確認を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。【予習】授業時に分担して日訳してもらうので翻訳は各自で行うこと。また自分の状況に合わせて答える問題を書いておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材付属のヒアリングの問題や自分の状況に合わせての問題を行う。

【テキスト (教科書)】

『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼秋著 金星堂 2200 円 (税別) ISBN978-4-7647-0689-7 また随時、補充プリントを配布

【参考書】

授業開始以降に辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題 (課題提出や暗誦) と平常点 30 % を総合して評価する。また、春学期においては HSK 3・4 級・中国語検定試験 4 級合格者には 10 % を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はオンラインと対面で進行了。HSK の問題を 3 級まで行った分に関しては良好な反応でしたが、誤答に関しての解説などが十分にされなかったことが改善点です。対面になっても発音練習が通常時のようにはできなかった面があり、オンラインの方が発音練習に関しては良かったのではないかと意見がありました。口頭練習も含まれる教科書ですので、発音ファイルの提出などで、引き続きこの部分は補うようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

各自が最もヒアリング練習に便利な音声教材をダウンロードできる機器

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

【Grading Criteria/Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては長めの会話文の学習を通じ、さまざまな中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、新たに学習した構文の定着をはかり、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

【到達目標】

より複雑な構文を習得し、自分の生活に関する事柄や仕事でも使用できる表現を明瞭に安定して運用できるようになる。文法に関しては中国語検定 3 級程度・HSK4 級 6 割程度の点数を取得できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が、若干速めになる。基本的には、春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、本文の訳の順番だが、途中で、中国語検定問題や応用問題を行う時間をとる。また、比較的難解な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。

【課題へのフィードバック】 造句は授業内で回収し添削して返却する。特に文法問題に関しては授業時間に回答を一覧にまとめたもので解説する。発音に関しては各回の授業開始時に誤りが多かったフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課から第 6 課までの復習と発音練習	発音練習と春学期に学習した事項と数字に関連する表現の復習。
第 2 回	健康状態を伝える表現。	すでに起こったことについて尋ねる表現。時制と「才」「就」の練習。
第 3 回	診察のときの表現。	動作・行為・状況の結果の表現と練習問題。
第 4 回	買い物に関連する表現。	相手の意見を求める表現と限度・限界の表現。本文の翻訳の確認と文法の解説。
第 5 回	復習	第 1 回から 4 回までの総合練習とヒアリング問題の確認。
第 6 回	小テスト	食事・病院・買い物にかんする表現のまとめ。残りの時間は外部の試験問題を行う。
第 7 回	旅行について。	強調構文と近未来の表現のまとめ。
第 8 回	結果補語・反語・使役の表現。	補語表現の総合復習②
第 9 回	髪型について。	本文の訳と文法解説。褒めたり謙遜したりする定型フレーズの確認。
第 10 回	方向補語と「了」の復習	検定試験の補語についての問題を行う。
第 11 回	小テスト	第 7 回から 10 回までの指定部分暗誦とヒアリングも行う。

第 12 回	ファッション。	本文の翻訳と文法の解説。条件の追加を示す構文を使った表現練習。
第 13 回	新しい構文を使った表現練習のまとめ。ホテルでの表現。	やり残した問題や誤りの多かった発音について確認して練習。
第 14 回	応用表現の総合復習 期末試験	第 10 課から第 12 回までを中心に。ホテルを予約するときに役立つ表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

秋学期は内容も難しくなるので音声教材をよく聴くこと。また授業以外でも DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自、日訳を作成することと本文の音声あらかじめ聴いておくこと。【復習】自分のことに置き換えて表現する問題を行う。【課題】自分のことに置き換えて表現する練習問題は、筆記あるいは音声ファイルの提出で授業内で指定する。

【テキスト（教科書）】

『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼欧著 金星堂 2200 円（税別） 随時、補助プリントを配布。

【参考書】

秋学期授業時開始以降に再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題を含む平常点 30 % を総合して評価する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。特に各自が行う課題に関しては採点の比重を重く置く。外部試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除し、中検 3 級合格者と HSK4 級以上の合格者は試験を免除し S の評価を与える。

【学生の意見等からの気づき】

秋以降は進行に余裕のある学生に問題を追加し補充練習を行いたい。昨年度はオンラインと対面の併用ということで、ほぼ毎回課題はあったもののレベルに応じた問題の準備がなく進行の順調な学生には不十分な面があった。対面になってからは課題の添削と返却ができたことは良かった点である。問題数なども調整し、更に根本的改善を行うつもりでいる。

【学生が準備すべき機器他】

常に音声教材を聴ける機器、またはダウンロードできる機器。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマにした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかため、さらに複文を含む 30 の新しい文型と 300 個の新しい単語を学習します。

【到達目標】

学生が 1 年次で学んだ中国語の基礎を踏まえ、読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にします。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また 200～300 文字の文章が読めるように目指します。一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますので、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に演習の形式です。本文、単語、文法の説明と練習問題から構成されているテキストに沿って進行します。学生が本文の内容を理解するために、DVD や音楽の鑑賞など、また、グループディスカッションや、プレゼンテーションによって、内容の理解を一層深めたいです。

課題等へのフィードバックは授業時間で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	本文：「鬼」のイメージについて 文法：複文「既～又～」複文「除了～以外，～」
2	第 1 課	練習問題
3	第 2 課	本文：歌手や芸能人の学歴について 文法：複文「～是因～」 複文「只有～才～」 複文「即使～也～」
4	第 2 課	練習問題
5	第 3 課	本文：美意識について 文法：前置詞「跟/和～有关」前置詞「按照～」複文「因～所以～」複文「但是～」
6	第 3 課	練習問題
7	プレゼンテーション予備時間	学生が発表する
8	第 4 課	本文：友人に求めることについて 文法：前置詞「在～看来」前置詞「从～来～」連体修飾語「～的～候」複文「是～而不是～」
9	第 4 課	練習問題
10	第 5 課	本文：親子の関係について 文法：複文「不～也/都～」
11	第 5 課	練習問題

12	第 6 課	本文：大学生のアルバイトについて 文法：副詞「 ☐ ☐ 」複文「只要～就～」複文「与其～不如～」 動詞「 ☐ ☐ ☐ 得/感到/想」 練習問題
13	第 6 課	期末口頭テスト
14	期末筆記テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日中異文化の出会い 一 中級へのステップアップ』 三修社 中桐典子・余瀾・芳沢ひろこ・黄曉惠著 2018 年 2000 円

【参考書】

『ポイント学習中国語初級【新装版】』（東方書店）
ほかは授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。
配分は、毎回授業中に行う小テストあるいは発表などは 40 点、期末口頭テストは 20 点、期末筆記テストは 40 点です。欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年の授業では、学生によるプレゼンテーションが好評だったため、2022 年にも行います。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(40%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(40%).

LANc200LA

中国語 3Ⅱ

2017 年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマにした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかため、さらに複文を含む 30 の文型と 300 個の新しい単語を学習します。

【到達目標】

1 年次で学んだ中国語の基礎を踏まえ、学生が読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にします。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また 200～300 文字の文章が読めるように目指します。一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますので、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に演習の形式です。本文、単語、文法の説明と練習問題から構成されているテキストに沿って進行します。学生が本文の内容を理解するために、DVD や音楽の鑑賞など、また、グループディスカッションや、プレゼンテーションによって、内容の理解を一層深めたいです。

課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	本文：ご馳走をするときさされるとき 文法：複文「 ☐ ～都～」 複文「 ☐ ～要是～的 ☐ ，就～」 複文「 ☐ ～虽然～，但是～」 方向補語の派生義
2	第 7 課	練習問題
3	第 8 課	本文：家に中を全部見せる中国人 文法：複文「先～然后再～」
4	第 8 課	練習問題
5	第 9 課	本文：色のいろいろ 文法：複文「～，要不然～」 複文「不是～，而是～」 「一定会～的」
6	第 9 課	練習問題
7	第 10 課	本文：席は譲るべきなのか 文法：副詞「就」と「才」 複文「不但～而且～」
8	第 10 課	練習問題
9	第 11 課	本文：七夕は八月の行事 文法：「相当于」「来」 接続詞「以」の用法
10	第 11 課	練習問題
11	第 12 課	本文：厳かにとぎやか 文法：複文「越～越～」，「一 ☐ ～一 ☐ ～」
12	第 12 課	練習問題
13	期末筆記テスト	試験・まとめと解説
14	期末口頭テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間はあわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日中異文化の出会いー中級へのステップー』 三修社 中桐典子・余瀾・芳沢ひろ子・黄曉恵著

【参考書】

『ポイント学習中国語初級【新装版】』（東方書店）

ほかは授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。

配分は、毎回授業中に行う小テストあるいは発表などは 40 点、期末口頭テストは 20 点、期末筆記テストは 40 点です。欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

2021 年度の授業では、学生によるプレゼンテーションが好評だったために、2022 年度にも行います。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(40%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(40%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 4/Tue.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン (ZOOM 形式) 形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業 の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1: 「疑問詞+ ☐ 」構文; 文法 2: 動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習 ⑤⑥参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3: 「形容詞+了」構文 文法 4: 選択疑問文「A ☐ 是 B ?」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5: 助動詞「想」の用法 文法 6: 結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7: 結果補語「到」 文法 8: 程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9: 数量述語文 文法 10: 「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11: 助動詞「可以」の用法 文法 11: 助動詞「可以」の用法 文法 12: 「快+了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目 第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13：時間量を示す言葉の位置 文法 14：「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目 授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目 授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目 授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三浦正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

【参考書】

中国語辞書

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。

平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business". The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 3 I の続きです。

春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, "やさしいビジネス中国語," is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15 : 「吧」の用法 文法 16 : 「V ㊦～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17 : 「一～就…」の構文 文法 18 : 「既～又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19 : 「(只有) ～、才能…」の用法 文法 20 : 「作㊦～」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21 : 「先～、然后…」の構文 文法 22 : 「不是～、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23 : 「听～㊦/听㊦～」の構文 文法 24 : 「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25 : 様態補語と可能補語 文法 26 : 助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課～第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内容を復習することはとても大事なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

Make sure to review after each class and do your homework. In

learning a foreign language, reading aloud is very important.

If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.

On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50% 占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

*無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ中国語基礎を固め、正しい声調で、自然なリズムで話せること、そして中国語の文章が読めることと、簡単な文章が書けることを指導する。

【到達目標】

中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらに中国語のレベルアップを目指す。そして現代中国への理解を深められるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

新しい内容を予習してもらい、授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。

社会情勢に合わせてオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合もあります。その時、「学習支援システム」でお知らせします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第〇課	一年次の文法の復習
2 回	第一課	前置詞、動詞句による連体修飾語、様態補語などの勉強、本文と会話文への読解
3 回	第一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第二課	第二課副詞、逆説の表現、数量補語など、本文と会話文への読解
5 回	第二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第三課	前置詞、複文など、本文と会話文への読解
7 回	第三課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第四課	形容詞句による連体修飾語、仮定条件文など、本文と会話文への読解
9 回	第四課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第五課	結果補語、可能補語など、本文と会話文への読解
11 回	第五課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第六課	因果関係文、追加・排他を表す表現、本文と会話文への読解

13 回 第六課

本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。

14 回 総復習など

いままでの復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習、予習するよう。発音練習をたくさんしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『学ぶ中国語』初中級編 王亜新 劉素英 朝日出版社 2021 年 2200 円＋税

【参考書】

辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合には期末試験を 40 %にし、ふだんの練習や課題、小テストなど 60 %にします。オンラインの場合は、毎回の課題の実施状況によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

しっかりと読解できて、きれいに発音できることを目標にしたい。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらにレベルアップを目指す。

【到達目標】

中国語の文章を流暢に読むことができること、簡単な文章を書くことができること、教科書の内容についての質問が聞き取れることを目標にする。また、中国についての知識を増やすことによって中国への理解を深めよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

各課の新出単語をきれいに発音でき、文法を理解して読解を進めて行く。教科書の内容について聞き取りの練習をし、練習問題を解いて、着実に力をつけていけるようにする。そして習った文法で簡単な文章が書けるように指導する。

授業実施に関する変更は学習支援システムでお知らせします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	復習	前期内容に対する復習、会話の練習とリスニングの練習
2 回	第七課	“是…的”の構文、動詞 + “着”の用法など、本文と会話文への読解
3 回	第七課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第八課	使役の表現、複文など、本文と会話文への読解
5 回	第八課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第九課	疑問詞 + 副詞、慣用型など、本文と会話文への読解
7 回	第九課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第十課	助動詞、副詞など、本文と会話文への読解
9 回	第十課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第十一課	受動表現、反語表現など、本文と会話文への読解
11 回	第十一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第十二課	引用を表す表現、目的実現を表す言葉など、本文と会話文への読解

13 回	第十二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
14 回	総復習	後期習った内容への復習・期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず復習・予習してくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『学ぶ中国語』（朝日出版社）初中級編 王亜新 劉素英

【参考書】

辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】

対面授業が再開された場合には期末試験を 40 % にし、ふだんの練習、課題などは 60 % にします。

社会情勢に合わせてオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合、毎回の課題の出来具合によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

しっかりと読解でき、きれいに発音できることを目標にしたい。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 安

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。

課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

本授業は対面を基本とし、オンラインを併用する場合もあります。第1週目（初回授業）はオンラインとなります。詳しくは学習支援システムでお知らせします。なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課 自我紹介	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“在、跟”などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課 自我紹介	実践練習：自己紹介の仕方（自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など）
4 回	第 2 課 李 有很多 好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“对”“从”の用法、助動詞“打算”の用法。
5 回	第 2 課 李 有很多 好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身につけ、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 大 的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目：連動文、様態補語、時間副詞の用法。

7 回	第 3 課 大 的一天	実践練習：連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 芳 的	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞“能”の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 芳 的	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我 是 去年 的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的”構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我 是 去年 的	実践練習：中国語の“是…的”構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的”構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道 “ ” ？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目：前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了”の使い方、助動詞“要”の用法
13 回	第 6 課 你知道 “ ” ？	実践練習：中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
- 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
- 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。

本授業の準備学習・復習時間は各 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版 2200 円＋税

ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝100 点で評価します。

注意点：①課題の未提出は 8 点減点/一回

②課題提出の遅れは 4 点減点/一回

（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内

と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思っています。

また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.

(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours reviewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%
- middle-test and final test: 55%

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

王 安

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 7 課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明 実践練習：
2 回	第 7 課	中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3 回	第 8 課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明 実践練習：
4 回	第 8 課	中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5 回	第 9 課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 実践練習：
6 回	第 9 課	中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7 回	第 10 課	①日本の“動漫”に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。 実践練習：
8 回	第 10 課	日本の“動漫”が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。

9 回	第 1 1 課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。	– assignments: 45%
10 回	第 1 1 課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。	– middle-test and final test: 55%
11 回	第 1 2 課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。	
12 回	第 1 2 課 第 1 3 課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する	
13 回	第 1 4 課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ	
14 回	期末試験	筆記試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
- 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
- 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。

本授業の準備学習・復習時間は各 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『標準中国語読解力 UP 編』 王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝ 1 0 0 点で評価します。

注意点：①課題の未提出は 8 点減点/一回

②課題提出の遅れは 4 点減点/一回

（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思っています。

また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.

(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours reviewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン (ZOOM 形式) 形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業 の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1: 「疑問詞+ ☐ 」構文; 文法 2: 動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3: 「形容詞+了」構文 文法 4: 選択疑問文「A ☐ 是 B ?」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5: 助動詞「想」の用法 文法 6: 結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7: 結果補語「到」 文法 8: 程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9: 数量述語文 文法 10: 「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11: 助動詞「可以」の用法 文法 11: 助動詞「可以」の用法 文法 12: 「快+了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13：時間量を示す言葉の位置 文法 14：「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目	授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目	授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三浦正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

【参考書】

中国語辞書

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。

平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business". The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 3 I の続きです。

春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, "やさしいビジネス中国語," is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15: 「吧」の用法 文法 16: 「V ㊦～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17: 「一～就…」の構文 文法 18: 「既～又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19: 「(只有) ～、才能…」の用法 文法 20: 「作㊦～」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21: 「先～、然后…」の構文 文法 22: 「不是～、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23: 「听～㊦/听㊦～」の構文 文法 24: 「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25: 様態補語と可能補語 文法 26: 助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課～第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内容を復習することはとても大事なことで、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

Make sure to review after each class and do your homework. In

learning a foreign language, reading aloud is very important.

If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.

On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50% 占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

* 無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実践活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の 3 回にわたって行なう。4 回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第 2 回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動 (1) 私、そして、私の家族
第 3 回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動 (2) 私の一日、あなたの一日
第 4 回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動 (3) 趣味について ④語彙導入 [1 課]
第 5 回	声をかける・挨拶をする (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1 課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第 6 回	声をかける・挨拶をする (2) 応用活動	①チェックテスト [1 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入 [2 課]
第 7 回	初対面の自己表現 (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト [2 課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■状態補語
第 8 回	初対面の自己表現 (2) 応用活動	①チェックテスト [2 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入 [3 課]
第 9 回	伝聞による話題について話す (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト [3 課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第 10 回	伝聞による話題について話す (2) 応用活動	①チェックテスト [3 課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第 11 回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動 (5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入 [4 課]
第 12 回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト [4 課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方
第 13 回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト [4 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (6) 買物情報を交換する
第 14 回	春学期の総まとめ・期末試験 [筆記]	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記 + 口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA

中国語Ⅲ

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [後半] ③語彙導入 [5 課]
第3回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課語彙] ②■確認 ■比較 [否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入 [6 課]
第5回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ③課題(1) 課題作文について説明
第6回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3) カフェでおしゃべり ④語彙導入 [7 課]
第7回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ③課題(1) 提出
第8回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1) を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2) 課題(1) をプレゼンテーション ②語彙導入 [8 課]
第10回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入 [9 課] ③課題(3) 中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する [9 課]	①チェックテスト [9 課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断 [肯定] ③課題(3) ビア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト [筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト [筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・ 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]

・ 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社

・ 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

* 上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

* 評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明し、併せて現在の華語圏の状況等を解説する。
2	第 12 課 你是什么人？ 候回来的？ Step1・2	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第 12 課 你是什么人？ 候回来的？ Step3・4	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈
4	第 13 課 我正在写什么？ 告呢 Step1・2	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など
5	第 13 課 我正在写什么？ 告呢 Step3・4	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第 14 課 下雨了 Step1・2	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第 14 課 下雨了 Step3・4	「不能不～」「除了～以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第 15 課 我什么时候来？ 及看 Step1・2	兼語文 (1)、可能補語、禁止文など
9	第 15 課 我什么时候来？ 及看 Step3・4	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第 16 課 把以前的考试做一做 Step1・2	形容詞の重ね形、完了の「了」、処置文など
11	第 16 課 把以前的考试做一做 Step3・4	「越～越……」、「不管～」、本文のリスニングと解釈
12	第 17 課 小心！后面来了一个 Step1・2	存現文、疑問詞の呼応など
13	第 17 課 小心！后面来了一个 Step3・4	「差（一）点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈

14 授業の総まとめと期末 授業の総まとめと筆記試験
試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属 CD を何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4 技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験 80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語 3Ⅱ

2017 年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 18 課 他的自行 被人撞坏了	受身文、意味上の受身文など Step1・2
2	第 18 課 他的自行 被人撞坏了	「比」と様態補語、結果補語の Step3・4 「 ☐ 」「成」、本文のリスニングと 解釈
3	第 19 課 “ ☐ ” 和 “ 打工” 的性 ☐ 不同	「算」、複合方向補語の派生義など Step1・2
4	第 19 課 “ ☐ ” 和 “ 打工” 的性 ☐ 不同	「不但～而且……」、本文のリスニ ングと解釈 Step3・4
5	第 20 課 有人告 ☐ 我 他生病了	兼語文 (2)、「只有～才……」など Step1・2
6	第 20 課 有人告 ☐ 我 他生病了	「有的～有的……」、本文のリスニ ングと解釈 Step3・4
7	第 21 課 “胡同” 像 迷 ☐ 一 ☐	さまざまな可能補語、「既然～就 ……」など Step1・2
8	第 21 課 “胡同” 像 迷 ☐ 一 ☐	「比」と動詞フレーズ、本文のリ スニングと解釈 Step3・4
9	第 22 課 春 ☐ 的 ☐ 票 既便宜又不好 ☐	「就是/即使～也……」、「既～又… …」など Step1・2
10	第 22 課 春 ☐ 的 ☐ 票 既便宜又不好 ☐	「并不」、「白」、本文のリスニン グと解釈 Step3・4
11	第 23 課 学分没有白 修的	復習 (その 1) 動詞述語文・形容詞 述語文など Step1・2
12	第 23 課 学分没有白 修的	復習 (その 2) 疑問文・アスペク ト、本文のリスニングと解釈 Step3・4

13	第 24 課 下次再会 Step3・4	復習 (その 3) 補語・さまざまな文 型など
14	授業の総まとめと期末 試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属 CD を何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4 技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20 %
期末試験 80 %

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検 3 級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第 7 課	文法・本文
3	第 7 課	応用練習
4	第 8 課	文法・本文
5	第 8 課	応用練習
6	第 9 課	文法・本文
7	第 9 課	応用練習
8	第 10 課	文法・本文
9	第 10 課	応用練習
10	第 11 課	文法・本文
11	第 11 課	応用練習
12	第 12 課	文法・本文
13	第 12 課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていく。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や書き取りの練習、また、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れる。

なお、授業の形態については、対面で行うが、新型コロナウイルスの感染状況により大学が対面授業の実施は困難と判断した場合は、それに従い変更することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	発音と基礎文法の復習
2	第 1 課	文法・本文・ドリル
3	第 2 課	文法・本文・ドリル・会話
4	第 3 課	文法・本文・ドリル・会話
5	第 4 課	文法・本文・ドリル・会話
6	第 5 課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間テスト・会話の発表等
8	第 6 課	文法・本文・ドリル・会話
9	第 7 課	文法・本文・ドリル・会話
10	第 8 課	文法・本文・ドリル・会話
11	第 9 課	文法・本文・ドリル・会話
12	第 10 課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験（1）	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験（2）	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語 20 回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019 年 2400 円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末試験を 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常点を 10 % にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一の状況に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANe200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

耿 函

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語(現代漢語)の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、中国語のコミュニケーション能力を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていく。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や書き取りの練習、また、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れる。

なお、授業の形態については、対面で行うが、新型コロナウイルスの感染状況により、大学が対面授業の実施は困難と判断した場合は、それに従い、変更することがある。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第 1 1 課	文法・本文・ドリル
3	第 1 2 課	文法・本文・ドリル・会話
4	第 1 3 課	文法・本文・ドリル・会話
5	第 1 4 課	文法・本文・ドリル・会話
6	第 1 5 課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間小テスト 会話の発表等
8	第 1 6 課	文法・本文・ドリル・会話
9	第 1 7 課	文法・本文・ドリル・会話
10	第 1 8 課	文法・本文・ドリル・会話
11	第 1 9 課	文法・本文・ドリル・会話
12	第 2 0 課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験(1)	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験(2)	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト(教科書)】

「大学生のための中級中国語 20 回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019 年 2400 円+税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一の状況に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン（ZOOM 形式）形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1：「疑問詞+ ☐ 」構文； 文法 2：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒヤリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3：「形容詞+了」構文 文法 4：選択疑問文「A ☐ 是 B？」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5：助動詞「想」の用法 文法 6：結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7：結果補語「到」 文法 8：程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9：数量述語文 文法 10：「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 12：「快～了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目 第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13 : 時間量を示す言葉の位置 文法 14 : 「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目 授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目 授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目 授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三浦正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

【参考書】

中国語辞書

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。

平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business". The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 3 I の続きです。

春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, "やさしいビジネス中国語," is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15：「吧」の用法 文法 16：「V ㄱ」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17：「一～就…」の構文 文法 18：「既～又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19：「(只有) ～、才能…」の用法 文法 20：「作ㄱ」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21：「先～、然后…」の構文 文法 22：「不是～、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23：「听～ㄱ/听ㄱ」の構文 文法 24：「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25：様態補語と可能補語 文法 26：助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課～第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内容を復習することはとても大事なことで、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

Make sure to review after each class and do your homework. In

learning a foreign language, reading aloud is very important.

If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.

On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50% 占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

*無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン (ZOOM 形式) 形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業 の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1: 「疑問詞+ ☐ 」構文; 文法 2: 動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒヤリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3: 「形容詞+了」構文 文法 4: 選択疑問文「A ☐ 是 B ?」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5: 助動詞「想」の用法 文法 6: 結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7: 結果補語「到」 文法 8: 程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9: 数量述語文 文法 10: 「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11: 助動詞「可以」の用法 文法 11: 助動詞「可以」の用法 文法 12: 「快+了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13：時間量を示す言葉の位置 文法 14：「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目	授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目	授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三浦正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

【参考書】

中国語辞書

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。

平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 3 I の続きです。

春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15: 「吧」の用法 文法 16: 「V ㊦～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17: 「一～就…」の構文 文法 18: 「既～又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19: 「(只有) ～、才能…」の用法 文法 20: 「作㊦～」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21: 「先～、然后…」の構文 文法 22: 「不是～、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23: 「听～㊦/听㊦～」の構文 文法 24: 「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25: 様態補語と可能補語 文法 26: 助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課～第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内容を復習することはとても大事なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

Make sure to review after each class and do your homework. In

learning a foreign language, reading aloud is very important.

If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.

On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50% 占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

* 無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期は中国語の基礎を集中的に復習し定着させる。中国語検定試験 4 級・HSK3 級に照準をあてて「話す」・「読解できる」・「聴き取れる」の中国語中級への基礎事項の習得を目指す。また補語表現を使用した応用表現を獲得する。

【到達目標】

春学期は中国語検定試験 4 級の合格（6 月末）、HSK3 級同程度の中国語文法を確実に運用できる。また、春学期終了時には基本的な文法を正確に使い、中国と日本の文化の違いについて読解でき、自分の生活や習慣・文化などについても具体的に話すことができるのが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。大学の「行動方針レベル」が変更となった場合、学習支援システム Hoppii で伝達します。

教科書に沿って読解、聴き取り、発音練習を行う。授業開講時に数回に分けて簡単な自己紹介を行う。毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえでその後、学習した文法を使いながら、中国語で本文に關した表現を反復練習する。最後に中心となる文法を使用して簡潔な文章を作成する。【課題へのフィードバック】文法に関しては授業時間に回答を例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削後、返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎文法と発音（ピンイン）の復習	ピンインの復習と今まで学習した内容を踏まえての簡単な自己紹介。基礎文法事項の確認。
第 2 回	ホテルから車に乗る、交通に関して表現	「都」と「也」の用法。呼応関係で「都」「也」が使われる構文を学習する。
第 3 回	交通事情に関する質疑応答と読解	交通手段を利用した移動の際につかう表現を口頭で練習する。
第 4 回	インターネットに関する表現	「都」と「才」、「就」と「才」の用法。「また～」を表現する言葉の区別と練習。
第 5 回	自分がどのようにインターネットを使用しているかについて	時制に関する表現の復習と併せて「就」「才」の練習を行う。
第 6 回	もてなしの表現	兼語文に關しての復習と命令表現について学習する。
第 7 回	誕生日や一緒にお茶を飲む場面での表現	使役・受身表現を復習し、具体的な場面での使い分け方を修得する。
第 8 回	小テスト 中国語検定 4 級程度の問題の解説	呼応関係にある副詞のまとめと、兼語文に關しての総合練習。

第 9 回	職場での表現	「不是」「哪儿」「怎么」「什么」「難道」などの様々な反語表現について学習する。
第 10 回	自分の専門や新技術用語を使って仕事に関することを説明する	仕事に関する言葉を覚え、聴き取り応対できるための練習を行う。
第 11 回	自分が好きなことや物についての表現	存現文に特化した練習。 存在の「着」・出現の「完了」・消失の「了」との組み合わせについて学習する。
第 12 回	基礎的な補語表現について	存現文の中でも、方向補語との組み合わせになる場合を特に練習する。
第 13 回	学習した部分までのヒアリングの補充練習	質問文を書き取り、それに対しての答えを書く、或いは口頭で返答する練習。
第 14 回	筆記試験と総合復習	中級の前半に学習する構文のまとめと最終到達度の確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】授業時に分担して翻訳してもらうので、教科書の本文・例文の翻訳は各自で行うこと。また作文も担当をあらかじめ決める回があるので、担当者は準備すること。

【復習】文法上での疑問点を確認すること。音声教材をよく聴いて発音を練習すること。【課題】ヒアリング問題・音声ファイルの提出を主とし、簡単な作文は授業内で行い授業終了後回収する。

【テキスト（教科書）】

『総合中級中国語教程 改訂版』上野恵司監修・李錚強著 白帝社 2400 円+税

ISBN978-4-86398-263-5 CD-ROM 付き

【参考書】

中日辞典を持っていることが望ましいが授業開始時に詳しく紹介するので、辞典などの購入は説明の後からで構わない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（暗誦や各課にある練習問題の提出）と平常点の 30 %を総合して評価する。中国語検定試験 4 級・HSK 3・4 級合格者は大きく加点する。中国語外部能力試験の点数によっては試験を免除とする。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はオンラインと対面の併用で進化した。このクラスは基礎を習得した学生が履修するが各学生の習得度はさまざまであるので、短い頻出するフレーズを通して、口頭での表現力の基礎を確実に習得できるよう進めたい。中国語での造句に関しては授業内で回収し添削して返却できたことは良かった点である。対面においては通常時に比べ、発音練習に時間が取られたので数回に一度は課題にするなどの効率よくできる方法を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

各自が便利な方法で辞典が利用できることと、付属の音声教材を日常的にヒアリングできる機器を準備して欲しい。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one half hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 3/Wed.3

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中級の文法の確立と応用練習を行う。中国語検定試験 3 級/HSK3～4 級に照準をあてて春学期よりも長めの文章を読解し、そのテーマに関する会話を聞き取り、簡単な質疑応答ができる能力を養成する。また、現代中国の日常に関する比較的短い読解も並行して行う。

【到達目標】

中国語検定試験 3 級の合格 (11 月末)、あるいは HSK4 級の 6 割程度の文法を習得し、学習した句型を使い自分の考えを表現することができる。また、テーマに関するヒアリング問題を理解でき、より複雑な時制の表現や構文の習得を到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

始めに発音の練習をしすでに学習した例文を確認する。その後、各課の文法を解説し会話文・読解・実践問題と進行する。1 ヶ月に 1 度は検定問題の一部などを使用しながら実践練習を行う。【課題へのフィードバック】 造句や読解問題などは授業内で回収し、添削後返却する。文法は各自担当してもらった回答を一覧にし、授業時に解説を行う。発音に関しても音声ファイルの提出でチェックした不明瞭な部分を授業時に確認する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習事項の確認とまとめ	中検 4 級程度の文法とヒアリングの復習。
第 2 回	料理を注文する表現	疑問詞の連用。「拿～來說」「先～再～」「要是～就～」の表現練習。
第 3 回	食文化について。中華料理の分類についての文章の読解	仮定法の練習を行い、教科書の内容の冠婚葬祭のときに使う表現も併せて修得する。
第 4 回	コンビニで	「如」と「不如」の練習。「不但～而且～」、「值得～」、接続詞「可見」の用法を学習する。
第 5 回	コンビニで買い物をするときの表現練習	自分自身の生活中で、どのようにコンビニや商店を利用しているかを表現する練習を行う。
第 6 回	寒暖晴雨について	「総之～」「有時～有時～」「反正～」「当～時～」などを使う表現練習を行う。
第 7 回	天候に関する表現	自分の好きな季節や中国と日本の気候の違いなどを簡潔に口頭で答える練習を行う。
第 8 回	小テストと暗誦 HSK・中国語検定のヒアリング	前半で学習した構文の確認と指定の文章の暗誦を行う。
第 9 回	色の象徴的な意味について	「把」構文と「在～方面」「在～下」の在を使った応用練習。特に「把」構文の総合練習を行う。

第 10 回	色が含まれる日常よく使われる語彙の確認	中国語での色彩の意味をテーマにした比較的難しい文章を読む。読後、質問に答える。
第 11 回	漢方医学に関して	接続詞「而」の用法。介詞「以」の用法の整理。「一方面～一方面～」「按照～」の練習。
第 12 回	西洋医学と東洋医学の違いについて	自分が病気になる場合、どのように医師に告げるのか、薬や治療に関する表現を修得する。
第 13 回	全体の復習	特に補語表現と時制に関するより複雑な表現を整理し練習する。
第 14 回	最終到達度の確認	秋学期に学習した文法事項と聴き取り。時間があれば部分的に HSK や中国語検定の問題を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

まず基礎段階を終了しての応用練習なので、夏休みを利用して既習の内容を把握・予習していることが望ましい。【予習】 授業では翻訳の確認を行うので各自で日訳を作成すること。作文も担当者を決めることがあるので、その場合は回答を準備すること。【復習】 練習で行った疑問・問題を確認すること。音声教材・場合によっては教科書付属のヒアリングの問題を行う。【課題】 音声ファイルの提出と教科書の練習問題を行う。

【テキスト (教科書)】

『総合中級中国語教程 改訂版』上野恵司監修・李錚強著 白帝社
2400 円+税
ISBN978-4-86398-263-5 CD-ROM 付き。

【参考書】

授業進行時に紹介してゆく予定なので、それから個々に適したものを選ぶと良いかと思う。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %・小テスト 30 %・課題 (授業時に指定した部分の朗読・作文の提出) と平常点 30 % の総合評価。中国語検定試験 3 級・HSK4 級以上の合格者は期末試験を免除し評価を S とする。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はオンラインと対面の両方での進行でした。文法は対面授業再開後に添削と返却や具体的な誤答例を挙げて解説できたものの、音声ファイルにコメントを付けて毎回、返却することができず、クラス全体で問題のあった部分の復習のみにとどまりました。通常時とは異なり発音の練習に時間がかかったこともありますが、発音の課題返却については根本的な改善したいと思います。この段階になると十分な予習なしでは円滑な進行が難しくなるので、翻訳部分の担当者を決めるなどして聴く・話す・読むをバランス良く練習できる時間を確保するよう努めたいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

各自が一番便利な方法で辞典を参照できるように。また、教科書付属のヒアリングの練習問題ができるよう音声機器を準備すること。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANe200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまで学んできた基本語彙、初級文法を復習しながら、中国語検定試験 4 級に照準をあてて「話せる」・「読める」・「聞ける」中国語の習得を目指します。発音の矯正（スピーチ）・基礎単語と日常用語の暗記・文法理解（翻訳練習）などを授業内容とします。

【到達目標】

春学期は中国語検定試験 4 級の合格を到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえ、自己紹介スピーチの実演、リスニング（翻訳練習と日常用語）の練習を行なう。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	発音の復習	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 15 文。
第 2 回	発音の復習	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 15 文。
第 3 回	単語・文法	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。
第 4 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 15 文。
第 5 回	復習とテスト	第 1 回から第 4 回までの復習とテスト
第 6 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 10 文。4 級過去問 1 回目
第 7 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。4 級過去問 2 回目
第 8 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。4 級過去問 3 回目
第 9 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。
第 10 回	復習とテスト	第 5 回から第 9 回までの復習とテスト
第 11 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 10 文。
第 12 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 10 文。
第 13 回	総合復習	単語 200 語。日常用語 50 語。翻訳練習 50 文。
第 14 回	期末試験（口頭試験と筆記試験）	期末試験（口頭試験と筆記試験）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中に集中して授業に参加すれば、授業時間外に予習や復習する必要はありません。中国語検定試験 4 級を受験する場合は多少単語を覚え、リスニングをトレーニングする必要があります（4 級受験勉強のための資料を配布）。

【テキスト（教科書）】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。検定試験 4 級の関連資料を配布します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

スピーチテスト（15 %）と小テストの平常点（15 %）、期末試験の成績（70 %）などを総合して評価する

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANc200LA

中国語 Ⅱ

2017 年度以降入学者

薬 会

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火 5/Tue.5

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

これまで学んできた基本語彙や文法を復習しながら、中国語検定試験 3 級という挑戦的なレベルに照準をあてて「話せる」・「読める」・「聞ける」中国語の習得を目指します。発音の矯正 (長文暗記)・基礎単語と日常用語の暗記・文法理解 (翻訳練習) などを授業内容とします。

【到達目標】

秋学期は中国語検定試験 3 級の合格を到達目標とします。(少し挑戦的な目標ですが、しっかりと授業に付いてくれれば合格できる)

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえ、長文暗記、リスニング (翻訳練習と日常用語) の小テストを行なう。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習とまとめ	自己紹介スピーチ。プリントⅡ① (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 2 回	春学期の復習とまとめ	自己紹介スピーチ。プリントⅡ① (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 3 回	長文理解 (累加関係・逆接関係の複文)	自己紹介スピーチ。プリントⅡ② (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 4 回	長文理解 (条件関係・譲歩関係の複文)	自己紹介スピーチ。プリントⅡ② (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 5 回	復習とテスト	プリントⅡ①とプリントⅡ②の復習とテスト。
第 6 回	聞き取りと翻訳	3 級練習問題① (単語 100 語・翻訳練習 40 文)
第 7 回	聞き取りと翻訳	3 級練習問題② (リスニング練習と翻訳練習 40 文)
第 8 回	長文理解 (因果関係と仮定関係の複文)	自己紹介スピーチ。プリントⅡ③ (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 9 回	長文理解 (因果関係と仮定関係の複文)	自己紹介スピーチ。プリントⅡ③ (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 10 回	長文理解 (いろいろの表現)	自己紹介スピーチ。プリントⅡ④ (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 11 回	長文理解 (いろいろの表現)	自己紹介スピーチ。プリントⅡ④ (単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文)。
第 12 回	復習とテスト	プリントⅡ③とプリントⅡ④の復習とテスト。

第 13 回 総合復習

期末試験範囲の確認と練習

第 14 回 授業の総まとめと期末試験 (口頭試験) (口頭試験と筆記試験と筆記試験)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業中に集中して授業に参加すれば、必要がありません。中国語検定試験 3 級を受験する場合は多少単語を覚え、リスニングをトレーニングすることが必要です (3 級試験の関連資料を配る)。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。検定試験 3 級の関連資料を配布します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

スピーチテスト (15 %) と小テストの平常点 (15 %)、期末試験の成績 (70 %) などを総合して評価する

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANc200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	新出単語とポイント（「一…就～」など 6 項目）の説明
2	第 1 課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第 2 課	新出単語とポイント（「每…都～」など 6 項目）の説明
4	第 2 課	「食」本文の解説と練習問題
5	第 3 課	新出単語とポイント（「多/少」＋動詞）など 6 項目の説明
6	第 3 課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第 1 課～第 3 課の内容の定着度チェック
8	第 4 課	新出単語とポイント（「兼語 “有”」など 6 項目）の説明
9	第 4 課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第 5 課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など 6 項目）の説明
11	第 5 課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第 6 課	新出単語とポイント（「无…都/也～」など 6 項目）の説明
13	第 6 課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	前期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD 付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANe200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	新出単語とポイント（「只要…就～」など 6 項目）の説明
2	第 7 課	「 ☐ 价 ☐ 价」本文の解説と練習問題
3	第 8 課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など 6 項目）の説明
4	第 8 課	「 ☐ 送礼 ☐ 究」本文の解説と練習問題
5	第 9 課	新出単語とポイント（「 ☐ …了」など 6 項目）の説明
6	第 9 課	「 ☐ 中国 ☐ 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第 7 課～第 9 課の内容の定着度チェック
8	第 10 課	新出単語とポイント（「好在」など 6 項目）の説明
9	第 10 課	「 ☐ 双 ☐ 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第 11 課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など 6 項目）の説明
11	第 11 課	「 ☐ 中国人 ☐ 称呼」本文の解説と練習問題
12	第 12 課	新出単語とポイント（「随着～」など 6 項目）の説明
13	第 12 課	「 ☐ 理想 ☐ ☐ 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	後期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD 付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。毎回、2～3 個の基本的な文法を学習し、それが含まれている 4 行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

【到達目標】

学生の到達目標は次の 4 点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 1 課	会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方
2 回	第 2 課	会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 ＜～の～＞
3 回	第 3 課	会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方
4 回	第 4 課	会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文
5 回	第 5 課	会話を学習する 文法を学習する ＜是＞の文 電話番号の言い方

6 回	第 6 課	会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞＜なに＞ 会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞＜～で＞ 会話を学習する 文法を学習する ＜～が好きだ＞ ＜この～＞の言い方
7 回	第 7 課	会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞＜～に＞ 会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方
8 回	第 8 課	会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来+数量＞の言い方
9 回	第 9 課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文
10 回	第 10 課	第 1 課～12 課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
11 回	第 11 課	第 1 課～12 課を範囲に口頭テスト・まとめと解説
12 回	第 12 課	
13 回	授業内期末筆記テスト	
14 回	授業内期末口頭テスト	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、1 時間を標準とする。授業の前と後は必ず CD を繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト（教科書）】

『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
2019 年 2300 円

【参考書】

参考書は授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。
配分は、毎行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が 40 %、期末口頭テストが 20 %、筆記テストが 40 % です。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(40%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(40%).

LANc200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語 4 I」より少し難度の高い会話文を学ぶ。

授業の流れは「中国語 4 I」と同様で、基本的な文法、4 行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

【到達目標】

【到達目標】

学生の到達目標は次の 4 点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 13 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞〈～したい〉 存在を現す〈有〉
2 回	第 14 課	会話を学習する 文法を学習する 存在を現す〈在〉 〈有〉と〈在〉の区別
3 回	第 15 課	会話を学習する 文法を学習する 所有を現す〈有〉 疑問詞〈どうですか〉
4 回	第 16 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞〈どうやって〉 〈好 + 動詞〉

5 回	第 17 課	会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方
6 回	第 18 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞〈なぜ〉 結果補語
7 回	第 19 課	会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞〈～から〉
8 回	第 20 課	会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 〈ちょっと〉の言い方
9 回	第 21 課	会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方
10 回	第 22 課	会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞〈できる〉
11 回	第 23 課	会話を学習する 文法を学習する 様態補語
12 回	第 24 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞〈できる〉 時量補語 〈～するつもりだ〉
13 回	授業内期末筆記テスト	第 13 課～24 課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14 回	授業内期末口頭テスト	試第 13 課～24 課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とする。授業の前と後は必ず CD を繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト（教科書）】

『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

【参考書】

授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が 40 %、期末口頭テスト 20 %、筆記テストが 40 %。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(40%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(40%).

LANc200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

発音を固める。
読解力を培う。
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部：
DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルを確認の上、内容への理解をチェッ
クしながら、効果的に授業を進めていく。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	一年次に習った文法を復習する
第 2 回	第 1 課	名詞の前に置く“的”、動詞の前に 置く“地”、助動詞“要”、連動文
第 3 回	第 1 課	第 1 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第 2 課	動態助詞の“了”、語気助詞の“了” 、語気助詞の“吗”と“吧”
第 5 回	第 2 課	第 2 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第 3 課	経験・経過を表わす“过”、“怎么” の 2 つの用法、副詞“才”の用法
第 7 回	第 3 課	第 3 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第 4 課	動作の進行、動作・状態の持続を 表わす“着”、動作を行う時間の長 さ・動作の回数、“因为～所以…”
第 9 回	第 4 課	第 4 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第 5 課	近い未来“要～了”・“快～了”、反 語の表現、副詞“就”の用法、“要 是～就…”
第 11 回	第 5 課	第 5 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第 6 課	結果補語、感嘆文、副詞“还”の 用法、“虽然～但是…”
第 13 回	第 6 課	第 6 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、試験、まとめ	ここまで習った内容を復習、確認 する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。
毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己
チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2 年めの中国語ポイント 4 5』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの
提出及び完成度など) 50 % に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映
されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The
aim of this course is to acquire the upper intermediate level
communication skills of Chinese. We will improve the skills
of listening, speaking, reading and writing through studying
pronunciation, grammar, conversation and composition.
The standard preparatory study / review time for this class is
1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and
50% of normal points (learning attitude, learning motivation,
submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANe200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

読解力や、表現力などのさらなるスキルアップを目指す。
日常の中国語のコミュニケーションが取れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせて、内容への理解をチェックしながら、授業を進める。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	解説と復習	春学期の学習内容の復習
第 2 回	第 7 課	様態補語、比較の表現、形容詞の重ね型、“不但～而且…”
第 3 回	第 7 課	第 7 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第 8 課	方向補語、複合方向補語、強調表現“连～也…”、“一～就…”
第 5 回	第 8 課	第 8 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第 9 課	“把” 構文、受身の表現、副詞“再”と“又”、“只要～就…”
第 7 回	第 9 課	第 9 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第 10 課	可能補語、“是～的”の構文、“只有～才…”
第 9 回	第 10 課	第 10 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第 11 課	“～得了” / “～不了”の可能補語、兼語文、“不是～而是…”
第 11 回	第 11 課	第 11 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第 12 課	存現文、同じ疑問詞の呼応、“不管～都…”
第 13 回	第 12 課	第 12 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、まとめ、試験	第 7～12 課の復習と試験、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。

毎課の新出単語と文法をしっかりと記憶し、理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。

毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2 年めの中国語ポイント 4 5』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など) 50 % に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANc200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1、中国語 2 で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Class outline

Based on

what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, go to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として、1 課を 2 回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト (約 25 分) 2) テキストの学習 (約 40 分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など (約 35 分)。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課 『換銭』	1 慣用句：挺+形容詞+的 結果補語：2 助動詞：「要」 「看到，吃到」3 副詞：「点儿」 文法問題の演習/会話
3	第一課 『換銭』	1 「太+形容詞」 慣用句：2 「就是」 「除了 不用」文法問題の演習

4	第二課 『小学校 門前』	1 「什么的」 2 「等等」 文法問題の演習/会話
5	第二課 『小学校 門前』	1 「着」：場所+動詞+着 2 「在」：在+動詞 家族の称呼に関して：文法問題の演習/会話 「叔叔」「伯伯」 「奶奶」「姥姥」
6	第三課 『早上的公园』	健康についての諺を紹介、説明 文法問題の演習/会話 感嘆文： 「多～啊」
7	第三課 『早上的公园』	1 「数詞+多」 2 「怎么」 1 「動詞+的」の名詞化 2 「多+形容詞」 文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課 『年人的就』	「了」/「得」： 人や事物に対する見方 文法問題の演習/会話 1 「了」：変化を表す 2 「又」：状況、動作の累加
10	第四課 『年人的就』	部分的な否定を表す慣用句 「不都是」 仮定を表す表現： 「如果」
11	第五課 『相』	1 能願動詞： 「能」 2 推測の表現： 「听」 2 体験を表す：「了」 「听」
12	第五課 『相』	1 「就」の使い方 2 「很」の使い方 慣用句： 「无是～是」 文法問題の演習/会話
13	第六課 『外甥的婚房』	1 「本」の使い方 2 「本」の使い方 3 「支」の使い方 1 副詞： 「竟」 文法問題の演習/会話 2 慣用句：「就要～了」
14	第六課 『外甥的婚房』	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

1.

【テキスト（教科書）】

『日中いぶこみ 1 2 景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語 301 句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 % とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with a T aTverage score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

※定員制（30 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Based on what you learned in the spring, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語で自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進捗として、1 課を 2 回の授業で進めていく。毎回の授業を概ねに次のように進める。1) 小テスト（約 25 分） 2) テキストの学習（約 40 分） 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など（約 35 分）。外国語を身につけるためには、継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を合わせて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『婆媳关系』	口語的な表現：『照』 不特定の表現：書面的な表現：『按照』 「哪儿～哪儿？」
3	第七課 『婆媳关系』	前置詞： 気持ちを表す語彙： 1 「从」 1 「幸福」 2 「到」 2 「愉快」 3 「心」

4	第八課 『川菜』 慣用句： 1 「既～又」 2 「是☐☐啊」	1 連詞：「就是」 2 複合方向補語： 「出来」と「☐去」
5	第八課 『川菜』 量詞： 「家」の使う場合	語彙の説明： 「排出去」の使い方
6	第九課 『中☐医☐』 慣用句： 「在～之中」	1 比較と選択の表現： 「是～是」 2 否定の表現： 「没有」
7	第九課 『中☐医☐』 仮定の表現： 「～的☐」	解釈： 1 「只是」 2 「☐是」
8	文法のまとめ	第七課～第九課の復習、勉強した 内容の確認
9	第十課 『九九重 阳☐』 1 前置詞「☐」の使 い方 2 慣用句「跟～一起」	副詞： 1 「将」の使い方 2 「尽快」の意味
10	第十課 『九九重 阳☐』 1 「三世同堂」の意味 2 「孝☐」の語彙に 内在する意味	常用副詞のまとめ 1 「或者」 2 「早就」 3 「尽快」
11	第十一課 『旅游』 1 副詞の「☐」につ いて 2 慣用句の「☐～都」 について	仮定の表現： 「如果～的☐」の使い方
12	第十一課 『旅游』 1 動詞の重ね「看看」 2 慣用句「是～的」	パソコン関係の語彙 1 「☐☐」 2 「网址」 3 「短信」
13	第十二課 『除夕夜』 お祝いの言葉に関する 紹介、説明	1 疑問詞の「怎么」 2 前置詞としての「☐」
14	第十二課 『除夕夜』 1 副詞「才」 2 慣用句としての 「有的」 文法に関するまとめ、 演習	「年夜☐」に関する説明 第七課～第十二課の復習、勉強し た内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

1.

【テキスト（教科書）】

『日中いぶこみ 1 2 景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語 3 0 1 句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 % とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with aT aTaverage score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

〔Learning activities outside of classroom〕

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

〔Grading Criteria〕

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	新出単語とポイント（「一…就～」など 6 項目）の説明
2	第 1 課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第 2 課	新出単語とポイント（「每…都～」など 6 項目）の説明
4	第 2 課	「食」本文の解説と練習問題
5	第 3 課	新出単語とポイント（「多/少」＋動詞）など 6 項目の説明
6	第 3 課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第 1 課～第 3 課の内容の定着度チェック
8	第 4 課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など 6 項目）の説明
9	第 4 課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第 5 課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など 6 項目）の説明
11	第 5 課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第 6 課	新出単語とポイント（「无…都/也～」など 6 項目）の説明
13	第 6 課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	前期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD 付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	新出単語とポイント（「只要…就～」など 6 項目）の説明
2	第 7 課	「 ☐ 价 ☐ 价」本文の解説と練習問題
3	第 8 課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など 6 項目）の説明
4	第 8 課	「 ☐ 送礼 ☐ 究」本文の解説と練習問題
5	第 9 課	新出単語とポイント（「 ☐ …了」など 6 項目）の説明
6	第 9 課	「 ☐ 中国 ☐ 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第 7 課～第 9 課の内容の定着度チェック
8	第 10 課	新出単語とポイント（「好在」など 6 項目）の説明
9	第 10 課	「 ☐ 双 ☐ 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第 11 課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など 6 項目）の説明
11	第 11 課	「 ☐ 中国人 ☐ 称呼」本文の解説と練習問題
12	第 12 課	新出単語とポイント（「随着～」など 6 項目）の説明
13	第 12 課	「 ☐ 理想 ☐ ☐ 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	後期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD 付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

中国語 (3) I

2017 年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。

【到達目標】

一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定4級および HSK 3級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。

- ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力
- ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力
- ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力
- ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け 2 週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。

- ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習
- ・復習のため適宜小テスト（音読あるいは書き取り）を行います。
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。
- ・指示された課題は必ず取り組んでください。
- ・課題等のフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などを説明します。中国語リテラシーについてもお話しします。
2	第 12 課 你是什么人？ Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読 演習	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第 12 課 你是什么人？ Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈
4	第 13 課 我正在写 告呢 Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読 演習	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など

5	第 13 課 我正在写 告呢 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第 14 課 下雨了 Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読 演習	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第 14 課 下雨了 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習	「不能不～」・「除了～以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第 15 課 我 来 得 及 看 Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読 演習	兼語文 (1)、可能補語、禁止文など
9	第 15 課 我 来 得 及 看 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第 16 課 把以前的考 做一 Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読 演習	形容詞の重ね形、完了の「 ☐ 」、処置文など
11	第 16 課 把以前的考 做一 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習	「越～越……」、「不管～」、本文のリスニングと解釈
12	第 17 課 小心！后 面来了一 Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読 演習	存現文、疑問詞の呼応など
13	第 17 課 小心！后 面来了一 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習	「差（一）点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈
14	授業の総まとめと期末 試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。

【予習】

- ・単語・課文・例文の意味は事前に調べておく。また、練習問題は付属音声は何度も聴いて事前にやっておく。授業中の指名に回答できるようにしておく。
- ・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。

【復習】

「Quizlet」を用いたオンラインドリルによって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させる。これは課題となります。

【テキスト（教科書）】

『4 技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験 50%、課題の達成度＋平常点（小テスト、予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計 50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験 30%、課題＋平常点＝ 70%に変更し総合的に判断することとします）

提出課題についての注意：

オンラインドリル以外に提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

- ①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。
- ②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い＝成績の低評価につながります。
- ③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。
- ④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。
- ⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

課題として「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【その他の重要事項】

受講において考慮すべきことがあれば遠慮なくご相談ください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, homework and in class contribution: 50%

LANc200LA

中国語 (3) II

2017 年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。

【到達目標】

一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定 4 級および HSK 3 級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。

- ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力
- ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力
- ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力
- ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け 2 週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。

- ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習
- ・復習のため適宜小テスト（音読あるいは書き取り）を行います。
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。
- ・指示された課題は必ず取り組んでください。
- ・課題等のフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 18 課 他的自行☒ 被人撞坏了	受身文、意味上の受身文など Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読演習
2	第 18 課 他的自行☒ 被人撞坏了	「比」と様態補語、結果補語の 「☒」「成」、本文のリスニングと Step 3 の単語・文法 解釈 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習
3	第 19 課 “☒☒”和“「算」、複合方向補語の派生義など 打工”的性☒不同	Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読演習

4	第 19 課 “  和“  打工”的性  不同 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	「不但～而且……」、本文のリスニングと解釈
5	第 20 課 有人告  我他生病了 Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	兼語文 (2)、「只有～才……」など
6	第 20 課 有人告  我他生病了 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	「有的～有的……」、本文のリスニングと解釈
7	第 21 課 “胡同”像迷  一  Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	さまざまな可能補語、「既然～就……」など
8	第 21 課 “胡同”像迷  一  Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	「比」と動詞フレーズ、本文のリスニングと解釈
9	第 22 課 春  的  票既便宜又不好  Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	「就是/即使～也……」、「既～又……」など
10	第 22 課 春  的  票既便宜又不好  Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	「并不」、「白」、本文のリスニングと解釈
11	第 23 課 学分没有白修的 Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	復習 (その 1) 動詞述語文・形容詞述語文など
12	第 23 課 学分没有白修的 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	復習 (その 2) 疑問文・アスペクト、本文のリスニングと解釈
13	第 24 課 下次再会 Step1 の単語・文法学習 Step 3 の単語・文法学習	復習 (その 3) 補語・さまざまな文型など
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。

【予習】

・単語・課文・例文の意味は事前に調べておく。また、練習問題は付属音声は何度も聴いて事前にやっておく。授業中の指名に回答できるようにしておく。

・会話および長文は、付属音声を聴いて教科書本文を確認する。

【復習】

「Quizlet」を用いたオンラインドリルによって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させる。これは課題となります。

【テキスト（教科書）】

『4 技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験 50%、課題の達成度 + 平常点（小テスト、予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計 50% の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験 30%、課題 + 平常点 = 70% に変更し総合的に判断することとします）

提出課題についての注意：

オンラインドリル以外に、提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。

②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い = 成績の低評価につながります。

③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。

④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。

⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

課題として「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、homework and in class contribution: 50%

LANe200LA

中国語 (3) I

2017 年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、日常会話に必要な基礎を身に付けることを目標とする。
また、発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができ、文章が読めるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。
課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	一年時の復習	本授業の授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。
第 2 回	第一課	発音の総復習と、簡単に初級中国語文法を復習する。
第 3 回	第一課	ドリル、発音練習を中心に学習する。
第 4 回	第二課	助動詞“会”，動詞の重ね型，使役文について学習する。
第 5 回	第三課	近い未来，助動詞“应该”，“既～又…”について学習する。
第 6 回	第三課	ポイント（方位詞「上」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 7 回	第四課	時間量補語，“一点儿”＋“也／都”＋否定形，“一～就…”について学習する。
第 8 回	第五課	状態補語、前置詞“为了”，連用修飾語を作る“地”について学習する。
第 9 回	第六課	助動詞“可以”，“只要～，就…”，結果補語について学習する。
第 10 回	第七課	進の“在”“正”“正在”“无…～…是…，都～”，疑問詞の不定用法について学習する。
第 11 回	第八課	助動詞“要”，前置詞“离”，100 以上の数，金額の言い方について学習する。
第 12 回	第九課	持続の“着”，単純方向補，複合方向補，方向補語の派生的用法について学習する。

第 13 回 第十課

受け身文，“一边（几）～，一边（几）…”，“先～，然後ろ…”，“由于～，所以…”について学習する。

第 14 回 前期の総まとめ・試験 総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用い、分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声も聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語』

著者：杉野元子・黄漢青

出版社：白帝社 2021 年 3 月第 3 版

【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。
（期末テスト 70%，平常点（小テスト含む）30%）となります。
オンライン授業となった場合は、毎回の課題の実施状況、小テストの成績によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート結果では、多くの学生が授業を理解していたようで、今年度も分かりやすい授業を行えるよう工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on, we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc200LA

中国語 (3) II

2017 年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	前期の総復習。	前期の学習事項の総復習を行う。
第 2 回	第 10 課	会話文と異なる長文の読み方の復習、長文読解による文法事項の復習。
第 3 回	第 11 課	本文についての練習問題、聴き取り、夏休みの過ごし方を紹介する。
第 4 回	第 12 課	比較(1)、比較(2)、可能補語について学習する。
第 5 回	第 13 課	“A 是 A，就是～”，“有点儿”と“一点儿”，処置文について学習する。
第 6 回	第 14 課	“要么～，要么…”，助動詞“得”，“不管～，都…”について学習する。
第 7 回	第 15 課	副詞“又”，副詞“就”と“才”，“除了～以外”，“～什么的”について学習する。
第 8 回	第 16 課	疑問詞+“都／也”，“要是／如果～的话，就…” 離合動詞について学習する。
第 9 回	第 17 課	本文についての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 10 回	第 18 課	副詞“难怪”，存現文，存現文で表す自然現象について学習する。
第 11 回	第 19 課	疑問詞の呼応用法，反語の表現“哪能～”について学習し，補語について総復習する。

第 12 回 第 20 課

“对～来”，“连～都／也…”，“之所以～，是因为…”，“既然～，就…”，“不是～，而是…”について学習する。

第 13 回 第 20 課

会話文と異なる長文の読み方、長文読解による文法事項の復習を行う。

第 14 回 総復習

総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用いて分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声も聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語 20 回』

著者名：杉野元子 黄漢青 著

出版社名：白帝社 2021 年 3 月 第 3 版発行

【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

オンライン授業が継続される場合、基本的に以下の基準で評価します。

・毎週の課題の提出状況

・e 宿題実施状況

学生のみなさんの学習環境によっては、zoom などを使用して

小テストなどを行う可能性もあります。

対面授業が可能になった場合は、以下の基準で評価します。

期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。

（期末テスト 70%、平常点（小テスト含む）30%）

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc200LA

中国語 7

2017 年度以降入学者

曾 士才

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1～6 で学んだことを基礎にして、中国語の読解能力と聞き取り能力を並行してトレーニングします。

【到達目標】

上海外国語大学での授業にスムーズに入れることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

S Aでの授業を念頭に置き、素材の対話文、長文だけでなく、解説もすべて中国語の音声教材を用います。教材の内容は中国の社会、歴史、民族、文化、風俗習慣、故事来歴など多彩です。毎回の授業では、中国語の音読練習、語句の使い方の説明と練習、日本語への翻訳を行います。具体的な授業の進め方については、初回の授業で説明します。

課題等へのフィードバックは授業時間または Hoppii の掲示板を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方と準備学習の説明と心構え、WEB 版教材の紹介をする。
第 2 回	教材 1 (1)	「上海的小吃」を用います。3 日前までに 51 行目まで聞き取ります。授業では、字幕の音読と翻訳を練習します。
第 3 回	教材 1 (2)	引き続き「上海的小吃」の 101 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。
第 4 回	教材 1 (3)	「上海的小吃」の 157 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。
第 5 回	教材 2 (1)	「高考」を用います。この日までに 59 行目までを聞き取ります。授業では、字幕を日本語に翻訳する。
第 6 回	教材 2 (2)	引き続き「高考」の 117 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。
第 7 回	教材 2 (3)	「高考」の 163 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。
第 8 回	教材 3 (1)	「中秋的月饼」を用います。この日までに 54 行目までを聞き取ります。授業では、字幕を日本語に翻訳する。
第 9 回	教材 3 (2)	引き続き「中秋的月饼」の 97 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。

第 10 回 教材 3 (3)

「中秋的月饼」の 142 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。

第 11 回 教材 4 (1)

「不怕慢，就怕站」を用います。この日までに 41 行目までを聞き取ります。授業では、字幕を日本語に翻訳する。

第 12 回 教材 4 (2)

「不怕慢，就怕站」の 79 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。

第 13 回 期末テスト

読解力を測定するテスト（中文日訳）の実施する。
範囲は既習の 4 つのテキストです。
詳細は後日伝えます。
期末テストの返却と講評を行う。

第 14 回 テストの講評

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2～3 時間を標準とします。詳細は初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

愛漢語播客 2010 年集 (iMandarin Pod.com) からセレクトした音声教材

【参考書】

各自使い慣れている辞書と文法書。

【成績評価の方法と基準】

準備学習（20 %）と期末に行う翻訳テスト（80 %）によって評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。出席は成績評価の大前提である。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help participants improve both reading and listening skills in Chinese, based on what you learned in Chinese 1-6.

【Learning Objectives】

At the end of the course, participants should be able to enhance the development of Chinese skill in reading and listening.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, participants will be expected to make audio materials into text and translate it to Japanese. After each class meeting, participants will be expected to check the text created by myself based on the translation example presented by the teacher. Your study time will be two or three hours.

【Grading Criteria/Policy】

Final grade will be calculated according to the following process: Learning activities outside of classroom (20%) and reading comprehension test conducted at the end of the semester (80%) .

LANe200LA

中国語 8

2017 年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

HSK のリスニング問題のディクテーションと過去問の練習を通じて、4 級合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につけていく。

また、過去問のシミュレーターによる模擬試験によって、HSK の問題形式に慣れ、確実な合格をめざす。

【到達目標】

HSK4 級の合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、自宅での e-Learning による予習と教室での授業を組み合わせたブレンド型学習によって行う。具体的な授業の進め方は次のとおり。

〔授業前の事前学習〕

授業前にパソコンまたはスマートフォンを使い、HSK のリスニング問題のディクテーションを行う

〔授業の進め方と方法〕

- ①小テスト (前回の学習内容の復習テスト)
- ②リスニング問題と読解問題の解説
- ③過去問を使った模擬試験 (期間中 2 回実施)

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加する LINE のグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	授業の目標と学習方法の解説
第 2 回	HSK3 級リスニング 対策①	HSK3 級リスニング問題の第一部 分の解説と過去問の練習
第 3 回	HSK3 級リスニング 対策②	HSK3 級リスニング問題の第二 部の解説と過去問の練習
第 4 回	HSK3 級リスニング 対策③	HSK3 級リスニング問題の第三 部の解説と過去問の練習
第 5 回	HSK3 級リスニング 対策④	HSK3 級リスニング問題の第四部 分 (前半) の解説と過去問の練習
第 6 回	HSK3 級リスニング 対策⑤	HSK3 級リスニング問題の第四部 分 (後半) の解説と過去問の練習
第 7 回	HSK3 級リスニング 対策⑥	HSK3 級模擬試験
第 8 回	HSK4 級リスニング 対策①	HSK4 級リスニング問題の第一部 分 (前半) の解説と過去問の練習
第 9 回	HSK4 級リスニング 対策②	HSK4 級リスニング問題の第一部 分 (後半) の解説と過去問の練習
第 10 回	HSK4 級リスニング 対策③	HSK4 級リスニング問題の第二部 分 (前半) の解説と過去問の練習
第 11 回	HSK4 級リスニング 対策④	HSK4 級リスニング問題の第二部 分 (後半) の解説と過去問の練習
第 12 回	HSK4 級リスニング 対策⑤	HSK4 級リスニング問題の第三部 分 (後半) の解説と過去問の練習

第 13 回	HSK4 級リスニング 対策⑥	HSK4 級リスニング問題の第三部 分 (後半) の解説と過去問の練習
第 14 回	HSK4 級リスニング 対策⑦	HSK4 級模擬テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の前に下記の事前学習を行うこと。

パソコンまたはスマートフォンを使い、HSK リスニング問題のディクテーションを行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

文部科学省平成 24 年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発した e-Learning 教材と HSK (漢語水平考試) の過去問データを使用する。

【参考書】

・劉月華ほか『実用現代漢語語法』(外語教学与研究出版社)

【成績評価の方法と基準】

①ディクテーション教材による宿題の実施状況 (60 %)

② 3 級および 4 級の模擬試験の成績 (40 %)

【学生の意見等からの気づき】

自宅にパソコンがない学生のため、スマートフォンでも利用できるよう教材を修正した。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 8 is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China in the next semester.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 1200 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening skills through the use of e-Learning and past exams.

〔Learning Objectives〕

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK4.

〔Learning activities outside of the classroom〕

Students will be expected to have completed the required assignments before each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

〔Grading Criteria /Policy〕

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc200LA

中国語 3-I

2017 年度以降入学者

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認 → 課文（音読・訳）→ 解読の手がかり（文法の確認）→ 練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにとりもなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方の説明。テキスト・辞書の説明。
	第一課 中国人口政策の移り変わり	第一課（発音練習・訳）
第 2 回	第一課 中国人口政策の移り変わり	第一課（発音練習・訳）
第 3 回	第二課 74 年を経て内山書店が里帰り	第二課（発音練習・訳）
第 4 回	練習（第一課・第二課）	文法の確認・応用問題
第 5 回	第三課 病院食、なぜ不人気？	第三課（発音練習・訳）
第 6 回	第四課 高速鉄道に「マナーモード車両」現る	第四課（発音練習・訳）
第 7 回	練習（第三課・第四課）	文法の確認・応用問題
第 8 回	第五課 お年寄りに快適なスマートライフを	第五課（発音練習・訳）
第 9 回	第六課 人生の選択が多様化	第六課（発音練習・訳）
第 10 回	練習（第五課・第六課）	文法の確認・応用問題
第 11 回	第七課 初の「顔認証裁判」最終判決	第七課（発音練習・訳）
第 12 回	第八課 三星堆遺跡にまつわる裏話	第八課（発音練習・訳）

第 13 回 練習（第七課・第八課） 文法の確認・応用問題

第 14 回 授業の総まとめと期末試験 筆記・ヒアリング試験 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳してから授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を読み返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、時間を合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『時事中国語の教科書 2022 年度版』（三瀧正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、1900 円＋税）。

※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト）30 %

期末試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを 6～7 月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3-II

2017 年度以降入学者

日原 傳

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 3/Mon.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語 (文語) の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認 → 課文 (音読・訳) → 解説の手がかり (文法の確認) → 練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにとりもなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第九課 90 年代生まれの新たな消費生活	第九課 (発音練習・訳)
第 2 回	第十課 中国はタバコをやめられるか	第十課 (発音練習・訳)
第 3 回	練習 (第九課・第十課)	文法の確認・応用問題
第 4 回	第十一課 貴安新区、最貧地域が起こした奇跡	第十一課 (発音練習・訳)
第 5 回	第十二課 現代中国のペット事情	第十二課 (発音練習・訳)
第 6 回	練習 (第十一課・第十二課)	文法の確認・応用問題
第 7 回	第十三課 洪水一過の鄭州—ネットからこぼれ落ちた都市	第十三課 (発音練習・訳)
第 8 回	第十四課 今も伝えられるタンカ芸術	第十四課 (発音練習・訳)
第 9 回	第十五課 我が民の幸福度	第十五課 (発音練習・訳)
第 10 回	練習 (第十三課・第十四課・第十五課)	文法の確認・応用問題
第 11 回	プリント教材①	中国の環境問題 (水の汚染・水不足)
第 12 回	プリント教材②	中国の環境問題 (大気汚染)
第 13 回	プリント教材③	中国の環境問題 (砂漠化・森林消失)

第 14 回 授業の総まとめと期末 筆記・ヒアリング試験 まとめ試験と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳して授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『時事中国語の教科書 2022 年度版』(三瀧正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、1900 円 + 税)
※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級 (改訂版)』(東方書店) を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること (どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可)。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト) 30 %
期末試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを 11~12 月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3-I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン（ZOOM 形式）形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1：「疑問詞+ ☐ 」構文； 文法 2：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3：「形容詞+了」構文 文法 4：選択疑問文「A ☐ 是 B？」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5：助動詞「想」の用法 文法 6：結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7：結果補語「到」 文法 8：程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9：数量述語文 文法 10：「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 12：「快～了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目 第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13 : 時間量を示す言葉の位置 文法 14 : 「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目 授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目 授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目 授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三浦正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

【参考書】

中国語辞書

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。

平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business". The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語 3 - II

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 3 I の続きです。

春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, "やさしいビジネス中国語," is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15：「吧」の用法 文法 16：「V ㄱ」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17：「一～就…」の構文 文法 18：「既～又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19：「(只有) ～、才能…」の用法 文法 20：「作ㄱ」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21：「先～、然后…」の構文 文法 22：「不是～、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23：「听～ㄱ/听ㄱ」の構文 文法 24：「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25：様態補語と可能補語 文法 26：助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課～第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内容を復習することはとても大事なことで、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

Make sure to review after each class and do your homework. In

learning a foreign language, reading aloud is very important.

If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.

On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50% 占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

*無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

【学生の意見等からの気づき】

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

中国語 3-I

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎の中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習する。それによって、中級以上の中国語を学習する際に必要な事項を学習する。

【到達目標】

春学期終了時には中国語検定 4 級・HSK3 級程度の能力を確実に習得し、基本的な文法を用いて正確に書くことができ、生活中に必要なフレーズを口頭でも表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進行します。授業形態で変更があった場合は大学の方針がお知らせされた後、詳細は学習支援システム Hoppii で伝達します。

はじめの 3 回については基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音とヒアリングの練習を行い、本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳といった順序で進める。その後、教科書付属の練習問題を行う。

【課題へのフィードバック】授業で回収した課題については添削して返却する。また文法問題に関しては、誤答が多かった問題を参考に授業時に解説する。音声ファイルは発音の誤りが多い部分に関して授業開始時に復習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習した発音に関する復習①	自己紹介。特にピンインと発音の確認と練習。
第 2 回	基礎で学習した文型と時制に関する復習②	基礎文法事項（文型と時制）の練習。
第 3 回	基礎で学習した補語表現に関する復習③	簡単な自己紹介と通学について、介詞の復習表現を使い練習と発音練習。
第 4 回	趣味の聞き方と答え方。	動作の出来や程度と動詞に関する練習。
第 5 回	アルバイトや仕事について話す。	伝聞・比較と簡単な構文の練習。比較表現と数字に関する表現の復習も兼ねて。
第 6 回	小テスト	第 1 課から第 3 課までの復習と到達度の確認。
第 7 回	時に関する表現	スケジュールに関連する表現、予定をたずねたり、招待したりする文例を学習する。
第 8 回	補語表現と少し複雑な表現	新しく学習した補語表現のまとめと指定した部分の暗誦とヒアリング問題を行う。
第 9 回	レストランでの表現	順番を表す表現と「把」構文に関する練習。
第 10 回	料理を注文する。実際の状況を想定しての表現練習。	スケジュールを調整するところから、仕事で使用する表現のまとめ。

第 11 回	把構文と補語表現を用いての応用練習。	外部の試験問題の文法部分を実際に行ってみる。
第 12 回	春学期全体の復習。小テスト	特に第 4 課から第 6 課の仕事上で必要な日程調整、約束、場所に設定などに関する表現練習。
第 13 回	教科書付属のヒアリングと発音の復習と暗誦	第 4 課から第 6 課の総合練習問題と補充問題から行う。
第 14 回	基礎から中級文法事項の復習・期末試験	補語表現や把構文を主に復習し到達度の確認を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。【予習】授業時に分担して日訳してもらうので翻訳は各自で行うこと。また自分の状況に合わせて答える問題を書いておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材付属のヒアリングの問題や自分の状況に合わせての問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼欧著 金星堂 2200 円（税別）ISBN978-4-7647-0689-7 また随時、補充プリントを配布

【参考書】

授業開始以降に辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（課題提出や暗誦）と平常点 30 % を総合して評価する。また、春学期においては HSK 3・4 級・中国語検定試験 4 級合格者には 10 % を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はオンラインと対面で進行了。HSK の問題を 3 級まで行いました。この分、学生の皆さんの進行状況はとても良好でしたが、誤答に関し教科書の内容と関連した解説が不十分であったのが改善点です。対面になっても発音練習や練習問題を行うのが通常時より時間がかかりました。練習問題は授業時に回収し添削後返却するという方法を引き続き行います。

【学生が準備すべき機器他】

各自が最もヒアリング練習に便利な音声教材をダウンロードできる機器

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA

中国語 3-II

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては長めの会話文の学習を通じ、さまざまな中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、新たに学習した構文の定着をはかり、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

【到達目標】

より複雑な構文を習得し、自分の生活に関する事柄や仕事でも使用できる表現を明瞭に安定して運用できるようになる。文法に関しては中国語検定 3 級程度・HSK4 級 6 割程度の点数を取得できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が、若干速めになる。基本的には、春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、本文の訳の順番だが、途中で、中国語検定問題や応用問題を行う時間をとる。また、比較的難解な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。

【課題へのフィードバック】 造句は授業内で回収し添削して返却する。特に文法問題に関しては授業時間に回答を一覧にまとめたもので解説する。発音に関しては各回の授業開始時に誤りが多かったフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課から第 6 課までの復習と発音練習	発音練習と春学期に学習した事項と数字に関連する表現の復習。
第 2 回	健康状態を伝える表現。	すでに起こったことについて尋ねる表現。時制と「才」「就」の練習。
第 3 回	診察のときの表現。	動作・行為・状況の結果の表現と練習問題。
第 4 回	買い物に関連する表現。	相手の意見を求める表現と限度・限界の表現。本文の翻訳の確認と文法の解説。
第 5 回	復習	第 1 回から 4 回までの総合練習とヒアリング問題の確認。
第 6 回	小テスト	食事・病院・買い物にかんする表現のまとめ。残りの時間は外部の試験問題を行う。
第 7 回	旅行について。	強調構文と近未来の表現のまとめ。
第 8 回	結果補語・反語・使役の表現。	補語表現の総合復習②
第 9 回	髪型について。	本文の訳と文法解説。褒めたり謙遜したりする定型フレーズの確認。
第 10 回	方向補語と「了」の復習	検定試験の補語についての問題を行う。
第 11 回	小テスト	第 7 回から 10 回までの指定部分暗誦とヒアリングも行う。

第 12 回 ファッション。 本文の翻訳と文法の解説。条件の追加を示す構文を使った表現練習。

第 13 回 新しい構文を使った表現練習のまとめ。ホテルでの表現。

第 14 回 応用表現の総合復習 期末試験 第 10 課から第 12 回までを中心に。ホテルを予約するときに役立つ表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

秋学期は内容も難しくなるので音声教材をよく聴くこと。また授業以外でも DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自、日訳を作成することと本文の音声あらかじめ聴いておくこと。【復習】自分のことに置き換えて表現する問題を行う。【課題】自分のことに置き換えて表現する練習問題は、筆記あるいは音声ファイルの提出で授業内で指定する。

【テキスト（教科書）】

『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼欧著 金星堂 2200 円（税別） 随時、補助プリントを配布。

【参考書】

秋学期授業時開始以降に再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題を含む平常点 30 %を総合して評価する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。特に各自が行う課題に関しては採点の比重を重く置く。外部試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除し、中検 3 級合格者と HSK4 級以上の合格者は試験を免除し S の評価を与える。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度はオンラインと対面の併用ということで、ほぼ毎回課題があったもののレベルに応じた問題の準備がなく進行の順調な学生には不十分な面があった。秋学期は HSK 模擬試験 4 級まで終了し、ほとんどの学生が順調に進行したが HSK 進行状況の連絡と教科書との内容の関連付けの面で多くの改善が必要である。対面になってから課題の添削と返却ができたことは良かった点である。

【学生が準備すべき機器他】

常に音声教材を聴ける機器、またはダウンロードできる機器。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA

中国語 3-I

2017 年度以降入学者

業 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。

会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第一課	初級の復習 (1)
2 回	第一課	初級の復習 (2)
3 回	第二課	初級の復習 (1)
4 回	第二課	初級の復習 (2)
5 回	第三課	ある動作を行う目的や方法を説明する表現
6 回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9 回	第六課	能力と可能性の表現
10 回	第七課	動作の結果を説明する表現
11 回	第八課	動作の方向を説明する表現
12 回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13 回	第十課	使役の表現
14 回	復習	I 期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返して、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 % とする。

1) 平常点について（1 回～13 回）

オンラインで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。

①提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点

②提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度

③提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度

④提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度

*対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。

2) 最終課題（14 回目）

当日提出、35 点分。

検定試験 4 級合格者：I 期終了時合格は 15 点プラス。

検定試験 3 級合格者：I 期終了時合格は 100 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

付属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 65% for normal points and 35% for final assignments.

LANc200LA

中国語 3-II

2017 年度以降入学者

薬 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。

会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	総括	I 期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	受身の表現
4 回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5 回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6 回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7 回	復習	第十一課～第十四課の復習
8 回	第十五課	仮定の表現
9 回	第十六課	因果関係を表す表現
10 回	第十七課	逆接関係を表す表現
11 回	第十八課	付け加えの表現
12 回	第十九課	除外の表現
13 回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14 回	復習	II 期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 % とする。

1) 平常点について（1 回～13 回）

オンラインで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。

①提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点

②提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度

③提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度

④提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度

*対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。

2) 最終課題（14 回目）

当日提出、35 点分。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 65% for normal points and 35% for final assignments.

LANc200LA

中国語コミュニケーション初級 I 2017 年度以降入学者**周 重雷**

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

※定員制 (20 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

構文をしっかりと覚える。

発音を正確にする。

日常会話ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教材を使って文法の勉強をする。また履修者のレベルを確認した上、様々な会話パターンを作って練習していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	シラバスの配布と説明
第 2 回	発音	ピンインの復習
第 3 回	あいさつ	あいさつなどの日常用語の練習をする
第 4 回	人称代名詞と指示代名詞 会話（1）	文法を確認したのち、自己紹介の練習をする
第 5 回	述語 授業内発表（1）	文法を確認したのち、自己紹介を発表する
第 6 回	受け答え	「是」その他
第 7 回	場所と方位	在と有
第 8 回	数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語を学ぶ
第 9 回	疑問文 会話（2）	ものの尋ね方 レストランでの会話を作成する
第 10 回	連用修飾語 授業内発表（2）	副詞と時間詞を学ぶ 講師と一対一またはグループでレストランでの会話をする
第 11 回	完了と変化 会話（3）	「了」の様々を知る 買い物する時の会話パターンを作成する
第 12 回	助動詞と前置詞構造 授業内発表（3）	文法を確認したのち、講師と一対一またはグループで買い物のシミュレーションをする
第 13 回	三量補語	三量補語と離合詞
第 14 回	まとめ	口頭テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や発表の準備など、毎回 1 時間ほどの予習・復習をする。

また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60 %

発表：40 %

【学生の意見等からの気づき】

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。

またそれぞれのレベルの差に配慮をする。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should talk the Chinese language by accurate pronunciation,

and talk the Chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

Presentation:40%

LANc200LA

中国語コミュニケーション初級Ⅱ 2017 年度以降入学者**周 重雷**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

※定員制（20 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

「読む、書く、聞く、話す」を全体的にスキルアップを図る。
日常の中国語のコミュニケーションが取れるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

履修者のレベルに合わせ、文法を復習しつつ、会話の練習を強化していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	持続態と進行形 作文	持続態と進行形を確認したのち、「私の夏休み」を作成する
第 2 回	程度補語 作文の添削	程度補語を確認したのち、作文の添削をする
第 3 回	比較と連動	比較文と連動文
第 4 回	構文分析	構文分析と助動詞の補説
第 5 回	強調と重複 会話（1）	強調文と重複表現 待ち合わせの会話を作る
第 6 回	方向補語 授業内発表（1）	方向補語の用法 待ち合わせの会話の発表
第 7 回	複合方向補語の用法	複合方向補語の派生的用法
第 8 回	結果補語	結果補語の説明
第 9 回	可能補語 会話（2）	可能補語の説明 道を尋ねる・教える会話の作成
第 10 回	使役と受身 授業内発表（2）	使役と受身の確認と比較 道を尋ねる・教える会話の発表
第 11 回	処置と倒置	処置文と倒置文
第 12 回	複文一	複文の様々な知る
第 13 回	複文二	複文の後半
第 14 回	まとめ	口頭による試験を行う まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週 1 時間を目的に予習・復習する。
単語を調べて、オリジナルの長文及び会話文を作る。
また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60 %

発表：40 %

【学生の意見等からの気づき】

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should do the exercise of reading, writing, listening and talking.

We should talk the chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test: 60%

presentation: 40%

LANe200LA

中国語作文初級 I

2017 年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

※定員制（15 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。そして正しい声調で、自然なリズムで話せるようにも指導します。

【到達目標】

中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳ができる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリントを事前に配り、予習してもらいます。授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。
社会情勢に合わせてオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合もあります。その時、「学習支援システム」でお知らせします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	オリエンテーション	レベルチェック
2 回	数字の使い方（一）	例文解説
3 回	数詞の使い方（二）	翻訳の練習
4 回	「是」の使い方（一）	例文解説
5 回	「是」の使い方（二）、 一日の行動	翻訳の練習
6 回	連体修飾語 + 的 + 被修飾語	例文解説、翻訳の練習
7 回	「有」構文、「在」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	疑問詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	程度補語の使い方	例文解説、翻訳の練習
12 回	アスペクト（一）	例文解説
13 回	アスペクト（二）	翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業にてプリント配布

【参考書】

辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】

対面授業が再開された場合には期末試験を実施し 40 %にします。ふだんの成績は 60 %にします。再開されなかった場合には、毎回の課題の実施状況によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

発音の指導を徹底的にやるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

【その他の重要事項】

学生の様子によって、内容を調整する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following
Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANe200LA

中国語作文初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

※定員制（15 名）

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。

【到達目標】

中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳できる段階まで力をつけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず中国語作文の基礎を理解してもらい、基本的な文法事項や重要な文型について詳しく説明します。それを基に、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を高めていきます。必要に応じて授業後の指導もできます。

社会情勢に合わせてオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合もあります。その時、「学習支援システム」でお知らせします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	能願動詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
2 回	方向補語	例文解説、翻訳の練習
3 回	結果補語	例文解説、翻訳の練習
4 回	可能補語	例文解説、翻訳の練習
5 回	兼語文	例文解説、翻訳の練習
6 回	受身文	例文解説、翻訳の練習
7 回	「是……的」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	存現文	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	「把」構文	例文解説、翻訳の練習
12 回	動量補語・時量補語	例文解説、翻訳の練習
13 回	複文・「了」の使い方	例文解説、翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント添付

【参考書】

辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】

対面授業が再開された場合には期末試験を実施し、40 % にし、ふだんの成績は 60 % にする。再開されなかった場合には、毎回の課題の出来具合によって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生から高く評価された。続けてこのやり方でやります。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

【その他の重要事項】

学生の様子によって内容を調整することがあります。

【Outline (in English)】

In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA

中国語視聴覚初級 I

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

※定員制 (35 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】

1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検 3 級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容に関するガイダンス
2	第 1 課	文法理解と応用
3	第 1 課	会話と応用
4	第 1 課	読解文の理解と応用
5	第 2 課	文法理解と応用
6	第 2 課	会話と応用
7	第 2 課	読解文の理解と応用
8	第 3 課	文法理解と応用
9	第 3 課	会話と応用
10	第 3 課	読解文の理解と応用
11	第 4 課	文法理解と応用
12	第 4 課	会話と応用
13	第 4 課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVD で学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

中国語視聴覚初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

※定員制 (35 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】

1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検 3 級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス復習	授業内容に関するガイダンスと復習
2	第 5 課	文法理解と応用
3	第 5 課	会話と応用
4	第 5 課	読解文の理解と応用
5	第 6 課	文法理解と応用
6	第 6 課	会話と応用
7	第 6 課	読解文の理解と応用
8	第 7 課	文法理解と応用
9	第 7 課	会話と応用
10	第 7 課	読解文の理解と応用
11	第 8 課	文法理解と応用
12	第 8 課	会話と応用
13	第 8 課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVD で学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

資格中国語初級 I

2017 年度以降入学者

青木 正子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

HSK (☑️☑️水平考☑️) 1 級～3 級合格レベルの中国語を身につけることが、この授業の目的です。春学期中に 2 級、秋学期中に 3 級に合格できるよう指導します。

ただ、HSK のリスニングは難しいので、中国検定準 4 級程度からトレーニングを始めていきます。

向上心のある学生の参加を歓迎します。単位のためだけの履修は向きません。

中国語が好きな人が集まりますので、情報交換もできて、いつも楽しいクラスです。

【到達目標】

春学期は HSK 2 級に合格できるリスニング力と読解力を身につけてもらいます。

秋学期は HSK3 - 4 級合格を目指します。

毎年多くの学生が合格しています。

この授業には中国語が好きな学生が集まってきます。中華圏のアイドルの話で盛り上がることもあります。

リラックスした雰囲気の中、マイペースで学習してもらえようように工夫していきます。

ただストレスのない雰囲気なので、非常にストイックな人は向かないかもしれません。初回の授業に出てから履修を決めてください。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

HSK の過去問プリントを使って学習します。必要な単語と文法を学び、実際の過去問を解いて実践力を養います。

今年度から単語帳のテキストを使って、単語テストを行い、語彙力を高めてもらいます。

フィードバックは授業内に行います。

緊急時はメールで対応します。

masako.aoki.xm@hosei.ac.jp

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	レベルチェックテスト	メンバーのレベルをチェックします。
2	HSK 1 級単語	HSK 1 級単語を学びます。リスニング練習をします。
3	HSK 1 級単語復習	HSK 1 級単語リスニングテスト
4	HSK 1 級単語	HSK 1 級単語を学びます。リスニング練習をします。
5	HSK 1 級単語復習	HSK 1 級単語リスニングテスト
6	HSK 1 級過去問	HSK 1 級過去問を解きます。
7	HSK 1 級過去問	HSK 1 級過去問を解きます。
8	HSK 2 級単語	HSK 2 級単語を学びます。
9	HSK 2 級単語	HSK 2 級単語リスニングテスト。
10	HSK 2 級	HSK 2 級単語を学びます。
11	HSK 2 級単語	HSK 2 級単語リスニングテスト
12	HSK 2 級単語	HSK2 級単語を学びます

13 HSK 2 級単語

HSK 2 級単語リスニングテスト

14 春学期復習

復習テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

良く復習すること。覚えた単語は忘れないようにすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

過去問はプリントを配布します。

今年度から以下のテキストを使用します。大学生協を通じて購入すると割引価格で購入できます。かなり安くなるので、生協からの購入をおすすめします。

初回授業では使用しません。履修を決めてから購入してください。

HSK/中検対応

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室 (編著) 朝日出版

【参考書】

HSK 過去問、HSK 公式アプリ単語

【成績評価の方法と基準】

授業内テストの合計点で評価します。

積極的な学生には加点します。

【学生の意見等からの気づき】

今年度から単語帳テキストを使って、単語テストを実施し、語彙力を高めます。

同時にリスニングのトレーニングを多く行います。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

資格中国語初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

※定員制（40 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK 3 級合格レベルの中国語を身につけることが目的です。

この授業は春学期から継続しています。秋学期からの参加も歓迎しますが、春学期のシラバスを読んで、初回の授業に出てから履修を決めてください。

中国語が好きな、意欲的な学生の参加を歓迎します。

いつも楽しいクラスです。

ほぼ全員が 3 級に合格しています。

【到達目標】

HSK 3－4 級合格以上を目指します。

毎年多くの人が合格しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を使って、HSK 3 級の単語と文法を学びます。リスニング練習を重視します。

フィードバックは授業内に行います。

緊急時はメールで対応します。

masako.aoki.xm@hosei.ac.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
2	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
3	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
4	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
5	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
6	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
7	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
8	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
9	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
10	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
11	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
12	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
13	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
14	授業の総まとめと期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学んだことを忘れないように、よく復習すること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を配布します。

今年度から以下の単語帳テキストを使用します。

大学生協から購入すると大きな割引があるので、大学生協からの購入をおすすめします。

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室（編著）朝日出版

【参考書】

HSK3 級過去問、単語集

【成績評価の方法と基準】

平常点のみで評価します。

HSK 合格者は S ランクで評価します。

【学生の意見等からの気づき】

今年度から単語帳テキストを使用します。

またリスニング教材をより一層充実させ、総合的な力がつくように工夫します。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

ARSe200LA

中国語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

※定員制 (60 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語ということばを通して、中国文化、また、中国という国について考えます。

【到達目標】

中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、中国語ということばを通してみえる世界が、日本語を通して見る世界とはいかに違うか、を実感してもらえればと思います。また、ことばについて知ること、我々自身についても新しい発見をしたり、新しいものの見方ができるような授業を心がけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面とオンラインのハイブリット型を予定しています。

教員が作成、配布する資料をもとに講義をおこない、トピック毎に講義内容のまとめや課題に取り組み提出してもらいます。

質疑応答、課題等へのフィードバックは随時授業時におこなうほか、大学の学修支援システムやメールを利用します。

受講生と相談しながらよりよい進め方を模索していきたいとおもいます。

なお、感染状況によって、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行うこととします。

詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ことばとは何か	あまりにも身近すぎて気づきにくいことばのはたらきについて考えます。
②	類型論からみた中国語	英語や日本語と比較した中国語の特徴
③	中国語の音韻体系－その1	声調・韻母・声母
④	中国語の音韻体系－その2	有声音・無声音等
⑤	中国語文法概説－その1	品詞分類
⑥	中国語文法概説－その2	形態素・単語・フレーズ・センテンス
⑦	中国語文法概説－その3	承前
⑧	中国語の語彙－その1	語彙からみる中国的発想法
⑨	中国語の語彙－その2	外来語・新語・流行語
⑩	中国語の語彙－その3	中国語になった日本語と日本語になった中国語
⑪	文語と白話	書き言葉と話し言葉
⑫	中国語の方言	言語の変化－その1

⑬ 大陸の中国語と台湾の 言語の変化－その2

中国語

⑭ まとめと試験 論述式の試験をおこないます。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業のまとめや課題をトピック毎に提出してもらいます。

一般的に大学の基準では、授業時間のほか、準備・復習、合わせて4時間が標準的学習時間とされています。

本授業もそれを前提におこないます。

【テキスト（教科書）】

教員が作成した教材を印刷して授業時に配布します。

また学修支援システムにも PDF を UP します。

【参考書】

- ・牛島徳次ほか、『中国文化叢書 1 言語』、大修館、1967 年
- ・朱德熙著/中川正之・木村英樹編訳、『文法のはなし』、光生館、1986 年
- ・木村英樹、『中国語ははじめの一步』、ちくま新書、1996 年
- ・藤堂明保、『漢字とその文化圏』（中国語研究学習双書 3）、光生館、1971 年
- ・阿辻哲次、『図説漢字の歴史』（普及版）、1989 年
- ・林四郎/松岡栄志『日本の漢字・中国の漢字』、三省堂、1995 年

【成績評価の方法と基準】

まとめと課題 (30 %)、期末試験 (70 %)

まとめは講義の内容を理解しているかを確認するためのもので基本的にトピック毎に提出してもらいます。

期末試験としてレポート (3200 字程度) を提出してもらいます。

レポートの題目は自身で設定してください。

ただし、以下の3点、すべてについて具体例をあげながら考察すること。

- ①「中国語ということば」
- ②「外国語を学ぶということ」
- ③「人間にとってことばとは」

評価の基準は、

- (1)講義の内容をふまえているか、
- (2)ことばをめぐる問題を多様な角度から捉えているか、
- (3)自身の考えをもち、それを自身のことばで表現しているか、

の3点です。

レポートは「まとめ」や「課題」を利用して作成できるよう、普段から心がけておいてください。

【学生の意見等からの気づき】

毎年、受講者の中には、中国語を履修していない人もいれば、中国語を母語とする人もいます。受講理由は様々でしょうが、中国語を学ぼうとする人にはもちろん、どのような受講者にも、「ことばって面白い」と感じてもらえる授業をしたいと思います。

【その他の重要事項】

※4月30日（木）に最初の資料をアップロードする予定です。

※それまでは参考文献にあげた文献を読むなどしてください。

(かなり難しいものも含まれていますのでかならずしも挙げたものだけでなくともかまいません。

また書籍以外でも中国語に関するものであればなんでもかまいません)

※それまでの連絡は掲示板、もしくはメールにてどうぞ。

今年は対面での授業ができずに残念ですが、その分、より丁寧に、より分かりやすい授業となるよう心がけたいと思います。

このような形式での授業は初めてですので色々試行錯誤するとおもいますがどうぞよろしくお願いします。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Through Chinese language, we will think about Chinese culture and view of the world.

【Learning Objectives】

I hope that we will realize how different the world seen through the Chinese language is from the world seen through the Japanese language. We

will also try to make new discoveries about ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

4 hours for preparation and review for each class.

【Grading Criteria / Policy】

Summary and assignments (30%), final exam (70%)

The summary is to check your understanding of the lecture, and is to be submitted basically for each topic. You will be required to submit a report (about 3200 words) as the final exam.

The evaluation criteria are as follows

(1) Whether the content of the lecture has been taken into account.

(2) Do you understand the issues surrounding language from various angles?

(3) Do you have your own ideas and express them in your own words?

ARSe200LA

中国語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 大

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

※定員制 (60 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の古典や中国語を表記する文字体系である漢字にまつわることがらを通して、中国的思考法について考えます。

【到達目標】

中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、中国的思考法を中国語や漢字という文字体系といかに結びついているのか、を理解してもらえればとおもいます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面とオンラインのハイブリット型を予定しています。

教員が作成、配布する資料をもとに講義をおこない、トピック毎に講義内容のまとめや課題に取り組み提出してもらいます。

質疑応答、課題等へのフィードバックは随時授業時におこなうほか、大学の学修支援システムやメールを利用します。

受講生と相談しながらよりよい進め方を模索していきたいとおもいます。

なお、感染状況によって、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行うこととします。

詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	中国文化の思考基底－その1	中国的世界観・人間観の特徴
②	中国文化の思考基底－その2	儒家思想と中国の歴史・文化①
③	中国文化の思考基底－その3	儒家思想と中国の歴史・文化②
④	中国文化の思考基底－その4	中国文化における道家思想の役割
⑤	中国文化の思考基底－その5	古い中国と新しい中国①
⑥	中国文化の思考基底－その6	古い中国と新しい中国②
⑦	漢字学の伝統－その1	中国の伝統的学問分類と漢字学の位置づけ
⑧	漢字学の伝統－その2	『説文解字』と許慎
⑨	漢字の歴史－その1	甲骨文・金文・戦国文字
⑩	漢字の歴史－その2	小篆・隸書・楷書
⑪	漢字の歴史－その3	文字の社会的機能の変遷
⑫	漢字の歴史－その4	新中国における文字改革
⑬	日本人と漢字	日本における漢字の受容
⑭	まとめと試験	論述形式の試験をおこないます。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を適宜出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布します。

【参考書】

- ・牛島徳次ほか、『中国文化叢書 1 言語』, 大修館, 1967 年
- ・朱徳熙著/中川正之・木村英樹編訳,『文法のはなし』, 光生館, 1986 年
- ・木村英樹,『中国語はじめての一步』, ちくま新書, 1996 年
- ・藤堂明保,『漢字とその文化圏』(中国語研究学習双書 3), 光生館, 1971 年
- ・阿辻哲次,『図説漢字の歴史』(普及版), 1989 年
- ・林四郎/松岡栄志『日本の漢字・中国の漢字』, 三省堂, 1995 年

【成績評価の方法と基準】

小テスト (30 %), 期末試験 (70 %)

小テストは講義の内容を理解しているかを確認するためのもので基本的に毎授業おこないます。

期末試験は論述式でおこないます。評価の基準は、①講義の内容をふまえているか、②漢字という文字、書写言語と音声言語との違い、人間にとって文字とは、というような問題を多様な角度から捉えているか、③自身の考えをもち、それを自身のことばで表現しているか、の 3 点です。

【学生の意見等からの気づき】

毎年、受講者の中には、中国語を履修していない人もいれば、中国語を母語とする人もいます。受講理由は様々でしょうが、中国語を学ぼうとする人にはもちろん、どのような受講者にも、「ことばって面白い」と感じてもらえる授業をしたいと思います。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Through the classics and characteristics of Chinese characters, we will understand Chinese thinking process and view of the world.

【Learning Objectives】

To understand how the Chinese way of thinking is connected to the Chinese language and the Chinese character system.

【Learning activities outside of classroom】

4 hours for preparation and review for each class.

【Grading Criteria /Policy】

Summary and assignments (30%), final exam (70%)

The summary is to check your understanding of the lecture, and is to be submitted basically for each topic.

You will be required to submit a report (about 3200 words) as the final exam.

The evaluation criteria are as follows

(1) Whether the content of the lecture has been taken into account.

(2) Do you have a variety of perspectives on issues such as the Chinese character, the difference between written and spoken language, and what writing means to humans?

(3) Do you have your own ideas and express them in your own words?

ARSe200LA

中国の文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

山本 律

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 2/Thu.2

単位数: 2 単位

※定員制 (60 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、台湾は日本人の旅行先として人気となっています。

日本と台湾は長い歴史の中で深いかかわりを持っています。

本授業では映像資料を用いて日本と台湾の文化的関係についてみていきます。

【到達目標】

日本と台湾との文化的関係についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を行います。

毎回コメントペーパーを出してもらいます。

最終回にはレポートを提出してもらいます。

課題等のフィードバックは授業時間またはメールで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』 (第 1 回)
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』 (第 2 回)
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』 (第 3 回)
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 2	映画『私の少女時代』(第 1 回)
第 6 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 2	映画『私の少女時代』(第 2 回)
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 2	映画『私の少女時代』(第 3 回)
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 3	映画『海角七号』(第 1 回)
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 3	映画『海角七号』(第 2 回)
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 3	映画『海角七号』(第 3 回)
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 4	映画『KANO』(第 1 回)
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 4	映画『KANO』(第 2 回)
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 4	映画『KANO』(第 3 回)
第 14 回	授業の総まとめとレ ポート	授業の総まとめと試験 ポート

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席、授業態度、コメントペーパー）60 %、レポート 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese culture and society by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

ARSe200LA

中国の文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

山本 律

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

※定員制（60 名）

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の文化と社会について、中国映画や中国の映像資料を用い学んでいきます。

映画は、その国の文化と社会を映し出します。

今期では、2008 年に公開されて以降、人気を博しシリーズ化されたカンフーアクション映画を軸として中国文化についてみていきます。

【到達目標】

中国の文化と社会についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

毎回講義形式で行います。

毎回課題としてコメントペーパーを出してもらいます。

最終回にはレポートを提出してもらいます。

課題等のフィードバックは授業時間またはメールで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 序章』(第 1 回)
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 序章』(第 2 回)
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 序章』(第 3 回)
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 葉問』(第 1 回)
第 6 回	レポート映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 葉問』(第 2 回)
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 葉問』(第 3 回)
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン 継承』(第 1 回)
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン 継承』(第 2 回)
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン 継承』(第 3 回)
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン 外伝』(第 1 回)
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン 外伝』(第 2 回)
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン 外伝』(第 3 回)
第 14 回	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題提出）60 %、レポート 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese society and culture by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土 2/Sat.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスเปน語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スเปน語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスเปน語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir の活用と用法復習 (テキスト: 第 1 課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト: 第 1 課)
3	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír 不定詞表現	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír の活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト: 第 1 課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde	現在分詞、及び関係詞 que と donde の復習 (テキスト: 第 2 課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト: 第 3 課)
6	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar 型動詞の復習 (テキスト: 第 3 課)
7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト: 第 3 課)

8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト: 第 4 課)
9	直説法点過去	直説法点過去 (規則活用及び不規則活用) の復習 (テキスト: 第 4 課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト: 第 4 課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト: 第 5 課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト: 第 5 課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト: 第 5 課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じリアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
3	接続法現在規則動詞	接続法の概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第 7 課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第 7 課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 7 課、第 8 課)
6	関係節における接続法	関係節 (形容詞節) での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 8 課)
9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第 8 課)

10	2 人称に対する命令形	2 人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第 6 課)
11	2 人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2 人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第 6 課、第 11 課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第 11 課)
13	数 (1 から 1 千万) 秋学期の復習	1 から 1 千万までの数詞 (テキスト: 第 12 課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトで探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 % として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	グラナダ (文法と読解)	ser, estar, hay、直説法現在、指示形容詞・指示代名詞
3	セビーリャ (文法と練習)	再帰動詞、目的格人称代名詞
4	セビーリャ (読解と応用)	スペインのイスラム文化
5	ハバナ (文法と練習)	現在分詞、所有形容詞
6	ハバナ (読解と応用)	大航海時代
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	ティオティワカン (文法と練習)	過去分詞、受動態、点過去
9	ティオティワカン (読解と応用)	多民族都市
10	ティカル (文法と練習)	線過去、時間の経過 hace、比較級・最上級
11	ティカル (読解と応用)	マヤ文明
12	マチュピチュ (文法と練習)	現在完了、過去完了、不定語・否定語、無人称表現
13	マチュピチュ (読解と応用)	インカ文明
14	期末試験、ふりかえり	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

禪野美帆／井上幸孝／ナカガワ・マルガリータ／平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014 年

【参考書】

1 年次のスペイン語 1、2 で使用していた教科書
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

教員が指名した学生に答えてもらう方法だけではなく、グループアクティビティを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。
決して翻訳アプリに頼らないでください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メキシコ市（文法と練習）	直説法未来、過去未来、関係詞
2	メキシコ市（読解と応用）	メキシコの歴史と文化
3	クスコ（文法と練習）	直説法未来完了、過去未来完了、間接話法
4	クスコ（読解と応用）	ペルーの歴史と文化
5	ボトシ（文法と練習）	接続法現在、知覚・使役
6	ボトシ（読解と応用）	ボリビアの歴史と文化
7	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（文法と練習）	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
9	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（読解と応用）	パラグアイの歴史と文化
10	ガラパゴス諸島（文法と練習）	接続法の用法
11	ガラパゴス諸島（読解と応用）	エクアドルの自然と文化
12	ラバ・ヌイ国立公園（文法と練習）	接続法過去、条件文
13	ラバ・ヌイ国立公園（読解と応用）	チリの自然と文化
14	期末試験、ふりかえり	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

禪野美帆／井上幸孝／ナカガワ・マルガリータ／平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014 年

【参考書】

1 年次のスペイン語 1、2 で使用していた教科書
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同人社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

教員が指名した学生に答えてもらう方法だけではなく、グループアクティビティを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。
決して翻訳アプリに頼らないでください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.
The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process;
in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1～7 まとめ
9	命令形	肯定文（tu/vosotros）
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	考え方
対面/face to face	接続法現在規則活用	活用、用法
対面/face to face	接続法現在不規則活用	活用、用法
対面/face to face	接続法現在完了	活用、用法
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	活用、用法
対面/face to face	接続法過去完了	活用、用法
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
対面/face to face	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
対面/face to face	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
対面/face to face	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど

対面/face to face	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
オンライン/online	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テストと復習	中間テストと復習
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。
 ・スペイン語圏のニュースに注意している。
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %+課題と学期末試験 40 %で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	中間テストと復習	中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 ・単語の意味調べを行い、授業に出る。

- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2

朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %+課題と学期末試験 40 %で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。
6 回	私の地区	過去の習慣について話す。
7 回	中間テストと復習	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
8 回	休みの時	中間テストと復習
9 回	休みの過ごし方	過去に行った事柄について話す、質問する。
10 回	前の旅行。	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
11 回	昔の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
12 回	食物	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。
13 回	飲み物	旅行に関して人に何かを進める。
14 回	復習と口頭試験	食習慣について話す。
		近い過去の経験や行為について質問する、話す。
		料理の材料について話すそして人に勧める。
		復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。
 ・スペイン語圏のニュースに注意している。
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 % + 課題と学期末試験 40 % で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	中間テストと復習	中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 ・単語の意味調べを行い、授業に出る。

- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2

朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %+課題と学期末試験 40 %で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	グラナダ（文法と読解）	ser, estar, hay、直説法現在、指示形容詞・指示代名詞
3	セビーリャ（文法と練習）	再帰動詞、目的格人称代名詞
4	セビーリャ（読解と応用）	スペインのイスラム文化
5	ハバナ（文法と練習）	現在分詞、所有形容詞
6	ハバナ（読解と応用）	大航海時代
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	ティオティワカン（文法と練習）	過去分詞、受動態、点過去
9	ティオティワカン（読解と応用）	多民族都市
10	ティカル（文法と練習）	線過去、時間の経過 hace、比較級・最上級
11	ティカル（読解と応用）	マヤ文明
12	マチュピチュ（文法と練習）	現在完了、過去完了、不定語・否定語、無人称表現
13	マチュピチュ（読解と応用）	インカ文明
14	期末試験、ふりかえり	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

禪野美帆／井上幸孝／ナカガワ・マルガリータ／平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014 年

【参考書】

1 年次のスペイン語 1、2 で使用していた教科書
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

教員が指名した学生に答えてもらう方法だけではなく、グループアクティビティを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。
決して翻訳アプリに頼らないでください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メキシコ市（文法と練習）	直説法未来、過去未来、関係詞
2	メキシコ市（読解と応用）	メキシコの歴史と文化
3	クスコ（文法と練習）	直説法未来完了、過去未来完了、間接話法
4	クスコ（読解と応用）	ペルーの歴史と文化
5	ボトシ（文法と練習）	接続法現在、知覚・使役
6	ボトシ（読解と応用）	ボリビアの歴史と文化
7	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（文法と練習）	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
9	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（読解と応用）	パラグアイの歴史と文化
10	ガラパゴス諸島（文法と練習）	接続法の用法
11	ガラパゴス諸島（読解と応用）	エクアドルの自然と文化
12	ラバ・ヌイ国立公園（文法と練習）	接続法過去、条件文
13	ラバ・ヌイ国立公園（読解と応用）	チリの自然と文化
14	期末試験、ふりかえり	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

禪野美帆／井上幸孝／ナカガワ・マルガリータ／平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014 年

【参考書】

1 年次のスペイン語 1、2 で使用していた教科書
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同人社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

教員が指名した学生に答えてもらう方法だけではなく、グループアクティビティを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。
決して翻訳アプリに頼らないでください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.
The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process;
in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1～7 まとめ
9	命令形	肯定文（tu/vosotros）
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使える表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木 5/Thu.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros)
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使える表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使える表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現ができる様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。
6 回	私の地区	過去の習慣について話す。 ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テストと復習	中間テストと復習
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。
 ・スペイン語圏のニュースに注意している。
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 % + 課題と学期末試験 40 % で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	中間テストと復習	中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 ・単語の意味調べを行い、授業に出る。

- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2

朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %+課題と学期末試験 40 %で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

【到達目標】

スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción: Vamos a saludar a los compañeros!	スペイン語の読み方を復習し、クラスメートとあいさつをし、自己紹介する
2	¡ Vamos a presentarnos!	名前、職業、国籍や出身地について話す
3	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (1)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す（1）
4	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (2)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す（2）
5	¡ Vamos a hablar de la familia!(1)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す（1）
6	¡ Vamos a hablar de la familia!(2)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す（2）
7	¿ Donde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (1)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す（1）
8	¿ Donde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (2)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す（2）
9	Repaso y examen (1) ¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (1)	1 回から 8 回の理解度の確認とまとめを行い、自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す（1）
10	¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (2)	自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す（2）天気の説明をする
11	¡ Vamos a invitar a un amigo!(1)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ（1）

12	¡ Vamos a invitar a un amigo!(2)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ(2)
13	¡ Vamos a hablar de lo que haces en un día o en una semana!	時間や曜日の表現を覚え、1日、一週間のスケジュールを話す
14	Repaso y examen (2)	9回から13回までの理解度の確認とまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

浦真佐子、フランシスコ・パルティダ『¡ Imagínatelo! Nueva edición —イラストで楽しもう、スペイン語！ 改訂版』朝日出版社、2500 円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験(50%)、スピーキングテスト(25%)、授業参加および課題(25%)で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to improve your Spanish language skills to the intermediate level and learn the cultures of Spanish-speaking countries.

Learning Objectives: The main goals are to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading) and get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

【到達目標】

スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¡ Vamos a repasar!	春学期の復習（テキストの Lección 1 ～ 7）
2	¿ Qué le regalamos?(1)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（1）
3	¿ Qué le regalamos?(2)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（2）
4	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal?(1)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（1）
5	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal?(2)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（2）
6	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (1)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（1）
7	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (2)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（2）
8	Repaso y examen (1) ¡ Vamos hablar del pasado!(1)	1回から8回の理解度の確認とまとめを行い、過去にしたことや旅行について話す（1）
9	¡ Vamos hablar del pasado!(2)	過去にしたことや旅行について話す（2）
10	¡ Vamos a contar sobre la vida de un familiar!	身近な人物の一生について話す
11	¡ Hablamos de recuerdos!(1)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（1）
12	¡ Hablamos de recuerdos!(2)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（2）
13	¡ Hablamos de recuerdos!(3)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（3）

14 Repaso y examen (2) 8 回から 13 回までの理解度の確認とまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

浦真佐子、フランシスコ・パルティダ『¡ Imagínatelo! Nueva edición —イラストで楽しもう、スペイン語！ 改訂版』朝日出版社、2500 円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験 (50%)、スピーキングテスト (25%)、授業参加および課題 (25%) で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to improve your Spanish language skills to the intermediate level and learn the cultures of Spanish-speaking countries.

Learning Objectives: The main goals are to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading) and get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べることにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形 / 現在分詞のその他の用法
4	人一生 / 家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞 I : 関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法 / 品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去 / 旅行: 活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞 / 直説法現在完了: 活用 / 余暇生活 / 勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来: 活用 / 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了: 活用と用法
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre Amigos2,2a.edición (総合スペイン語コース中級-改訂版-)
Editorial Asahi

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現 / 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用 / 接続法の用法 I: 名詞節過去形 II：
6	命令	usted/ustedes に対する肯定命令否定命令 / 願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III: 形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了：活用と用法
10	願望表現	接続法の用法 I V：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去 / 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了: 活用 / 接続法過去完了の用法 / 直説法過去未来完了: 活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	まとめ	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre Amigos2, 2a. edición. (総合スペイン語コース中級一改訂版一)

Editorial Asahi

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスเปน語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スเปน語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスเปน語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じリアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir の活用と用法復習 (テキスト: 第 1 課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト: 第 1 課)
3	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír 不定詞表現	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír の活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト: 第 1 課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde	現在分詞、及び関係詞 que と donde の復習 (テキスト: 第 2 課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト: 第 3 課)
6	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar 型動詞の復習 (テキスト: 第 3 課)
7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト: 第 3 課)

8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト: 第 4 課)
9	直説法点過去	直説法点過去 (規則活用及び不規則活用) の復習 (テキスト: 第 4 課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト: 第 4 課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト: 第 5 課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト: 第 5 課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト: 第 5 課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
3	接続法現在規則動詞	接続法の概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第 7 課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第 7 課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 7 課、第 8 課)
6	関係節における接続法	関係節 (形容詞節) での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 8 課)
9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第 8 課)

10	2 人称に対する命令形	2 人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第 6 課)
11	2 人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2 人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第 6 課、第 11 課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第 11 課)
13	数 (1 から 1 千万) 秋学期の復習	1 から 1 千万までの数詞 (テキスト: 第 12 課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探することができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 % として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのようなだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。
6 回	私の地区	過去の習慣について話す。
7 回	中間テストと復習	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
8 回	休みの時	中間テストと復習
9 回	休みの過ごし方	過去に行った事柄について話す、質問する。
10 回	前の旅行。	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
11 回	昔の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
12 回	食物	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。
13 回	飲み物	旅行に関して人に何かを進める。
14 回	復習と口頭試験	食習慣について話す。
		近い過去の経験や行為について質問する、話す。
		料理の材料について話すそして人に勧める。
		復習と口頭試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。
 ・スペイン語圏のニュースに注意している。
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %+課題と学期末試験 40 %で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	中間テストと復習	中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 ・単語の意味調べを行い、授業に出る。

- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2

朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %+課題と学期末試験 40 %で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Google Classroom to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of mid-term exams + assignments and 40% of final exams.

LANs200LA

スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次の初級文法で未修だった直説法線過去形、未来形、過去未来形、接続法現在形、過去形を学習する。学習した文法知識を用いて、聴き取り、読解、作文など、実用的なスペイン語を運用する能力の習得を目指す。

【到達目標】

点過去形と線過去形を用いて、過去の出来事について複雑な描写ができるようになる。未来形を用いて、未来の予測、現在の推量について述べるができる。過去未来形を用いて、過去から見た未来や反実仮想を表現できるようになる。接続法現在形を用いて、願望、命令、依頼、目的、条件、譲歩などを表す複文を作ることができるようになる。接続法過去形を用いて、事実と反する仮定とその帰結を述べるができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。前半の授業では、1 年次の教科書を用いて未習分野を学習する。後半は、接続法を重点的に学習する。また、毎回 Hoppii で課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本シラバスを用いた授業の説明。
2	初級文法、未習分野の学習 (L12 前半)	線過去、基数
3	初級文法、未習分野の学習 (L12 後半)	比較表現
4	初級文法、未習分野の学習 (L13 前半)	未来形、感嘆文
5	初級文法、未習分野の学習 (L13 後半)	知覚動詞/使役動詞、受身表現
6	初級文法、未習分野の学習 (L14 前半)	過去未来形、関係代名詞
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	初級文法、未習分野の学習 (L14 後半)	過去完了、間接話法
9	接続法現在形の活用と用法 (名詞節)	願望、依頼、価値判断の表現。
10	接続法現在形の用法 (副詞節)	目的、条件、譲歩の表現。
11	接続法現在形の用法 (形容詞節)	関係代名詞節の中の接続法。
12	命令形/接続法過去形の活用	命令表現。
13	接続法過去形の用法	さまざまな条件文。
14	理解度確認	期末試験を実施。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習、復習を必ずする。予習としては、少なくとも分からない単語の意味を辞書で調べておく。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

春学期前半では、1年次に使用した教科書『君もやってみよう！スペイン語（改訂版）』を使用する。

後半でどのような教科書を使用するかは、受講生の理解度を把握したうえで決定する。

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加 30%、期末試験 70 %とし、総合的に評価する。大幅な遅刻は欠席と見なす。欠席回数が5回に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言（質問・問いかけに対する応答）を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を行うと、成績評価に際して減点の材料となりうるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, we will learn the indicative past tense, future tense, subjunctive present tense and past tense, which we did not study in the elementary grammar of the first year. We aim to acquire the ability to use practical Spanish such as listening comprehension, reading, and writing using the learned grammar knowledge.

Students will be able to use the preterit and imperfect past tenses to describe complex past events. In addition, students will be able to use the future tenses to describe predictions about the future and speculations about the present and also will be able to use the simple conditional on telling the future viewed from the past and counterfactuals. Another purpose is to learn the subjunctive present tense to create complex sentences expressing desires, commands, requests, intentions, conditions, concessions, etc. Finally, students will be able to use the subjunctive past tense to untrue state assumptions and consequences.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to familiarize themselves with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following process; final exam 70%, class contribution 30%.

LANs200LA

スペイン語Ⅲ

2017 年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の語彙を増やす、文法事項を復習する、読解力と聴解力を身につける。また、スペイン語圏の歴史や文化についての知識を深める。

【到達目標】

スペイン文部省認定証 DELE（外国語としてのスペイン語検定試験）B1 レベルの読解問題、リスニング問題で 70 パーセントの正答率を得られる語彙、読解力、聴解力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

語彙力テスト、聴き取り練習、長文講読を組み合わせる授業を行う。教材は、教員が用意して Hoppii を通じて PDF で配信する。また、毎回 Hoppii で課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本シラバスを用いて授業について説明。
2	スペインの政治についてのテキスト前半	語彙力テスト (1)。長文読解。
3	スペインの政治についてのテキスト後半	聴き取り練習 (1)。長文読解。
4	スペイン語圏の経済についてのテキスト	語彙力テスト (2)。長文読解。
5	スペイン語圏の社会についてのテキスト前半	聴き取り練習 (2)。長文読解。
6	スペイン語圏の社会についてのテキスト後半	語彙力テスト (3)。長文読解。
7	スペイン語圏の文化についてのテキスト	聴き取り練習 (3)。長文読解。
8	スペインの文学作品を読む前半	語彙力テスト (4)。長文読解。
9	スペインの文学作品を読む後半	聴き取り練習 (4)。長文読解。
10	ラテンアメリカの文学作品を読む前半	語彙力テスト (5)。長文読解。
11	ラテンアメリカの文学作品を読む後半	聴き取り練習 (5)。長文読解。
12	スペイン語の圏の歴史についてのテキスト前半	語彙力テスト (6)。長文読解。
13	スペイン語の圏の歴史についてのテキスト後半	聴き取り練習 (6)。長文読解。
14	期末試験	理解度の確認と総合的な解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習は必須。少なくとも、授業の前に意味の分からない単語を辞書で調べておくこと。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教員が作成したものを Hoppii を通じて配信する。

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加を 30%、最終試験の成績を 70%とし、総合的に評価する。

欠席回数が 5 回に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言（質問・問いかけに対する応答）を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を行うと、成績評価に際して減点の材料となりうるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This class aims to acquire vocabulary, reading, and listening comprehension to obtain a 70% correct answer rate in the DELE(Diplomas of Spanish as a Foreign Language) B1 level exam. Also we will learn about the culture of Spanish-speaking world.

Classes will be conducted by combining a vocabulary test, listening practice, and long-sentence reading. The teaching materials will be prepared by the instructor and distributed as PDF through Hoppii.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to familiarize themselves with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following process; final exam 70%, class contribution 30%.

LANs200LA

スペイン語 4 I

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción al curso	スペイン語で紹介、挨拶、授業の説明
2	Elena se prepara para ir a verle	再帰動詞・代名詞
3	Elena se prepara para ir a verle	日常生活、習慣、日課
4	Ya ha llegado a Valencia	現在完了形・頻度を表す副詞・
5	Ya ha llegado a Valencia	近い過去・習慣について話す
6	Iremos a Peñíscola	未来形、関係代名詞、副詞
7	Iremos a Peñíscola	友人を紹介する、仮定の話をする、他'
8	El partido de fútbol. ¿ Qué está pasando?	比較級と最上級、現在進行形
9	El partido de fútbol. ¿ Qué está pasando?	アドバイス、同時進行する言動、今行っていることを話す
10	Antes todo era diferente	線過去、旅行しながら過去を思い出す
11	Antes todo era diferente	過去の状態、行動、日常について述べる
12	El año pasado fui a...	点過去、時を表す副詞
13	El año pasado fui a...	過去のある時点での出来事、過去の重要事項について話す
14	期末テスト	まとめ、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Te Veo,nivel intermedio. Editorial DTP

楽しく覚えるスペイン語「改訂版」

スペイン語中級

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 4 II

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¿ Dónde nos conocimos?	時を表す語句とそれに合った 3 つの過去（現在完了形・線過去・点過去）
2	¿ Dónde nos conocimos?	歴史上の出来事と伝記、レシピ、料理
3	La paella.Enséname	命令法
4	La paella.Enséname	命令・アドバイス・指示の仕方、待ち合わせをする、他
5	Ya había estado aquí.	過去完了形、時を表す副詞
6	Ya había estado aquí.	過去・大過去の出来事について話す、時の表現の復習
7	映像	ラテンアメリカの映画
8	Quiero que venga mucha gente	接続法現在
9	Quiero que venga mucha gente	願望・要求・許可・禁止
10	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	過去未来形、接続法過去形
11	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	願い・憧れ・夢について話す、洋服・プレゼントを買う
12	La fiesta. ¿ Dice que saques unas cervezas!	間接語法、金言・名言集
13	La fiesta. ¿ Dice que saques unas cervezas!	他者の言葉を再現する、他者のメッセージを伝える
14	期末テスト	まとめ、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Te Veo. Nivel intermedio.Editorial DTP

スペイン語中級

楽しく覚えるスペイン語

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 4 I

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞。
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形 / 現在分詞のその他の用法。
4	人の一生、家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞 I：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法 / 品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去 / 旅行: 活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞 / 直説法現在完了: 活用 / 余暇生活 / 勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来: 活用 / 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了: 活用と用法
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 2da. edición,(総合スペイン語コース中級一改訂版)

Editorial Asahi

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 4 II

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tú / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/ スポーツ	無人称表現 / 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用 / 接続法の用法 I: 名詞節過去形 II：usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 / 願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III: 形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了：活用と用法
10	願望表現	接続法の用法 I V：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語圏の映画	接続法過去/ 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了: 活用 / 接続法過去完了の用法 / 直説法過去未来完了: 活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 2da. edición,(総合スペイン語コース中級一改訂版一)

Editorial Asahi

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 4 I

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 2/Wed.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	1 課前半	1 年で学んだ文法の復習。 ser, estar, hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	1 課後半	1 年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	2 課前半	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	2 課後半	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	3 課前半	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	3 課後半	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	4 課前半	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	4 課後半	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	5 課前半	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	5 課後半	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	6 課前半	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	6 課後半	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60％）平常点（40％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 2 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60％取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

スペイン語 4 II

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習（1 課～3 課）	春学期に学んだ教科書 1 課から 3 課までの復習
2	復習（4 課～6 課）	春学期に学んだ教科書 4 課から 6 課までの復習
3	7 課前半	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	7 課後半	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	8 課前半	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	8 課後半	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	9 課前半	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	9 課後半	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	10 課前半	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	10 課後半	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	11 課前半	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	11 課後半	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。

13	1 2 課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館
『クラウン西和辞典』 三省堂
『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社
紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験 60%、平常点 40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 3 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60% 取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【Outline (in English)】

1. Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

スペイン語 (3) I

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火 2/Tue.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科: DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業を行う。社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援システムを確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	1 課前半	1 年で学んだ文法の復習。 ser, estar, hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	1 課後半	1 年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	2 課前半	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	2 課後半	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	3 課前半	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	3 課後半	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	4 課前半	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	4 課後半	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	5 課前半	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	5 課後半	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	6 課前半	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	6 課後半	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） 紙媒体の辞書必携
『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）
『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

スペイン語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。スペイン語読解能力を伸ばしていくこと。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習（1 課～3 課）	春学期に学んだ教科書 1 課から 3 課までの復習
2	復習（4 課～6 課）	春学期に学んだ教科書 4 課から 6 課までの復習
3	7 課前半	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	7 課後半	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	8 課前半	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	8 課後半	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	9 課前半	接続法現在の活用。ボトシ（ボリビア）について知る。
8	9 課後半	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ボトシ（ボリビア）について知る。
9	10 課前半	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	10 課後半	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	11 課前半	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	11 課後半	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。

- 13 1 2 課 接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
- 14 期末試験 秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社 紙媒体の辞書必携
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館
『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社

【成績評価の方法と基準】

試験 60%、平常点 40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 3 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60% 取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【Outline (in English)】

1. Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

スペイン語 (3) I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土 2/Sat.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科: DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、

理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros)
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで利用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 (3) II

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、

理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語Ⅶ

2017 年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、SA に参加する 2 年生を対象とする授業である。1 年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

【到達目標】

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

初回授業時に指示する。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (40%)、期末試験 (60 %) を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs200LA

スペイン語 8

2017 年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語基礎文法の学習を終え、SA 出発へ向けて準備を進める。1 年次に使用した教科書と新たに購入する講読テキストを併用しつつ、スペイン語読解力の向上とスペイン語を用いての討論に慣れることを目指す。

【到達目標】

スペイン語文法の「総仕上げ」を行う。スペイン語初級文法の全項目について一通りの知識を身につける。特にスペイン語の過去未来の用法と接続法の用法について理解し、使用することができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

文法の講義に加えて、リスニングや AV 資料を用いながらスペイン語やスペイン語圏の文化についても学ぶ。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業方法についての説明と 1 年次の復習 1 年次の教科書「ブラサ・マヨール」を準備すること。
2	接続法の活用	接続法の活用について学習する
3	接続法の用法（名詞節、形容詞節）	接続法の名詞節と形容詞節における用法について学習する
4	接続法の用法（副詞節、独立用法）	接続法の副詞節における用法と独立用法について学習する
5	講読とディスカッション： La Semana Santa	聖週間に行われる儀式と祭りについて
6	講読とディスカッション： La Fiesta de los Patios de Córdoba	コルドバのパティオ祭りについて
7	講読とディスカッション： El Inti Raymi	インティ・ライミについて
8	講読とディスカッション： Las Fiestas de San Fermín	サン・フェルミン祭りについて
9	講読とディスカッション： La Feria de las Flores	花まつりについて
10	講読とディスカッション： El Grito de Dolores	ドロレスの叫びについて
11	講読とディスカッション： El Día de la Raza	民族の日について
12	講読とディスカッション： El Día de Muertos	死者の日について

- 13 講読とディスカッション
El Carnaval de Oruro
- 14 総括 春学期全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法については、予習・復習をしっかりと行うこと。
講読については、あらかじめ下訳を準備しておくこと。
ディスカッションについては、各回のテーマについて各自で調べて臨むこと。
なお、この授業の準備・復習時間は 1 回につき 1 時間以上である。

【テキスト（教科書）】

村上陽子・ナカガワ・マルガリータ『フィエスタ！ フィエスタ！ ー 解きながら読むスペイン語圏の 12 ヶ月』、朝日出版。
『レベル別スペイン語ドリル』（1 年次から使用しているテキスト）

【参考書】

『ブラサ・マヨール改訂版』（1 年次で使用した教科書）

【成績評価の方法と基準】

授業内の課題 40 %、授業参加度 10 %そして期末課題 50 %によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

この授業はオンラインで行いますが、全員参加型の授業を目指します。

【その他の重要事項】

授業内容は、受講生の理解度によって内容を前後させたり変更されることがあります。いずれにしても、教科書は第 2 回目授業から準備しておくこと。

また、授業支援システムや zoom を活用しますので、頻繁に授業支援システムを確認するよう心がけること。

【Outline (in English)】

We will finish learning basic Spanish grammar. As preparations for participating in the SA program, practice reading and do discussion in Spanish.

< Learning Objectives >

By the end of the course, students should be able to do the followings:

Understand the Subjunctive Mood in Spanish.

Express your opinions about familiar topics in Spanish.

< Learning outside of classroom >

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

< Grading Criteria/ Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short reports : 40%, in class contribution: 10%.

LANs200LA

スペイン語 3 - I

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 5/Wed.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語の紹介	南米にスペイン語を話す国々
2	LLevo un año estudiando español	直説法現在: 目的人称代名詞、再帰動詞
3	LLevo un año estudiando español	現在進行形、現在分詞
4	¿ Dónde naciste?	直接法点過去
5	¿ Dónde naciste?	関係詞 I、関係詞代名詞 que
6	¿ Y cómo era?	直説法線過去、活用
7	¿ Y cómo era?	ser, estar, haber, tener 動詞
8	Aunque hacía frío, subimos a la montaña	直説法点過去と線過去
9	Aunque hacía frío, subimos a la montaña	色々な副詞節
10	Ha sido una experiencia inolvidable	直説法現在完了: 活用と用法
11	Ha sido una experiencia inolvidable	過去分詞
12	Todo irá sobre ruedas	直説法未来: 活用と用法
13	Todo irá sobre ruedas	直説法過去未来: 活用と用法
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre Amigos2,2a.edición (総合スペイン語コース中級一改訂版一) Editorial Asahi

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 3 - II

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¡ Qué lío de tiempos !	直説法過去完了：活用と用法
2	¡ Qué lío de tiempos !	直接法の時制
3	¡ Qué lío de tiempos !	関係詞 II
4	Sal y diviértete	命令形 I: tú/vosotros に対する肯定命令
5	Sal y diviértete	命令形と目的人称代名詞・再帰動詞 直説法過去未来の用法 II
6	Problemas y más problemas	接続法現在 I：活用と用法
7	Problemas y más problemas	命令形 II: usted/ustedes に対する肯定命令 命令形 III: 否定命令
8	Cuidemos el medio ambiente	接続法現在の用法 II: 副詞節
9	Cuidemos el medio ambiente	接続法現在完了:活用と用法 III
10	¿ Sueño realidad?	接続法の用法 IV: 独立文
11	¿ Sueño realidad?	接続法過去:用法と活用
12	Si no hubiera estudiado español	接続法過去完了: 用法と活用 I
13	Si no hubiera estudiado español	接続法過去完了: 用法と活用 II
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre Amigos2, 2a. edición. (総合スペイン語コース中級一改訂版一)

Editorial Asahi

【参考書】

授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 3 - I

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援システムを確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	1 課前半	1 年で学んだ文法の復習。 ser, estar, hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	1 課後半	1 年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	2 課前半	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	2 課後半	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	3 課前半	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	3 課後半	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	4 課前半	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	4 課後半	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	5 課前半	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	5 課後半	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	6 課前半	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	6 課後半	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） 紙媒体辞書必携
『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）
『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

スペイン語 3-II

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援システムを確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習（1 課～3 課）	春学期に学んだ教科書 1 課から 3 課までの復習
2	復習（4 課～6 課）	春学期に学んだ教科書 4 課から 6 課までの復習
3	7 課前半	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	7 課後半	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	8 課前半	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	8 課後半	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	9 課前半	接続法現在の活用。ボトシ（ボリビア）について知る。
8	9 課後半	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ボトシ（ボリビア）について知る。
9	10 課前半	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	10 課後半	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	11 課前半	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	11 課後半	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。

- 13 1 2 課 接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
- 14 期末試験 秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

中級スペイン語文法 山田善郎著 白水社
『現代スペイン語辞典』山田喜郎監修 白水社
『クラウン西和辞典』三省堂
紙媒体辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験 60%、平常点 40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 2 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60% 取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【Outline (in English)】

1. Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

スペイン語コミュニケーション I 2017 年度以降入学者

瓜谷 アウロラ

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水 2/Wed.2

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期はオンラインでの開講となる。ZOOM を使ってリアルタイムで行う。

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、Break Out Room で仲間と練習する。次に暗記した表現を利用してモデル文章を書き換えて Break Out Room で発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。毎回暗記しなければいけない短文の数は 12 個程度である。

2 回で一つのテーマが終わると課題として自分について書いた文章を Hoppii で提出する。受け取った Feedback をよく読み、文書を暗記して、仲間に発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Mi nombre 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
2	Mi nombre 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
3	Mi familia 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
4	Mi familia 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
5	Mi ciudad 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
6	Mi ciudad 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
7	Mi universidad 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
8	Mi universidad 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
9	Un día normal 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
10	Un día normal 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
11	Descripciones 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
12	Descripciones 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
13	春学期の総復習	春学期の総復習

14 春学期の理解度の確認 春学期の理解度の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の週の復習から始まる。履修者は Break Out Room を使ってペアで練習を行うので、予習をしっかりと行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した 12 個程度の短文を次の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点及び課題と期末試験から判断する。

平常点評価:30 %

授業内で指された時の返事に基づく点数。又、授業での態度や積極的な参加度など。平常点は積み重ねていくので、欠席があればその日の平常点はゼロになる。

課題:30 %

期末試験:40 %

【学生の意見等からの気づき】

今年度は「量が多すぎ」という学生たちの声があったので、量を少し減らしました。

【学生が準備すべき機器他】

ZOOM に滞りなく参加ができるように機器環境を整えること。

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

In the spring term the course will be held online, in real time using ZOOM.

In this course students will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examinations.

Regular point evaluation: 30%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Assignments: 30%.

Final exam: 40%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs in the Break Out Room. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them in the Break Out Room. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture. The number of short sentences to be memorized each time is about 12.

After two sessions on a single topic, the students will submit a piece of writing about themselves in Hoppii as an assignment. Read the Feedback you receive carefully, memorize the document, and present it to your peers.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pairs using the Break Out Room, so they are expected to prepare well and actively participate in class. Students are required to understand the model sentences and their Japanese translations well in advance of each class. For post-lesson study, students are expected to check about 12 short sentences memorized in the lecture and memorize them perfectly by the next lecture. Confirmation will be done in the next class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA

スペイン語コミュニケーションⅡ 2017 年度以降入学者

瓜谷 アウロラ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期はオンラインでの開講となる。ZOOM を使ってリアルタイムで行う。

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、Break Out Room で仲間と練習する。次に暗記した表現を利用してモデル文章を書き換えて Break Out Room で発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。毎回暗記しなければならない短文の数は 12 個程度である。

2 回で一つのテーマが終わると課題として自分について書いた文章を Hoppii で提出する。受け取った Feedback をよく読み、文書を暗記して、仲間に発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Mi mejor viaje 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
2	Mi mejor viaje 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
3	Mis gustos 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
4	Mis gustos 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
5	Mi mejor regalo 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
6	Mi mejor regalo 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
7	Mi personaje preferido 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
8	Mi personaje preferido 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
9	Después de mi graduación 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
10	Después de mi graduación 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
11	Navidad 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
12	Navidad 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習

- 13 秋学期の総合復習 秋学期の総合復習
 14 秋学期の理解度の確認 秋学期の理解度の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の週の復習から始まる。履修者は Break Out Room を使ってペアで練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した 12 個程度の短文を次の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点及び課題と期末試験から判断する。

平常点評価:30 %

授業内で指された時の返事に基づく点数。又、授業での態度や積極的な参加度など。平常点は積み重ねていくので、欠席があればその日の平常点はゼロになる。

課題:30 %

期末試験:40 %

【学生の意見等からの気づき】

今年度は「量が多すぎ」という学生たちの声があったので、量を少し減らしました。

【学生が準備すべき機器他】

ZOOM に滞りなく参加ができるように機器環境を整えること。

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

In the fall term the course will be held online, in real time using ZOOM.

We will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examinations.

Regular point evaluation: 30%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Assignments: 30%.

Final exam: 40%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs in the Break Out Room. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them in the Break Out Room. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture. The number of short sentences to be memorized each time is about 12.

After two sessions on a single topic, the students will submit a piece of writing about themselves in Hoppii as an assignment. Read the Feedback you receive carefully, memorize the document, and present it to your pears.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pairs using the Break Out Room, so they are expected to prepare well and actively participate in class. Students are required to understand the model sentences and their Japanese translations well in advance of each class. For post-lesson study, students are expected to check about 12 short sentences memorized in the lecture and memorize them perfectly by the next lecture. Confirmation will be done in the next class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA

現代のスペイン語 I

2017 年度以降入学者

保崎 典子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を生かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。随時、初級文法の復習をおこなっていく。また、この授業では、スペイン語圏の文化や社会にも光をあてつつ、その歴史と現状について学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引ながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、文法事項の復習を中心に見ていく。随時小テストを行なうことによって、学生の理解度の把握に努める。採点済みの答案用紙は返却し、答え合わせをしながら基本的な文法事項のふりかえりに努める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	初級文法の復習	過年度までにスペイン語初級の各クラスで学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法現在	直説法現在を使った文章を読解する。
4	再帰動詞	再帰動詞を使った文章を読解する。
5	現在分詞および進行形	現在分詞と進行形を使った文章を読解する。
6	過去分詞および点過去	過去分詞と点過去を使った文章を読解する。
7	線過去	線過去を使った文章を読解する。
8	直説法現在完了および過去完了	直説法現在完了と直説法過去完了を使ったペルーの古代遺跡マチュ・ピチュに関する文章を読解する。
9	指示詞と所有詞の復習	指示詞と所有詞を使った文章を読解する。
10	受動表現の復習	受動表現を使った文章を読解する。
11	比較表現の復習	比較表現を使った文章を読解する。
12	無人称表現の復習	無人称表現を使った文章を読解する。
13	春学期のまとめ	春学期に学んだ文法事項の復習を行う。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストの予習と復習は必須である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

初回授業時に指示する。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、期末試験 50 %、随時行う小テスト 20 %

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】

この授業は基本的に対面形式で行われるが、場合によってはオンライン形式へ変更となることがある。その場合は「学習支援システム」上で通知するので、こまめなチェックを怠らないこと。

【Outline (in English)】

《Course outline》 This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries, by enjoying rather long Spanish texts through the use of your grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

《Learning Objectives》 Students will improve the reading ability in Spanish.

《Learning activities outside of classroom》 Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (30%), term-end examination(50%), and quizzes (20%).

LANs200LA

現代のスペイン語Ⅱ

2017 年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級クラスを履修済みの学生を対象として、すでに身につけている文法知識を活かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を養うことを目的とする。特に、この授業では、現代のスペイン語圏の文化や社会といった諸相について、その歴史も踏まえながら学んでいく。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が各回のテーマに関する概説と文法事項の解説を織りまぜながら、順番に指名された受講生が訳読を行う。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	春学期の文法の復習	春学期で学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法未来	直説法未来を使った文章を読解する。
4	直接法過去未来	直接法過去未来を使った文章を読解する。
5	直説法未来完了と直説法過去未来完了	直説法未来完了と直説法過去未来完了を使った文章を読解する。
6	接続法現在（名詞節）	接続法現在（名詞節）を使った文章を読解する。
7	接続法現在（形容詞節・副詞節）	接続法現在（形容詞節・副詞節）を使った文章を読解する。
8	命令法	命令法を使った文章を読解する。
9	接続法過去	接続法過去を使った文章を読解する。
10	間接話法	間接話法を使った文章を読解する。
11	知覚・使役の表現	知覚・使役の表現を使った文章を読解する。
12	時制の復習	さまざまな時制を網羅的に使った文章を読解する。
13	法の復習	直説法と接続法を対比的に使った文章を読解する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

秋学期が始まるまでに「学習支援システム」で指示する。

【参考書】

授業内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50 %、学期末試験：50 %。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

・履修希望者は春学期の「現代のスペイン語Ⅰ」で選抜を受けること。秋学期の本授業のみの履修を希望する場合も同様である。
・辞書の活用を怠らないこと。

【Outline (in English)】

《Course outline》 This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries, by enjoying rather long Spanish texts through the use of your grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

《Learning Objectives》 Students will improve the reading ability in Spanish.

《Learning activities outside of classroom》 Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (50%), and term-end examination(50%).

ARSa200LA

スペイン語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

学生の興味関心聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

【到達目標】

本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

初回～第 3 回講義までは教員によるオリエンテーションと講義。また、初回講義において、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、プレゼンテーションする形式を採る。
※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。

ただし、感染状況の推移により、オンラインに切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション (プレゼン担当決定)	スペイン語圏についての概説。各回の担当者を決定。
2	講義：スペイン概説①	地域から考える
3	講義：スペイン概説②	言語から考える
4	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインの絵画)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
5	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインのスポーツ)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
6	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインの言語)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
7	担当者によるプレゼンテーション (例：食事に見られる地域性)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
8	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインの観光業)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
9	担当者によるプレゼンテーション (例：EU とスペイン)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する

10	担当者によるプレゼンテーション (例：Brexit のスペインへの余波)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
11	担当者によるプレゼンテーション (例：スペイン語とポルトガル語の違い)	担当者によるプレゼンテーション (例：スペイン語とポルトガル語の違い)
12	担当者によるプレゼンテーション (例：カタルーニャ州について)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
13	担当者によるプレゼンテーション (例：フラメンコの歴史)	具体的なテーマは学生と協議の上で決定する
14	総括	ディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。

また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

開講時に受講生各自の関心に従って決定。

【参考書】

テーマにそって授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.

Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

【Learning Objectives】

To have more perspective to view not only in Spanish culture but all over the world.

【Learning activities outside of classroom】

Nothing required but hope to be interested in various issues regarding with Spanish and Latin American culture. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Presentation at class: 70%, class contribution: 30%

ARSa200LA

スペイン語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

塩崎 公靖

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 2 単位

※定員制 (40 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

学生の興味関心を聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

【到達目標】

本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

初回～第 3 回講義までは教員によるオリエンテーションと講義。また、初回講義において、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、プレゼンテーションする形式を採る。

※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。

ただし、感染状況の推移により、オンラインに切り替えるなども検討します。

※各回に例としてあげたプレゼン内容はあくまで一例。自身が調べたいと思えるテーマを探してもらおう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション (プレゼン担当決定)	スペイン語圏についての概説。各回の担当者を決定。
2	講義: スペイン概説①	国際関係の中のスペイン
3	講義: スペイン概説②	スペインと日本
4	担当者によるプレゼンテーション (例: メキシコの映画産業)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
5	担当者によるプレゼンテーション (例: アルゼンチンのスポーツ事情)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
6	担当者によるプレゼンテーション (例: キューバの現在)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
7	担当者によるプレゼンテーション (例: ラテンアメリカの文学)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
8	担当者によるプレゼンテーション (例: フィリピンに残るスペイン語)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する

9	担当者によるプレゼンテーション (例: 日本のスペイン語話者)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
10	担当者によるプレゼンテーション (例: スペインのスタートアップ企業)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
11	担当者によるプレゼンテーション (例: スペイン語圏の中の日本企業)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
12	担当者によるプレゼンテーション (例: コスタリカについて)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
13	担当者によるプレゼンテーション (例: スペイン語圏での日本発サブカルチャーの受容)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
14	総括	ディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。

また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

開講時に受講生各自の関心に従って決定。

【参考書】

テーマにそって授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.

Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

【Learning Objectives】

To have more perspective to view not only in Spanish culture but all over the world.

【Learning activities outside of classroom】

Nothing required but hope to be interested in various issues regarding with Spanish and Latin American culture. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Presentation at class: 70%, class contribution: 30%

LANk200LA	
朝鮮語 3 A I	2017 年度以降入学者
梁 禮先	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水 4/Wed.4	
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビュブ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、～して下さる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」

8	第 4 課	形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
9	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」
10	第 5 課	「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
11	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法
12	第 6 課	根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
13	復習	春学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

【成績評価の方法と基準】

授業での平常点 (30%) と期末テスト (70%) を総合して評価します。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 A II

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水 4/Wed.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
2	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
3	第 8 課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」
4	第 8 課	平叙形「～する、～である」、間接話法 (引用形)・その 1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
5	第 9 課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
6	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
7	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基

8	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
9	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
10	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
11	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば
12	第 12 課	親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
13	復習	秋学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

授業での平常点 (30%) と期末テスト (70%) を総合して評価します。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA	
朝鮮語 3 A I	2017 年度以降入学者
梁 禮先	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木 1/Thu.1
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビュブ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、～して下さる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」

8	第 4 課	形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
9	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」
10	第 5 課	「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
11	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法
12	第 6 課	根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
13	復習	春学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

【成績評価の方法と基準】

授業での平常点 (30%) と期末テスト (70%) を総合して評価します。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 A II

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 1/Thu.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
2	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
3	第 8 課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」
4	第 8 課	平叙形「～する、～である」、間接話法 (引用形)・その 1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
5	第 9 課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
6	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
7	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基

8	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
9	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
10	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
11	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば
12	第 12 課	親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
13	復習	秋学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

授業での平常点 (30%) と期末テスト (70%) を総合して評価します。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA	
朝鮮語 3 A I	2017 年度以降入学者
梁 禮先	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木 3/Thu.3
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビュブ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、～して下さる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」

8	第 4 課	形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
9	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」
10	第 5 課	「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
11	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法
12	第 6 課	根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
13	復習	春学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

【成績評価の方法と基準】

授業での平常点 (30%) と期末テスト (70%) を総合して評価します。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 A II

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
2	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
3	第 8 課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」
4	第 8 課	平叙形「～する、～である」、間接話法 (引用形)・その 1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
5	第 9 課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
6	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
7	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基

8	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
9	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
10	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
11	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば
12	第 12 課	親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
13	復習	秋学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

授業での平常点 (30%) と期末テスト (70%) を総合して評価します。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習他
2	第 1 課	語基の復習他
3	第 1 課	語基の復習他
4	第 2 課	「～している」の 2 つの形、禁止形
5	第 2 課	長い不可能形、助詞「～に」の用法など
6	中間試験	中間試験
7	第 3 課	文中の疑問形、強調表現
8	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞など
9	第 4 課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第 4 課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる語尾など
11	第 5 課	用言の体言形、「～することはする」
12	第 5 課	いくつかの助詞、「～する方だ」など
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

【参考書】

『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %

中間試験 40 %

期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークの時間を増やすこと。

【その他の重要事項】

第 1 回はオンラインで行います。第 2 回目以降は原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【Outline (in English)】

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 6 課	疑問詞の不定詞的用法など
2	第 6 課	大過去形など
3	第 6 課	へヨ体の命令形など
4	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形など
5	第 7 課	接続形「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基など
6	中間試験	中間試験
7	第 8 課	指定詞の否定形を用いた接続形など
8	第 8 課	間接話法その 1 など
9	第 9 課	ハンダ体、間接話法その 2 など
10	第 9 課	態と受身形など
11	第 10 課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基など
12	第 10 課	「～について、関して」、もう 1 つの過去連体形など
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

【参考書】

『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %

中間試験 40 %

期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークの時間を増やすこと。

【その他の重要事項】

第 1 回はオンラインで行います。第 2 回目以降は原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部：
DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦などの課題をする。
- 5 小テスト。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
2	文型・会話練習 第 1 課	ましょうか・てください
3	文型・会話練習 第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、 てくて
4	歌 第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	文型・会話練習 第 2 課	ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第 3 課	ば、たら、と
7	文型・会話練習 第 3 課	てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第 3・4 課	連体形
9	文型・会話練習 第 4 課	ようと・ばいい
10	文型・会話練習 第 4 課	でしょうか、ましょうか・んです よ
11	文型・会話練習 韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
14	文型・会話練習 期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくる。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト 60 %、課題 20 %、平常点 20 %（参加度、積極性など）
欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

native speaker と簡単な会話ができるようになる。

語彙・文型の知識が増強できる。

正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

1 単語と文型を予習する。

2 文型練習をする。

3 会話練習をする。

4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。

5 小テスト。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ (推測)・そうだ (伝聞)
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか (意志)・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある ・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが

14 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト 60%、課題 20%、平常点 20%

欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部：
DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦などの課題をする。
- 5 小テスト。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
2	文型・会話練習 第 1 課	ましょうか・てください
3	文型・会話練習 第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、 てくて
4	歌 第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	文型・会話練習 第 2 課	ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第 3 課	ば、たら、と
7	文型・会話練習 第 3 課	てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第 3・4 課	連体形
9	文型・会話練習 第 4 課	ようと・ばいい
10	文型・会話練習 第 4 課	でしょうか、ましょうか・んです よ
11	文型・会話練習 韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
14	文型・会話練習 期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくる。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト 60 %、課題 20 %、平常点 20 %（参加度、積極性など）
欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

native speaker と簡単な会話ができるようになる。

語彙・文型の知識が増強できる。

正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

1 単語と文型を予習する。

2 文型練習をする。

3 会話練習をする。

4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。

5 小テスト。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ (推測)・そうだ (伝聞)
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか (意志)・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある ・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが

14 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト 60%、課題 20%、平常点 20%

欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】

ハングル検定 4 級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

復習と作文。

読む練習と発音練習。

文法説明。

会話。

練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	授業の進め方について	授業の進め方についての説明の説明
2 回目	韓国語上手になりましたか？	読むと文型について。
3 回目	韓国語上手になりましたか？	練習問題について。
4 回目	今日の授業は何限までありますか？	読む、文型について。
5 回目	今日の授業は何限までありますか？	練習問題について。
6 回目	趣味は何ですか？	読む、文型について。
7 回目	趣味は何ですか？	文型について。
8 回目	趣味は何ですか？	練習問題について。
9 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	読む、文型について。
10 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	文型について。
11 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	練習問題について。
12 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	読む、文型について。
13 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	練習問題について。
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題。

韓国文化など韓国についての知識。

韓国ドラマや K-POP を活用する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材「中級韓国語－ハングル 4 級基準」 梁禮先

【参考書】

韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業の内容は変わることがある。

【Outline (in English)】

< Course outline > We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、朝鮮語 1・2 で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができます。

【到達目標】

できれば、希望者はハングル検定 4 級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単な会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

フィードバックなどは、学習支援システムなどを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2 回目	電話について	本文を読んで説明
3 回目	電話について	文法の詳しい説明
4 回目	電話について	会話と練習問題
5 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	本文を読んで説明
6 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	文法の詳しい説明
7 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	会話と練習問題
8 回目	語学研修に行こうかと思います	本文を読んで説明。
9 回目	語学研修に行こうかと思います	文法の詳しい説明
10 回目	語学研修に行こうかと思います	会話練習と練習問題
11 回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12 回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13 回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材『中級朝鮮語－ハングル検定 4 級基準』（梁禮先）

【参考書】

「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline > Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to speak everyday conversations naturally. In addition, it is to pass the Hangul Nouryoku Kentei test level 4.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】

ハングル検定 4 級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

復習と作文。

読む練習と発音練習。

文法説明。

会話。

練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	授業の進め方について	授業の進め方についての説明の説明
2 回目	韓国語上手になりまし	読むと文型について。たか?
3 回目	韓国語上手になりまし	練習問題について。たか?
4 回目	今日の授業は何限まで	読む、文型について。ありますか?
5 回目	今日の授業は何限まで	練習問題について。ありますか?
6 回目	趣味は何ですか?	読む、文型について。
7 回目	趣味は何ですか?	文型について。
8 回目	趣味は何ですか?	練習問題について。
9 回目	今日韓国へ来てから一	読む、文型について。年になりますよね?
10 回目	今日韓国へ来てから一	文型について。年になりますよね?
11 回目	今日韓国へ来てから一	練習問題について。年になりますよね?
12 回目	家族は日本にいらっ	読む、文型について。しゃいますよね?
13 回目	家族は日本にいらっ	練習問題について。しゃいますよね?
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題。

韓国文化など韓国についての知識。

韓国ドラマや K-POP を活用する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材「中級韓国語－ハングル 4 級基準」 梁禮先

【参考書】

韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業の内容は変わることがある。

【Outline (in English)】

< Course outline > We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、朝鮮語 1・2 で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができます。

【到達目標】

できれば、希望者はハングル検定 4 級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単な会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

フィードバックなどは、学習支援システムなどを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2 回目	電話について	本文を読んで説明
3 回目	電話について	文法の詳しい説明
4 回目	電話について	会話と練習問題
5 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	本文を読んで説明
6 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	文法の詳しい説明
7 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	会話と練習問題
8 回目	語学研修に行こうかと思えます	本文を読んで説明。
9 回目	語学研修に行こうかと思えます	文法の詳しい説明
10 回目	語学研修に行こうかと思えます	会話練習と練習問題
11 回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12 回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13 回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材『中級朝鮮語－ハングル検定 4 級基準』（梁禮先）

【参考書】

「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline > Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to speak everyday conversations naturally. In addition, it is to pass the Hangul Nouryoku Kentei test level 4.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習他
2	第 1 課	語基の復習他
3	第 1 課	語基の復習他
4	第 2 課	「～している」の 2 つの形、禁止形
5	第 2 課	長い不可能形、助詞「～に」の用法など
6	中間試験	中間試験
7	第 3 課	文中の疑問形、強調表現
8	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞など
9	第 4 課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第 4 課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる語尾など
11	第 5 課	用言の体言形、「～することはする」
12	第 5 課	いくつかの助詞、「～する方だ」など
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

【参考書】

『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %

中間試験 40 %

期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークの時間を増やすこと。

【その他の重要事項】

第 1 回はオンラインで行います。第 2 回目以降は原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【Outline (in English)】

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 6 課	疑問詞の不定詞的用法など
2	第 6 課	大過去形など
3	第 6 課	へヨ体の命令形など
4	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形など
5	第 7 課	接続形「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基など
6	中間試験	中間試験
7	第 8 課	指定詞の否定形を用いた接続形など
8	第 8 課	間接話法その 1 など
9	第 9 課	ハンダ体、間接話法その 2 など
10	第 9 課	態と受身形など
11	第 10 課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基など
12	第 10 課	「～について、関して」、もう 1 つの過去連体形など
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

【参考書】

『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %

中間試験 40 %

期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークの時間を増やすこと。

【その他の重要事項】

第 1 回はオンラインで行います。第 2 回目以降は原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部：
DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦などの課題をする。
- 5 小テスト。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
2	文型・会話練習 第 1 課	ましょうか・てください
3	文型・会話練習 第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、 てくて
4	歌 第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	文型・会話練習 第 2 課	ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第 3 課	ば、たら、と
7	文型・会話練習 第 3 課	てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第 3・4 課	連体形
9	文型・会話練習 第 4 課	ようと・ばいい
10	文型・会話練習 第 4 課	でしょうか、ましょうか・んです よ
11	文型・会話練習 韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
14	文型・会話練習 期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト 60 %、課題 20 %、平常点 20 %（参加度、積極性など）
欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 3/Thu.3

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

native speaker と簡単な会話ができるようになる。

語彙・文型の知識が増強できる。

正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

1 単語と文型を予習する。

2 文型練習をする。

3 会話練習をする。

4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。

5 小テスト。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ (推測)・そうだ (伝聞)
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか (意志)・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある ・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが

14 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト 60%、課題 20%、平常点 20%

欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】

ハングル検定 4 級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

復習と作文。

読む練習と発音練習。

文法説明。

会話。

練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	授業の進め方について	授業の進め方についての説明の説明
2 回目	韓国語上手になりましたか？	読むと文型について。
3 回目	韓国語上手になりましたか？	練習問題について。
4 回目	今日の授業は何限までありますか？	読む、文型について。
5 回目	今日の授業は何限までありますか？	練習問題について。
6 回目	趣味は何ですか？	読む、文型について。
7 回目	趣味は何ですか？	文型について。
8 回目	趣味は何ですか？	練習問題について。
9 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	読む、文型について。
10 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	文型について。
11 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	練習問題について。
12 回目	家族は日本にいますよね？	読む、文型について。
13 回目	家族は日本にいますよね？	練習問題について。
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題。

韓国文化など韓国についての知識。

韓国ドラマや K-POP を活用する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材「中級韓国語－ハングル 4 級基準」 梁禮先

【参考書】

韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業の内容は変わることがある。

【Outline (in English)】

< Course outline > We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、朝鮮語 1・2 で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができます。

【到達目標】

できれば、希望者はハングル検定 4 級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単な会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

フィードバックなどは、学習支援システムなどを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2 回目	電話について	本文を読んで説明
3 回目	電話について	文法の詳しい説明
4 回目	電話について	会話と練習問題
5 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	本文を読んで説明
6 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	文法の詳しい説明
7 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	会話と練習問題
8 回目	語学研修に行こうかと思えます	本文を読んで説明。
9 回目	語学研修に行こうかと思えます	文法の詳しい説明
10 回目	語学研修に行こうかと思えます	会話練習と練習問題
11 回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12 回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13 回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材『中級朝鮮語－ハングル検定 4 級基準』（梁禮先）

【参考書】

「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline > Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to speak everyday conversations naturally. In addition, it is to pass the Hangul Nouryoku Kentei test level 4.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA	
朝鮮語 4 A I	2017 年度以降入学者
内山 政春	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：月 1/Mon.1
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビジュアル不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、～して下さる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」

8	第 4 課	形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
9	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」
10	第 5 課	「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
11	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法
12	第 6 課	根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
13	復習	春学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 4 A II

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
2	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
3	第 8 課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」
4	第 8 課	平叙形「～する、～である」、間接話法 (引用形)・その 1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
5	第 9 課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
6	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
7	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基

8	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
9	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
10	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
11	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば
12	第 12 課	親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
13	復習	秋学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA	
朝鮮語 4 A I	2017 年度以降入学者
内山 政春	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：金 4/Fri.4
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビジュアル不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、～して下さる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」

8	第 4 課	形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
9	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」
10	第 5 課	「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
11	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法
12	第 6 課	根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
13	復習	春学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 4 A II

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
2	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
3	第 8 課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」
4	第 8 課	平叙形「～する、～である」、間接話法 (引用形)・その 1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
5	第 9 課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
6	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
7	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基

8	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
9	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
10	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
11	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば
12	第 12 課	親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
13	復習	秋学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA	
朝鮮語 4 A I	2017 年度以降入学者
内山 政春	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：月 5/Mon.5
単位数：1 単位	
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビジュアル不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、～して下さる」と～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」

8	第 4 課	形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
9	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」
10	第 5 課	「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
11	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法
12	第 6 課	根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、ヘヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
13	復習	春学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

朝鮮語 4 A II

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 1 単位

他学部公開: グローバル: 成績優秀: 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
2	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
3	第 8 課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」
4	第 8 課	平叙形「～する、～である」、間接話法 (引用形)・その 1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
5	第 9 課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
6	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
7	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基

8	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
9	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
10	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
11	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば
12	第 12 課	親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
13	復習	秋学期の総復習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要ですが、なるべく復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、テキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANK200LA

朝鮮語 (3) I

2017 年度以降入学者

李 英美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは中級レベルの基本文型の例文を増やし、それにとともなう新しい単語を習得することによって語彙力を養成します。また口頭による発音の直接伝授を繰り返し行います。

【到達目標】

朝鮮語の中級レベルの文法と語彙を確かなものにし、新しい語彙について正確な発音を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進みますが、本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。

各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	自己紹介	連体形と時制
第 2 回	出会い	用言の縮約形、－してから、－になる、－だろう（か）・だよ・なさい
第 3 回	外国語	－くなる、－すること、－であること
第 4 回	学籍番号	数字の読み方と発音、－から・ので、－しても・でも。－する・するよ
第 5 回	食べ物	－みたいだ・ようだ、－くて・なので、－できない
第 6 回	学生生活	－けれど（も）・から・のに・ね・か、－できる・できない、－する
第 7 回	小テスト	「語彙力の確認」
第 8 回	タクシー	－ねばならない、－かも知れない、－するか？・だろうか？
第 9 回	遅刻	－ようだ・そうだ・みたいだ・－していて・する途中で、－し（て）・で
第 10 回	コーヒーショップ	－か？・かな？・かい？。－からだ・ならば、－するが・だが
第 11 回	これまでの復習	「連体形と不規則用言のまとめ」
第 12 回	招待	－したところ。したと思ったら・だったが、－する、－だ、－すると・だと・からといって
第 13 回	礼儀	－したらすぐ・するままだ、－するように・く・に、－してはじめて・してこそ・しなければ
第 14 回	まとめとテスト	これまでに学習してきたことのまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること。

テキスト付属の CD を毎日 15 分ずつ聞くこと。

【テキスト（教科書）】

高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

【参考書】

随時必要な資料を配布

辞書は授業中に紹介

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席率・小テスト）50％・期末試験50％を総合して評価

【学生の意見等からの気づき】

板書をきれいにすること

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

・授業を3分の1以上欠席すると、原則として期末試験は受けられないものとする。

・期末試験を受けないと、単位はとれない。

・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM 情報は授業開始の前週までに HOPPI でお知らせします。

・第2回目以降の授業形態については、第1回目の際に伝えます。

・期末テストは最後の授業日に対面で実施します。

【Outline (in English)】

In this class, you will develop your vocabulary by increasing the number of basic sentence patterns and learning new word. In addition, direct oral pronunciation will be repeatedly taught.

In addition, direct oral pronunciation will be repeatedly taught.

In this class, you will develop your vocabulary by increasing the number of basic sentence patterns and learning new words.

In addition, direct oral pronunciation will be repeatedly taught.

LANk200LA

朝鮮語 (3) II

2017 年度以降入学者

李 英美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き秋学期を通しては、初級に続き、主に漢数詞と固有数詞・助詞などの品詞の使い方、用言の語尾の基本的変化（現在と過去、普通語と敬語、意志・推量・控え目と命令）について学びます。

【到達目標】

以上の授業内容を用いた基本文型をマスターし、簡単な文が作れることと基礎会話ができることを授業目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って毎回 1 課ずつ進みます。本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	露天街	－ 見える、－ とは・なんて、－ いたす
第 2 回	植民地時代	－ だろうよ・と思うよ、－ として
第 3 回	仲直り	－ ことで・で、－ するならば・ならば。－ しようかと思う・だろうかという
第 4 回	寝不足	－ するのかと・のかと、－ しようってば
第 5 回	ぞんざいな言葉	－ するのか・なのか、－ よ・さ・なの？・なのか？
第 6 回	占い	－ することは～する・であることは～である、－ することができ・できない、－ であり得る・であり得ない、－ するって・だって
第 7 回	俗語	－ ね・な、－ しに
第 8 回	小テスト	「語彙力のテスト」
第 9 回	思い出	－ よ・ね・だったよ・だったね、－ して・で
第 10 回	ベトナム	－ しろって（さ）・するからって（さ）・かって（さ）・しようって（さ）
第 11 回	準備	－ でも、－ するつもりだから・だろうから・するはずだから・するから
第 12 回	軍隊	－ するのか・なのか、－ することになる・になる
第 13 回	日記	短い文の日本語訳、朗読
第 14 回	まとめとテスト	変速用言のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること
テキスト付属の CD を毎日 15 分ずつ聞くこと

【テキスト（教科書）】

高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

【参考書】

随時必要な資料を配布
辞書は授業中に紹介

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席率・小テスト）50%、期末試験50%を総合して評価

【学生の意見等からの気づき】

板書をきれいにすること

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

- ・授業を3分の1以上欠席すると、原則として期末試験は受けられないものとする。
- ・期末試験を受けないと、単位はとれない。
- ・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM 情報は授業開始の前週までに HOPPI でお知らせします。
- ・第2回目以降の授業形態については、第1回目の際に伝えます。
- ・期末テストは最後の授業日に対面で実施します。

【Outline (in English)】

Throughout the fall semester following the spring semester, mainly how to use parts of speech such as Chinese numerals and proper numbers / particles, and basic changes in the ending of words (present and past, ordinary words and honorifics, will / guess / modesty and command) Learn about.

LANk200LA

朝鮮語 7

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

2 年次秋学期の SA に備えます。

【到達目標】

SA に通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3 級」に編入できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 7」「朝鮮語 8」「朝鮮語コミュニケーションⅡ」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第 9 課	ハンダ体と間接話法
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第 11 課	合成語と漢字語の濃音化
6	第 12 課	親族名称とその尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
8	第 13 課	漢字の音読みと訓読み
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
11	第 15 課	用言の体言形・その 2
12	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
13	よみもの	既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語彙力を高めるよう自主的に努力してください。

BT20 階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。

本授業の準備学習・復習時間は合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

【参考書】

初歩の内容で不十分な箇所があったら『しくみで学ぶ初級朝鮮語』に立ち返ってください。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか?」ということを考える習慣をつけましょう。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hours to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination(100%)

LANk200LA

朝鮮語 8

2017 年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

2 年次秋学期の SA に備えます。

【到達目標】

SA に通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3 級」に編入できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 7」「朝鮮語 8」「朝鮮語コミュニケーションⅡ」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第 9 課	ハンダ体と間接話法
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第 11 課	合成語と漢字語の濃音化
6	第 12 課	親族名称とその尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
8	第 13 課	漢字の音読みと訓読み
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
11	第 15 課	用言の体言形・その 2
12	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
13	よみもの	既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語彙力を高めるよう自主的に努力してください。

BT20 階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。

本授業の準備学習・復習時間は合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

そのほか、この授業のみの + a 教材も使って、応用力を高めます。

【参考書】

初歩の内容で不十分な箇所があったら『しくみで学ぶ初級朝鮮語』に立ち返ってください。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業への貢献度 30 %、期末試験の成績 70 %をもとに判断します。60 点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか?」ということを考える習慣をつけましょう。

【Outline (in English)】

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

Final grade will be calculated according to the following process. In-class contribution 30%, and term-end exam 70%.

LANk200LA

朝鮮語 3-I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】

1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦などの課題をする。
5 小テスト。
Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細
を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。
授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google
classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
2	文型・会話練習 第 1 課	ましょうか・てください
3	文型・会話練習 第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、 てくて
4	歌 第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	文型・会話練習 第 2 課	ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第 3 課	ば、たら、と
7	文型・会話練習 第 3 課	てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第 3・4 課	連体形
9	文型・会話練習 第 4 課	ようと・ばいい
10	文型・会話練習 第 4 課	でしょうか、ましょうか・んです よ
11	文型・会話練習 韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト 60 %、課題 20 %、平常点 20 %（参加度、積極性など）
欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行
う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners.
Students study grammar and vocabulary. The purpose of this
class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments
and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be
eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3-II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

native speaker と簡単な会話ができるようになる。

語彙・文型の知識が増強できる。

正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1 単語と文型を予習する。

2 文型練習をする。

3 会話練習をする。

4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。

5 小テスト。

Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。Google classroom に授業前に登録しておくこと。授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に google classroom と大学の Gmail を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから（意思）・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してやること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト 60%、課題 20%、平常点 20%

欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 3 C I (コミュニケーション) 2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習他
2	第 1 課	語基の復習他
3	第 1 課	語基の復習他
4	第 2 課	「～している」の 2 つの形、禁止形
5	第 2 課	長い不可能形、助詞「～に」の用法など
6	中間試験	中間試験
7	第 3 課	文中の疑問形、強調表現
8	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞など
9	第 4 課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第 4 課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる語尾など
11	第 5 課	用言の体言形、「～することはする」
12	第 5 課	いくつかの助詞、「～する方だ」など
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

【参考書】

『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %

中間試験 40 %

期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークの時間を増やすこと。

【その他の重要事項】

第 1 回はオンラインで行います。第 2 回目以降は原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【Outline (in English)】

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語 3CⅡ (コミュニケーション) 2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 6 課	疑問詞の不定詞的用法など
2	第 6 課	大過去形など
3	第 6 課	へヨ体の命令形など
4	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形など
5	第 7 課	接続形「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基など
6	中間試験	中間試験
7	第 8 課	指定詞の否定形を用いた接続形など
8	第 8 課	間接話法その 1 など
9	第 9 課	ハンダ体、間接話法その 2 など
10	第 9 課	態と受身形など
11	第 10 課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基など
12	第 10 課	「～について、関して」、もう 1 つの過去連体形など
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト (教科書)】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社, 2022 年, 2600 円

【参考書】

『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %

中間試験 40 %

期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークの時間を増やすこと。

【その他の重要事項】

第 1 回はオンラインで行います。第 2 回目以降は原則対面での授業を実施する予定ですが、状況によってオンラインに切り替わることもあります。受講者は必ず Hoppii に登録してください。

【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

LANk200LA

朝鮮語 4 B I (視聴覚)

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。
 一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を開き、日本語訳する。
 - 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
 - 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
 - 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
 - 5 単語と暗唱の小テストをする。
- ZOOM と Google Classroom を用いる。学習支援システムで詳細を確認すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	サランバンのお客さん とオモニ ①② シークレットガーデン 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さん とオモニ ③④ シークレットガーデン 2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さん とオモニ ⑤⑥ シークレットガーデン 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さん とオモニ ⑦⑧ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さん とオモニ ⑨⑩ シークレットガーデン 4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	歌など 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

7	サランバンのお客さん とオモニ ⑪⑫ シークレットガーデン 5	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	サランバンのお客さん とオモニ ⑬⑭ テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	サランバンのお客さん とオモニ ⑮⑯ シークレットガーデン 6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さん とオモニ ⑰⑱ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さん とオモニ ⑲⑳ シークレットガーデン 7	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さん とオモニ 最終回 シークレットガーデン 8	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は各 2 時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語 1』学研
 シークレットガーデン DVD

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40 %、テスト 60 %
 4 回以上の欠席で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため今学期も留学生との会話の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

pc あるいは tablet

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2 年生～4 年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語 3 より受講生のレベルが高くなる傾向があります。
 定員制のため履修希望者が多い場合は初回に抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 4 B II (視聴覚)

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木 2/Thu.2

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。
 一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通し、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

授業形態は変更の可能性もあるため、学習支援システムで詳細を確認すること。オンラインの場合は、Zoom と Google Classroom を用いる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: オンライン/online

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産 2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	華麗なる遺産 4 小テスト	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	華麗なる遺産 5 テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産 6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

9	アナウンスなど	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	華麗なる遺産 7 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	華麗なる遺産 8 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産 9	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、スクリプト読解・音読・暗唱等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は 2 時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40 %、テスト 60 %
 4 回欠席の場合、落第。

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

【学生が準備すべき機器他】

☑️ tablet

【その他の重要事項】

2 年生～4 年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語 3 より受講生のレベルが高くなる傾向があります。課題も多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 定員制のため履修希望者が多い場合は初回に抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

朝鮮語 5 A I (講読)

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。短いエッセイから、短編までさまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。

日本で翻訳されている韓国文学と合わせ授業中に自ら原書のテキストを読むことで、各学習者が好きな韓国文学に出会えることを目標とする。

【到達目標】

- 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
- エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
- 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定したエッセイや短編小説を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていきます。原則として、各自日本語訳した文章を授業内で確認する予習型です。

初回の授業では、韓国文学の文献リストを配布するとともに、韓国文学に関する互いの関心を共有します。

第 2・3 回の授業ではハムニダ体の文章を題材として、ストーリーのある文章を読みます。

第 4 回以降、エッセイや短編作品を中心に韓国語の文章を読みます。授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深めます。

第 14 回 (最終授業) では、アクティブラーニングとして各履修者が印象に残った文章を音読、翻訳して発表します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方、韓国文学の文献リストの配布
2	ハムニダ体の講読	ストーリーのある文章を読んで、読解に慣れる。
3	ハムニダ体の講読・ディスカッション (2)	ストーリーのある文章を読んで、読解に慣れる。
4	エッセイの講読・ディスカッション (1)	エッセイを読んで、内容について議論する
5	エッセイの講読・ディスカッション (2)	エッセイを読んで、内容について議論する
6	エッセイの講読・ディスカッション (3)	エッセイを読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション (1)	小説を読んで、内容について議論する

8	小説の講読・ディスカッション (2)	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション (3)	小説を読んで、内容について議論する
10	小説の講読・ディスカッション (4)	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション (5)	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション (6)	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション (7)	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング 発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト (教科書)】

チョン・イヒョン、イ・ギホ、キム・ジュンヒョク、チャン・リュジン、チェ・ウニョン、パク・サンヨン、チャン・ガンミョン、チョン・ソンテなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。

講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

【参考書】

『完全版 韓国・フェミニズム・日本』斎藤真理子編集 (2019、河出書房新社)

『シソンから』チョン・セラン著、斎藤真理子訳 (2021、亜紀書房)

『どきどき僕の人生』キム・エラン著、きむふな訳 (2013、クオン)

『マスイートソウル』チョン・イヒョン著、清水由希子訳 (2007、講談社)

『韓国が嫌いで』チャン・ガンミョン著、吉良佳奈江訳 (2020、ころから)

『ショウコの微笑』チェ・ウニョン著、吉川 風監修、

牧野 美加、横本 麻矢、小林 由紀 翻訳 (2018、クオン)

『まだまだという言葉』クオン・ヨソン著、斎藤真理子訳 (2020、河出書房)

【成績評価の方法と基準】

授業の出席・参加度 40%、課題 40%発表、アクティブラーニング 20%として評価します。

【学生の意見等からの気づき】

テキストだけでなく、映画やドラマの原作なども取り上げる。

【学生が準備すべき機器他】

授業時に講読テキストに関連した朝鮮語の文章を配布し、読解の練習をしてもらう場合もあるため、辞書は必ず持参すること。

【その他の重要事項】

長い文章の講読は少しハードルが高いかもしれませんが、韓国で話題になっている本やエッセイを読むことは、韓国社会や韓国文化に対するより深い理解へとつながります。

初級・中級レベルの朝鮮語の学習を終えてエッセイや小説の読解に挑戦してみたいという学生の他に、韓国に留学したことがあって読解力をもっと高めたいという学生や、文学作品の翻訳に関心がある韓国の留学生の履修も歓迎します。

【Outline (in English)】

In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.

The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

LANk200LA

朝鮮語 5 A II (講読)

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。ドラマの原作や映画のシナリオなども扱い、さまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。

【到達目標】

- 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
- エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
- 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

指定したエッセイや短編小説、長編小説の一部を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていきます。原則として、各自日本語訳した文章を授業内で確認する予習型です。初回の授業では、春学期に読んだテキストを踏まえて、韓国文学に関する互いの関心を共有します。

第2回以降、短編作品を中心に韓国語の文章読解を進めますが、授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深めます。

第14回 (最終授業) では、アクティブラーニングとして各履修者が印象に残った文章を音読、翻訳して発表します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション エッセイの講読	関心の共有 エッセイを読んで、内容について議論する
2	小説の講読・ディスカッション (1)	小説を読んで、内容について議論する
3	小説の講読・ディスカッション (2)	小説を読んで、内容について議論する
4	小説の講読・ディスカッション (3)	小説を読んで、内容について議論する
5	小説の講読・ディスカッション (4)	小説を読んで、内容について議論する
6	小説の講読・ディスカッション (5)	小説を読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション (6)	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション (7)	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション (8)	小説を読んで、内容について議論する

10	小説の講読・ディスカッション (9)	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション (10)	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション (11)	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション (12)	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング 発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト (教科書)】

チョン・イヒョン、イ・ギホ、キム・ジュンヒョク、チャン・リュジョン、チェ・ウニョン、パク・サンヨン、チャン・ガンミョン、チョン・ソンテなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。

講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

【参考書】

『完全版 韓国・フェミニズム・日本』斎藤真理子編集 (2019、河出書房新社)

『ソソンから』チョン・セラン著、斎藤真理子訳 (2021、亜紀書房)

『どきどき僕の人生』キム・エラン著、きむふな訳 (2013、クオン)

『マイスイートソウル』チョン・イヒョン著、清水由希子訳 (2007、講談社)

『韓国が嫌い』チャン・ガンミョン著、吉良佳奈江訳 (2020、ころから)

『ショウコの微笑』チェ・ウニョン著、吉川 風監修、

牧野 美加、横本 麻矢、小林 由紀 翻訳 (2018、クオン)

『まだまだという言葉』クオン・ヨソン著、斎藤真理子訳 (2020、河出書房)

【成績評価の方法と基準】

・授業の出席・参加度 40 %、課題 40 %、アクティブラーニング 20 % として評価します。

【学生の意見等からの気づき】

テキストだけでなく、映画やドラマの原作なども取り上げる。

【学生が準備すべき機器他】

授業時に予習なしで購読する場合もあるため、辞書は必ず持参すること。

ハングル入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】

大学で朝鮮語を学んでいない学生も履修は可能です。レベルについては事前に教員に相談してください。

文学作品に関心のある留学生の履修も歓迎します。

【Outline (in English)】

In the class, intermediate learners will try to understand Korean society by reading Korean literature.

The ultimate goal is to find out the favorite Korean literature for each learner.

LANk200LA

朝鮮語 5 B I (表現法)

2017 年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開： グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話ができるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせ、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPT を作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・ 授業の進め方の説明 ・ レベルチェック ・ 自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 BTS、KPOP 再燃するか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』 韓国映画 1000 万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』 正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』 南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 「小 1 保護者 10 時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

11	『時事韓国語』 「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 「高齢者 10 人に 1 人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『KBS ニュースで学ぶ時事韓国語』 浜之上幸監修、白帝社、2019 年、2400 円+税。昔話は授業時にプリントを配布。

【参考書】

日韓・韓日辞書。

【成績評価の方法と基準】

平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80 %.

LANk200LA

朝鮮語 5 B II (表現法)

2017 年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 3/Fri.3

単位数: 1 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』 11「政府、原発新設白紙化問題」	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』 12「はじめて呼ぶお父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、協力と統合」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	『時事韓国語』 14「南北 65 年ぶり終戦宣言」 15「気候変動とウミガメ」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 16「日本の公衆トイレ」 17「米朝 70 年の対立に終止符」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	18「監視カメラ」 19「5 G 先取り競争」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験現場」 25「不動産事情、ソウル、地方」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業者の増加」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュースロケット 5 連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、巨大な壁を打ち破った英雄」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソウル桂洞」 35「蚊を追いかう方法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、干しだらのカルグクス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『KBS ニュースで学ぶ時事韓国語』浜之上幸監修、白帝社、2400 円+税。
「

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80 %.

ARSe200LA

朝鮮の文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

李 英美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開：○ グローバル： 成績優秀：○ 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会について学ぶ。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】

様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には「授業計画」の順に沿った形で進める。
ひとつのテーマについて 2 週連続で講義と映像の鑑賞といった形で進める。毎回のリアクションペーパーと 2 週に一度の感想文を提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の目標と進め方の説明	授業の目的と進め方について説明し、テキストや参考書の使い方について説明する。
第 2 回	解説と映画鑑賞①－朝鮮半島の南北分断について	南北対立から理解へ－南北分断のリアル DMZ
第 3 回	解説と映画鑑賞②－朝鮮半島の南北分断について	新しい観点から南北分断を想像する－南北兵士の心理描写
第 4 回	韓国映画史－時代区分と特徴	韓国映画史について、全体的な流れと時代別の特徴を概観する。
第 5 回	解説と映画鑑賞③－激動の韓国現代史を生きる	激動の韓国現代史を個人史で綴る－「最も平凡な父の最も偉大な話」
第 6 回	解説と映画鑑賞④－激動の韓国現代史を生きる	「産業化世代」－朝鮮戦争後の韓国再建の主役であった家族愛の父親
第 7 回	韓国近現代史と映画－日本統治下の韓国・朝鮮	韓国近現代史における日本統治時代を抜きにして韓国映画史を語ることはできない。韓国映画の創成期に当たる当時について解説する。
第 8 回	解説と映画鑑賞⑤－日本統治下の韓国・朝鮮	上海、京城（現ソウル）を舞台にした朝鮮人の朝鮮人暗殺を描写－親日派暗殺作戦
第 9 回	解説と映画鑑賞⑥－日本統治下の韓国・朝鮮	当時の街並み、ファッション、経済活動、居住空間、社交場など「モダン」の再現

第 10 回 最近の韓国の若者の恋愛観・結婚観と映画 時代の変化を反映する若者の恋愛観・結婚観を垣間見て、日本の若者との間の比較をとおして、韓国社会と日本社会の比較を試みる。

第 11 回 解説と映画鑑賞⑦－青春の思い出 初恋のロマンス、青春の思い出

第 12 回 解説と映画鑑賞⑧－青春の思い出 青春の多様な感情の描写、現代韓国社会の中で大人に成長していく過程を描写

第 13 回 映画と講義について 映画は学習手段のひとつとして有効か－韓国の文化、社会、歴史上の事象、特に抽象的な事柄を、より明確に理解可能なものにしてくれる。

第 14 回 春学期のまとめと期末レポートの提示 期末レポートの提示

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。

【テキスト（教科書）】

韓国映画 100 年史－その誕生からグローバル展開まで、鄭ゾンファ著、野崎充彦・加藤知恵訳、明石書店、2017 年、3520 円

【参考書】

韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015 年、3680 円

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席率、リアクションペーパー、感想文など）50%、期末レポート 50%をもって総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

・第 1 回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM 情報は授業開始の前週までに HOPPI でお告知させていただきます。

・第 2 回目以降の授業の実施形態については第 1 回目の授業の際にお知らせします。

【Outline (in English)】

In this class, we will learn about Korean and Korean culture and society through Korean films.

The purpose of the class is to deepen the understanding of Korean society through the characteristics of Korean society and changes in the times depicted in Korean movies.

ARSe200LA

朝鮮の文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル:

李 英美

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 2/Mon.2

単位数: 2 単位

※定員制 (30 名)

他学部公開: ○ グローバル: 成績優秀: ○ 実務教員:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では韓国の映画をとおりて朝鮮・韓国の文化と社会全般について学ぶ。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】

様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には「授業計画」の順に沿った形で進める。
ひとつのテーマについて 2 週連続で講義と映像の鑑賞といった形で進める。毎回のリアクションペーパーと 2 週に一度の感想文を提出する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方に関する説明。	授業の目的と進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方について説明。
第 2 回	解説と映画鑑賞①-外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人物を韓国人から人類へ一究極な状態に置かれた人々の動き
第 3 回	解説と映画鑑賞②-外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人類における各差と不平等、階級化をとおりて韓国社会をみる
第 4 回	現代韓国社会と映画-高齢化	現代韓国社会の特徴のひとつである高齢化社会をどのように描くか
第 5 回	解説と映画鑑賞③-老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴-老いをどのように受け入れるか、どのように生きるか
第 6 回	解説と映画鑑賞④-老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴-家族の愛情と世代間の価値観のギャップ
第 7 回	現代韓国社会と映画-犯罪被害者を描く	神に罪を告白し、許しを得た殺人犯について-被害者の家族は救われない。宗教、法、人間の関係を映画に投影する。
第 8 回	解説と映画鑑賞⑤-最高の価値は人間愛	人間愛は最高の価値-人間は人間を救うことができる。子供殺人被害者の母親。
第 9 回	解説と映画鑑賞⑥-宗教とは	宗教とは何か、人間とは何か-人間を救えない残酷な神の姿。神の許しとは。
第 10 回	映画に移る国家像	国家の危機管理能力について-2010 年代韓国政府を実例に

第 11 回	解説と映画鑑賞⑦-ドキュメンタリー映画	国家とは何か。国家の存在理由-国民の生命・財産の保護。
第 12 回	解説と映画鑑賞⑧-ドキュメンタリー映画	真実究明と記者・言論の役割と力
第 13 回	韓国映画史を振り返る-100 年史	創成期-ルネサンス期まで
第 14 回	秋学期のまとめとレポートの提示	レポートの提示

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。

【テキスト (教科書)】

韓国映画 100 年史-その誕生からグローバル展開まで、鄭ソンファ著、野崎彦彦・加藤知恵訳、明石書店、2017 年、3520 円

【参考書】

韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015 年、3680 円

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席率、リアクションペーパー、感想文など) 50%、期末レポート 50% をもって総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

- ・第 1 回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM 情報は授業開始の前週までに HOPPI でお会知らせします。
- ・第 2 回目以降の授業の実施形態については第 1 回目の授業の際にお知らせします。

【Outline (in English)】

In this class, we will learn about Korean and Korean culture and society through Korean films. The purpose of the class is to deepen the understanding of Korean society through the characteristics of Korean society and changes in the times depicted in Korean movies.

